

仙台市文化財調査委員会報告書100号

# 山田上ノ台遺跡

——昭和55年度文化財調査報告書——

1987年3月

仙台市教育委員会

仙台市文化財調査報告書第100集

# 山田上ノ台遺跡

—昭和55年度発掘調査報告書—

1987年3月

仙台市教育委員会

调查区遥感  
〔南京→〕





W—19区 西壁断面



W—19区 南壁断面



U—18区 西壁断面



U—18区 南壁断面



W-19区 27層下石器出土狀況（北→）



S-T-17区 6層上面石器出土狀況（東→）





14号住居跡（南→）



8号住居跡（南東→）



13号土壤 (南→)



62号土壤 (東→)



276号土壤底面下の状況（上）、及び完掘状況（下）



## 序



日頃、仙台市の文化財保護行政に対しまして、多大の御協力をいただき、担当する仙台市教育委員会にとりましては、誠に感謝にたえません。

近年、仙台市の市街地は急激に郊外に広がりつつあります。本遺跡周辺につきましても、例外ではなく、開発・宅地化が急激に進展しているところであり、本遺跡地内でも昭和55年度に宅地造成計画に係る発掘調査をいたしました。調査結果は予想を大きく超え、縄文時代の大規模な遺跡を中心に、今を遡ること数万年前の前期旧石器時代から、江戸時代にまで至る一大複合遺跡であることが明らかになりました。その間、各方面よりの御協力をいただきまして、宅地造成による破壊を免かれ、一部は調査の手を入れずに保存することになり、仙台市によって買い上げ、公有化することができました。

今後、公有化いたしました遺跡地につきましては、『(仮称) 原始古代村』として整備し、その保護と、市民の皆様とともに活用できる施設とする所存であります。このように、文化遺産を市民の宝として、永く後世に継承していくことは、これからのおまちづくりに欠くことのできない大切なことであります。今後とも多くの皆様の絶大な御協力を念願いたしますと序といたします。

1987年3月

仙台市教育委員会

教育長 藤井黎

## 例　　言

1. 本書は、仙台市山田上ノ台町地内に所在する山田上ノ台遺跡の昭和55年度に実施した発掘調査の報告書である。
2. 発掘調査は、仙台市教育委員会が主体となり、昭和55年4月10日から同56年1月13日まで実施した。
3. 出土遺物の整理と報告書作成は、主浜光則が担当し、報告書の編集は主浜が行ない、図版編集については平間亮輔が、写真図版編集については及川 格が補佐した。
4. 本書におけるⅢI石器時代の記述については、昭和55年度刊行の概報の旧石器時代の部分を再録した。
5. 本書のⅢ-1「遺跡の位置と地形」については、昭和59年刊行の発掘調査報告書より、執筆者の東北大学理学部 豊島正幸氏の御承諾をいただいて転載した。
6. 発掘調査におけるグリット基準線、本書におけるグリット基準線は磁北を基準としている。
7. 本書で使用した岡土地理院発行の地形図は、国名と縮尺を記載した。
8. 本書中の土層の色調については『新版土色帖』(小山・竹原 1973)に基づいた。
9. 旧石器時代の石器・礫の石質鑑定は佐々木 隆氏(仙台市科学館)による。
10. 縄文時代以降の剥片石器の石材の鑑定は、東北大学院生 森島秀一氏の経験的な識別によった。礫石器については専門家による石材鑑定は行なえなかった。
11. 本書における実測図の縮尺は、一部を除いて、遺構実測図は1/60、遺物実測図のうち、土器、土製品、疊石器、石製品は1/10、剝片石器は1/5である。
12. 本書における遺構実測図のグリットラインについて、南北の基準線(アルファベット)より北へ+、南へ-とし、東西の基準線(算用数字)より東へ+、西へ-として1m単位で表記してある。
13. 遺構実測図中、土層断面図、エレベーション図中にスクリーントーンを貼付したものは、所謂地山部分を示し、竪穴住居跡のものは、床面下の状況が不明のためスクリーントーンの貼付はしていない。
14. 遺構断面図の土層記号については、各担当者の調査時の所見を記してあり、備考欄の記載についての語句の統一は行なっていない。
15. 土師器実測図中、スクリーントーンを貼付した部分は黒色処理を示し、剝片石器の斜線部分は、節理面を示している。
16. 調査及び遺物整理に際して、伊東信雄(仙台市文化財保護委員・東北学院大学文学部)、岸沢長介(東北大学文学部)、岡村長雄(東北歴史資料館)、鎌田俊昭(石器文化談話会)、庄子

貞雄・山田一郎（東北大学農学部）、中川久雄、豊島正幸、板垣直俊（東北大学理学部）竹内貞子（斎藤報恩会自然史博物館）、沢田正昭（奈良国立文化財研究所）、市川米太（奈良教育大学）の方々（敬称略）より御指導、御協力をいただきました。

17. 本調査における出土遺物、実測図、写真等の資料は、仙台市教育委員会で一括保管しているので活用されたい。

## 目 次

### 序

### 例言

I. 調査に至る経過	1
II. 調査要項	1
III. 遺跡の概観	3
1. 遺跡の位置と地形	3
2. 歴史的環境	6
IV. 調査の方法と経過	13
1. 調査の方法と経過	13
2. 調査の記録	14
3. 資料整理	14
V. 基本層序	15
1. 各層の成因	18
VI. II 石器時代の調査	19
(1) 調査経過	19
(2) 発掘調査結果	20
1. 発掘区の層序	20
2. 遺物出土状況	20
(3) 各層の微起状調査	25
(4) 旧石器の年代	27
VII. 縄文時代の遺構と出土遺物	39
1. 壺穴住居跡	39
2. 土壙	235
3. 1号壺穴遺構 (T-31壺穴遺構)	435
4. 埋設土器	442
5. 遺物包含層	446
6. 遺構外出土遺物	548
7. 表探遺物	579
8. 西区確認遺構と出土遺物	590
9. 縄文時代の遺構と遺物について	613

VII. 古代の遺構と出土遺物	669
1. 古代の住居跡	669
2. 土墳	685
3. 溝跡	689
4. 掘立柱建物跡	700
5. 遺構外の出土遺物	702
6. 古代の遺構と遺物について	706
IX. その他の遺構と出土遺物	714
X. 遺跡の構成	736
XI.まとめ	738
写真図版	745

## I. 調査に至る経過

仙台市南西部に位置する山田地区周辺は、近年仙台のベットタウンとして発展が著しく、急速に宅地化が進んでいる地域である。その中にあって、山田ノ台遺跡は畠地として利用されながら、良好な保存状態に保たれていた。

昭和54年、本間物産株式会社により、当遺跡内に宅地造成計画が立案された。仙台市教育委員会は、提出された開発行為事前協議書にもとづいて開発者である本間物産株式会社と協議を行った。その結果、開発申請予定地内の埋蔵文化財の保護に必要な措置を検討するための資料を得ることを目的とした試掘調査を実施することとなった。

試掘調査は年度内に行なわれた。開発予定地内の遺構の分布状況を把握するため、全体に3m×3mのグリッドを組み、南北方向に長いグリッド2個分の試掘区を12ヶ所、計216m<sup>2</sup>を設定し遺構確認調査を行ない、開発予定地内の各地域に住居跡、土壇、遺物包含層、溝跡、ビット等が分布していることが確認された。出土遺物は、縄文時代早期から平安時代まで断続的に認められ、特に、縄文時代前期～中期初頭、中期末～後期初頭、平安時代のものが多いという傾向がみられた。

試掘調査によって縄文時代から平安時代までの遺構、遺物が良好に保存されていることが確認され、その資料にもとづいて再度協議を行なったところ、記録保存を前提とした開発地域内の事前調査を行なうこととなった。

発掘調査は、昭和55年4月10日より実施した。

## II. 調査要項

遺跡の名称：山田上ノ台遺跡（仙台市文化財登録番号C-193、宮城県遺跡登録番号01103）

所在地：仙台市山田上ノ台町地内

調査主体：仙台市教育委員会

調査担当：仙台市教育委員会社会教育課文化財調査係

担当職員 試掘調査 佐藤洋、渋谷孝雄（55. 3退職）

本調査 佐藤洋、渡部弘美、主浜光朗、結城慎一

篠原信彦、金森安孝、斎野裕彦、柳沢みどり（59. 3退職）

調査期間：試掘調査 昭和54年5月7日～5月12日

本調査 昭和55年4月10日～昭和56年1月13日

調査対象面積：約16,000m<sup>2</sup>

発掘調査面積：約10,000m<sup>2</sup>（内遺構確認面積4,000m<sup>2</sup>含む）

**調査参加者：**石黒伸一朗、大場拓俊、相沢清利、赤石澤 売、五十嵐康洋、大友 透、小野正泰、菊地雅之、木戸春夫、佐々木安志、庄子 敦、白鳥山美、高沢 薫、高橋健一、晴山 徹、松木 仁、溝口康博、山田しょう、安住和敏、阿部あき子、阿部きよゑ、阿部 周、阿部徳四郎、阿部とめよ、阿部とよ子、阿部よね子、飯田清志、伊藤敦子、伊藤清之助、入間川富市、遠藤いな子、人見美恵子、太田百合子、大友佳子、小沼ちえ子、小原ミツヨ、加藤けい子、加藤敏之、北浦静子、小池英子、郡山和子、小林きゑ子、後藤浩樹、斎藤百合子、佐伯みつゑ、佐藤栄作、佐藤貢一、佐藤隆典、佐藤とし子、末永裕子、菅井マツ子、菅原みほ子、鈴木つや子、鈴木よしえ、外林伸子、高橋とし子、千葉郁子、中沢正吉、西村日出子、沼田和子、沼田綱子、沼田すい子、沼田スエノ、沼田ツヤ子、沼田廣子、三塚正子、森 節子、吉岡幸子、横田慶一、渡辺節子、渡辺わきい、和野ともね、鎌田俊昭、梶原 洋、藤村新一、阿部朝衛、藤原妃敏、小川 出、吉岡基平、山田晃弘、高島芳弘、柳沢和明、松川美波、鈴木良則、松山 聰、鈴木博子

**整理参加者：**赤澤靖章、森島秀一、安喰真由美、阿部多津子、石川勝子、日井美津子、李崎早苗、尾野賢一、斎藤洋美、佐藤 薫、庄子裕子、菅原ひとみ、菅原よし子、菅原玲子、須佐文恵、千葉きよ子、豊村幸宏、中島敦子、中島いく子

### III. 遺跡の概観

#### 1. 遺跡の位置と地形

農島 正幸

(東北大学理学部地理学教室研究生)

仙台西南部の、広瀬川と名取川にはさまれた一帯は、標高250m～200mの丘陵地帯であり、荒川をはじめとする諸支流がこの丘陵地帯から南東方向にほぼ平行に流下し、谷を刻んでいる(第1図)。山田上ノ台遺跡は、この丘陵地帯の南東麓に位置する。

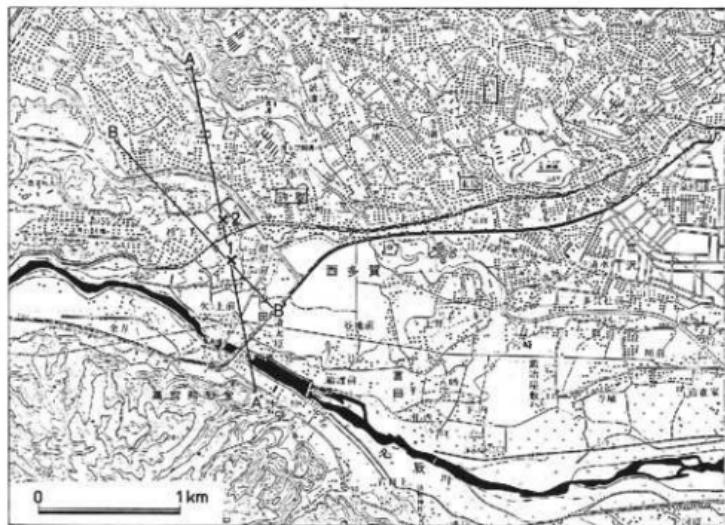
遺跡周囲の土地は全体として平坦であり、その南端部は、名取川に向って急崖をなす。このように、河川に沿う平坦面(段丘面)と急崖(段丘崖)の組み合わせからなる地形は、河岸段丘と呼ばれる。

この地形の特徴は、名取川に対して横断方向にきった地形の断面図によく表われる。第2図は、2,500分の1の地形図に基づいて作成した断面図である。断面の位置は第1図に示すとおりである。A-A'断面をみると、山田上ノ台遺跡が位置する標高55m付近と、標高30m付近に平坦面(段丘面)が見いだされ、それぞれ、河側に急崖(段丘崖)を伴っている。すなわち、この付近には、名取川に沿って二段の河岸段丘が見いだされる。

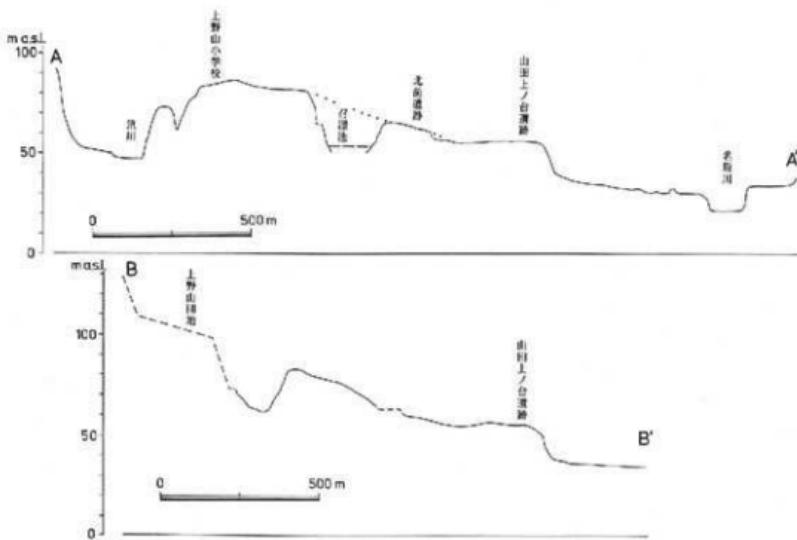
さらに、同断面図によれば、山田上ノ台遺跡、北前遺跡、および、上野山小学校の位置する平坦面は、最大30mの高度差をもつものの、支流によって開析(侵蝕)された部分を復元すると、それらは、連続する断面形を示す。山田上ノ台遺跡を通る北西-南東方向の断面(B-B'断面)においても、遺跡から丘陵に向って高度が増すが、少なくとも標高82m付近の地点までの間に、段丘崖とみられる急崖は存在しない。すなわち、山田上ノ台遺跡と北前遺跡は、地形的に連続する段丘面上に位置する。

これとほぼ同時期に形成された段丘面は、山田上ノ台より東方の鈎取や東原、さらに西ノ平まで見いだせる(中川ほか 1961、中田ほか 1976)。この段丘面は、荒川等の諸支流によって開析(侵蝕)された結果、現在ではいくつかに分断されている。なお、三神峯やその北東方の電気通信学園付近にみられる平坦面は、西ノ平付近で、上記の段丘面より20m前後高いが、これは、この部分が長町一利府線と呼ばれる構造線に沿う隆起帯(幅1km弱、長さ約10km)の一部にあたり、上記の段丘面が断層を伴って変形したものと考えられている(中山ほか 1976)。

河岸段丘面は、かつての氾濫原(しばしば洪水時に浸水を受ける部分)が、種々の原因による河床の低下によって、洪水時の浸水を受けなくなった(受けにくくなった)地形面である。この状態になった時、氾濫原は段丘化したと呼ばれ、この時期以降、その土地はヒトの居住の場となり得る。



第1図 山田上ノ台遺跡の位置と断面図(A-A'、B-B')の位置  
1は山田上ノ台遺跡 2は北前遺跡



第2図 地形の断面図2,500分の1地形図から作成 A-A'、B-B'の位置は第2図に示す  
破線は人工地形、点線は復元した断面形

山田上ノ台遺跡の位置する段丘面がいつ段丘化したのかについては、まだ確定されていないが、現在の段階で次のことがわかっている。

この段丘面上には、2万数千年と3万数千年の間のある時期に降下堆積した川崎スコリア層（板垣ほか 1981）が見いだされることから、この段丘面は、約3万年前ごろにはすでに段丘化していたと判断される。

さらに、山田上ノ台周辺の羽黒台や二神峯付近には、降下時期が川崎スコリア層より古い愛島軽石層が、約130cmの厚さで堆積しているが（板垣 1985）、山田上ノ台遺跡の地点では見いだされない。このことは、山田上ノ台遺跡が位置する段丘面の段丘化の時期が、愛島軽石層の降下時期より新しいことを示す。（なお、この段丘面の丘陵に近いところでは、一部に、愛島軽石層が見いだされるので、段丘化の時期は段丘面の横断方向でずれており、丘陵に近い部分で段丘化がより早かった可能性が強い。）

以上をまとめると、山田上ノ台遺跡の地点は、今から約3万年前の時期に、すでにヒトが居住し得る状態であった。今後、愛島軽石層の絶対年代や段丘の構造が判明すれば、この地点の段丘化の時期をはじめとするこの地域一帯の地形発達史を、より詳細に編むことができよう。

## 文 献

- 板垣直俊・豊島正幸・寺戸恒夫（1981）：仙台およびその周辺地域に分布する洪積世末期のスコリア層、  
東北地理、33巻1号、P. P. 48~53.
- 板垣直俊（1985）：仙台およびその周辺地域に分布する愛島軽石層（漂石）、東北地理、37巻1号、P. P. 79~80.
- 中川久夫・相馬寛吉・石田琢二・竹内貞子（1961）：仙台付近の第四系および地形(2)、第四紀研究、2巻1号、  
P. P. 30~39.
- 中田 高・大槻憲四郎・今泉佐文（1976）：仙台平野西縁・長町一利府線に沿う新期地殻変動、東北地理、28巻2号、  
P. P. 111~120.

## 2. 歴史的環境

仙台市平野を望む山田上ノ台遺跡の周辺は、北側及び西側に丘陵地帯、南側に名取川と丘陵地帯、東側には耕土地帯が位置しており、数多くの遺跡が分布している。これらの遺跡群については既に述べられている（1985：及川他）。ここでは本遺跡周辺の概要を述べるにとどめておく。

旧石器時代の遺跡には、本遺跡の北方200mに位置する北前遺跡や青葉山丘陵に位置する青葉山遺跡があり、前期および後期旧石器時代の遺物を出土している。

縄文時代になると大規模な集落が形成されはじめる。前述の北前遺跡では早期・中期の集落が確認されている。丘陵上には前期の集落跡である三神峯遺跡、中期の集落跡である上野遺跡、人来田遺跡、中期から晩期の梨野A遺跡などがあり、沖積平野では早期から晩期に亘る山口遺跡、早期から後期の下ノ内浦遺跡をはじめ、中期から後期に亘る六反田遺跡、下ノ内遺跡などの遺跡がある。

弥生時代になると沖積平野及び自然堤防上に遺跡が形成される。船渡前遺跡や水田跡が検出されている富沢遺跡、墓壙が検出されている下ノ内浦遺跡などがある。

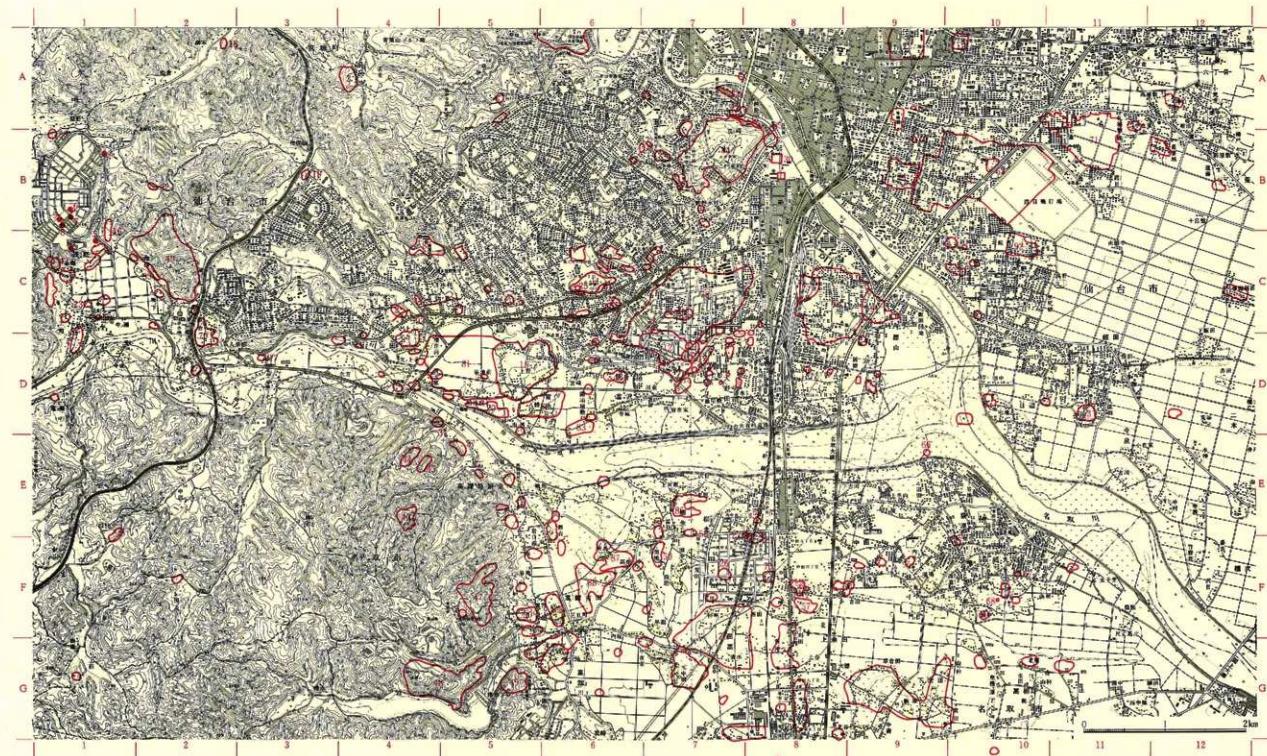
古墳時代以降になると遺跡数も増加し、多様性がみられる。高塚古墳では裏町古墳、三神峯古墳などがみられ、前述の富沢遺跡及び六反田遺跡、下ノ内遺跡では水田跡及び集落跡が検出されており、富沢窯跡では埴輪窯跡がみられる。

奈良・平安時代の遺跡は、集落跡として奈良・平安時代に亘る山口遺跡、六反田遺跡、下ノ内遺跡や平安時代の北前遺跡などがある。生産遺跡として嶺山C遺跡の製鉄遺構や北前遺跡の窯跡、山口遺跡、富沢遺跡の水田跡などがある。御堂平遺跡は寺院跡と考えられている。

中世になるとけんとう城や高館城跡など、丘陵頂上部に多くの城館が建てられ、平野部でも、富沢館跡などが見られる。また、山口遺跡や富沢遺跡で水田跡が検出されている。しかし、一般集落については非常に資料が少ないとされる状況である。

近世では、杉土手や富沢遺跡などが見られる。また、伊達家の『治家記録』慶長5年9月15日の記事に「…前略…鈎取山ノ麓上ノ臺ト云フ所ニ於テ、…後略…」という部分があり、近世初め頃には上ノ台と呼ばれていた地であることが知られる。

このように山田上ノ台遺跡の周辺には各時代に亘る遺跡がみられ、仙台市南西部の遺跡群をかたちづくっている。



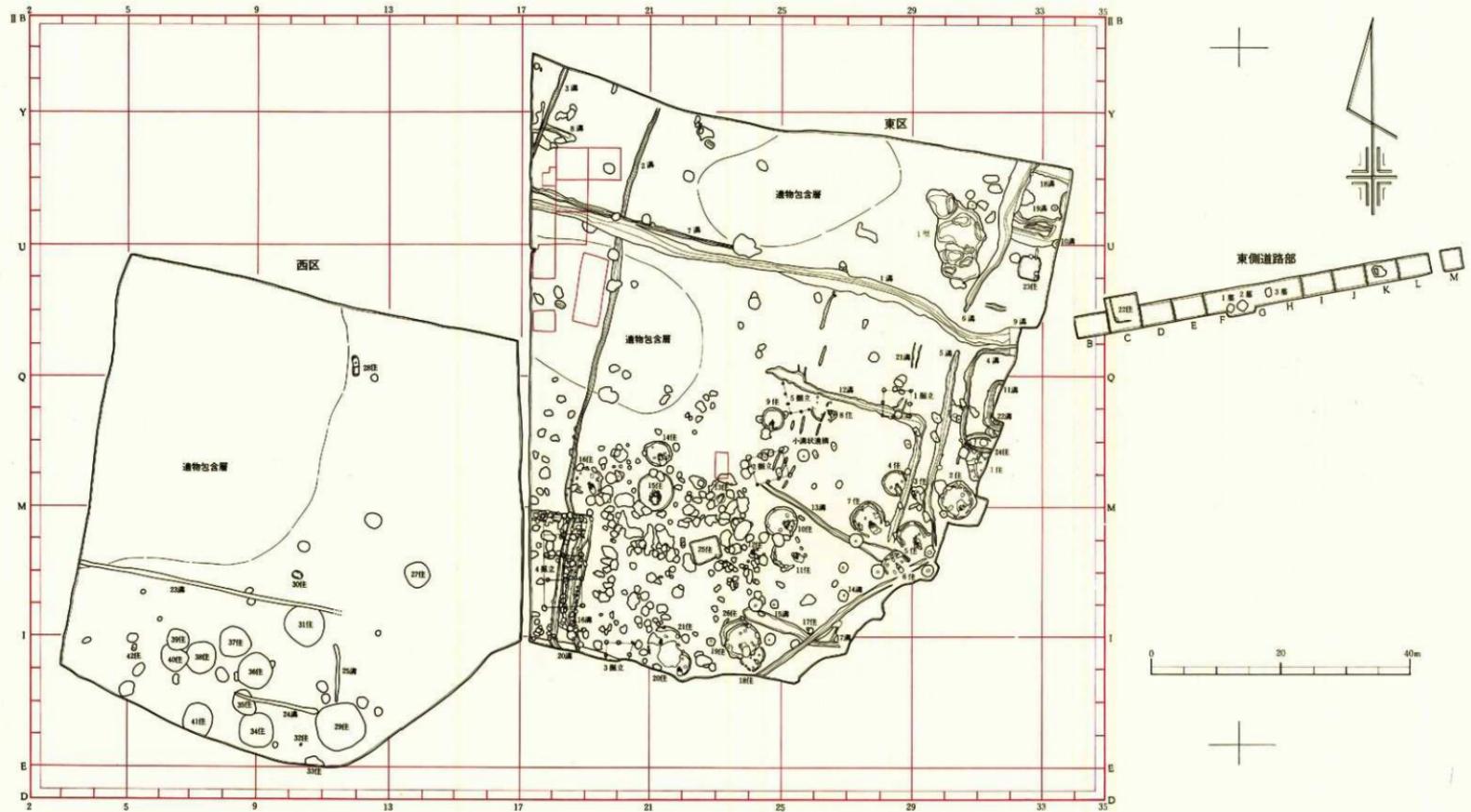
第3図 周辺の遺跡分布図 (国土地理院 1:25,000 仙台西南部・仙台東南部) 本刊製

第1表 遺跡地名表

遺跡名	種別	正規	時代	位置	遺跡名	種別	立地	時代	位置
1 山頂山 <sup>1</sup> 白鹿洞	墓葬	既生	旧石器-新石器-平安-近世	D 4	48 大港山洞跡	城壁跡	丘陵	中世	G 4 - G 5
2 虎頭山	墓葬	既生	旧石器-新石器-平安-近世	C 4	49 金光山跡	城壁跡	丘陵	中世	G 1
3 丹霞山遺跡	古高地	丘陵	旧石器-新石器-平安	A 4	50 町北遺跡	信官跡	丘陵		C 1
4 翠屏山遺跡	馬場跡	丘陵	舊文-近世-平安	N 1	51 小寺遺跡	墓葬跡	自然植物	古文-古墳-奈良-平安 奈良-瓦室	E 9 - E 11
5 田原A遺跡	城跡	丘陵	舊文-近世-平安	C 1	52 草田山田跡	古井跡	自然植物	伊生	C 12
6 田原B遺跡	台地	丘陵	舊文-近世-平安	B 1	53 今瀬遺跡	城壁跡	自然植物	伊生-平安-占碑-平安 近世-瓦室	D 11
7 沼田C遺跡	台地	丘陵	舊文-平安	B 1	54 西田原遺跡	古高地	自然植物	舊文-伊生-占碑	G 6
8 保山A遺跡	台地	丘陵	舊文-平安	B 1	55 中田原小遺跡	墓葬跡	自然植物	伊生-伊良-平安	F 10
9 保山B遺跡	台地	丘陵	舊文-平安	B 1	56 中田原遺跡	古井跡	自然植物	奈良-平安	F 8
10 保山C遺跡	台地	丘陵	舊文-平安	C 1	57 中田原遺跡	古井跡	自然植物	奈良-平安	F 8
11 一ノ坂遺跡	台地	丘陵	舊文-平安	C 6	58 通水跡	古高地	自然植物	平安	E 7
12 小山遺跡	台地	丘陵	舊文-古文-占碑-奈良-平安 奈良-瓦室	D 7	59 開闢跡	古高地	自然植物	古文-奈良-平安	F 7
13 六六田B遺跡	河原跡	台地	舊文-古文-奈良-平安	D 7	60 御川原跡	木臼跡-古	自然植物	奈良-平安	F 8 - F 9
14 下ノ内遺跡	台地	丘陵	舊文-伊生-奈良-平安	D 7	61 喜瀬跡	古高地	自然植物	平安	E 7
15 上ノ内遺跡	台地	丘陵	舊文-伊生-奈良-平安	D 5 - D 6	62 道尾古窯	砂井陶器	中低小野	古墳	B 10
16 内松遺跡	台地	丘陵	舊文-占碑-平安	B 1 - C 1	63 德國古窯	円柱	砂井陶器	古墳	A 9
17 人木田C遺跡	台地	丘陵	舊文-占碑-平安	D 3	64 磐梯古窯	円柱	砂井陶器	古墳	B 9
18 横水A遺跡	台地	丘陵	舊文-平安	A 2	65 佐原大窯	圓筒型	丘陵植物	古墳	E 6
19 舟伏山遺跡	台地	丘陵	舊文-平安	B 3	66 仙台海岸山古窯	円筒?	河川敷	古墳	E 9
20 低西面遺跡	台地	丘陵植物	舊文-伊生-奈良-平安	B 5	67 鮎丸古窯	円錐	自然植物	古墳	F 10
21 安久高遺跡	苔藓跡-苔類	台地	奈良-奈良-平安-平安-小野	F 8	68 仙台高古窯	円錐	自然植物	古墳	F 20
22 人木田E遺跡	台地	丘陵	舊文-古文-占碑-奈良-平安	B 2	69 伊豆燒燒古窯	円錐	自然植物	古墳	E 8
23 田原遺跡	台地	丘陵	古墳-平安	C 1	70 鹿島跡	古高地	自然植物	舊文-伊生-古墳-伊良-平安 奈良-瓦室	C 8 - C 9 D 1 - D 2
24 人木田F遺跡	丘陵	古墳	古墳	D 7	71 仙台余糞古窯	丸錐形	外傾半斜	奈良-平安	A 11 - B 11
25 仲井山遺跡	河原跡	台地	古墳	C 6	72 鶴見谷分院寺跡	古伝跡	半傾半斜	奈良-平安	A 9
26 朝日山遺跡	台地	古墳		F 7	73 仙台源分尼寺跡	寺傳跡	自然植物	奈良-平安	A 10
27 安久高遺古跡	河原	古墳		F 8	74 岩出跡	城跡	自然植物	御園-江戸	B 9
28 高岡古墳	古墳	古墳		C 4	75 鶴見城跡	城跡	自然植物	中低	F 8
29 羽根古墳	古墳	古墳		C 6 - C 7	76 逢泽遺跡	鳥居跡	自然植物	奈良-平安-奈良-平安-平安	F 7 - G 8
30 雲母古墳	古墳	古墳		B 8	77 上仁田遺跡	墓葬跡	自然植物	伊生-古墳-奈良-平安	F 8 - G 8
31 金山遺跡	河原	古墳		C 6	78 高原遺跡	古高地	自然植物	奈良-伊生-古墳-平安	C 7 - C 8
32 銀山燒燒石窯	焼穴窑跡	丘陵附近	古墳	B 2	79 人木田山遺跡	鳥居跡	砂井陶器	鐵文	C 2 - D 7
33 内根原六野	焼穴窑跡	丘陵附近	古墳	C 2	80 住生平遺跡	集落跡	忍冬平野	舊文-平安-中低	C 4
34 住生山遺跡	焼穴窑跡	古墳		A 7 - A 8	81 山根尾星遺跡	集落跡	砂井陶器	奈良-平安?	D 4 - D 5
35 人木田E遺跡	焼穴窑跡	古墳		B 8	82 街ノ通遺跡	古高地	自然植物	伊生-奈良-平安	D 3 - D 6
36 土子内根原六野	焼穴窑跡	古墳		C 6	83 内根原遺跡	何處跡	自然植物	奈良-伊生-平安	D 6
37 西野金成六野	焼穴窑跡	丘陵附近	古墳	D 4 - E 5	84 五ヶ崎跡	地盤跡	丘陵	空戸-江戸	A 7 - S B 1 - S
38 田野吉遺跡	丘陵	古墳		B 1	85 住生道遺跡	集落跡	自然植物	舊文-伊生-古墳-平安-近世	C 7
39 八幡山遺跡	墓葬	自然植物	平安	C 5	86 住生分野跡	墓葬跡	自然植物	内堀-伊生-平安	E 7
40 月ノ上山遺跡	城跡	丘陵	中低	B 2 - C 2	87 仙南遺跡	墓葬跡	自然植物	奈良-平安	F 6
41 丸輪東遺跡	城跡	丘陵	中低	C 1	88 高根遺跡	古高地	自然植物	伊生-古墳-奈良-平安	F 6
42 丸輪西遺跡	城跡	中低		C 1	89 丸輪東遺跡	古高地	自然植物	伊生-伊良-奈良-平安	F 6
43 丸輪の遺跡	城跡	自然植物		D 4	90 丸輪遺跡	古高地	自然植物	伊生-伊良-奈良-平安	F 5
44 里城跡	城跡	丘陵	中低	E 4	91 北城跡	城壁跡	自然植物	宝町-江戸	C 9
45 小竹城跡	城跡	丘陵	中低	E 4	92 沖野城跡	城跡	自然植物	中低	G 10
46 田野吉上醍醐	城跡	丘陵	中低	E 4	93 木之庄(醍醐土生)	丘陵	自然植物	奈良-伊生-山高-平安	C 4 - C 5
47 木之庄山遺跡	城跡	丘陵	中低	E 5	94 下ノ内遺跡	鳥居跡	自然植物	伊生-伊良-山高-平安	D 7



第4図 遺跡周辺地形図



## IV. 調査の方法と経過

### 1. 調査の方法と経過

山田上ノ台遺跡の範囲は台地上の平坦面約35,000m<sup>2</sup>である。開発者より提出された開発予定地範囲は遺跡の南東部の約16,000m<sup>2</sup>であった。調査は昭和54年に実施した試掘調査の結果より全面発掘を実施することになった。

調査の方法として、南北軸を縦軸とする5m×5mを1単位としたグリッドを開発予定地に設定した。南北軸をアルファベット文字、東西軸をアラビア数字で表わし、両者の組み合わせでグリッド名を表すこととした。調査区内は広範囲にわたるため、便宜的に東区、西区、東側道路部と三地区に分けて調査を行なうこととした。

調査は4月10日より東区から開始した。表土層は全面を重機で排除し、後、人手によって遺構確認を北西部より実施し、順次北西部、南東部、南西部へと進めた。この際、5m×5mのグリッド設定以前に、東区と東側道路部を含めて、調査区東半部に、5m×5mのグリッド16個分の20m×20mグリッドを設定し、南西部よりE1グリッド、E2グリッド、E3……と呼称して遺物の取り上げを行なった。遺構確認の結果、広範囲に分布する遺構を確認した。確認された遺構は、住居跡26軒、土壙300余基、竪穴遺構1基、埋設土器5基、遺物包含層2ヶ所、溝22条、掘立柱建物4棟、墓壙3基、井戸跡1基等である。確認した遺構には、グリッド名を頭に付した名称を用い、グリッド名を呼称しない遺構については通し番号を用いた。特に東区南半においては縄文時代の住居跡、土壙が密集しており、大規模な集落跡の様相がうかがわれた。5月下旬より、東側道路部の調査も併行して行なうことになり、地形に合わせて、3m×5mのトレンチを設定し調査を行なった。その結果、急斜面ではあるが平安時代の住居跡、江戸時代の墓壙、近代の井戸を確認した。その後、東区の調査終了後西区の調査に移行する準備として、8月中旬より重機を用いて、表土排除作業を開始した。

9月6日に調査の中間報告として現地説明会を開催した。また、8月下旬の頃よりローム層中より石器が検出されはじめ、旧石器時代の文化層の存在が予想されたため、部分的に試掘調査をおこなった。その結果、旧石器時代の文化層を確認し、その後の調査で遺跡の基盤である段丘疊層より上位の層から石器が検出され、前期旧石器時代の文化層の存在も考えうるに至った。このことを受けて、従来の調査体制とは別に旧石器調査の体制を整え、10月13日より後期旧石器時代、前期旧石器時代の確認調査を開始した。調査はU-18区、W-19区を中心に行ない、後期旧石器時代、前期旧石器時代の文化層を確認した。これらの成果をもとに11月22日に第2回の現地説明会を開催した。旧石器調査は12月13日に終了した。

これらの調査成果が明らかになるにつれて、遺跡保存の問題が起こり、仙台市教育委員会で

は遺跡保存の立場から開発側との話し合いを進めていった。このことに伴って東区では遺構の現状ができるだけそこなわないという意図のもとに、埋設土器の取り上げは最小限にとどめ遺構と共に保存することとし、住居跡床面下の掘り方、炉の構築方法、床面上で確認できなかつた柱穴の追求など、細部にわたる精査は残すこととした。西区では南部の表土を排除した後、遺構確認のみを実施した。前述の方法を用い現地調査は昭和56年1月13日に終了した。

## 2. 調査の記録

発掘調査時に作成した記録には実測図、写真、注記カードがある。

検出された遺構については遺り方測量を基本として、縮尺1/20の平面図を作成した。平面図には50cm間隔及び、遺構を復元する際に必要な地点のレベルを記入した。西区の遺構確認部分の測量には平板測量を用いて、縮尺1/100の平面図を作成した。

住居跡の炉、カマドの細部、住居跡、土壤の遺物出土状況等必要に応じ縮尺1/10の詳細な平面図を作成した。

断面図は、原則として縮尺1/20で作成したが、住居跡の炉、カマドの細部、遺物出土状況のエレベーション等必要に応じて縮尺1/10の詳細な断面図を作成した。

写真は、遺跡、遺構の調査状況、発掘状況、遺物の出土状況等を撮影した。6×7版モノクロ写真、カラープリント写真、35mm版モノクロ写真、カラーリバーサル写真（スライド写真）を使用した。

注記カードは、略図と文章によって遺構の状況等の調査所見を記載し、実測図、写真による記録で不足の部分を補おうとしたものである。

## 3. 資料整理

遺構の整理：遺構平面図は、遺り方測量の水糸配図に遺構平面図を割り付けて、一連番号を付して整理した。複数の図面にまたがった遺構は一枚の図面に整理し、平面図と距離や標高について点検を行なった。

遺物の整理：出土した遺物は、土器、陶磁器、土製品、石器、石製品に区分し、次のような整理を行なった。土器（繩文土器、土師器、須恵器、陶磁器）については、完形品及び図上復元が可能な資料は全て実測図を作成した。昭和55年の概報作成時に実測図を作成したものは、再復元して修正実測図を作成した。図上復元が不可能な破片資料は必要に応じて拓本及び破片実測図を作成した。その他の資料は破片集計表で処理した。土製品（土製円盤、土偶、耳栓等）については、実測図及び破片実測図を作成した。なお、土器、土製品については、須恵器、陶磁器以外の資料は、全てバインダーC<sup>17</sup>による強化処理を行なった。

石器（剥片石器、石核、磨製石器、石皿、砥石）と石製品（石製円盤、石刀、石剣、石棒、線刻縞）については、遺構に伴って出土した資料を中心として実測図を作成した。

## V. 基本層序

調査区内において、第1層から第33層（段丘疊層）まで確認された。

第1層 厚さ10~40cm。ほとんどが草木根や耕作によって擾乱されているが、全体的な土色は暗褐色（10YR 3/3）である。縄文時代・平安時代の遺物を含む。

第2層 厚さ10~20cm。暗褐色（10YR 3/4）。シルト質でしまりはない。小量のローム粒を含む。a、b層に細分される部分がある。東区西側では遺物がまとまって出土する部分が確認され、遺物包含層であると判断された。第2層上面で確認された遺構がある。

第3層 厚さ10~20cm。にぶい黄褐色（10YR 4/3）。シルト質でしまりはない。炭化物・ローム粒を含む。第2層同様東区西側包含層の構成層となっている部分がある。第3層上面で確認された遺構がある。

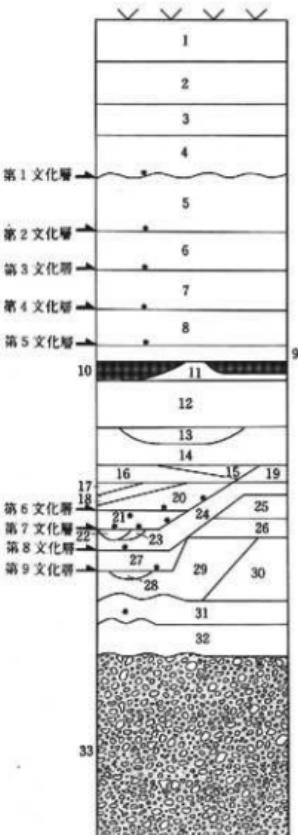
第4層 厚さ10~20cm。にぶい黄褐色（10YR 5/6）。火山灰層への漸移層。しまりはなく粘性に乏しい。旧石器時代・縄文時代の遺物を含む。第4層上面が大部分の遺構の確認面になっている。

第5層 厚さ10~20cm。黄褐色（10YR 5/6）。軟質火山灰層。しまりはあまりない。上面はやや起伏がある。径2~3cmの硬いローム塊を部分的に含む。旧石器時代の遺物を含む。第5層上面で確認された遺構がある。

第6層 厚さ約10~20cm。黄褐色（10YR 5/6）~明黄褐色（10YR 6/6）。軟質火山灰層。しまりはややある。直径2~3cmの硬いローム塊を多く含む。旧石器時代の遺物を含む。

第7層 厚さ約10~20cm。明黄褐色（10YR 6/6）。硬質火山灰層。しまりはある。直径2~3cmのローム塊、直径1~2mmの砂粒を含む。旧石器時代の遺物を含む。

第8層 厚さ10~20cm。明黄褐色（10YR 6/6）。硬質火山灰層。しまりあり。径1~2mmの砂粒を



第6図 基本層序模式図

含む。旧石器時代の遺物を包含する。N23区で顕著に見られるが、他の発掘区では明瞭でない。

第9層 厚さ約5～10cm。明黄褐色(10YR%)。硬質火山灰層。しまりはある。直径2mmの白色粒(長石?)や第10層起源のスコリア粒を含む。旧石器時代の遺物を包含する。

第10層 厚さ約0～13cm。橙色(5YR%).直径3mm以下の赤褐色スコリア粒を含む軽石質火山灰や、暗黄褐色の砂状の粗粒火山灰層である。この層は「川崎スコリア層」を含む固結部に相当し、その噴出年代は<sup>14</sup>C年代測定によって、31,500<sup>+2,610</sup><sub>-1,970</sub>年B.P. (TH-365)から26,240<sup>+1,360</sup><sub>-1,160</sub>年B.P. (TH-309)の間の時期とされている(板垣ほか、1981)。

第11層 厚さ約0～5cm。暗赤褐色(7.5YR%).やや軟質の火山灰質層。粘性があり、土性は均一である。

第12層 厚さ約5～15cm。黄褐色(10YR%).やや硬質の火山灰質層。しまりはある。粘性はない。少量のマンガン粒や直径1mm以下の白色粒、少量の石英粒を含む。黄褐色の砂粒を多く含む。

第13層 厚さ約0～15cm。褐色(10YR%).シルト質粘土。しまりはないが、粘性がある。多量のマンガン粒や、黄褐色の砂、少量の石英粒を含む。部分的にマンガン粒の集積が見られる。

第14層 厚さ約8～18cm。黄褐色(10YR%).やや硬質の火山灰質層。しまりがあり、粘性もある。マンガン粒や黄褐色の砂粒を多量に含む。直径1mm以下の白色粒や、極少量の石英粒を含む。

第15層 厚さ約0～5cm。褐色(10YR%).シルト質粘土。しまりがある。粘性は第14層に比べて弱い。多量のマンガン粒や、石英粒、風化したバミス粒を含む。

第16層 厚さ約5～10cm。明黄褐色(10YR%).シルト質粘土。しまりはあるが、粘性は弱い。マンガン粒や石英粒、多量の風化したバミス粒を含む。黄褐色の砂を多量に含む。第15層と第16層は層相がきわめて類似しており、同一起源の層と見えられる可能性がある。

第17層 厚さ約0～8cm。明黄褐色(10YR%).シルト質粘土。しまりがあり、粘性はやや強い。マンガン粒、白色粒、石英粒を含む。黄褐色の砂も含むが、第16層ほど多くはない。

第18層 厚さ約0～10cm。明黄褐色(10YR%).シルト質粘土。しまりはあり粘性は弱い。マンガン粒、白色粒、石英粒や風化したバミス粒を多量に含む。

第19層 厚さ約0～5cm。明褐色(10YR%).シルト。しまりはある。粘性は弱い。石英粒と若干のマンガン粒を含む。第17層起源のシルト質粘土をブロック状に含む。

第20層 厚さ約0～8cm。明黄褐色(10YR%).粘土。しまりはあまりない。少量のマンガン粒を含む。白色粒と石英粒をやや多く含む。風化したバミス粒を含むが、第18層に比べ少ない。

第21層 厚さ約0～15cm。にぶい黄橙色(10YR%)を基調とし、明褐色(2.5YR%)を斑点状に含む。しまりがある。マンガン粒や白色粒を含む。旧石器時代の遺物を包含する。

第22層 厚さ約0～5cm。にぼい黄橙色(10YR%)を基調とし、明褐色(10YR%)を斑点状に含む。粘土。しまりはある。マンガン粒と白色粒をわずかに含む。第21層に層相が類似するが、第22層の色調がより明度が高い点で異なる。旧石器時代の遺物を包含する。

第23層 厚さ0～5cm。黄褐色(10YR%)。砂。しまりや粘性はない。多量の石英粒や少量のマンガン粒、赤い粒子を含む。直径4～5mmの小礫を含む。旧石器時代の遺物を包含する。

第24層 厚さ0～10cm。明黄褐色(10YR%)。シルト。しまりはややある。粘性はない。多量の石英粒を含む。部分的に青灰色粘土をブロック状に含む。旧石器時代の遺物を包含する。

第25層 厚さ0～10cm。明黄褐色(2.5Y%)で一部灰白色(5Y%)を呈す。シルト。しまりがあり粘性はない。マンガン粒、石英粒、直径2～3cmの礫を多く含む。

第26層 厚さ0～10cm。明黄褐色(10YR%)のシルトを基調とし、浅黄色(5Y%)の砂粒を含む。第25層に比べ色調は白っぽい。しまりは強く、粘性はない。石英粒を多量に含む。径2～3cmの小円礫を多く含む。

第27層 厚さ0～8cm。黄褐色(10YR%)。砂。しまりや粘性はない。部分的にマンガン粒が沈着する。直径2～3cmの小礫を含む。旧石器時代の遺物を包含する。

第28層 厚さ0～5cm。明黄褐色(10YR%)。粘土。しまりや粘性がある。少量のマンガン粒や石英粒を含む。部分的に青灰色の粘土を含む。

第29層 厚さ0～25cm。浅黄色(2.5Y%)のシルトを基調とし、灰白色(5Y%)の粘土を含む。南東部ではマンガン粒を比較的多く含み黒味を帯び、北西隅では酸化鉄の沈着を見、赤味を帯びる。しまりはある。石英粒を少量含む。風化した直径3cmの小円礫を含む。部分的に砂粒を多く含む部分がある。旧石器時代の遺物を包含する。

第30層 厚さ0～40cm。橙色(7.5YR%)を基調とし、灰白色(10YR%)を含む。シルト。第29層より赤味をおびる。層相は第29層に近似する。風化した小円礫を含む。下部に小円礫を多量に含む部分がある。一部に橙色と灰白色とが互層になっている。

第31層 厚さ約10cm橙色(5R%)の粘土を基調とし、明黄褐色(2.5Y%)のシルトを含む。土性は緻密で粘性が強くしまりがある。マンガン粒は含まない。第29層や第30層とは層相が明確に区別される。旧石器時代の遺物を包含する。

第32層 厚さ約5～10cm。浅黄色(2.5Y%)のシルトを基調とし、マンガン粒、明黄褐色シルトを斑状に含む。しまりがある。下部に段丘礫層の浮き上がりである風化した小円礫を含む。

第33層(段丘礫層)直径5～30cmのほとんど中心まで風化した円礫である。礫間を、淡黄色(2.5Y%)粘土と明褐色(7.5YR%)粘土が斑状に埋めている。

## 小 括

### 1. 各層の成因

第5層から第11層までの層は、降下火山灰層である。なおまれに小亜円礫や小円礫を含むことから、地表流の影響が認められる。

第12層から第32層のうち、第12層と第14層は火山灰質であり、その色調から風化帯の可能性がある。第29層以下の層は背後の支谷から流水により運搬堆積されたものであり、その上をおおう第28層から第15層の薄い各層は、支谷からの運搬堆積が弱まる過程で地表流の影響をも受けながら堆積されたものと考えられる。

### 2. 火山灰の対比

第10層が永野火山灰の基底部に近い層準にあたる(中川、他 1960、1961、板垣、他 1981)ことから、第9層以上の層は永野火山灰に対比されると考えられる。第10層より下位の火山灰については、平沢火山灰あるいは愛島火山灰に対比される可能性があるものの、現在のところ不明である。

## VII. 旧石器時代の調査

### (1) 調査経過

8月下旬から9月上旬にかけて、縄文時代以後の遺構駆面や風倒木痕等から断片的に旧石器が発見され、旧石器時代文化層の存在が予測された。そこでN23区、R17区、S21区、S・T19区、S・T17区、V・W18区（第13図）を設定し、9月8日から調査を開始した。一部不整形なトレンチを設定せざるを得なかったのは、縄文時代以後の遺構が未調査であったことによる。

R17区、S・T19区、S・T17区、V・W18区は第4層から第6層上面まで調査したが、第5層上面、第6層上面から石器が出土した。S21区は第6層から第7層上面まで調査したが、石器は出土しなかった。N23区は第4層から第9層上面まで調査したが、第5層上面、第6層上面、第7層上面、第8層上面、第9層上面から石器が出土した。

以上の調査結果の報道関係への発表を9月30日に予定していたが、当月、U18区のほぼ全域を占めていた風倒木痕の地表下約1.5mの底面、およびW19区に北東部に位置していた縄文時代の土壤壁面から、各1点ずつ旧石器が発見された。これらはいずれも約二万数千年前から約三万五千年前の年代が与えられている川崎スコリア層をはるかに下回る層準に帰属していたため、前期旧石器に属するものと判断された。

当市ではこの重要性にかんがみ、東北大学文学部芹沢長介教授に調査指導を依頼するとともに、宮城県教育庁文化財保護課、東北歴史資料館、東北大学文学部考古学研究室、石器文化談話会に協力を依頼し、10月13日からU18区、W19区の二地区の調査を開始した。U18区では第5層上面、第6層上面、第7層上面から後期旧石器が出土した。前期旧石器は11月15日から両地区で出土し始めた。U18区では第21層中、第21—27間層上面から出土した。W19区では第21層上面、第22層上面、第23層上面、第24層上面、第27層上面、第29層上面、第31層中から出土した。

上記の調査と併行して、12月9日から調査区各層の微起伏を把握するため、ハンドオーガーを用いて調査を行った。

12月13日に旧石器に関する全ての調査を終了した。

12月16日には現地で、発掘調査の資料に基づく、考古学、地質学、土壤学、地理学の各分野の研究者による山田上ノ台遺跡の追跡検討会を実施した。

なお、調査中には関係諸分野の研究者の助言を適宜得、調査の参考とした。

## (2) 発掘調査結果

### 1. 発掘区の層序

今報告では U18区と W19区の層序に限定して述べる(第5～7図)。層名は基本層序に基づく。  
W19区西壁の層序 (第7図) の特徴

1. 段丘疊層上面は北から南へ緩やかに傾斜しており、疊層上面の起伏は殆ど認められない。
2. 第30層が北寄りに厚く、南に傾斜しながら、しだいに薄く堆積している。
3. 第29層が第30層の傾斜面にやや早く堆積している。
4. 第30層および第29層と第14層の間を10枚の薄い層が埋めている。

### U18区西壁の層序 (第6図) の特徴

1. 段丘疊層上面は南から北へやや傾斜している。
2. 段丘疊層上面から第27層までの各層の起伏が激しい。
3. 第21～27間層以上の層はほぼ安定した堆積状況を示している。
4. 第21層と第27層の間を第21～27間層としたのは、これらの土層の一部が基本層の第22～26層の一部の層に対応していることと、W19区の第22～26層の傾斜の延長上で最も低い位置にあることから、第22～26層の再堆積層である可能性があるのでこのように記載した。この層の層相は次のとおりである。

明黄褐色 (10YR 5%) の粘土を基層とし、明黄褐色 (10YR 5%) シルト質粘土、砂質シルト、浅黄色 (5YR 5%) シルトがレンズ状に入り込んでいる。全体にマンガン粒、石英粒を含む。

### W19区南壁の層序 (第9図) の特徴

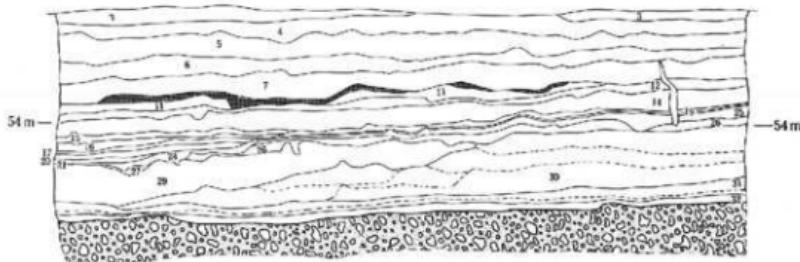
1. 疊層上面は東から西へ傾斜している。第32層から第10層の各層は、この傾斜にそって平行に傾斜している。
2. 第29層が東に薄く、西に厚く堆積している。

### 2. 遺物出土状況

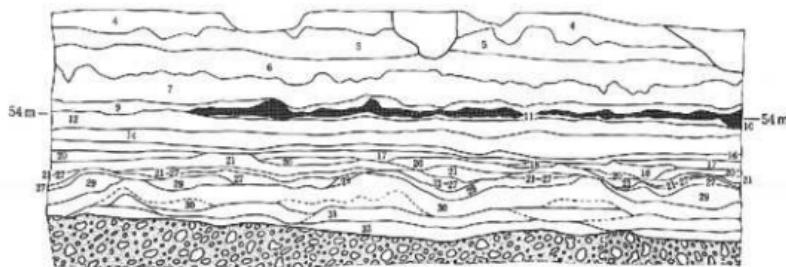
個々の遺物の属性観察結果は第1表でまとめて扱う。

#### 第1文化層 (第5層上面)

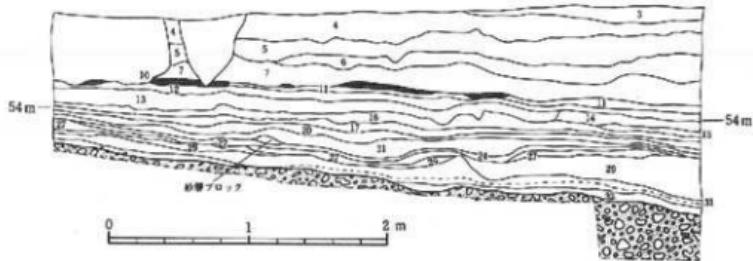
R17区、S・T19区、S・T17区、V・W18区、U18区で、尖頭器、石刃、石核、チップが総計30数点出土した。散漫な出土状況を示す。



第7図 W-19区西壁断面図



第8図 U-18区西壁断面図



第9図 W-19区南壁断面図

### 第2文化層（第6層上面）

N23区、R17区、S・T19区、S・S17区、V・W18区、U18区で、ナイフ形石器(?)、石斧、スクレイパー、石刀、剝片、チップが総計70数点出土した。石器は、S・T17区の南寄りとV・W18区の中央からやや西寄りとに、平面形が $3 \times 2$ mの楕円形状のまとまった出土状況を示す。

### 第3文化層（第7層上面）

N23区とU18区で総計6点出土した。石核、剝片、チップがある。

### 第4文化層（第8層上面）

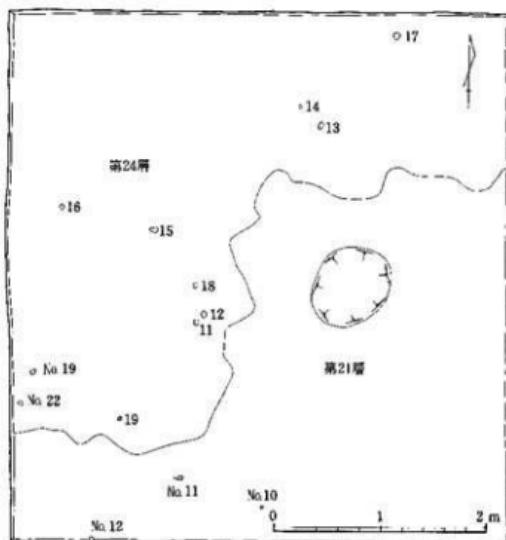
N23区で石斧が1点出土した。

### 第5文化層（第9層上面）

N23区で剝片が3点出土した。

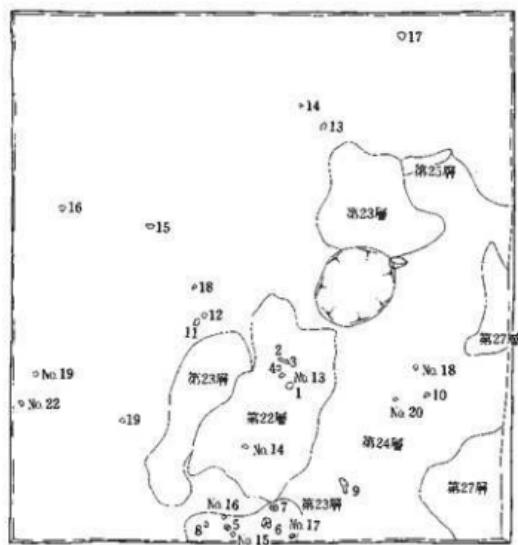
### 第6文化層（第21層上面、第24層上面の一部）

W19区で確認した。第20層を掘り上げた段階で、区の北西半分に24層が、南東半分に21層が分布した。この面は北及び北東方向から石器が分布する南西方向へ緩やかに傾斜している。その高低差は約35cmである。No19、No22の石器は第24層上面から出土し、No10、No11、No12の石器は第21層上面から出土した（第10図）。

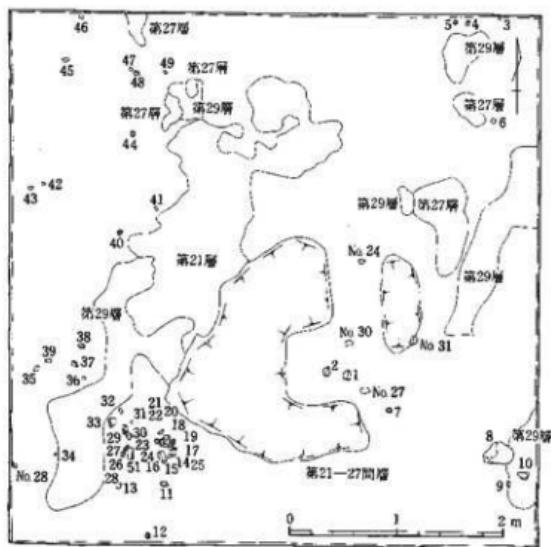


第10図 W-19区第6文化層

(註) 石器はNo付番号で、  
縦は某番号で示した。



第11図 W-19区第7文化層



第12図 U-18区第7文化層

第13図 W-19区第8文化層



第14図 W-19区第9文化層



#### 第7文化層（第22層上面、第23層上面、第24層上面の一部、第21—27間層上面）

W19区とU18区で確認した。

W19区では第21層を掘り上げた段階で、区の全面に24層が広がり、北東と南西を結ぶ部分に第22層、第23層が分布した。この面は北西方向から北東と南西を結ぶ部分に向って緩やかに傾斜し、再び東及び北東方向に高くなっている。前者の高低差は約30cm、後者は約20cmである。No13、No14の石器は第22層上面、No15、No16、No17の石器は第23層上面から、No18、No20、No21の石器は第24層上面から出土した（第11図）。No19、No22の石器は第6文化層にも含めて記載してあるが、それは今回の調査範囲で、これらの石器の帰属文化層を結論づける充分な資料が得られなかつたことによる。

U18区では第21層を掘り上げた段階で、第21—27間層がほぼ全面に分布した。No24、No27、No28、No30、No31の石器がこの層の上面から出土した。No28を除く石器は区の中央からやや南東寄りにまとまって出土した（第12図）。

#### 第8文化層（第27層上面）

W19区で確認した。第24層を掘り上げた段階で、区の北西半分に第29層、第30層が、南東半分に第27層が分布する。東寄りには第31層が見え出している。この面は区の北及び南東から南西に向って緩やかに傾斜している。No32、No33、No34、No35の石器が第27層上面から出土した（第13図）。

#### 第9文化層（第29層上面）

W19区で確認した。第27層を掘り上げた段階で、区の北西部に第30層、北西部と南半部に第29層が分布する。No36、No37、No38の石器が第29層上面から出土した（第14図）。

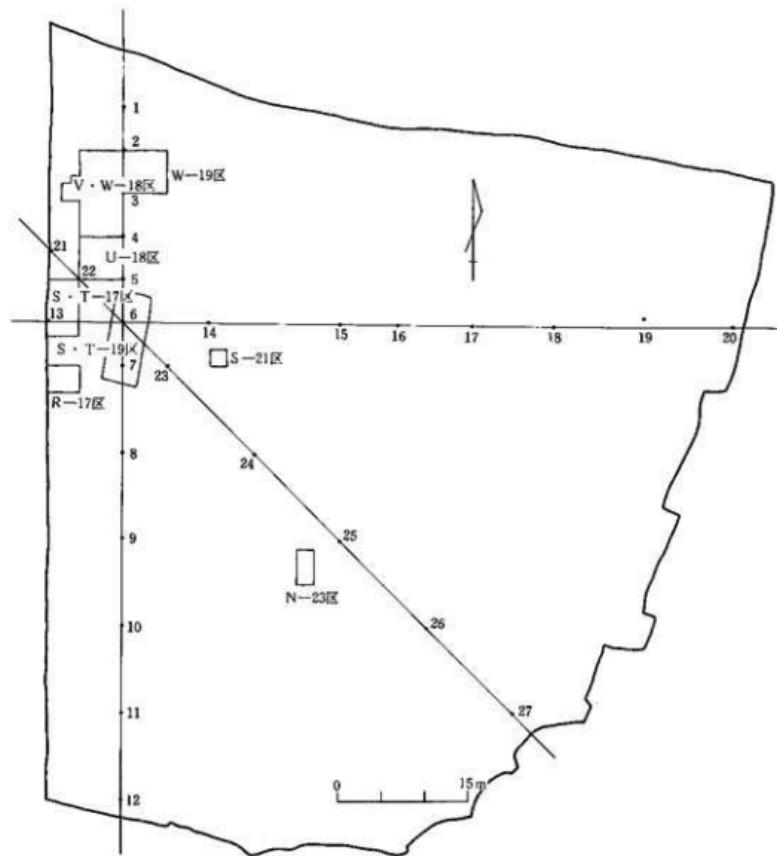
### （3）各層の微起伏調査

第1層から第33層の各層理面および段丘礫層面の微起伏を把握することを目的に、次の方法で行った。

調査手段として、刃先の直径10cmのポストホール型ハンドオーガーを用いた。台地を横断・縦断するように、東一西・南一北・北西一南東と3本のラインを設定し、その線上の22地点を調査した。第13図はその調査結果である。No.2・3・4・5・22の土壠柱状図は、U18区とW19区の発掘調査による層序である。試料の分析は基本層序に基づいたが、それに該当しない層には新たに番号を付し註記した。ハンドオーガーによって採集される試料は、刃先によって“乱した層”であることから細かい基本層との対比は困難であるが、特に10層および段丘礫層上面は特徴的な層相を持つことから、非常に有効であった。

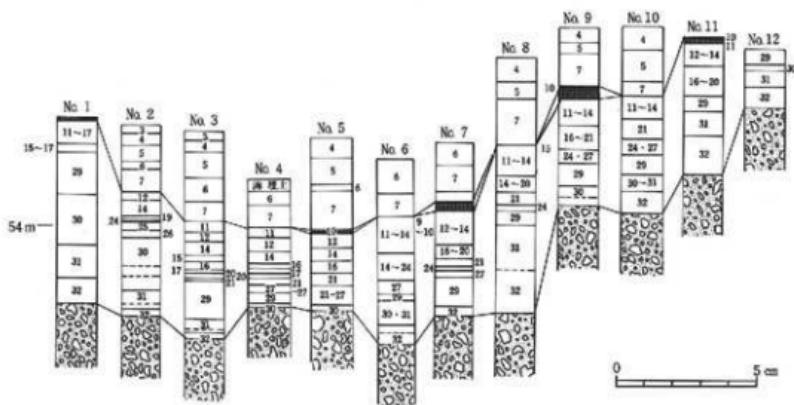
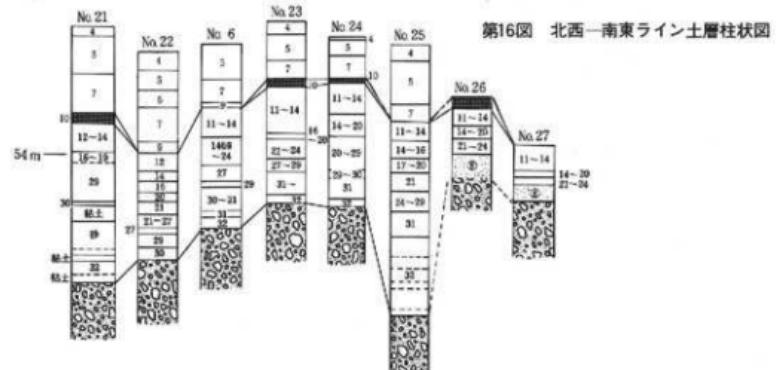
調査結果から次のことが明らかとなった。

1. 段丘礫層上面は巨視的に見てほぼ平坦である。しいて言えば、調査区の南半部と北西部がやや高く、U18区・W19区近辺がほんの少し低くなっている。さらに調査区中央よりやや北寄りの西方部から東方部に向かってしだいに低くなっている。
2. 第10層は段丘礫層面の微起伏とほぼ同じように堆積している。



第15図 旧石器調査区及びハンドオーガー調査地点

第16図 北西—南東ライン土層柱状図



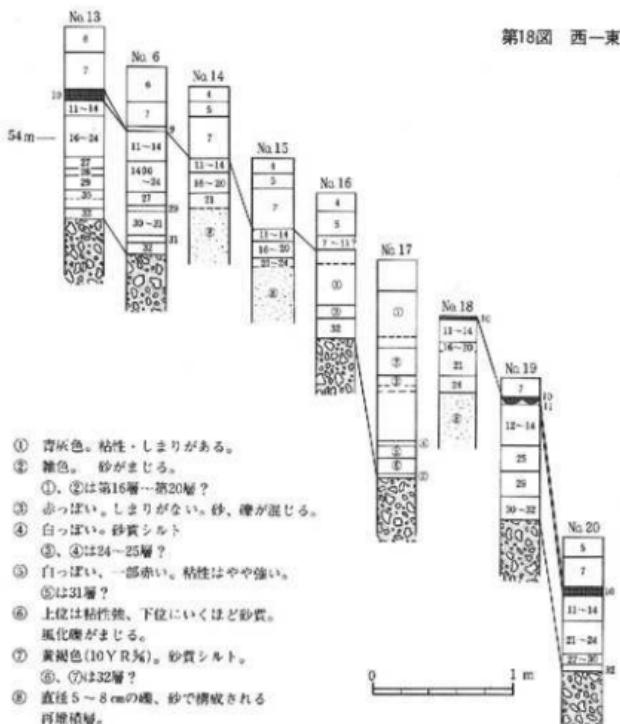
第17図 北—南ライン土層柱状図

#### (4) 旧石器の年代

今回の調査では、火山灰層中に第1～9の文化層が確認されたが、第6～9の文化層には約2.5～3.5万年前をさらに遡る年代が与えられた。3万年前を遡る文化の存在について諸説があるがここでは芹沢氏の時代区分（芹沢 1962）、に従って述べる。

第1～4の文化層は後期旧石器時代に属するものである。今から約3万年前後の年代が与えられる第5文化層出土の石器は剝片3点にすぎないが、それらの形態には次の特徴がある。第1に長さに対し幅が広い。第2に打角がやや大きく、背面に自然面を残すものがある。将来こ

第18図 西一東ライン土層柱状図



の時期の資料が豊富になれば、この石器の所属時代は自ずと決定されよう。第6~9の文化層は前期旧石器時代に属する。石器はいずれも粘土、シルト質粘土、シルト、砂層の層理面及び一部層中から出土した。石器と併出した礫とは明確に区別される。というのは、石器の石材は多様で、多くが礫と一致せず、礫は流水で搬入された円礫、亜円礫、風化の著しい円礫であるからである。また、各層の微起伏調査から礫が自然の荷力で破碎されることも考えられない。石器の出土量は総計30点ときわめて少ないが、次の特徴がある。石器の内容から第6~8の文化層出土石器と、第9文化層出土石器と二群に分けられる。前者には、背面の一部に自然面を残す剝片、剝片素材のポイント、礫および剝片素材のチョッピング・トゥール、スクレイパー、チップ、石核、節理面を残した礫、礫片を素材にした二次加工がある石器などがある。それらには交互剝離技術や両極剝離技術がみられる。後者には二次加工がある石器、剝片と剝片素材の大形で重量のある梢円形石器がある。前者は断片的に報告されている中部ローム中に包含さ

れていたという石器群に類似し、後者は早水台遺跡出土の石器に類似している。

これらの石器の年代を問題にする時、この段丘疊層の形成時期がかかるわってくるが、この段丘疊層に関して現在二つの考え方がある。即ちこれを上町段丘の段丘疊層（田山 1933、中川他 1960、1961）とするものと台ノ原段丘の段丘疊層とするもの（中川他1976）とである。中川（1961）によると、上町段丘は関東地方の武藏野段丘面に対比され、台ノ原段丘は下末吉段丘面に対比されている。町田・鈴木（1971）によれば、下末吉段丘面の形成時期はフィッシュン・トラックの年代測定により 12~13万年前とされ、また、杉原他（1972）や町田・鈴木（1971）にもとづけば、武藏野段丘面の形成時期は 5~10万年前と考えられている。今後山田上ノ台の段丘疊層の堆積時期が決定されれば、前期旧石器の年代も出土層準の位置からそれに近い年代が与えられることが予想される。

#### 引用・参考文献

- 相沢忠洋 1969 「岩宿の発見」
- 板垣直後・豊島正幸・寺戸恒夫 1981 「仙台およびその周辺地域に分布する洪積世末期のスコリア層」『東北地理』33巻1号。P. 48~53
- 杉原重夫・高原勇夫・細野衛 1972 「武藏野台地における関東ローム層と地形面区分についての諸問題」『第四紀研究』第11巻第1号。P. 29~39
- 芹沢長介 1962 「旧石器時代の諸問題」『日本歴史』P. 77~107。
- 芹沢長介 1965 「大分県早水台における前期旧石器の研究」『日本文化研究報告』1。P. 1~119
- 川山利三郎 1933 「北上山地の地形学的研究 其一 A. 仙台近傍の河岸段丘」『齊藤報恩会学術研究報告第17号』 P. 1~83
- 中川久夫 1961 「本邦太平洋沿岸地方における海水準静の変化と第四紀編年」『東北大学理学部地質学古生物学教室研究部文報告』第54号。P. 1~59
- 中川久夫・小川貞子・鈴木義身 1960 「仙台付近の第四系および地形(1)」『第四紀形研究』第1巻第6号。P. 219~227
- 中川久夫・相馬寛吉・石田琢二・竹内(小川)貞子 1961 「仙台付近の第四系および地形(2)」『第四紀研究』第2巻第1号。P. 30~39
- 中田高・大概憲四郎・今泉俊文 1976 「仙台平野西縁・長町一利府線に沿う新期地殻変動」『東北地理』第28巻第2号。P. 111~121
- 町田洋・鈴木正男 1971 「火山灰の絶対年代と第四紀後期の編年—フィッシュン・トラック法による試みー」『科学』第41巻。P. 263~270

表2表 U18区・W19区の第1～9文化層出土石器属性調査表

番号	区分	層位	高さ(m)	層	種	材	打削	長×幅×厚(㎜)	面	素面	石 材		考
											地質	地質	
N0.1	V18	5層上層	16	54.58	伴イント	石	刃	5.65×3.65×1.80	研削削調整	地質	石英安山岩が地化した	34.0	第7回
N0.2	V18	6層上層	18	54.48	伴イント	石	刃	2.50×2.60×0.68	研削	地質	地質	4.1	第7回
N0.3	R17	6層上層	9	54.97	スクレイバー(?)	石	刃	6.97×2.03×1.60	研削一端削り前後で二段階である	地質	地質	16.0	第7回
K0.4	N23	6層上層	3	54.39	鉈	石	刃	6.04×2.30×1.54	磨削等の表面加工がある	地質	地質	29.6	第7回
N0.5	N23	7層上層	8	54.37	剝	石	刃	3.10×1.84×0.96	研削	地質	地質	5.4	第7回
N0.6	N23	8層上層	11	54.17	鉈	石	刃	8.90×4.65×2.60	研削	地質	地質	85.1	第7回
N0.7	N23	9層上層	14	54.60	スクレイバー	石	片	4.90×4.14×1.04	研削	地質	地質	18.0	第8回
K0.8	N23	9層上層	13	54.64	鉈	石	刃	4.00×4.65×1.20	磨削等の表面加工がある	地質	地質	19.7	第8回
N0.9	N23	9層上層	12	54.63	スクレイバー	石	片	4.20×5.45×1.08	研削等の表面加工がある	地質	地質	21.2	第8回
N0.10	W19	21層上層	25.7	53.84	二次加工がある剝片	自然面	1.00×1.17×0.30	伴面が自然面	地質	地質	0.37	第8回	
N0.11	W19	21層上層	25.6	53.79	二次加工がある鉈	鉈	片	3.00×3.14×2.06	伴面の邊縁を素材にしている	地質	地質	36.2	第8回
N0.12	W19	21層上層	25.5	53.78	スクレイバー	鉈	片	4.90×3.65×1.40	一部研削	地質	地質	28.6	第8回
N0.13	W19	22層上層	26.2	53.84	鉈	石	刃	5.28×3.54×0.96	研磨等による表面加工がある	地質	地質	16.4	第8回
N0.14	W19	22層上層	26.3	53.79	スクレイバー(?)	鉈	片	4.58×2.78×0.96	一部研削、自然崩壊が原因にあら	地質	地質	9.4	第8回
N0.15	W19	23層上層	26.1	53.84	二次加工がある剝片	自然面	4.00×4.44×1.13	やや風化している。薄い部分	地質	地質	15.1	第8回	
N0.16	W19	23層上層	26.8	53.72	鉈	片	4.12×4.18×0.56	伴面が薄い部分	地質	地質	9.5	第8回	
N0.17	W19	23層上層	26.4	53.81	スクレイバー	鉈	片	4.30×2.72×1.20	一部研削	地質	地質	15.8	第8回
N0.18	W19	24層上層	25.9	53.89	スクレイバー+ボーリント	鉈	片	9.37×3.95×0.82	前面は研磨物か?	地質	地質	42.23	第9回
N0.19	W19	24層上層	25.3	53.84	二次加工がある剝片	鉈	片	7.76×2.88×1.51	板状の角部を素材にしている	地質	地質	34.3	第9回
N0.20	W19	24層上層	26.0	53.89	伴イント	鉈	片	3.50×2.90×0.75	やや風化している。薄い部分	地質	地質	4.9	第9回
N0.21	W19	24層上層	1	53.76	チヨビング・トゥール	鉈	片	10.44×6.50×1.40	伴面が薄い部分	地質	地質	291.6	第9回
N0.22	W19	24層上層	26.5	53.82	スクレイバー	鉈	片	4.62×3.78×0.56	一部研削	地質	地質	11.4	第9回
N0.23	U18	21層中	1.34	53.55	スクレイバー(?)	鉈	片	4.14×3.25×1.40	化している	地質	地質	17.9	第9回
N0.24	U18	21層中	0.8	53.47	伴イント	鉈	片	3.60×2.65×1.17	開拓不可視	地質	地質	11.7	第9回
N0.25	U18	21層中	4	53.47	伴イント	鉈	片	4.10×3.68×1.34	板状の角部を素材にしている	地質	地質	30.9	第9回
N0.26	U18	21層中	2.0	53.49	伴イント	鉈	片	4.26×3.47×1.40	板状の角部を素材にしている	地質	地質	48.6	第9回
N0.27	U18	21層中	7	53.45	伴イント	鉈	片	5.46×7.00×3.00	伴面等の表面加工を受ける	地質	地質	103.4	第9回
N0.28	U18	21層中	1	53.56	チヨビング・トゥール	鉈	片	3.30×6.20×1.50	伴面等の表面加工を受ける	地質	地質	30.5	第9回
N0.29	U18	21層中	1.35	53.48	チヨビング・トゥール	鉈	片	3.90×6.20×1.50	伴面等の表面加工を受ける	地質	地質	48.8	第10回
N0.30	U18	21層中	4	53.49	チヨビング・トゥール	鉈	片	5.20×6.50×2.08	板状の角部を素材にしている	地質	地質	121.8	第10回
N0.31	U18	21層中	6	53.48	チヨビング・トゥール	鉈	片	7.60×7.07×4.66	新規作成面は一面である	地質	地質	237.6	第10回
N0.32	W19	27層上層	24	53.38	石	種	刃	4.00×4.14×1.70	刀頭を素材にしている	地質	地質	18.7	第10回
N0.33	W19	27層上層	27.3	53.81	チヨビング・トゥール	鉈	片	2.07×7.00×0.50	地質	地質	2.1	第10回	
N0.34	W19	27層上層	26.6	53.38	チヨビング・トゥール	鉈	片	3.07×2.10×1.00	地質	地質	6.4	第10回	
N0.35	W19	27層上層	2.2	53.74	二次加工がある剝片	鉈	片	11.60×6.60×4.90	板状の角部を素材にしている	地質	地質	315.9	第10回
N0.36	W19	28層上層	27.0	53.82	袖内形容器	鉈	片	6.65×8.80×3.30	直角な突起部が削り落とされている	地質	地質	235.4	第10回
N0.37	W19	28層上層	27.1	53.87	円筒形石器	鉈	片	4.65×3.56×1.00	直角な突起部が削り落とされている	地質	地質	191.6	第10回
N0.38	W19	28層上層	27.6	53.87	二次加工がある剝片	鉈	片	9.00×6.70×4.10	直角な突起部が削り落とされている	地質	地質	33.9	第10回
N0.39	W19	31層中	27.4	53.67	-	-	-	-	-	-	-	158.0	第10回

はその付土層等から第21-22剖層上面に帶びるものと考えられる。

第3表 U18区・W19区の第6～9文化層出土礫石質鑑定表

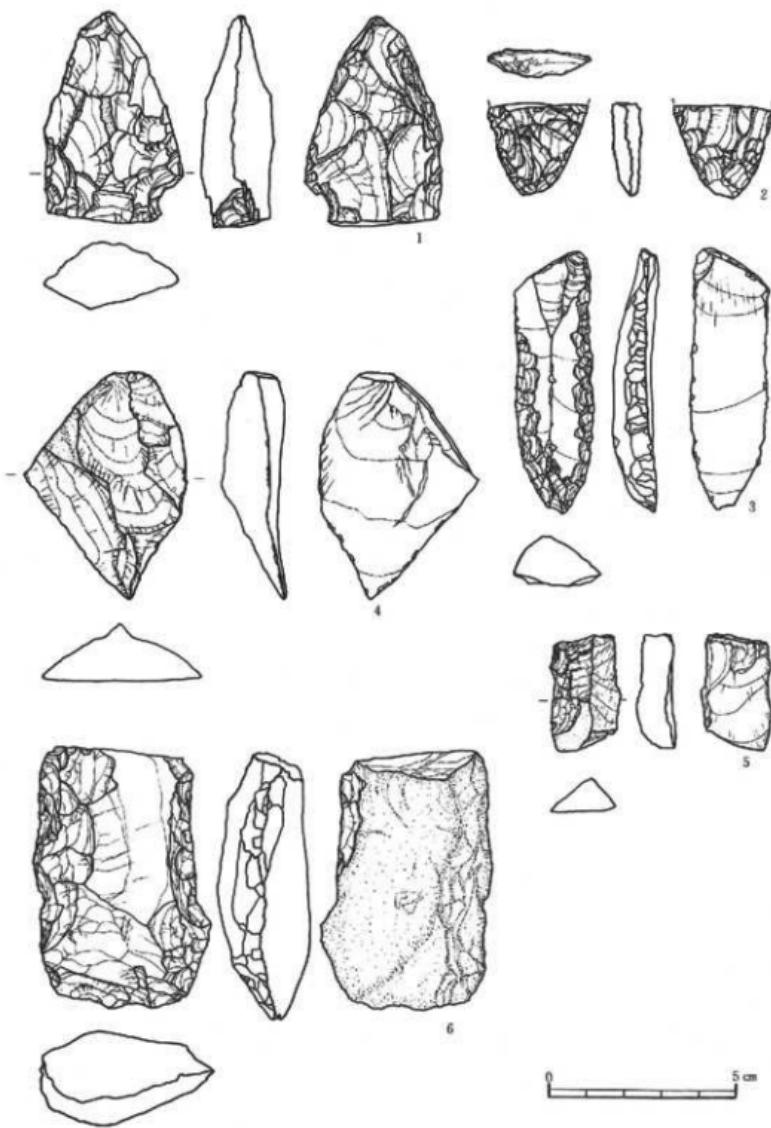
番号	標高(m)	層位	石	質	水の作用	番号	標高(m)	層位	石	質	水の作用	番号	標高(m)	層位	石	質	水の作用	
1	55.300	22層上面 27	完全に風化した安山岩	○	18	53.500	21層上面 27	燧灰岩	△	35	53.530	21層上面 27	石	質	水の作用			
2	55.390	21層上面 27	完全に風化した安山岩	○	19	53.500	21層上面 27	風化した安山岩	△	36	53.465	21層上面 27	石	質	水の作用			
3	55.550	21層上面 27	鈍粒砂岩	○	20	53.500	21層上面 27	(未確定)	△	37	53.490	21層上面 27	玄武岩 or 安山岩	△	38	53.515	21層上面 27	風化した安山岩
4	53.550	21層上面 27	細粒砂岩	○	21	53.495	21層上面 27	風化した安山岩	△	39	53.535	21層上面 27	燧灰質細粒砂岩	○	40	53.530	21層上面 27	風化をうけた燧灰岩
5	53.540	21層上面 27	風化した安山岩	○	22	53.460	21層上面 27	風化をうけた安山岩	△	41	53.460	21層上面 27	風化した安山岩	△	42	53.530	21層上面 27	流紋岩
6	53.520	21層上面 27	鈍粒砂岩?	○	23	53.495	21層上面 27	風化をうけた安山岩	○	43	53.540	21層上面 27	燧灰質砂岩?	○	44	53.545	21層上面 27	風化した安山岩
7	53.500	21層上面 27	風化した安山岩	△	24	53.495	21層上面 27	風化した安山岩	○	45	53.510	21層上面 27	風化した安山岩	○	46	53.510	21層上面 27	燧灰質砂岩
8	53.500	21層上面 27	燧灰質角巖	○	25	53.510	21層上面 27	安山岩	○	47	53.540	21層上面 27	燧灰質砂岩?	○	48	53.545	21層上面 27	風化した安山岩
9	53.490	21層上面 27	燧灰質(細粒)	○	26	53.500	21層上面 27	風化した安山岩	△	49	53.510	21層上面 27	風化した安山岩	○	50	53.520	21層上面 27	完全に風化した安山岩
10	53.540	21層上面 27	完全に風化した安山岩	○	27	53.510	21層上面 27	安山岩	○	51	53.510	21層上面 27	完全に風化した安山岩	○	52	53.510	21層上面 27	完全に風化した安山岩
11	53.510	21層上面 27	燧灰岩	○	28	53.525	21層上面 27	風化した安山岩	△	53	53.510	21層上面 27	燧灰質角巖	○	54	53.510	21層上面 27	燧灰質角巖
12	53.530	21層上面 27	?	○	29	53.490	21層上面 27	安山岩	○	55	53.510	21層上面 27	燧灰質角巖	○	56	53.510	21層上面 27	燧灰質角巖
13	53.530	21層上面 27	完全に風化した安山岩	○	30	53.500	21層上面 27	風化した安山岩	△	57	53.490	21層上面 27	燧灰質角巖	○	58	53.510	21層上面 27	燧灰質角巖
14	53.490	21層上面 27	風化した安山岩	△	31	53.490	21層上面 27	*	△	59	53.450	21層上面 27	風化した安山岩	○	60	53.510	21層上面 27	完全に風化した安山岩
15	53.500	21層上面 27	完全に風化した安山岩	○	32	53.505	21層上面 27	*	△	61	53.510	21層上面 27	?	○	62	53.510	21層上面 27	完全に風化した安山岩
16	53.465	21層上面 27	*	○	33	53.505	21層上面 27	*	○	63	53.520	21層上面 27	石	質	水の作用			
17	53.495	21層上面 27	*	○	34	53.510	21層上面 27	注	○	64	53.510	21層上面 27	完全に風化した安山岩	△	65	53.510	21層上面 27	完全に風化した安山岩

W19区

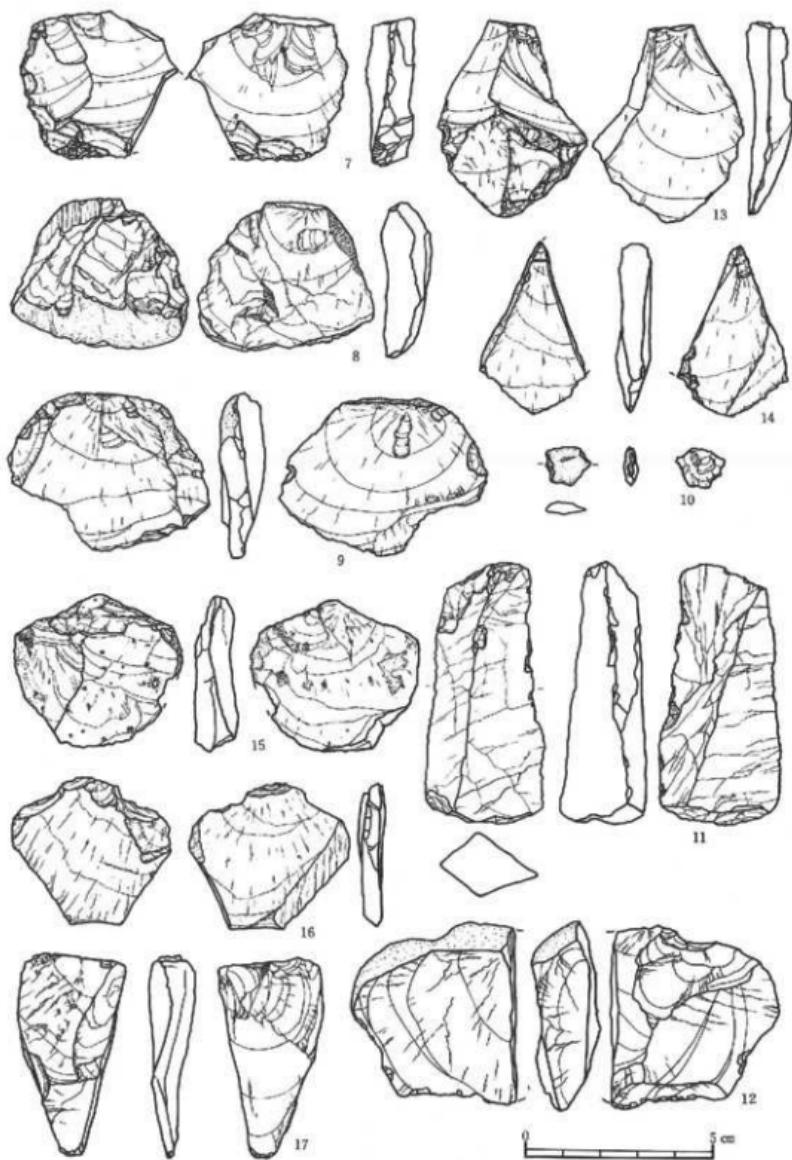
番号	標高(m)	層位	石	質	水の作用	番号	標高(m)	層位	石	質	水の作用	番号	標高(m)	層位	石	質	水の作用		
1	53.860	22層上面	燧灰岩	-	○	12	53.500	24層上面	鈍粒燧灰岩	○	23	53.820	29層上面	石	質	水の作用			
2	53.890	22層上面	珪質砾岩	-	○	13	54.010	24層上面	矽粒砂岩	○	24	55.420	29層上面	石	質	水の作用			
3	53.890	22層上面	*	○	14	54.020	24層上面	珪質貝岩	○	25	53.850	29層上面	火 山 岩	○	26	53.860	29層上面	硅 质 岩	
4	53.880	22層上面	珪質砂岩	-	○	15	54.000	24層上面	矽粒砂岩	○	27	53.900	29層上面	?	○	28	53.880	29層上面	硅 质 岩
5	53.740	23層上面	流紋岩	-	○	16	53.960	24層上面	燧灰岩	○	29	53.780	29層上面	珪 质 岩	○	30	55.414	29層上面	硅 质 岩
6	55.420	23層上面	未 硬 化	-	○	17	54.060	24層上面	矽粒砂岩	○	31	53.690	29層上面	安 山 岩	○	32	53.860	29層上面	珪 质 岩
7	55.419	23層上面	未 硬 化	-	○	18	53.950	24層上面	珪質砂岩	○	33	55.414	29層上面	火 山 岩	○	34	55.414	29層上面	硅 质 岩
8	53.870	23層上面	安山岩 or 玄武岩	-	○	19	53.830	24層上面	珪質貝岩	○	35	53.860	29層上面	硅 质 岩	○	36	53.860	29層上面	硅 质 岩
9	53.740	24層上面	風化した安山岩	△	20	53.970	27層上面	珪化した砾灰岩	○	37	53.840	29層上面	火 山 岩	○	38	53.840	29層上面	珪 质 岩	
10	53.685	24層上面	褐 灰 岩	-	○	21	55.414	27層上面	*	○	39	53.840	29層上面	火 山 岩	○	40	53.840	29層上面	硅 质 岩
11	53.890	24層上面	珪 貝 岩	-	○	41	53.890	29層上面	珪質貝岩	○	42	53.890	29層上面	火 山 岩	○	43	53.890	29層上面	硅 质 岩

注) 水の作用による礫表面の変化的程度の強弱を○、△、×印で示した。○印は最も強い作用、△印は中程度の作用、×印は水の作用を受けないものを示している。

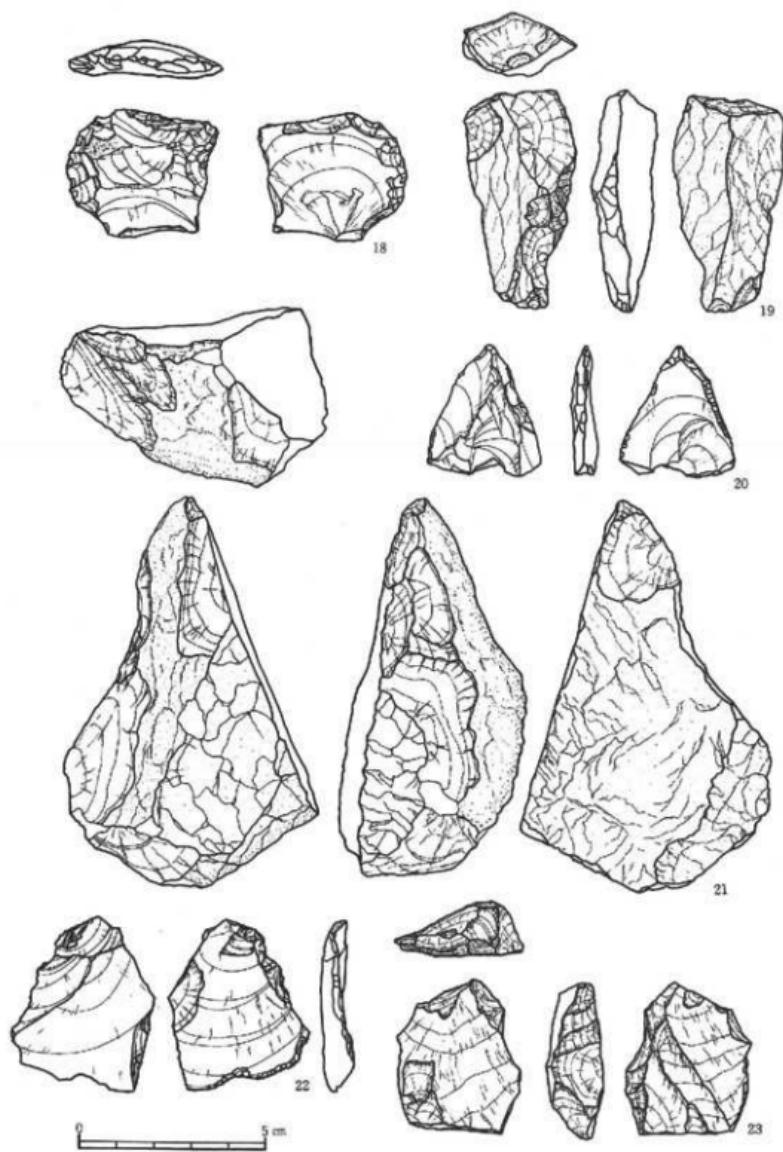
U18区



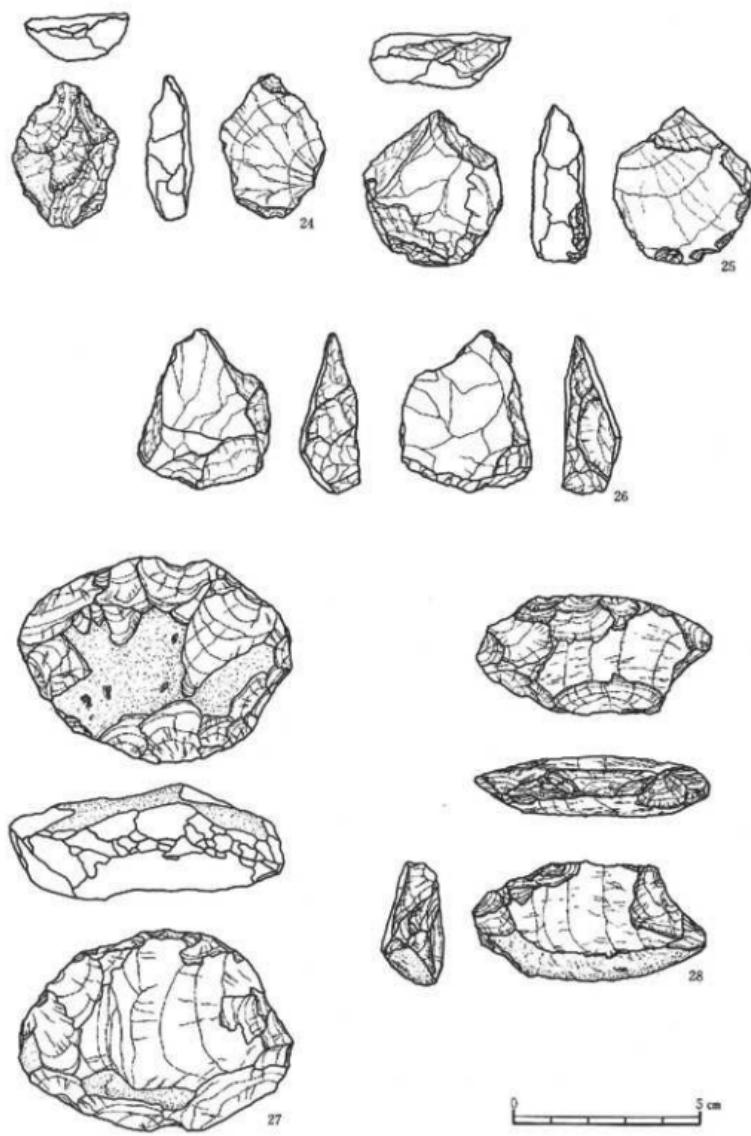
第19図 第5・6・7・8層上面出土石器



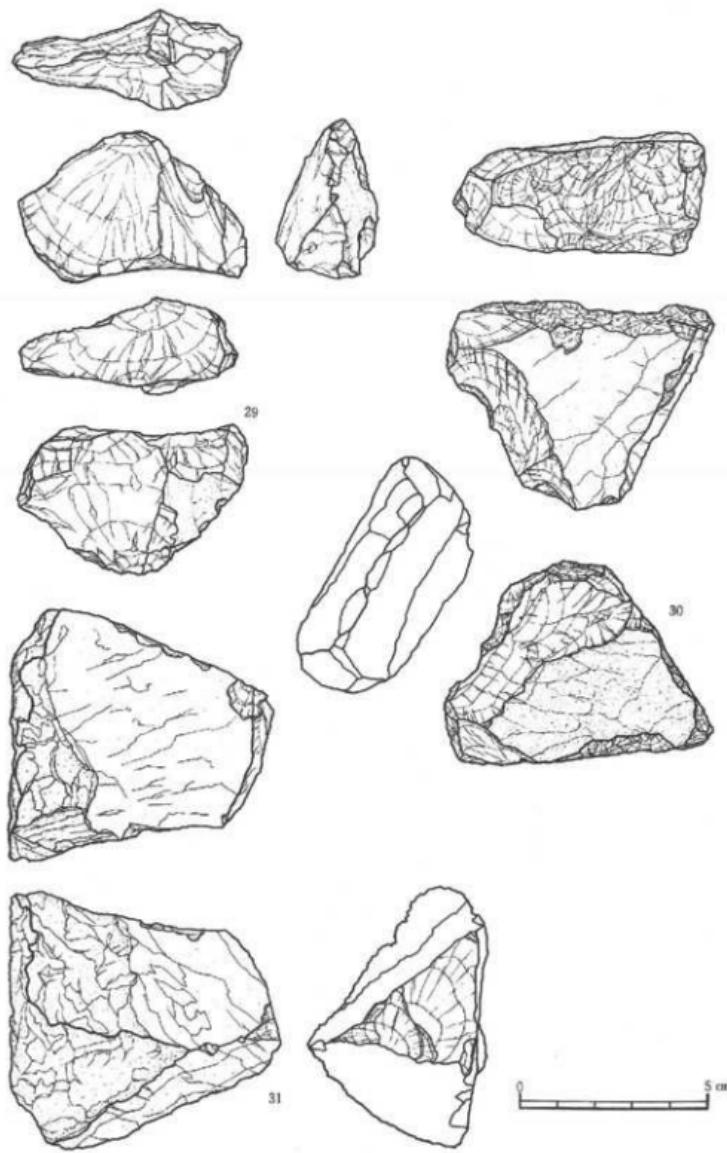
第20図 第9・21・22・23層上面出土石器



第21圖 第24層上面・第21層中出土石器

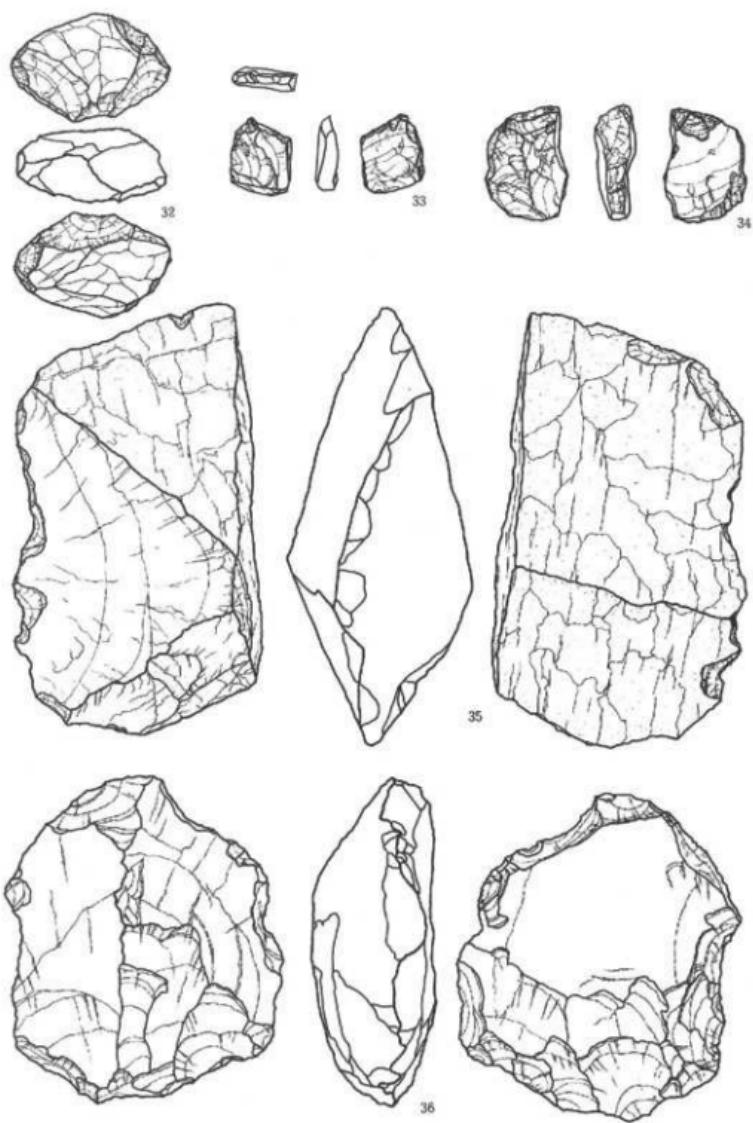


第22圖 第21—27層上面出土石器



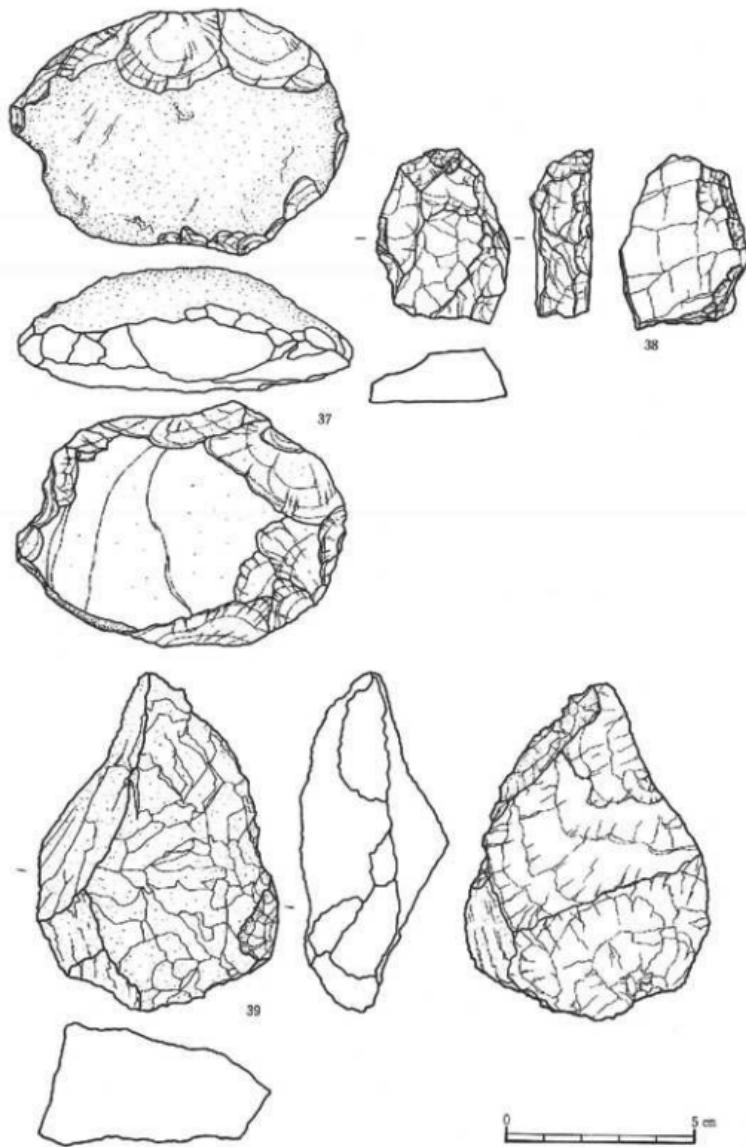
第23圖 第21—27層上面出土石器

5 cm



第24図 第27層上面・第29層上面出土石器

0 5 cm



第25圖 第29層上面・第31層中出土石器

## VII. 縄文時代の遺構と出土遺物

今回の調査の結果、竪穴住居跡や土壤、窓穴遺構、埋設土器、遺物包含層などの遺構と、縄文土器、土製品、石器、石製品などの遺物が発見された。

窓穴住居跡は、調査地区の南東部から南西部の台地周辺部に分布している。土壤は調査東区のほぼ全域に見られるが、住居跡の分布に重複するか、その周辺、特に南西部に集中する傾向がみられる。窓穴遺構は調査区北東部にあり、埋設土器は南半部に点在するが、東区西側遺物包含層と重複するものも見られる。遺物包含層は調査東区西側、北側、西区の西側の3ヶ所で検出されている。東区西側遺物包含層は調査地区ほぼ中央部に位置しており、遺跡内平坦部からやや北西方向へ傾斜する緩い斜面に形成されている。北側谷部遺物包含層は調査地区北東部に延びる浅い谷部に形成されている。西区西側遺物包含層は西区中央部から西側へ広がっている。

以上のように縄文時代の遺構は、調査地区中央部の平坦部の東側から南西の周辺部に竪穴住居跡が分布し、土壤群は南西部に集中するが、全体に分布し、窓穴遺構、埋設土器は調査区内に散在し、北東部から中央部、南半部にかけて遺物包含層が形成されている。という分布状況を示している。

しかし、調査西区では遺構確認調査のみで掘り込み精査は一切行なっていない。そのためには本項では、西区確認遺構及び出土遺物は、一括して記載することとする。

また、縄文時代早期の土器群については、遺構の時期を反映するものと考えなければ判断されないため、遺構から切り離して一括して記載することとする。

出土遺物の社記表における、「出土層位」の項については、「○層」と記載されているもの及び、「層 No. ○」と記載されているものがある。これは、前者については、遺物取り上げの際の記録に大別層名が記載されたのみで、細別層名が不明のもの、あるいは、大別層名が単層で、細別されないものであり、後者については、同様に細別層名の記載があり、細別層が確認できたものである。

### 1. 竪穴住居跡

縄文時代の竪穴住居跡は、38軒確認されている。このうち東区では22軒が確認され、掘り込み精査を行っている。この38群のうち、東区で3軒、西区で3軒の6軒では、住居の炉跡のみが検出され、窓穴住居跡の平面プラン及び住居跡の施設については不明であるが、ここでは一軒の住居跡として取り扱った。

尚、住居跡番号の後の（ ）内の名称は、調査時に呼称していた住居跡の旧名称である。

### 1号住居跡 (N-31b住居跡)

**遺構の確認**：M・N-30・31に位置し、24号 (N-31a) 住居跡の床面下で遺構西半部が確認された。住居跡が調査区外へ延びており、かは調査区内で検出されず不明である。

**重複・改築**：24号住居跡に切られており、本住居跡の方が古い。また、位置的に4号溝との切合関係も考えられるが不明である。

**規模・平面形**：遺構の東側は、調査区外に延びており、全体の規模、平面形は不明であるが、検出部分より径4.2m程度の円形を基調とした平面形であると推定される。

**竪穴層位**：1層しか残存しない。

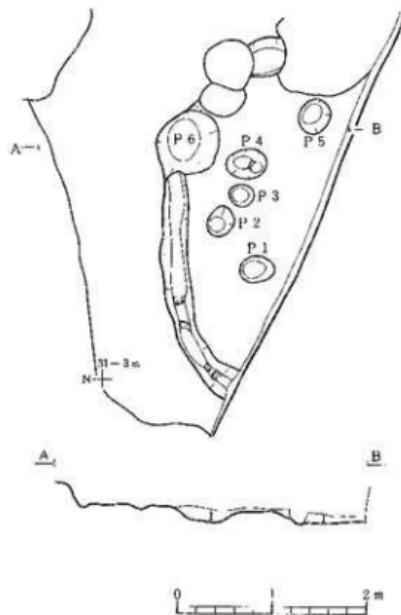
**壁**：第5層を壁としている。3~10cmが残存している。床面から急な角度で立ち上がっている。

**床面**：ほぼ平坦で堅い。全体に東側に傾斜している。第5層を直接床としているか、掘り方埋土の上面を床としているかは、断ち割り等の精査を行なっていないため不明である。

**周溝**：24号住居跡のピットに切られている部分、及びピット6の部分を除いてほぼ全周している。幅20~40cm、深さ10~19cm、断面形「U」字形である。底面レベルは一定ではない。

**柱穴**：床面で6個のピットが検出された。いずれも掘り方のみで柱痕跡は認められなかった。住居跡全体のピット配置が不明であるため、柱穴となるピットは不明である。

**遺物の出土状況**：住居跡堆積土中より繩文土器、石器が出土している。またピット2より石甃が出土している。



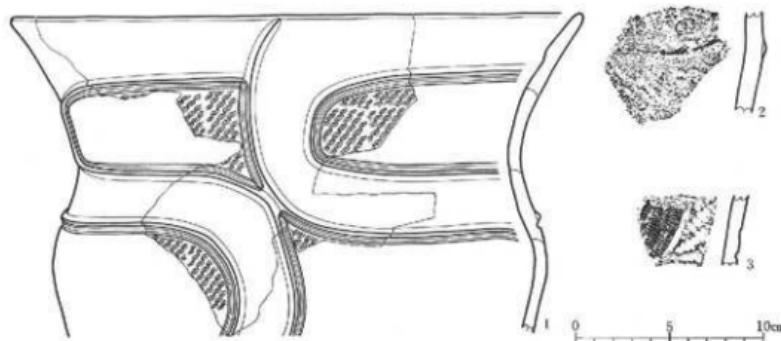
1号住居跡 (N-31b住居) 土層註記表

層名	上	中	下
1	地 面 7.35m A/G	粘土質シルト	ローム粘土

1号住居跡ピット

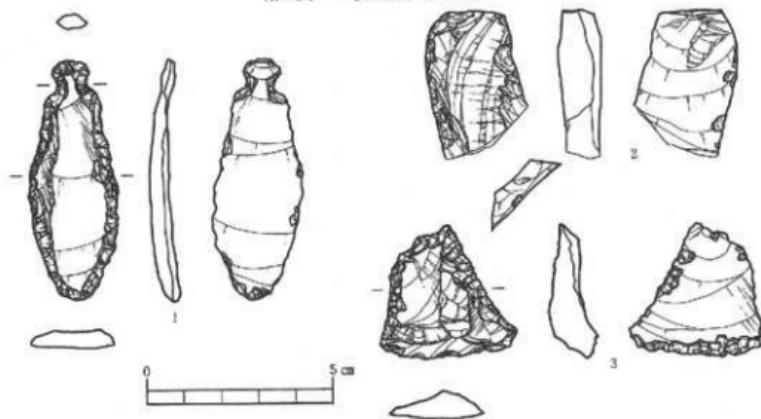
No.	1	2	3	4	5	6
形状	横円	横円	円	横円	円	円
深さ	20	31	37	17	37	18

第26図 1号住居跡



No.	測定位	形	外観	内観	分類	備考
1	堆積土	深鉢	縦縞文・沈縞文・RL横縞文+凹十	凹十(模)	XSA	
2	堆積土	深鉢	縦縞文・平網縞文	マメツ	X	
3	堆積土	深鉢	沈縞文・RL横縞文	凹十(模)	X	

第27図 1号住居跡出土土器



No.	種別	測定位	長×幅×厚(mm)	重量(g)	石種	使用痕	備考
1	刃	P'2	64.39×23.80×9.95	9.05	—	—	
2	スクレイパー	堆積土	(40.00)×(30.75)×11.60	11.60	—	—	
3	スクレイパー	堆積土	35.35×35.80×11.35	8.85	青石	—	

第28図 1号住居跡出土石器

第4表 1号住居跡出土土器破片集計表

分類	出土位置		堆積土	計
	A	B		
体部	4	15	15	40
合計	21	21		40
合計	40	40		40

第5表 1号住居跡出土石器集計表

分類	出土位置		堆積土	ピット2	合計
	A	B			
石	1	1	1	1	1
スクレイパー	1	1	1	1	1
二次加工のある剥片	1	1	1	1	1
剥片(チップ含)	3	5	1	6	3
小計	4	4	4	4	4
合計	9	1	1	10	10

## 2号住居跡 (M-30住居跡)

遺構の確認：L・M-29・30に位置し、第4層上面で確認された。

重複・改築：53号・56号土壤に切られており、本住居跡の方が古い。周溝が2条検出されていること、柱穴に重複関係が認められること、炉が新旧の2基検出されていることなどから、本住居跡は拡張されたものであると考えられる。

規模・平面形：長軸5.95m、短軸5.28m、円形である。拡張前の規模は、長軸9.00mm、短軸4.73mmの円形であると推定される。

竪穴層位：6層に大別される。いずれも自然堆積である。

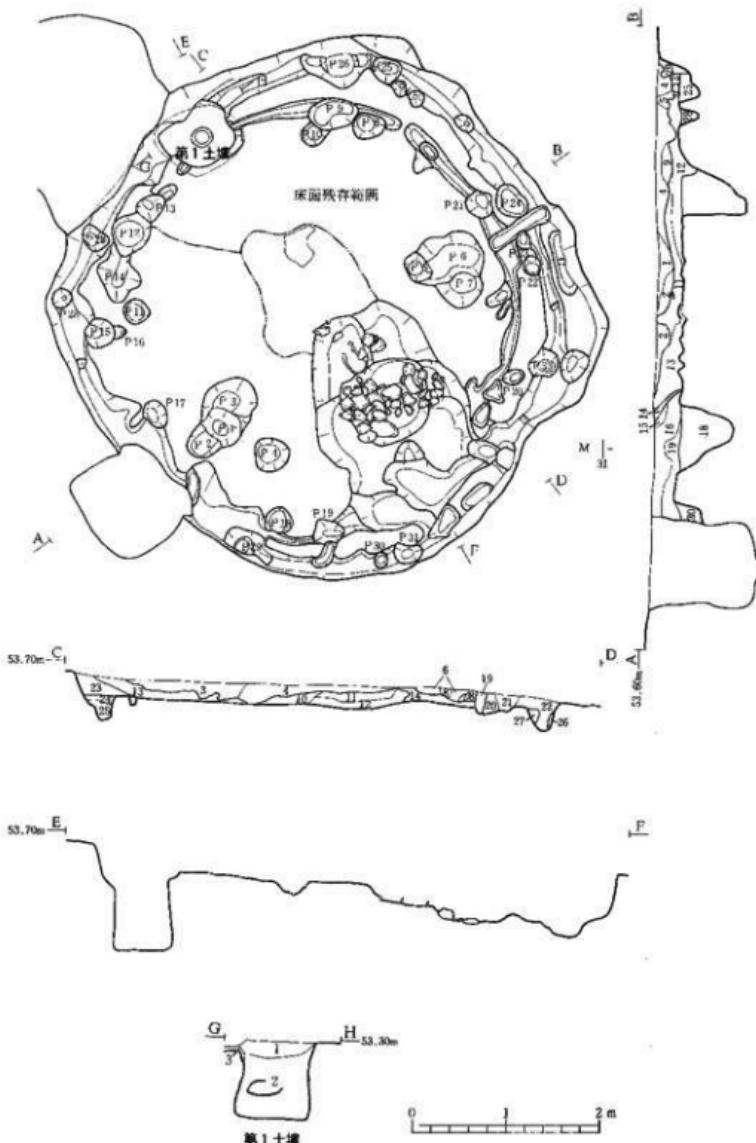
壁：第4層、第5層を壁としている。13~45cm 残存している。床面から急な角度で立ち上がっている。

床面：堅くしまっているが凹凸がみられる。床面レベルはほぼ一定である。住居跡東側から北側では、掘り方埋土上面を床面としている。西側では第5層を直接床面としている。この部分では疊層が露出している部分がある。

周溝：炉の部分を除いて全周している。また、住居跡西側を除いて2条検出されている。外側は、幅15~40cm、深さ7~25cm、断面形「U」字形である。底面レベルはほぼ一定である。周溝内で10個のピットが検出されている。内側のものは、幅8~25cm、深さ5~10cm、断面形は「U」字形である。底面レベルはほぼ一定である。周溝内より8個のピットが検出されている。柱穴：住居跡内より、炉を中心として34個のピットが検出された。いずれも掘り方のみで柱痕跡は認められなかった。柱穴としてピット47、10、11およびピット1、6、9、12が考えられ、前者は内側の周溝に伴う柱穴であり、後者は外側の周溝に伴う柱穴と考えられる。また、外側の周溝に伴う柱穴に、ピット19、32が組み合う可能性もある。ピットの規模、深さ配置等から、ピット2、5、26、27、29、33も柱穴となり得る可能性がある。

2号住居跡ピット

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
形状	円	椭 圆	円	円	椭 圆	椭 圆	椭 圆	円	椭 圆	円	円
深さ	75	46	55	64	65	63	67	19	45	20	30
No.	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
形状	円	U	不規	円	円	椭 圆	円	椭 圆	円	円	円
深さ	46	60	28	22	30	42	28	30	12	21	33
No.	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
形状	円	椭 圆	椭 圆	椭 圆	円	椭 圆	円	椭 圆	円	円	円
深さ	20	27	23	43	16	24	35	20	26	25	28
No.	34										
形状	円										
深さ	25										



**炉**：住居跡内より2基の炉が検出された。1号炉が2号炉を切っている。

#### <1号炉>

(位置・方向) 住居跡南東部に位置し、2号炉を切って構築されている。掘り込みの端は住居壁の一部となっている。炉の長軸方向はN-30°-Wである。

(規模・平面形) 最大長265m、最大幅160cmのダルマ形である。

(構造) 土器埋設石囲部、敷石石組部、掘り込み部からなる複式炉である。

七器埋設石囲部・長さ65cm、幅135cmである。径25cmの埋設土器のみが残存する。石囲部分は破壊されている。掘り方に石が1個のみ検出された。掘り方先端部に土器片が埋設されており、埋設土器は複数であった可能性がある。

敷石石組部・長さ75cm、幅160cmである。底面及び側壁の下半部のみにしか石が残存せず、石組部の平面形は不明である。住居跡床面より敷石底面まで深さは44cmである。

掘り込み部・長さ125m、幅150cmの長方形である。掘り込み部底面は住居床面より30~60cm低く、敷石石組部との境と住居跡壁際で浅くなっている。

(使用痕跡) 残存する敷石石組部側面及び底面の石は赤変しており、火熱を受けた痕跡がみられる。

(構築方法) 炉全体の掘り方に、土器埋設石囲部では土器が埋設されている。石囲部は破壊されているため不明である。敷石石組部では、理土の上に石がのっている。底面の石の上に側壁の石がのっている。側壁部分は残存するもので2~3段に積まれている。破壊されているため、それ以上の詳細は不明である。

#### <2号炉>

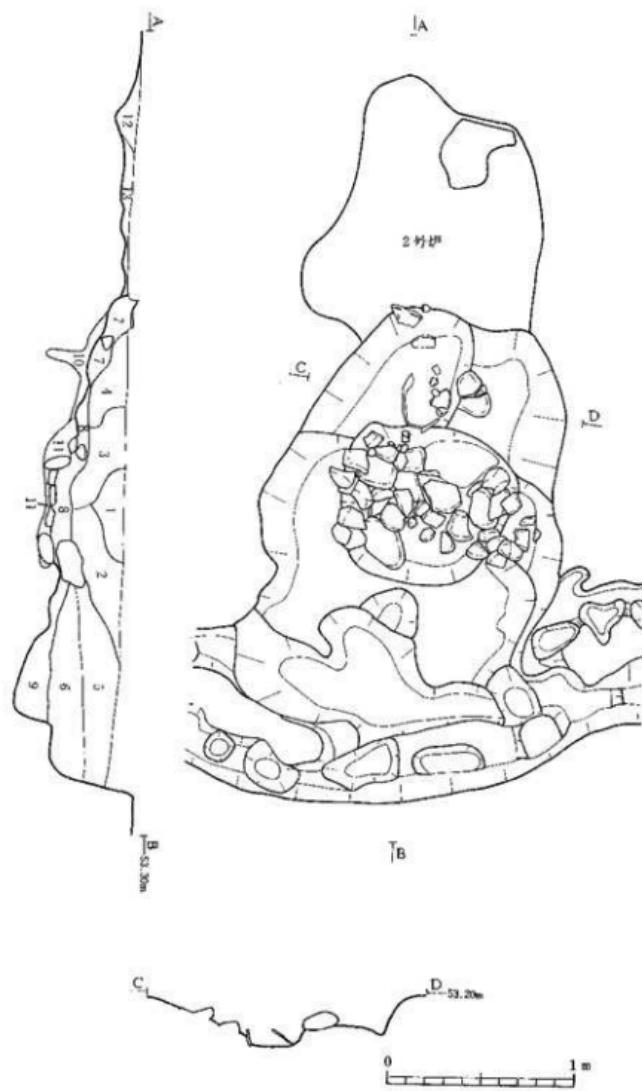
(位置・方向) 1号炉に切られている。住居跡中央部に位置している。本来は住居跡拡張前の壁に達していたものと思われる。長軸方向はN-34°-Wである。

(規模・平面形) の残存部分の長さ120cm、最大幅125cmの横円形である。先端部から内側の周溝の推定ラインまでの長さは、3.15mである。掘り込み精査を行っていないため、その他の詳細は不明である。

その他の施設：住居跡床面を検出する段階で、住居跡北西部壁側に陶丸の長方形の土壙が検出された。規模は上面で最大長75cm、最大幅60cm、底面で最大長85cm、最大幅70cm、床面からの深さ87cmである。床面は平坦であるが、中央部に径20cm、深さ15cmのピットがある。底面より25cm程のところに完形の深鉢形土器が、ころがり込んだような状態で出土している。この土壙は、その出土土器の特徴から住居跡の時期よりも新しいものである可能性もある。

遺物の出土状況：住居跡堆積土中及び住居跡内施設より、繩文土器、石器が出土している。堆積中の遺物は、各層毎に取り上げられておらず、各層に分けられなかったものを、堆積土中出

土として一括した。特に住居内土壤より深鉢形土器が、横位にころがり込んだ状態で出土している。その他に炉の埋設土器がある。



第30図 2号居住跡・炉跡

2号住居跡（M-30住居）土層註記表

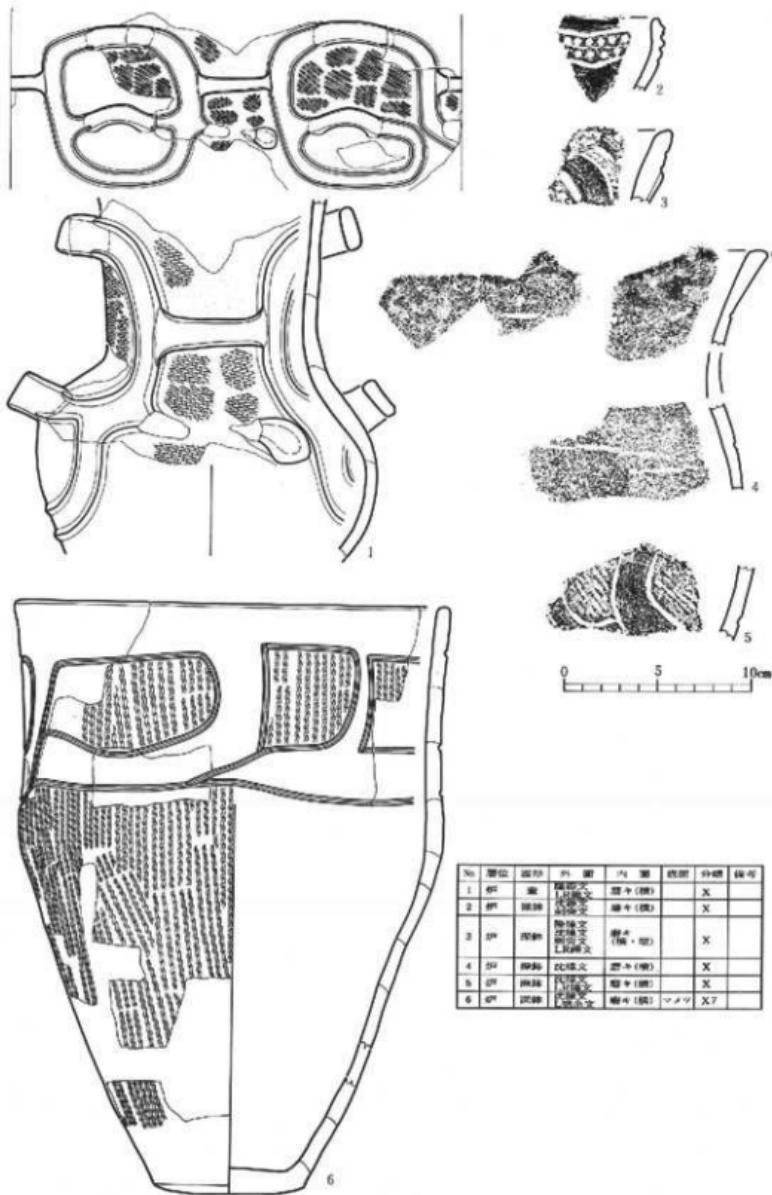
部位	層名	土 色	土 性	備考
1	1 残 砂 7.5YR3/3	シルト	風化砂多量、炭化物少額、火山灰較少量含む	
	2 残 砂 7.5YR4/4	シルト	風化砂多量、炭化物少額、火山灰較少量含む	
	3 残 砂 7.5YR3/3	シルト	風化砂少額、炭化物少額、火山灰較少量含む	
	4 残 砂 7.5YR4/3	シルト	風化砂少額、炭化物多量、火山灰較多量含む	
	5 残 砂 10YR3/3	シルト	風化砂多量のロームを夾成様に含む	
	6 残 砂 7.5YR4/4	シルト	風化砂・火山灰較少量含む	
2	7 残 砂 7.5YR4/4	シルト	風化砂多量、炭化物少額、火山灰較少量含む	
	8 残 砂 7.5YR3/4	シルト	風化砂少額、炭化物少額、火山灰較少量含む	
3	9 残 砂 7.5YR4/4	シルト	風化砂多量、炭化物少額、火山灰較少量含む	
10	10 残 砂 10YR4/4	シルト	風化砂少額、火山灰較少量含む	
4	11 残 砂 10YR3/4	シルト	風化砂少量、火山灰較少量、炭化物微量に含む	
	12 残 砂 7.5YR3/3	シルト	風化砂少量、火山灰較多量、炭化物微量に含む	
5	13 残 砂 7.5YR4/3	シルト	風化砂少額、火山灰較多量、炭化物微量に含む	
6	14 残 砂 7.5YR4/3	シルト	風化砂少額、火山灰較多量、炭化物微量に含む	
	15 残 砂 10YR3/3	シルト	風化砂少額、火山灰較少量、礫十数粒に含む	
7	16 残 砂 7.5YR4/3	シルト	風化砂多量、火山灰較頗る量、炭化物微量に含む	
8	17 残 砂 7.5YR4/6	シルト	風化砂多量、火山灰較少量、炭化物微量に含む	
	18 残 砂 7.5YR4/4	シルト	風化砂多量、火山灰較少量、炭化物微量に含む	
9	19 残 砂 7.5YR4/4	シルト	風化砂多量、火山灰較少量、炭化物微量に含む	
10	20 残 砂 7.5YR4/3	シルト	火山灰較量、炭化物微量に含む	
	21 残 砂 7.5YR4/6	シルト	火山灰較少量含む	
11	22 残 砂 7.5YR2/4	シルト	火山灰較少量、風化砂、炭化物少額含む	
	23 残 砂 7.5YR3/4	シルト	風化砂微量に含む	
12	24 において黄褐色 10YR4/3	シルト	風化砂、ロムブロック含む	
	25 残 砂 10YR4/4	シルト	炭化物微量に含む	
13	26 明黄色 10YR7/6	シルト	褐色土逐粒状、黃化物微量に含む	
	27 残 砂 10YR4/4	シルト	褐化物、煙土微量に含む	
14	28 残 砂 7.5YR4/4	シルト	風化砂微量に含む	
	29 において黄褐色 10YR4/3	シルト	風化砂、炭化物微量に含む	
15	30 残 砂 7.5YR4/4	シルト	風化砂、炭化物少額含む	

2号住居跡土層註記表

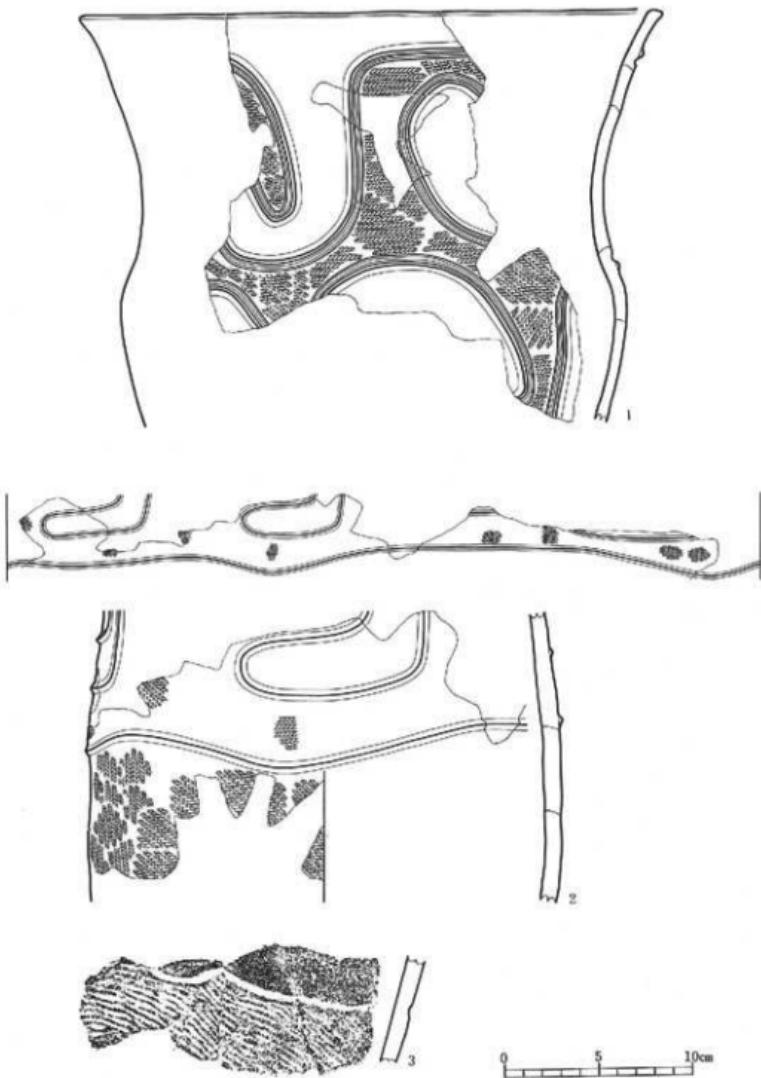
部位	層名	土 色	土 性	備 考
1	1 残 砂 7.5YR3/4	シルト	風化砂少量、火山灰較少量、炭化物微量含む	
	2 残 砂 7.5YR4/4	シルト	風化砂少量、炭化物少額、火山灰較少量含む	
2	3 黒 砂 10YR3/2	シルト	風化砂少量、炭化物多量、火山灰較少量、鐵土少額含む	
	4 残 砂 10YR3/3	シルト	風化砂多量、火山灰較少量、鐵土少額含む	
3	5 残 砂 7.5YR4/4	シルト	風化砂少量、火山灰較少量、炭化物微量に含む	
	6 残 砂 7.5YR4/4	シルト	風化砂多量、炭化物多量、火山灰少額含む	
4	7 残 砂 7.5YR4/6	シルト	風化砂少量、火山灰較少量、炭化物微量に含む	
	8 残 砂 10YR3/4	シルト	火山灰較多量、炭化物少量、風化砂少量、鐵土少額含む	
5	9 残 砂 10YR4/6	シルト	風化砂多量、火山灰較少量、炭化物微量に含む	
	10 明 砂 7.5YR3/6	シルト	風化砂少量、火山灰較少量、炭化物微量に含む	
6	11 残 砂 10YR3/4	シルト	風化砂、炭化物微量に含む	
	12 残 砂 7.5YR4/4	シルト	風化砂、炭化物微量に含む	
7	13 残 砂 7.5YR4/4	シルト	風化砂、炭化物微量に含む	

2号住居跡第1土層土層註記表

層名	土 色	土 性	備 考
1	1 残 砂 7.5YR3/1	細砂シルト	火山灰較少量、風化砂少量、炭化物微量に含む
2	2 残 砂 7.5YR3/3	細砂シルト	火山灰較少量、炭化物少額、風化砂少量含む
3	3 残 砂 7.5YR4/4	細砂シルト	火山灰較少量、風化砂少量含む

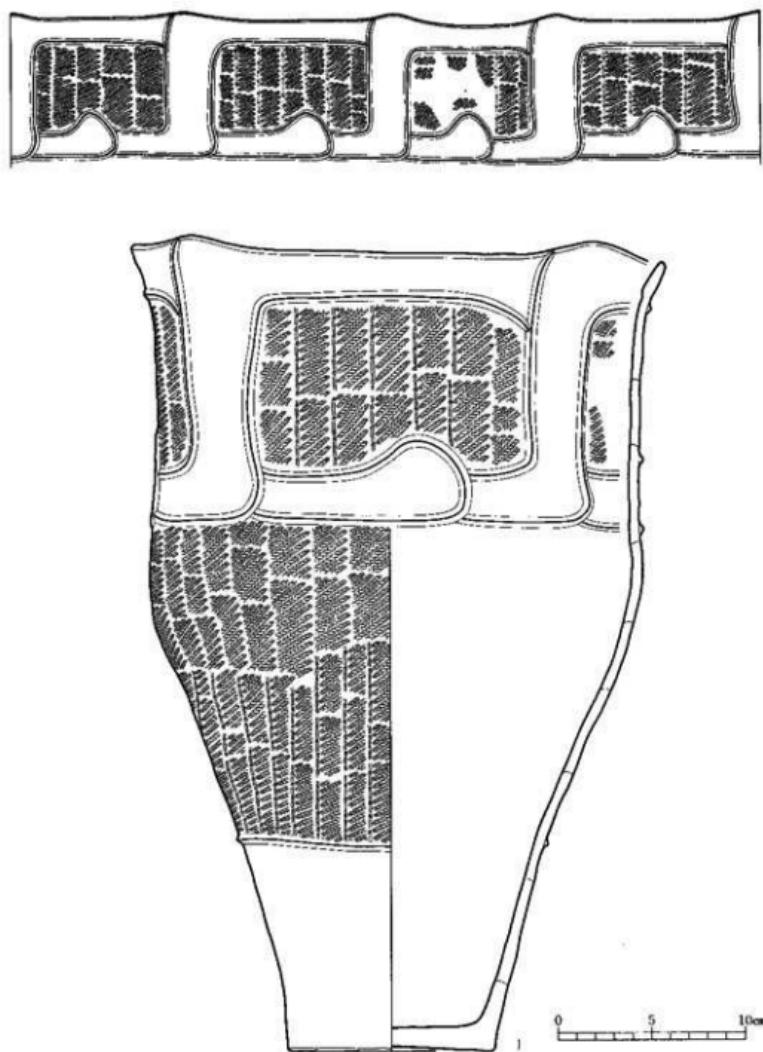


第31図 2号住居跡出土土器(1)



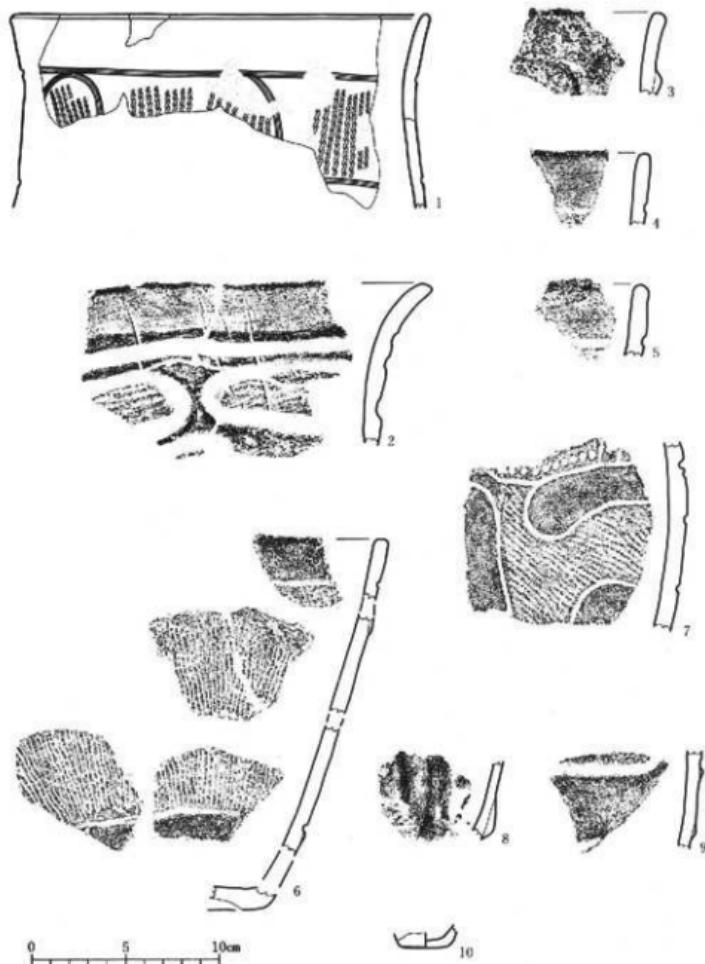
第32図 2号住居跡出土土器 (2)

No.	場所	器種	外観図	内観図	分類	備考
1	炉	陶器	縦條文・枕頭文・L字彫文・柄子	縦条 (側)	X1a	
2	炉	陶器	縦條文・L字彫文	ヘラナメ (底)	X1b	
3	堆積土器内	陶器	枕頭文	縦条 (底・側)	X	



%	层位	制形	外 因	内 因	底 胎	分 布	電 号
1	第一上层・2号	印 纹	横斜文・叶状文・丁字纹	圆孔 (周・径)	硬土 (陶・陶)	X6	

第33図 2号住居跡出土土器 (3)



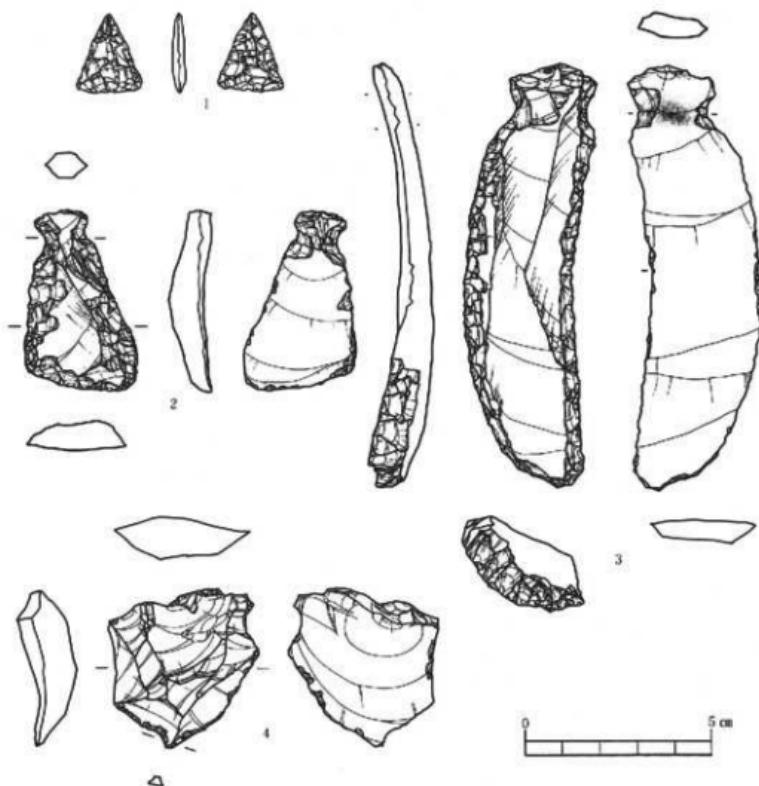
No.	地質	類別	外　面		内　面	高　部	分　類	備　考
			外	面				
1	地層土	灰　陶	沈縞文	L形高文・脚+	脚+	(脚)	X	
2	地層土	灰　陶	沈縞文	沈縞文・脚	脚+	(脚)	X2	
3	地層土	灰　陶	縞縞文		マメツ		X	
4	地層土	灰　陶	沈縞文		脚+	(脚・底)	B IV	
5	地層土	灰　陶	沈縞文		脚+	(脚)	B IV	
6	地層土	灰　陶	沈縞文	L形高文	脚+	(脚)	B IV	
7	地層土	灰　陶	沈縞文	L形高文・脚	脚+	(脚)	X	
8	地層土	灰　陶	沈縞文	沈縞文	脚+	(脚・底)	X	
9	地層土	灰　陶	沈縞文	脚尖文	脚+	(脚)	X	
10	地層土	木　器	シナノツバ					

第34図 2号住居跡出土土器(4)



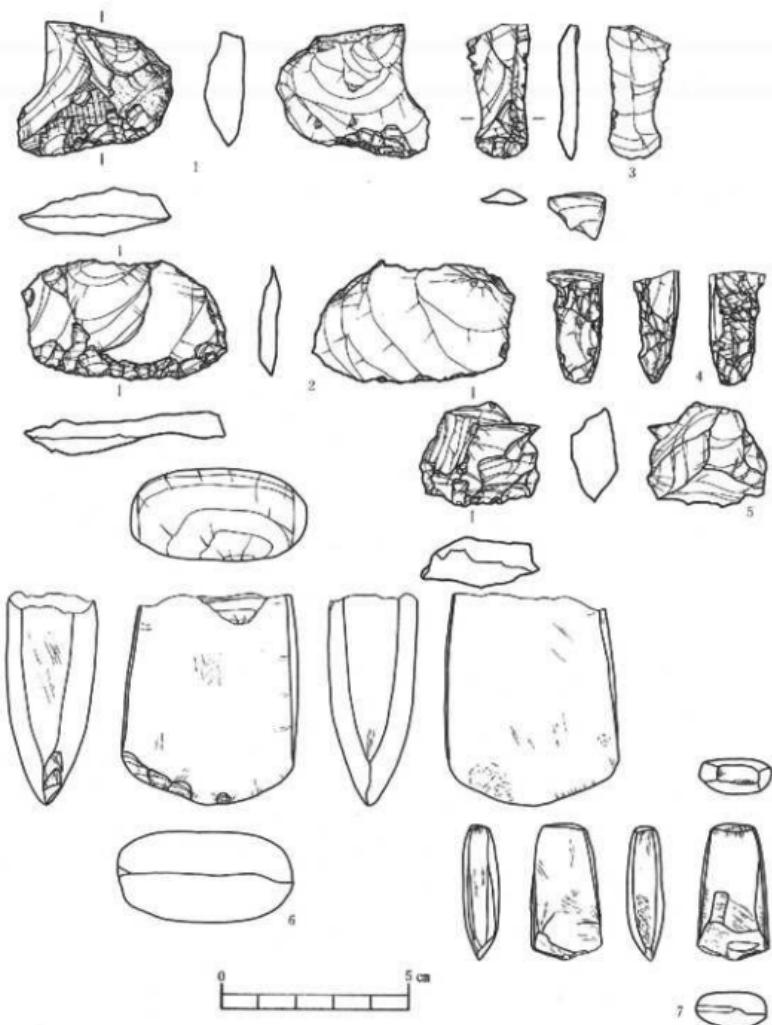
No.	種類	No.	種類	No.	種類
1	厚底盤	2	薄底盤	3	厚底盤

第35図 2号住居跡出土土製円盤



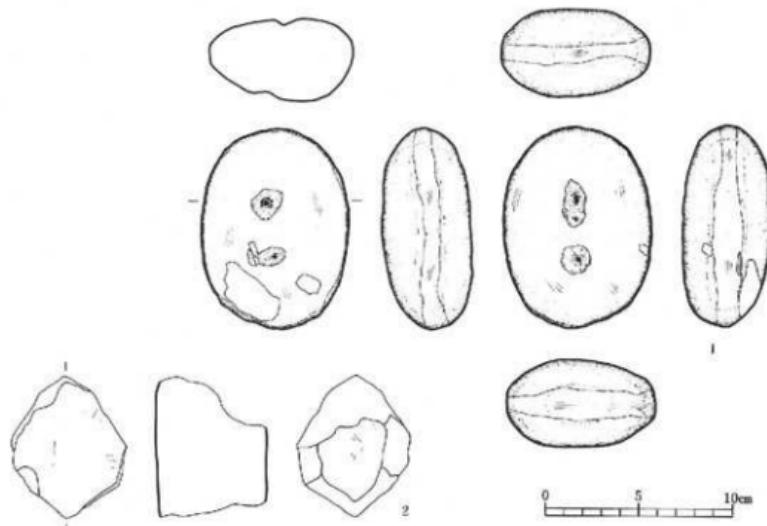
No.	種別	場所	長×幅×厚(mm)	重量(g)	石種	使用痕	備考
1	石刀	No. 3 特A	20.20×17.20×3.20	0.85	—	—	
2	石劍	2号居住跡	49.35×30.10×9.15	11.95	頁岩	—	
3	石斧	縄文田	112.95×37.80×12.69	35.65	頁岩	—	アスファルト封緘
4	石錐	柱穴	42.80×40.25×13.39	16.85	頁岩	—	

第36図 2号住居跡出土石器 (1)



No.	種別	部位	長×幅×厚(㎜)	重さ(㎏)	形	使用状	特
1	スクレイパー	細粒土層	26.25×40.50×11.80	14.40	直刃	—	
2	スクレイパー	P3	22.85×33.80×9.30	13.90	直刃	—	
3	スクレイパー	ペルトP1	(26.15)×17.20×4.85	2.30	直刃	—	
4	二次加工ある剝片	砂	(29.75)×(16.15)×(11.00)	4.40	—	—	
5	二次加工ある剝片	地盤土	29.25×21.55×15.85	9.35	細粒土	—	
6	磨削石片	周辺	0.8.23)×(46.80)×(23.70)	114.5	—	—	
7	磨削石片	砂質土層	36.30×19.10×9.50	11.0	—	—	

第37図 2号住居跡出土石器(2)



No.	編 別	層 位	高 × 幅 × 厚 (mm)	重 量 (g)	石 材	備 考	種 類
1	圓形器	P 6	108×78×46	541.0	田一四面、櫛一立山		
2	石 破	堆積土	(72)×(55)×(3)	396.6	櫛 片		

第38図 2号住居跡出土石器(3)

第6表 2号住居跡出土土器集計表

分類	出土位置		地質土	確認面	第 一 織	炉	炉 確認面	埋設土器	周溝	合計
	A	X								
口 縁 部	A	X	5			3	1			9
		IV	3							3
	B	V	4							4
		VI	1				1	2		4
小 計	C		5					2		7
	計		18	0	0	3	2	4	0	27
体 部	A	X	23	2	2	3	7	2		39
		IV	11	1						12
	B		57	4		11	11	6	1	90
		C	101	4	1	20	7	5	1	139
小 計	計		192	11	3	34	25	13	2	280
	V		3	1						4
底 部		V	1							1
計		4	1	0	0	0	0	0	5	
合 計			214	12	3	37	27	17	2	312

第7表 2号住居跡出土石器集計表

出土位置 分類	堆積土	確認面	第1土溝 2層	炉	認定面	埋設土器	石机部 敷石	P1	P3	P4	P6	周溝	合計
石器類													1
石斧	1			1									2
石鎌							1						1
スクレーパー	1					1		1					3
二次加工ある剥片				1								2	3
微細剥離ある剥片	1	2		1							1	2	7
剥片(チップ合)	4	1	1	4	1	1	1		1	1	1		16
小計	6	4	1	6	2	2	1	1	3	0	2	5	33
麻製石斧	1											1	2
石器類	1												1
小計	1	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	3
磨石+磨石											1		1
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	1
珪化木											1		1
礫	5			9	1								15
扁平理	1												1
焼礫	3	1		4	2	2							12
小計	9	1	0	13	3	2	0	0	0	0	1	0	29
合計	16	6	1	19	5	4	1	1	3	1	3	6	66

## 3号住居跡(M-29住居跡)

遺構の確認:M-28・29に位置し、第4層上面で炉だけが確認された。炉の周辺が削平を受けているため、住居跡の規模、平面形、堆積土、壁、床面、周溝、柱穴等は不明である。

重複増改築:54号土壇、5号溝に切られており、本住居跡の方が古い。位置的に12号溝との重複関係も考えられるが不明である。増改築は不明である。

## 炉

(位置・方向) 住居跡内での位置は不明である。長軸方向はN-48°-Wである。

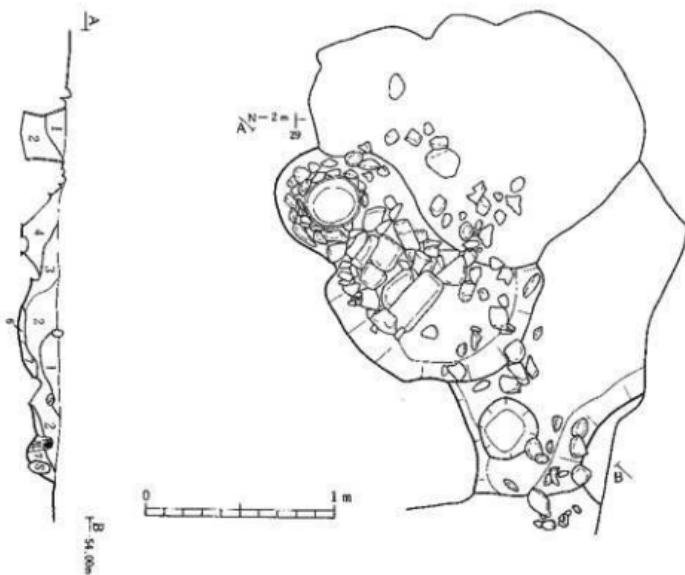
(規模・平面形) 最大長は212cmである。最大幅、平面形は擾乱のため不明である。

(構造) 土器埋設石囲部 敷石石組部、掘り込み部からなる複式炉である。

土器埋設石囲部・長さ45cm、幅約60cmである。径30cmの深鉢形の土器の体部を埋設し、土器の周囲に二重に石を巡らしている。

敷石組石部・長さ50cm、幅は擾乱のため不明である。確認面より敷石底面までの深さは17cmである。底部の敷石の上に側壁、奥壁の石がのっている。敷石と掘り込み部との境は一段高くなっている。

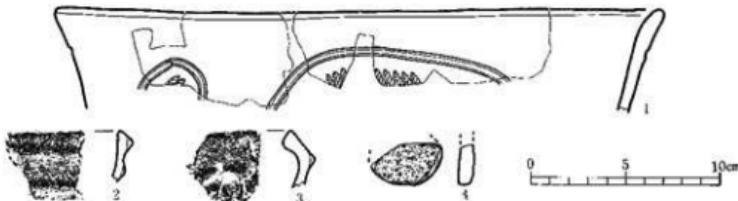
掘り込み部・長さ117cm、幅は擾乱のため不明である。底面のレベルによって2つに区画される。石組部寄りの部分は確認面より底面までの深さは21cm、反対側は12cmである。底面に石が散乱しており、石組みが破壊されたものである可能性がある。



3号住居跡 (M-29住居) 炉跡土層註記表

層位	層No.	土の色	土性	質
地盤土層1層	1	褐 土 10YR3/3	シルト	少少の炭化物を含む
堆積土層2層	2	褐 土 10YR1.7/1	シルト	多量の炭化物を含む
炉1層	3	褐 土 10YR3/3	シルト	小礫を含む
炉2層	4	褐 土 10YR2/3	シルト	炭化物、スリップを少量、無土含む
炉3層	5	褐 土 10YR3/3	シルト	若干の炭化物を含む
	6	褐 土 10YR4/6	シルト	スリップを含む
炉4層	7	褐 土 10YR4/4	砂質シルト	小礫及び砂粒を含む
	8	褐 土 10YR3/4	シルト	砂粒を含む
	9	褐 土 10YR5/6	砂質シルト	小礫、砂粒を多量に含む

第39図 3号住居炉跡



No.	形	種 形	外 面	内 面	分 類	出 号
1	筒	筒 形	内外文、KL織文	縦+ (縦)	X	-
2	筒	筒 形	縦織文	ツメツ	II	-
3	筒	筒 形	縦織文	縦+ (縦)	X	-
4	筒	少乳頭彫	-	-	-	-

第40図 3号住居跡出土土器

(使用痕跡) 埋設土器内部に炭化物が多量に含まれていた。埋設土器周囲及び敷石石組部奥壁から底面にかけて赤変しており、火熱を受けた痕跡が認められる。

(構築方法) 遺構の断ち割り精査を行わず、現状のまま埋戻したため不明である。

遺物の出土状況：炉内の堆積土中より縄文土器が出土している。

第8表 3号住居跡出土土器集計表

分類\出土位置	A	X	合計
縫部	B	I	1
小計			1
体部	A	X	2
B			3
C			10
小計			14
合計			16

第9表 3号住居跡出土石器集計表

分類\出土位置	炉	合計
縫	2	2
合計	2	2

#### 4号住居跡 (M-28住居跡)

遺構の確認：M・N-28に位置し、第4層上面で確認された。

重複・増改築：12号溝に切られており、本住居跡の方が古い。増改築は認められなかった。

規模・平面形：南東部を溝によって削平されているが、長軸3.85m、短軸3.60mの円形を基調とした平面形である。

豊穴層位：4層に大別される。いずれも自然堆積である。

壁：第4層、第5層を壁としている。3~21cm 残存している。床面から急角度で立ち上がっていいるが、周溝の途切れている部分は緩やかな角度で立ち上がっている。

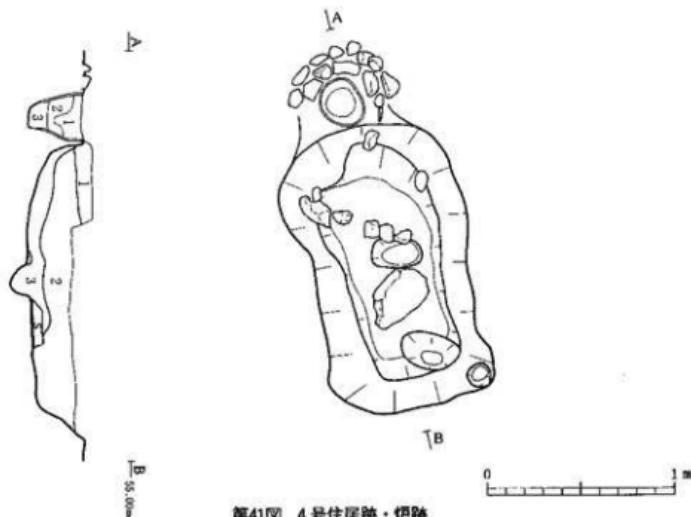
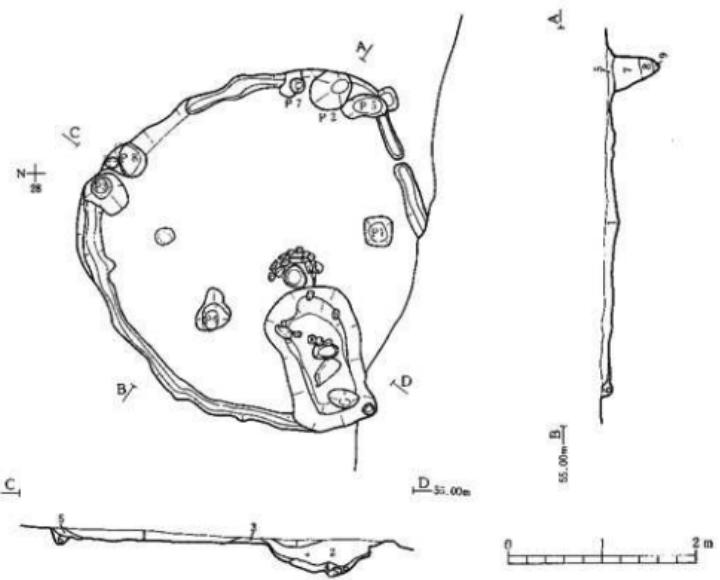
床面：ほぼ平坦で堅い。床面のレベルは住居跡中央部がやや低くなっている。第5層を直接床面としているか、掘り方埋土上面を床面としているかは、断ち割り等の精査をしていないため不明である。

周溝：住居跡北西部の一部と炉の部分、削平を受けている部分を除いて全周している。幅10~20cm、深さ2~7cm、断面形「U」字形である。底面レベルは、西側がやや高く東側へ傾斜している。周溝内で5個のビットが検出されている。

柱穴：住居跡内より8個のビットが検出された。いずれも掘り方のみで柱痕跡は認められなかった。柱穴としてビット1、2、3または8、4が考えられる。

4号住居跡ビット

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9
形状	丸	丸	楕円	円	楕円	円	円	円	円
深さ	84	53	79	73	23	9	25	36	10



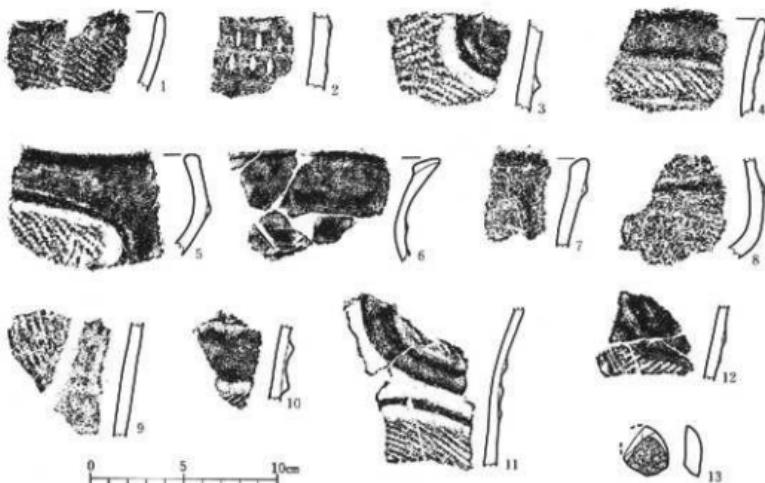
第41図 4号住居跡・炉跡

4号住居跡（M-28住居）土層記表

層位	標名	土色	土性	備考
1	1	赤褐色 10YR3/2	シルト	鉄化物、スカリヤ少見
2 <sup>a</sup> 1層	2	暗褐色 7.5YR3/4	シルト	鉄化物微細、ロームブロック少見
2 <sup>a</sup> 2層	3	褐色 10YR4/4	シルト	スカリヤ少見
2 <sup>a</sup> 3層	4	褐色 10YR2/1	シルト	小耕微混、鉄化物少見
2 <sup>a</sup> 4層	5	褐色 10YR3/3	シルト	鉄化物微混
P2	6	暗褐色 10YR5/6	シルト	鉄化物微混
	7	暗褐色 7.5YR3/3	シルト	鉄化物微混、ロームブロック少見
	8	暗褐色 7.5YR3/3	シルト	小耕、ロームブロック少見
	9	褐色 10YR4/4	シルト	

4号住居 炉跡土層記表

層位	標名	土色	土性	備考
導入土層	1	暗褐色 10YR3/3	シルト	鉄化物及び若干の燒土とスカリヤを含む
	2	暗褐色 10YR2/2	シルト	鉄化物及び焼土を含む
	3	褐色 10YR2/2	砂質シルト	多量の鉄化物及び若干の fine Sand を含む
2 <sup>a</sup> 1層	1	暗褐色 10YR2/3	シルト	スカリヤ・鉄化物微細少見
2 <sup>a</sup> 2層	2	褐色 7.5YR4/4	シルト	若干の鉄化物及びローム粒を含む
2 <sup>a</sup> 3層	3	褐色 7.5YR3/6	粘土質シルト	多量の鉄化物若干の粗土 fine Sand 含む



No.	層位	判別	外観	内観	分類	備考
1	2 <sup>a</sup> 1	深鉢	H1陶文	縦+（横・斜）	B VI	
2	2 <sup>a</sup> 2	深鉢	縦横文・沈窓文・斜窓文	縦+（横）	X	
3	2 <sup>a</sup> 2	深鉢	縦横文・沈窓文・L1陶文	縦+（横）	X	
4	2 <sup>a</sup> 1	深鉢	縦横文・L1H1陶文	縦+（横）	X	
5	2 <sup>a</sup> 1	深鉢	縦横文・沈窓文・L1H1陶文	縦+（横・斜）	X1	
6	2 <sup>a</sup> 1	深鉢	縦横文	縦+（横・斜）	B I	
7	2 <sup>a</sup> 1	深鉢	縦横文・不明陶文	縦+（横）	X	
8	2 <sup>a</sup> 1	深鉢	縦横文・不明陶文	縦+（横）	X	
9	2 <sup>a</sup> 1	深鉢	沈窓文・不明陶文	縦+（横）	X	
10	2 <sup>a</sup> 1	深鉢	縦横文・沈窓文・L1H1陶文	縦+（横）	X	
11	地盤上	深鉢	縦横文・沈窓文・L1H1陶文	縦+（横）	X1c	
12	導入土	深鉢	縦横文・沈窓文・H1H2陶文	縦+（横・斜）	X	
13	導入土	土質円盤				

第42図 4号住居跡出土土器・土製円盤

## 炉

(位置・方向) 住居跡南側やや東寄りに位置し、炉の端は住居跡の壁の一部になっている。炉の長軸方向はN-17°-Wである。

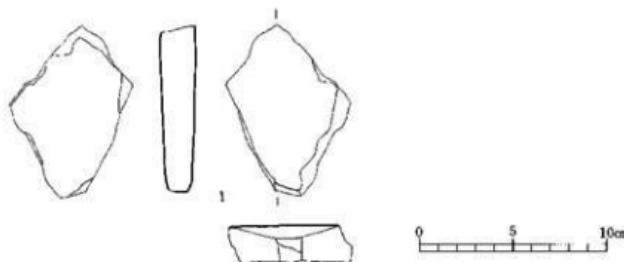
(規模・平面形) 最大長197cm、最大幅は94cmである。平面形はダルマ形である。

(構造) 土器埋設石團部、敷石石組部、石組部あるいは掘り込み部からなる複式炉であると考えられるが、埋設土器及び石團部の先端部を残して破壊されており、掘り込まれている部分の壁面や底面に数個の石が散乱するのみであった。

土器埋設石團部・幅60cm、長さは不明である。径25cmの深鉢形土器の体部を埋設し、土器の周囲に二重に石を巡らしている。

(使用痕跡) 埋設土器内部に炭化物が多量に含まれていた。掘り込まれた部分の敷石石組部底面と思われる部分から壁にかけて赤変しており、火熱を受けた痕跡が認められる。

遺物の出土状況：住居跡堆積土中及び住居内施設より、繩文土器片、石器が出土している。堆積土中の遺物は、各層位毎に取り上げられておらず、各層に分けられなかったものを堆積土中出土として一括した。



No.	種別	出位置	高×幅×奥(㎝)	底面(㎡)	P.1	使用状	備考
1	石 炉	堆積土	(800×600)×23	142.5		無	

第43図 4号住居跡出土石器

第10表 4号住居跡出土土器集計表

分類	出位置	堆積土	炉	P.1	周溝	合計	第11表 4号住居跡出土石器集計表		
							A	B	C
口 縁 部	A	X	1		3	4	1	1	1
	B	V		1		1	0	1	1
	C	V			1	1	0	1	1
小 計					1	1	1	1	1
体 部	A	X	3		8	11	1	1	1
	B		2		7	9	0	1	1
	C		5		5	10	0	1	1
小 計			10	0	20	33	1	0	1
底 部	V	1				1	1	1	1
小 計			1	0	0	1	1	1	1
合 計			12	1	25	42	1	2	3

分類	出位置	炉	P.1	合計
未加工のある割合			1	1
小 計		0	1	1
石 器			1	1
小 計		0	1	1
燒 器		1		1
小 計		1	0	1
合 計		1	2	3

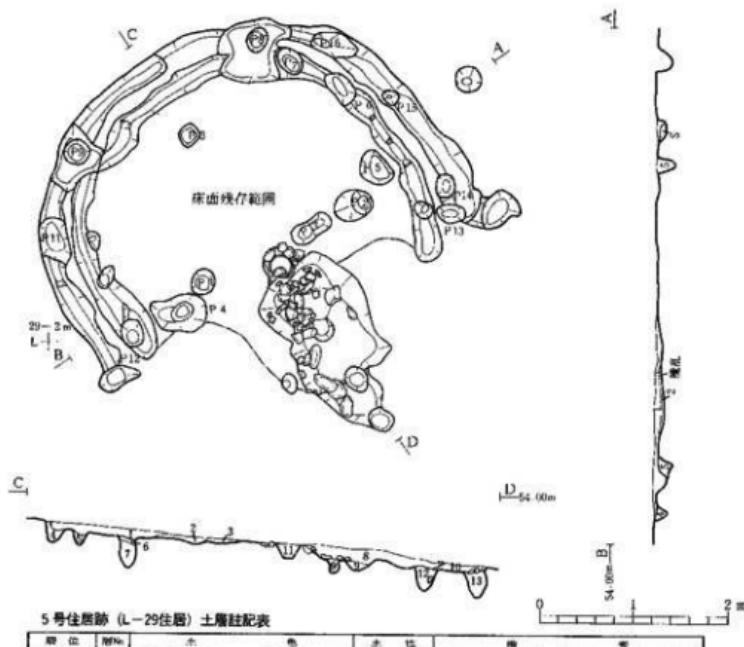
### 5号住居跡 (L-29住居跡)

遺構の確認：K・L-28、29に位置し、第5層上面で確認された。

**重複・増改築：**58号土壙と重複するが、上層の遺構であり、同じ面での切合関係はない。

周溝が2条検出されており、内側の周溝上に貼床が確認されていることにより、本住居跡は拡張されていると考えられる。

**規模・平面図：**削平されており、南東部には炉のみしか検出されなかった。残存部より長軸4.75m



5号住居跡 (L-29住居) 土壙柱記表

部位	層番	土色	土性	地質
I	1	褐 10YR4/1	シルト	スコリア、炭化物少含む
	2	褐 10YR3/4	シルト	スコリア、炭化物少含む
	3	褐 7.5VR3/8	シルト	スコリア少含む
II 溝	4	褐 7.5YR4/6	シルト	小粒含む
III 壁	5	明 褐 10YR5/6	粘土質シルト	ローム粘土含む
	6	褐 7.5YR4/4	粘土質シルト	ローム粘土含む
IV 1層	7	明 褐 10YR3/3	粘土質シルト	炭化物、ローム粘土含む
	8	褐 7.5VR3/2	シルト	多量のスコリア及び炭化物含む
IV 2層	9	褐 7.5YR4/3	シルト	スコリア、炭化物含む
	10	明 褐 2.5YR7/6	シルト	小粒含む
壁脚	11	12.5YR3/4 5 YR4/4	シルト	スコリア、炭化物含む
	12	褐 10YR4/6	シルト	スコリア、小粒含む
ビット	13	褐 10YR5/8	妙質シルト	多量の砂粒、小粒を含む

第44図 5号住居跡

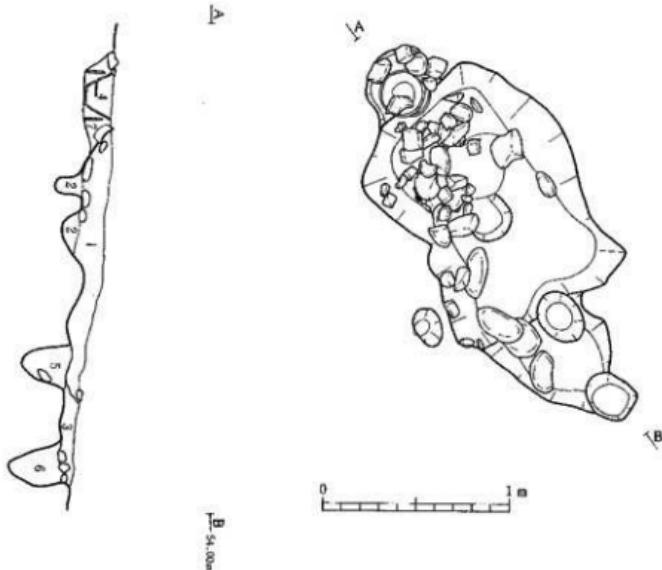
m、短軸4.42mの円形を基調とした平面形であると推定される。拡張前の規模は長軸4.25m、短軸3.55mの円形を基調とした平面形であると推定される。

**堅穴層位**：住居跡北西部にのみ確認された。1層に大別される。自然堆積である。

**壁**：第5層を壁としている。住居跡北西部にのみ、2～10cm残存している。床面から急角度で立ち上がっている。

**床面**：住居跡南東部は削平のため床面は残存しない。凸凹があり炉の北西部に凹んでいる部分がみられる。全体的に堅い。残存部分では、内側の周溝で貼床が確認されていることから、掘り方埋土上面を床面としていると考えられる。床面レベルは北西部が高く、南東へ傾斜している。

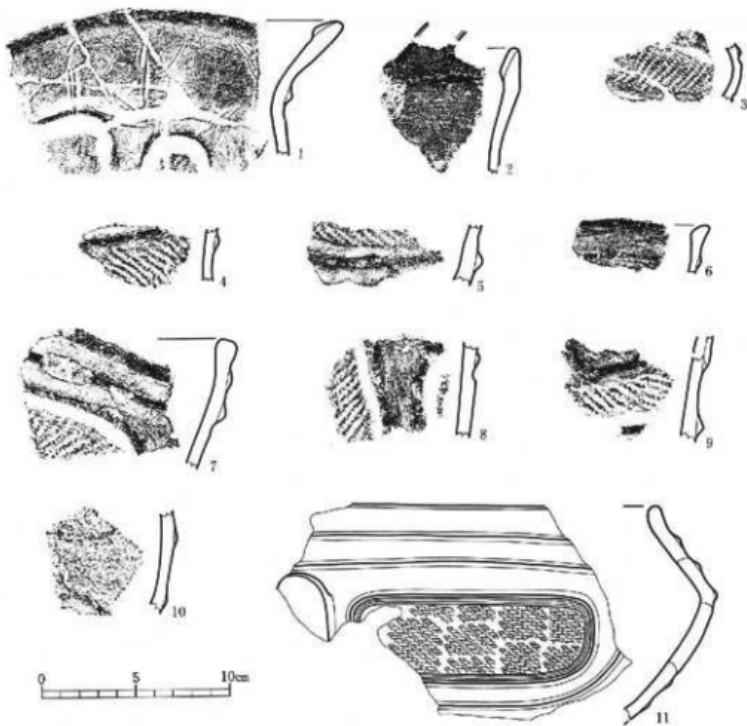
**周溝**：2条検出されている。外側の北部の一部と削平部分を除いて全周している。床面との関係より、内側のものが古く外側のものが新しい。外側は幅16～34cm、深さ7～30cm、断面形は「U」字形である。周溝内で7個のビットが検出されている。また、周溝内ビット8の西側に剝



5号住居・炉跡記表

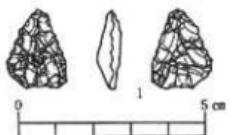
層位	標高	地	土性	層号
堅1層	1	高 残 7.5YR3/2	シルト	
	2	高 残 7.5YR4/3	シルト	
堅2層	3	明黄褐 2.5YR2/6	シルト	
埋設土壌	4	12.2m(表面) 5 YR4/4	ドルト	
ビット	5	高 残 10YR4/6	シルト	
	6	高 残 10YR5/8	砂質シルト	
	7	高 残 10YR4/6	粘土質シルト	ローム陶片
掘り方埋土				

第45図 5号住居・炉跡



No.	層位	形態	外觀	内部	分類	備考
1	床面以上	圓錐	鏈條文・比鏈文・RL鏈文	磨平(側・斜)	X	
2	床面以上	—	輪	磨平(側)	W.YB	
3	床面以上	圓錐	鏈條文・比鏈文・RL鏈文	磨平(側)	X	
4	床面以上	圓錐	鏈條文・RL鏈文	磨平(側)	X	
5	床面以上	圓錐	鏈條文・LH鏈文	磨平(側)	X	
6	BP	圓錐	鏈條文	ナギ(側)	B.I	
7	BP	圓錐	鏈條文・比鏈文・LH鏈文	磨平(側)	X	
8	BP	圓錐	鏈條文・比鏈文・LH鏈文	磨平(側・斜)	X	
9	BP	圓錐	鏈條文・LH鏈文	磨平(側)	X	
10	BP	圓錐	鏈條文・不明鏈文	ナギ(側)	X	
11	BP	—	鏈條文・比鏈文・LH鏈文	磨平(側)	X	

第46圖 5号住居跡出土土器(1)



No.	層位	形態	長×幅×厚(cm)	重量(g)	石材	使用痕	備考
1	石器B 床面以上	石器	29.75×16.25×6.10	1.90	—	—	

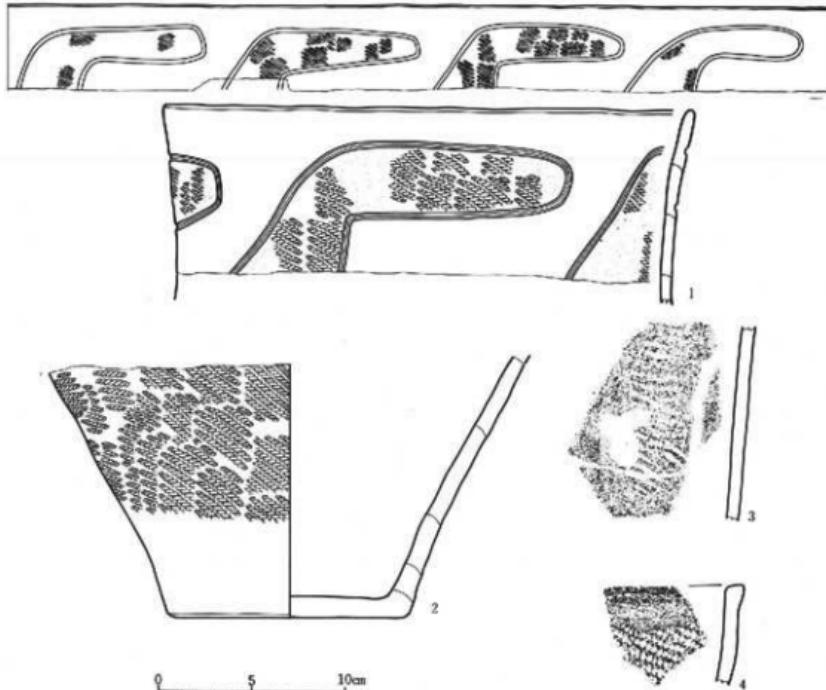
第47圖 5号住居跡出土土器

片が集中して検出されている。内側は幅13~40cm、深さ7~30cm、断面形「U」字形である。周溝内で、3個のピットが検出されている。外側、内側の周溝とも底面はやや凸凹があり、レベルは南側へ緩やかに傾斜している。

**柱穴**:住居跡内より16個のピットが検出された。外側の周溝に伴う柱穴としてピット4、5、6、7が考えられる。内側の周溝に伴う柱穴としてピット1、2、3が考えられる。

5号住居跡ピット

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
形状	円	楕円	円	楕円	楕円	楕円	楕円	円	円	円	楕円
深さ	30	51	26	35	14	32	34	60	47	11	32
No.	12	13	14	15	16	17					
形状	円	楕円	円	円	楕円	楕円					
深さ	16	22	23	24	24	29					



No.	層位	標示	外観	内観	感想	分類	備考
1	伊勢志士層	厚約5cm	比較的L型窓	窓枠(楕)		Xia	
2	伊勢志士層	厚約5cm	L型窓・窓枠	窓枠(楕)		X	
3	伊勢志士層内	厚約5cm	比較的L型窓	窓枠(楕)			
4	後相土	厚約5cm	L型窓	窓枠(楕)	窓+	B VI	

第48図 5号住居跡出土土器(2)

## 炉

(位置・方向) 住居跡南東部に位置している。炉の端部は住居跡の壁の一部になっていると考えられる。長軸方向はN-35°-Wである。

(規模・平面形) 最大長228cm、最大幅115cmである。南端に近い部分は削平されており、残存の平面形は稍円形である。

(構造) 土器埋設石匣部・敷石石組部・掘り込み部からなる複式炉であると考えられるが、敷石石組部・掘り込み部は破壊と削平のため、内部に石が散乱しているという状態であった。

土器埋設石匣部・幅50cm、長さは不明である。径29cmの深鉢形土器の口縁部の内部に、径26cmの深鉢形土器の底部を入れ、土器を二重に埋設している。土器の周囲に石を巡らしている。

敷石石組部・掘り込み部・底面に石が散乱しており、敷石石組部と掘り込み部の境は不明である。

(使用痕跡) 散乱する石に炭化物、焼土が混じっている。

(構築方法) 炉全体の掘り方に、土器埋設石匣部では二重に土器を埋設し、周囲に石を巡らしている。その他の部分は不明である。

遺物の出土状況：住居跡堆積土中及び床面、炉内より縄文土器片、石器が出土している。また、炉の埋設土器がある。周溝内より剝片が40点貯蔵される形で検出されている。

第12表 5号住居跡出土土器集計表

分類\出土位置	堆積土	床面	か	埋設土器内	堆溝内	合計
石 瓦(B)	1				1	
水引(火の氷)		1			1	
水引(縄文)		4			4	
水引(瓦)	1	1	1		40	43
小 計	1	7	1	0	40	49
礫	1		1			2
總 總		3	3		6	
小 計	1	0	4	3	0	8
合 計	2	7	5	3	40	57

第13表 5号住居跡出土土器集計表

分類\出土位置	堆積土	床面直上	か	瓦器内	合計
E I A	X X	1		1	1
E I B	X			1	1
E I C			1		1
壁 部 A	V	1			1
壁 部 B	V	1	2	3	3
壁 部 C		1			1
小 計	1	3	4	0	8
体 A	X X	2		1	3
体 B	X	6	17		23
体 C	V	3		1	4
小 計	0	6	1		7
合 計	0	26	21	3	53
合 計	1	29	28	3	61

### 6号住居跡 (K-28住居跡)

遺構の確認：K・L-28に位置し、第5層上面で確認された。

重複・増改築：62号土壇・13号・14号溝に切られており、本住居跡が最も古い。周溝が2条検出されており、柱穴に重複関係が認められることにより、本住居跡は拡張されていると考えられる。

規模・平面形：住居跡南側及び東側は削平されており、炉のみしか検出されなかった。残存部より長軸4.10m、短軸3.95mの隅丸の方形に近い円形を基調とした平面形であると推定される。拡張前の規模は不明であるが、円形を基調とした平面形であると推定される。

竪穴層位：住居跡北西部にのみ確認された。2層に大別される。いずれも自然堆積である。

壁：第5層を壁としている。住居跡北側及び西側に2~18cm残存している。床面から急角度で立ち上がっている。

床面：住居跡南側及び南東側は削平のため、床面は残存しない。床残存部では凸凹があり、堅い。5層を直接床面としているか、掘り方埋土上面を床面としているかは不明である。一部躊躇層が露出する部分がある。床面のレベルは北側が高く、南側へ傾斜している。

周溝：二条検出されている。住居跡の削平を受けている部分を除いて全周している。内側のものは北側にのみ検出されている。外側は幅13~25cm、深さ4~20cm、断面形は「U」字形である。周溝内より4個のビットが検出されている。内側は幅15~30cm、深さ8~30cm、断面形は「U」字形である。周溝内に5個のビットが検出されている。外側、内側の周溝とも底面はやや凸凹があり、レベルは緩やかに南側へ傾斜している。

柱穴：住居跡内より30個のビットが検出されている。ビット1、2、ビット9、10、ビット12、13が重複しており、全て前者の方が切られている。外側の周溝に伴う柱穴としてビット2、6、12または13、15、24が考えられ、内側の周溝に伴う柱穴としてビット1、9、14、25または26が考えられる。

6号住居跡ビット

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
形状	横 円	横 円	円	円	横 円	円	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円
深さ	27	35	13	18	14	33	17	37	49	17	5
No	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
形状	横 円	横 円	横 円	円	円	不 確	円	横 円	円	横 円	円
深さ	68	37	33	36	28	26	13	21	44	28	16
No	23	24	25	26	27	28	29	30			
形状	円	横 円	円	横 円	円	円	円	円			
深さ	14	48	41	34	—	29	15	23			

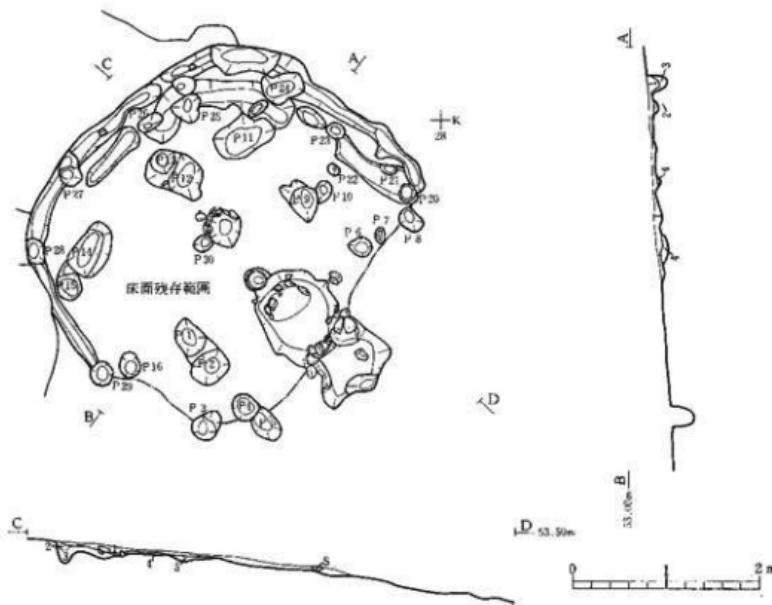
## 炉

(位置・方向) 住居跡南東部に位置している。炉の端部は住居跡の壁の一部になっていると考えられる。長軸方向はN-48°-Wである。

(規模・平面形) 最大長は180cm、最大幅は95cmである。平面形はグルマ形である。

(構造) 土器埋設石臼部、敷石石組部、石組部からなる複式炉である。埋設土器及び敷石石組部の境付近の石を残して破壊されている。この炉に用いられたと思われる拳大～人頭大の石が炉の東脇に列状にまとめて置かれていた。

土器埋設石臼部・幅28cm、敷石石組部との境が明確でないため長さは不明である。径21cmの深鉢形土器の体部を埋設している。土器の周囲に石を巡らしていたと考えられるが、石は残存せず、土器の周囲に溝状に痕跡が残っていた。



6号住居跡 (K-28住居) 土層記表

層位	項番	土色	土性	備考
1	1	褐	10YR3/4	シルト 密牛のローム粘、炭化物含む
	2	褐	10YR4/4	薄牛のローム粘含む
	3	褐	10YR4/6	シルト シームブロック、炭化物含む
	4	褐	10YR3/3	シルト 砂粒含む
	5	褐	10YR5/6	コームブロック含む

第49図 6号住居跡

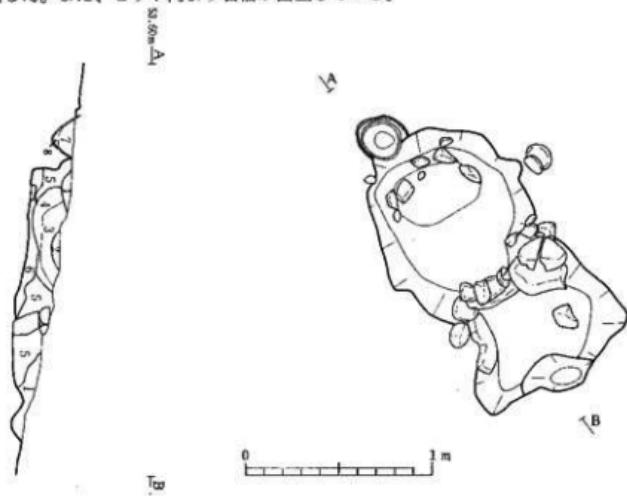
敷石石組部・幅95cm、土器埋設石組部との境が明確でないため長さは不明である。精円形である。ほとんど破壊されており、底面に数個の石が散乱するのみである。

石組部・幅90cm、長さは65cmの台形である。敷石石組部との境付近の壁面に石が貼り付けられているが、端部はない。

(使用痕跡) 埋設土器及びその周辺から敷石石組部奥壁にかけて赤変しており、火熱を受けた痕跡が認められる。また、石組部底面及び側壁部も火熱を受けており、ボロボロに赤変している。  
(構築方法) 炉の断ち割り精査を行なわず埋め戻したため、不明である。

その他の施設：住居跡中央部に石闇を伴うビットが検出されている。径40cm、深さ20cmの円形である。北側半分の上端部分に二重に石が残存している。埋設土器を抜き取った痕跡である可能性がある。壁面が若干赤変しており、火熱を受けた痕跡と思われる。

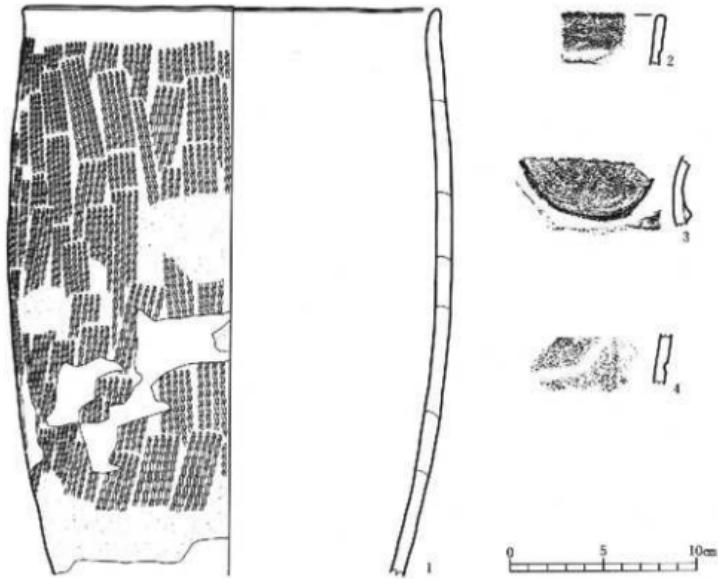
遺物の出土状況：住居跡堆積土中及び炉内より、縄文土器、石器が出土している。堆積土中の遺物は、各層位毎に取り上げられておらず、各層に分けられなかったものを堆積土中出土として一括した。また、ビット内より石器が出土している。



6号住居 炉跡土層記表

層位	層名	土種	土壤
1	1 級 土 10YR3/4	シルト	スカリア少量含む
	2 級 7.5YR4/6	シルト	
2	3 級 5YR4/4	シルト	小礫、鐵子鉄、多量に含む
	4 級 7.5YR4/4	シルト	小礫、炭化物含む
3	5 級 土 7.5YR3/4	シルト	スコリア、炭化物含む
	6 級 混合土 5YR3/3	シルト	炭化物、熟土含む
4	7 級 土 7.5YR3/3	シルト	スコリア、炭化物含む
	8 級 土 10YR3/3	シルト	炭化物含む
堆積土層			

第50図 6号住居炉跡



No.	層位	鉢形	外観	内観	分類	備考
1	6P - 2M	深鉢	K型文・磨光	アド(深・側)	B VI	
2	6P	深鉢	波線文	磨光(側)	B IV	
3	5P	深鉢	波線文・波綱文	磨光(深・側)	X	
4	深鉢+	深鉢	波綱文	磨光(側)	X	

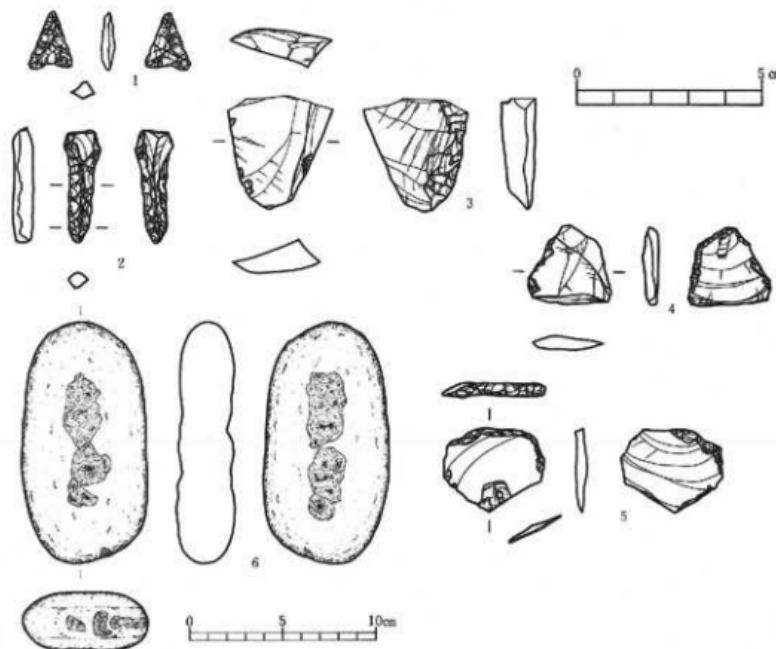
第51図 6号住居跡出土土器

第14表 6号住居跡出土器集計表

分類	出土位置	堆積土	炉	合計
LII段部	B N		1	1
	VII	1		1
体 部	小 計	1	1	2
	A I X	3		3
	B	6	11	17
底 部	C	4	5	9
	小 計	13	16	29
	VII	1	1	2
合 計	計	15	20	35

第15表 6号住居跡出土石器集計表

分類	出土位置	堆積土	炉 2層	P 1	P 2	合計
石 漆	VA			1		1
石 繩		1				1
ス レイバ	-	1				1
二次加工のある剝片		3				3
微細彫刻痕ある剝片		3				3
剝片(チップ合)		4				4
小 計		12	0	1	6	13
凹 石 + 鋭 石				1		1
小 計		0	0	0	1	1
礫			1			1
小 計		1	1	0	0	2
合 計		13	1	1	1	16



No.	種別	層位	長×幅×厚(mm)	重さ(g)	材質	使用痕	圖号
1	石器A	P1	15.60×11.45×3.75	0.35	—	—	
2	石器	地盤土	39.40×9.55×3.10	1.45	青石	—	
3	火アレインズ	地盤土	(39.80) (38.00)×(9.00)	6.40	青石	—	
4	二次加工の石片	地盤土	21.20×22.25×4.55	1.70	青石	—	
5	二次加工の石片	地盤土	23.15×27.05×4.00	2.55	青石	—	
6	磨石器	P12	128×66×33	262.5	—	三一面面、底一一面	

第52図 5号住居跡出土石器

### 7号住居跡 (L-27住居跡)

造構の確認：L・M-27・28に位置し、5層上面で確認された。

**重複・増改築：**位置的に61号土壌との重複関係が考えられるが削平のため不明である。周溝が2条検出されており、内側の周溝上に貼床が確認されている部分があり、柱穴に重複関係がみられることにより、本住居跡は拡張されていると考えられる。

**規模・平面形：**住居跡南側及び南東部は削平されているが、長軸5.20m、短軸4.90mの隅丸の方形に近い円形を基調とした平面形であると推定される。長軸方向と炉の方向が一致する。

**竪穴層位：**住居跡南東部分は削平されている。2層に大別される。いずれも自然堆積である。  
**壁：**第5層を壁としている。住居跡北半部に3~20cm残存している。床面から急角度で立ち上がりっている。

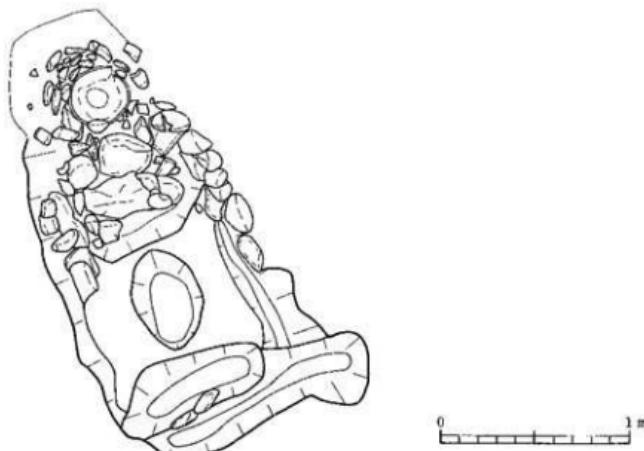
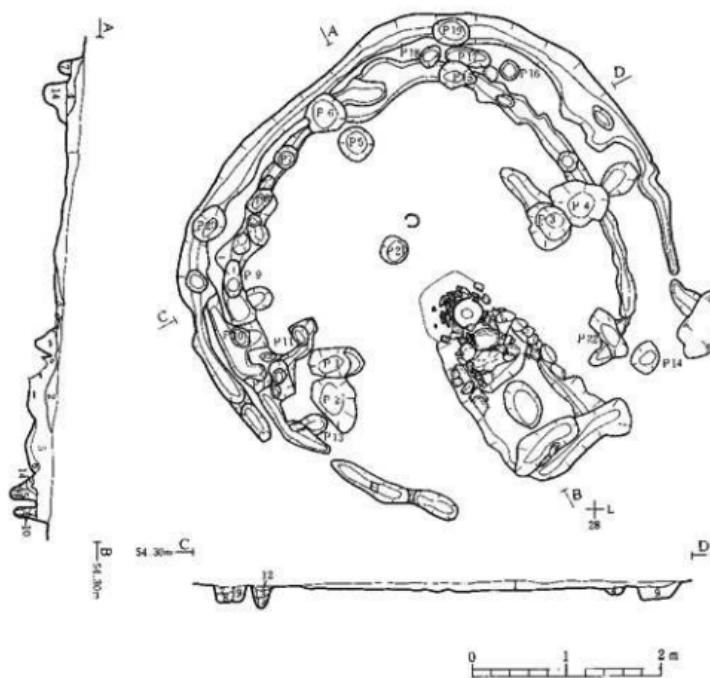
**床面：**ほぼ平坦で堅い。内側の周溝上に貼床が確認されていることから、掘り方埋土上面を床面としていると考えられる。底面のレベルは、住居跡北側が高く、南側へ傾斜している。

**周溝：**2条検出されている。外側は南部から南東部にかけて、内側は炉の両脇部分を除いて全周している。外側は幅10~33cm、深さ3~10cm、断面形は「U」字形である。周溝内に2個のビットが検出されている。内側は、幅10~45cm、深さ5~20cm、断面形「U」字形である。周溝内に6個のビットが検出されている。底面は、外側はほぼ平坦であるが、内側には凸凹がみられる。底面レベルはいずれも北から南へ緩やかに傾斜している。

**柱穴：**住居跡内から21個のビットが検出された。ビット1、2、ビット3、4が重複しており、いずれも前者の方が切られている。外側の周溝に伴う柱穴として、ビット2、4、6、19、20が考えられ、内側の周溝に伴う柱穴として1、3、5、8、15が考えられる。

7号住居跡 (L-27住居) 土層記録表

層位	層No.	土色	土性	備考
1	1	暗褐色 7.5YR3/3	シルト	スコリア少量、炭化物微量
	2	褐褐色 7.5YR2/2	シルト	スコリア、炭化物少量、純土微量
2	3	暗褐色 7.5YR2/4	シルト	ロームブロック、炭化物微量
	4	暗褐色 7.5YR3/3	シルト	スコリア、ロームブロック、炭化物微量
3	5	灰褐色 7.5YR2/3	シルト	炭化物、スコリア、小碎少量
	6	暗褐色 7.5YR2/3	シルト	ロームブロック少量、炭化物微量
4	7	褐色 7.5YR4/4	シルト	ロームブロック多量、炭化物微量
	8	褐褐色 7.5YR4/4	シルト	赤褐色、スコリア少量、炭化物微量
周溝	9	暗褐色 7.5YR3/4	シルト	ローム粒、スコリア、炭化物微量
	10	暗褐色 7.5YR3/3	シルト	
11	暗褐色 10YR3/4	シルト	礫卵、微量	
	12	暗褐色 7.5YR3/3	シルト	ロームブロック少量
13	暗褐色 7.5YR3/3	シルト	ローム粒少量	
	14	褐色 7.5YR4/4	シルト	ロームブロック多量
15	暗褐色 7.5YR4/6	シルト	ロームブロック微量	
	16	暗褐色 7.5YR3/3	シルト	



第53図 7号住居・炉跡

7号住居跡ピット

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
形状	横 円	横 円	角 円	不 角	円	円	円	横 円	横 円	円	横 円
底さ	57	45	52	48	47	53	39	25	25	13	26
高さ	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
形状	円	横 円	円	横 円	円	横 円	横 円	横 円	横 円	円	円
深さ	28	11	22	27	8	16	23	27	30	11	

## 炉

(位置・方向) 住居跡南東部に位置している。炉の端部は住居跡の壁の一部となっていると考えられる。長軸方向はN-35°-Wである。

(規模・平面形) 最大長228cm、最大幅118cmである。平面形はダルマ形である。

(構造) 土器埋設石周部、敷石石組部、掘り込み部からなる複式炉である。

土器埋設石周部・長さ50cm、幅55cmである。径32cmの深鉢形土器を埋設し、土器の周囲に二重ないし三重に石を巡らしている。

敷石石組部・長さ65cm、幅105cmの長方形である。床面から敷石底部までの深さは28cmである。底面の石の上に奥壁及び側壁部の石がのっている。側壁部分の石は3段に積まれている。敷石石組部と掘り込み部の境の部分には石が敷かれていない。

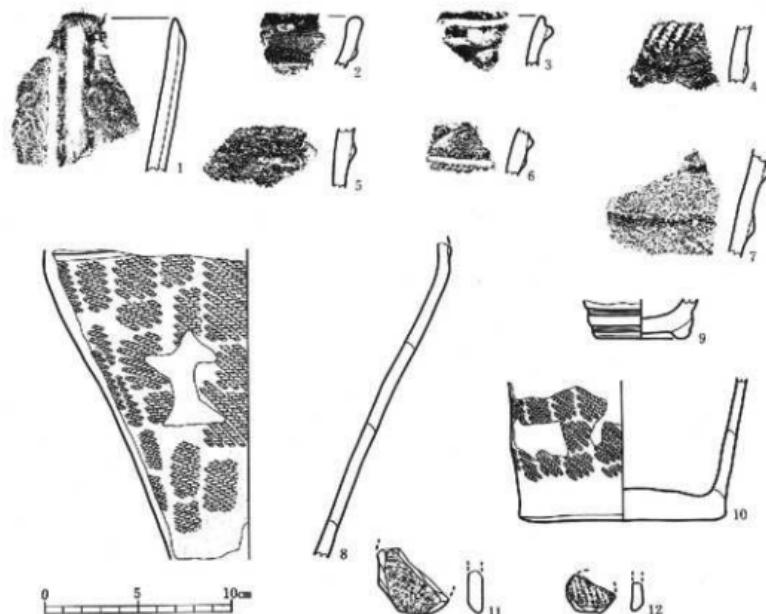
掘り込み部・長さ113cm、幅118cmの長方形である。床面から掘り込み部底面まで30cmである。掘り込み部の中央は凹んでいる。敷石石組部との境付近の上端には、2個の石が検出され、それに並んでいた石が抜き取られているような痕跡もあり、石組みであった可能性もある。

(使用痕跡) 土器埋設石周部の周囲は、石周部から10~20cmの範囲で赤変しており、かなりの火熱を受けた痕跡が認められる。また、敷石石組部にも赤変している部分があり、火熱を受けた痕跡が認められる。

(構築方法) 断ち割り精査を行なわず埋戻したため不明である。

その他の施設：住居跡中央部分、炉長軸の延長線上に、径16cmの埋設土器が検出されている。周囲には、火熱を受けて赤変している部分も見られる。土器の内部にも貼り床されており、住居跡拡張以前の埋設土器であると考えられる。

遺物の出土状況：住居跡堆積土中及び床面、炉内から縄文土器、石器が出土している。堆積土中の遺物は、各層位毎に取り上げられておらず、各層位に分けられなかったものを、堆積土中出土として一括した。



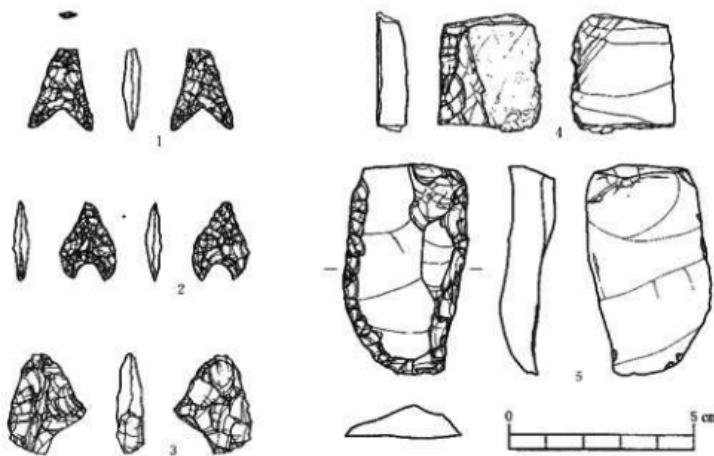
第54図 7号住居跡出土土器

第16表 7号住居跡出土土器集計表

分類	出土位置	堆積土	床面	炉	合計
口縁部	B	I	1		1
		II	2		2
小	計	3	0	0	3
体部	A	IV	1		1
	X	10	1	2	13
	X XI	1			1
	B	15		19	34
	C	9		11	20
小	計	36	1	32	69
合	計	39	1	32	72

第17表 7号住居跡出土石器集計表

分類	出土位置	堆積土	炉	周溝内	合計
石 器	Ⅳ			3	3
スクリイバ		1		1	2
二次加工のある剝片			1		1
微細剥離痕ある剝片		2	1		3
剝片(チップ含)		3		23	26
岩 片		2			2
小	計	8	5	24	37
礫			1		1
焼		1	4		5
小	計	1	5	0	6
合	計	9	10	24	43



No.	種別	地質	長×幅×厚(cm)	重量(g)	石種	使用痕	圖考
1	石核	ST	(21.75) × 16.00 × 4.10	9.80	—	—	—
2	石核	ST	20.00 × 14.25 × 4.10	9.80	青砂	—	—
3	石核	ST	(26.60) × (19.35) × (7.00)	2.60	—	—	抛げている
4	スクレーパー	泥炭	(31.70) × (27.25) × 8.40	9.10	青砂	—	—
5	スクレーパー	地盤土	56.85 × 32.95 × 12.20	25.10	チャート	—	—

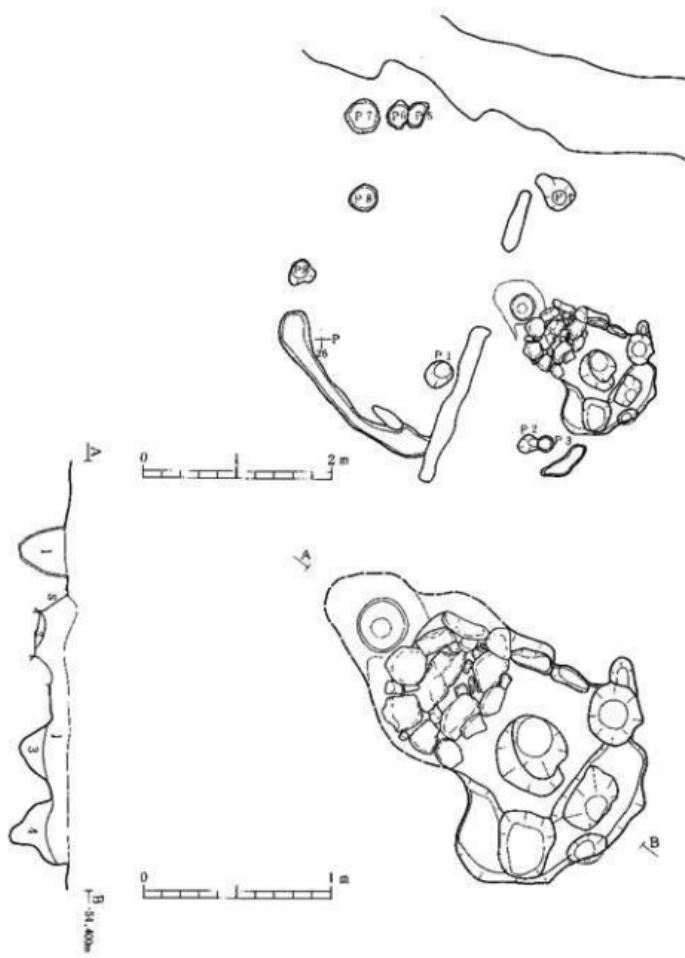
第55図 7号住居跡出土石器

#### 8号住居跡 (P-26住居跡)

遺構の確認：O・P-25・26に位置し、第5層上面で検出された。調査区内で最も第1層（表土）が薄い部分であり、本住居跡は、堆積土、壁、床面が削平を受けており検出されなかつた。

重複・増改築：小溝状遺構に切られており、本遺構の方が古い。位置的に12号溝及び5号掘立柱建物跡との重複関係も考えられるが、削平を受けている為不明である。増改築については、認められない。

規模・平面形：周溝の残存部より、径4~4.4mの円形を基調とした平面形であると推定される。



8号住居炉跡 (P-26住居) 土層註記表

層位	断面	土 性	上 性	備 考
1	1 陶 器 7.5YR3/3	シルト	シルト	燒土塊混、炭化物微量、ローム粘多量に含む
2	2 陶 器 7.5YR3/2	シルト	炭化物微量に含む	
3	3 陶 器 7.5YR3/2	シルト	炭化物微量、炭化物少量、油少量含む	
4	4 陶 器 7.5YR4/4	シルト	炭化物微量、炭化物微量、ローム粘多量に含む	

第56図 8号住居跡・炉跡

**周溝**：削平を受けており、住居跡南西部分及び炉の南側にのみ検出された。幅13~30cm、深さ7~14cm、断面形は「U」字形である。底面に凸凹はない。底面レベルは緩やかに南へ傾斜している。

**柱穴**：住居跡の範囲内と推定される部分から9個のビットが検出されている。ビット1・4は柱痕跡が確認されており、本住居跡の柱穴と考えられる。また、ビットの規模、配置等からビット7・8・9も柱穴であると考えられる。

8号住居跡ビット

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9
形状	円	横円	円	不整	不整	横円	円	円	不整
深さ	17	11	15	19	15	10	18	15	29
参考 柱痕有				柱痕有					
(16)				(20)					

### 炉

**(位置・方向)** 住居跡の南東部に位置しており、端部は住居跡の壁の一部になっていると推定される。長軸方向はN-50°-Wである。

**(規模・平面形)** 最大長183cm、最大幅130cmである。平面形はダルマ形である。

**(構造)** 土器埋設部、敷石石組部、掘り込み部からなる複式炉である。

土器埋設部・埋設土器は径約27cm程の深鉢形土器である。

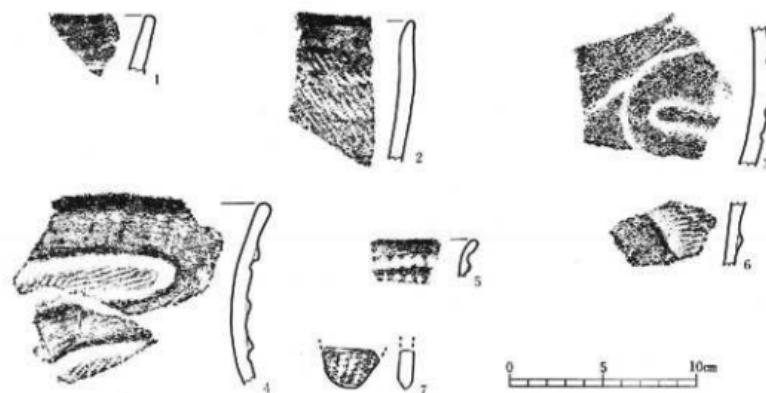
敷石石組部・長さ60cm、幅80cmの長方形である。確認面から深さは17cmである。底面の石の上に奥壁、側壁及び、掘り込み部との境の部分の石がのっている。奥壁及び側壁では、偏平な石を壁に貼り付けている。奥壁北側の石は崩れて落ち込んでいるという状況を示している。

掘り込み部・長さ90cm、幅130cmの長方形である。南側に張り出している。掘り込み部、中央及び南、北の端にビットがある。また、北側際に石の抜き取り痕跡と思われるビットがあり、石経があった可能性がある。

**(使用痕跡)** 埋設土器及びその周辺と、敷石石組部の底面から奥壁にかけて赤変しており、火熱を受けた痕跡が認められる。

**(構築方法)** 断ち割り精査を行なっていないため不明である。

**遺物の出土状況**：住居跡確認面及び、炉、周溝内より縄文土器片、石器が出土している。



No.	層位	形態	外観	内観	分類	備考
1	灰	深鉢	波線文	縦条(横)	B IV	
2	同	深鉢	LRR波文	縦条(横・凸)	B VI	
3	同	深鉢	波線文・小明調文	縦条(横)	X	
4	堆積土	深鉢	波線文・波綴文	リズ(横)	X I	
5	堆積土	深鉢	波綴文・刻文	縦条(横)	X	
6	堆積土	深鉢	波綴文・波綻文	縦条(横)	X	
7	堆積土	土製円盤				

第57図 8号住居跡出土土器・土製円盤

第18表 8号住居跡出土土器集計表

分類	出土位置	合計			
		堆積土	炉	周溝	合計
口縁部	A II		1		1
	X 2				2
	IV		1		1
	B VI			1	1
小計	VII			1	1
	計	2	2	2	6
	A IV	1	2		3
	X 3				3
体部	III			1	1
	IV 5				5
	B 18	10			28
	C 4	3			7
小計		31	15	1	47
底 部	IV 1			1	2
小計		1	0	1	2
合計		34	17	4	55

第19表 8号住居跡出土石器集計表

分類	出土位置	合計			
		堆積土	炉	周溝	合計
焼紅到達痕ある剝片	I	2			3
剝片(チップ含)			3	1	4
小計	I	5		1	7
塊	I	1			2
扁 平 塊	I				1
焼 塊	I				1
小計	3	1	0		4
合計	4	6	1		11

### 9号住居跡 (O-24住居跡)

遺構の確認: O・P-24・25に位置し、第4層上面で確認された。

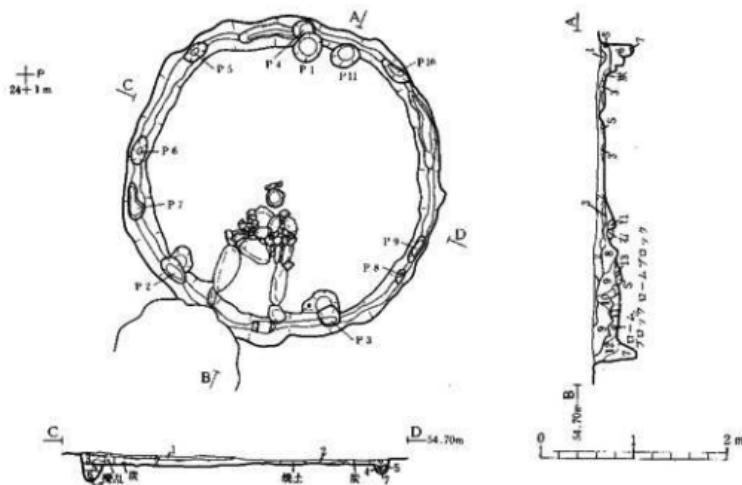
重複・増改築: 68号土壌に切られており、本住居跡の方が古い。66号、67号土壌を切っており、本住居跡の方が新しい。増改築は認められなかった。

規模・平面形: 長軸3.45m、短軸3.35mの円形である。

竪穴層位: 2層に大別される。2層中に多量の炭化物が含まれている。自然堆積である。

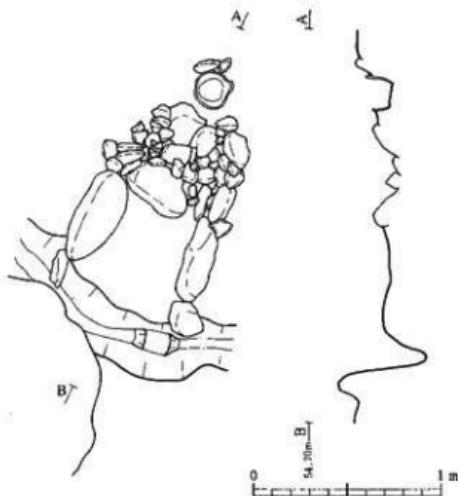
壁: 第4層、第5層を壁としている。5~15cmの高さで残存している。床面から急角度で立ち上がっている。

床面: ほぼ平坦で堅い。第5層を直接床面としているか、掘り方埋土上面を床面としているかは、断ち割り等の精査をしていないため不明である。



**周溝**：住居跡を全周している。幅15~30cm、深さ10~45cm、断面形「U」字形である。また、北側では、底面が段を形成しており、10cm以上のレベル差を示している。その他の部分の底面のレベルは、ほぼ一定である。周溝内より11個のピットが検出されている。

**柱穴**：住居跡より11個のピットが検出されている。いずれも周溝内である。柱痕跡は確認されなかった。柱穴としてピット2、3、4が考えられる。



第59図 9号住居跡

#### 9号住居跡ピット

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
形状	円	椭円	椭円	椭円	椭円	椭円	椭円	椭円	椭円	椭円	円
深さ	15	45	55	71	24	25	25	25	14	33	32
備考	埋 置	埋 置	埋 置								
	7.5YR3/3	7.5YR3/2	7.5YR4/3								
	シルト	シルト	シルト								

### 炉

(位置・方向) 住居跡南側やや西寄りに位置している。長軸方向はN-16°-Eである。

(規模・平面形) 最大長145cm、最大幅85cmである。平面形はダルマ形である。

(構造) 土器埋設石圓部、敷石石組部、石組部からなる複式炉である。

土器埋設部・長さ35cm、幅は石が抜き取られているため不明である。埋設土器は径20cmの深鉢形土器の体部である。土器の周囲に石を巡らしているが、ほとんど抜き取られ2個しか残存しなかった。また、埋設土器内部に3個の石が落ち込んでいる。

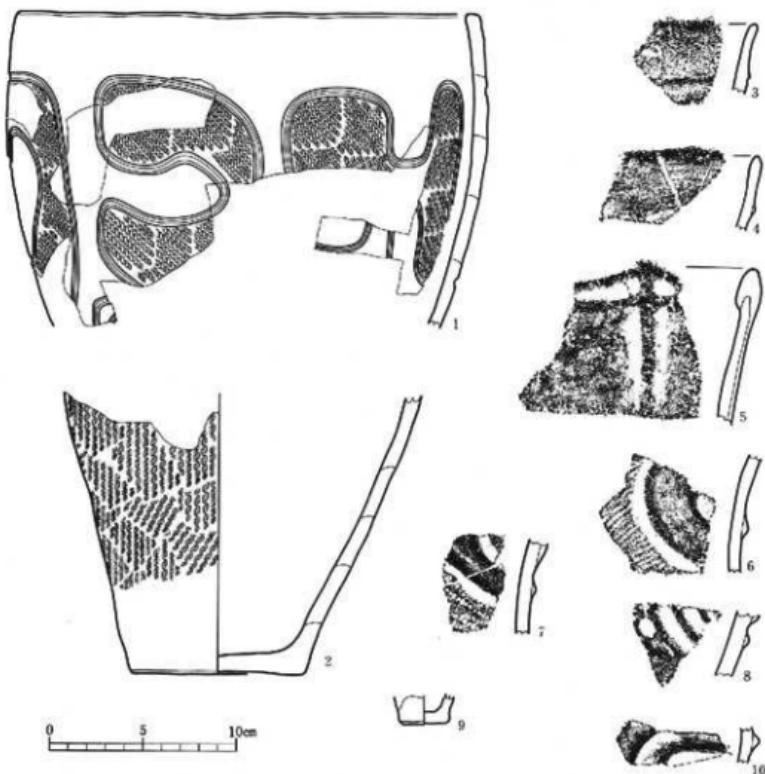
敷石石組部・長さ55cm、幅75cmの台形である。床面から敷石底面までの深さは22cmである。奥壁と石組部との境の石に、側壁部、底面の石がのっている。側壁部の石は2~3段積まれている。底面には、側壁部上部の石が崩れ込んでいるという可能性がある。

石組部・長さ55cm、幅85cmの台形である。大形の石を壁面に貼り付けている。石組部端部の石は周溝にかかっている。床面から底面までの深さは18cmである。底面はほぼ平坦である。

(使用痕跡) 埋設土器及びその周辺が赤変しており、火熱を受けた痕跡がみられる。

(構築方法) 断ち割り精査を行なっていないため不明である。

遺物の出土状況：住居跡堆積土及び住居内施設より縄文土器、石器が出土している。堆積土中の遺物は、各層位毎に取り上げておらず、各層に分けられなかったものを一括した。



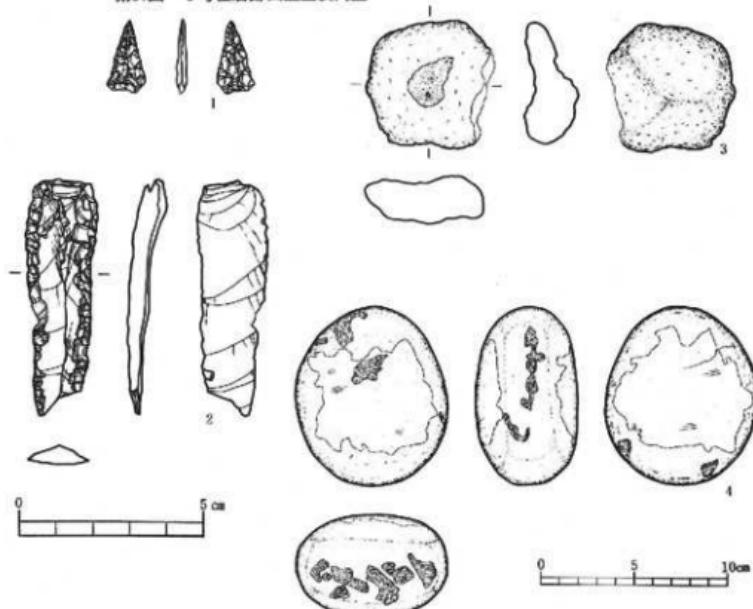
No.	器 物	形 細	外 図	内 図	形 細	分 類	備 考
1	埴輪土	深 紗	沙綿文・RL埴輪文・縦サ	縦サ (横・縦)		X S	
2	埴輪土	深 紗	RLR埴輪文	縦サ			
3	埴輪土	深 紗	縦縞文			B I	
4	埴輪土	深 紗	縦縞文・沙綿文			B II	
5	埴輪土	深 紗	縦縞文・沈縞文・判別大			S I	
6	埴輪土	深 紗	縦縞文・沈縞文・判別大			X	
7	埴輪土	深 紗	縦縞文・沈縞文・LR埴輪文			X	
8	埴輪土	深 紗	縦縞文・沈縞文・斜向文			X	
9	鉢	ミニチャア	ト デ	ト デ (横)	ト デ		
10	埴輪土	深 紗	縦縞文			X	

第60図 9号住居跡出土土器



No.	器 物	No.	器 物
1	埴 土	2	埴 土

第61図 9号住居跡出土土製円盤



No.	器 物	場 位	長 × 幅 × 厚 (mm)	重 量 (kg)	石 斧	使 用 面	備 考
1	石 斧A	東 沖	(19.30) × (9.80) × 2.85	0.30	—	—	
2	スクレイパー	埴 土	92.80 × 18.60 × 7.30	6.75	—	—	
3	磨石B	埴 土	20 (86) × 29	68.6	四一片面	四一片面、四一面削	
4	磨石C	埴 土3	95 × 80 × 56	623.5	四一片面、四一面削		

第62図 9号住居跡出土土石器

第20表 9号住居跡出土土器集計表

分類	出土位置	堆積土				合計
		1層	炉	合	計	
口縁部	A	1		1		
	X	1		1		
	XI	1		1		
	B	1		1		
体 部	質	2		2		
	小計	5	0	0	5	
	A	1		1		
	III	1		1		
	IV	1	1	2		
底 部	X	12		12		
	B	26	1	27		
	C	21		21		
	小計	62	1	64		
合 計	N	1		1		
	小計	1		1		
	合計	68	1	1	70	

第21表 9号住居跡出土石器集計表

分類	出土位置	堆積土				合計
		3層	炉上面	灰層	周溝内	
石 織	(A)	1				1
スクレイバー	1					1
二次加工のある剥片	1					1
微細網理のある剥片	3					3
剥片(チップ合)	3					3
岩 片				1		1
小計	8	0	0	1	1	10
同 石	1					1
崩 石 + 散 石				1		1
凸 + 凹 石	1					1
小計	2	0	0	1		3
珪 化 木			1			1
鐵	6	1				7
小計	6	1	1	0	0	8
合計	16	1	1	2	1	21

### 10号住居跡（M-25住居跡）

遺構の確認：L・M-24・25に位置し、4層上面で確認された。

重複・増改築：85号、325号土壤に切られており、本住居跡の方が古い。また、位置的に11号住居跡との重複関係が考えられるが、削平のため不明である。増改築は確認されなかった。

規模・平面形：長軸4.75m、短軸4.70mの円形である。

竪穴層位：3層に大別される。いずれも自然堆積である。

壁：第4層、第5層を壁としている。7~39cmの高さで残存している。床面から急角度で立ち上がっている。

床面：ほぼ平坦で堅い。第5層を直接床面としているか、掘り方埋土上面を床面としているかは、断ち割り精査をしていないため不明である。

周溝：炉の両脇部分と、削平を受けていた部分を除いて住居跡内を全周している。幅20~40cm、深さ17~30cm、断面形は「U」字形である。底面には凸凹が見られるが、底面レベルはほぼ一定である。周溝内より9個のビットが検出されている。

柱穴：住居跡内より14個のビットが検出されている。ビット3・4で柱痕跡が確認されている。柱痕跡を確認した段階で掘り込みを中止しており、深さ等は不明である。他のビットでは柱痕跡は確認されなかった。本住居跡に伴う柱穴は、ビット1・2・3・4と考えられる。また、ビット7・8も可能性がある。

10号住居跡ビット

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
形状	円	不整丸	不規則	楕円	円	椭円	円	椭円	椭円	椭円	椭円
深さ	41	59	—	—	38	33	33	42	21	34	37
参考	褐色	褐色	柱痕跡								
	7.5YR4/3	7.5YR4/3	褐色	暗褐色	褐色	暗褐色	褐色	暗褐色	褐色	暗褐色	暗褐色
	シルト	シルト	7.5YR4/3	7.5YR3/4	7.5YR4/3	7.5YR3/4	7.5YR4/3	7.5YR3/4	7.5YR4/3	7.5YR3/4	7.5YR4/3
			シルト								
No.	12	13	14								
形状	円	椭円	円								
深さ	29	30	—								
参考											

### 炉

(位置・方向) 住居跡南東部に位置しており、炉の端部は住居跡の壁の一部となっている。長軸方向は、N-60°-Wである。

(規模・平面形) 最大長220cm、最大幅170cmである。平面形はグルマ形である。

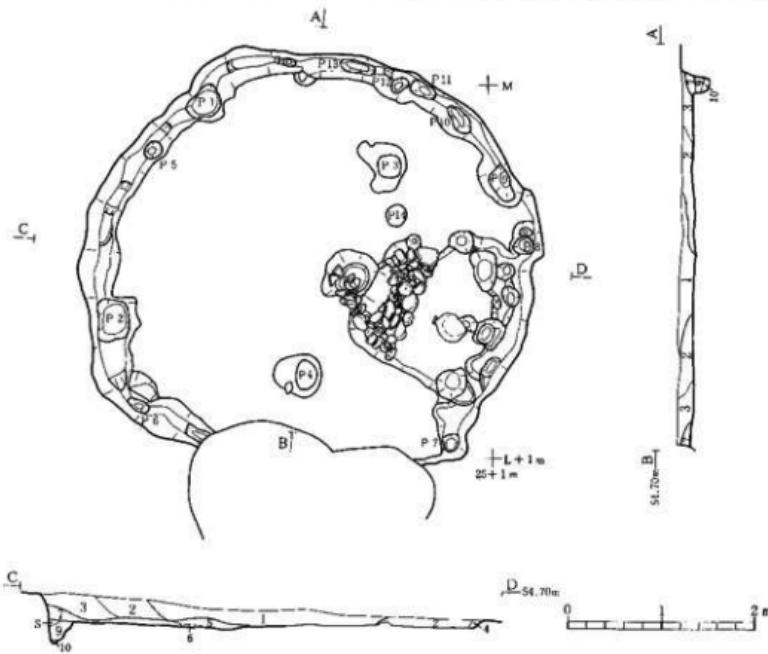
(構造) 土器埋設石組部、敷石石組部、掘り込み部からなる複式炉である。

土器埋設石組部・埋設土器は抜き取られている。また、石組部は南側の敷石石組部との境付近にしか残存しない。埋設土器、石組部の抜き取りの痕跡は長さ53cm、幅60cmである。床面

から底面までの深さは28cmである。

敷石石組部・長さ55cm、幅135cmの台形である。奥壁部の石は残存しない。床面から敷石底面までの深さは、37cmである。底面の石の上に側壁の石がのっている。側壁の石は3～4段積まれている。

掘り込み部・長さ112cm、幅170cmの台形である。床面から底面までの深さは23cmである。底面は平坦であるが、壁際に溝及びピットがみられる。また、住居跡壁際に周溝の一部とも考



10号住居跡 (M-25住居) 土層記録表

層序	層名	上	内	下	性	備	等
1	1	層	7.5YR4/4		シルト	炭化物、スコリヤ多く含む	
	2	層	7.5YR4/4		シルト	スコリヤ含む	
2	3	層	7.5YR4/6		シルト	スコリヤ及び層中の炭化物含む	
	4	層	10YR4/6		シルト	ローム様多く含む	
3	5	10YR4/6-7.5YR4/3			粘土質シルト	ローム様多く含む	
	6	層	10YR4/4		シルト		
	7	層	10YR4/4		シルト	ローム層 (バシリス) 多く含む	
4. 溝	8	層	10YR5/6		シルト	スコリヤ多量	
	9	42.45-46.45	10YR4/3		粘土質シルト	スコリヤ少	
	10	層	10YR5/8		粘土質シルト	砂利多く含む	

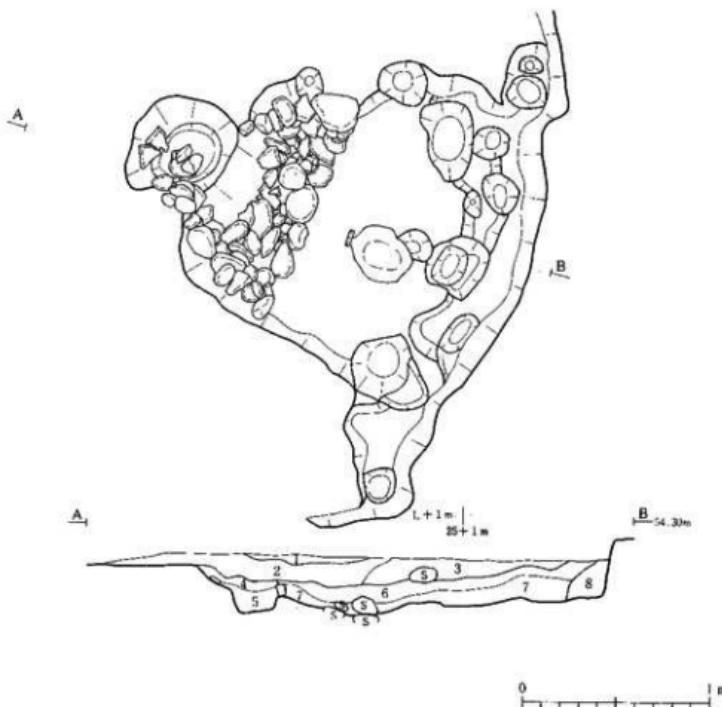
第63図 10号住居跡

えられる張り出し部分がある。

(使用痕跡) 明瞭な使用痕跡は認められなかった。

(構築方法) 断ち割り精査を行なっていないため不明である。

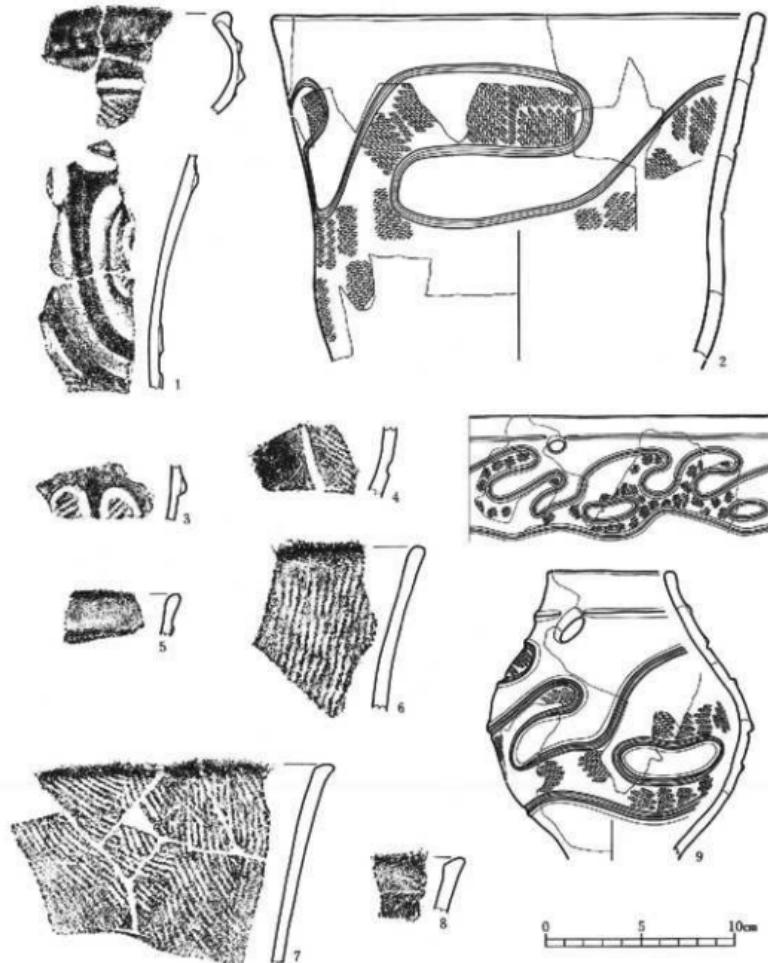
**遺物の出土状況**：住居跡堆積土及び炉、周溝内より縄文土器、石器が出土している。堆積土中とした遺物は、各層位毎に取り上げられておらず、各層に分けられなかつたものを一括した。



10号住居跡 土層記表

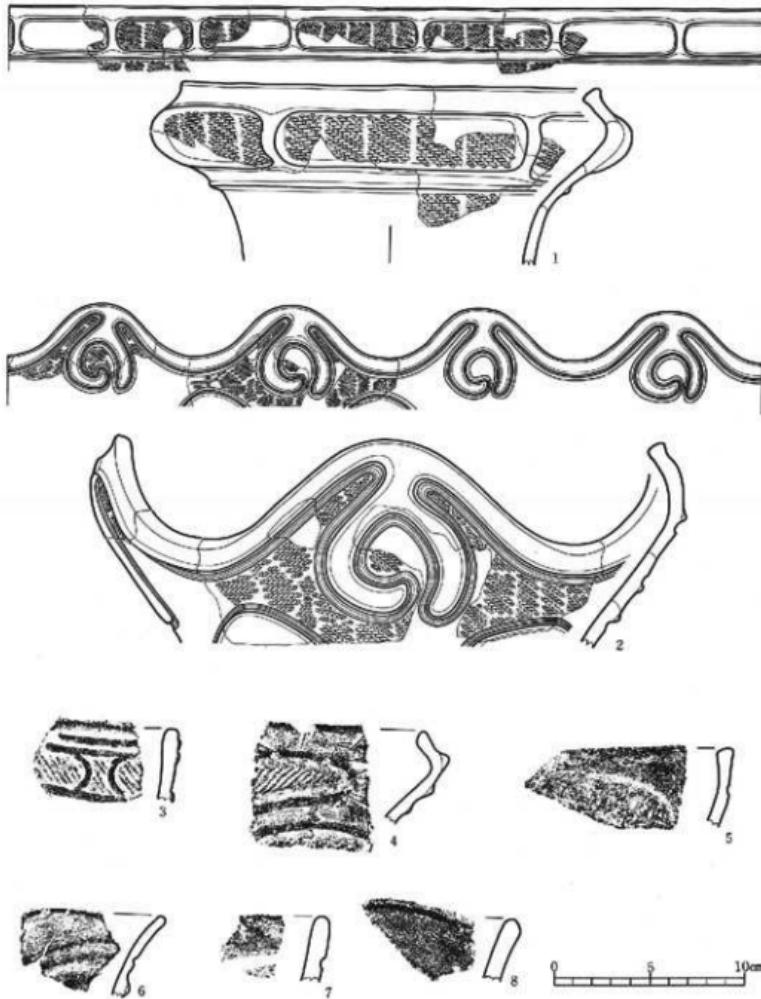
層位	剖面No.	土色	土性	備考
1	1	褐	7.SVR3/4	シルト 炭化物含む
2	2	褐	7.SVR4/3	シルト ローム化、炭化物含む
3	3	褐	7.SVR4/4	シルト ローム化含む
4	4	褐	7.SVR3/4	シルト ロームブロック含む
5	5	褐	7.SVR4/4	シルト 炭化物含む
6	6	褐	7.SVR4/4	シルト 焼土含む
7	7	褐	7.SVR4/3	シルト 燒土を多量に含む
8	8	褐	7.SVR4/6	シルト

第64図 10号住居跡炉跡



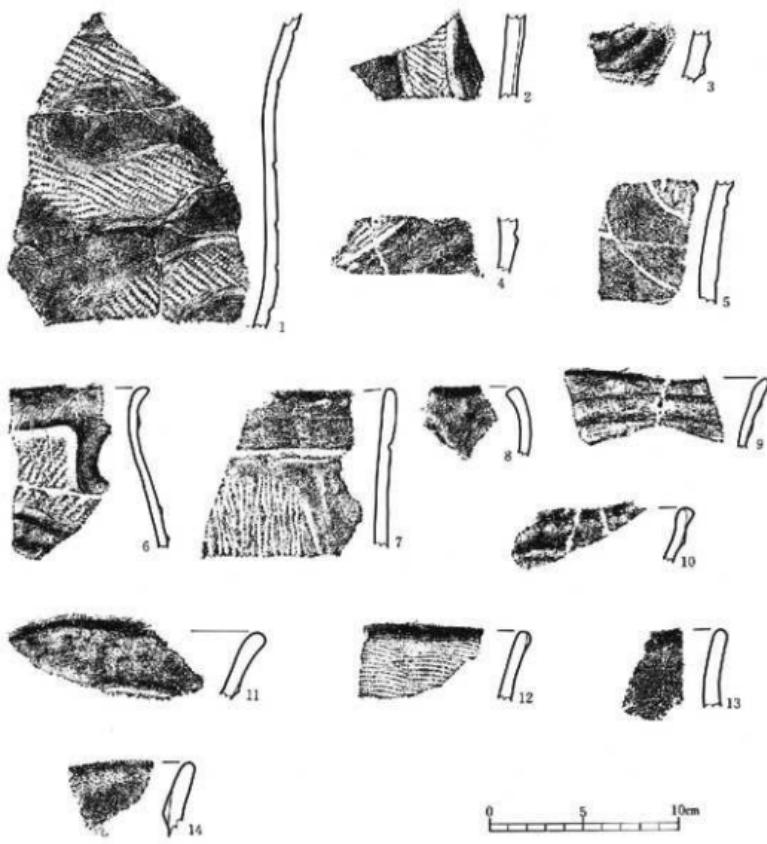
No.	層位	外觀	內觀	分類	備考
1	Ⅳ	圓錐形。沈綱文。RL繩文	圓孔(橫・斜)	IX or X	
2	Ⅳ	圓錐形。沈綱文。RL繩文	圓孔(橫)	XIa	
3	Ⅳ	圓錐形。沈綱文。RL繩文	圓孔(橫)	IX or X	
4	Ⅳ	圓錐形。沈綱文。RL繩文	圓孔(橫)	X	
5	Ⅳ	圓錐形	圓孔(橫・斜)	B.I	
6	Ⅳ	圓錐形。RL繩文	半圓孔(橫)	B.VI	
7	Ⅳ	圓錐形。RL繩文	圓孔(橫)	B.VI	
8	Ⅳ	圓錐形	圓孔(橫・斜)	B.VII	
9	Ⅳ	圓錐形。沈綱文。RL繩文。圓孔	圓孔(橫)	X	

第65圖 10号住居跡出土土器(1)



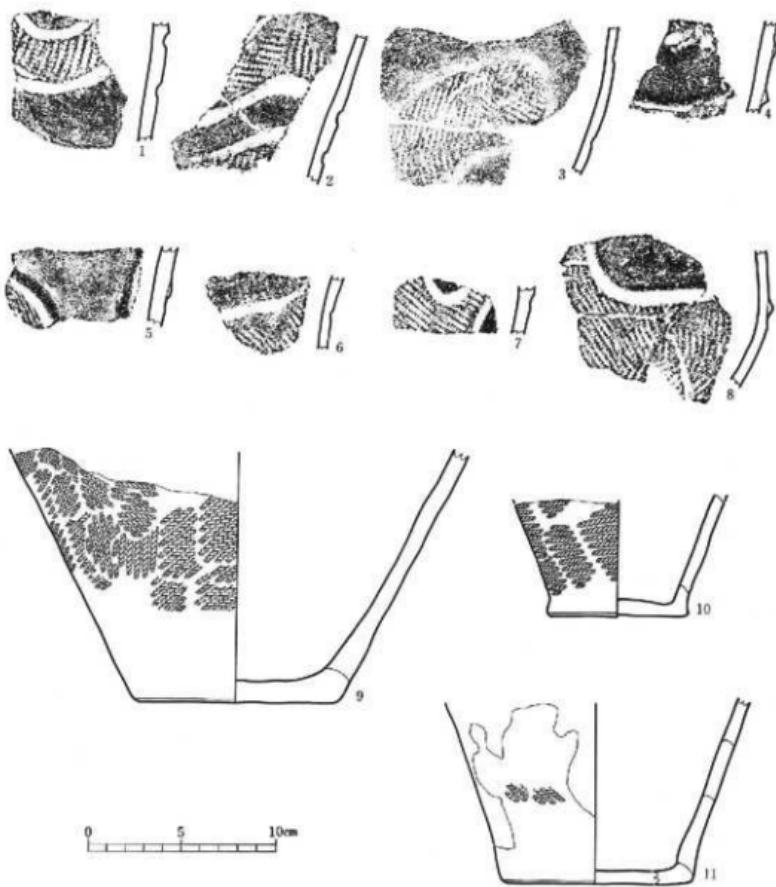
No.	器種	圖形	外觀	内觀	分類	備考
1	繩紋土	圓孔	圓孔文・LR旋文・圈足	圈足(燒)	X2	
2	繩紋土	圓孔	圓孔文・沈縹文・LR旋文	圈足(燒)	X1c	
3	繩紋土	圓孔	圓孔文・HL旋文	圈足(燒・刮)	VIII	
4	繩紋土	圓孔	圓孔文・LH旋文	圈足(燒)	X	
5	繩紋土	圓孔	沈縹文・不明圓文	圈足(燒)	X	
6	繩紋土	圓孔	圓孔文・沈縹文	圈足(燒)	X	
7	繩紋土	圓孔	沈縹文・沈縹文	圈足(燒)	X	
8	繩紋土	圓孔	沈縹文	圈足(燒)	B IV	
					B VII	

第564圖 10號住居跡出土土器 (2)



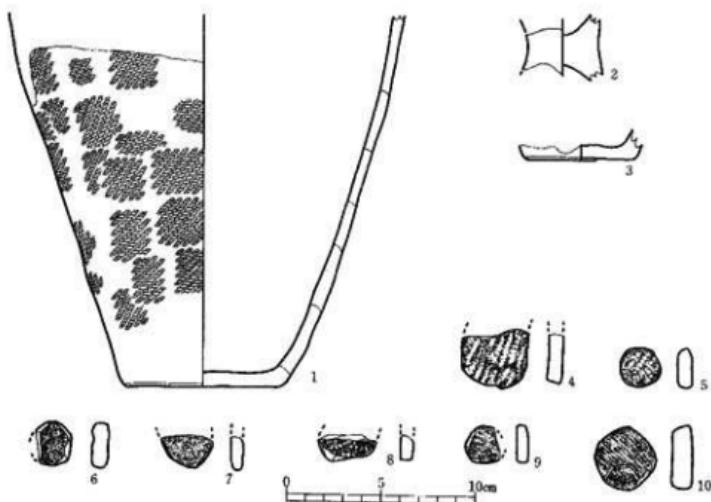
No.	層位	器形	外観	内観	分類	備考
1	堆積土	深鉢	波線文、LRI繩文	縦+（横・斜）	X	
2	堆積土	深鉢	階級文、波綱文、RLI繩文	縦+（横）	X	
3	堆積土	深鉢	階級文	縦+（横）	X	
4	堆積土	深鉢	階級文、波綱文、RLI繩文	縦+（横）	X	
5	堆積土	深鉢	波綱文、斜綱文	縦+（横）	X	
6	1層	深鉢	階級文、波綱文、RLI繩文	縦+（横）	X	
7	1層	深鉢	波綱文、LII波糸文	縦+（横）	H IV	
8	1層	深鉢	階級文	縦+（横）	X	
9	1層	深鉢	階級文	縦+（横・ナフ）	X	
10	1層	深鉢	階級文	縦+（横・横）	X	
11	1層	深鉢	階級文	縦+（横）	H II	
12	1層	深鉢	階級文、LRI繩文	縦+（横）	H VI	
13	1層	深鉢	縦+子	縦+（横）	H VIII	
14	1層	深鉢	縦+	縦+（横）	H VII	

第67図 10号住居跡出土土器(3)



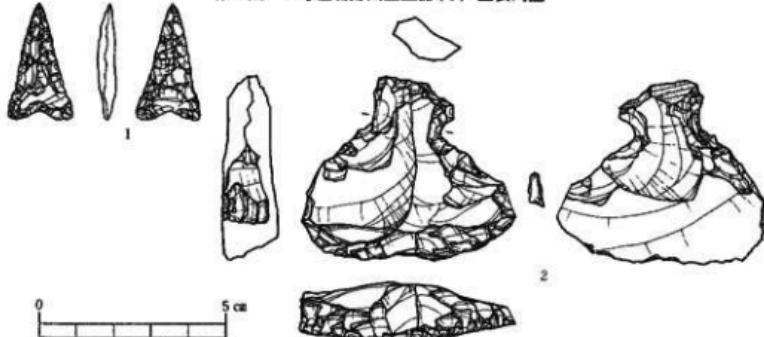
%	層	形	外 面	内 面	成 分	分 類	附 考
1	1層	骨 片	沈縞文・LR縞文	縞文(横)	X		
2	1層	骨 片	沈縞文・RL縞文	縞文(横)	X		
3	1層	骨 片	沈縞文・LR縞文	縞文(横)	X		
4	1層	骨 片	沈縞文・沈縞文	縞文(横)	X		
5	1層	骨 片	龍鱗文・沈縞文・LR縞文	縞文(横)	X		
6	1層	骨 片	沈縞文・LR縞文	縞文(横)	X		
7	1層	骨 片	沈縞文・LR縞文	縞文(横)	X		
8	堆積土	骨 片	孫縞文・沈縞文・LR縞文	縞文(横・直・斜)	X		
9	2層	骨 片	RL縞文・縞文	縞文(横)	+		
10	1層	骨 片	LR縞文・ナゲ	縞文(横)	ナゲ		
11	堆積土	骨 片	LR縞文・唐縞・ナメツ	ナメツ	ナメツ		

第68図 10号住居跡出土土器 (4)



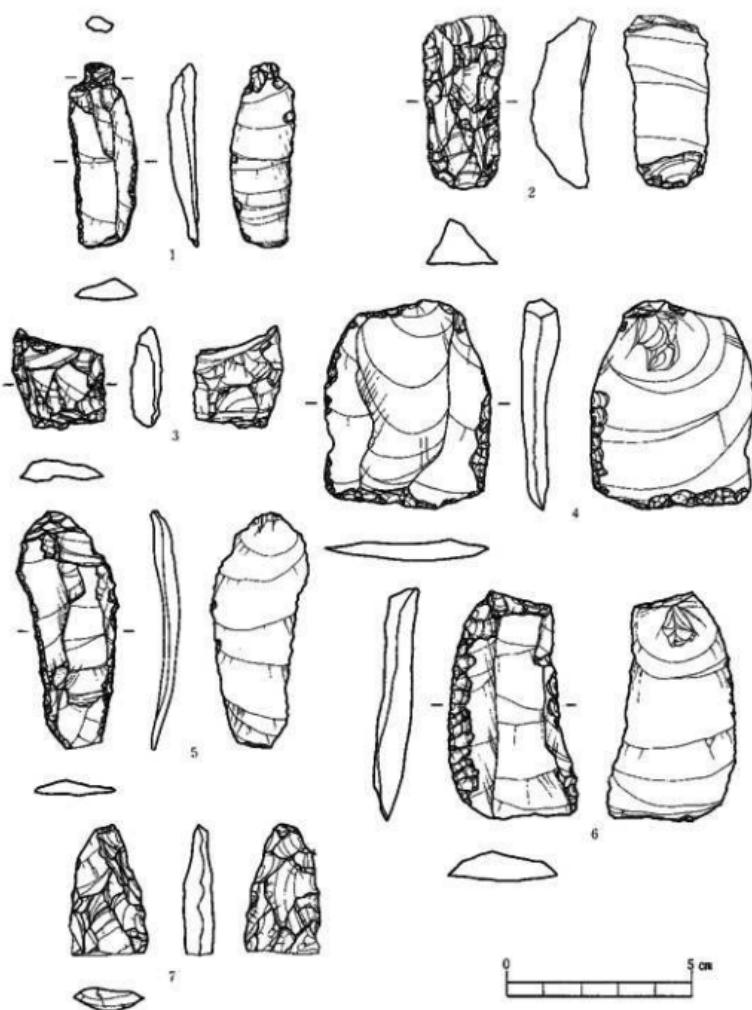
No.	地区・層位	形	外 形	内 面	底 部	分類	編 号
1	1層 泥質土	縦耳 コルト	丸筒形	マメツ ササキ	平+		
2	1層 シカチアン 堆積土	縦耳 コルト	丸筒形	マメツ ササキ	平+		
3	堆積土	ヒニナフ	丸筒形	マメツ (ササキ)	平+		
4	堆積土	土製円盤					
5	堆積土	土製円盤					
6	堆積土	土製円盤					
7	堆積土	土製円盤					
8	堆積土	土製円盤					
9	堆積土	土製円盤					
10	堆積土	土製円盤					

第69図 10号住居跡出土土器(5)・土製円盤



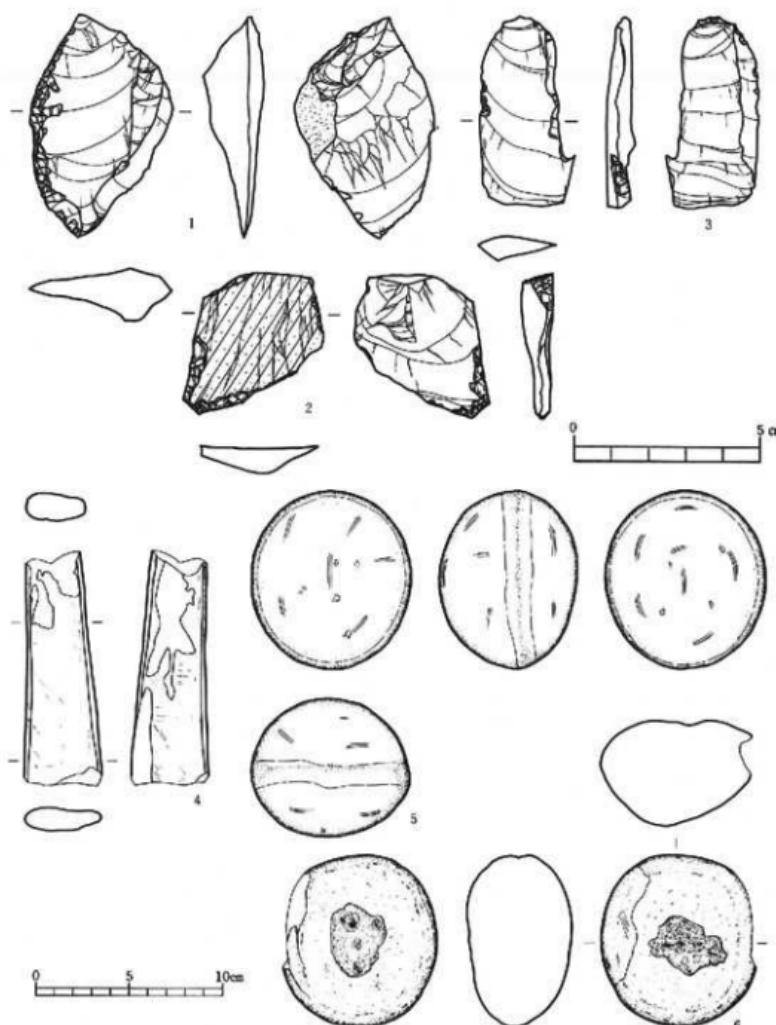
No.	種 別	層 位	長 × 幅 × 厚 (mm)	重 量 (g)	石 材	使 用 状 況	編 号
1	石 器	2層 砂質土	30.55×16.35×4.75	1.40	—	—	
2	石 器	2層 砂質土	49.00×(56.20)×5.80	31.75	麻岩	—	

第70図 10号住居跡出土石器(1)



No.	種別	個数	長×幅×厚(mm)	重さ(g)	材質	使用法	備考
1	石核	1個	49.75×17.70×7.00	5.30	真岩	—	
2	塊状石核	塊状上	(46.55)×21.80×12.60	14.15	—	—	
3	スクレーヴィー	1個	26.80×24.35×6.25	4.05	真岩	—	
4	スクレーヴィー	1個	56.30×44.10×9.45	18.20	真岩	—	
5	スクレーヴィー	1個	(63.30)×26.30×5.50	7.05	真岩	—	
6	スクレーヴィー	1個	63.05×34.05×8.25	17.60	真岩	—	
7	スクレーヴィー	塊状上	(35.13)×(26.60)×7.85	4.55	真岩	—	

第71図 10号住居跡出土石器(2)



第72図 10号住居跡出土石器(3)

No.	種別	場所	長×幅×厚(mm)	重さ(g)	材	使用面	備考
1	スクレーパー	1組	59.60×37.70×19.85	18.05	砂岩	—	
2	二次加工ある剝片	1組	38.50×37.25×8.15	7.35	珪化・凝灰岩	—	
3	二次加工ある剝片	堆積土	56.85×25.45×8.00	6.60	頁岩	—	
4	石剝	研	—	—	—	—	
5	研打面	1組	93×84×72	789.0	—	磨一平面	
6	研打面	1組	91×81×58	561.5	—	門一凹面、扉一平面	

第22表 10号住居跡出土土器集計表

分類	出土位置	堆積土	1層	炉	周溝	合計
II縁部	A II		1			1
	III		1			1
	IV	1				1
	X	6	4	1		11
	I		4	1		5
	IV	2	8			10
	V		1	2		3
	VI	3	8		1	12
	小計	12	27	4	1	44
	II		1		1	2
全体部	III	J	2			3
	IV	2	6			8
	X			1		1
	X	10	40	4	3	57
	XI		1			1
	XIV		11			11
	B	17	70	3		90
	C	3	33			36
	小計	33	164	8	4	209
	IV	1				1
底部	V	1	1			2
	小計	2	1	0	0	3
	合計	47	192	12	5	256

第23表 10号住居跡出土石器集計表

石器(A)	堆積土	1層	2層	炉	周溝	合計
石鑿	1	1				1
石鑿						2
塊状石器	1					1
スクレイパー	1	5				6
二次加工のある剝片	2	1				3
微細鋸歯ある剝片	1	11			1	13
剝片(チップ含)	4	12			2	18
小計	10	30	1	0	3	44
石劍				1		1
小計	0	0	0	1	0	1
圓石		2				2
圓石+廢石	1					1
廢石		1				1
小計	1	3	0	0	0	4
珪化木		1		1		2
礫	7	7		1	1	16
扁平礫		1		3		4
焼礫	1	2		2	1	6
小計	8	11	0	7	2	28
合計	19	44	1	8	5	77

### 11号住居跡（K-25住居跡）

遺構の確認：K・L-24・25に位置し、4層上面で確認された。

重複・増改築：325号土壇に切られており、本住居跡の方が古い。また、位置的に85号土壇との重複関係も考えられるが、削平のため不明である。周溝が二重になる部分も見られるが、住居跡の拡張の痕跡かどうかの確認はできなかった。

規模・平面形：住居跡北東部は削平を受けており、正確な規模、平面形は不明である。周溝の残存部分より、径5.2～5.5mの円形を基調とした平面形であると考えられる。

竪穴層位：削平を受けているため、住居跡南西部にのみ残存する。1層に大別される。自然堆積である。

壁：住居跡西側にのみ残存する。第4層、第5層を壁としている。2～12cmの高さで残存している。

床面：住居跡北西部は平坦で堅い。住居跡北東部は削平されている可能性もあるが、その範囲は確認できなかった。第5層」面を直接床面としているか、掘り方埋土上面を床面としているかは断ち割り等の精査をしていないため不明である。

周溝：住居跡西側及び南側に残存している。西側では二重になる部分もみられる。幅14～35cm、深さ4～18cm、断面形は「U」字形である。底面はやや凸凹がみられる。底面レベルはほぼ一定である。周溝内より9個のピットが検出されている。

柱穴：住居跡と考えられる範囲内より、12個のピットが検出されている。柱痕跡はピット7、11、12で確認されている。本住居跡に伴う柱穴は、ピット7、12が考えられるが、他の柱穴は不明である。

11号住居跡ピット

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
形狀	円	半円	扇円	円	扇円	扇円	西円	扇円	扇円	円	円
深度	23	25	35	16	23	24	35	22	29	5	9
備考							柱痕有				柱痕有
						450					(22)
No.	12										
形狀	不整										
深度	-										
備考	柱痕有										
											(64)

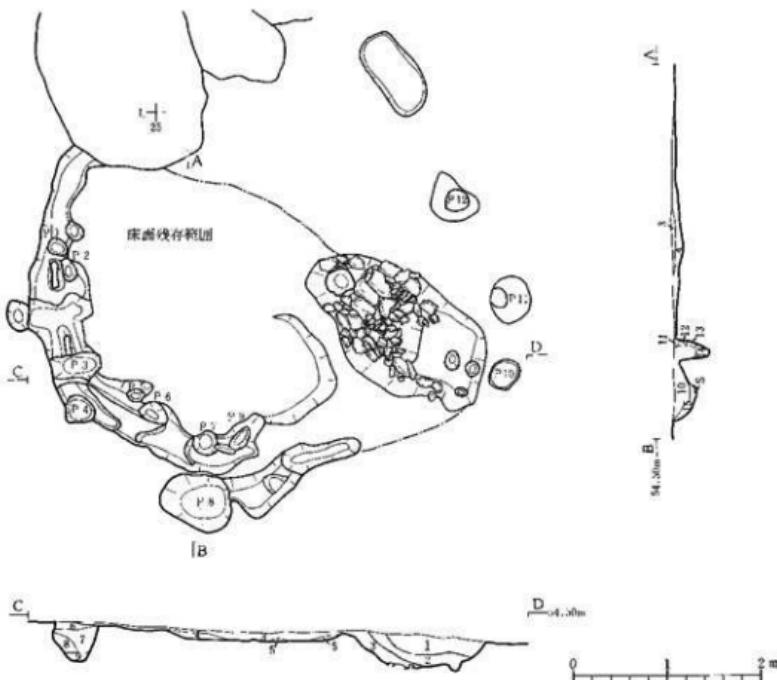
### 炉

（位置・方向）住居跡の南東部に位置している。炉の端部は、住居の壁の一部となっていると考えられる。長軸の方向はN-53°-Wである。

（規模・平面形）最大長220cm、最大幅120cmである。平面形はダルマ形である。

(構造) 土器埋設石組部、敷石石組部、掘り込み部からなる複式炉である。

土器埋設石組部・長さ45cm、幅65cmである。埋設土器は、径30cmの深鉢形土器の体部である。土器の周囲に石を巡らしているが、石は半分しか残っていなかった。



11号住居跡（K-25住居）土層註記表

層位	層号	土 壤	特 徴	小 塵	地 帯	特 徴
6.72m	1	暗 潤 7.5YR3/3		シルト	等中の炭化物、スコリアを含む	
	2	暗 潤 7.5YR3/4		シルト	約下の炭化物を有する	
	3	暗 潤 7.5YR4/4		シルト	若干のスコリアを含む	
	4	暗 潤 10YR3/4		シルト	スコリアを含む	
	5	暗 潤 10YR4/6	粘土質シルト	コームブロックを含む		
	6	灰 潤 7.5YR2/2	シルト	炭化物、スコリアを含む		
4.50m	7	暗 潤 0.5YR3/4	粘土質シルト	スコリアを多量に含む(2層より多い)		
	8	暗 潤 7.5YR4/3	粘土質シルト	スコリア、コームブロックを含む		
	9	暗 潤 10YR5/6	粘土質シルト	コームブロックを含む		
ビット	10	暗 M 10YR3/3	粘土質シルト	スコリアを含む		
	11	暗 M 10YR6/8	粘土質シルト			
	12	暗 10YR5/4	粘土質シルト			
	13	暗 7.5YR4/6	シルト			
	14	明 黒潤 10YR4/3	粘土質シルト			
	15	明 黑潤 10YR6/8	粘土質シルト			

第73図 11号住居跡

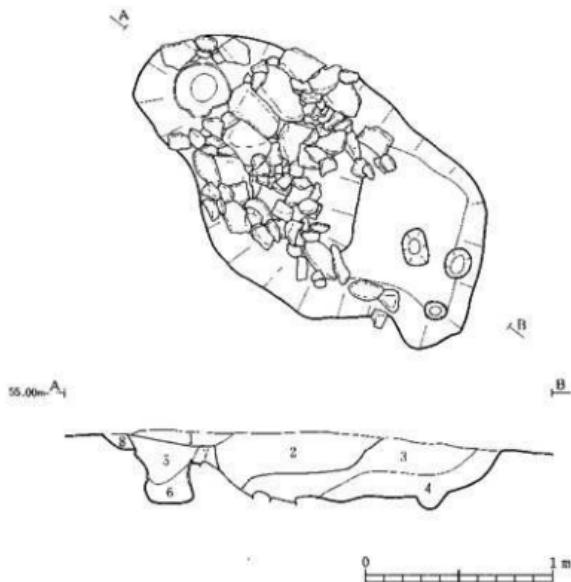
敷石石組部・長さ90cm、幅120cmの台形である。床面から敷石底面までの深さは38cmである。掘り込み部との境部分では、底面には石はなかった。また、側壁部分の石も、先端に近い半分では3~4段積み上げられているが、掘り込み部に近い方では、1段位しか残っていなかった。

掘り込み部・長さ85cm、幅110cmの長方形である。床面から底面までの深さは23cmである。先端に近い部分にピットがみられる。南側の壁面に3個の石が確認されている。

(使用痕跡) 埋設土器の内部に、焼土粒及び炭化物が多量に含まれていた。

(構築方法) 断ち割り精査を行なっていないため不明である。

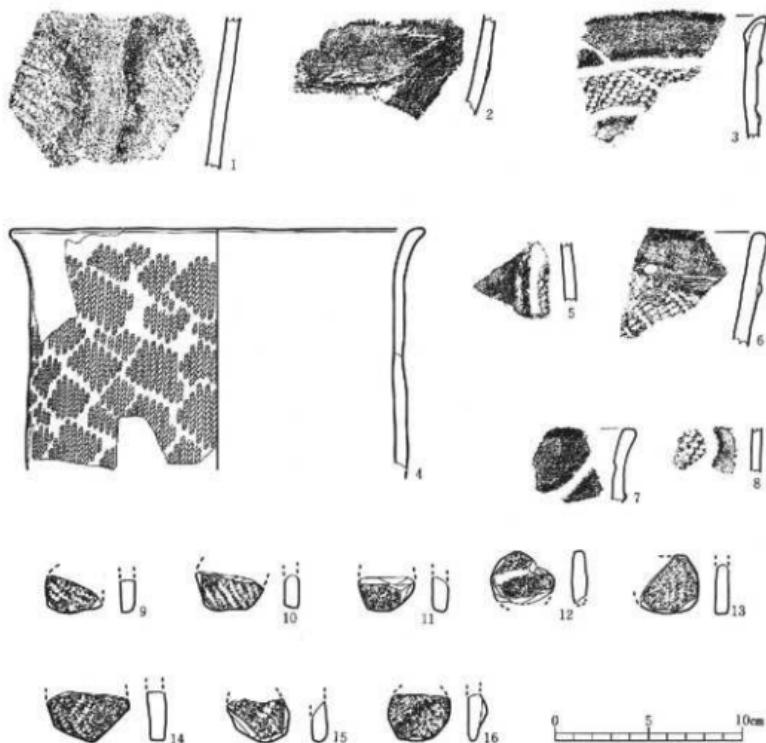
遺物の出土状況：住居跡堆積土中及び炉内より縄文土器、石器が出土している。堆積土中とした遺物は、各層位毎に取り上げられておらず、各層に分けられなかつたものを一括した。



11号住居跡 土層記表

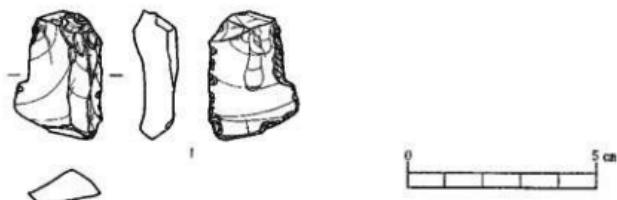
層	層位	性	性	性
1	1-2.5YR4/3	シルト	層平の炭化物含む	
	2-2.5YR3/4	シルト	炭化物、スコリ亞含む	
2	3-7.5YR3/3	シルト	岩手の炭化物、スコリ亞含む	
	4-7.5YR3/4	シルト	層平の炭化物含む	
埋設土器	5-7.5YR4/4	シルト	炭化物、焼土粒多含む	
	6-10YR4/1	シルト	炭化物を帶びて多量に含む	
3	7-7.5YR4/3	シルト	層平の炭化物を含む	
	8-10YR4/4	シルト		

第74図 11号住居炉跡



No.	层位	器形	外 形	内 形	分 带	说 明
1	Ⅱ层	陶 筒	陶筒文。LR圈文	圈+ (横+竖)	X	
2	Ⅱ层	陶 筒	陶筒文。沈綱文	圈+ (横)	X	
3	堆积土	陶 筒	陶筒文。沈綱文。LII圈文	圈+ (横)	X	
4	2层	陶 筒	RII圈文。柳+	圈+ (横)	B VI	
5	堆积土	陶 筒	陶筒文。沈綱文。LII圈文	圈+ (横)	X	
6	堆积土	陶 筒	陶筒文。柳+文。LII圈文	圈+ (横)	X	
7	堆积土	陶 筒	陶筒文。沈綱文	圈+ (横)	B II	
8	堆积土	陶 筒	陶筒文。沈綱文。RII圈文	圈+ (横)	X	
9	堆积土	土制内盆				
10	堆积土	土制内盆				
11	堆积土	土制内盆				
12	堆积土	土制内盆				
13	堆积土	土制内盆				
14	堆积土	土制内盆				
15	堆积土	土制内盆				
16	堆积土	土制内盆				

第754图 11号住居跡出土土器·土製内盆



No.	種類	出土位置	長×幅×高(mm)	重量(g)	C付	使用痕	備考
1	スクレーパー	2層	39.90×22.90×11.10	7.05	無	—	—

第76図 11号住居跡出土石器

第24表 11号住居跡出土土器集計表

分類	出土位置		堆積土	炉	合計
	A	X			
門縁部	A	3		3	
	I	1		1	
	V	1		1	
小計	C	1		1	
	計	5		1	6
	B	1		1	
体部	X	8		2	10
	B	27		15	42
	C	13		13	26
小計	計	49		30	79
	部	V		3	3
	計	3		0	3
合計	計	57		31	88

第25表 11号住居跡出土石器集計表

分類	出土位置	堆積土	2層	炉	合計
スクレーパー			1		1
二次加工のある剥離		1	1	1	3
剥離片(チップ含)			2	1	3
小計		1	4	2	7
石			1		1
小計		0	1	0	1
磚		4	4	1	9
平磚			1		1
焼			6		6
小計		4	5	7	16
合計		5	10	9	24

### 12号住居跡 (K-24住居跡)

遺構の確認：K-24に位置し、4層上面で炉だけが確認された。炉の周辺が削平を受けているため、住居跡の規模、平面形、堆積土、壁、床面、柱穴等は不明である。

重複：332号土壤に切られており本住居跡の方が古い。

#### 炉

(位置・方向) 住居跡内での位置は不明である。長軸の方向はN-20°-Eである。

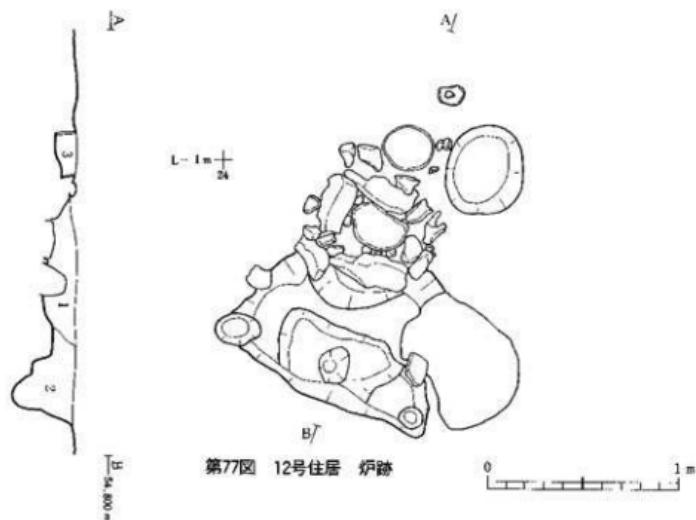
(規模・平面形) 最大長155cm、最大幅125cmである。平面形はグルマ形である。

(構造) 土器埋設石圓部、敷石石組部、掘り込み部からなる複式炉である。

土器埋設石圓部・長さ30cm、幅35cmである。埋設土器は、深25cmの鉢形土器の体部である。土器の周囲に石を巡らしているが、4個の石しか残存しなかった。

敷石石組部・長さ75cm、幅70cmの長方形である確認面から敷石底面までの深さは10cmである。掘り込み部との境の部分の底面には石はなかった。

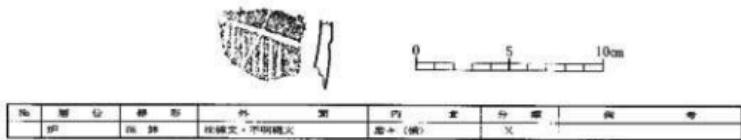
掘り込み部・掘り込み部は東側を332号土壤に切られているが、長さ50cm、幅125cmの台形である。確認面からの深さは15cmである。底面は南側が5~10cm凹んでいる。南側の壁際に



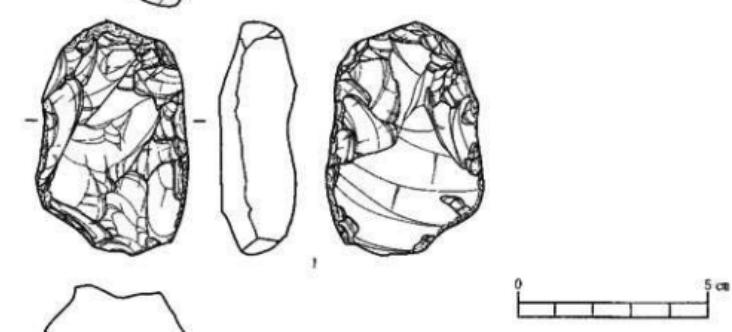
第77図 12号住居 炉跡

12号住居 (K-24住居) 炉跡土層記表

層位	層No.	土 種	色	チ 法	場	年
1	1	糊	10YR3/4	シルト	炭化物	
	2	糊	7.5YR4/4	シルト	炭化物・ロームグローブ	
埋立土	3	糊	10YR3/3	シルト	炭化物	桃子



第78図 12号住居跡出土土器



第79図 12号住居跡出土石器(1)

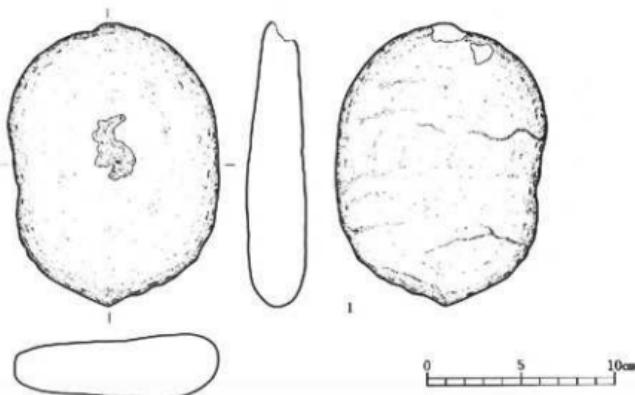
ピットが3個検出された。

(使用痕跡) 埋設土器内部に焼土、炭化物が多量に含まれていた。

(構築方法) 断ち割り精査を行なっていないため不明である。

その他の施設：炉の土器埋設石匣部東側に長軸47cm、短軸41cm、確認面からの深さ17cmの梢円形のピットが検出されている。位置的に柱穴とは考えられず性格は不明である。

遺物の出土状況：住居跡確認面及び炉堆積土内より縄文土器片、石器が出土している。



No	性別	部位	長×幅×厚(mm)	重量(g)	材質	使用痕	備考
1	無	炉	190×107×30	833.0	陶器片	四一片面	

第80図 12号住居跡出土石器(2)

第26表 12号住居跡出土土器集計表

分類	出土位置		合計
	炉	合計	
体 部	A	X EN	1 1
	B	15	15
	C	8	8
	合 計	25	25

第27表 12号住居跡出土石器集計表

分類	出土位置	確認面	炉	合計
二次加工ある剥片	1			1
剥 片 (チップ合)			1	1
小 計	1	1	2	
打 破 石 片			1	1
小 計	0	1	1	
圓 石		1	1	
小 計	0	1	1	
建 石			11	11
扁 平 石		1	1	
燒 石		1	1	
小 計		13	13	
合 計	1	16	17	

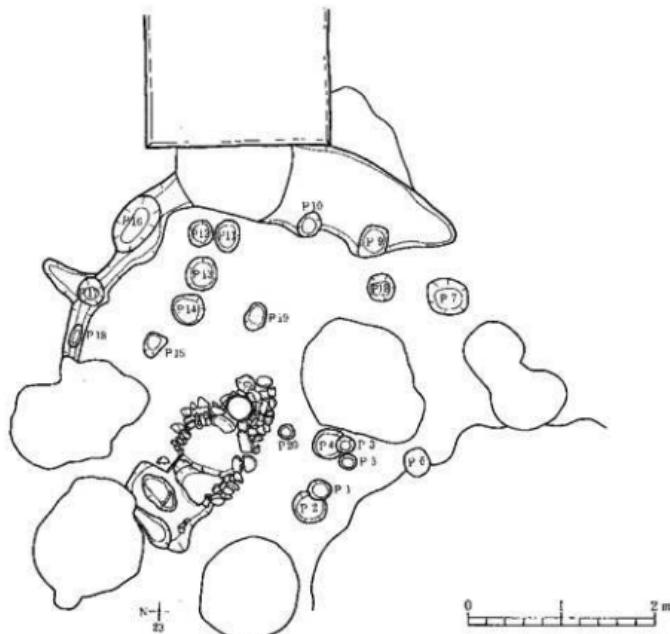
### 13号住居跡（M-23住居跡）

遺構の確認：M-22・23に位置し、第4層上面で検出された。本住居跡は削平を受けており、堆積土、壁、床面が検出されず不明である。

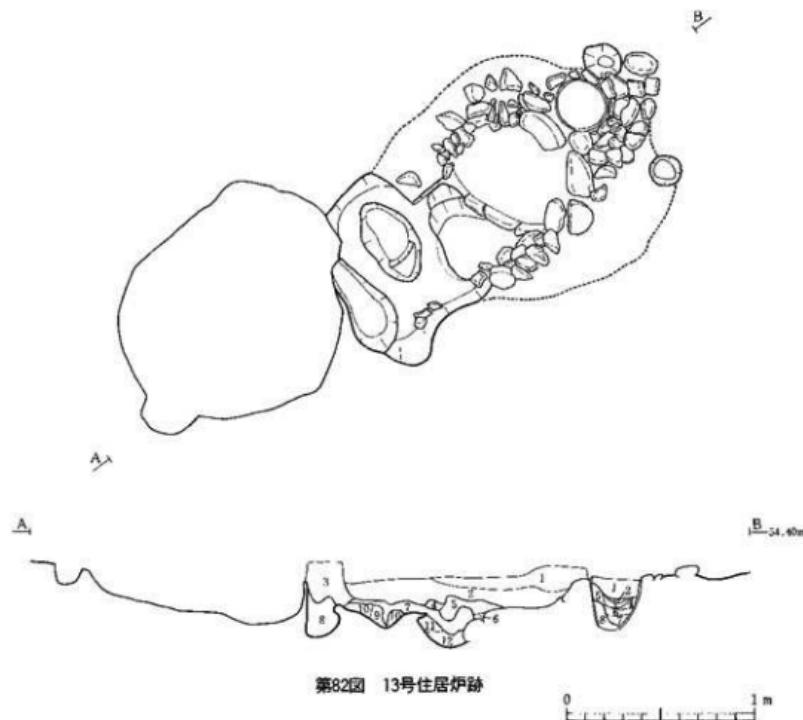
重複・増改築：105号、160号、165号土壤に切られており、本住居跡が最も古い。107号、109号、110号土壤と重複関係にあると考えられるが、直接の切合の関係は不明である。増改築については確認できなかった。

規模・平面形：周溝の残存部より、径4.8～5.5mの円形を基調とした平面形であると思われる。

周溝：削平を受けており、住居跡北側から西側にかけてのみ検出された。幅20～85cm、北側が広くなっている。深さ4～30cm、北側が深くなっている。断面形は「U」字形である。底面はほぼ平坦で、底面レベルは西側から北側へ緩やかに傾斜している。周溝内で5個のピットが検出された。



第81図 13号住居跡

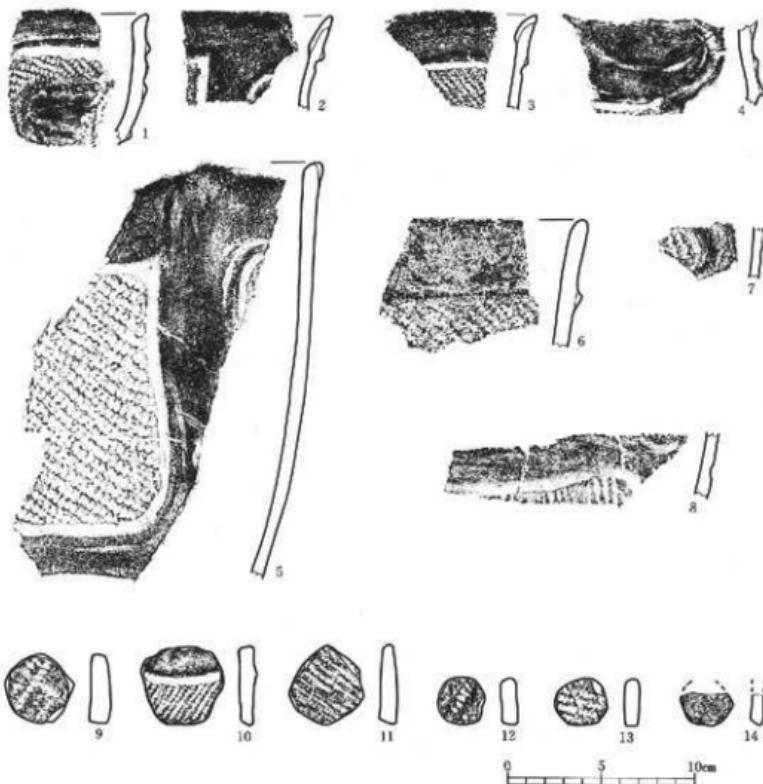


13号住居 (M-23住居) 炉跡土層註記表

層位	層名	土 色	土 性	備 考
1	1 黒 細	7.5VR2/1	シルト	褐色砂七を帶びたもの。炭化物、灰土粒及び鐵土含む
	2 黒 細	7.5VR3/3	シルト	炭化物、ローム混含
	3 黑 細	10VR3/4	シルト	ローム粒や少量骨粉
2	4 黑 細	10VR3/3	シルト	炭化物、ローム粒、小粒含む
	5 黑 細	10VR4/4	シルト	炭土粒、炭化物、ローム粒、炭化物含む
3	6 黑 細	10VR3/3	シルト	炭化物、ローム粒含む
	7 黑 細	2.5V1/1	シルト	炭化物、ローム含む
4	8 黑 細	10VR4/4	シルト	大粒のローム粒含む
	9 黑 細	10VR3/3	シルト	炭化物、ローム粒含む
	10 黑 細	10VR5/6	シルト	ローム粒含む
	11 黑 細	10VR3/2	シルト	ローム粒含む
12 黑 細	10VR3/6	シルト		ロームの多く礫かい粒を含む

13号住居 炉・埋設土器内堆積土層註記表

層位	層名	土 色	土 性	備 考
1	1 黒 細	10VR2/1	シルト	炭化物粒多量に含む
	2 に加え黄褐	10VR3/4	ローム	
	3 黑	10Y3/1	—	炭化物層
2	4 黑 細	10VR3/2	シルト	ロームを多量に含む
	5 黑 細	10VR3/1	シルト	
	6 黑 細	10VR3/2	シルト	炭化物粒わずかに含む
	7 黑 細	10VR3/3	シルト	
	8 に加え黄褐	10YR3/4	ローム	



No.	層位	器形	外 面	内 面	分類	備 考
1	Ⅱ	圓 盆	繩條文。沈綱文。LH繩文	繩子(橫)	X I	
2	Ⅱ	圓 盆	繩條文。沈綱文	繩子(橫)	X	
3	Ⅱ	圓 盆	繩條文。沈綱文。SH繩文	繩子(橫)	B II	
4	Ⅱ	圓 盆	繩條文。沈綱文	繩子(橫)	X	
5	堆積土	圓 盆	繩條文。沈綱文。LH繩文	繩子(橫)	X (err)	
6	堆積土	圓 盆	沈綱文。LH繩文	繩子(橫)	B I	
7	堆積土	圓 盆	繩條文。沈綱文。LH繩文	繩子(橫)	X	
8	堆積土	圓 盆	繩條文。RL繩文	繩子(橫+縱+凹)	X	
9	堆積土	土製內盤				
10	堆積土	土製內盤				
11	堆積土	土製內盤				
12	堆積土	土製內盤				
13	堆積土	土製內盤				
14	堆積土	土製內盤				

第83圖 13號住居跡出土土器・土製內盤

**柱穴**：住居跡の範囲内と推定される部分から20個のピットが検出されている。ピット1、2、ピット3・4が重複関係であり、それぞれ前者が古い。本住居跡に伴う柱穴は、ピット4または5、7、9又は10、11又は12、15が考えられる。ピット15で柱痕跡が確認されている。

13号住居跡ピット

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
形状	H	直 穴	ア	H	H	H	H	H	ア	直 穴	H
深さ	25	14	36	38	32	27	38	11	39	37	8
No	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
形状	H	H	ア	ア	H	H	H	H	H	H	H
深さ	21	26	33	—	26	—	—	17	11		
				柱底付							

### 炉

(位置・方向) 住居跡南西部に位置している。長軸方向はN-42°-Eである。

(規模・平面形) 最大長210cm、最大幅100cmである。平面形はダルマ形である。

(構造) 土器埋設石囲部、敷石石組部、掘り込み部からなる複式炉である。

土器埋設石囲部・長さ60cm、幅60cmである。埋設土器は径27cmの深鉢形土器である。土器の周囲に一ないし二重に石が巡っている。石の抜き取り痕跡も検出されている。

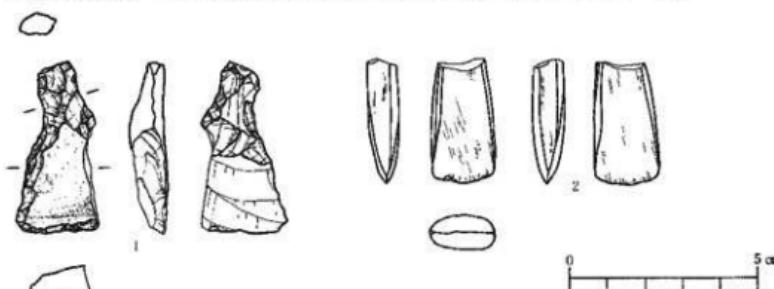
敷石石組部・長さ85cm、幅100cmの梢円形である。敷石部底面には、焼土及び灰の層が堆積しており、その上面を検出した段階で掘り下げは中止した。そのため、深さ等は不明である。

掘り込み部・長さ60cm、幅90cmの長方形である。165号上墻に切られている。確認面からの深さは約20cmである。底面中央に約20cmの凹みがある。端部に溝状の掘り込みがある。南側壁際に3個の石が検出されている。石組の残存の可能性もある。

(使用痕跡) 敷石石組部内部に焼土、灰の層が堆積している。

(構築方法) 断ち割り精査をしていないため不明である。

遺物の出土状況：住居跡確認面及び炉内より、縄文土器片、石器が出土している。



No	種 别	想 定	長 × 幅 × 厚(cm)	重量(g)	石 材	使 用 様	備 考
1	石 斧	埴輪土	46.20×(29.50)×(9.05)	3.50	麻績石	—	—
2	脚踏石	H	(23.25)×17.25×8.40	8.0	—	—	—

第84図 13号住居跡出土石器

第28表 13号住居跡出土土器集計表

分類	出土位置	合計		
		堆積土	炉	合計
II層部	A	1	2	3
	I	2	1	3
	B	1	1	2
	Ⅲ	2	2	4
	C	2	1	3
	小計	7	7	14
体 部	A	3	2	5
	IV	7	12	19
	B	1	3	4
	III	31	39	70
	C	8	19	27
	小計	50	75	125
底 部	V	1	1	2
	小計	0	2	2
合	計	57	84	141

## 14号住居跡 (N-21住居跡)

遺構の確認：N・O-20・21に位置し、第3層、第4層上面で確認された。

重複・増改築：229号土壤に切られており、本住居跡の方が古い。増改築は確認されなかった。

規模・平面形：長軸4.2m、短軸3.8mのほぼ円形である。

竪穴層位：5層に大別される。いずれも自然堆積である。

壁：第3層、第5層を壁としている。30~60cmの高さで残存している。床面から急角度で立ち上がっている。ピットが壁面に掘り込まれている。

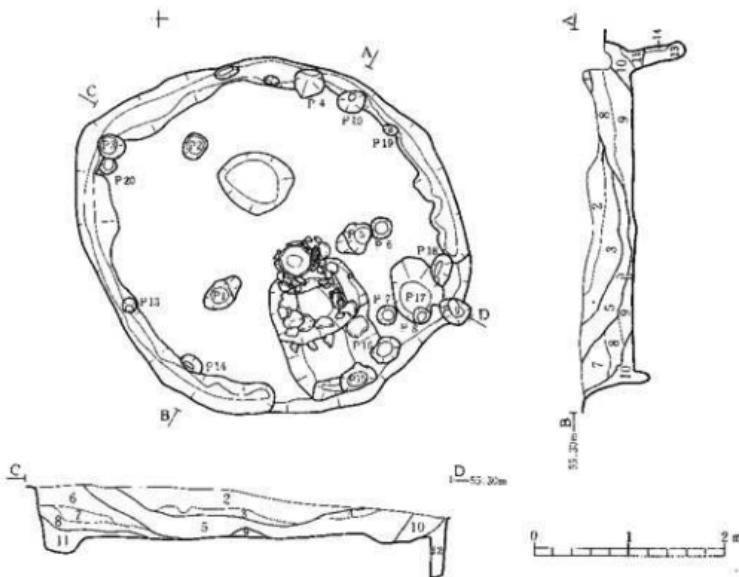
床面：ほぼ平坦で堅い。第5層を直接床面としているか、掘り方堆土上面を床面としているかは、断ち割り等の精査をしていないため不明である。

周溝：炉及びその両脇部分を除いて、ほぼ住居跡を全局している。幅15~30cm、深さ10~15cm、断面形は「U」字形である。底面には凸凹がみられるが、底面レベルはほぼ一定である。周溝内より5個のピットが検出されている。

柱穴：住居跡内より20箇のピットが検出されている。いずれも柱痕跡は確認されなかった。本住居跡に伴う柱穴は、ピット1、3、4、5を考えられるが、ピット2も柱穴の可能性がある。

14号住居跡ピット

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
形状	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円
深さ	51	64	35	64	61	20	29	21	37	32	18
No	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
形状	円	円	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円
深さ	5	16	19	26	15	13	13	12	7		



14号住居跡 (N-21住居) 土層記述表

部位	地名	上位	下位	特
1	1 横	10YR4/4	シルト	細歩道
	2 横	7.5YR3/4	シルト	粘土質多量、炭化物多量、発掘口、廻十数
2	3 横	7.5YR3/4	シルト	2層より洪代性の壁は少ない。粘土質多量で2層より壁が小さい
	4 横	7.5YR4/6	シルト	廻十枚程度、炭化物
3	5 横	10YR2/3	シルト	炭化物微量、粘土質少量、廻十步
	6 横	10YR4/4	シルト	廻十枚程度、炭化物少量
4	7 横	10YR4/6	シルト	粘土質
	8 横	10YR5/6	シルト	粘土質多量、炭化物微量
5	9 横	10YR4/4	シルト	粘土質多量
	10 横 岩	7.5YR3/4	粘土質シルト	粘土質多量、炭化物微量
6	11 横 岩	7.5YR3/4	粘土質シルト	粘土質少量
	12 横 岩	10YR5/4	シルト	ロームアッシュ層未状
P10	13 横 岩	7.5YR3/3	シルト	ローム
	14 横 岩	7.5YR3/3	シルト	ローム粘多量に含む

第85図 14号住居跡

## 炉

(位置・方向) 住居跡南側やや東寄りに位置している。端部の壁は住居跡の壁の一部になっている。方向はN-22°-Wである。

(規模・平面形) 最大長175cm、最大幅100cmである。平面形はダルマ形である。

(構造) 土器埋設石組部、敷石石組部、掘り込み部からなる複式炉である。

土器埋設石組部・長さ45cm、幅60cmの梢円形である。埋設土器は、径36cmの深鉢形土器を埋設している。土器の周囲に一ないし二重に石を巡らしている。

敷石石組部・長さ65cm、幅87cmの台形である。破壊を受けており、奥壁、側壁の一部しか石は残存しない。そのため床面から底面までの深さは不明である。

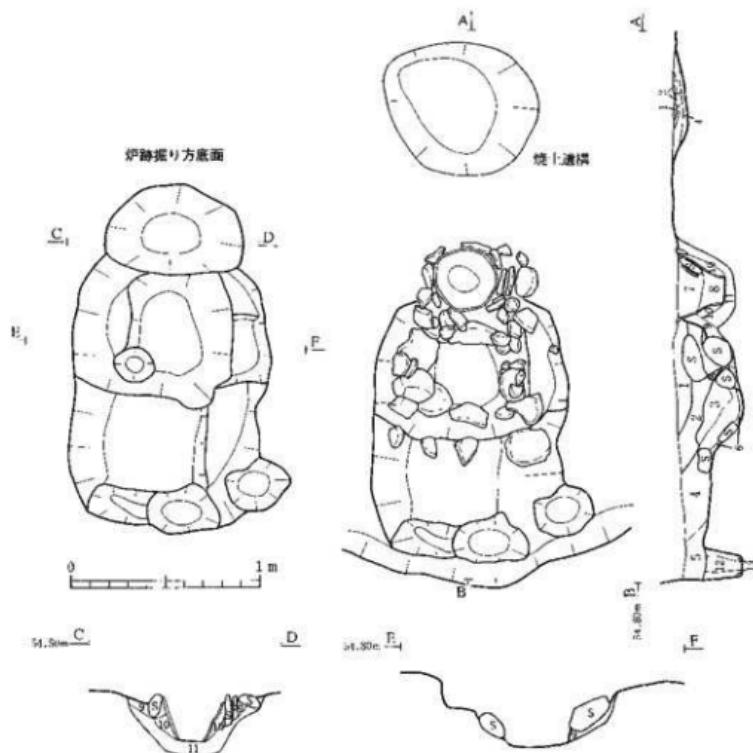
掘り込み部・長さ65cm、幅100cmの長方形である。床面から底面までの深さは30cmである。底面はほぼ平坦である。側壁及び底面の敷石石組部との境付近に4個の石がみられる。端部竈際には、ピットが2個検出されている。

(使用痕跡) 土器埋設石組部及び敷石石組部に残存する石は、赤変しており、火熱を受けた痕跡が認められる。

(構築方法) 掘り方は、長さ185cm、幅100cmのダルマ形である。炉全体の掘り方に、土器埋設石組部では、土器が埋設され、埋土の上に石を一ないし二重に巡らしている。敷石石組部は破壊を受けているが、残存している部分では掘り方埋土の上に石がのっている。以上のことから、炉全体の掘り方を掘り、土器を埋設し、敷石石組部の奥壁、側壁下部に石を施設し、その上に石組部及び敷石石組部上部に石をのせるという手順をとっている。敷石石組部底面の石の施設については不明である。

その他の施設：住居跡中央部や北寄りに、焼土のつまた浅い皿状の落ち込みが検出された。規模は長軸53cm、短軸37cmの不整な梢円形である。床面からの深さは7cmである。床面から壁面は赤変し、堅くしまっており、火熱を受けていると思われる。地床炉の可能性がある。

遺物の出土状況：住居跡堆積土各層及び住居内施設より、繩文土器、石器が出土している。土器、石器とともに堆積土の上層からの出土量が圧倒的に多い。特に土器は復元可能なものや、大型の破片が多い。遺物は層理面に並んだ状態は認められず、層中に不規則に入り込んでおり、出土状況に規則性は認められない。本住居跡に伴う遺物ではなく、住居跡が半ば埋まった段階で入り込んだものと考えられる。投棄されたものか、自然に流入したものかは不明である。また炉の埋設土器がある。ピット13より網片類が10数点貯蔵される形で検出されている。堆積土中とした遺物は、各層位毎に取り上げられておらず、各層に分けられなかつたものを堆積土中出土として一括した。



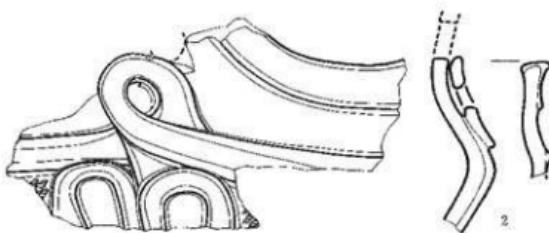
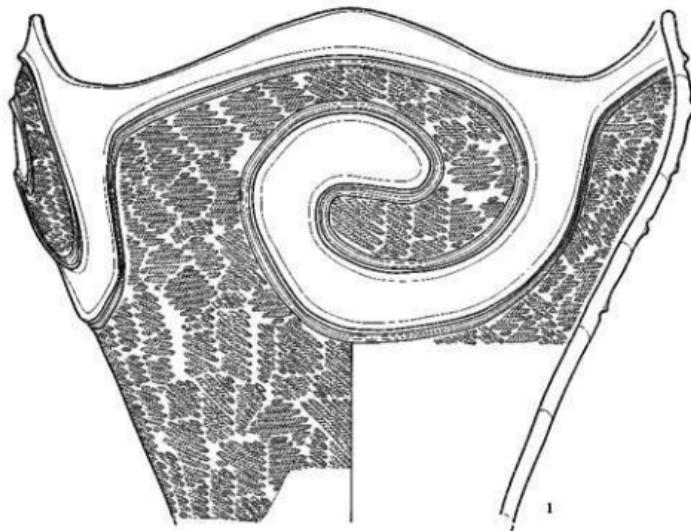
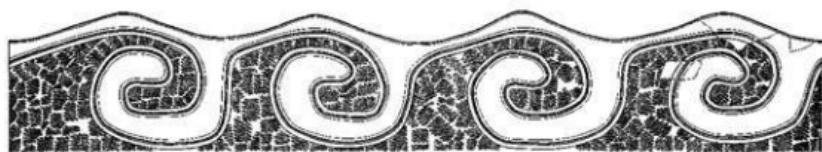
14号住居 炉跡土層註記表

層位	地番	北	南	西	東
1	1 地 10YRA/3	シルト	粘土、セメント隕石、スコット		
2	2 植 10YRA/4	シルト	スミ少量、ローム少量		
3	3 地 10YRA/4	シルト	液化物、ローム隕石、粘土隕石べなく		
	4 植 7.5YRA/4	シルト	液化物隕石、ローム隕石		
	5 植 7.5YRA/8	シルト	ローム隕石		
	6 植 7.5YRA/4	シルト	粘土和無鉄、ロームブロック、液化物		
礫砂土層	7 植 10 10YRA/3	シルト	液化物多量、ロームブロック、ローム隕石べなく		
	8 植 10 10YRA/4	シルト	液化物少量、ロームブロックで構成ってて		
盛り力場土	9 植 7.5YRA/6	砂利+シルト	液化物含む		
	10 リビング床 3.YRA/4	炉上質シルト	焼けている		
	11 地 10YRA/6	炉上質シルト	...		
	12 植 10YRA/8	シルト	ローム質		
ピット	13 地 10YRA/8	炉上質シルト	セム壁		

14号住居 炉跡遺構土層註記表

層位	地番	北	南	西	東
1	1 植地 2.5YRA/4	シルト	粘土隕石べなく多量、液化物まんべんなく		
	2 地 10YRA/8	シルト	地土		
2	3 廊下床 3.YRA/3	シルト	地土		
	4 地 3.YRA/8	シルト	地土		

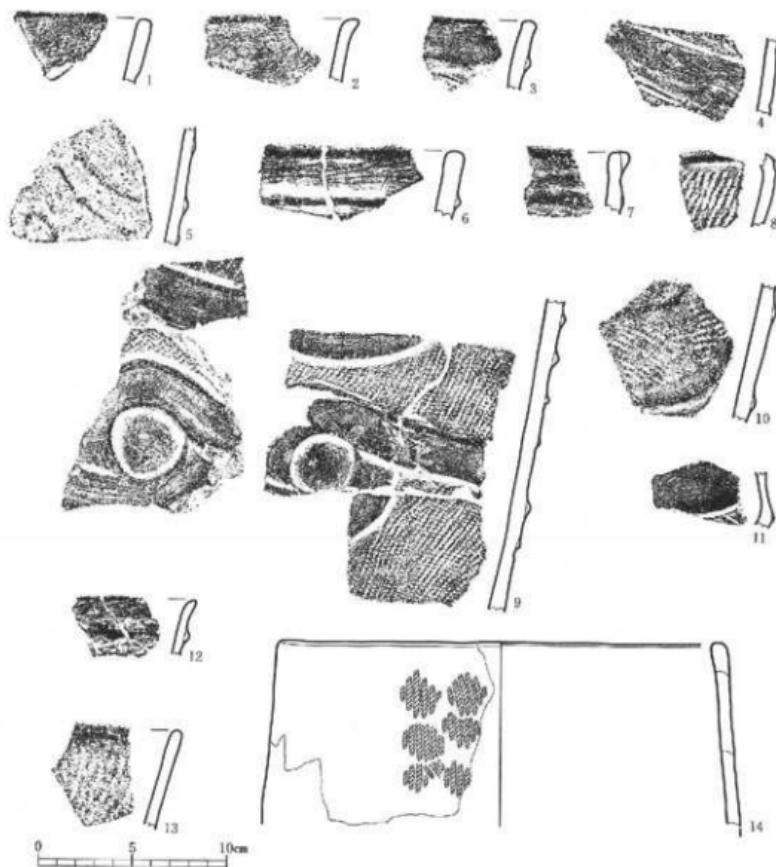
第86図 14号住居 炉跡



0 5 10cm

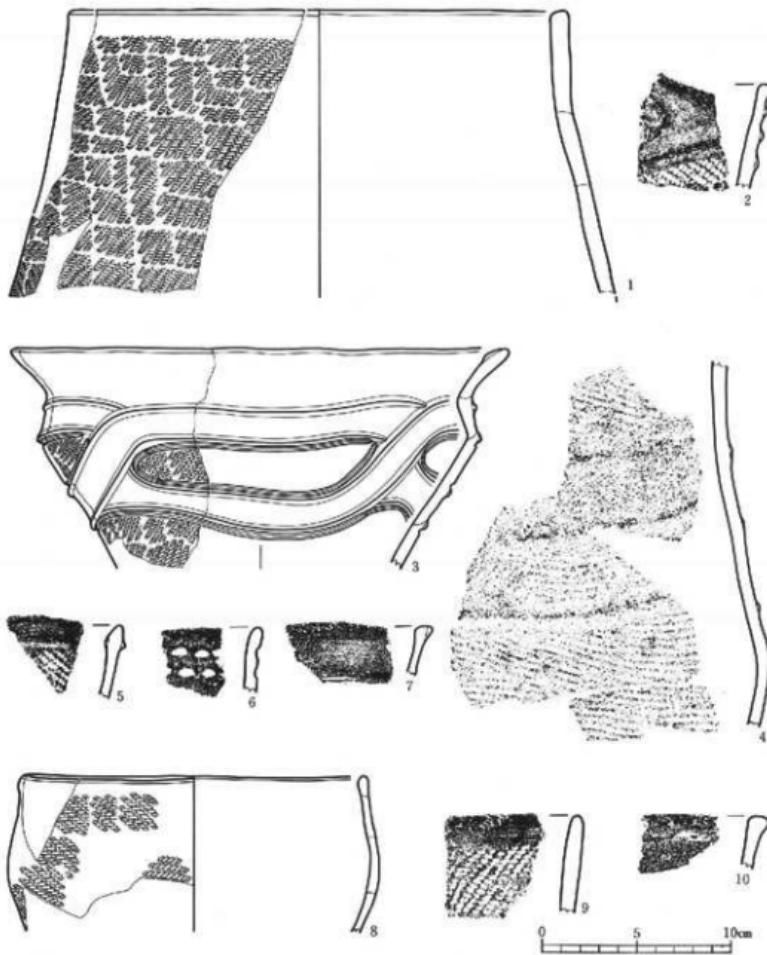
No.	商 位	解 释	外 部	内 部	分 带	商 号
1	14號土器	直 筒	直筒文·浅腹文·带的多圈文·带中	直中(带·带)	X 14	日加藏文
2	14號內	直 筒	直筒文·斜腹文·带中	带中(带)	EX or X	

第87圖 14號住居跡出土土器 (1)



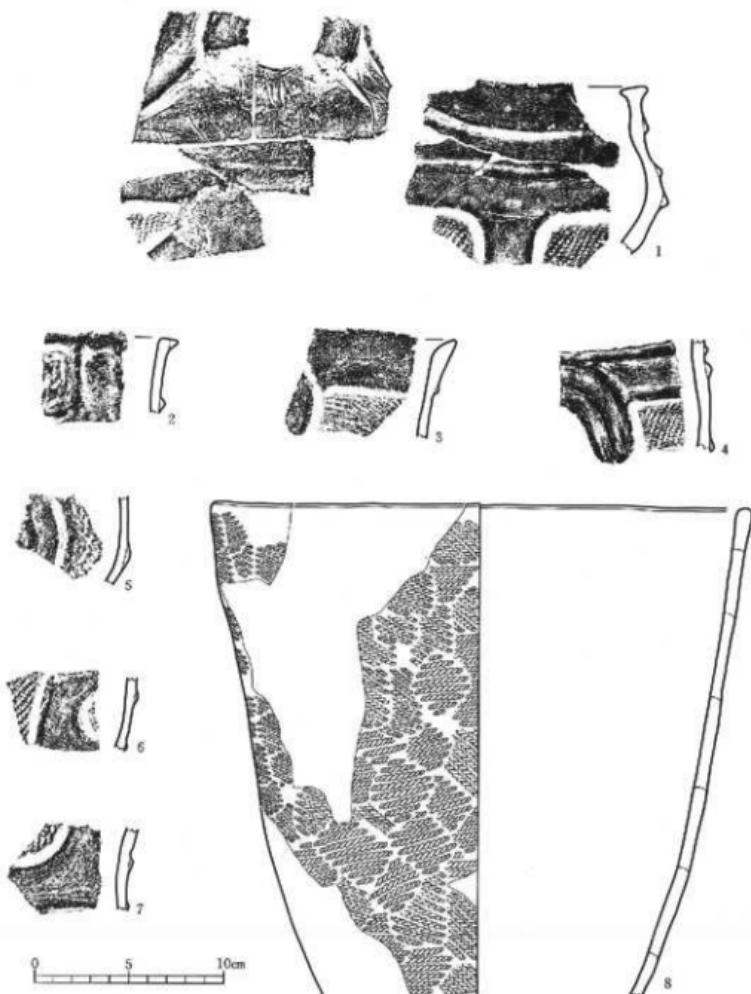
No.	器 物	形 状	外 面	内 面	分 類	備 考
1	盆・石縁内	深鉢	沈縫文	縫手(底)		
2	盆・石縁内	深鉢	縫手	縫手(底)	B VII	
3	圓 盆	深鉢	沈縫文・L鉄網文	縫手(底)	B I	
4	圓 盆	深鉢	沈縫文・不規網文	縫手(底)	X	
5	圓 盆	深鉢	沈縫文・不規網文	縫手(底)	X	
6	圓No.2	深鉢	沈縫文・沈縫文	縫手(底)	B I	
7	圓No.7	深鉢	縫縫文・不規網文	縫手(底)	B I	
8	圓No.7	深鉢	沈縫文・沈縫文・RL鉄網文	縫手(底)		
9	圓No.5	深鉢	沈縫文・沈縫文・RL鉄網文	縫手(底・縫)	X	
10	圓No.5	深鉢	鐵網文・L鉄網文	縫手(縫・底)	X	
11	圓No.5	深鉢	鐵縫文・沈縫文・RL鉄網文	縫手(底)	X	
12	圓No.5	深鉢	鐵縫文・RL鉄網文	縫手(底)	B I	
13	圓No.5	深鉢	RL鉄網文	縫手(底・縫)	B VI	
14	地盤上	深鉢	RL鉄網文	縫手	B VI	

第88図 14号住居跡出土土器 (2)



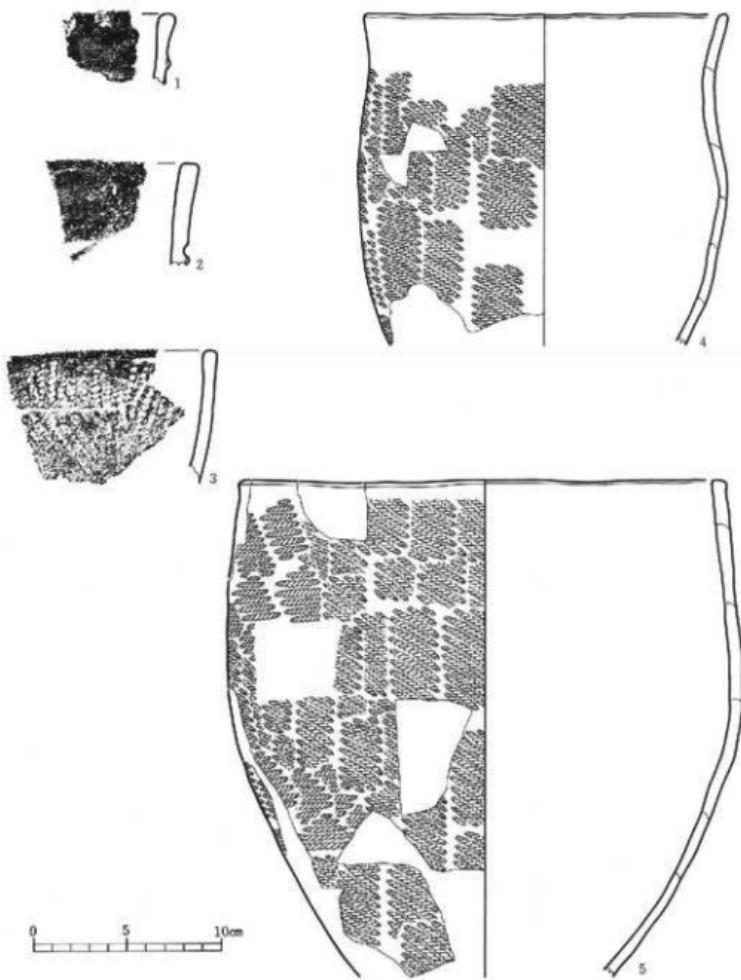
No.	期 位	器 形	外 面	内 面	底 沟	分 類	圖 号
1	昭30.5	深 罐	RL繩文・網文	網文 (橫)		B VI	
2	3型	深 罐	繩繪文・LR繩文	網文 (橫)		X	
3	3型上	——	繩繪文・沈底・RL繩文・網文	網文 (橫・縱)		X5a	
4	3型	深 罐	繩繪文・RL繩文	網文 (橫)		X	
5	3型	深 罐	繩繪文・RL繩文	網文 (橫)		B II	
6	3型	深 罐	新繪文	網文 (橫)		B V	
7	3型	深 罐	繩繪文	網文 (橫)		B II	
8	3型	深 罐	LR繩文	±XV		B VI	
9	3型	深 罐	RL繩文	網文 (橫)		B VI	
10	昭30.5	深 罐	網 文	網文 (橫)		B VII	

第89図 14号住居跡出土土器 (3)



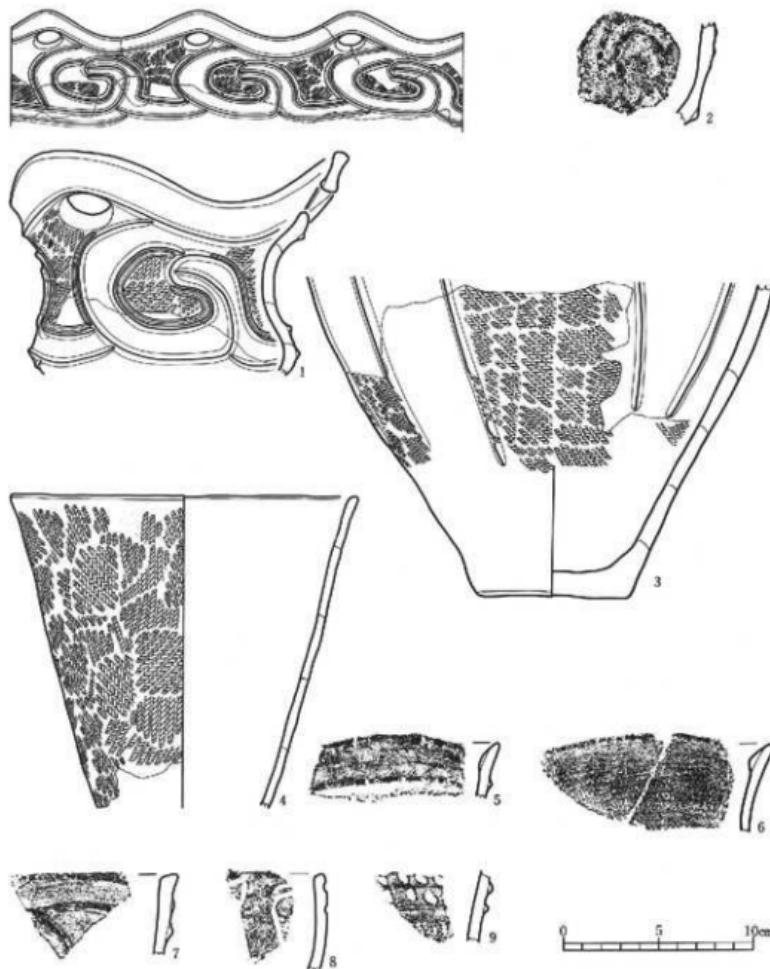
No.	層位	種類	外面	内面	分類	備考
1	2層	深鉢	繩紋文・沈継文・LHL縞文	滑手(磨)	IX or X	
2	2層	深鉢	繩紋文	滑手(磨)	X	
3	2層	深鉢	繩綱文・沈継文・LRH縞文	滑手(磨)	X	
4	2層	深鉢	繩綱文・沈継文・RLH縞文	滑手(磨)	X	
5	2層	深鉢	繩綱文・沈継文・RLH縞文	滑手(磨)	X	
6	2層	深鉢	繩綱文・沈継文・RLH縞文	滑手(磨)	X	
7	2層	圓鉢	繩綱文・沈継文・LRH縞文	滑手(磨)	X	
8	層No.2	深鉢	LH縞文	滑手(磨)	V VI	

第90図 14号住居跡出土土器(4)



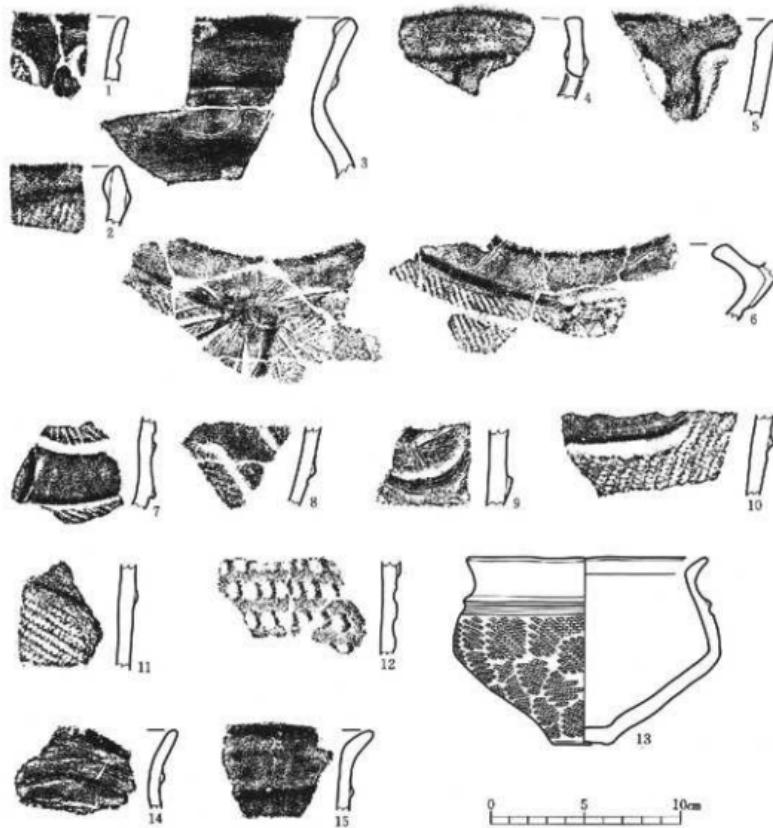
No.	層位	標形	外面	内面	分類	標号
1	2層	26 54	繩印文	繩印(面)	B I	
2	2層	26 58	波浪文	繩印(面)	B IV	
3	2層	26 59	波浪繩文	繩印(面)	B VI	
4	2層	26 56	LR波文・繩+	繩印(面・底) LR波文(底)	B VI	
5	標No.7	26 54	LH波文・繩+	繩印(面・底)	B VI	

第91図 14号住居跡出土土器(5)



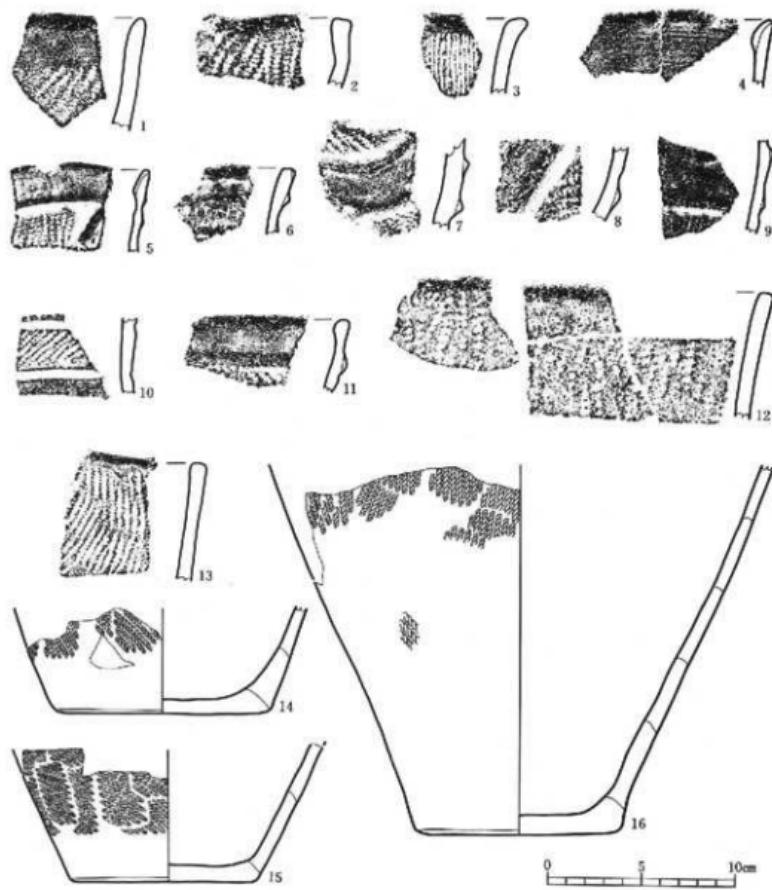
No.	器位	體形	外 面	内 面	底 部	分 類	備 考
1	罐No.2	罐 鉢	螺旋文・沈底文・RL螺旋文・磨子	螺旋文・磨子(側)		X 7	
2	罐No.2	深 鉢	螺旋文	磨子(側)		X	
3	罐No.2	罐 鉢	螺旋文・RL螺旋文・磨子	磨子(側)	磨子	X	
4	罐No.2	罐 鉢	RL螺旋文	磨子(側・底)		B VI	
5	罐No.2	深 鉢	螺旋文・不規則文	磨子(側)		B II	
6	罐No.2	深 鉢	磨子	磨子(側)		B VII	
7	罐No.3	罐 鉢	螺旋文	磨子(側)		X	
8	罐No.3	罐 鉢	RL螺旋文	磨子(側)		X	
9	罐No.3	罐 鉢	螺旋文・斜螺旋文	磨子(側)		X	

第92図 14号住居跡出土土器(6)



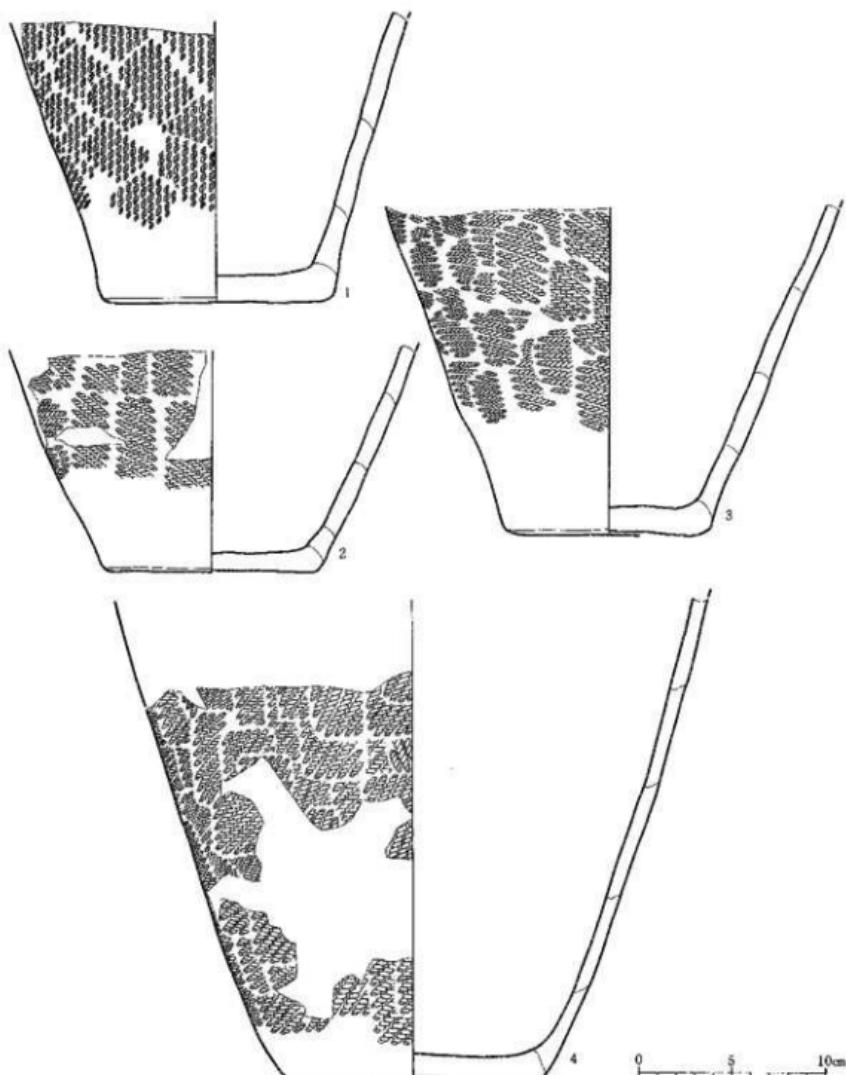
No.	部位	種類	外　面	内　面	底　部	分　類	備　考
1	1層	泥 片	波紋文・RL織文	磨+	(擦・凹)	X	
2	1層	泥 片	繩紋文・LR織文	磨+	(擦)	X	
3	1層	泥 片	繩紋文	磨+	(擦)	X	
4	1層	泥 片	繩紋文	磨+	(擦・凹)	X	
5	1層	泥 片	波紋文・波紋文・RL織文	磨+	(擦)	X1	
6	1層	泥 片	繩紋文・波紋文・LR織文	磨+	(擦)	X	
7	1層	泥 片	繩紋文・波紋文・LR織文	磨+	(擦)	X	
8	1層	泥 片	繩紋文・波紋文・LR織文	磨+	(擦)	X	
9	1層	泥 片	波紋文・波紋文	磨+	(擦)	X	
10	1層	泥 片	繩紋文・波紋文・LR織文	磨+	(擦)	X	
11	1層	泥 片	繩紋文・LR織文	磨+	(擦)	X	
12	1層	泥 片	繩紋文	磨+	(擦)	X17	
13	1層	泥 片	繩紋文・波紋文・LR織文・網+	磨+	(擦)	B II	
14	1層	泥 片	繩紋文・LR織文	磨+	(擦・凹)	B I	
15	1層	泥 片	繩紋文	磨+	(擦・凹)	B I	

第93図 14号住居跡出土土器(7)



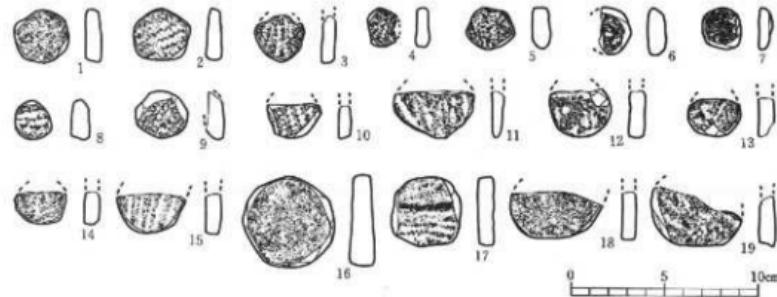
No.	层位	器 形	外 视 图	内 视 图	底 部	分 带	编 号
1	1 层	深 筒	RL 纹文	断 + (带)		B VI	
2	1 层	深 筒	RL 纹文	断 + (带)		B VI	
3	1 层	深 筒	LR 纹文	断 + (带)		B VI	
4	1 层	深 筒	带 +	断 + (带)		B VII	
5	堆积土	深 筒	陶纹文，RL 纹文，RL 脊突	断 + (带)		X	
6	堆积土	深 筒	陶纹文，横带文	断 + (带)		B III	
7	堆积土	深 筒	陶纹文，沈纹文，LR 纹文	断 + (带)		X	
8	堆积土	深 筒	陶纹文，沈纹文，LR 脊突	断 + (带)		X	
9	堆积土	深 筒	陶纹文，沈纹文，LR 脊突	断 + (带，带)		X	
10	堆积土	深 筒	沈纹文，LR 纹文	断 + (带)		X	
11	堆积土	深 筒	陶纹文，沈纹文，LR 纹文	断 + (带，带)		B II	
12	堆积土	深 筒	RL 纹文	断 + (带)		B VI	
13	堆积土	深 筒	LR 纹文	断 + (带)		B VI	
14	壁面 4	深 筒	RL 纹文，带 +	带 + (带)			
15	1 层	深 筒	LR 纹文，带 +	带 + (带)	现代底		
16	2 层	深 筒	RL 纹文，带 +	带 + (带)			

第94图 14号住居跡出土土器(8)

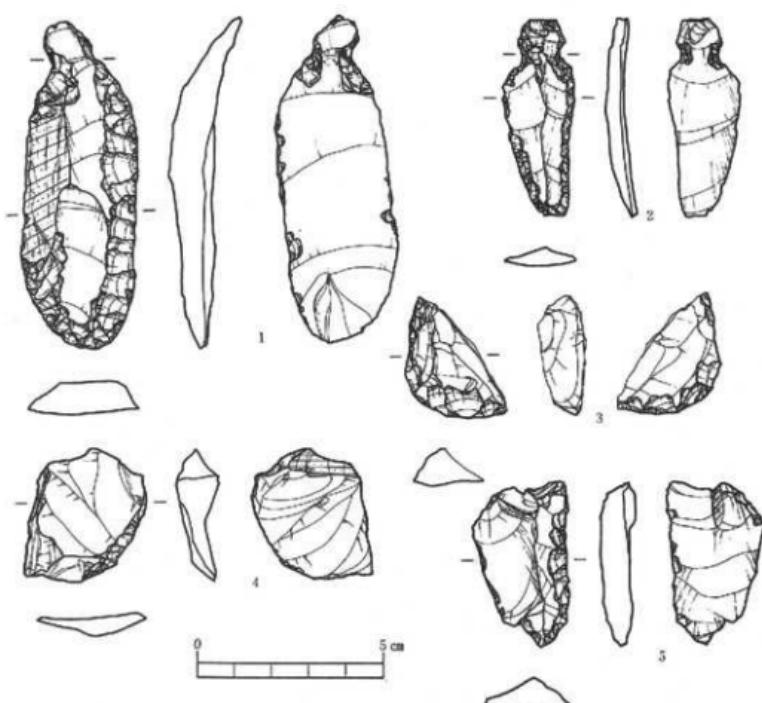


No.	形	模様	外 面	内 面	基 部	分 類	備 考
1	2型	波 線	RLR波文・縦サ	縦サ (R)	ナ リ		
2	2型	波 線	LRL波文・横サ	横サ (R)	ス リ		
3	3型No.2	周 線	LRL波文・ナガ	ナガ (R)	西代模		
4	1型	周 線	RHL波文・横サ	横サ (R)	ナ リ		底部に乳頭の付有

第95図 14号住居跡出土土器 (9)

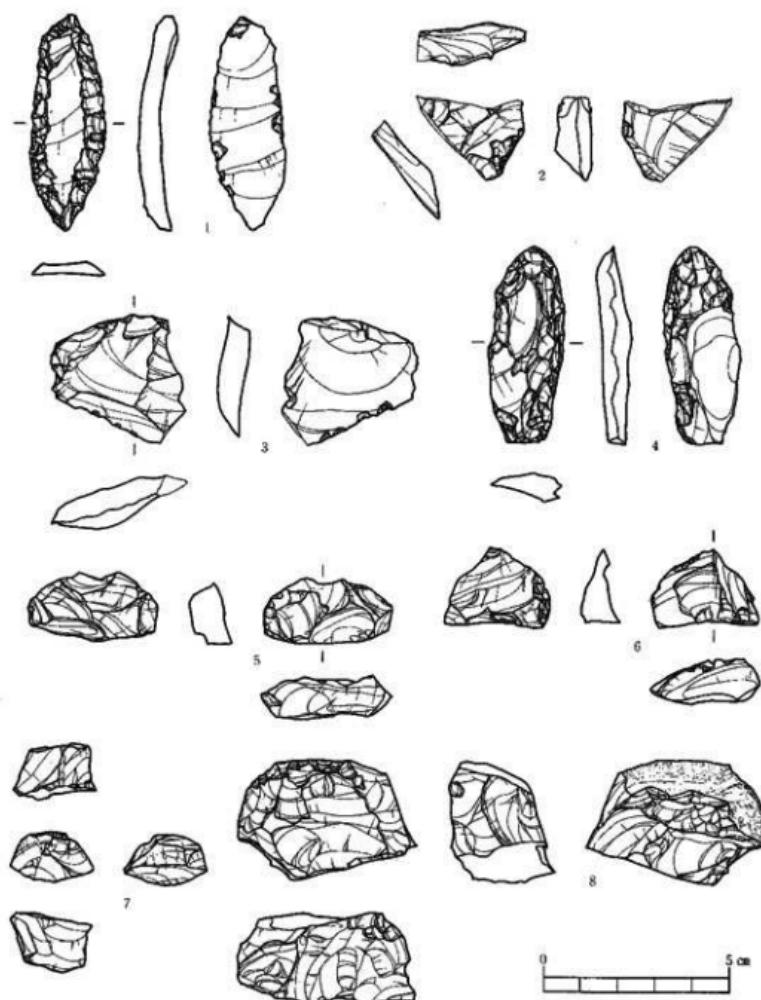


第96図 14号住居跡出土土製円盤



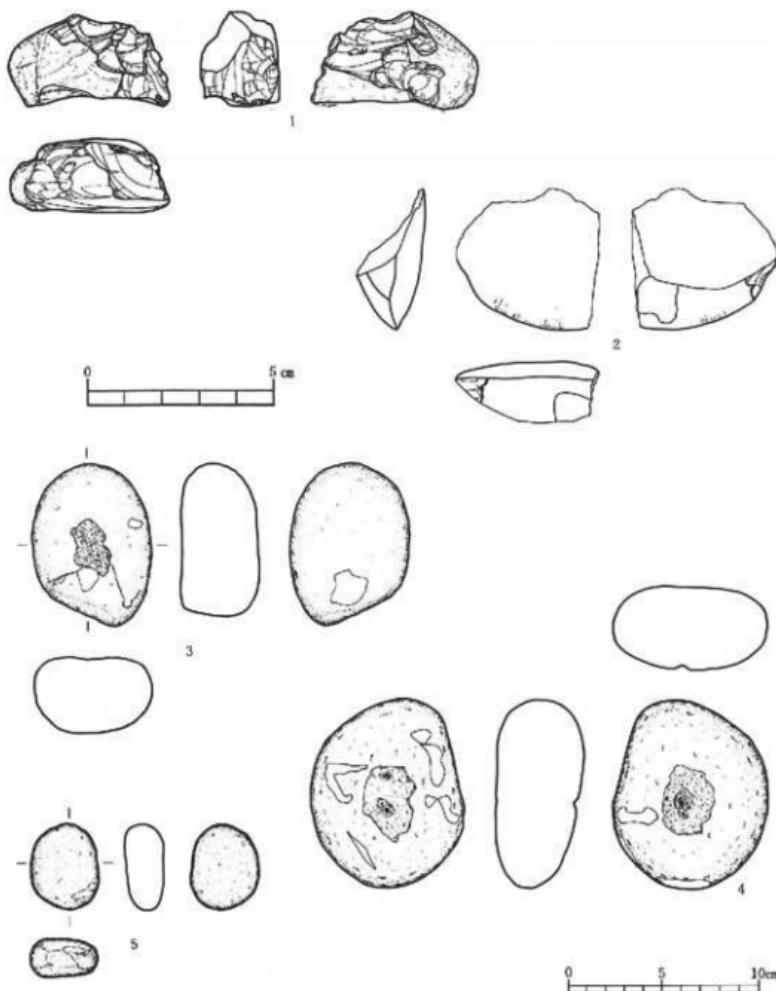
第97図 14号住居跡出土石器(1)

No	種別	層位	長×幅×厚(mm)	重量(g)	G.S.	使用痕	備考
1	石 砺	堆積土	88.10×31.50×12.00	29.70	■	—	アスファルト付着
2	石 砺	堆積土	53.05×19.25×5.20	4.35	■	—	
3	磨光石器	堆積土	(32.95)×(26.80)×(12.20)	7.50	—	—	
4	スクレーパー	堆積土	35.90×32.25×11.40	6.40	■	—	
5	スクレーパー	1層	44.35×25.50×9.30	7.70	■	—	



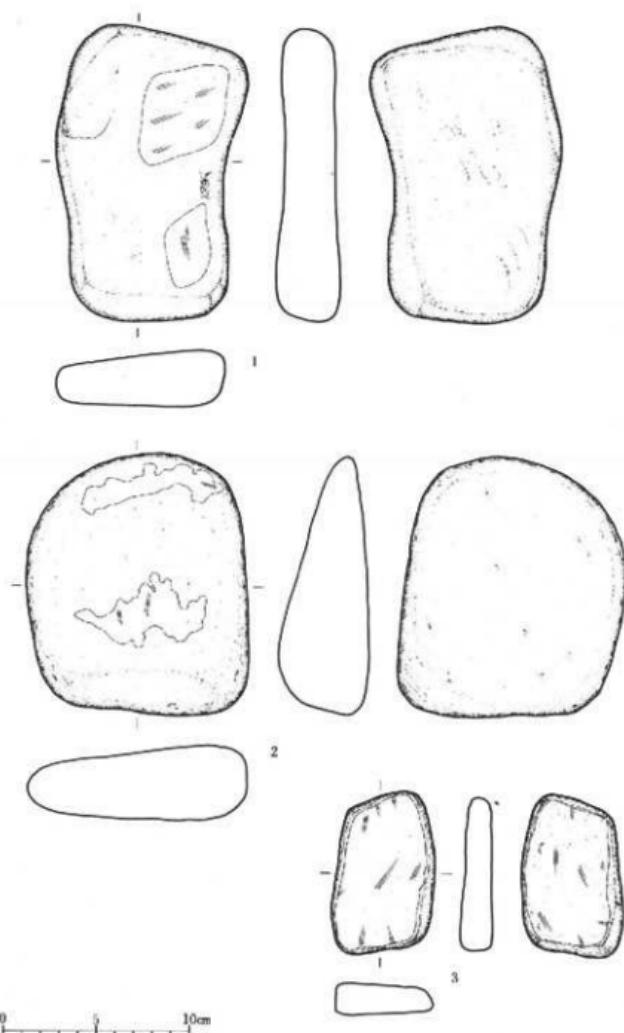
第98図 14号住居跡出土石器(2)

No.	種別	用 途	長 × 幅 × 厚 (mm)	重 量 (g)	材 料	使 用 法	備 考
1	スクレーパー	1 横	57.40×26.25×6.25	6.90	黒 石	—	
2	二次加工ある削片	標 No. 2	(21.90)×(30.10)×(9.70)	4.90	メノウ	—	
3	一次加工ある削片	標 No. 3	(34.85)×(35.75)×10.50	9.32	黒 石	—	
4	バイシント	2 横上	53.25×20.50×(8.10)	8.40	—	—	磨けている
5	石 槌	標 No. 2	12.75×24.95×11.35	6.70	メノウ	—	
6	石 槌	1 横	32.70×42.60×20.03	42.10	メノウ	—	
7	石 槌	椎骨土	20.55×28.45×11.65	4.95	赤石炭	—	
8	石 槌	椎骨土	13.45×22.20×14.20	2.75	玉 石	—	



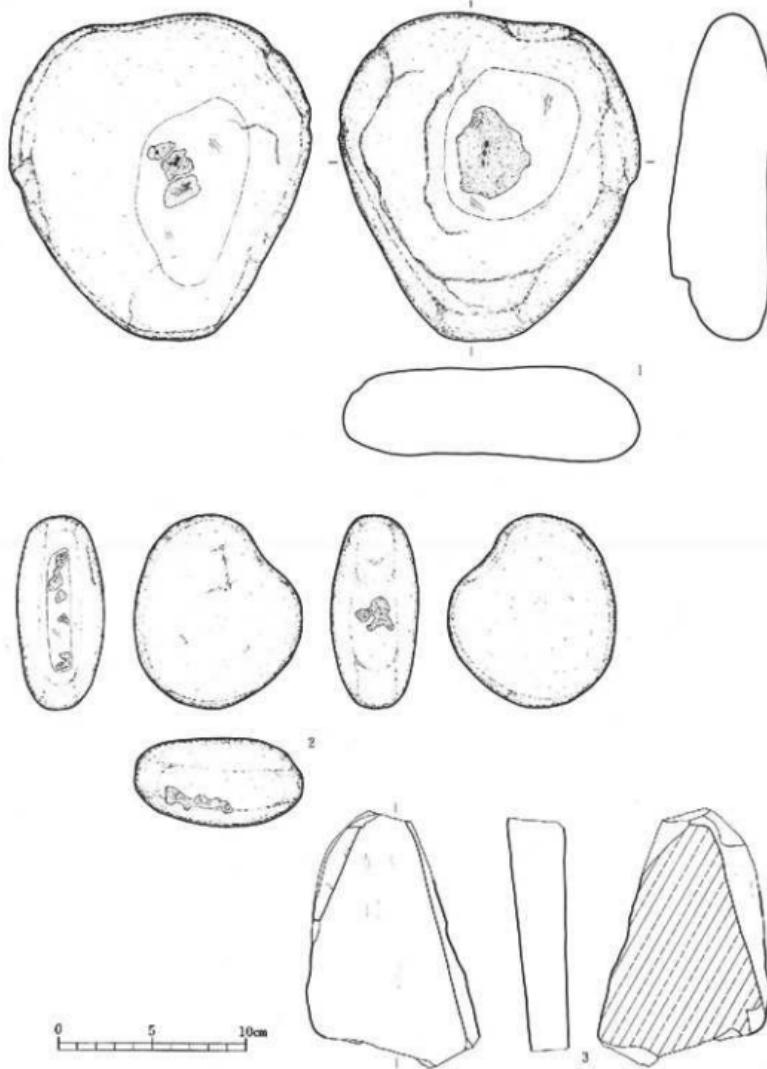
第99図 14号住居跡出土石器 (3)

No.	種別	層位	長×幅×厚(mm)	重量(g)	石材	使用法	標号
1	石板	埋積土	26.00×43.30×20.30	24.25	メノワ	—	ぬけている
2	磨製石器	埋積土	(37.70)×(38.30)×(16.65)	23.5	—	—	—
3	磨石器	2用上面	86×62×40	223.5	—	凹一片面	—
4	磨石器	埋積土	100×79×49	489.5	—	凹一側面	—
5	磨石器	埋積土	45×36×21	49.5	—	凹一片面	—



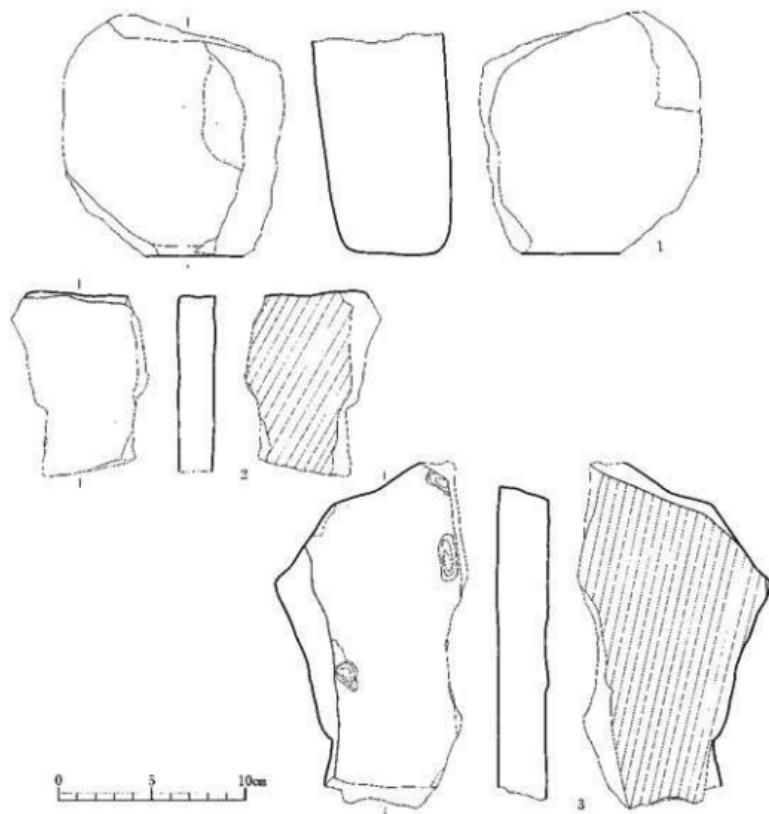
第100圖 14号住居跡出土石器(4)

No.	類別	地質	長×寬×厚(cm)	重量(g)	石材	使用痕	備考
1	磨刃器	粘土	154×103×30	870.0	磨一片山		
2	砍砸器	粘土	141×118×60	1142.5	磨一片山		
3	砍砸器	泥炭	86×96×20	147.5	磨一圓面		



第101図 14号住居跡出土石器 (5)

No.	種別	層位	長×幅×厚(cm)	重量(g)	石材	使用状況	備考
1	磨石器	堆積土	174×160×25	2114.5		四一面削、四一面削	
2	磨石器	堆積土	103×88×47	569.0		四一片削削、四一片削削	
3	G.器	堆積土	(140×130)×30	456.5		四一片削	



No.	器種	地質	長×幅×厚(mm)	重量(g)	石種	用途	備考
1	石器	砾石	(137) × (126) × (77)	1731.5			
2	石器	砾石	(100) × (71) × (33)	242.0		磨片用	
3	石器	砾石	(106) × (102) × 28	736.0		磨一片用	

第102図 14号住居跡出土石器(6)

第30表 14号住居跡出土土器集計表

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計	P	I	II	III	合計
		1	1											1		1		2	
	B	5												7		5			
11	A	1	1											1		1	1	1	5
	B	1	1											1		1	1	1	5
	A	1	6	3	1	1								1		1	1	1	10
	B	1	7	7	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	26
12	A	1	7	7	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	21
	B	1	1	1		2													1
	A	1	1	1		1													1
	B	1	1	1		1													1
13	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
14	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
15	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
16	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
17	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
18	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
19	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
20	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
21	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
22	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
23	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
24	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
25	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
26	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
27	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
28	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
29	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
30	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
31	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
32	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
33	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
34	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
35	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
36	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
37	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
38	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	A	1	1	1		1								1		1	1	1	13
	B	1																	

### 15号住居跡（M-21住居跡）

遺構の確認：M・N-20・21に位置し、第4層上面で確認された。

重複・増改築：155号、156号、157号、269号、273号土壤に切られており、本住居跡が最も古い。増改築は確認されなかった。

規模・平面形：長軸は155号土壤に切られているが、約5.70mと推定される。短軸は5.25mのほぼ円形である。

豊穴層位：5層に大別される。遺物が多量に含まれている。自然堆積であると思われる。

壁：第4層、第5層を壁としている。8~35cmの高さで残存している。床面から急角度で立ち上がりっているが、一部緩やかな部分もみられる。

床面：第5層を直接床面としているか、掘り方埋土上面を床面としているかは、断ち割り等の調査を行なっていないため不明である。炉の周囲に部分的に偏平な石を敷いた敷石部分がみられる。石と石の隙間は小さな石で埋められている。敷石部分以外の床面はほぼ平坦で堅い。

周溝：床面を検出した段階で精査を中止しており、確認していない。

柱穴：床面を検出した段階で精査を中止した。その段階で検出された8個のピットを調査し、その他のピットは確認していない。全て柱痕跡は確認されなかった。本住居跡に伴う柱穴は不明である。

15号住居跡ピット

No.	1	2	3	4	5	6	7	8
形状	不規	偏円	圓	円	偏円	円	円	円
深さ	32	64	19	28	25	22	12	11

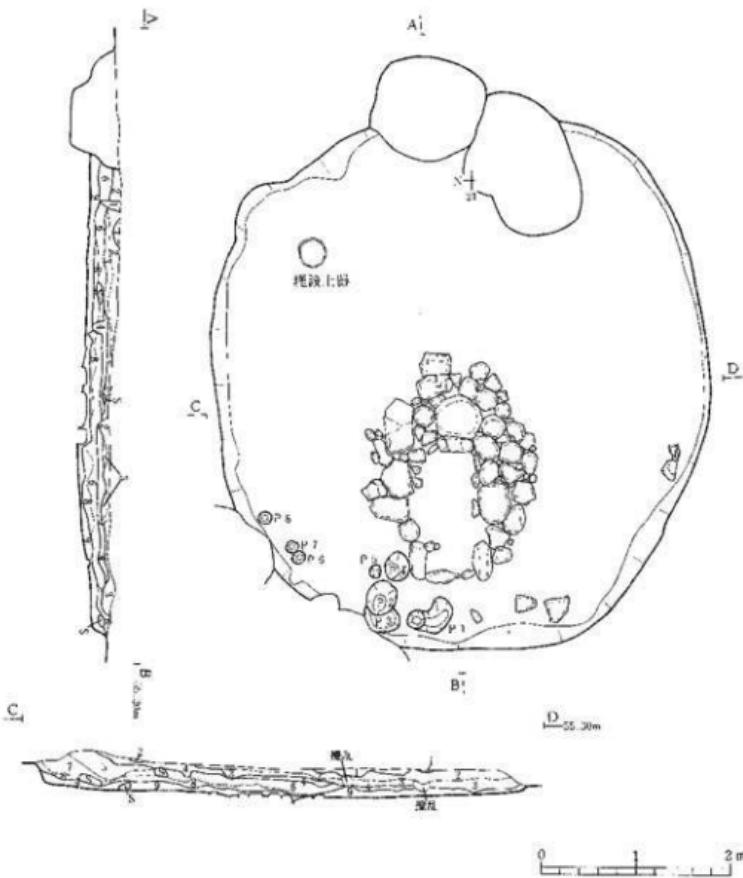
炉：上面を確認した段階で掘り込みを中止したため、炉の構造や使用痕跡、構築方法等の詳細は不明である。

(位置・方向) 住居跡中央部の南寄りに位置している。長軸方向N-4°-Wである。

(規模・平面形) 石組内部の規模・平面形は最大長125cm、最大幅70cmの長方形である。

その他の施設：住居跡北東部、住居跡壁より約65cmのところに径約30cmの埋設土器が検出されている。確認のみで精査は行なっていないため、詳細は不明である。

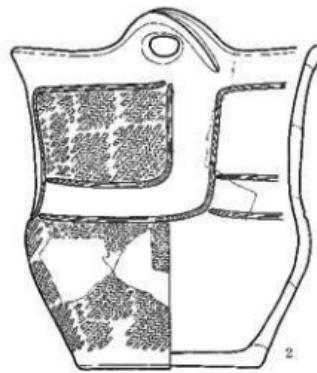
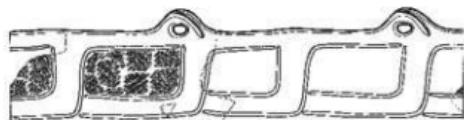
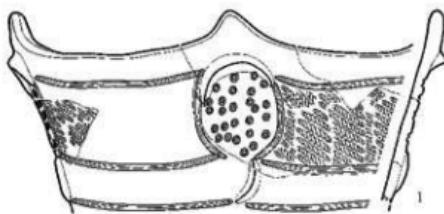
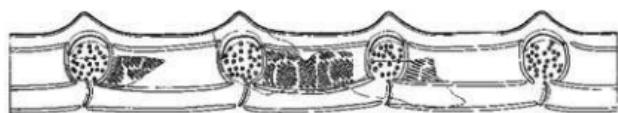
遺物の出土状況：住居跡堆積上各層から、多量の土器、土製品、石器が出土している。特に2層、4層からの出土量が多い。土器とともに石器の出土量も多く、他の住居跡と比較して、特異な出土状況を示している。出土土器は復元可能な個体や大型破片が多い。廃棄した住居跡に一括して投棄されたものであると考えられる。また、ピット4から剝片が7点貯蔵される形で検出されている。堆積土中とした遺物は、各層位毎に取り上げられておらず、各層に分けられなかったものを一括した。



15号住居跡 (M-21住居) 土層柱記表

層位	地図	木	竹	土	生	固	水
1	1	木	10YR2/3	—	シルト	炭化植物灰、炭化土灰、灰鉛灰	—
2	2	木	7.5YR2/4	—	シルト	炭化植物灰、炭化土灰、灰鉛灰	—
3	3	木	7.5YR3/4	—	シルト	炭化植物灰、炭化土灰、ローム調成試験灰	—
4	4	木	10YR2/3	—	シルト	炭化植物灰、炭化土灰、馬骨碎塊少見	—
	5	木	7.5YR3/4	—	シルト	炭化植物の付着、レアロッカを含む	—
5	6	木	10YR2/3	—	シルト	炭化植物灰、炭化土灰、馬骨碎塊少見、炭化土灰	—
	7	木	7.5YR3/4	—	シルト	炭化植物灰、馬骨碎塊	—
	8	塗抹物	7.5YR2/3	—	シルト	炭化植物灰、馬骨碎塊	—
	9	木	7.5YR4/6	粘土質シルト	シルト	炭化植物灰を含む、馬骨碎塊	—

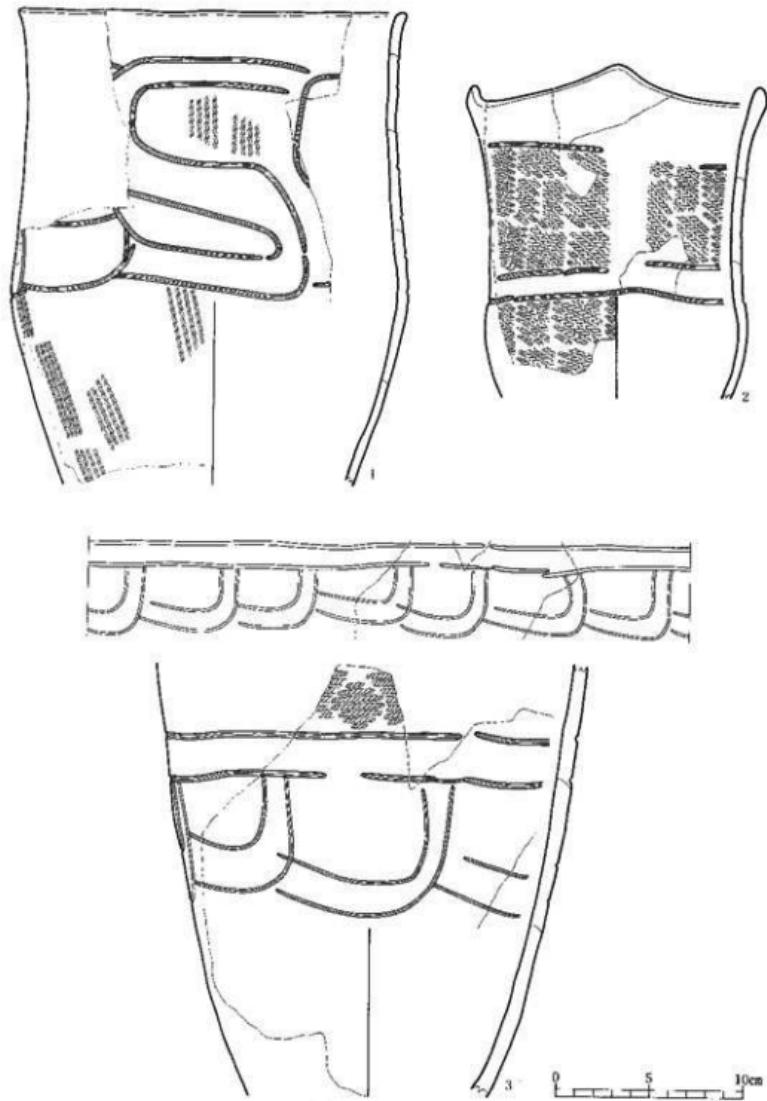
第103図 15号住居跡



0 5 10cm

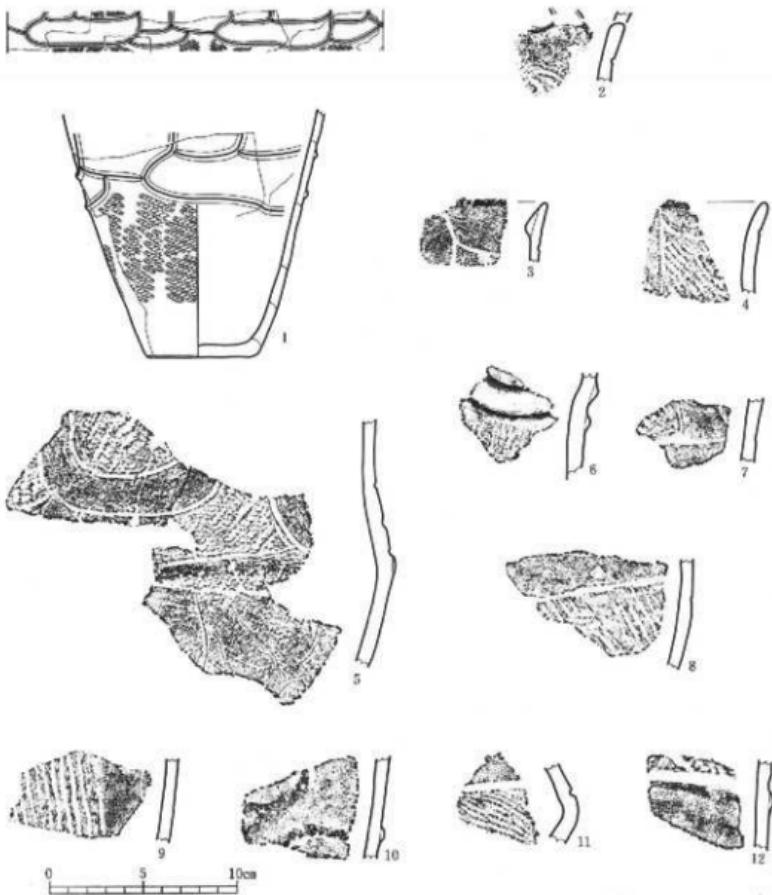
No.	器位	器形	内面	内面	内面	内面	分辨	编 号
1	器No.9	深 罐	弦纹+沈海文+刻阿文+RL绳文+圈足	圈足(底, 壁)			X6	
2	器No.10	深 罐	椭圆文+沈海文+刻阿文+RL绳文+圈足	圈足(底)	子 壶		X6	

第104图 15号住居跡出土土器(1)



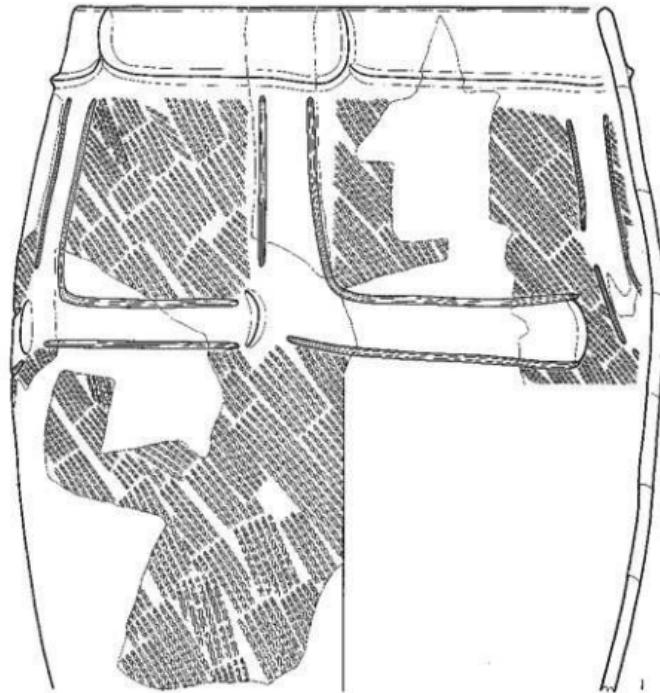
No.	回数	種別	外 表	内 面	底部	分類	考 察
1	埋No.9	陶器	波線文・乳突文・縦+	マメツ	Xsb	波線文・粗陣で下吉田式の跡である	
2	埋No.9	陶器	波線文・L字波文・縦+	サナ(縦)	X	文様は未完成?	
3	埋No.6	波線文・L字波文	サナ(縦)		X	下部波紋文はNo.1と同様	

第105図 15号住居跡出土土器（2）



No.	層位	形態	外　面	内　面	底　部	分類	備　考
1	ⅢⅢⅨ	深　鉢	縦縞文・LR縞文・縦・4	縦々(縫)	マメツ	X	
2	ⅢⅢⅨ	深　鉢	横縞文・HL縞文	縦々(縫)		X	
3	ⅢⅢⅨ	深　鉢	横縞文	縦々(縫)		X6or7	
4	ⅢⅢⅨ	深　鉢	横縞文・LR縞文	縦々(縫)		X6or7	
5	ⅢⅢⅨ	深　鉢	縦縞文・沈縞文・RL縞文	縦々(縫・縫)		X#	
6	ⅢⅢⅨ	深　鉢	横縞文・LR縞文	縦々(縫)		X	
7	ⅢⅢⅨ	深　鉢	横縞文・LR縞文	縦々(縫・縫)		X	
8	ⅢⅢⅨ	深　鉢	横縞文・H鉢赤文	縦々(縫)		X	
9	ⅢⅢⅨ	深　鉢	横縞文・R鉢赤文	縦々(縫)		X	
10	ⅢⅢⅨ	深　鉢	横縞文	縦々(縫)		X	
11	ⅢⅢⅨ	深　鉢	横縞文	縦々(縫)	不　規	X	
12	ⅢⅢⅨ	深　鉢	縦縞文・沈縞文・LR縞文	縦々(縫)		X	

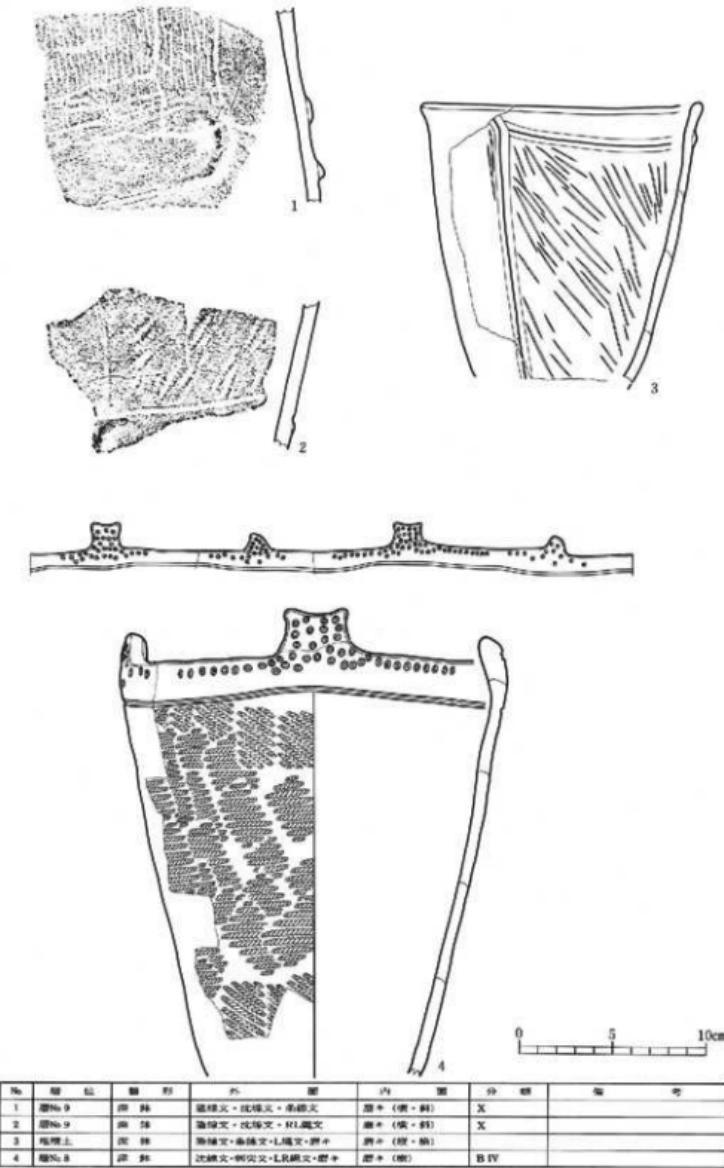
第106図 15号住居跡出土土器(3)



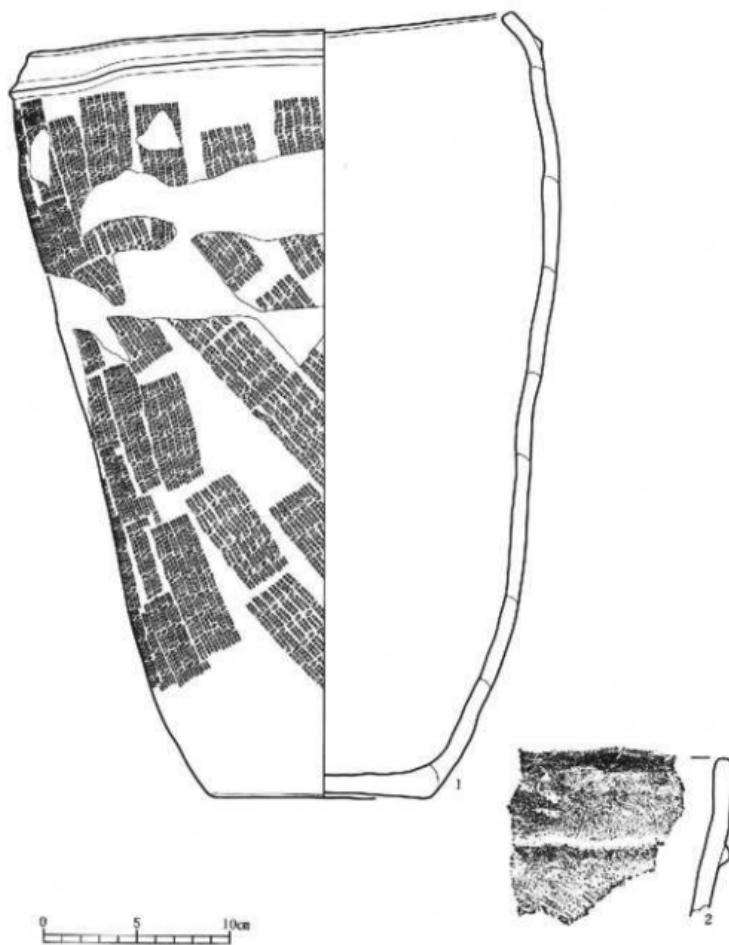
0 5 10cm

No.	場位	種類	外 四	内 四	高 底	分 類	備 号
1	層No.9	圓錐	幾何文・沈課文・U形条文・波文	少戸(縫・縫)	X10		

第107図 15号住居跡出土土器 (4)

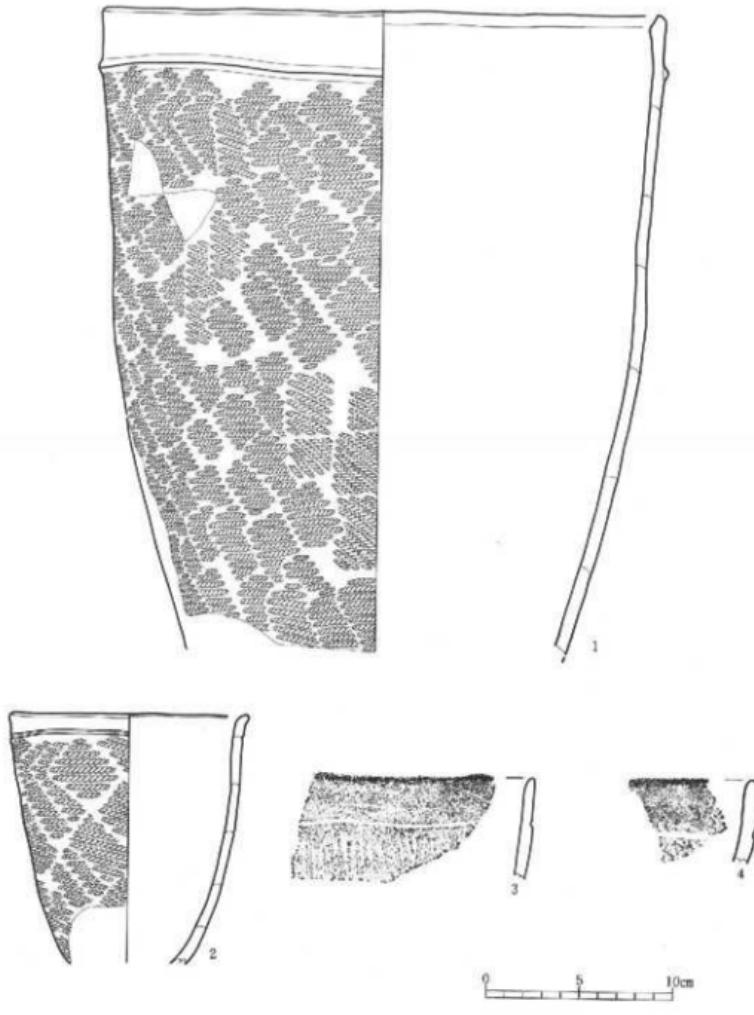


第108図 15号住居跡出土土器(5)



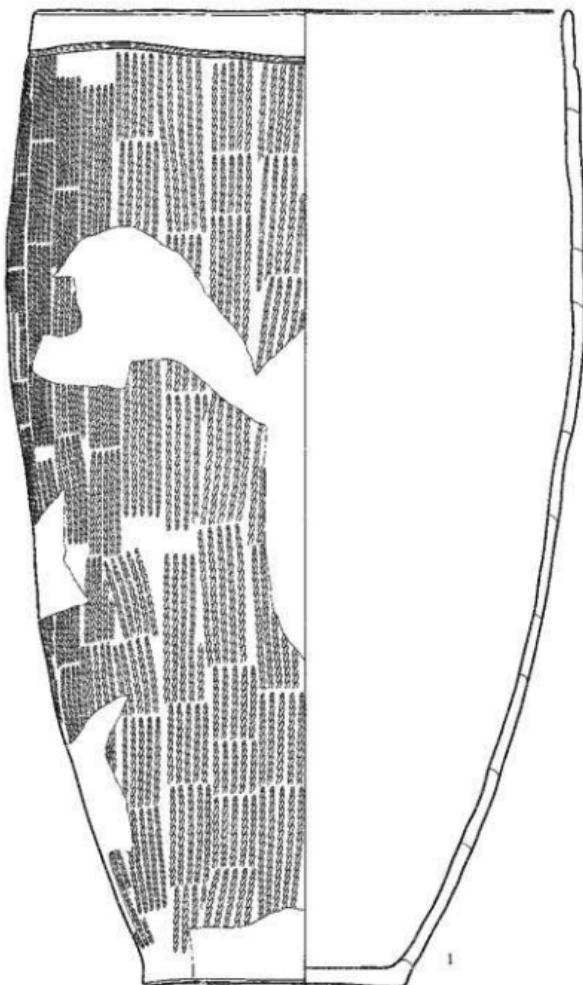
No.	部位	種類	外　面	内　面	底　部	分　類	編　号
1	縁No.9	深鉢	縦縞文・横糸文・ナメ	ナメ(裏)	マメツ	目 1	
2	縁No.6	深鉢	縦縞文・L字糸文	ナメ(裏)	マメツ	目 1	

第109図 15号住居跡出土土器 (6)



第110図 15号住居跡出土土器 (7)

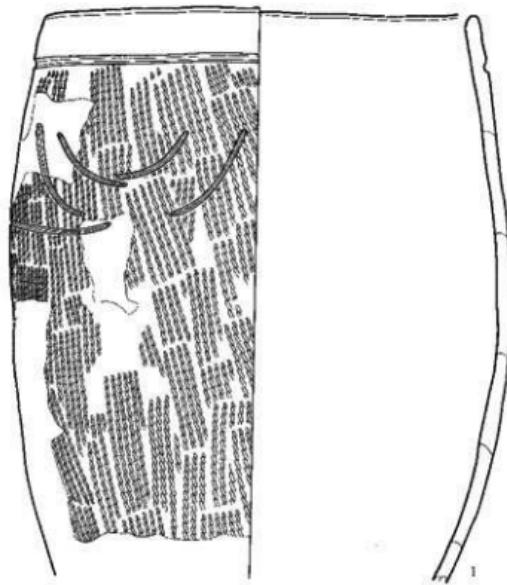
No.	附 位	形 性	外 面	内 面	測 面	分 類	考 号
1	遺No.9	印 纹	幾何文・LRH縞文	縞文(縦・横)		B I	
2	遺No.9	印 纹	波綱文・LH縞文	縞文(縦)		B IV	
3	遺No.9	深 纹	波綱文・LRH縞文	縞文(縦)		B IV	
4	遺No.9	深 纹	LRH縞文	縞文(縦)		B IV	



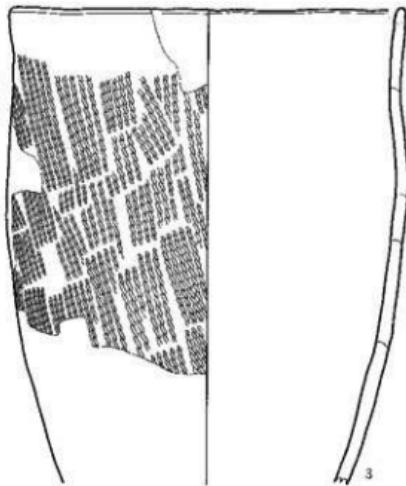
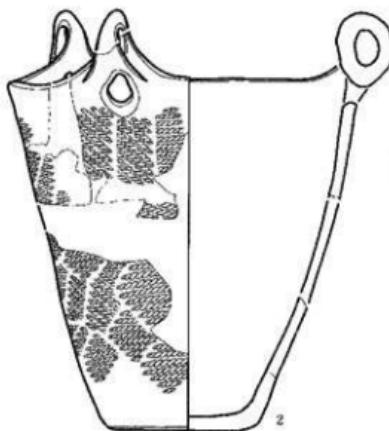
0 5 10cm

No.	層 号	器 形	外 表	内 面	底 槌	分 類	備 考
1	層号 9	深井	波紋文・鋸齿文L・網文	少	網代網・網中	B IV	

第111図 15号住居跡出土土器 (8)

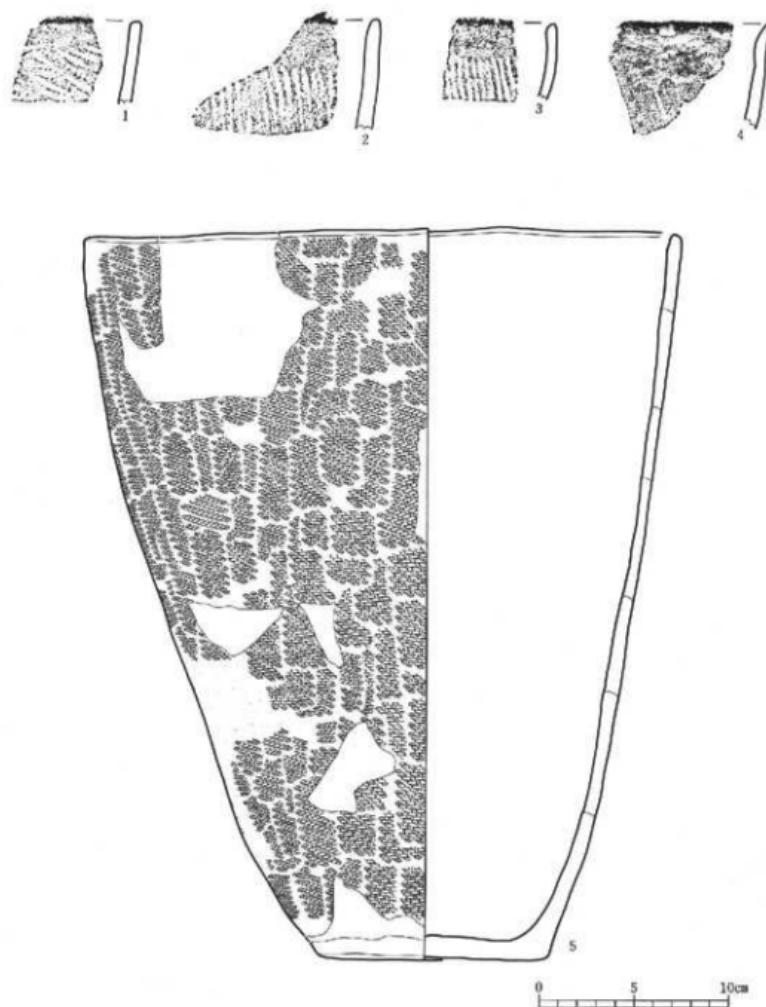


0 5 10cm



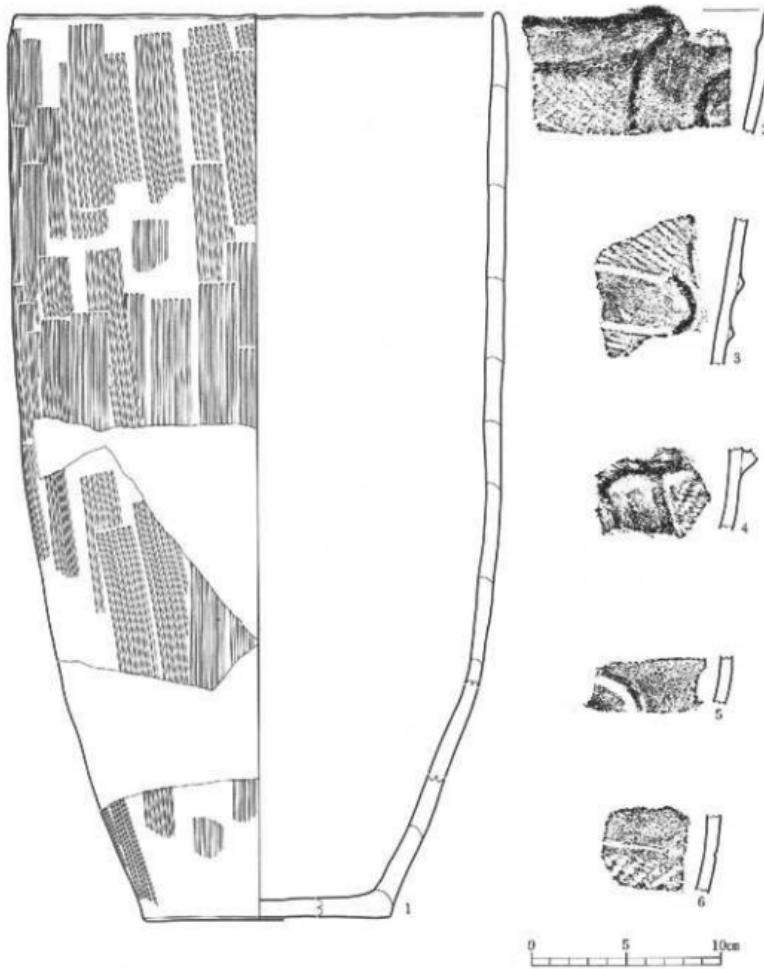
No.	器種	基部	外 面	内 面	形 态	分 類	備 考
1	堆積土	直 筒	浮雕文・具把高文・網文	網文(横)		B IV	
2	罐No.9	直 筒	LR縮文・網文	網文(横)	水箱狀	B VI	
3	罐No.9	直 筒	具把高文・網文	網文(横・物)		B VI	

第112図 15号住居跡出土土器 (9)



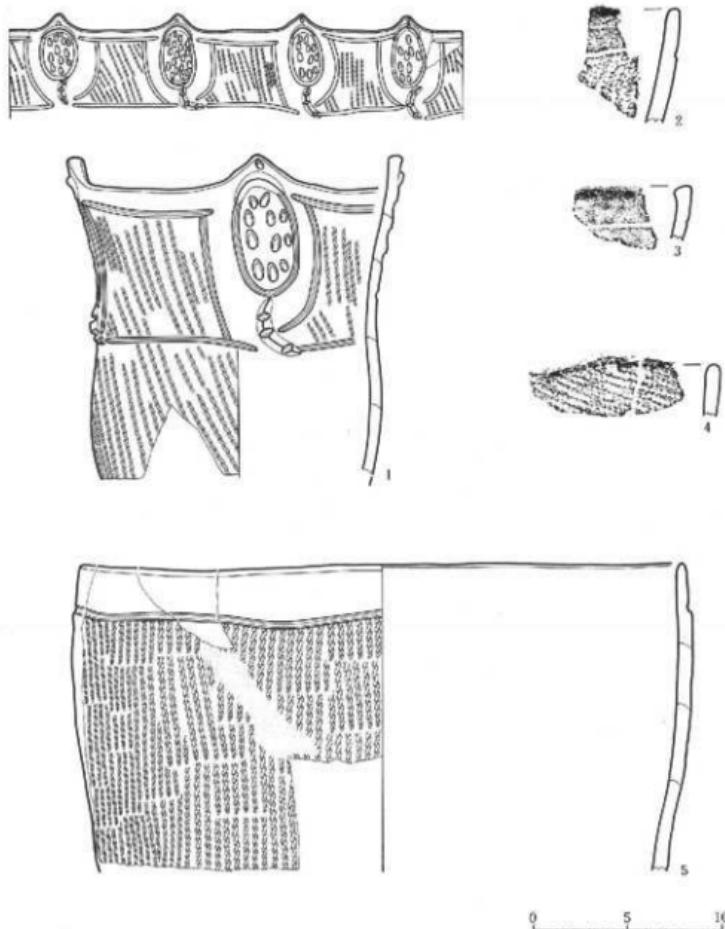
No.	器種	器形	外　面	内　面	周　部	分　類	號　号
1	罐No. 9	圓錐	R.L.繩文	磨光(鏡)		B VI	
2	罐No. 9	圓錐	L.R.繩文	磨光(鏡)		B VI	
3	罐No. 9	圓錐	L.R.繩文	磨光(鏡)		B VI	
4	罐No. 9	圓錐	R.L.繩文			B VI	
5	罐No. 9	圓錐	L.R.繩文	磨光(鏡)	新代板	B VI	

第113圖 15号住居跡出土土器 (10)



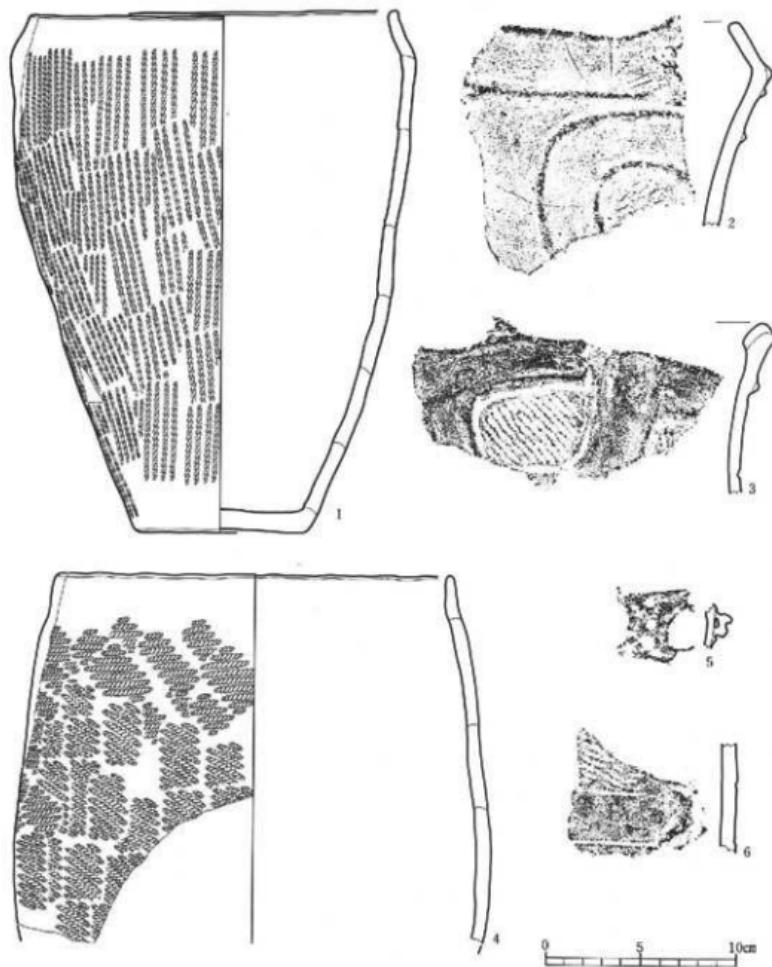
No.	層位	標号	外 面	内 面	底 和	分 類	備 考
1	2層	深鉢	網目文	網目(横)	マメフ	B VI	
2	深No. 6	深鉢	織縞文・RL織文	網目(横)		X for?	
3	深No. 8	深鉢	織縞文・比縞文・RL織文	網目(横・斜)		X for?	
4	深No. 8	深鉢	織縞文・RL織文	網目(横)		X	
5	深No. 8	深鉢	織縞文・比縞文	網目(横)		X	
6	深No. 8	深鉢	比縞文・RL織文	網目(横)		X	

第114図 15号住居跡出土土器 (11)



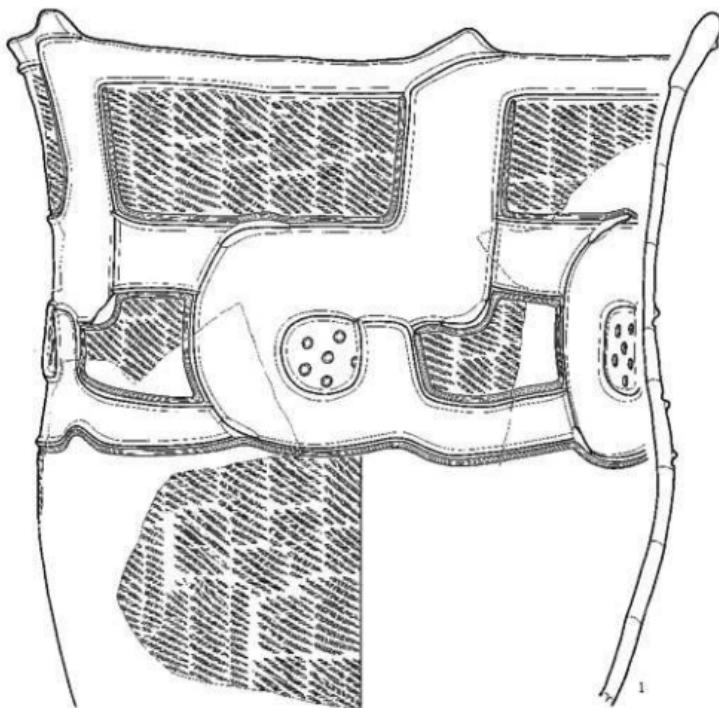
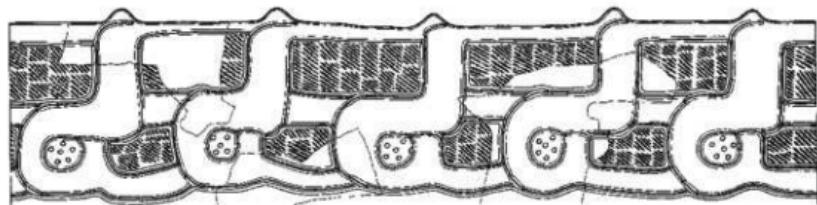
第115図 15号住居跡出土土器 (12)

No.	層位	種類	外　面	内　面	分　類	圖　考
1	層No.8	25㌢	縹跡文・比縹文・斜目・斜向文・圓點点文・網文	網文 (深・細)	X 6	
2	層No.8	26㌢	比縹文・RLJ縹文	網文 (細)	B IV	
3	層No.8	26㌢	比縹文	網文 (粗)	B IV	
4	層No.8	26㌢	LR網文	網文 (細)	B VI	
5	層No.8	25㌢	比縹文・LRL網文・網文	網文 (深・細)	B IV	



第116図 15号住居跡出土土器 (13)

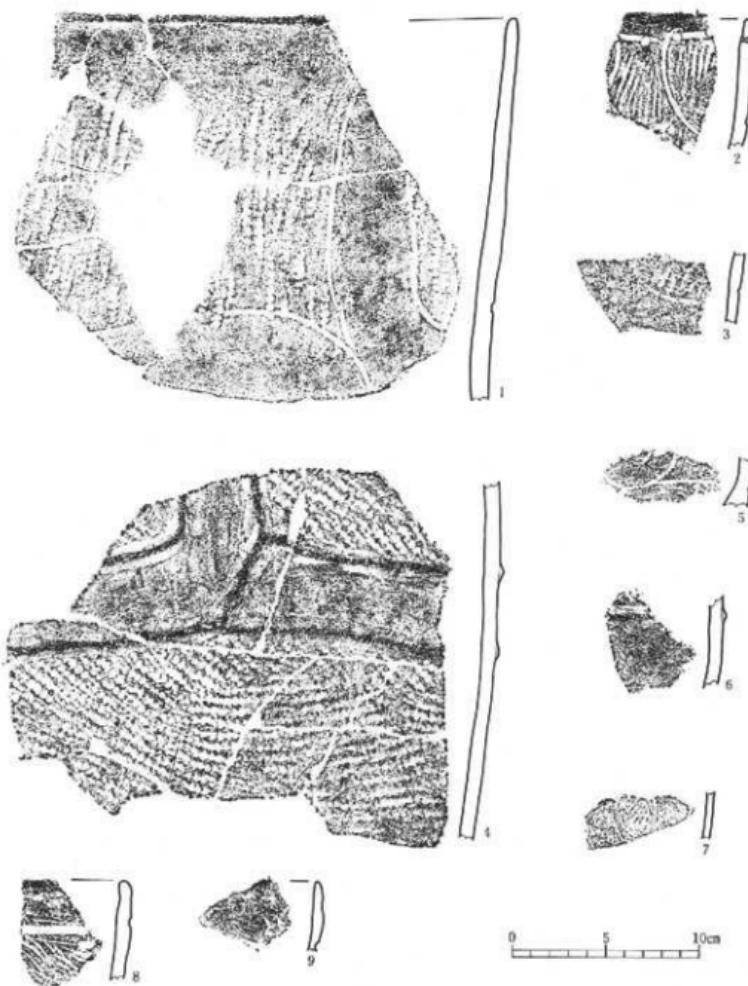
No.	場所	形	外観	内面	裏面	分類	備考
1	昭6.8	鉢	LRR縞文	△△(縞)	△△(縞)	B VI	
2	昭6.6	鉢	縞横文・RL縞文	△△(縞・横)		X	
3	昭6.6	鉢	縞横文・R縞文・LRR縞文	△△(縞)		X 6	
4	昭6.6	鉢	LRR縞文・ナガ	△△(縞・横)		B VI	
5	昭6.6	——	縞横文・射縞文・網状化粧	△△(縞)			
6	昭6.6	鉢	縞横文・R縞文・RL縞文	△△(縞)		X	



0 5 10cm

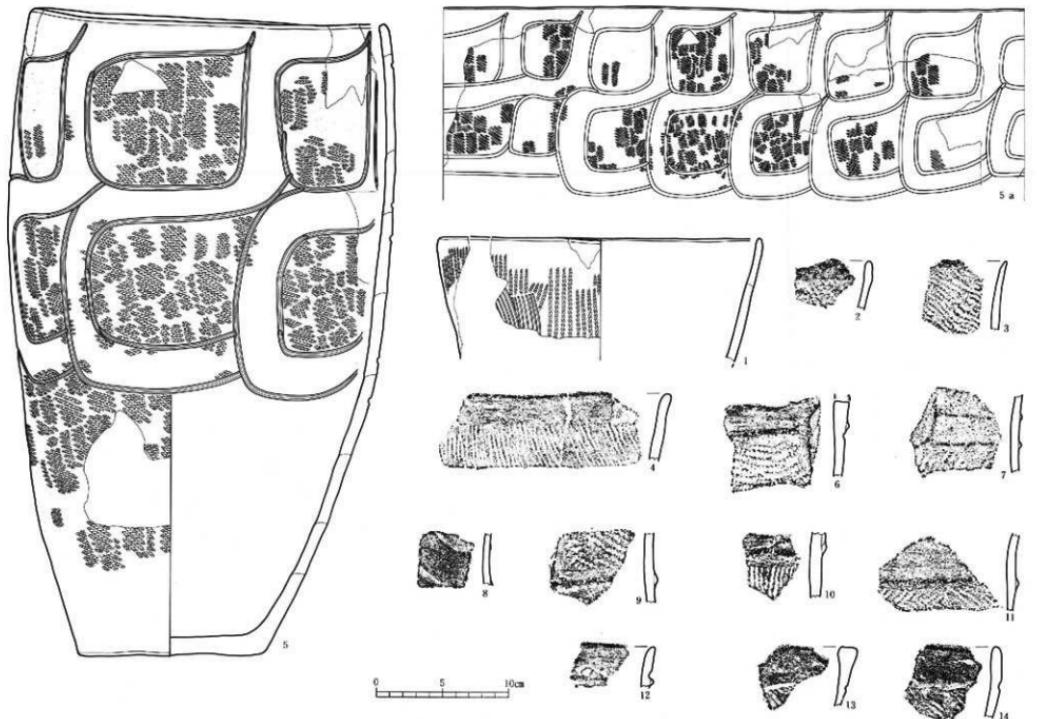
No.	施位	器形	外 寸	内 寸	容 量	基 底	立 體	考 古
1	4号	罐	神像文・虎纹文・鸟纹文・山字文・四叶文・四叶+四点(猪)		X5c			

第117図 15号住居跡出土土器 (14)



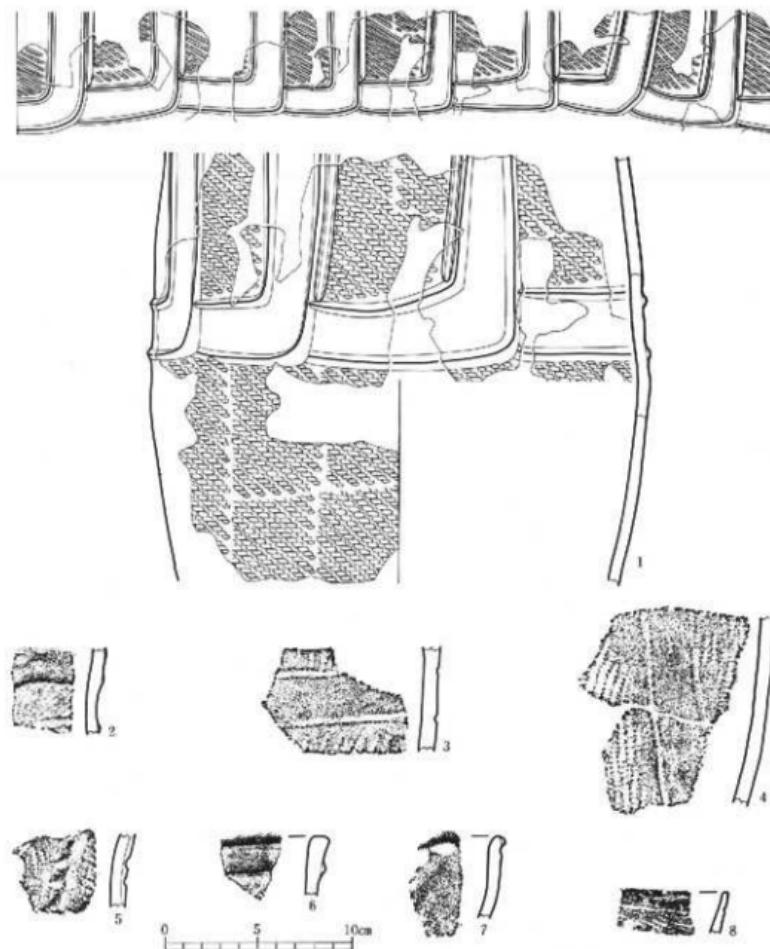
No.	層位	體形	外面	裏面	分類	層号
1	層No. 6	圓錐形	沈積文・RL輪文	圓孔(60・80)	X 7	
2	層No. 6	圓錐形	沈積文・L鉛垂文・穿孔	圓孔(60・84)	X	
3	層No. 6	圓錐形	沈積文・R鉛垂文	圓孔(60)	X	
4	層No. 6	圓錐形	沈積文・沈積文・L鉛垂文	圓孔(60)	X	
5	層No. 6	圓錐形	沈積文	圓孔(60)	X	
6	層No. 6	圓錐形	沈積文	圓孔(60・80)	X	
7	層No. 6	圓錐形	沈積文	圓孔(60)	X	
8	層No. 6	圓錐形	沈積文・RL輪文	圓孔(60)	B IV	
9	層No. 5	圓錐形	沈積文	圓孔(60)	B IV	

第118図 15号住居跡出土土器 (15)



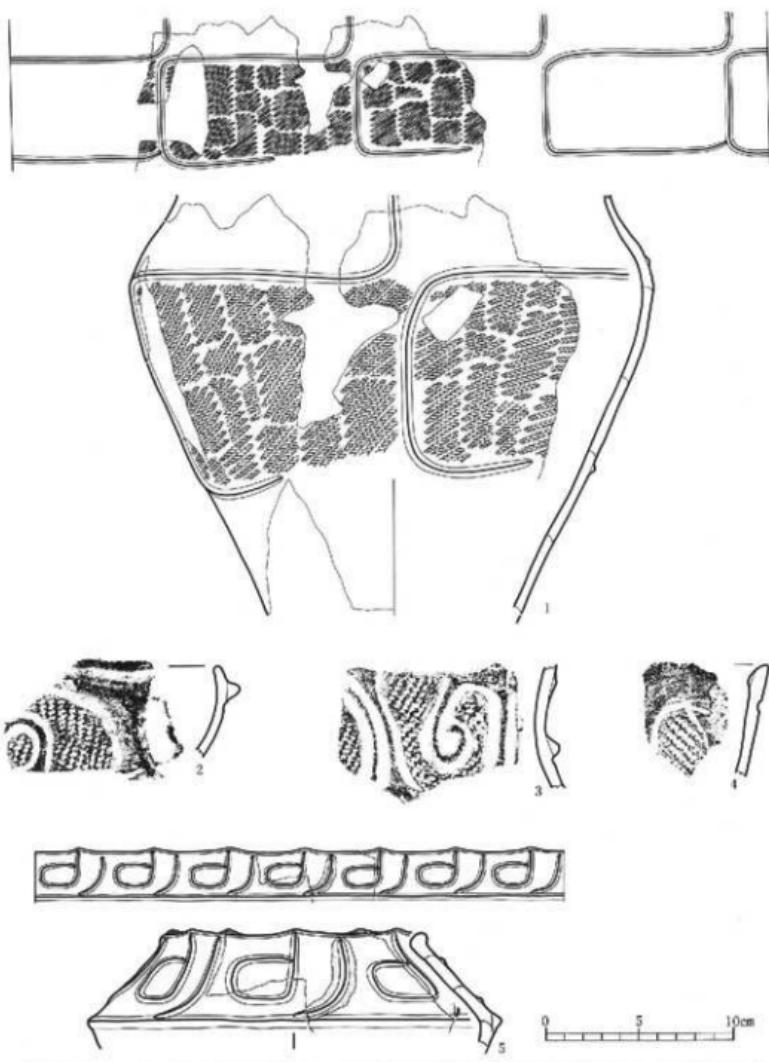
No.	埋 立	施 形	外 形	内 形	分 類	圖
1	WNo. 5	深 裂	横斜文・L形条文	深 + (横)	B VI	
2	WNo. 5	深 裂	L形文	深 + (横)	B VI	
3	WNo. 5	深 裂	H1.横文	深 + (横) + (Z)(H)	B VI	
4	WNo. 6		横 + (横)	B VI		
5	W. 69	弦纹	L形条文	深 + (横)	X No. 2	
6	W. 69	弦纹	横斜文・L形条文	深 + (横) + (H)	X No. 2	
7	W. 69	弦纹	横斜文・H1.横文	深 + (横 + H)	X	
8	埋 立	深 裂	横斜文	深 + (横)	X	
9	埋 立	深 裂	横斜文・L形条文	深 + (横 + H)	X	
10	埋 立	深 裂	横斜文・H1.横文	深 + (H)	X	
11	WNo. 4	深 裂	横斜文	深 + (横)	X	
12	WNo. 4	深 裂	横斜文	深 + (横)	B III	
13	WNo. 4	深 裂	横斜文	深 + (横)	B IV	
14	WNo. 4	深 裂	横斜文	深 + (横)	B IV	

第119図 15号住跡出土土器 (16)



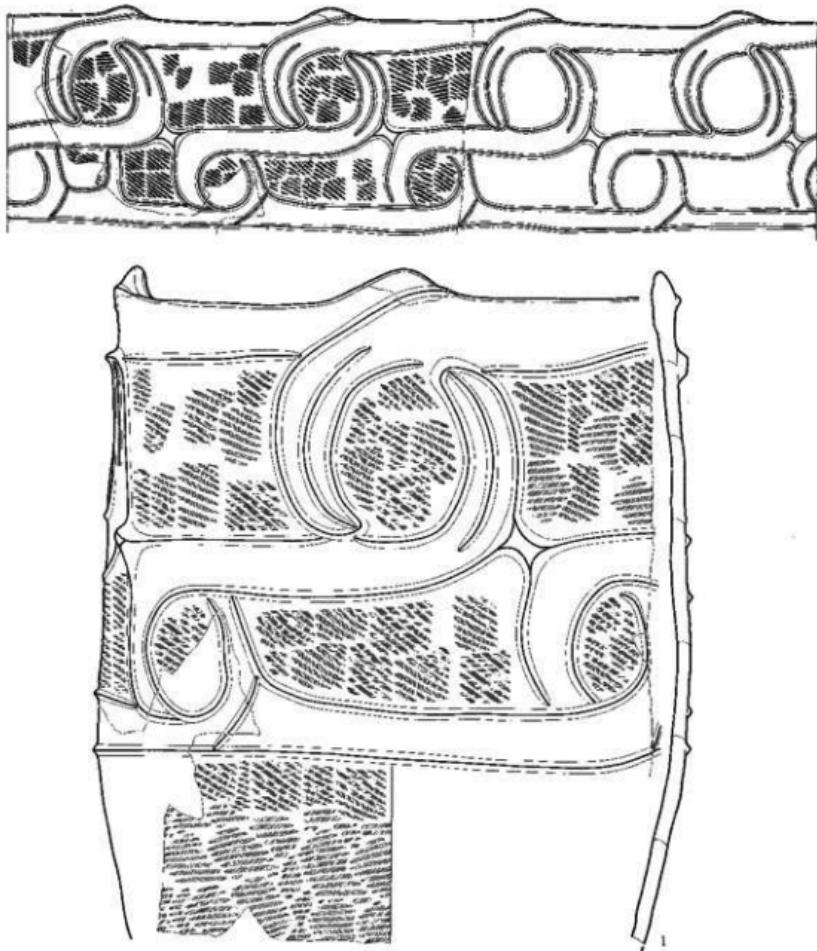
No.	用 途	圖 形	外 面	内 面	分 類	備 考
1	3種	深 紗	繩紋文・LR輪文・網文	網文(密・肥)	X6or7	
2	3種	深 紗	繩紋文・不明圓文	網文(密)	X	
3	3種	深 紗	波紋文・RL輪文	網文(密)	X	
4	3種	深 紗	波紋文・RL輪文	芦文(密)	X	
5	3種	深 紗	繩紋文・刻目文・LR輪文	網文(密)	X	
6	3種	深 紗	滑輪文・LR輪文	網文(薄)	B I	
7	3種	深 紗	刻突文	網文(密・厚)	B III	
8	3種	深 紗	波紋文・RL輪文	網文(薄)	B IV	

第120図 15号住居跡出土土器 (17)



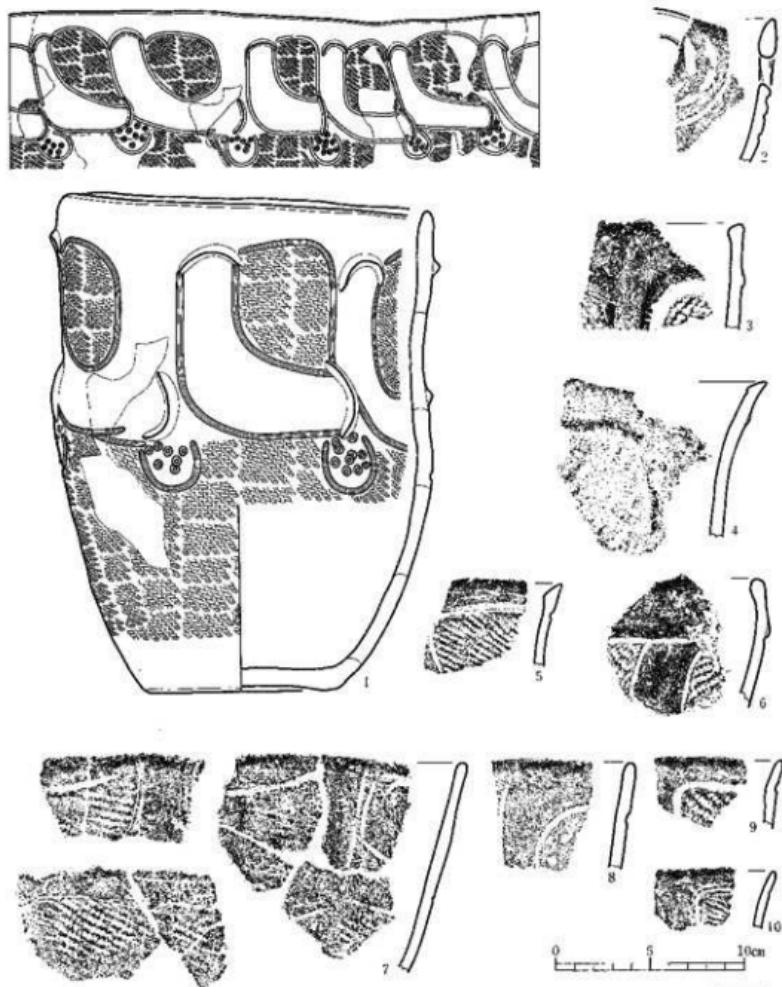
第121図 15号住居跡出土土器 (18)

No.	場所	器種	外観	内面	分類	備考
1	2期	両耳	施縞文・R.L.縞文・網文	縞文(横)・アゲ(横)	X10	
2	2期	両耳	施縞文・沈縞文・R.L.縞文	網文(横・斜)	WII or IX	
3	2期	両耳	施縞文・沈縞文・R.L.縞文	網文(横)	WII or IX	
4	2期	両耳	沈縞文・R.L.縞文	網文(横)	X	
5	2期	両耳	施縞文	マメツ	X	



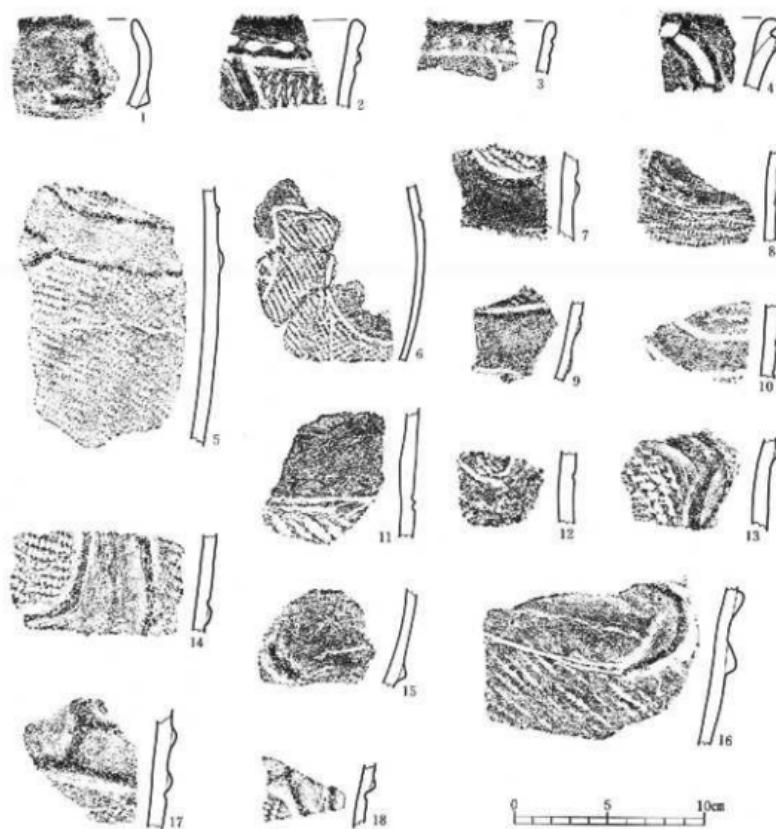
第122図 15号住居跡出土土器 (19)

No.	層位	断面	外	内	厚	分量	備	寸
1	2.2m	36.5cm	16.5cm	11.5cm	~メタ	N.S.		



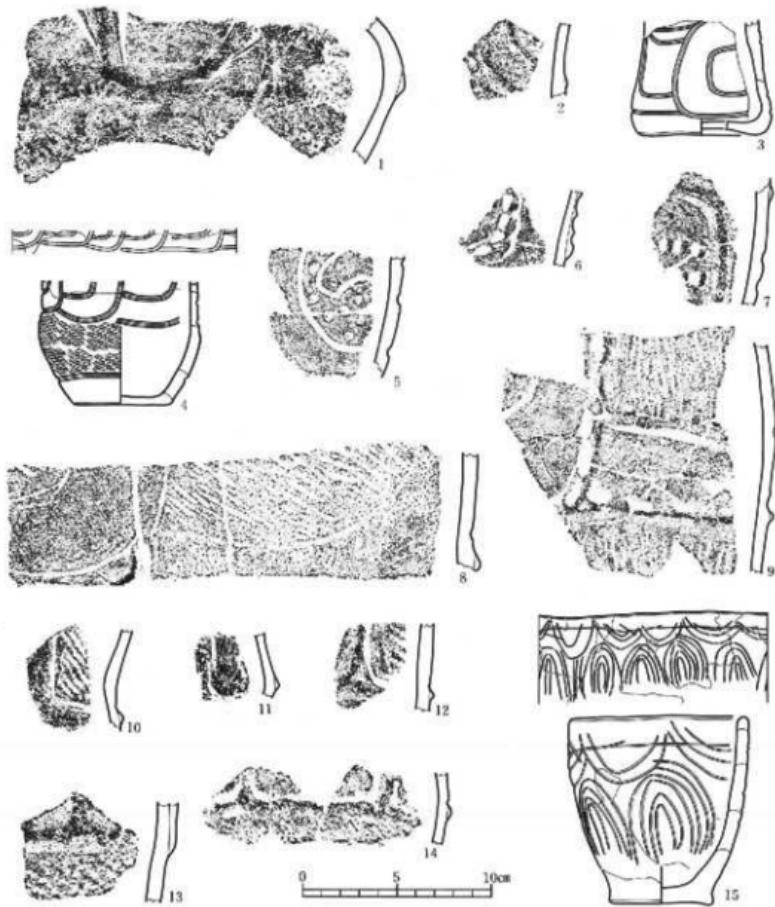
No.	位	器	外	内	底	分	厚
1	1層	陶 片	施縫文、弦縫文、網目文、LH縫文	厚4(微)	本體厚	X7	
2	2層	陶 片	施縫文、網目文	厚4(微)		X	
3	2層	陶 片	施縫文、弦縫文、RL縫文	厚4(微-薄)		X6or7	
4	2層	陶 片	施縫文、弦縫文、和LH縫文	厚4(微-薄)		X6or7	
5	2層	陶 片	施縫文、H縫文	厚4(微)		X	
6	2層	陶 片	施縫文、弦縫文、LH縫文	厚4(微)		X	
7	2層	陶 片	施縫文、弦縫文、H縫文	厚4(微)		X7	
8	2層	陶 片	施縫文、弦縫文	厚4(微)		X6or7	
9	2層	陶 片	施縫文、LH縫文	厚4(微)		X	
10	2層	陶 片	施縫文、H縫文	厚4(微)		X	

第123図 15号住居跡出土土器 (20)



No.	規 則	形 形	外 表	内 面	分 類	特 約
1	2層	深 細	點網文	磨光 (薄)	B 1	
2	2層	深 細	邊緣文・比縫文・網突文・R凸面文	磨光 (薄, 突)	X 9	
3	2層	深 細	邊緣文・刺繡文	磨光 (薄)	X	
4	2層	深 細	神縫文・沈縫文・網突文	磨光 (薄)	X 15	
5	2層	深 細	邊緣文・RL網文	磨光 (薄)	X	
6	2層	深 細	邊緣文・LRL網文	磨光 (薄)	X	
7	2層	深 紹	邊緣文・沈縫文・HJ.圓文	磨光 (薄)	X	
8	2層	深 紹	神縫文・沈縫文・LRL圓文	磨光 (薄)	X	
9	2層	深 紹	邊緣文・沈縫文・不明網文	磨光・トテ (薄)	X	
10	2層	深 紹	比縫文・LRL網文	磨光 (薄)	X	
11	2層	深 紹	比縫文・RL圓文	磨光 (薄)	X	
12	2層	深 紹	比縫文・LRL圓文	磨光 (薄)	X	
13	2層	深 紹	邊緣文・LR網文	磨光 (薄)	X	
14	2層	深 紹	邊緣文・沈縫文・HJ.圓文	磨光 (薄)	X	
15	2層	深 紹	神縫文・沈縫文	磨光 (薄)	X	
16	2層	深 紹	邊緣文・沈縫文・圓文	ナフ (薄)	X	
17	2層	深 紹	邊緣文・沈縫文・RL網文	磨光 (薄)	X	
18	2層	深 紹	神縫文・沈縫文・HJ.圓文	磨光 (薄)	X	

第124図 15号住居跡出土土器 (21)



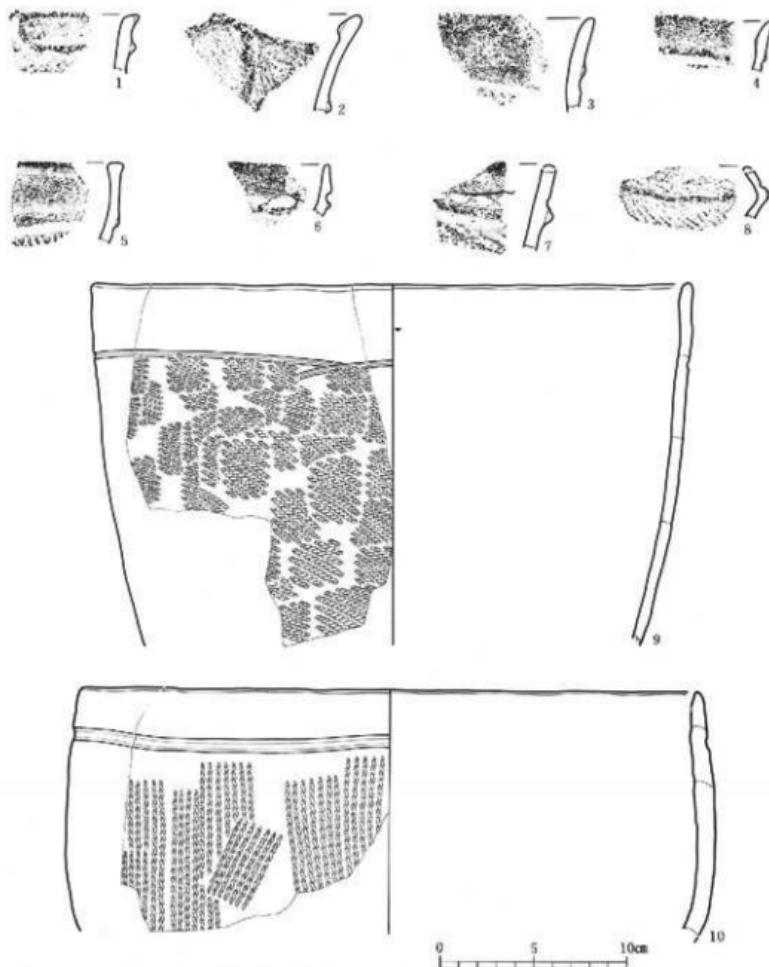
No.	層 位	形 狀	外 觀	內 觀	底 形	分 類	圖 考
1	2層	圓 盤	施繩文。H1.周文	圈足(橫)		X	
2	2層	深 盤	施繩文	圈足+子母(橫)		X	
3	2層	深 盤	施繩文。執手文	圈足(橫)		X5	
4	2層	深 盤	施繩文。LR繩文。圈足	圈足(橫)	子母(橫)	X6or7	
5	2層	深 盤	施繩文。執手文	圈足+子母(橫)		X	
6	2層	圓 盤	施繩文。LR繩文。執手文	圈足(橫)		X9	
7	2層	深 盤	施繩文。執手文	圈足(橫)		X	
8	2層	圓 盤	施繩文。沈繩文。LR繩文	圈足(橫)		X6or7	
9	2層	圓 盤	施繩文。沈繩文。執手文+長繩扁足	圈足(橫)		X9	
10	2層	圓 盤	施繩文。沈繩文。LR繩文	圈足(橫)		X	
11	2層	深 盤	施繩文。沈繩文。RL繩文	圈足(橫、暗)		X	
12	2層	深 盤	施繩文。沈繩文。LR繩文	圈足(橫、暗)		X	
13	2層	深 盤	施繩文。RL繩文	圈足(橫)		X	
14	2層	深 盤	施繩文。沈繩文。LR繩文	圈足(橫)		X	
15	2層	深 盤	沈繩文	子母(橫)		X8b	

第125圖 15号住居跡出土土器 (22)



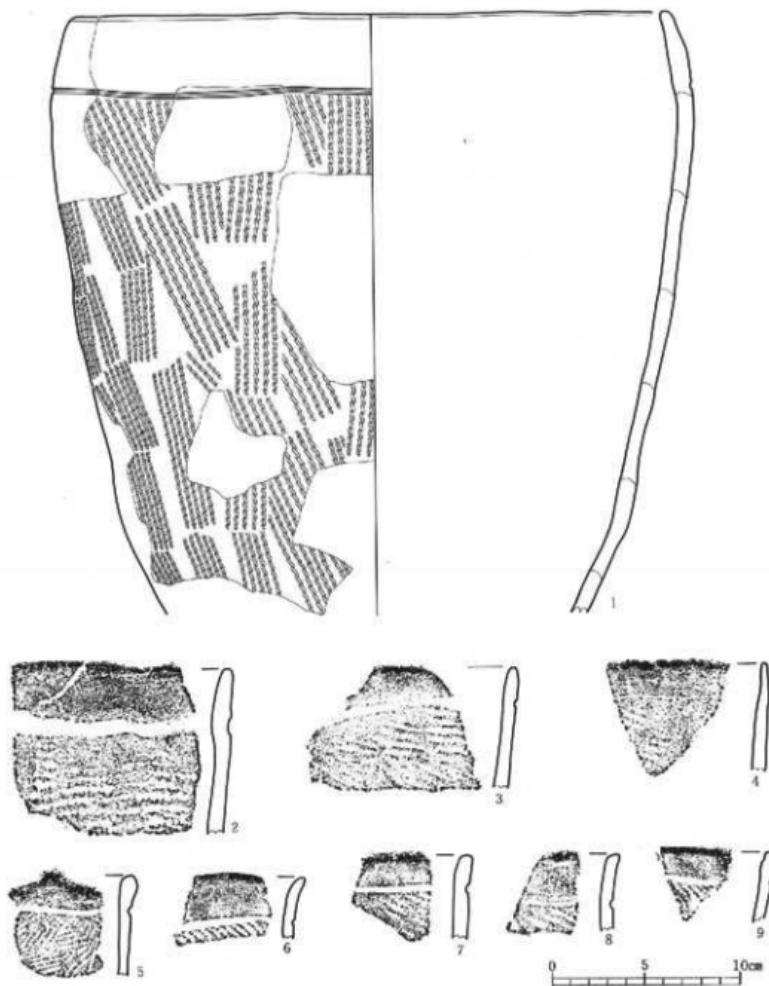
No.	層位	器形	外 面	内 面	分 類	備 考
1	2層	鉢 形	浅縁火	十字(横)	X	
2	2層	鉢 形	周突火・空孔	四字(横)	XII	
3	2層	深 鉢	施縫火	四字(横)	B I	
4	2層	鉢 形	施縫火	四字(横)	B I	
5	2層	縦 柱	施縫火・RL施火	四字(横)	B I	
6	2層	圓 盤	施縫火・双頭条文	四字(横)	B I	
7	2層	圓 盤	施縫火・RL施火	四字(横・斜)	B I	
8	2層	深 鉢	施縫火・虎條文	四字(横)	B I	

第126図 15号住居跡出土土器 (23)



No.	器 特	形 型	外 面	内 面	分 類	號
1	盤No. 2	圓 盤	繩紋文	繩子 (橫)	B I	
2	盤No. 2	圓 盘	繩紋文	繩子 (橫)	B I	
3	盤No. 2	圓 盘	此側文・RL網文	繩子 (橫)	B II	
4	盤No. 2	圓 盘	斜條文・沈綱文	繩子 (橫)	B II	
5	盤No. 2	圓 盘	繩紋文・沈綱文・灰黑乳文	繩子 (橫)	B II	
6	盤No. 2	圓 盘	繩紋文・鶴開文	繩子 (橫)	B III	
7	盤No. 2	圓 盘	斜條文・刻齒文・L型文	繩子 (橫)	B III	
8	盤No. 2	圓 盘	繩條文・刻齒文・L型文	繩子 (橫)	B IV	
9	盤No. 2	圓 盘	此側文・LR網文	繩子 (橫)	B IV	
10	盤No. 2	圓 盘	沈綱文・灰黑乳文・繩子	△ア (横)	B IV	

第127図 15号住居跡出土土器 (24)



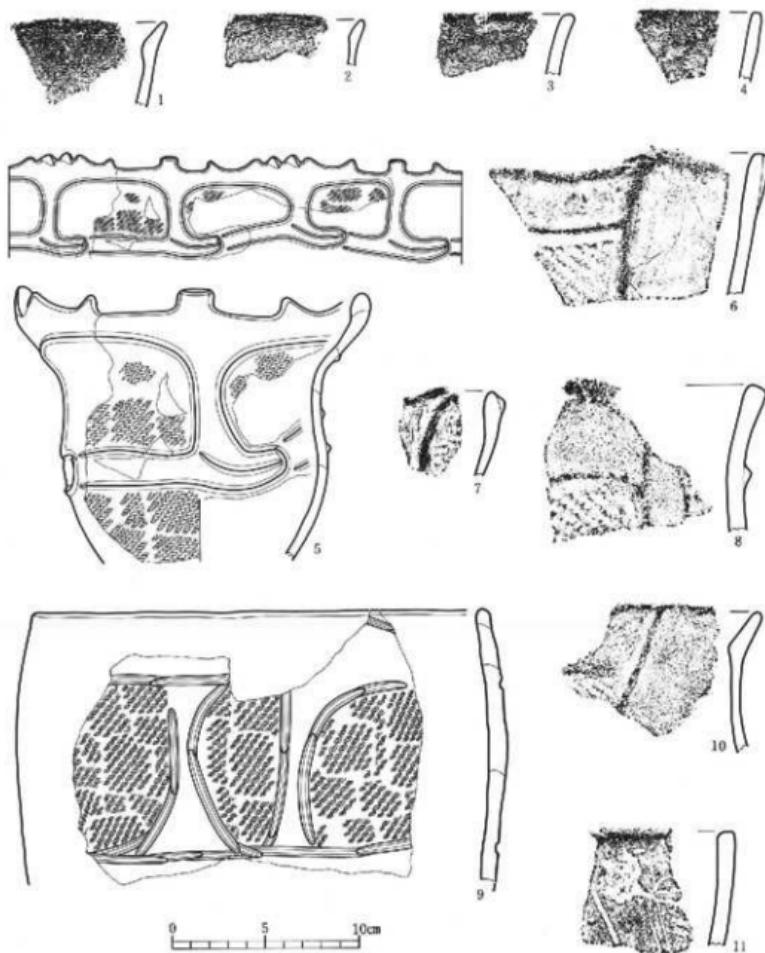
No.	层位	器形	外 形	内 形	分 期	备 考
1	层No. 2	深 钵	弦纹，折沿深盆，圈足	圈足（素·圈）	B IV	
2	层No. 2	深 钵	弦纹，L形圈足	圈足（素·圈）	B IV	
3	层No. 2	深 钵	弦纹，L形圈足	圈足（素）	B IV	
4	层No. 2	深 钵	弦纹，L形圈足	圈足（素·圈）	B IV	
5	层No. 2	深 钵	弦纹，L形圈足	圈足（素·圈）	B IV	
6	层No. 2	深 钵	弦纹，L形圈足	圈足（素）	B IV	
7	层No. 2	深 钵	弦纹，L形圈足	圈足（素）	B IV	
8	层No. 2	深 钵	弦纹，L形圈足	圈足（素）	B IV	
9	层No. 2	深 钵	弦纹，L形圈足	圈足（素）	B IV	

第128图 15号住居跡出土土器 (25)



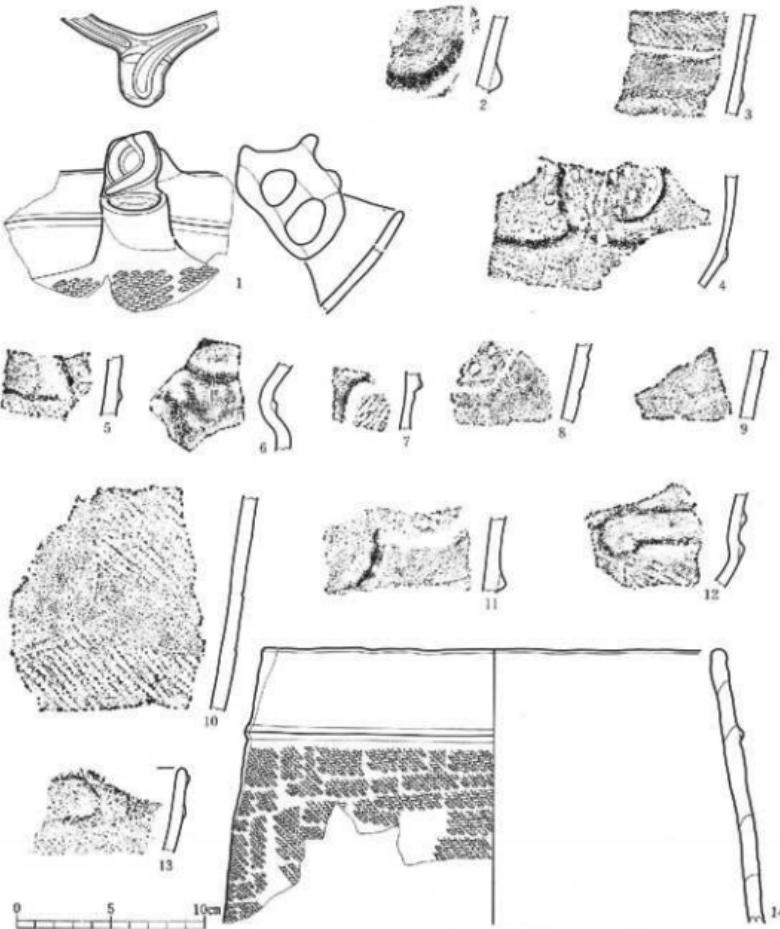
No.	形 式	形 状	内 面	外 面	備 考
1	壺No.2	深 鉢	比較文・LR織文	子テ・縦(40)	B IV
2	壺No.2	深 鉢	比較文・直撫曲文	子テ・縦(40)	B IV
3	壺No.2	深 鉢	比較文・L織曲文	縦(40)	B IV
4	壺No.2	深 鉢	斜夷文・L織曲文	縦(40)	B V
5	壺No.2	深 鉢	比較文・L織曲文	縦(40)	B IV
6	壺No.2	深 鉢	比較文・直撫曲文	縦(40)・縦	B IV
7	壺No.2	深 鉢	比較文・L織曲文	縦(40)	B IV
8	壺No.2	深 鉢	比較文・LR織文	縦(40)	B IV
9	壺No.2	深 鉢	比較文	縦(40)	B IV
10	壺No.2	深 鉢	比較文	縦(40)	B IV
11	壺No.2	深 鉢	比較文	縦(40)	B IV
12	壺No.2	深 鉢	RL織文	縦(40)・縦(30)	B VI
13	壺No.2	深 鉢	RL織文	子テ・縦(40)	B VI
14	壺No.2	深 鉢	RL織文	縦(40)	B VI
15	壺No.2	深 鉢	LR織文	縦(40)・縦(30)	B VI
16	壺No.2	深 鉢	長脚文	縦(40)	B VI
17	壺No.2	深 鉢	L織曲文	縦(40)	B VI
18	壺No.2	深 鉢	網目状横文(R)	縦(40)・縦	B VI

第129図 15号住居跡出土土器 (26)



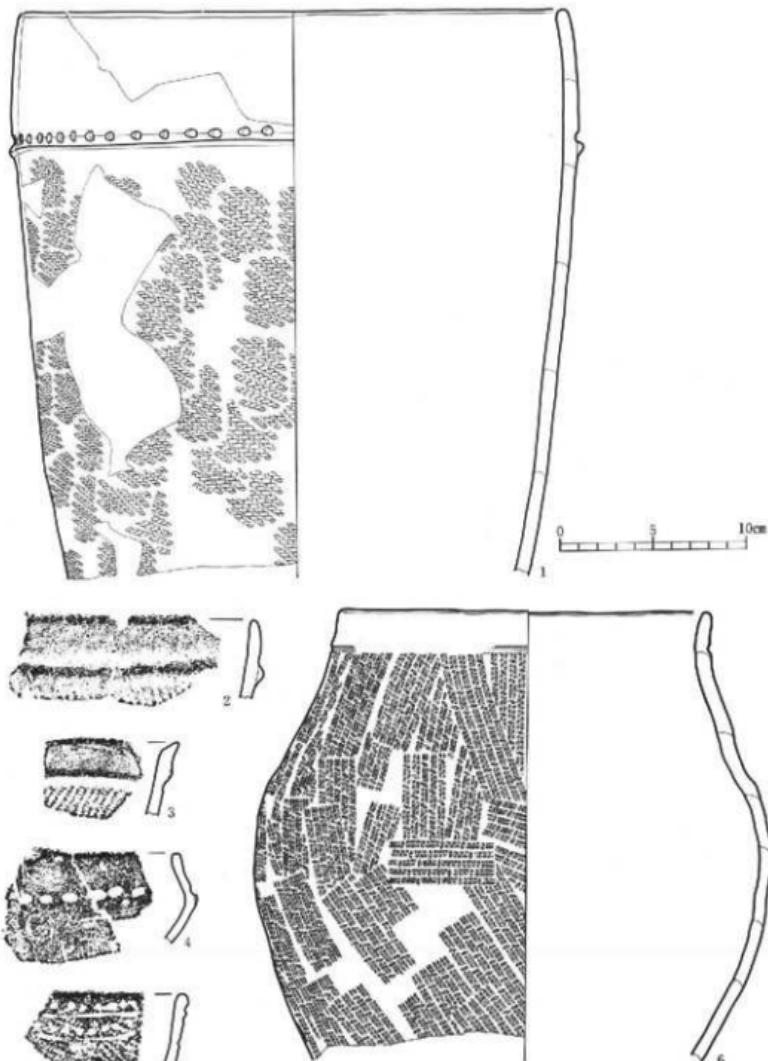
No.	帶 位	類 别	外 围	内 面	周 長	分 類	圖 号
1	昭No.2	陶 瓶	瓶 千	瓶 千 (橫、斜)	B VII		
2	昭No.2	陶 瓶	瓶 千	瓶 千 (橫)	B VII		
3	昭No.2	陶 瓶	瓶 千	瓶 千・千 (橫)	B VII		
4	昭No.2	陶 瓶	上 ド・瓶 千	瓶 千 (橫)	B VII		
5	織錦陶	陶 瓶	織錦文・RLR織文	マメツ	X10		
6	織錦土	陶 瓶	織錦文	千 (横)	X6or7		
7	織錦土	陶 瓶	織錦文・LR織文	瓶 千 (横)	X8		
8	織錦土	陶 瓶	織錦文・RLR織文	瓶 千 (横)	X6or7		
9	織錦土	陶 瓶	織錦文・RLR織文・瓶 小	瓶 千 (横)	X		
10	織錦土	陶 瓶	織錦文・RLR織文	千 (横)	X		
11	織錦土	陶 瓶	織錦文・RLR織文	千 (横)	X		

第130図 15号住居跡出土土器 (27)



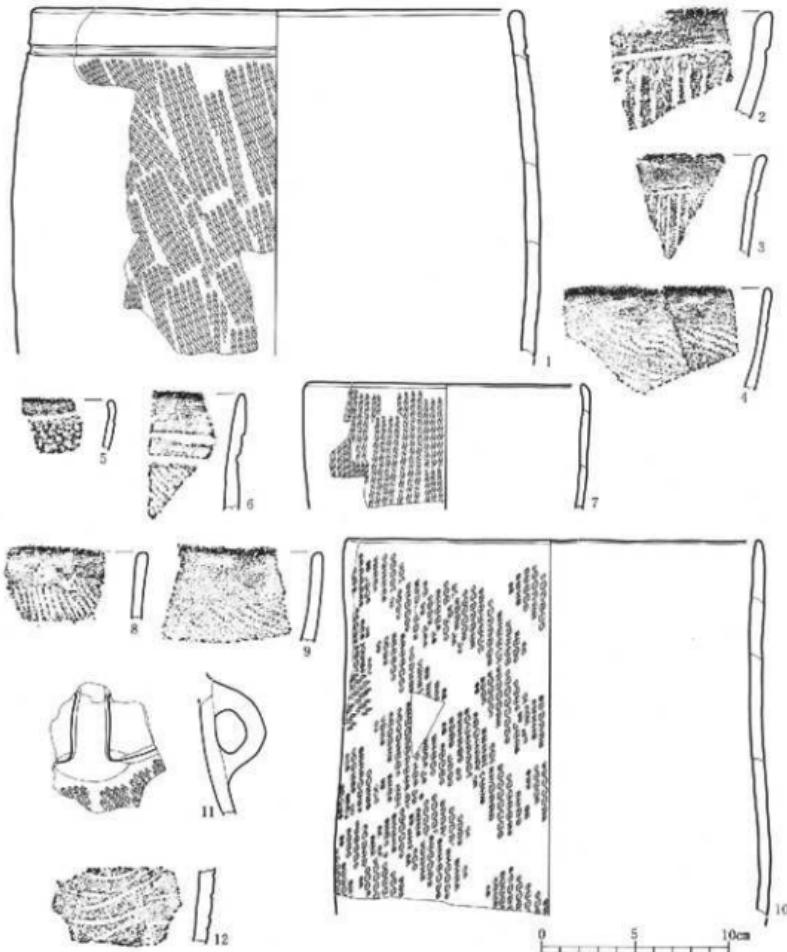
No	部 位	類 別	外 由	内 由	分 布	圖	考
1	唇	裸黏(L)	隨體文，L狀體文		ツメツ	XI	
2	齶裂面	唇 齶	隨體文，U形體文	齶キ(齶)		X	
3	齶裂部	唇 齶	隨體文，U形體文，L狀體文	齶キ(齶，唇)		X	
4	齶近部	唇 齶	隨體文，U形體文	齶キ(齶)		X	
5	齶俱主	唇 齶	隨體文，L狀體文	齶キ(齶)		X	
6	齶積主	唇 齶	隨體文	齶キ(齶)		X	
7	齶副主	唇 齶	隨體文，比體文，L狀次希文	齶キ(齶)		X	
8	齒隙主	齒 齶	隨體文，U形體文	齶キ(齶，齒)		X	
9	齒侵主	齒 齶	隨體文，U形體文	齶キ(齒)		X	
10	齒侵主	齒 齶	隨體文，L狀體文	齶キ(齶，唇，齒)		X	
11	齒墮主	齒 齶	隨體文，U形體文，X形體文	齶キ(齶)		X	
12	齒墮主	齒 齶	隨體文，L狀體文	齶キ(齶)		X	
13	齒兜主	齒 齶	隨體文	齶キ(齶)		X	
14	齒積主	齒 齶	隨體文，L狀體文，齶キ	齶キ(齶)		X	

第131図 15号住居跡出土土器 (28)



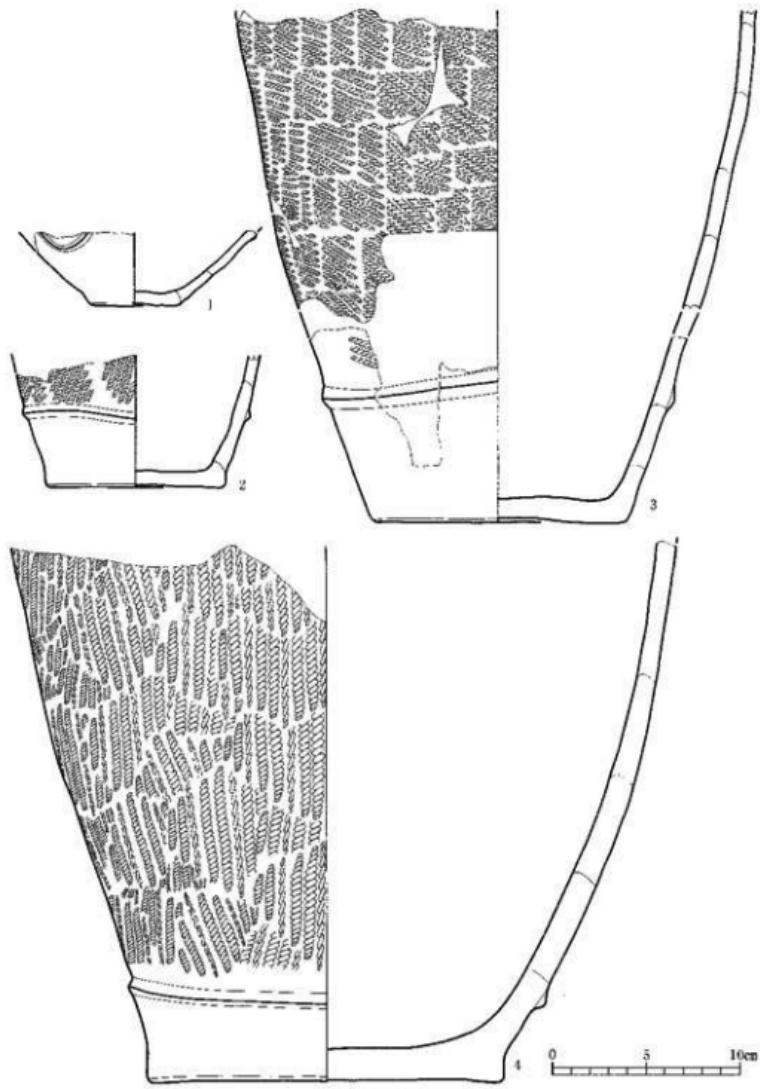
編 號	層 位	形 狀	外 形 圖	內 形 圖	分 類	備 考
1	1層	深 盤	圓錐文・鶴嘴文・L形錐文・網子	網子 (橫)	B III	
2	堆積土	深 盤	圓錐文・具體底文	網子 (橫)	B I	
3	堆積土	深 盤	圓錐文・鶴嘴文・L形錐文	網子 (縱)	B II	
4	堆積圓	圓 盤	圓錐文・鶴嘴文・L形錐文	網子 (橫)	B III	
5	堆積圓	深 盤	DC錐文・鶴嘴文・L形錐文	網子 (橫)	B IV	
6	堆積土	深 盤	DC錐文・鶴嘴文	±? (縱)	B IV	

第132圖 15号住居跡出土土器 (29)



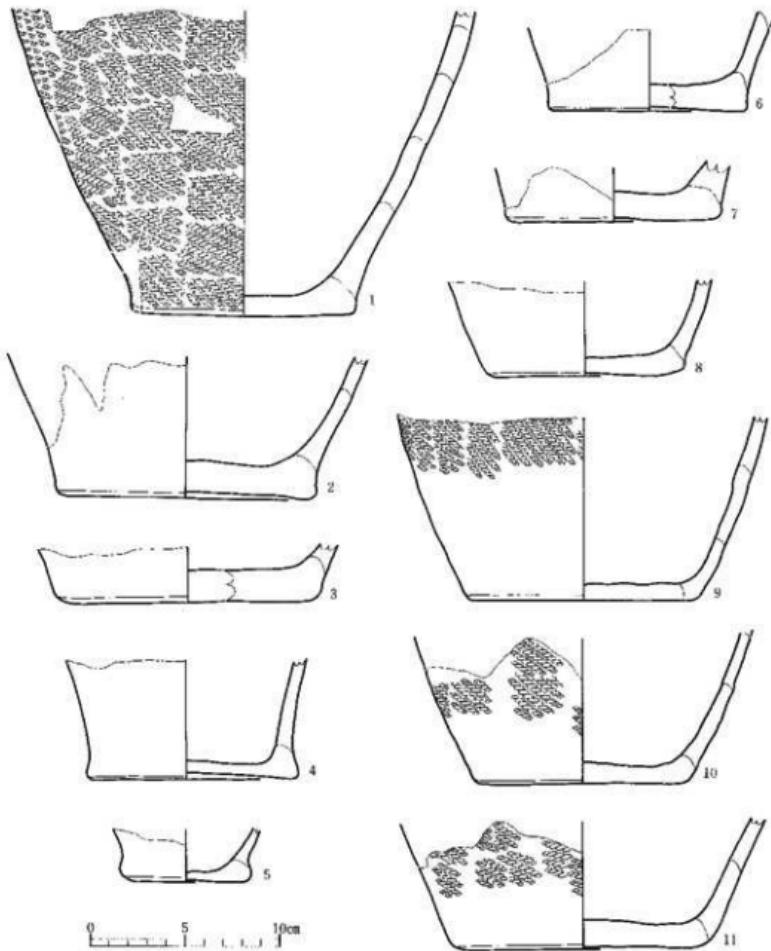
No.	場位	形	外	内	分	厚	徑	等
1	1層	深鉢	波綱文・撒点文	ナギ(網)	B IV			
2	織物器	深鉢	波綱文・長縦条文	ナギ・タツ(網)	B IV			
*3	織物器	深鉢	波綱文・M路南次	ナギ(網)	B IV			
4	織物器	深鉢	波綱文・HL端文	ナギ(網)	B IV			
5	織物器	深鉢	波綱文・斜面文	ナギ(網)	B IV			
6	織物器	深鉢	波綱文・LR端文	ナギ(網)	B IV			
7	織物器	深鉢	R端余文	ナギ(網・端)	B VI			
8	織物器	深鉢	R端余文	ナギ(網)	B VI			
9	織物器	深鉢	RL端文	ナギ(網)	B VI			
10	織物器	深鉢	RL端余文	ナギ(網)	B VI			
11	1層	—	波綱文・RL端文	ナギ(網)	XII 4			
12	織物器	深鉢	沈縫文	ナギ(網)				

第133図 15号住居跡出土土器 (30)



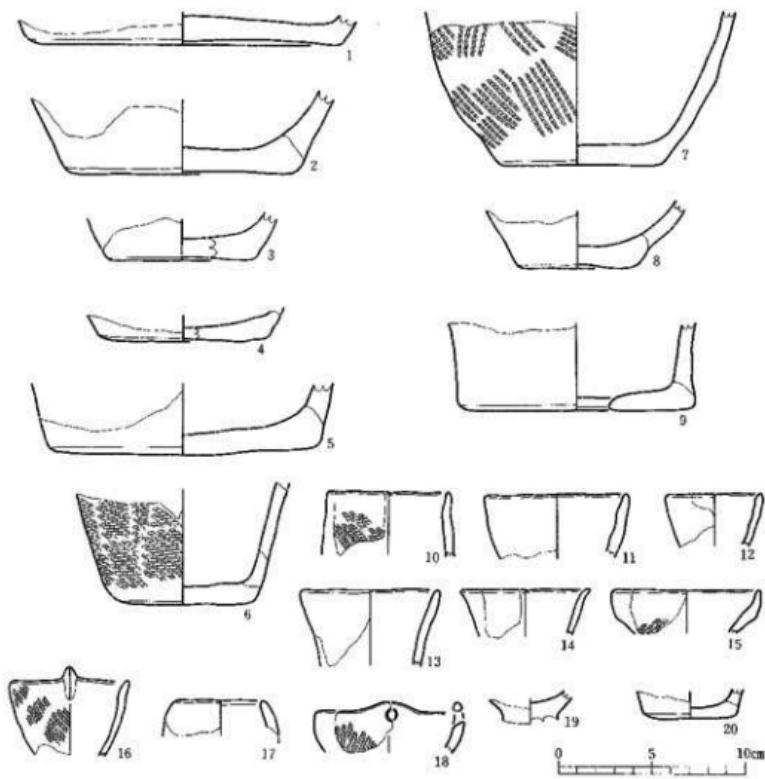
No.	層位	図形	外観	内観	基部	分類	備考
1	層No.2	周 88	束縛文・櫛文	唐卡(筒)	ナゲ	X	
2	層No.2	周 88	束縛文・瓦片陶文・ナゲ	ナゲ(筒)	現代陶		
3	層No.2	周 88	束縛文・LH模文・櫛文	ナゲ(筒)	現代陶・ナゲ		
4	層No.2	周 84	束縛文・RL+L模文	唐卡(筒)	ナゲ		

第134図 15号住居跡出土土器 (31)



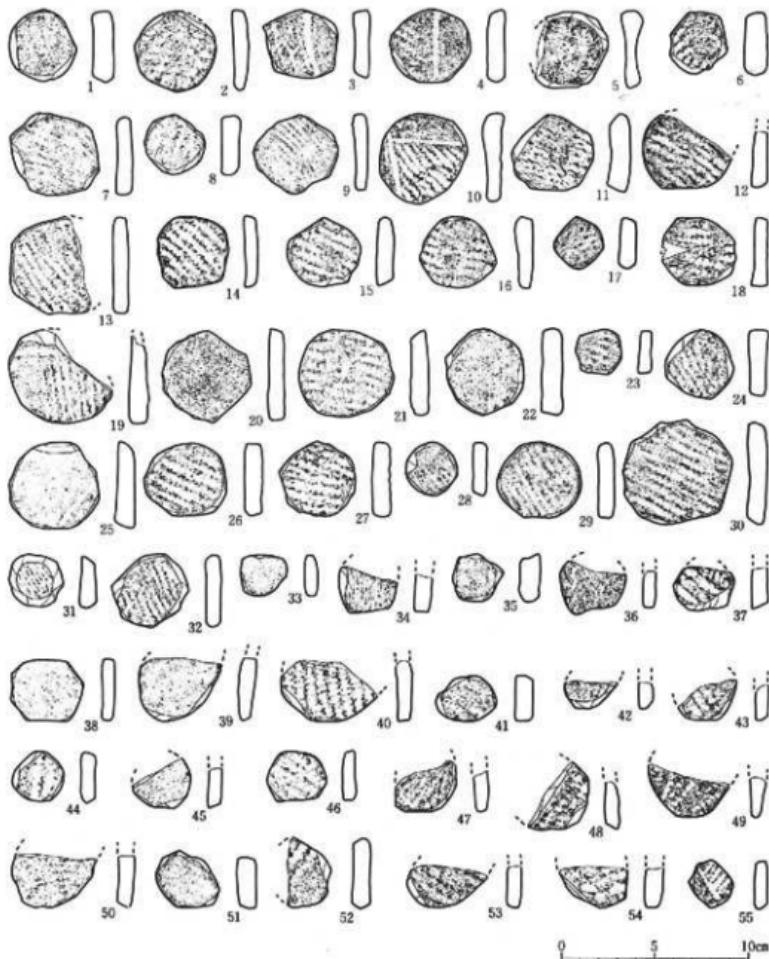
No.	品名	断面形	外 形	内 形	底 形	沿 長	幅 長	側 高	側 宽
1	陶器 9	深 筋	LR陶火	マメシ					側代風
2	陶器 3	深 筋	オブ	マグ(横)	マグ				
3	3号	深 筋	ナラ	マグ(横)	ナラ				
4	2号	深 筋	ガス	マグ	マグ(横)	前代後・横十			
5	陶器 2	深 筋	横 キ	マグ(横)	マグ				
6	1号	深 筋	イツ・ケズリ	マグ(横)	マグ				
7	地積土	深 筋	ナラ	マグ(横)	マグ				側代風
8	地盤上	深 筋	オブ	マグ	マグ(横)	マグ			
9	陶器 2	深 筋	LR陶火	マグ(横)	マグ				
10	地積七	深 筋	LR陶火・マグ	マグ(横)	マグ				側代風
11	地積土	深 筋	LR陶火・マグ	マグ(横)	マグ				

第135図 15号住居跡出土土器 (32)



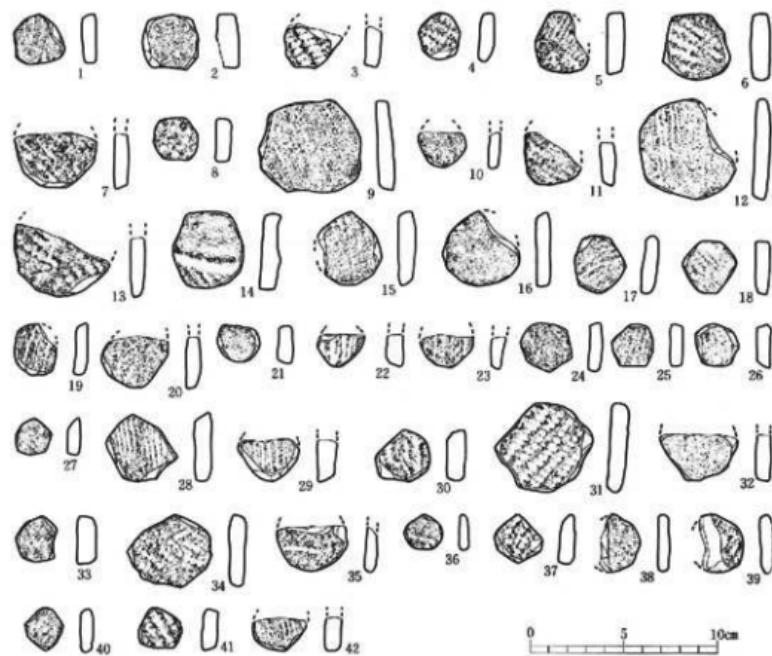
No.	位	形	外	内	造	標	分	種	名
1	堆積上	深鉢	ナ	ナ	ア				縄文
2	地耕土	深鉢	ナ	縦や(横)	ア				縄文
3	層No.5	深鉢	ナ	ナ	ア				
4	層No.6	深鉢	ナ	ア	ア				縄文・ア
5	地耕土	深鉢	ナ	ア	ア				縄文
6	堆積土	深鉢	LH調文	四キ(厚)	ア				
7	3層	深鉢	LH調文	四キ(薄)	ア				
8	層No.6	深鉢	ナ	ア	ア				
9	3層	深鉢	ナ	ア	ア				
10	2層	ミニチャブ	LH調文	ナ	ア				
11	層No.9	ミニチャブ	ナ	ナ	ア				
12	層No.5	ミニチャブ	ケズリ	ナ	ア				
13	層No.5	ミニチャブ	四キ+ナ	ナ	ア				
14	3層	ミニチャブ	ナ	ア	ア				
15	堆積土	ミニチャブ	LH調文・調キ	四キ(厚)	ア				
16	層No.9	ミニチャブ	LH調文	トド(薄)	ア				
17	2層	ミニチャブ	ナ	ナ	ア				
18	2層	ミニチャブ	LH調文・ナ	ナ	ア				
19	堆積土	ミニチャブ	ナ	ナ	ア				
20	2層	ミニチャブ	ナ	ナ	ア				

第136図 15号住居跡出土土器 (33)



No.	層位										
1	繩切面	2	繩切面	3	1層	4	1層	5	1層	6	1層
6	縫No.2	9	縫No.2	10	縫No.2	11	縫No.2	12	縫No.2	13	縫No.2
15	縫No.2	16	縫No.2	17	縫No.2	18	縫No.2	19	縫No.2	20	縫No.5
22	縫No.5	23	縫No.5	24	縫No.5	25	縫No.5	26	縫No.8	27	縫No.8
29	堆積土	30	堆積土	31	堆積土	32	堆積土	33	堆積土	34	堆積土
36	堆積土	37	堆積土	38	堆積土	39	堆積土	40	堆積土	41	堆積土
43	1層	44	1層	45	1層	46	1層	47	1層	48	1層
50	1層	51	1層	52	1層	53	1層	54	縫No.2	55	縫No.2

第137図 15号住居跡出土土製円盤(1)



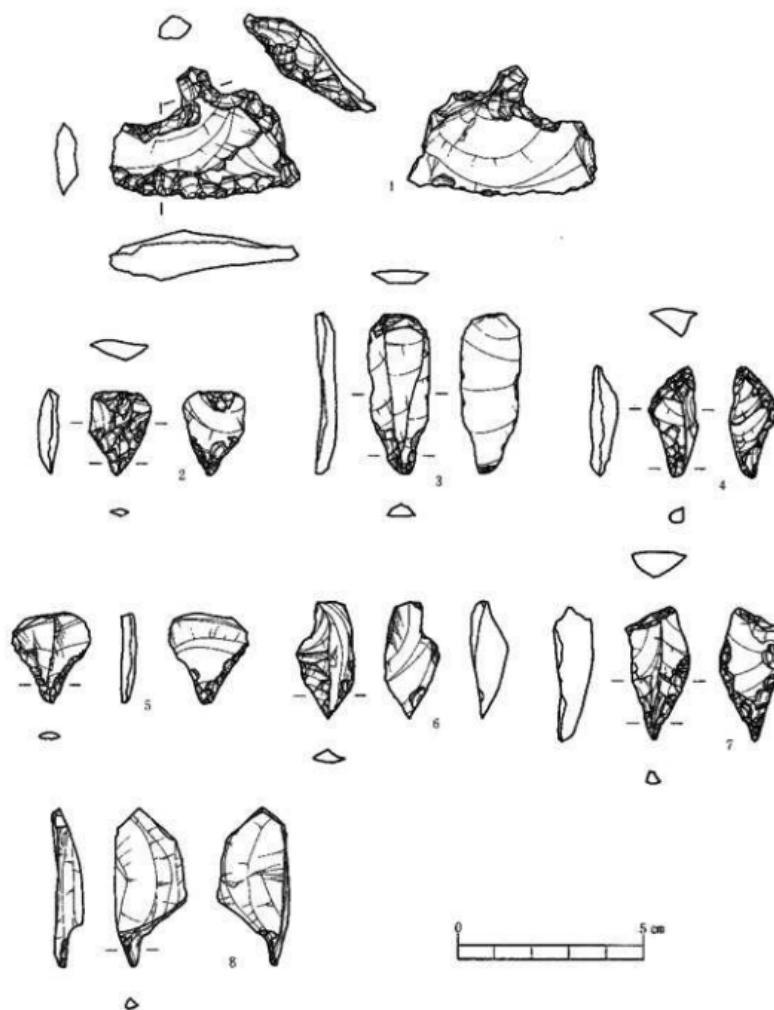
No.	層位												
1	2層	2	2層	3	2層	4	2層	5	2層	6	2層	7	2層
8	2層	9	2層	10	2層	11	2層	12	2層	13	2層	14	2層
10	2層	16	2層	17	2層	18	2層	19	2層	20	2層	21	2層
22	3層	23	3層	24	3層No.5	25	3層No.5	26	3層No.5	27	3層No.5	28	3層No.5
29	3層No.5	30	3層No.5	31	3層No.5	32	3層No.5	33	3層No.5	34	3層No.5	35	3層No.5
36	3層No.8	37	3層No.9	38	3層No.9	39	3層No.9	40	3層No.9	41	3層No.9	42	3層No.9

第138図 15号住居跡出土土製円盤(2)



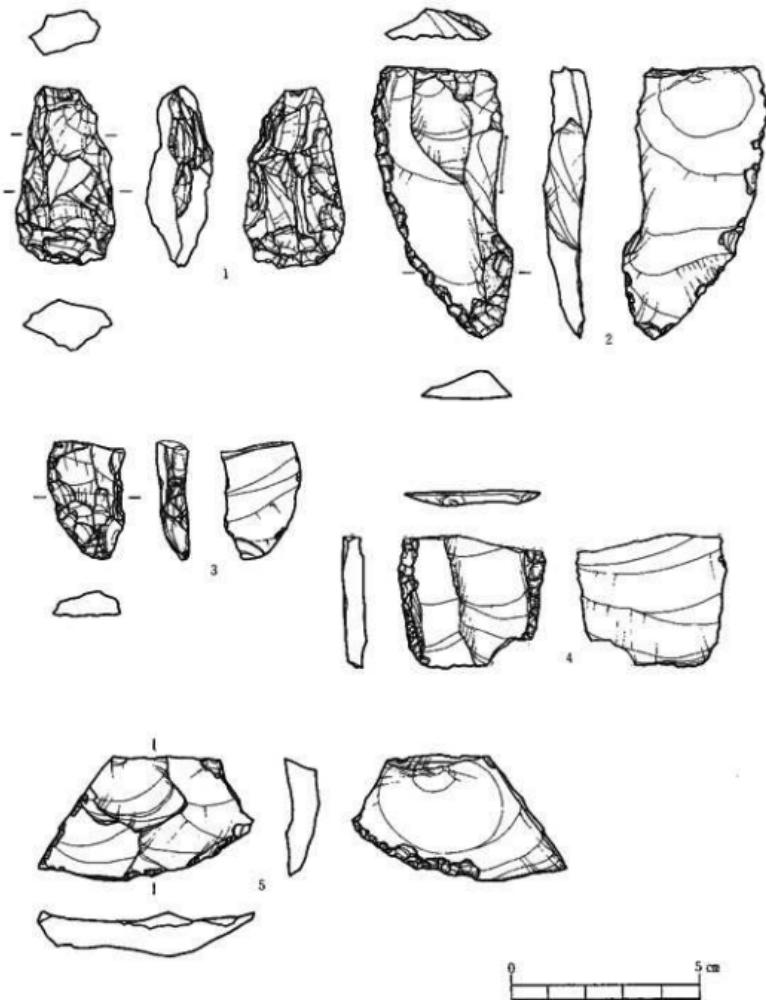
第139図 15号住居跡出土石器 (1)

No.	種別	部位	長×幅×厚(mm)	重量(g)	石種	使用状況	備考
1	石A	4面	17.16×11.05×3.80	0.35	—	—	—
2	石A	端部	(24.35)×15.65×3.20	1.19	—	—	—
3	石A	端部	(17.60)×(13.85)×(2.00)	0.30	—	—	—
4	石A	端部	23.50×17.25×9.10	1.10	—	—	—
5	石A	端部	(26.35)×(19.10)×7.00	1.65	—	—	—
6	石A	1面	22.15×13.40×5.00	0.55	直削	—	—
7	石A	端部側面	(17.70)×19.25×4.85	1.10	—	—	—
8	石A	端部側面	19.40×13.45×5.05	0.49	—	—	—
9	石A	端部端面	19.60×13.70×4.50	1.00	直削+?	—	—
10	石A	端部側面	23.60×19.30×4.50	1.85	直削	—	—
11	石A	端部土	(15.85)×(10.85)×3.60	0.40	直削石	—	—
12	石	端部土	33.20×(56.90)×7.30	13.00	—	—	—



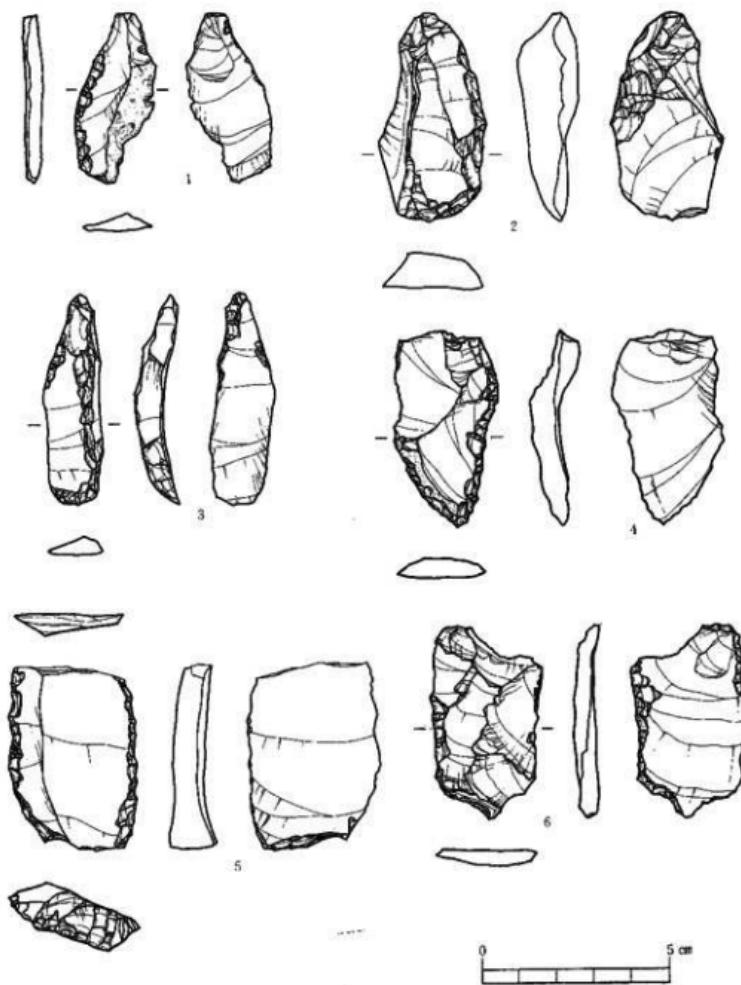
第140図 15号住居跡出土石器（2）

No.	種別	出 口	高 × 幅 × 厚 (mm)	重量 (g)	刃 長	頭 部	調 用 例	調 用 号
1	石 斧	出 口2	35.00×49.25×12.60	25.80	實 鋒	—	—	—
2	石 砍	出 口9	22.65×16.25×3.25	1.50	—	—	—	—
3	石 砍	—	43.25×16.25×1.50	3.20	實 鋒	—	—	—
4	口 破	3号	29.75×12.83×8.85	2.00	—	—	—	—
5	石 破	—	24.55×30.55×3.80	1.35	實 鋒	—	—	—
6	石 破	堆積土	31.75×15.10×9.65	2.50	實 鋒	—	—	—
7	石 破	堆積土	30.55×16.35×10.05	4.00	實 鋒	—	—	—
8	石 破	堆積土	42.00×19.00×7.35	4.50	アーチ	—	—	—



第141図 15号住居跡出土石器 (3)

No.	種類	現状	長×幅×厚(mm)	重さ(g)	材質	使用痕	備考
1	端打石器	2号上面	49.15×25.95×16.35	19.50	青玉	—	—
2	スクレーパー	3号No.5	72.05×36.40×10.70	24.70	青玉	—	—
3	スクレーパー	1号No.8	(31.60)×(20.40)×8.40	6.10	青玉	—	—
4	スクレーパー	3号No.6	(36.35)×(18.60)×5.75	7.00	青玉	—	—
5	スクレーパー	2号上面	33.00×57.30×11.30	13.50	青玉	—	—



No.	種別	出土地	高×幅×厚(mm)	重さ(g)	心材	使用面	備考
1	スクレーパー	層6下	45.65×21.00×4.75	3.15	圓形	—	—
2	スクレーパー	1層	56.15×28.70×16.30	19.50	五角	—	—
3	スクレーパー	1層	55.65×15.45×7.00	5.53	—	—	—
4	スクレーパー	板岩土	52.75×28.25×8.70	10.46	圓形	—	—
5	スクレーパー	半板土	(49.60)×34.85×12.55	17.65	圓形	—	—
6	スクレーパー	板岩土	51.65×29.05×5.75	7.85	四角	—	—

第142図 15号住居跡出土石器(4)



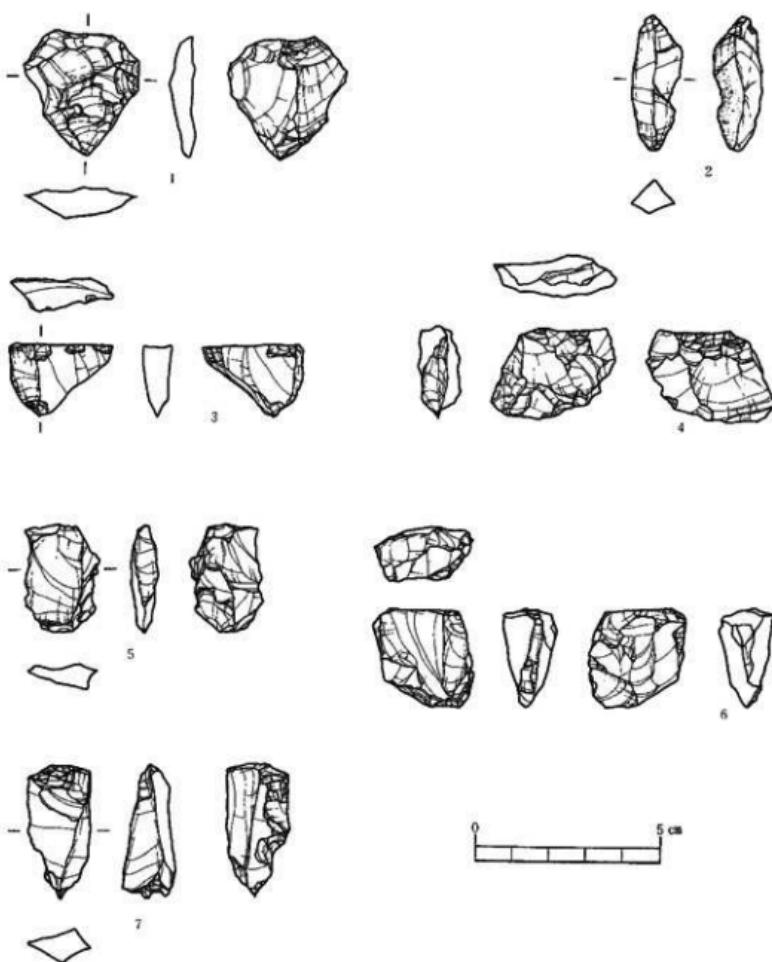
No.	種別	寸法	幅×高×厚(mm)	重量(g)	心打	破損状	備考
1	スクリュー	1号	28.85×29.05×10.55	6.42	裏打	—	
2	スクリュー	1号	30.50×22.75×13.60	10.35	裏打	—	
3	スクリュー	1号	30.20×28.50×6.00	4.05	裏打	—	
4	スクリュー	横斜上	25.95×29.45×6.40	5.10	裏打	—	
5	二次加工ある剝片	剥片No.8	(29.16)×(34.60)×(14.18)	13.90	裏打	—	
6	二次加工ある剝片	剥片No.9	(25.16)×(27.65)×(7.70)	3.64	裏打	—	
7	二次加工ある剝片	剥片No.2	(21.00)×(19.30)×(4.35)	1.40	裏打	—	
8	二次加工ある剝片	剥片No.2	22.3×11.90×6.50	1.50	裏打	—	

第143図 15号住居跡出土石器(5)



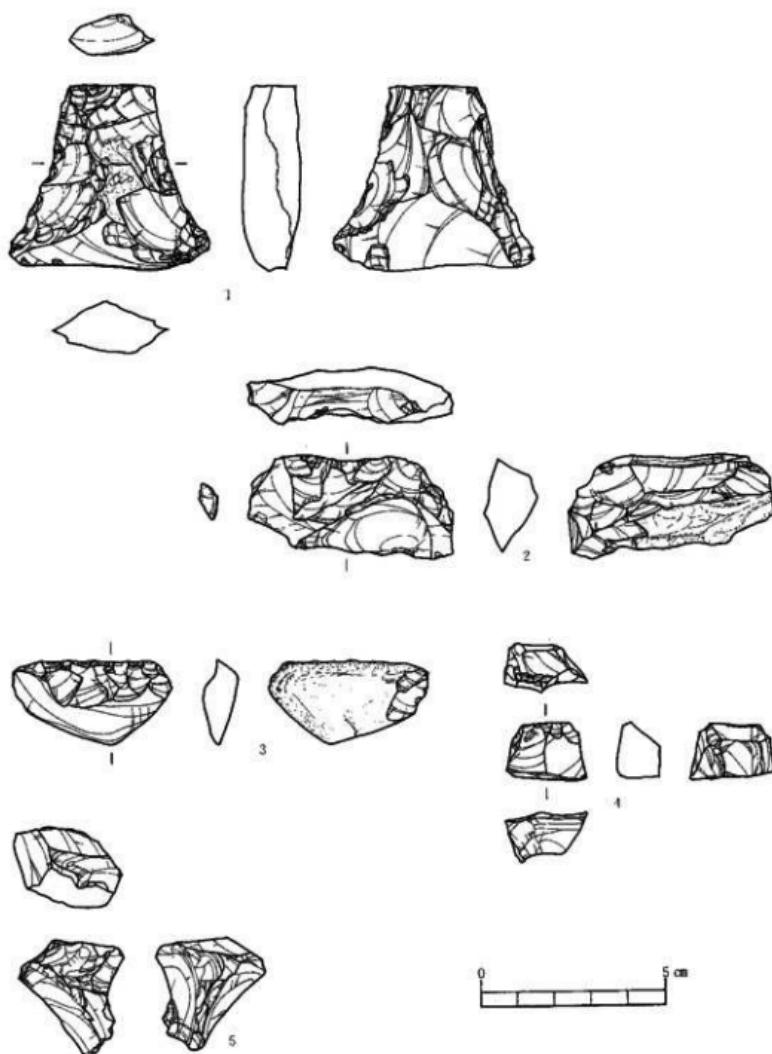
No.	種類	概要	高×幅×厚(ミリ)	重さ(グラム)	石種	生産地	備考
1	一次加工ある剥片	2枚	45.25×31.25×8.25	9.75	片岩	—	—
2	一次加工ある剥片	2枚	56.90×27.00×9.80	10.25	片岩	—	—
3	一次加工ある剥片	2枚	27.25×17.20×9.95	3.80	メノウ	—	—
4	一次加工ある剥片	摩耗上	27.10×22.10×9.20	2.40	片岩	—	—
5	二次加工ある剥片	1枚	34.75×40.30×12.10	14.15	—	—	—
6	二次加工ある剥片	1枚	58.80×151.65×14.15	19.40	チャート	—	—

第144図 15号住居跡出土石器(6)



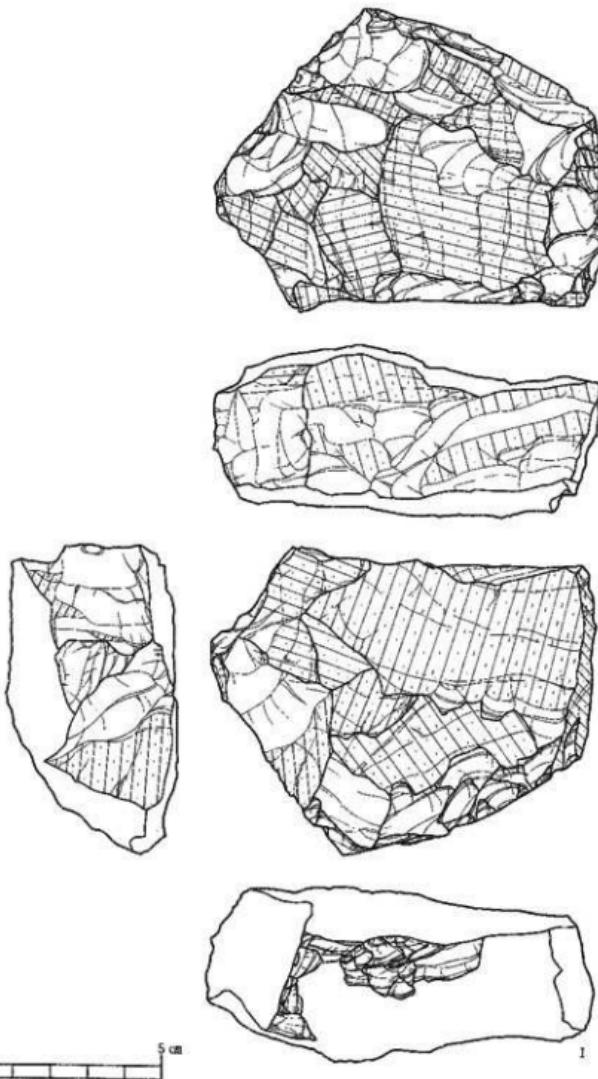
第145圖 15號住居跡出土石器(7)

No.	種類	用途	長×寬×厚(mm)	重量(g)	石性	使用痕	備考
1	刮削器・尖狀器	刃切	33.80×30.60×8.50	7.30	閃長岩	——	
2	刮削器・尖狀器	刃切	35.40×13.50×9.05	3.85	——	——	
3	刮削器	刃切	19.40×27.30×9.70	3.95	黑曜石	——	
4	刮削器・尖狀器	刃切	24.55×34.30×10.40	8.15	閃長岩	——	
5	刮削器・尖狀器	刃切	39.75×39.10×7.20	3.20	熱帶石英岩	——	
6	刮削器・尖狀器	刃切	26.75×26.75×14.60	9.65	——	——	
7	刮削器・尖狀器	刃切	39.75×16.80×13.75	6.25	黑曜石	——	



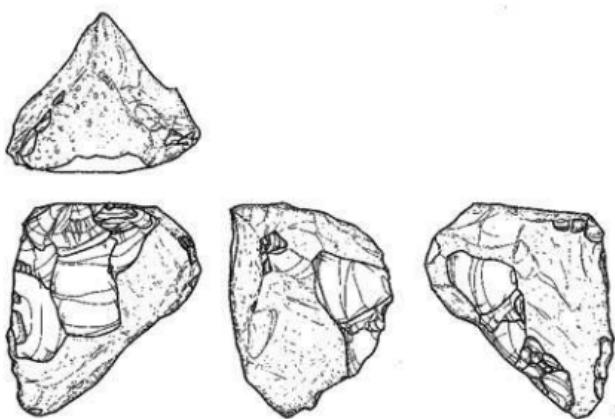
第146図 15号住居跡出土石器(8)

No.	種別	番号	長×幅×厚(mm)	重量(g)	石種	使用面	備考
1	トランシェ	番No.3	50.90×23.50×15.20	32.80			
2	石核	番No.2	27.20×34.00×14.40	26.10	頁岩		
3	石核	番No.9	23.45×42.65×9.50	7.05	頁岩		
4	石核	番No.8	15.45×21.75×11.40	4.50	ノック		
5	石核	番No.5	39.20×26.80×20.40	8.95	珪化木灰岩		

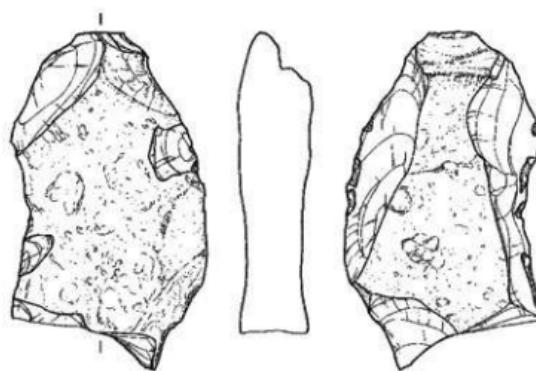


編	標	類	長 × 寬 × 厚 (mm)	重量 (g)	形	用	備
1	H-狀	3把	83.30×143.50×46.35	429.05	—	—	—

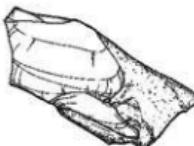
第147圖 15号住居跡出土石器 (9)



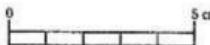
1



1

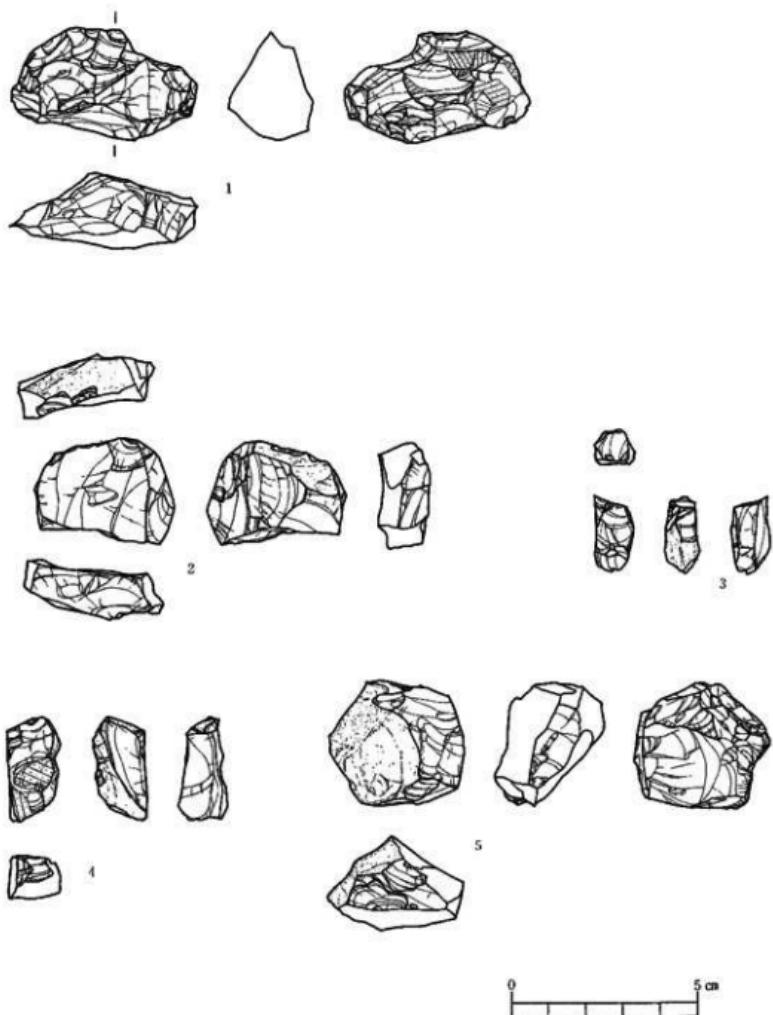


2



No.	概 内	地 改	高 × 幅 × 厚 (mm)	重 (g)	石 材	使 用 施	編 号
1	石 銛	2期	37.30×22.10×43.50	109.75	チャート	—	—
2	42 銛	2期	(90.00)×53.25×34.40	118.93	真 砂	—	—

第148圖 15号住居跡出土石器 (10)



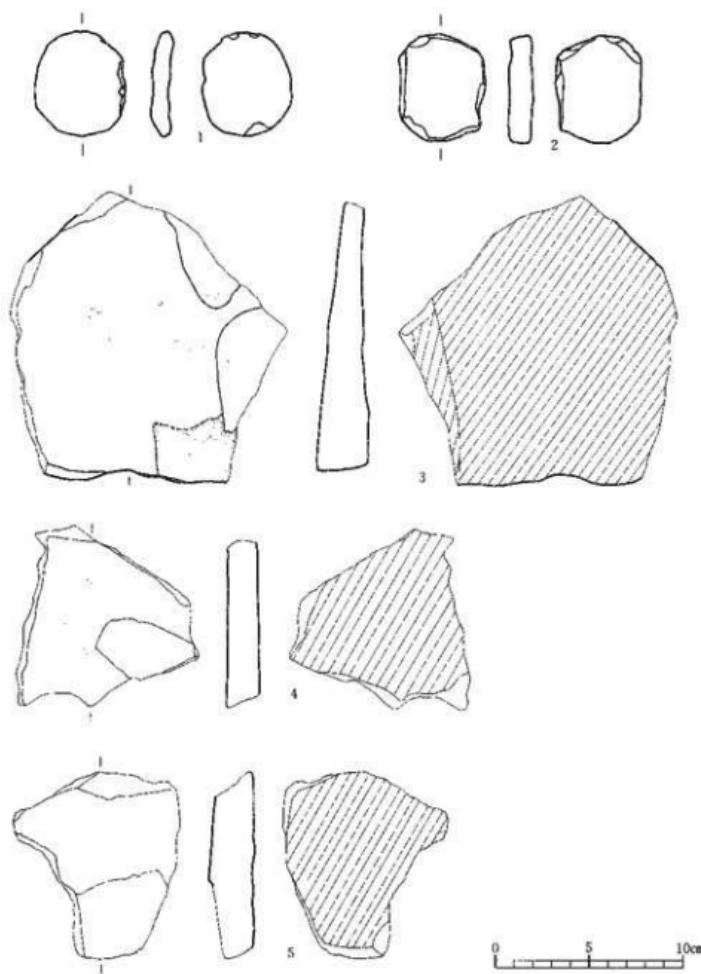
第149図 15号住居跡出土石器 (11)

No	種別	層位	高×幅×厚(mm)	重量(g)	石材	使用状	備考
1	石核	1層	30.25×49.65×22.45	24.35	メノウ	—	
2	石核	1層	30.15×35.65×13.30	15.05	青砂	—	
3	石核	1層	20.15×11.30×9.45	1.90	青砂	—	
4	石核	1層	28.35×14.35×13.15	5.20	メノウ	—	
5	石核	堆積土	33.75×36.10×25.20	32.00	珪化木灰岩	—	



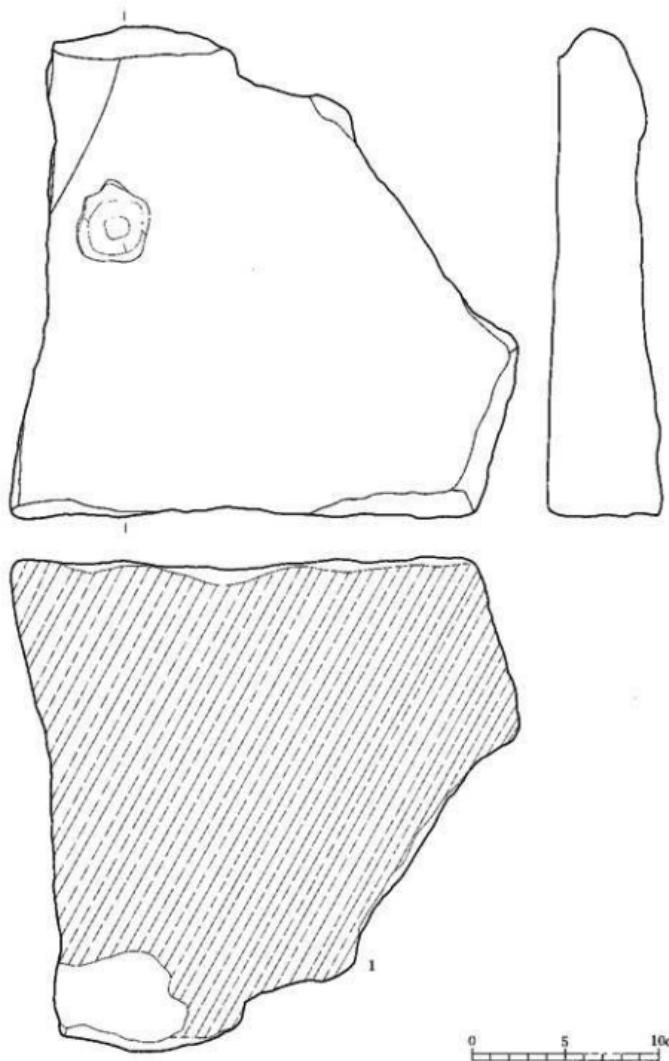
No.	種別	肩寸	長×幅×厚(cm)	重量(g)	刃形	被用度	備考
1	石核	1号	66.75×41.90×26.35	70.35	メノウ	—	
2	石核	1号	26.20×26.25×8.59	8.49	直刃	—	
3	石核	1号	23.55×32.35×14.55	12.05	複不	—	焼けている
4	石核	堆積土	18.49×29.35×15.15	6.95	直刃	—	
5	打削石片	1号	(17.60)×(32.40)×(12.35)	6.0	—	—	—

第150図 15号住居跡出土石器 (12)



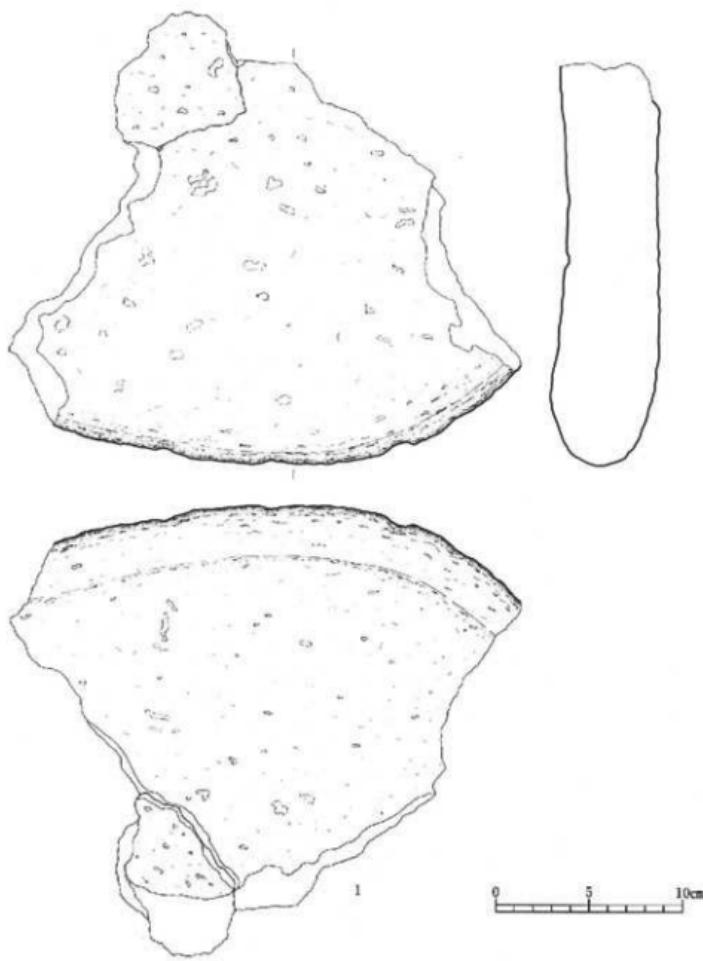
No.	種別	規格	重さ(kg)	備考	No.	種別	規格	重さ(kg)	備考
1	石製円盤	規No.9	37.85	磨石軽用	2	石製円盤	規No.2	52.85	
3	石器	規No.9		規No.9		規No.2			
4	石器	規No.9		規No.9		規No.2			
5	石器	規No.9		規No.9		規No.2			

第151図 15号住居跡出土石器(13)・石製円盤



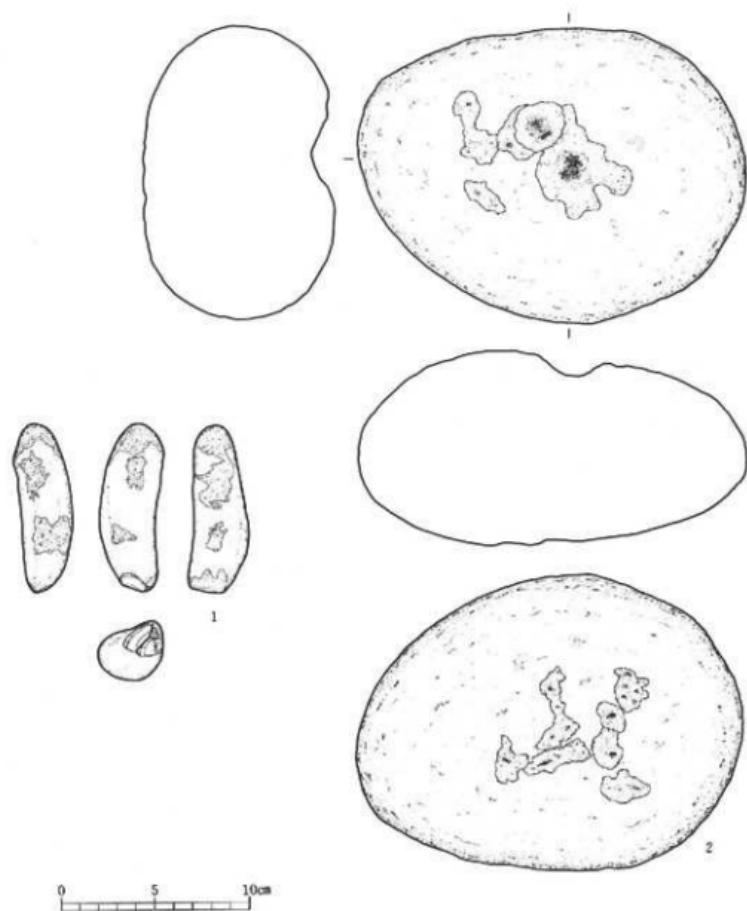
第152図 15号住居跡出土石器 (14)

No.	種別	部位	高×幅×厚(mm)	重量(g)	石種	使用痕	備考
1	石器	床面面上	(267) × (263) × (62)	6895.0		鉋一片面	



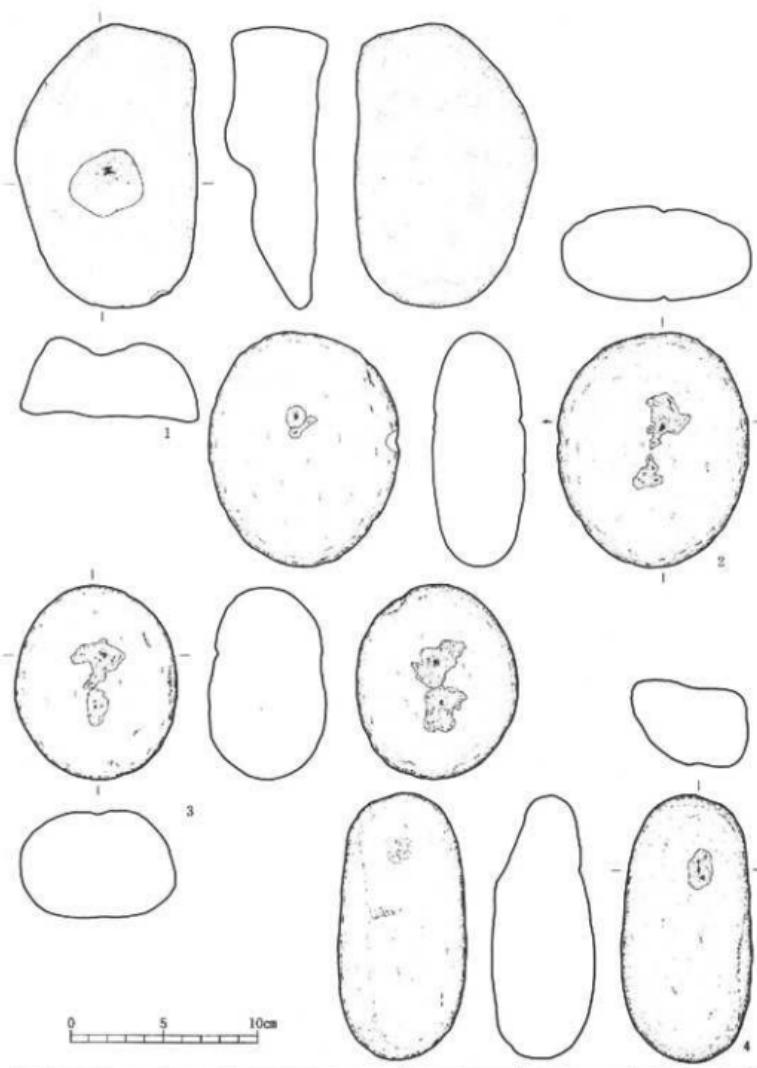
No.	類別	層位	長×幅×厚(mm)	重量(g)	石種	使用痕	備考
1	石器	地表土	(273) × (241) × (81)	3645.0	石英	磨一片面	

第153図 15号住居跡出土石器(15)



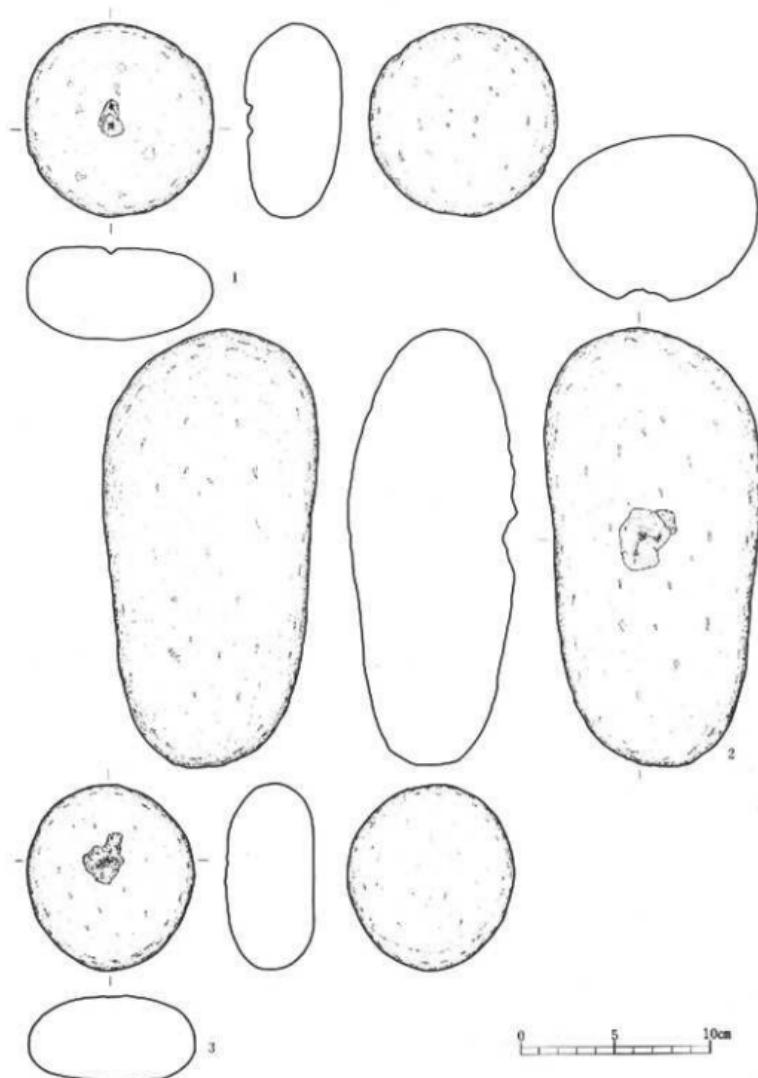
No.	種別	部位	備考			
			長×幅×厚(cm)	重量(g)	石種	使用痕
1	不明石製品	居住跡上				
2	石器	居住跡下部	216×158×102	3631.0	閃長岩	刃の内部に鋸歯状

第154図 15号住居跡出土石器(16)



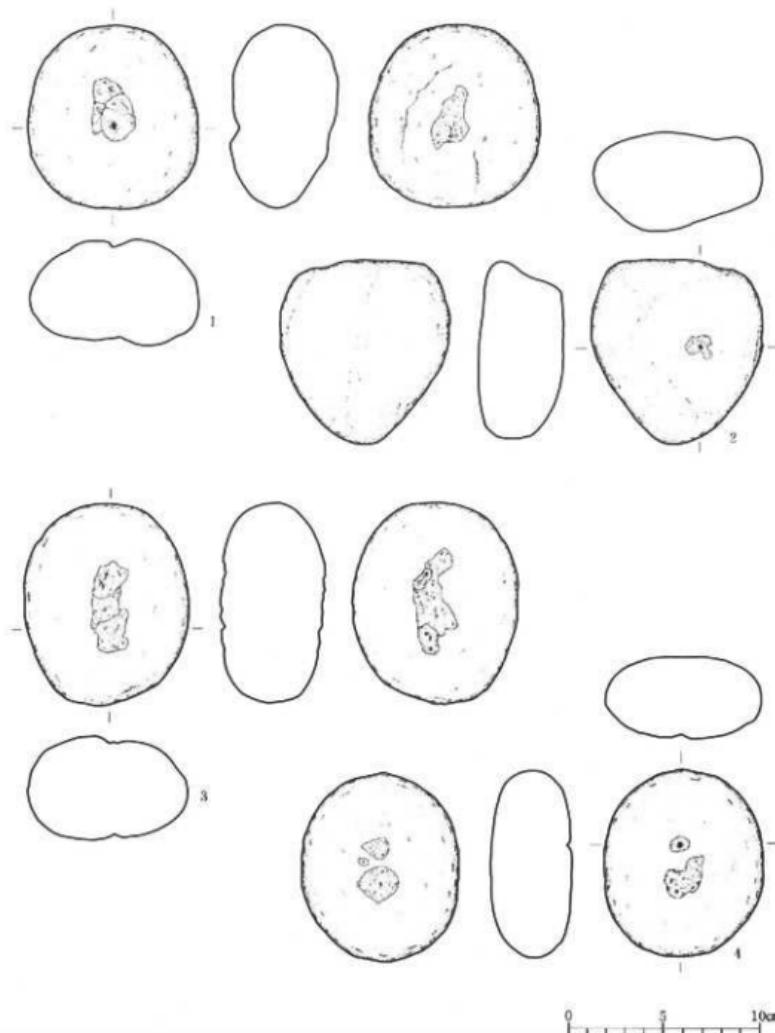
第155図 15号住居跡出土石器 (17)

No.	種類	原寸	長×幅×厚(cm)	重さ(g)	材質	削り方	備考
1	打刃器	標No. 8	151×97×56	1054.0	石 片	片面削	標け印なし
2	打刃器	標No. 6	125×101×53	668.5	石 片	片面削	
3	打刃器	標No. 3	104×83×41	774.0	石 片	片面削	
4	打刃器	2号	145×69×54	643.0	石 片	片面削	



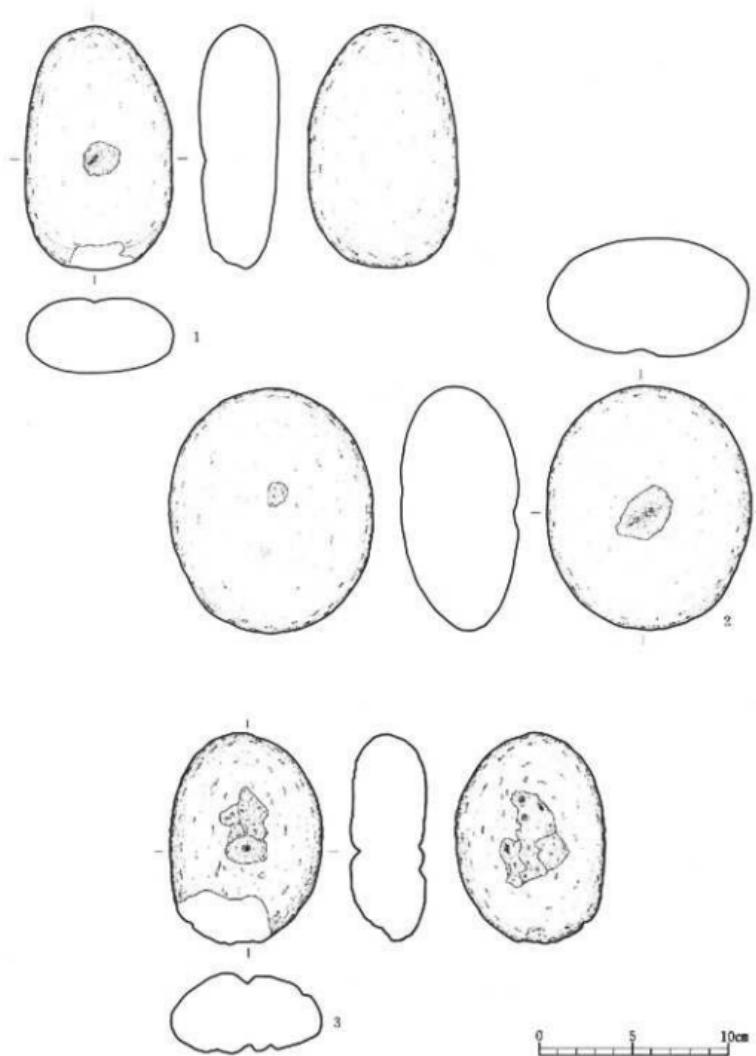
No.	編 號	用 途	長 × 寬 × 厚 (cm)	重 量 (kg)	存 在 地 點	保 藏 機 構	備 註
1	磨石器	2種	103×101×50	690.0	II II-一片面		
2	磨石器	II種	238×112×89	2827.5	II II-一片面		
3	磨石器	III種	96×92×48	259.0	II II-一片面		

第156圖 15号住居跡出土石器(18)



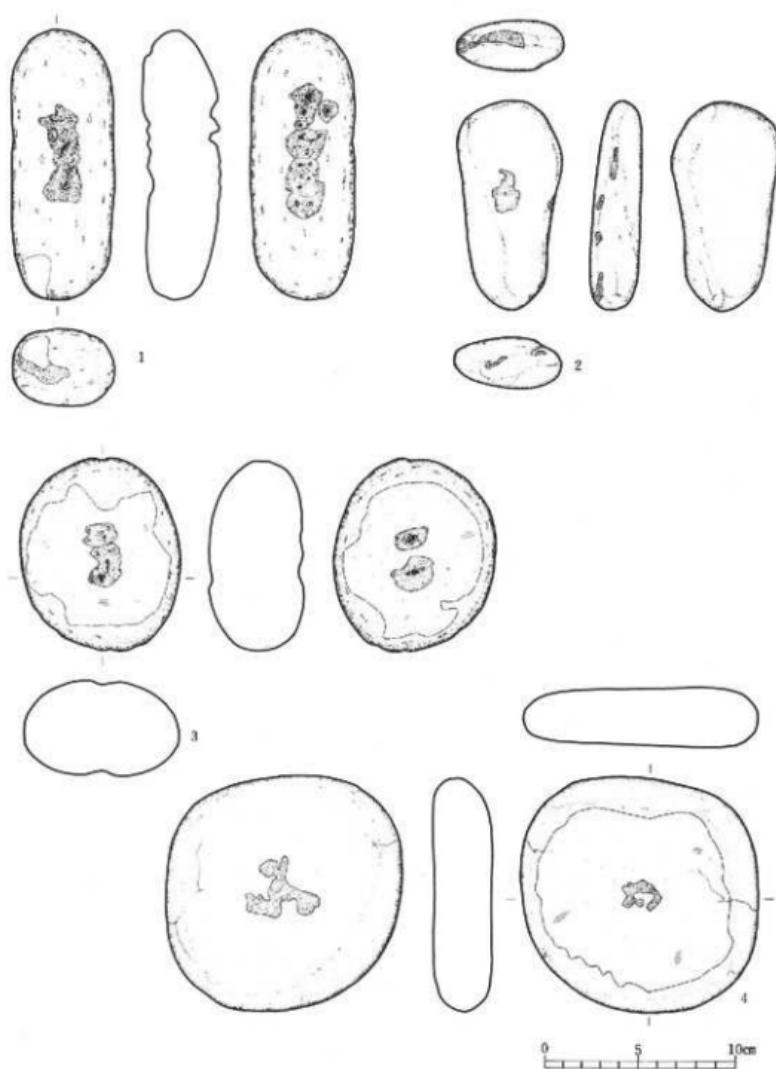
第157図 15号住居跡出土石器 (19)

No.	種別	場所	長×幅×厚(cm)	重さ(g)	形	使用式	参考
1	骨小刀	堆積土	99×90×58	595.5	01-刃削		
2	骨石鏟	堆積土	100×98×58	880.5	02-刃削		
3	骨石鏟	堆積土	108×88×58	794.5	03-刃削		
4	骨石鏟	堆積土	100×93×44	536.0	04-刃削		



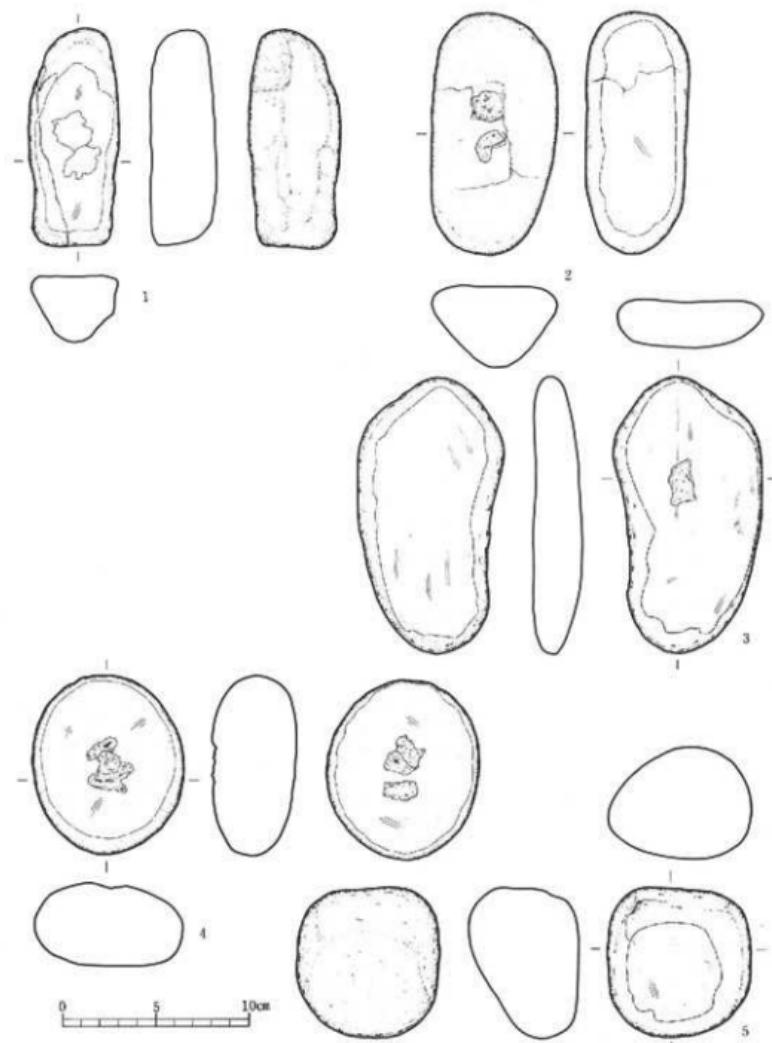
第158図 15号住居跡出土石器 (20)

No.	種別	培土	長×幅×厚(cm)	重さ(g)	形	使用面	標
1	磨石器	粘土	129×79×43	648.0	1-片側	1-片面	
2	磨石器	粘土	130×106×43	1186.0	2-両面	2-両面	
3	磨石器	粘土	(111)×81×43	463.0	3-両面	3-両面	



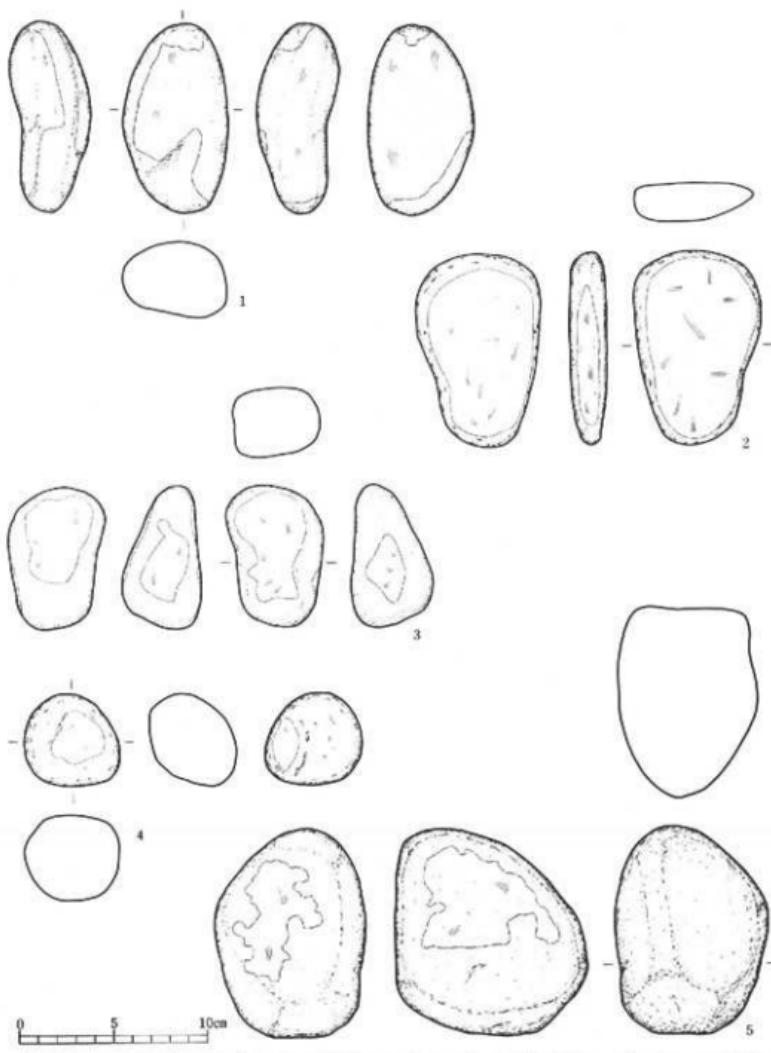
第159圖 15號住居跡出土石器 (21)

No.	種別	層位	長×幅×厚(cm)	重量(g)	石材	使用痕	備考
1	磨石器	灰面	142×55×42	453.0		凹一面面，缺一面	
2	磨石器	標No. 6	110×57×27	240.0		凹一面面，缺一面，片側面	
3	磨石器	標No. 9	103×85×33	656.0		凹一面面，缺一片面	
4	磨石器	標No. 6	129×125×35	880.0		凹一面面，缺一片面	



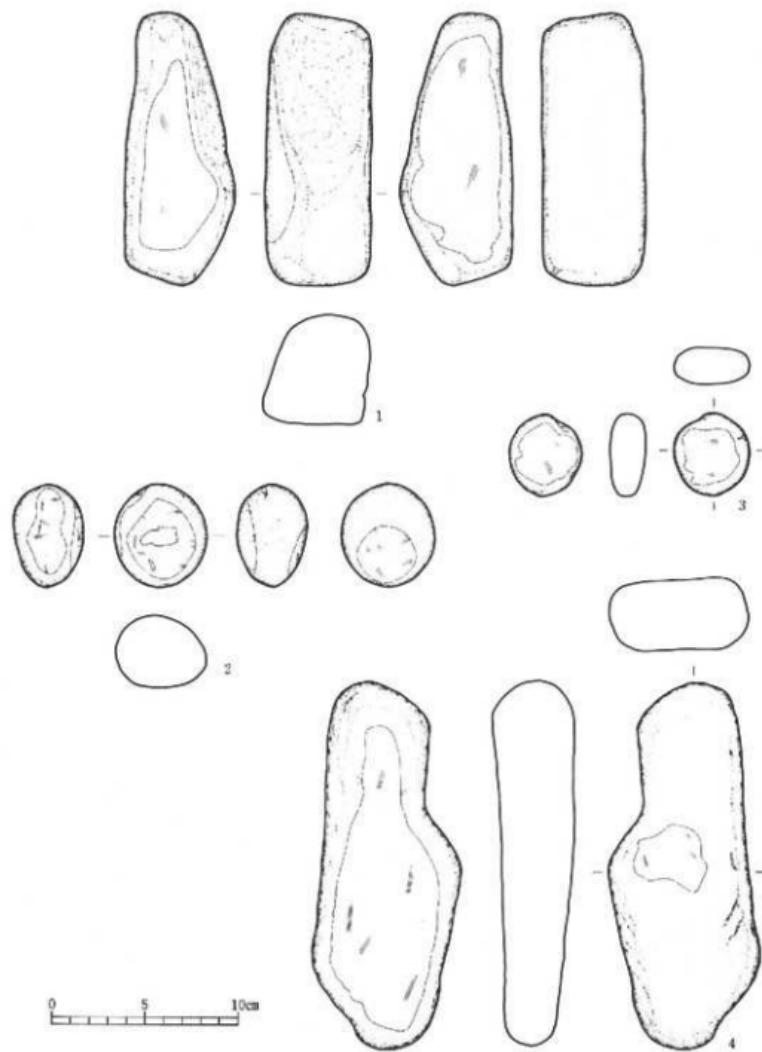
No.	類別	規格	長×寬×厚(cm)	重(克)	石種	使用痕	備考
1	磨石器	標No.8	117×48×38	318.5		凹一片面·磨一片面	
2	磨石器	地灰土	130×68×46	564.5		凹一片面·磨一片面	
3	磨石器	地灰土	148×77×29	427.5		凹一片面·磨一片面	
4	研石器	地灰土	96×81×45	490.0		凹·凹面·磨·片面	
5	磨石器	標No.9下部	81×75×60	518.0		磨一片面	

第160圖 15號住居跡出土石器 (22)



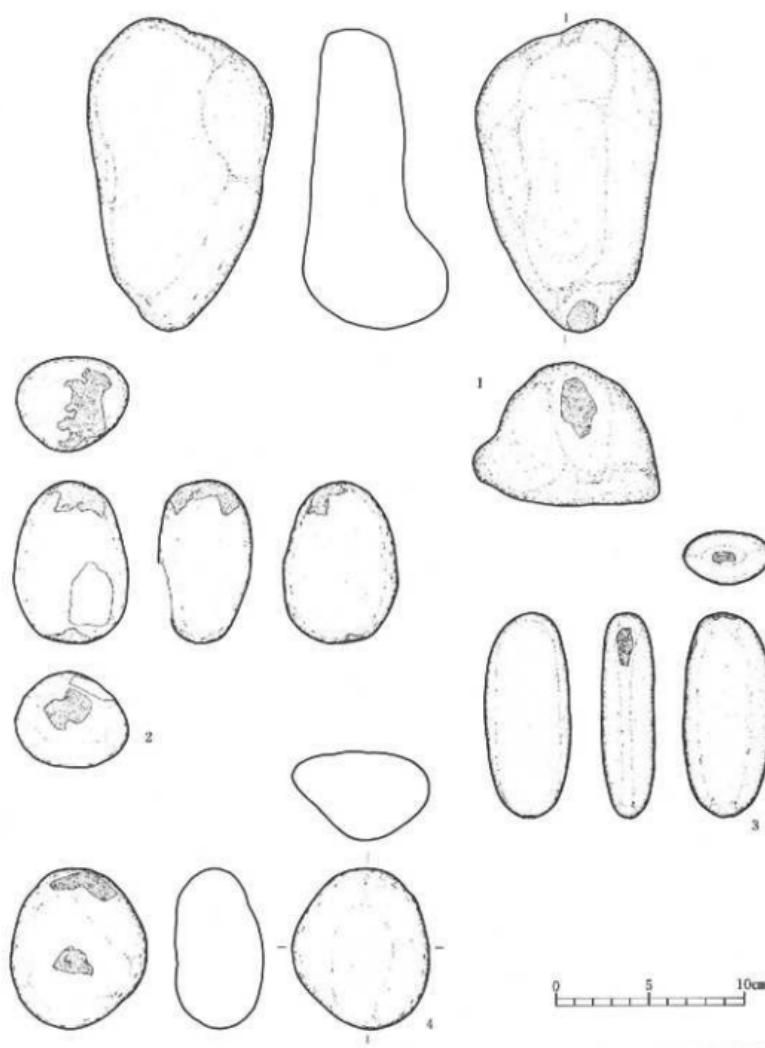
第161図 15号住居跡出土石器 (23)

No.	種別	層位	長×幅×厚(cm)	重量(g)	石種	使用歴	備考
1	研石器	ⅡBn.9	101×55×40	266.5	磨一一片側面		
2	研石器	ⅡBn.9	103×60×22	219.0	磨一尖山		
3	研石器	ⅡBn.6	77×51×44	230.0	磨 金田		
4	研石器	ⅡBn.6	94×69×44	92.5	磨一一片圓		
5	研石器	ⅡBn.5	121×98×82	1077.5	磨一尖端		



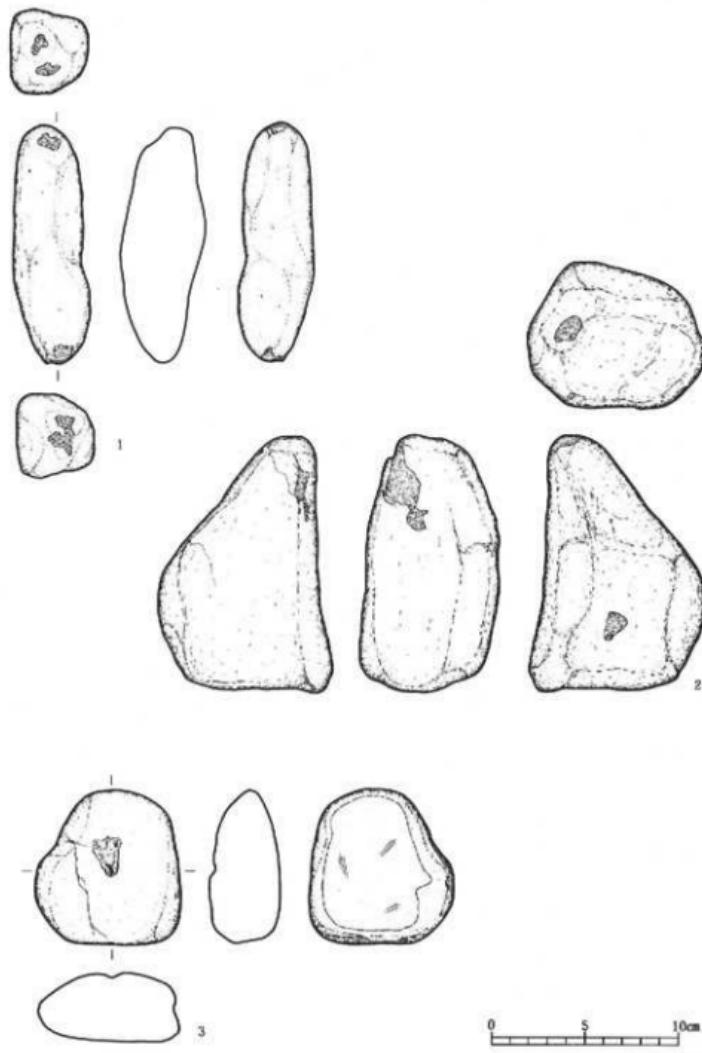
No.	類別	測量	長×寬×厚(cm)	重量(g)	石材	使用狀	圖號
1	磨石器	1面	147×55×54	789.5	麻—河卵石	一面—圓形	圖162
2	磨石器	1面	55×49×54	148.5	麻—全圓		
3	磨石器	兩面	44×38×30	44.5	細—河卵石		
4	磨石器	兩面	193×78×44	902.5	細—圓形		

第162圖 15号住居跡出土石器(24)



No.	器形(式)	地 点	長×幅×厚(cm)	重(g)	石 材	用 途	備 考
1	磨刮器	床面	166×100×77	1422.5	砾—细		
2	磨刮器	床面	86×61×51	330.5	砾—细		
3	研磨器	床面及上床	100×45×31	209.5	砾—细+片状圆		
4	研磨器	壁脚土	85×71×47	326.0	砾—细		

第163图 15号住居跡出土石器(25)



第164図 15号住居跡出土石器 (26)

No.	性 種	地 点	長 × 幅 × 厚 (mm)	重 量 (g)	形 式	質 地 質	備 考
1	砸石器	埴 土	137×44×36	384.5	破 - 内 面		
2	砸石器	埴 土	129×95×72	1106.5	破 - 一 面 - 片 剥 面	剥 け て い る	
3	砸石器	埴 土	93×78×30	344.5	破 - 一 面 - 破 - 一面		

第32表 15号住居跡出土土器集計表

内土器設 分類	埴輪土	標記番	I	層	層No2	層No3	S	層	4	層	層No5	層No6	層No8	層No9	漆油痕上	炉上痕	合計	
																		3
																		2
																		3
																		1
																		1
																		60
																		1
																		5
																		1
																		3
																		23
																		2
																		3
																		87
																		3
																		62
																		124
																		64
																		447
																		12
																		2
																		18
																		25
																		396
																		21
																		18
																		1
																		131
																		2,602
																		1,111
																		4,337
																		7
																		15
																		51
																		24
																		147
																		4,931

第33表 15号住居跡出土石器集計表

分類	出土位置	地盤土	標識番	上段	2段	標識2	標識3	3段	3~4段	4段	標識5	標識6	標識7	標識8	標識9	出土面上	P2	合計
石器	A	1	4	1						1				3				17
石器	底	1			1													2
石器	頂	1						2										7
瓦	迷石	1																1
スクリュー	1																	1
二大柱Tのある跡	9			15	15													34
多角形柱Tある跡	12			12	23	3	4	4			1	5		6	5			50
ビュース・エヌキュー	1			3	2										1			7
ランクル様石器							1											1
石器	2			6	3			1			1	2			2			16
網	片	18	1	42	35		7	8	1	2	1	13	1	7	8	1	7	250
竹	片						2		1						1			4
小計	52	3	80	79	3	12	15	1	4	3	27	1	23	24	1	7		388
瓦	瓦																	1
石器	内					1									1			2
石器	外	2													1	2		5
2. 他の出土品																1		1
小刀	玉	2	0	1	1	C	0	0	0	0	0	0	0	C	2	3	0	9
刀	七	10			4	1						1		2	1			19
瓦	五+繩石																	2
瓦	二+繩石	4						1				1		1	1			8
繩	石	6			3						1	4			4			18
破	石	4												2	2			8
壁下+周石+繩石						1												1
小計	24	6	31	35	6	2	3	5	6	1	7	6	3	6	5	6		56
床	丸木	2	1	2														8
床	54	1	27	35	1	7	14		1	9	43	1	12	44	7			274
壁	平	4		3	5							1		9	9	3		29
壁	9		11	32	1	8	7			3	14	1	8	17	4			220
小計	69	3	44	27	2	15	23	9	1	12	59	2	22	70	14	9		431
合計	147	8	124	182	5	29	37	1	5	16	93	3	48	104	21	7		834

## 16号住居跡（N-19住居跡）

遺構の確認：M・N-18・19に位置し、第4層上面で確認された。削平を受けており、壁及び周溝の一部が検出されなかった。

重複・増改築：227号、242号土壇に切られており、本住居跡が最も古い。増改築について確認されなかった。

規模・平面形：削平を受けているため、正確な規模は不明であるが、周溝の残存部より、直径4 mの円形を基調とした平面形であると推定される。

豊穴層位：2層に大別される。自然堆積である。

壁：削平のため残存しなかった。

床面：ほぼ平坦である。柔らかい。第4層、第5層を直接床面としているか、掘り方埋土上面を床面としているかは断ち割り精査していないため不明である。

周溝：住居跡南西部及び東部に残存する。幅15~30cm、深さ8~30cm、断面形「U」字形である。底面には凸凹がみられる。底面レベルはやや北側へ傾斜している。周溝内より4個のピットが検出されている。

柱穴：住居跡範囲内と推定される部分から15個のピットが検出されている。ピット4・8・12で柱痕跡が確認されている。他のピットでは柱痕跡は確認されなかった。本住居跡に伴なう柱

穴は、ピット4、8、12が考えられる。床面下の精査を行っていないため、炉の東側に柱穴が存在する可能性がある。またピット1、5、6、9は、本来は周溝内に存在するピットであると思われる。

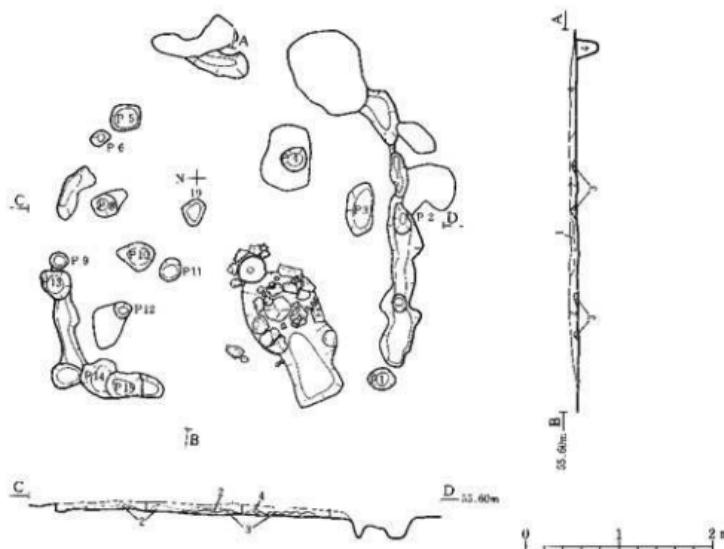
16号住居跡ピット

番	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
形狀	円	横 円	塊 円	不 整	円	西 円	椭 圓	廣 円	円	不 整	円
幅さ	20	50	50	—	—	12	12	12	—	8	15
深さ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
縦考	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(15)								(30)		
No.	12	13	14	15							
形狀	塊 円	円	塊 円	塊 円							
幅さ	—	36	35	50							
縦考	柱底有										
	(15)										

### 炉

(位置・方向) 住居跡南側やや東寄りに位置している。N-42°-Wである。

(規模・平面形) 最大長185cm、最大幅80cmである。平面形はダルマ形である。



16号住居跡 (N-19住居) 土層記表

層 位	層厚	土	性	土	性	地	名
1	1 m	10YR4/4		シルト		炭化物・油少料少含む	
2	2 m	10YR3/2		シルト		炭化物を多く含む	
3	3 m	10YR4/6		粘土質シルト		ロームを含む(ブロック状)	
周溝	4 m	10YR4/6		シルト		ロームを含む(ブロック状)	

第165図 16号住居跡

(構造) 土器埋設石圓部、敷石石組部、掘り込み部からなる複式炉である。

土器埋設石圓部・長さ約50cm、幅50cmの円形である。埋設土器は径約30cmの深鉢形土器である。土器の周囲に石を巡らしている。石は先端部側の6個しか残存しなかった。

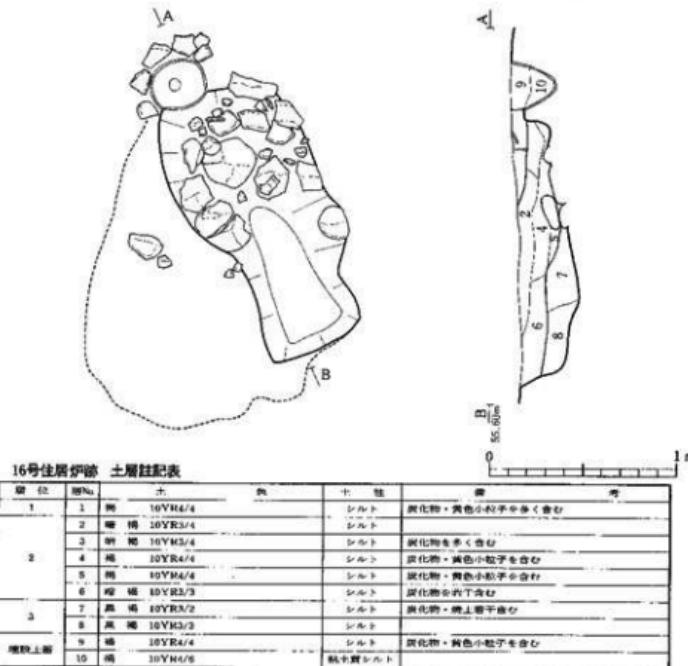
敷石石組部・長さ約65cm、幅80cmの台形である。床面から敷石底面までの深さは17cmである。敷石部分は石組の石が崩れ込んでいるという状況であった。掘り込み部との境に石は残存しなかった。

掘り込み部・長さ70cm、幅は約55cmの台形である。床面から底面までの深さは25cmである。炉の確認段階では、掘り込み部のプランは検討されていたが、掘り込み時点で西側壁を検討することができなかった。

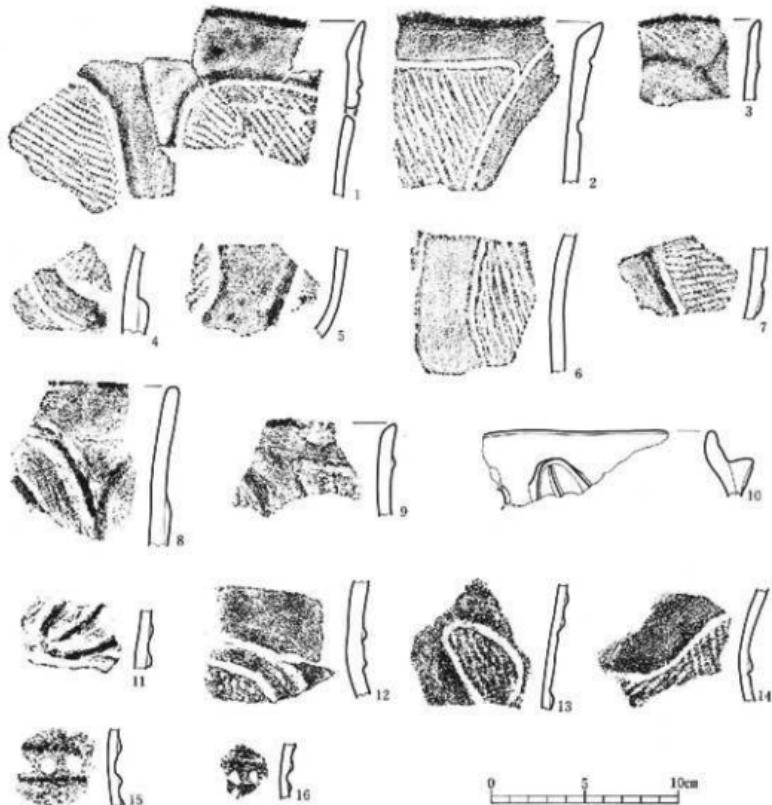
(使用痕跡) 敷石石組部側壁部の石が赤変しており、火熱を受けた痕跡が認められる。

(構築方法) 断ち割り精査を行っていないため不明であるが、掘り込み部の状況から、掘り方の東側に寄せてか構築されていると考えられる。

遺物の出土状況：住居跡内堆積土各層から土器、石器が出土している。堆積土中とした遺物は、各層位毎に取り上げられておらず、各層に分けられなかったものを一括した。

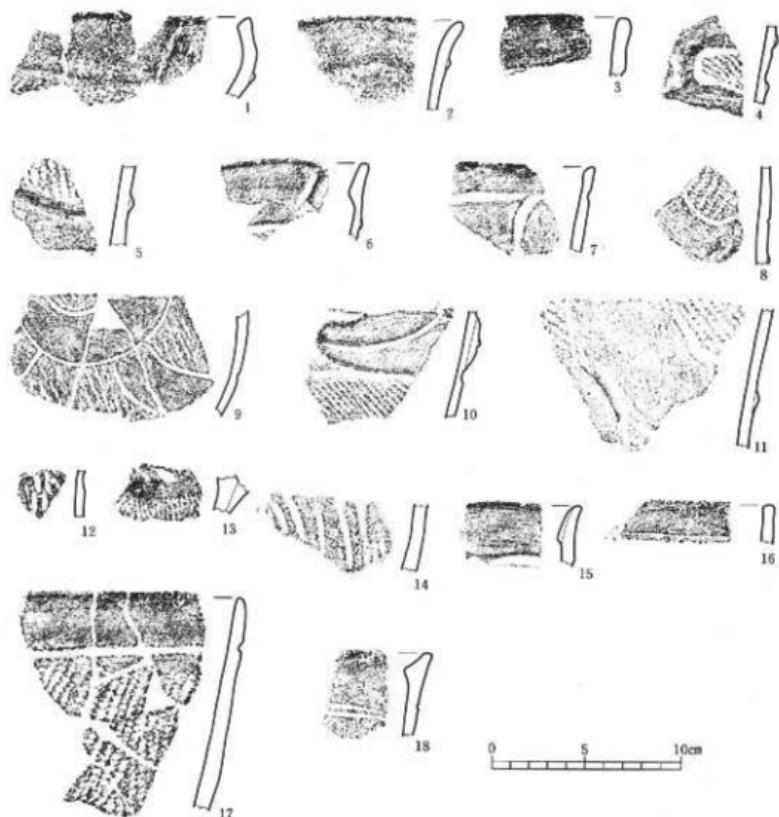


第166図 16号住居炉跡



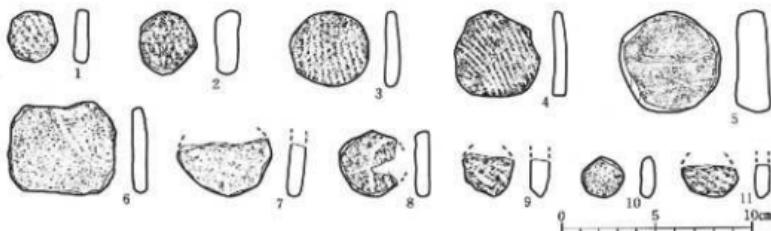
No	層位	形狀	外面	内面	分類	備考
1	床面	深鉢	縦網文・沈綱文・L底面文	ナフ・深ナ (横)	X	
2	床面	深鉢	縦綱文・L底面	縦ナ (横・凹)	X	6cm?
3	床面	深鉢	横綱文・H底面文	縦ナ (横)	X	
4	床面	深鉢	縦網文・沈綱文・側開文	縦ナ (横)	X	
5	床面	深鉢	縦綱文・沈綱文・H底面文	縦ナ (横)	X	
6	床面	深鉢	縦綱文・沈綱文・H底面文	縦ナ (横・凹)	X	
7	床面	深鉢	縦綱文・L底面	ナフ (凹)	X	
8	?	深鉢	縦網文・不明網文	縦ナ (横)	X	
9	?	深鉢	縦綱文・H底面文	ナフ・深ナ (横)	X	
10	?	深鉢	縦綱文・懸ナ	縦ナ (横)	X	
11	?	深鉢	縦網文・沈綱文・H底面文	縦ナ (横)	X	
12	?	深鉢	縦綱文・沈綱文・側開文	縦ナ (横)	X	
13	?	深鉢	縦綱文・沈綱文・上鉢面文	縦ナ (横)	X	
14	?	深鉢	縦綱文・側開文	縦ナ (横)	X	
15	?	深鉢	縦綱文・側開文	縦ナ (横)	X	
16	?	深鉢	縦綱文・沈綱文・H底面文	縦ナ (横)	X	

第1670図 16号住居跡出土土器 (1)



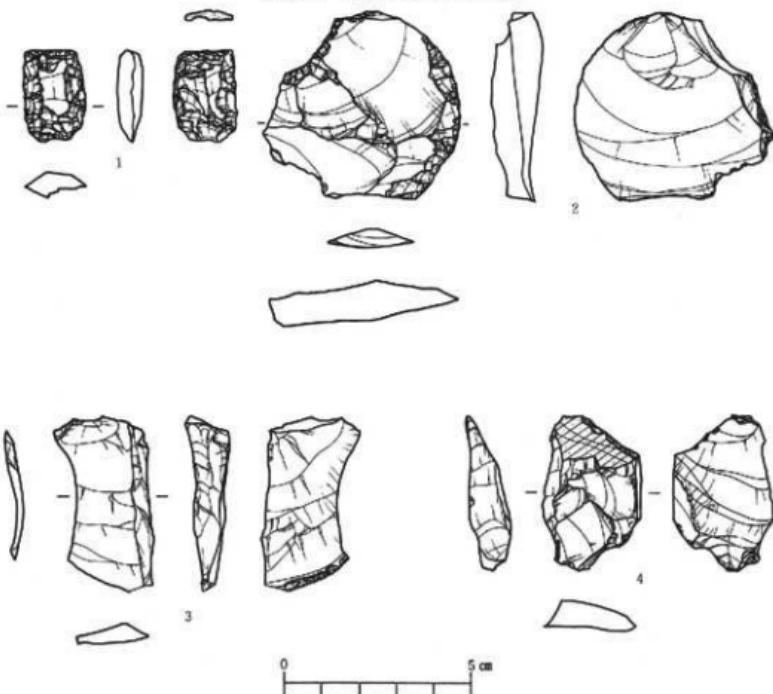
No.	層位	形	特	面	内	測	分類	備考
1	4F	圓 盤	施繪文・LH圖文	ナガ(側)			B I	
2	4F	圓 盤	施繪文	ナガ(側)			B II	
3	4F	圓 盤	施繪文	ナガ(側)			B IV	
4	4WNo.3	圓 盤	施繪文・沈繪文・ML圖文	ナガ(面)			X I	
5	4WNo.3	圓 盤	施繪文・沈繪文	ナガ(側)			X	
6	4WNo.2	圓 盤	施繪文・沈繪文・不明繪文	ナガ(側)			X	
7	堆積土	圓 盤	沈繪文・LH圖文	ナガ(側)			X	
8	4WNo.2	圓 盤	施繪文・沈繪文・RL圖文	ナガ(側)			X	
9	4WNo.1	圓 盤	沈繪文・LH圖文	ナガ(側)			X II b	
10	4WNo.1	圓 盤	施繪文・沈繪文・LH圖文	ナガ(側)			X	
11	4WNo.1	圓 盤	施繪文・沈繪文・LH圖文	ナガ(側)			X V	
12	4WNo.1	圓 盤	施繪文	ナガ(側)			X VI	
13	4WNo.1	圓 盤	施繪文・LH圖文	ナガ(側)			X	
14	4WNo.1	圓 盤	沈繪文	ナガ(側)			X	
15	4WNo.1	圓 盤	沈繪文	ナガ(側)			B IV	
16	4WNo.1	圓 盤	沈繪文	ナガ(側)			B IV	
17	4WNo.1	圓 盤	沈繪文・LH圖文	ナガ(側)			B IV	
18	4WNo.1	圓 盤	沈繪文・不明繪文	ナガ(側)			B IV	

第168図 16号住居跡出土土器(2)



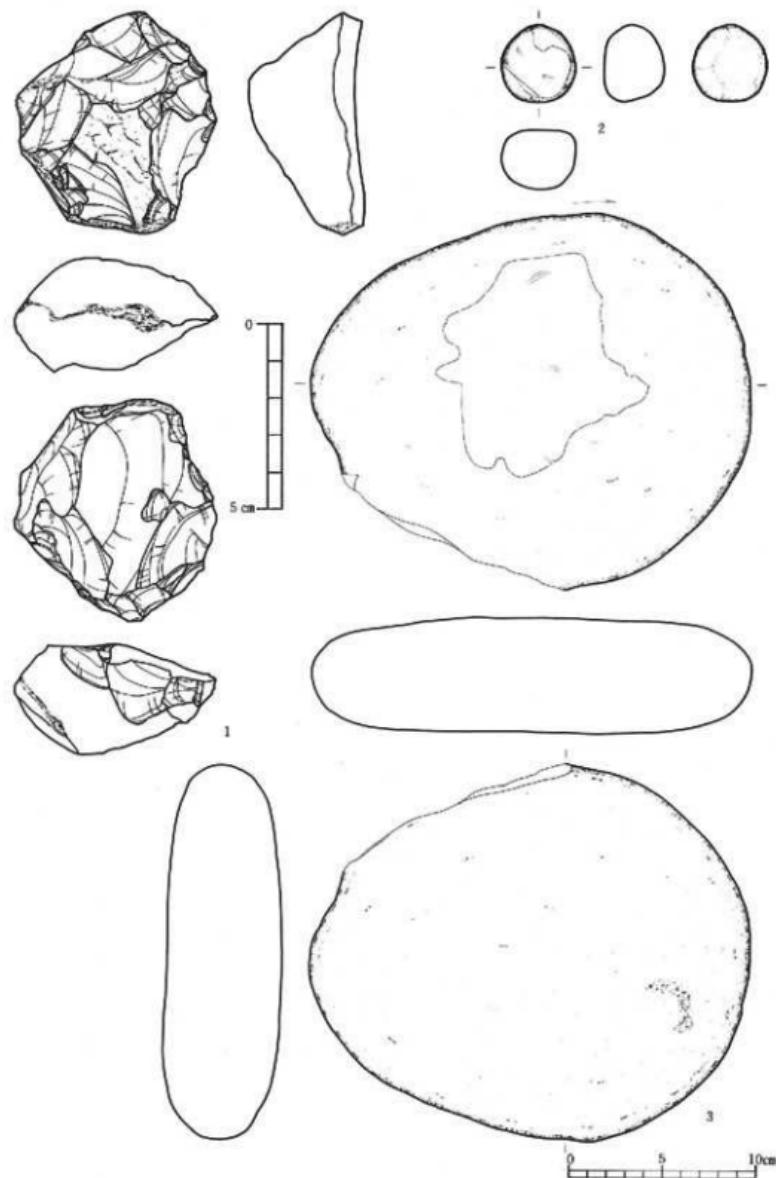
No.	層位	No.	層位	No.	層位	No.	層位	No.	層位	No.	層位	No.	層位
1	35cm	2	堆積土	3	堆積土	4	堆積土	5	堆積土	6	2m	7	堆積土
8	堆積土	9	堆積土	10	堆積土	11	?						

第169図 16号住居跡出土土製円盤



No.	種別	層位	長×幅×厚(cm)	重量(g)	石種	測定者	備考
1	塊状石器	?	24.70×17.00×7.00	3.30	黒雲母	—	—
2	スクレイパー	?	50.25×52.00×12.30	25.60	石英	—	—
3	二次加工ある剝片	層No.1	47.10×26.95×12.25	7.60	—	—	—
4	二次加工ある剝片	層No.1	41.25×25.90×10.90	8.85	黒云母	—	—

第170図 16号住居跡出土石器(1)



No.	種別	部位	長×幅×厚(cm)	重量(g)	E1-A1	備考	
						使用痕	傷害
1	石核	面No.1	52.90×50.75×29.25	87.20			
No.	種別	部位	長×幅×厚(cm)	重量(g)	E1-A1	使用痕	傷害
2	石器	面No.1	42×39×33	71.5			
3	石器	P-2	94.4×19.9×6.2	4552.5			

第171図 16号住居跡出土石器(2)

第34表 16最佳尾跡出土土器集計表

出生地		籍貫	國籍	1.2歲	2歲	3歲	4歲	5歲	合計
分類									
二 華 語 系	A	中 國 人	中國	1	-	-	-	-	1
		美 國 人	美國	1	-	-	-	-	1
	A	英 國 人	英國	2	1	-	3	5	11
	B	法 國 人	法國	6	5	-	-	-	11
		日 本 人	日本	1	-	-	1	-	1
		西 班 牙 人	西班牙	1	8	-	1	1	10
六 大 種 族		印 度 人	印度	9	15	1	0	5	35
		非 洲 人	非洲	1	5	-	1	1	8
		南 美 洲 人	南美洲	2	2	-	1	1	7
	A	新 西 蘭 人	新西蘭	1	1	-	1	-	2
	I	美 國 人	美國	8	49	1	6	8	82
		法 國 人	法國	1	-	-	-	-	1
		英 國 人	英國	2	3	-	-	-	4
第 三 部 分	B	德 國 人	德國	30	92	2	25	21	219
	C	俄 羅 人	俄羅斯	5	56	-	13	9	22
小 計		總 計	總計	52	197	6	48	40	436
第 四 部 分	V	其 他 人	其他	1	-	-	1	-	2
		不 明 人	不明	1	4	-	-	-	5
小 計	Z	其 他 人	其他	2	4	0	0	1	0
合 計	G	總 計	總計	63	216	7	1	56	460

第35表 16号住居跡出土石器集計表

分類	出力部	埋土室	1号	2号	No3	床面	押	P3	合	2
通 穴 口 盒									1	1
スケレルバー									1	1
二重構造のあら室野			2						2	3
複数の構造のあら室野		1	2						2	3
乳 片 (チッピング)			2	1	1			1	4	6
金 片	片	1							1	1
古 片	片	1							1	1
小 片	片	3	9	1	1		3		17	
阿 石	石						1		1	
船 石	石		2	1					2	4
小 片	片	0	2	1	4	1	0		5	
玻 化 木	木					1				
玻		2	2				4		16	
留 手 球	球	1					1		1	2
留 手 球	球		6		1		1		12	
小 球	球	13	8	6	2	0	10	0	33	
今 球	球	16	18	2	3	13	1	0	50	

### 17号住居跡（1-25住居跡）

造構の確認：I-25・26に位置しており、第5層上面で炉だけが確認された。炉の周辺が削平を受けているため、住居跡の規模、平面形、堆積土、壁、床面、周溝、柱穴は不明である。

**重複・増改築**：14号、15号溝と隣接しており、重複関係が考えられるが、削平のため不明である。

炉

(位置・方向) 住居跡内での位置は不明である。長軸方向はN-37°-Wである。

(規模・平面形) 最大長108cm、最大幅83cmである。平面形はダルマ形である。

(構造) ほとんどの部分が破壊されており、埋設土器と敷石石組部の一部が残存するのみである。埋設土器は、径約30cmの鉢形土器の体部である。敷石石組部は、壁、底面に3個の石が残存するのであり、詳細は不明である。

(使用痕跡) 埋設土器の周囲は赤変しており、火熱を受けた痕跡が認められる。

(機器方法) 剥平・破壊が著しく、断ち割り検査も行っていないため、不明である。

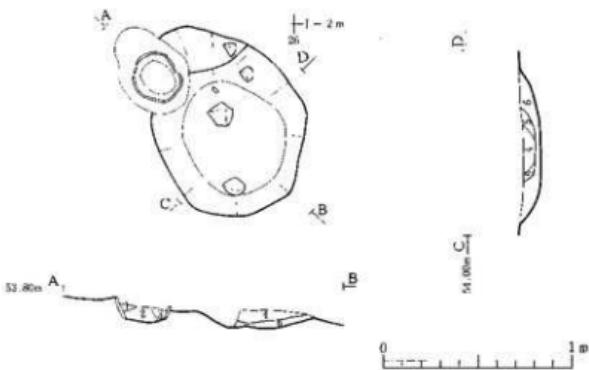
**遺物の出土状況:** 炉内堆積土、埋設土器内から土器片、石器が出土している。炉の埋設土器がある。

第36表 17号住居跡出土土器集計表

出土位置		炉	合計
分類			
口縁部	B	1	1
	C	1	1
小 計		2	2
	C	1	1
体 部		1	1
	C	1	1
合 計		3	3

第37表 17号住居跡出土石器箇数表

分類	出土位置	埋 設土器内	合計
	鉢片(チップ含)	1	1
合	計	1	1



第172図 17号住居・炉跡

17号住居 (I-25住居) 炉跡土層記表

層位	層名	色	土性	備考
堆積土層	1 黒 灰 10YR3/4	シルト	純土層、ローム生型、炭化物含む	
	2 黒 灰 10YR3/2	シルト	純土層、ローム生型、炭化物含む	
	3 黒 灰 10YR3/2	粘土質シルト	土層分、灰を多く含む	
4	灰 灰 10YR3/4	シルト	灰、燃土層、小礫を含む	
5. にがい骨頭 10YR4/2	シルト			
6 黑 灰 10YR5/6	粘土質シルト	粘土層を含む		

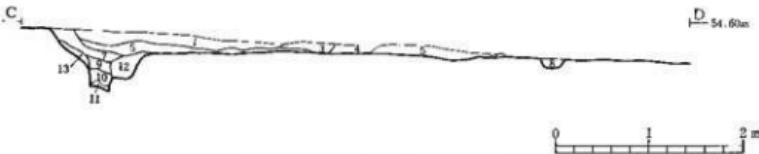
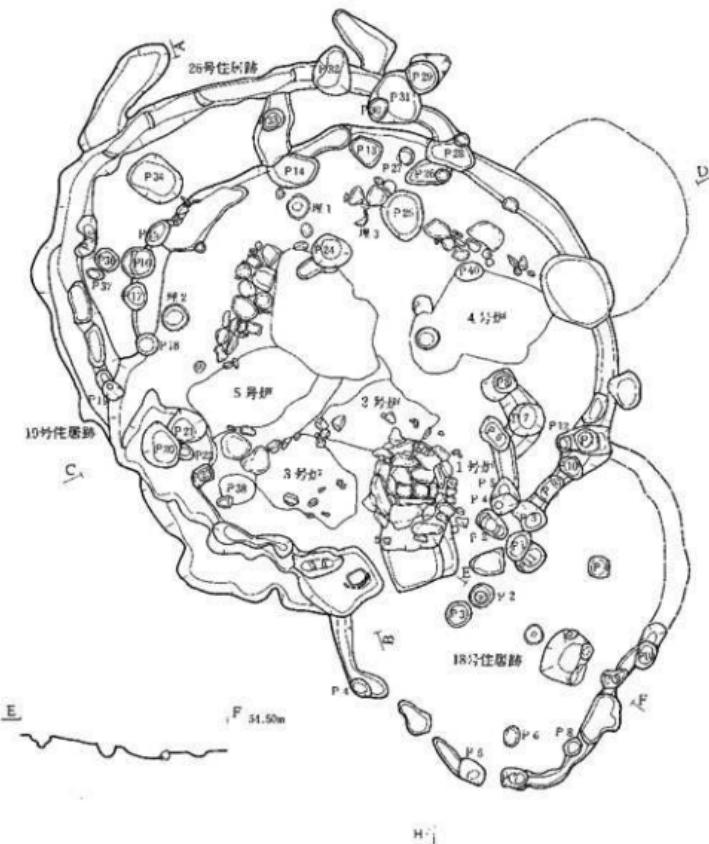


第173図 17号住居跡出土土器

18号住居跡 (H-24住居跡)

遺構の確認：H-23・24に位置しており、第5層上面で確認された。削平を受けており、住居跡の堆積土、壁、床面は不明である。

重複・増改築：19号住居跡に切られており、本住居跡の方が古い。増改築は確認されなかった。  
 規模・平面形：周溝の残存部より、径3.5~3.8mの隅丸の方形に近い円形を基調とした平面形であると推定される。



第174図 18号・19号・26号住居跡

19号住居跡 (I-24住居) 土層註記表

層位	層No.	土色	土性	備考
1	1	褐色 10YR4/4	シルト	スコリア、焼成物、瓦びれ子の埋土混在
	2	黄褐色 10YR5/6	地上質シルト	炭化物、燒土混在
2	3	褐色 7.5YR4/4	シルト	スコリア、灰化物少含む
	4	褐色 7.5YR3/4	地下質シルト	ローム粘、炭化物、燒土混
3	5	褐色 10YR3/3	シルト	は・ム村、灰化物含む
	6	褐色 10YR4/5	シルト	スコリア、灰化物少含む
4	7	褐色 7.5YR3/3	シルト	カーボ酸、炭化物多く含む
	8	褐色(灰白) 10YR4/3	粘土質シルト	ローム粘、灰化物含む
周 囲	9	褐色 7.5YR4/6	粘土質シルト	ローム粘、少含む
	10	褐色 10YR3/4	地上質シルト	ローム粘、炭化物含む
P20	11	褐色 10YR7/8	砂質シルト	ローム粘、炭化物含む
P21	12	褐色 10YR4/4	シルト	カーボ酸、炭化物、燒土混在
隔壁土	13	褐色 10YR5/8	砂質シルト	若干の炭化物含む

26号住居跡 (I-24a住居) 土層註記表

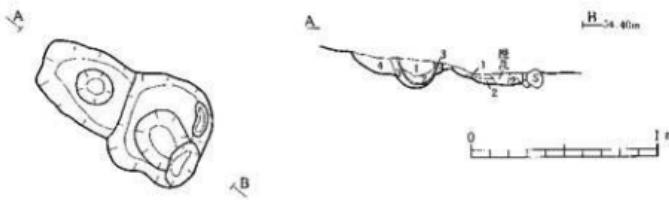
層位	層No.	上色	土性	備考
東側	1	褐色 10YR3/4	粘土質シルト	炭化物含む
	2	褐色 10YR4/6	砂質シルト	

周溝：住居跡の南半部に残存する。北側には、周溝の痕跡のみが認められた。残存部では幅10~37cm、深さ3~11cm、断面形は浅い「U」字形である。底面はほぼ平坦である。底面レベルはやや南側へ傾斜している。周溝内で6個のビットが検出されている。

柱穴：住居跡の範囲内と考えられる部分から10個のビットが検出されている。北西側は削平のため不明である。いずれも柱痕跡は確認されなかった。ビット1、6は本住居跡に伴う柱穴と考えられるが、他の柱穴は不明である。

18号住居ピット

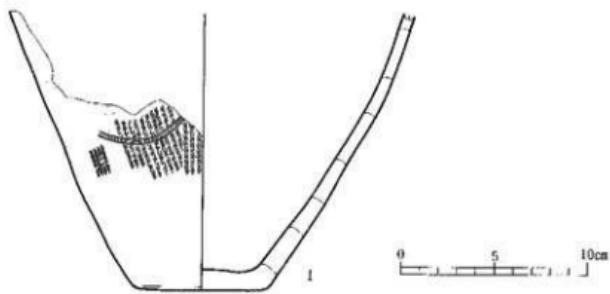
No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
直径	円	円	円	楕円	椭円						
深度	11	11	8	17	25	18	16	25	18	16	23



18号住居 (H-24住居) 炉跡土層註記表

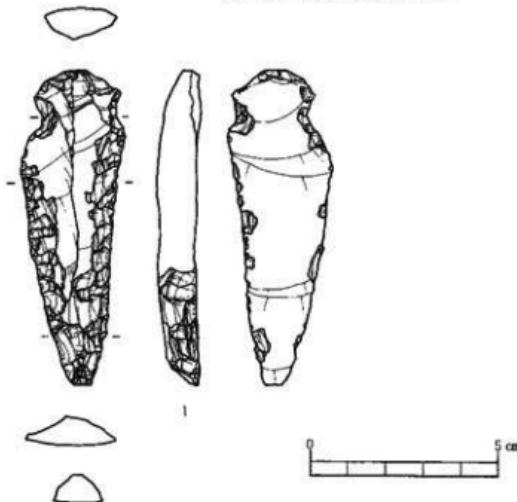
層位	層No.	土色	土性	備考
壁脚土跡	1	褐色 10YR3/4	シルト	泥土、炭化物を含む
	2	褐色 10YR2/3	シルト	極めて多量の炭化物及び少量の輪モチ角む
I	1	褐色 10YR3/4	シルト	壁の炭化物を含む
	2	褐色 10YR4/6	粘土質シルト	壁上、炭化物を少含む
窓下脚土	3	褐色 7.5YR4/5	地上質シルト	—
	4	褐色 5YR4/8	粘土質シルト	—

第175図 18号住居炉跡



No.	形	状	寸	長	幅	高	内	外	厚	分類	用	備
1	壺・短腹	直縁	沈錫文・山崎尚之・櫻井	マメツ	等	小						

第176図 18号住居跡出土土器



No.	形	状	寸	長	幅	厚	分類	用	備	備
1	石	器	周	34.70	26.90	16.30	30.50	石	石	

第177図 18号住居跡出土石器

第38表 18号住居跡出土土器集計表

分類	出土件数			合計
	壺	甌	盤	
体 溶	B	3		3
C	2		1	3
合	5		1	6

第39表 18号住居跡出土石器集計表

分類	出土件数			合計
	石	器	備	
石	1			1
合				1

## 炉

(位置・方向) 住居跡南東部に位置している。長軸方向はN-59°-Wである。

(規模・平面形) 残存している最大長75cm、最大幅58cmである。平面形はダルマ形である。

(構造) 土器埋設部、石組部からなる複式炉である。上部を削平されており、石囲部、掘り込み部の存在は不明である。

土器埋設部・埋設土器は、径約20cm深鉢形土器である。

石組部・長さ45cm、幅55cmの長方形である。南、北の隅に各1個の石が残存するのみである。東側の隅に石を抜き取った痕跡と考えられるピットが検出された。確認面から底面までの深さは7cmである。敷石の存在は不明である。

(使用痕跡) 埋設土器周辺が赤変しており、火熱を受けた痕跡が認められる。

(構築方法) 掘り方は奥さ100cm、幅58cmのダルマ形である。が全体の掘り方に、土器埋設部では土器を埋設し、その後に石組部の石を施設するという手順で構築されている。

遺物の出土状況：炉内堆積土、掘り方埋土及びピット10から縄文土器片、石器が出土している。炉の埋設土器がある。

### 19号住居跡（I-24b住居跡）

造構の確認：H-I-23・24に位置しており、第4層、第5層上面で確認された。

重複・増改築：18号、26号住居跡、331号上塙を切っており、本住居跡の方が新しい。炉が複数確認されており、建て替えが行なわれていると考えられる。

規模・平面形：長軸5.5m、短軸5.0mの東西に長い梢円形である。

竪穴層位：住居跡北東部の堆積土は削平のため確認されなかった。堆積土は3層に大別される。いずれも自然堆積である。

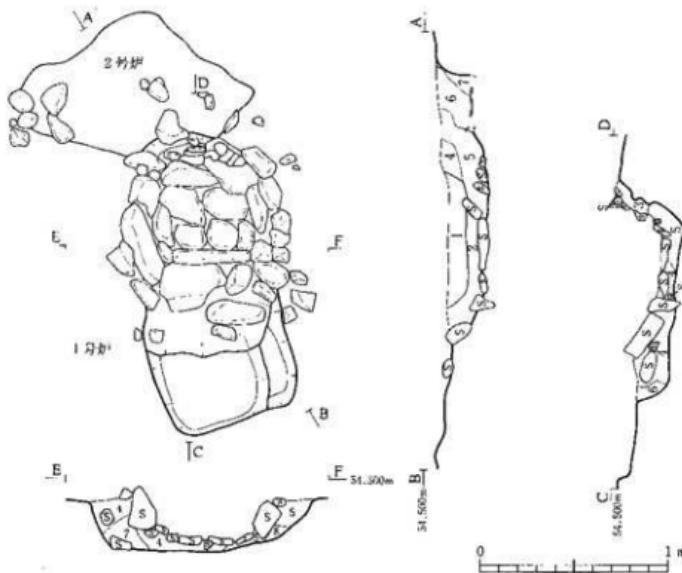
壁：1号炉から住居跡北東部にかけての部分は、削平のため残存しない。第4層、第5層を壁としている。

床面：凹凸があり、堅さは一様ではない。住居跡中央北東寄りに偏平な石を敷いた敷石部分がみられる。住居跡中央部には掘り込みがみられ、敷石はない。また、敷石を切っている炉もみられる。

周溝：部分的に2条検出されている。外側の周溝は、1号炉の両脇部分と住居跡北側の途切れている部分を除いて、検出されている。住居跡東側から北側では、幅20~40cm、住居跡西側から南側部分では幅60~100cmである。深さは8~24cm、断面形は「U」字形である。南北部分では、底面は2段になっており10~14cmの段差がある。底面はほぼ平坦である。底面レベルはほぼ一定である。周溝内より10個のピットが検出されている。1号炉の東側に長さ約1mで4号炉の南側まで「Z」字形に溝が検出されている。内側の周溝と考えられる。幅20~35cm、深

さ5~10cm、断面形は「U」字形である。底面は南側が高くなっている。「Z」字形の両端と折曲部にそれぞれピットが検出されている。

柱穴：本住居跡及び26号住居跡に伴なうピットを明確に区別できなかったため、通し番号をして掲載する。本住居跡内からは、31個のピットが検出されている。ピット38~40は上面で確認したのみである。ピット8、26で柱痕跡が確認されている。他のピットでは、柱痕跡は確認されなかった。本住居跡に伴う柱穴は、ピット8、20、26が考えられる。ピット7、13にもその可能性がある。



19号住居 1号炉跡土層記表

層	位	土色	上	下
1	1	褐 10YR3/4	シルト	炭化物、焼土粒を含む
2	2	褐 細 10YR4/3	シルト	炭化物、焼土粒を含む
3	3	褐 細 10YR3/3	シルト	炭化物少量含む
斜り方壁上	4	褐 7.5YR4/4	シルト	スコリド、焼土粒少量化
	5	褐 7.5YR2/3	シルト	炭化物少量、焼土粒少量化
	6	褐 7.5YR4/4	シルト	ローム多量に含む
	7	7.5YR4/6	シルト	ローム少量化
	8	褐 10YR4/6	シルト	ローム少量化

第178図 19号住居 1号炉跡

19号・26号住居跡ピット

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
形状	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円
深さ	23	35	31	22	17	36	45	-	17	18	32
標号								柱痕有			
								(43)			
No.	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
形状	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円
深さ	31	30	40	29	16	29	7	27	34	18	9
%	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
形状	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円	横 円
深さ	21	54	15	—	27	27	33	48	43	39	26
標号				柱痕有							
				(36)							
No.	34	35	36	37							
形状	横 円	不 條	円	横 円							
深さ	55	26	31	27							

炉：本住居跡内で5基の炉が確認された。

#### < 1号炉 >

(位置・方向) 住居跡南側やや東寄りに位置し、2号炉を切って構築されている。掘り込み部端部は、住居跡壁の一部となっている。長軸方向は、N-6'-Wである。

(規模・平面形) 最大長150cm、最大幅100cmである。平面形はダルマ形である。

(構造) 敷石石組部、掘り込み部からなる複式炉である。

敷石石組部・長さ90cm、幅90cmの台形である。床面から敷石底面までの深さは約20cmである。堆積土中に数個体の土器がつぶれた状態で出土している。

掘り込み部・長さ60cm、幅75cmの隅丸長方形である。掘り込み部の方向は、敷石石組部の方向と若干のズレがある。東側では2段になっている。床面からの深さは、上段部分で約5cm、下段では約8cmである。

(使用痕跡) 敷石石組部の奥壁の石がボロボロに赤変しており、かなりの火熱を受けた痕跡が認められる。

(構築方法) 敷石石組部の掘り方は長さ120cm、幅120cmの正方形である。また掘り込み部は掘り方底面を直接底面としている。敷石石組部は、底面及び掘り込み部との境の石を施設し、その上に側壁部の石がのっている。

#### < 2号炉 >

(位置・方向) 住居跡中央部やや南寄りに位置している。検出時点で1号炉に伴う土器埋設石囲部であると考えられたが、1号炉との位置関係、掘り方の埋土の状態から異なる炉であると判断された。また、3号炉に伴う土器埋設石囲部の可能性もあるが、3号炉は上面確認のみで、掘り込み精査を行っていないため不明である。1号炉に切られている。長軸方向はW-4'-Sである。

**(規模・平面形)** 最大長120cm、幅は1号炉に切られており不明である。平面形は、梢円形あるいは、隅丸の長方形を基調としたものであると考えられる。

**(構造)** 土器埋設石圧部のみが検出されている。その他の部分は破壊されており、明確には検出できなかった。

土器埋設石圧部・長さ35cm、幅は不明である。埋設土器は径約27cmの鉢形土器の体部である。土器の周囲に石を巡らしているが、先端部の2個しか残存しなかった。また、埋設土器東側に横位につぶれた状態で、個体の土器が検出されている。埋設されたものではなく、2号炉を埋める際に、共に埋め込まれたものであると思われる。

#### < 3号炉 >

住居跡南西部、1号炉の西側に位置している。上面確認のみで掘り込み精査は行なっていない。確認面での規模は、長さ110cm、幅85cmの不整形な梢円形である。確認面に石組の上部であると思われる石が検出されている。住居跡敷石の一部が上にのっており、敷石よりも古いと考えられる。

#### < 4号炉 >

住居跡東側に位置している。端部は332号土壙によって切られている。上面確認のみで掘り込み精査は行なっていない。確認面での規模は、長さ155cm、幅100cmのダルマ形である。土器埋設部分が確認されており、長さ30cm、幅70cmで、埋設土器は径約24cmである。

#### < 5号炉 >

住居跡西側、3号炉の北側に位置する。3号炉、4号炉と同様上面確認のみで、掘り込み精査は行なっていない。炉端部は周溝と接している。確認面での規模は、長さ120cm、幅80cmである。梢円形あるいはダルマ形を基調とした平面形である。確認面で焼土が観察された。

その他の施設：単独の埋設土器が3基検出されている。

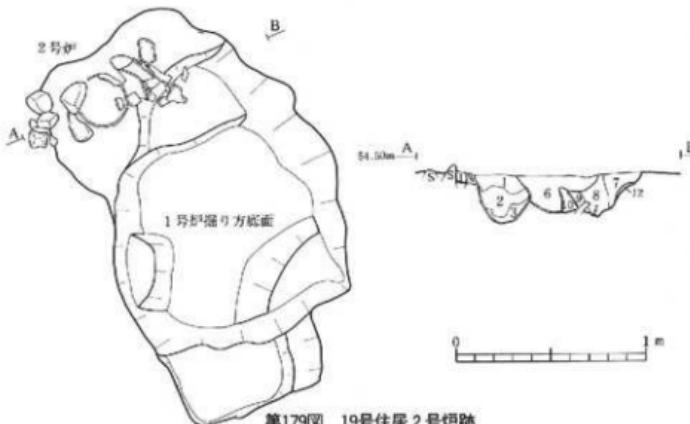
**< 1号埋設土器 >** 住居跡北側に位置している。径約25cmの深鉢形土器の体部である。

**< 2号埋設土器 >** 住居跡北西部に位置している。径約29cmの深鉢形土器の体部である。

**< 3号埋設土器 >** 住居跡北側、1号埋設土器の東側に位置している。1/2残存している。径は20cm前後と推定される。

住居跡中央部に長さ160cm、幅110cmの落ち込みプランが確認されている。掘り込み精査を行なっていないため、詳細は不明である。

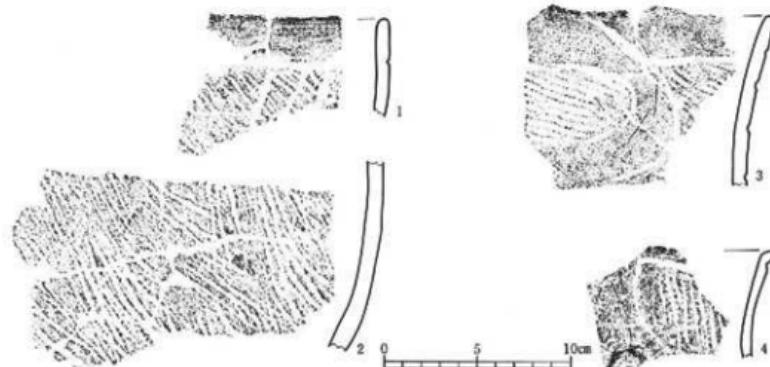
**遺物の出土状況：** 調査時の不手際から本住居跡及び26号住居跡山上の遺物を完全に分けられず混在しているものもあると考えられるが、住居跡各層及び住居跡内の施設より、土器、土製品、石器が出土している。特に本住居跡1号炉、2号炉から一括遺物が出土している。堆積土中とした遺物は、各層位毎に取り上げられておらず、各層に分けられなかつたものを一括した。



第179図 19号住居 2号炉跡

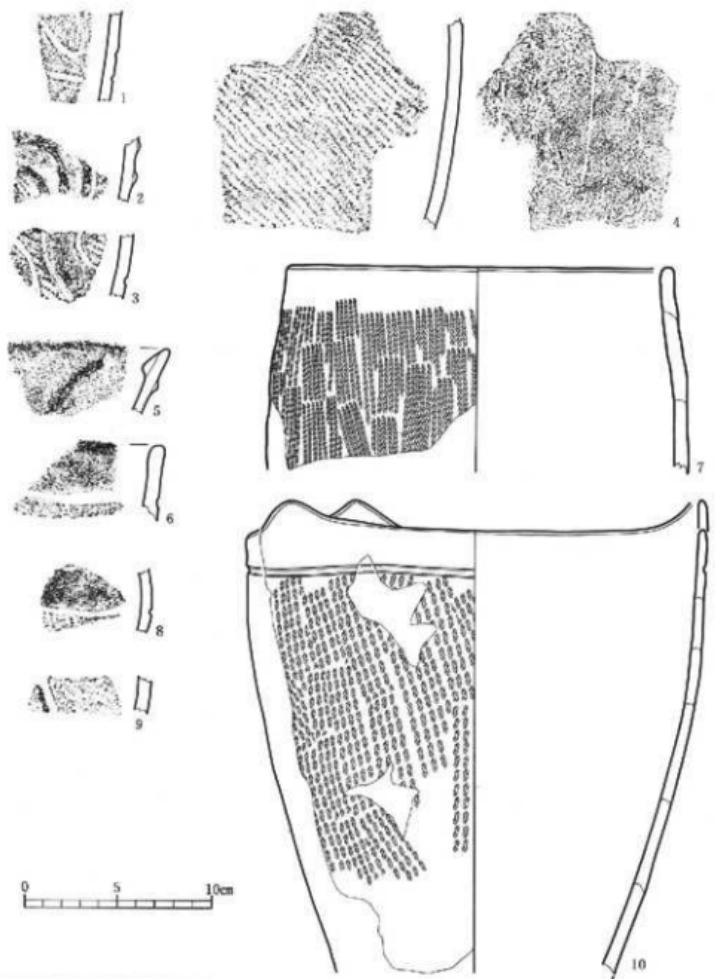
19号住居 2号炉跡土層記表

層位	層No.	上 部	土 性	理 考
地盤土層	1	暗 土 7.5YR3/4	シルト	炭化物、礫少混在
	2	暗 土 7.5YR4/3	シルト	ロームブロック、炭化物混。礫少含む
	3	暗 土 7.5YR2/1	シルト	炭化物含む
1	4	暗 土 7.5YR4/4	シルト	炭化物、礫少。ローム塊少混在
	5	灰 土 7.5YR4/2	シルト	炭化物、植生。ローム塊少混在
2	6	暗 土 7.5YR4/6	シルト	炭化物、ローム塊少混。焼土多量に含む
	7	暗 土 7.5YR2/4	シルト	焼土塊多量、ローム塊少含む
3	8	暗赤土 5YR3/6	シルト	焼土を多量に含む
	9	灰 土 2.5YR4/8	シルト	かたい植生
4	10	暗赤土 5YR3/5	シルト	焼土を多量に含む
	11	暗 土 7.5YR4/4	シルト	炭化物少量
	12	暗 土 7.5YR4/6	シルト	ロームブロックを含む



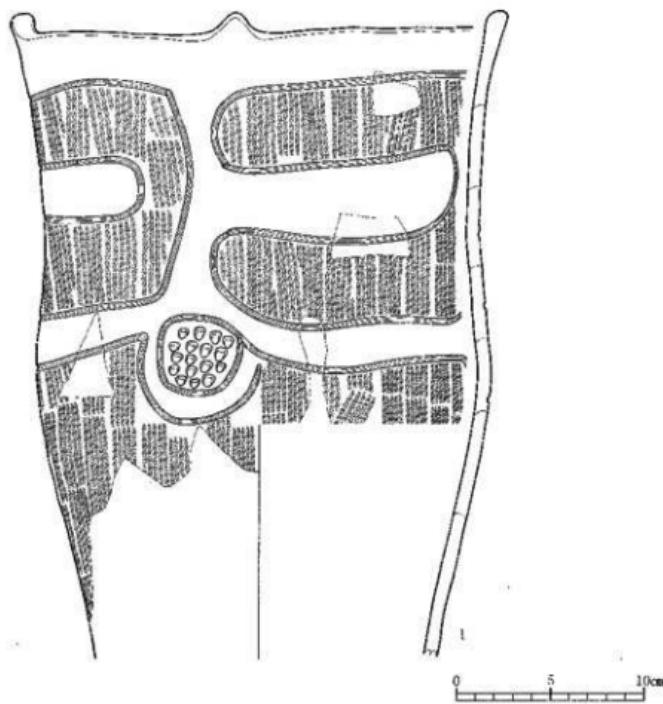
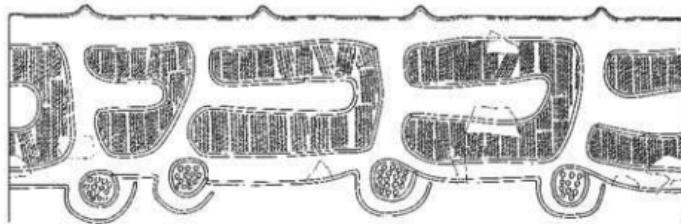
第180図 19号住居跡出土土器(1)

No.	施 稲	器 形	外 面	内 面	分 類	備 考
2	灰面土上	深 鍋	沈縁文・鉛錆条文	ナゲ(鍆)	B IV	
3	1号炉	深 鍋	沈縁文・L鉛錆火	摩牛(鍆・鉛)	X?	
4	1号炉	深 鍋	隨縁文・沈縁文	ナゲ・磨牛(鍆・鉛)	X	



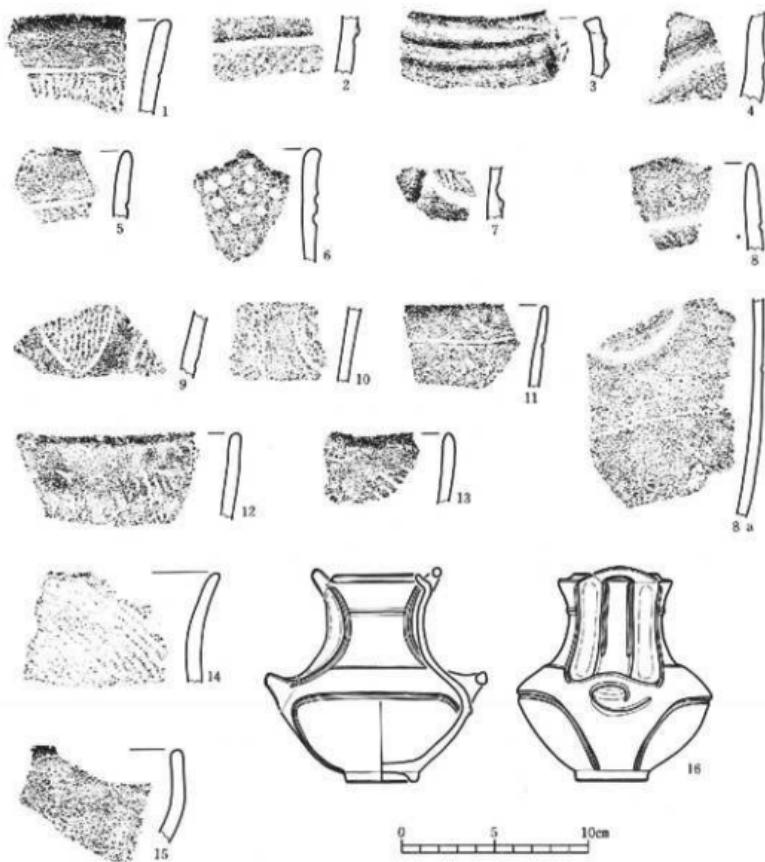
No.	器種	断面	外 観	内 観	分類	備 考
1	1号炉・1層	縦断	沈縫文・L型系文	ササ(横・斜)	X	
2	炉	縦断	縫縫文・RL縫文	ササ(横・斜)	X	
3	炉	縦断	沈縫文・LR縫文	ササ(横・斜)	X	
4	1号炉	縦断	沈縫文・LR縫文	ササ(横・斜)	X	
5	1号炉	縦断	縫縫文	ササ(横)	B I	
6	1号炉・2層	縦断	沈縫文・RL縫文	ササ(横)	B IV	
7	1号炉	横断	RL縫文	ササ(横)	B VI	
8	2号炉	縦断	沈縫文・不規縫文	ササ(横・斜)	X	
9	2号炉	縦断	縫縫文・沈縫文・LR縫文	ササ(横・斜)	X	
10	1号炉・2層	縦断	沈縫文・LR縫文・ササ	ササ(横・斜)	B IV	

第181図 19号住居炉跡出土土器(2)



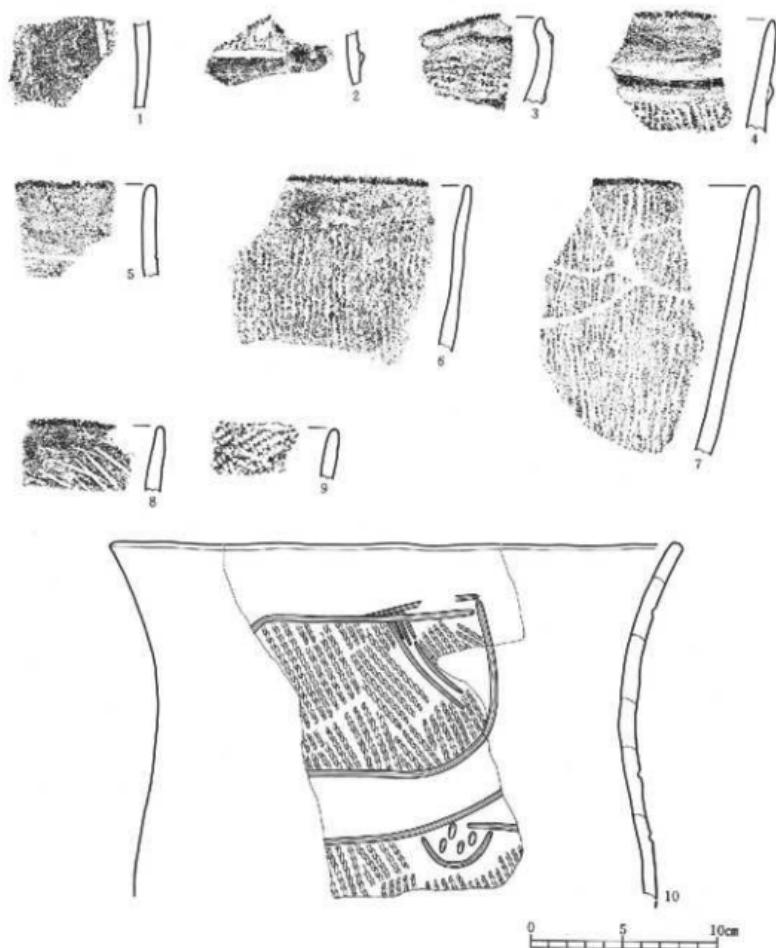
No.	图 底	標 號	内 面	内 面	分 類	圖
1	BT-2號	圓形	波浪狀・鈎突狀・及細小穴・斜平	圓形 (橫・縱)	X3	

第182図 19号住居炉跡出土跡 (3)



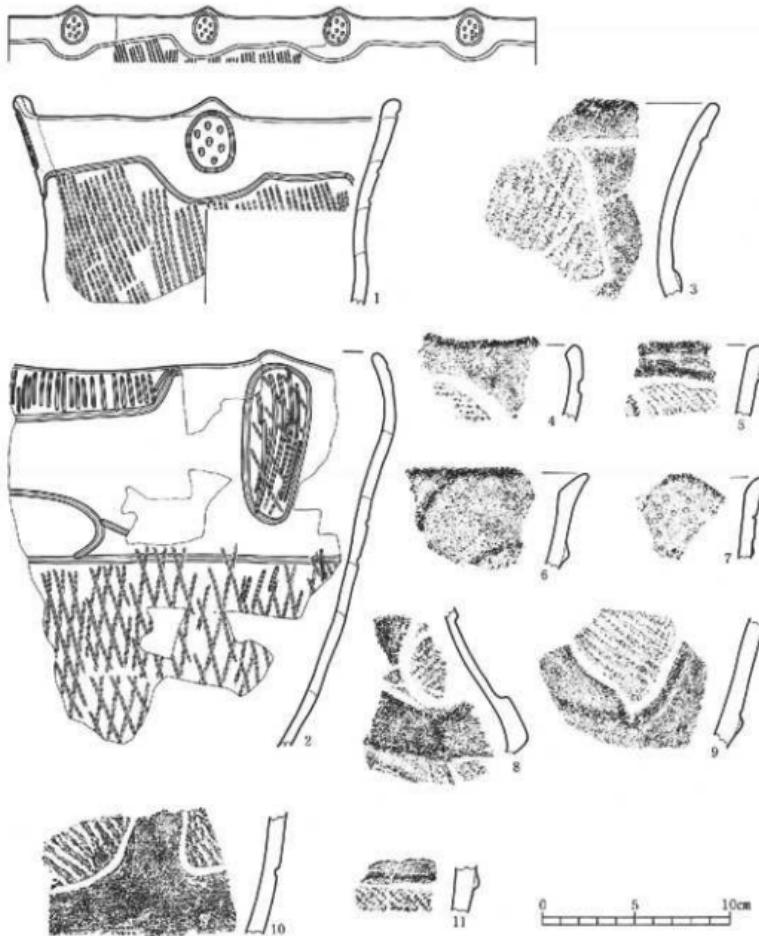
No.	器 物	形 狀	片 面	内 面	底 部	分 類	圖 考
1	環狀上腹 2 内	深 鉢	弦紋文、L形条文	磨光 (鏡)		H IV	
2	環狀上腹 2 内	深 鉢	弦紋文、沈綱文、RL綱文	磨光 (鏡)			
3	浅 鉢		沈綱文	磨光 (鏡)		H I	
4	印No.5	深 鉢	沈綱文、RL沈文	磨光 (鏡)			
5	印No.4	深 鉢	沈綱文、不明綱文	磨光 (鏡)		H IV	
6	印No.2	深 鉢	刻綱文	磨光 (鏡)		X	
7	印No.2	深 鉢	不明綱文	磨光 (鏡、銳)		X	
8	印No.2	深 鉢	沈綱文、不明綱文	磨光 (鏡)		X	
9	印No.2	深 鉢	沈綱文、L形条文	磨光 (鏡)		X	
10	印No.2	深 鉢	沈綱文、L形条文	磨光 (鏡)		X	
11	印No.2	深 鉢	沈綱文、L形条文	磨光 (鏡)		H IV	
12	印No.2	深 鉢	L形条文	磨光 (鏡、銳)		H VI	
13	印No.2	深 鉢	RL綱文	磨光 (鏡)		H VI	
14	印No.2	深 鉢	L形条文	磨光 (鏡)		H VI	
15	印No.2	深 鉢	不明綱文	磨光 (鏡)	透 光	X	外曲片形
16	印No.1	深 鉢	施綱文、沈綱文、磨光	磨光 (鏡)			

第183図 19号住居跡出土土器 (4)



No.	層 位	器 物	外 面	内 面	性 質	分 類	圖 号
1	1層	深 瓶	波紋文・L形底文	縹 + (波)		X	
2	1層	深 瓶	繩網文・波紋文・L形底文	ナゲ(波)		X	
3	1層	深 瓶	繩網文・L形底文	波 + (波)		B I	
4	1層	深 瓶	繩網文・L形底文	ナゲ・縹 + (波)		B I	
5	1層	深 瓶	波紋文	縹 + (波)		B IV	
6	1層	深 瓶	R形底文	縹 + (波・R)		B VI	
7	1層	深 瓶	L形底文	ナゲ(波・R)		B VI	
8	1層	深 瓶	R形底文	縹 + (波)		B VI	
9	1層	深 瓶	L形底文	縹 + (波)		B VI	
10	堆積土	深 瓶	波紋文・L形底文・縹 +	縹 + (波・R)		X.7	

第184図 19号住居跡出土土器(5)



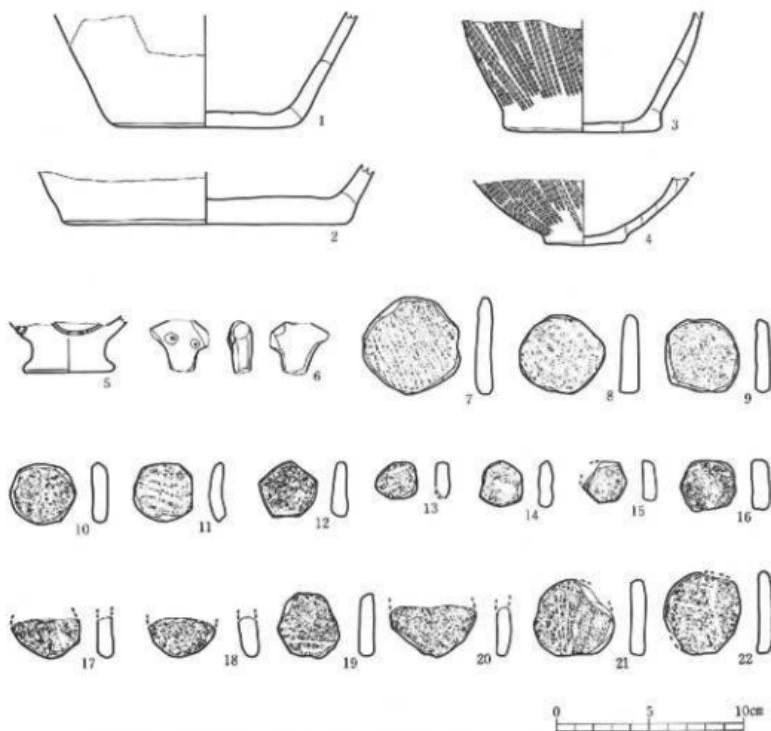
No.	形 位	種 形	外 形	内 形	分 類	場 所
1	地盤上	深 鍋	浅縫文・劉宋文・後秦文・晋文	圓孔 (横)	X #	
2	半墳土	深 鍋	浅縫文・劉宋文系文 (R)・晋文	圓孔 (横・直)	X #	
3	被覆土	深 鍋	浅縫文・R1・晋文	圓孔 (横)	X	
4	地盤上	深 鍋	浅縫文・L1・晋文	圓孔 (横)	X	
5	被覆土	深 鍋	浅縫文・��縕文・H1・晋文	圓孔 (横)	X	
6	被覆土	深 鍋	浅縫文・不明文	圓孔 (横)	X	
7	被覆土	深 鍋	浅縫文・明宋文	圓孔 (横・直)	X	
8	地盤上	深 鍋	浅縫文・沈縕文・L1・晋文	圓孔 (横・直)	X	
9	被覆土	深 鍋	浅縫文・沈縕文・L1・晋文	圓孔 (横・直)	X	
10	被覆土	深 鍋	浅縫文・H1・晋文	才字 (横)・圓孔 (横・直)	X	
11	地盤上	深 鍋	浅縫文・沈縕文・L1・晋文	才字 (横)・圓孔 (横・直)	X	

第185図 19号住居跡出土土器 (6)



No.	地 域	器 形	外 面	内 面	底 形	分 類	備 考
1	堆積土		横縞文・比縞文・L形垂文	縦条(側)		X	
2	堆積土		比縞文・BL横垂文	ナゲ・縦条(側)		X	
3	堆積土		縦縞文	縦条(側)		B.I	
4	堆積土		縦縞文・H.L縞文	縦条(側)		B.I	
5	堆積土		横縞文・L形垂文	縦条(側)		B.IV	
6	堆積土		横縞文・L形垂文	縦条(側)		B.IV	
7	堆積土		横縞文・L形垂文	縦条(側・鋸)		B.IV	
8	堆積土		比縞文・H.L縞文	縦条(側・鋸)		B.IV	
9	堆積土		比縞文・BL縞文	ナゲ(側・鋸・鋸)・縦条(側)		B.IV	
10	堆積土		L形垂文	縦条(側・鋸)		B.VI	
11	堆積土		BL縞文	縦条(側・鋸)		B.VI	
12	堆積土		BL縞文	縦条(側・鋸)		B.VI	
13	堆積土		縦 条	縦条(側・鋸)		B.VII	
14	1号砂・2層		L形垂文・縦条	縦条(側)	鉛火面		鉛火面の標記は 10cm四方面あり

第186図 19号住居跡出土土器(7)



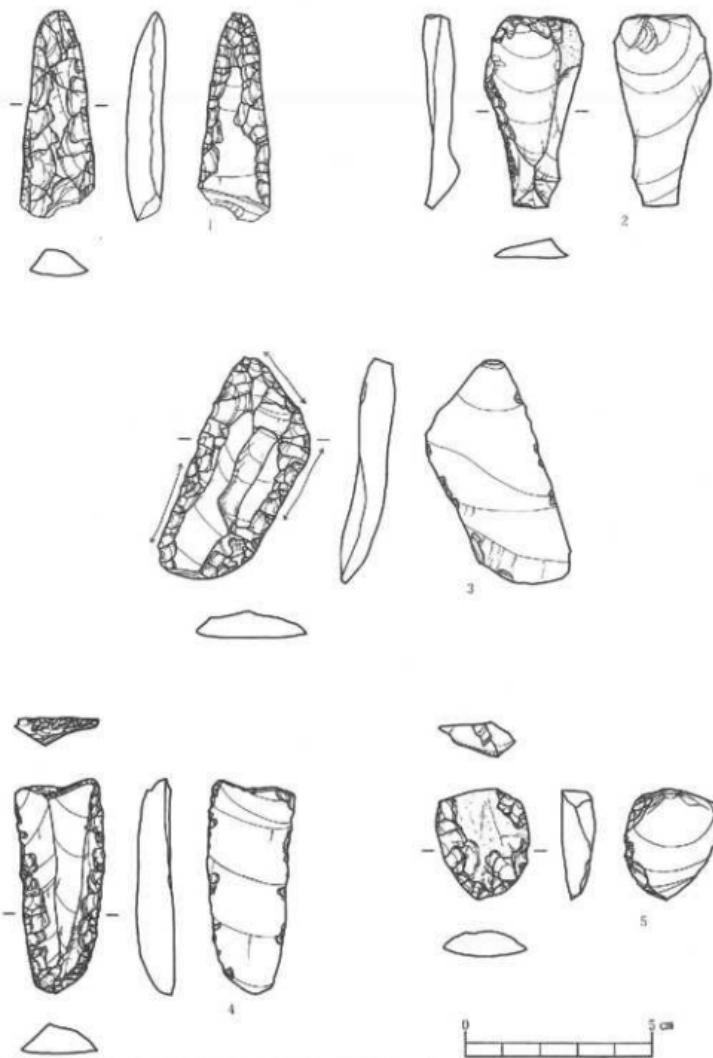
No.	場位	留標	外 形	内 部	底 部	外 縁	備 考
1	2号房・2層	圓錐	マメツ		マメツ		
2	埴頂土	圓錐	トテ	縞キ(横)	トテ		
3	埴頂土	圓錐	貝飾余次	貝飾余次	縞キ(横)	トテ	
4	1層	圓錐	貝飾余次	縞キ(横)	トテ		
5	壁No.2	ミルガエブ	波紋丸・縞キ	縞キ(横)	縞キ(横)	縞キ	
6	埴頂土	土	圓				
7	埴頂土		土製内盤				
8	埴頂土		土製内盤				
9	1層		土製内盤				
10	埴頂土		土製内盤				
11	1層		土製内盤				
12	埴頂土		土製内盤				
13	埴頂土		土製内盤				
14	芯燒土		土製内盤				
15	埴頂土		土製内盤				
16	埴頂土		土製内盤				
17	芯燒土		土製内盤				
18	埴頂土		土製内盤				
19	埴頂土		土製内盤				
20	埴頂土		土製内盤				
21	埴頂土		土製内盤				
22	埴頂土		土製内盤				

第187図 19号住居跡出土土器(8)・土製品



No.	類別	編號	長×寬×厚(mm)	重量(g)	石種	使用面	備註
1	石 鏽	遺No.2	30.05×17.30×5.70	1.15	——	——	——
2	石 鏽	地積土	13.50×13.00×3.60	0.35	——	——	——
3	石 鏽	地積土	(26.45)×22.00×6.00	2.90	圓錐	——	——
4	石 鏽	1号仰	27.85×22.55×6.20	2.16	——	——	——
5	石 鏽	1號	51.85×34.39×21.10	11.89	——	——	——
6	石 鏽	地積土	47.80×32.85×13.25	29.80	——	——	——
7	石 鏽	地積土	37.80×31.40×13.60	11.75	——	——	——
8	石 鏽	地積土	33.25×30.10×4.95	2.90	——	——	——

第188圖 19號住居跡出土石器(1)



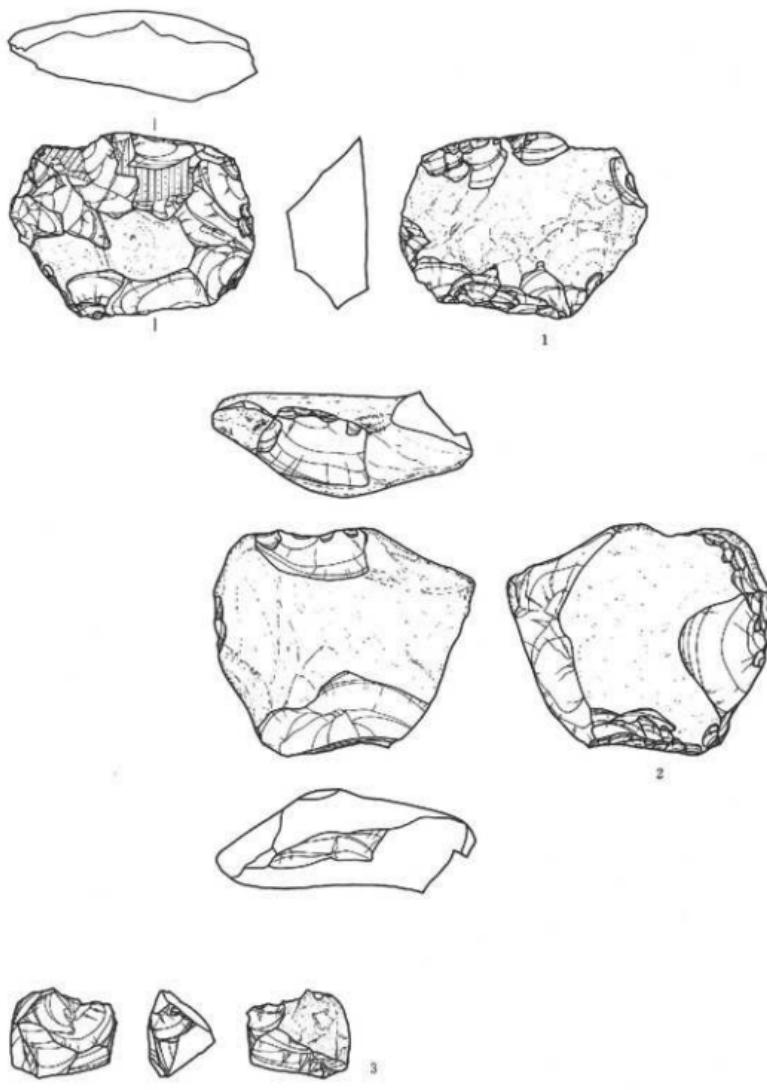
第189図 19号住居跡出土石器 (2)

No.	名	形	幅 × 厚 × 高 (mm)	重 量 (g)	石 材	実 用 表	備 考
1	スクレーパー	細石 2	55.500 × 19.300 × 10.05	10.10	石 精	—	
2	スクレーパー	細石 7	51.40 × 21.60 × 7.50	6.45	石 精	—	
3	スクレーパー	細石 2	59.85 × 40.20 × 8.70	16.30	石 精	—	
4	スクレーパー	粗石 1	47.55 × 23.15 × 9.75	11.20	石 精	—	
5	スクレーパー	粗石 2	29.70 × 24.80 × 8.60	6.95	石 精	—	



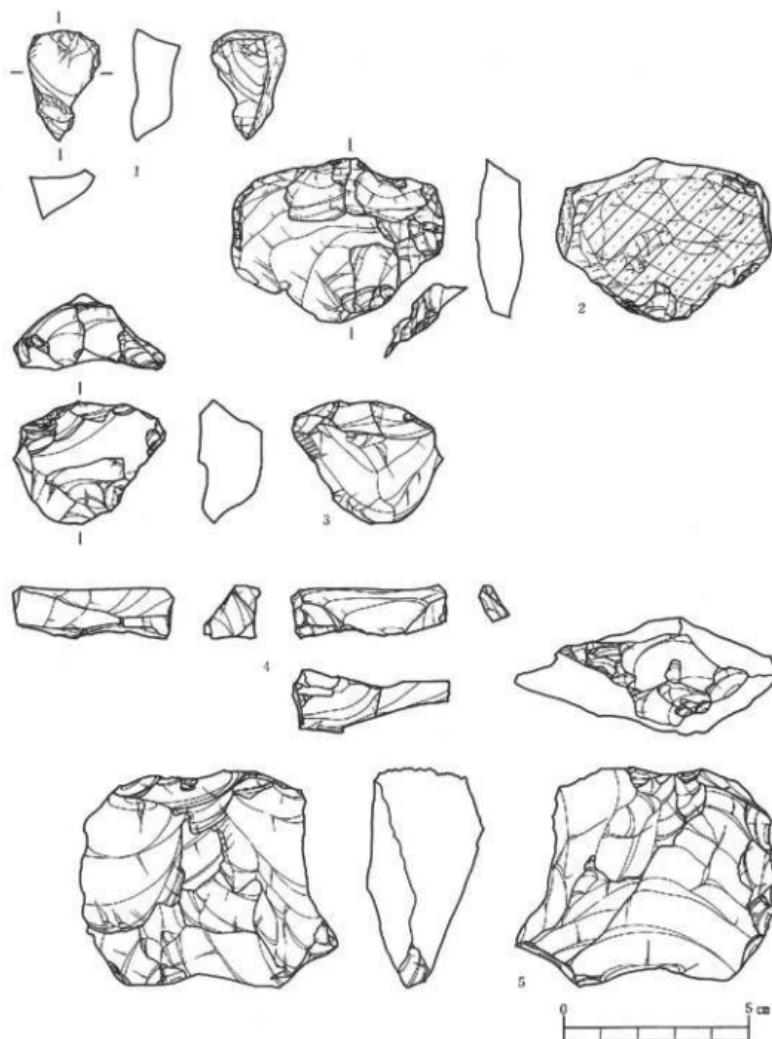
第190圖 19號住居跡出土石器(3)

No.	種別	編號	長×寬×厚(mm)	重量(g)	石質	使用痕	備考
1	一次加工石核片	湖No.2	37.35×33.75×10.80	9.80	灰岩	——	
2	二次加工石核片	湖No.2	31.00×21.90×13.15	7.25	——	——	
3	三次加工石核片	1号	29.00×17.45×4.80	1.80	青白	——	
4	二次加工石核片	1号	26.40×35.05×9.20	19.35	青白	——	
5	燧石核+石核	3号	26.10×21.00×19.20	4.90	燧化石	——	
6	燧石核+石核	1号	23.50×11.35×12.25	2.70	熟石灰	——	
7	燧石核+石核+砾	湖標土	17.50×22.70×3.75	2.10	青白	——	



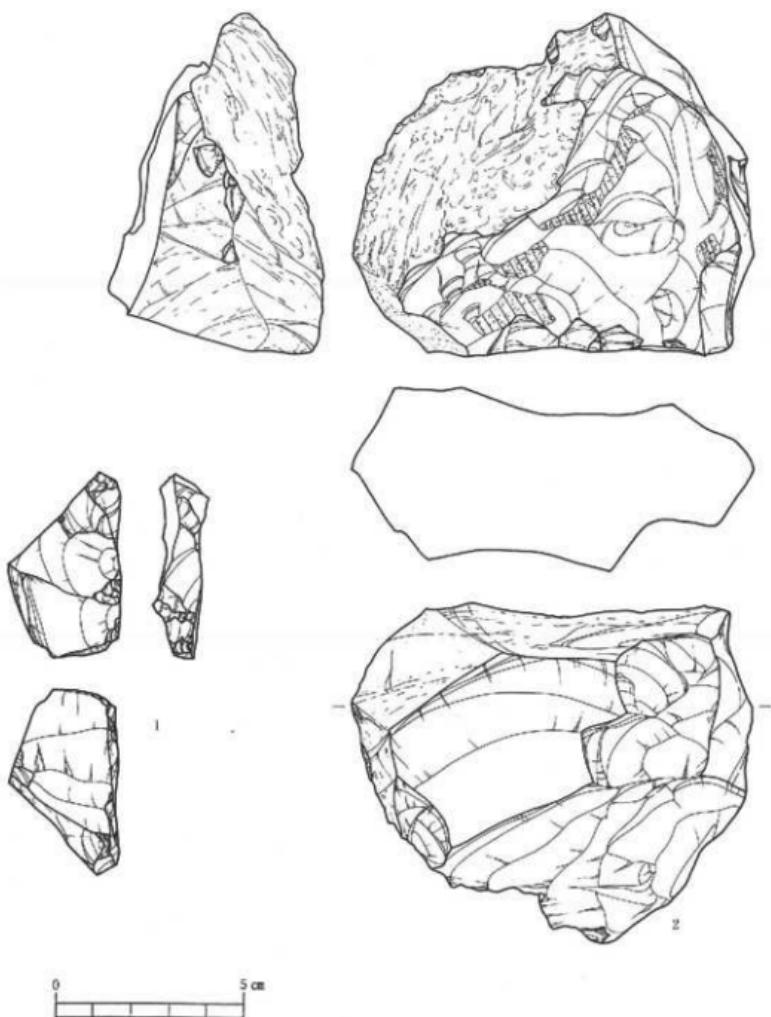
第191図 19号住居跡出土石器 (4)

No.	種別	置位	長×幅×厚[mm]	重量[kg]	石材	使用痕	備考
1	石核	2号部	50.25×64.63×22.50	72.75	高砂	—	
2	石核	1号部	61.30×69.49×27.50	139.95	—	—	
3	石核	地盤土塗3	23.85×27.49×17.50	9.20	鶴石英	—	



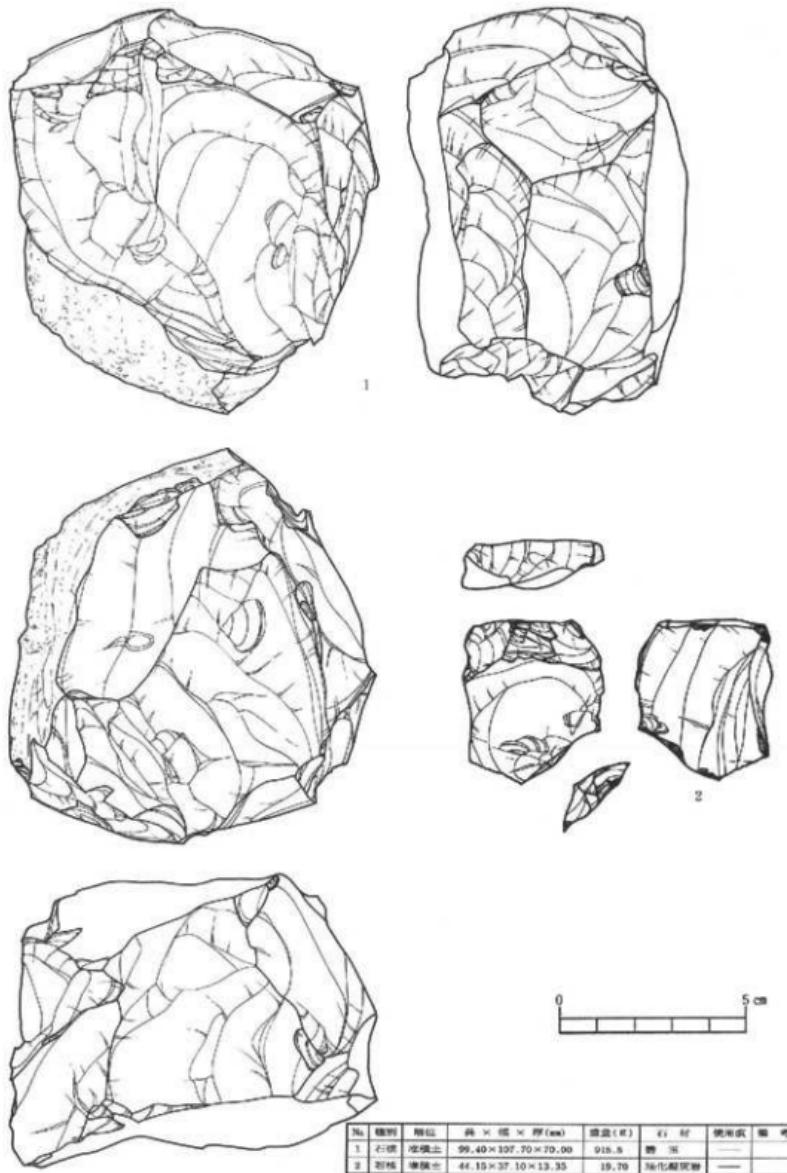
No.	名 則	場 位	四 × 三 × 厚 (mm)	重 量 (g)	材	使 用 標	備 考
1	石 鋸	窟No.2	29.35×18.85×11.20	5.70	玄 錫	—	
2	石 鋸	1 窟	43.90×35.40×14.85	27.30	赤 錫	—	
3	石 鋸	1 窟	32.90×30.85×18.40	19.30	ミナフロ	—	
4	石 鋸	1 窟	13.35×41.40×14.05	6.70	玄 錫	—	
5	石 鋸	地盤上	58.60×30.10×31.80	98.70	桂化ホ	—	

第192図 19号住居跡出土石器 (5)

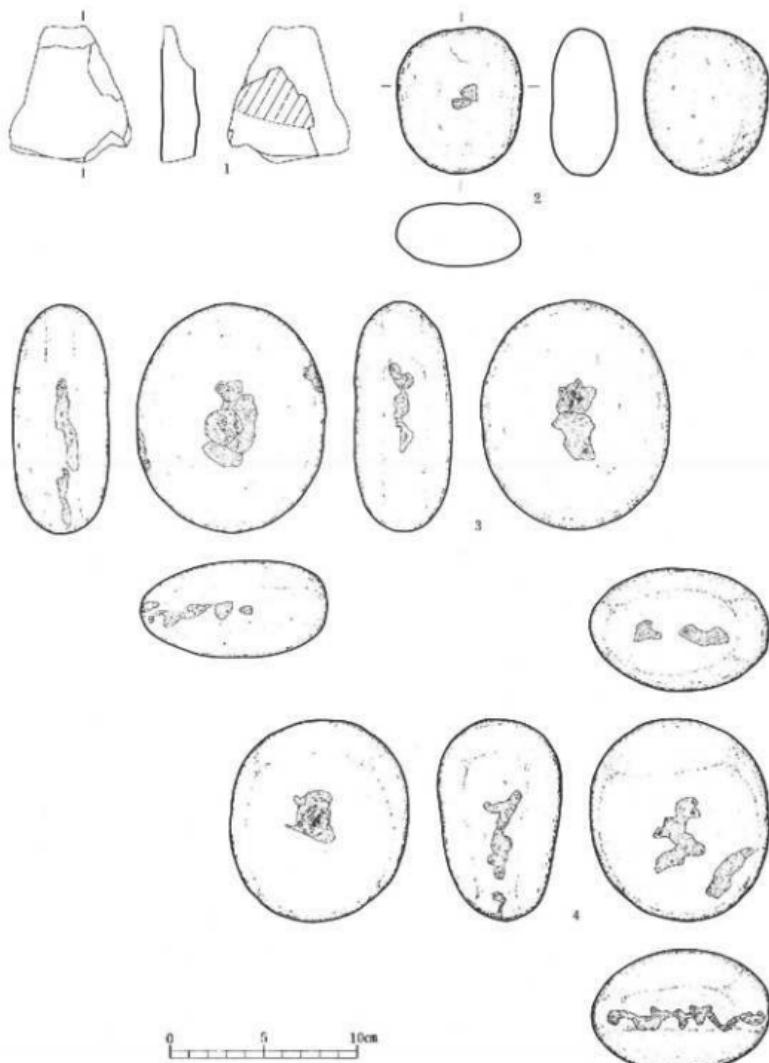


第193図 19号住居跡出土石器(6)

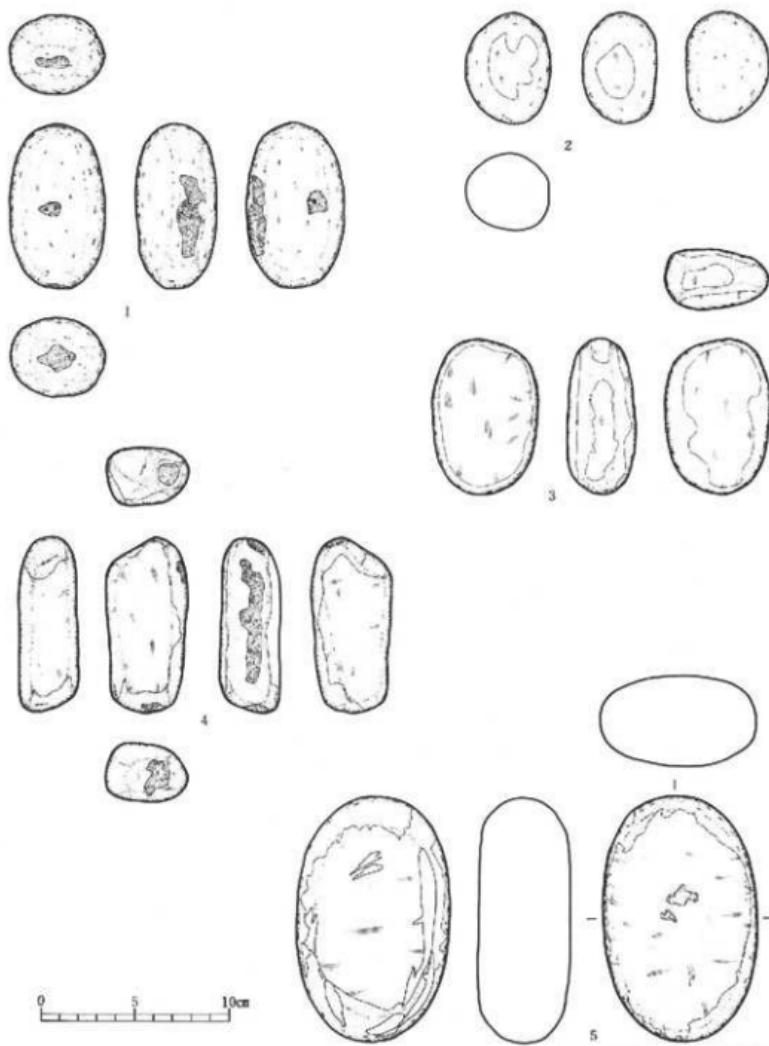
No.	種別	層位	長×幅×厚(cm)	重さ(g)	材質	使用痕	備考
1	石核	標準	29.80×49.79×12.85	18.20	鈍石器用石	—	—
2	石核	標準	91.05×106.35×57.50	445.20	テフニカル セメント	—	—



第194圖 19號住居跡出土石器(7)

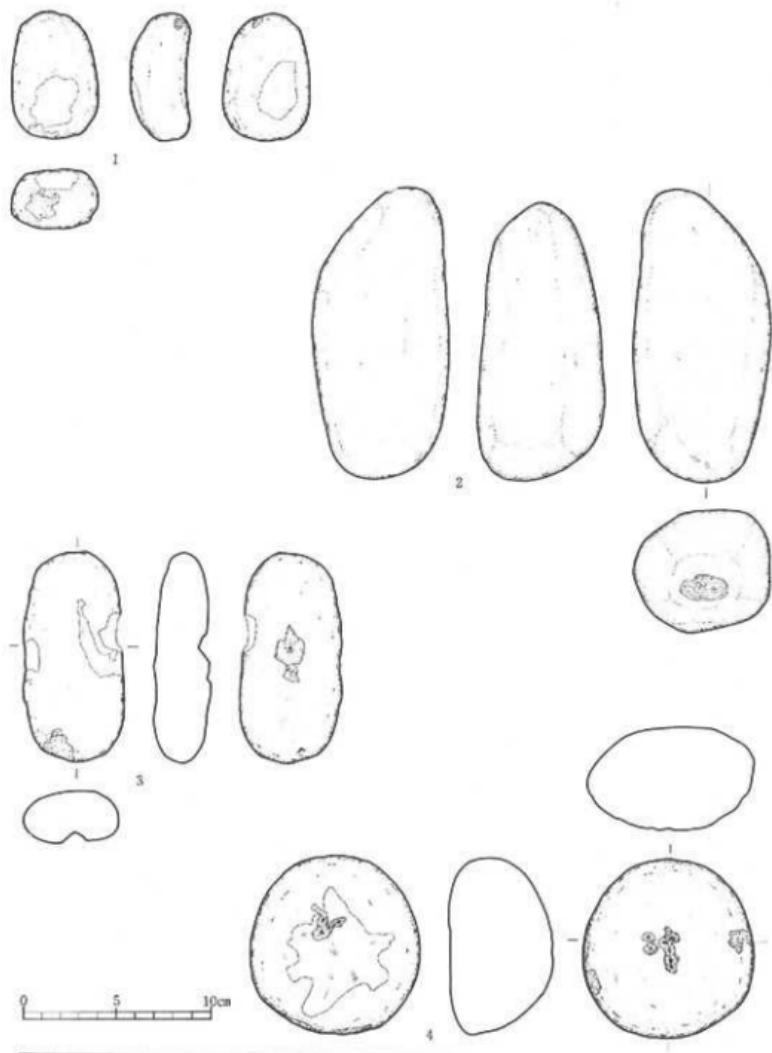


第195図 19号住居跡出土石器（8）



第196圖 19號住居跡出土石器(9)

No.	器 别	地 带	長 × 寬 × 厚 (cm)	重 (kg)	石 材	性 質	圖 号
1	刮石器	地帶上	88×51×44	247.5	鈣—片圓・缺一圓弧		
2	刮石器	地帶上	59×45×60	148.0	鈣—片圓・片圓弧		
3	刮石器	地帶上	83×56×36	227.5	鈣—全圓		
3	刮石器	2号房	95×43×33	191.5	鈣—圓凹・缺一圓凹・片圓凹		
4	刮石器	地帶上	129×93×46	626.6	鈣—全圓・缺一片圓		



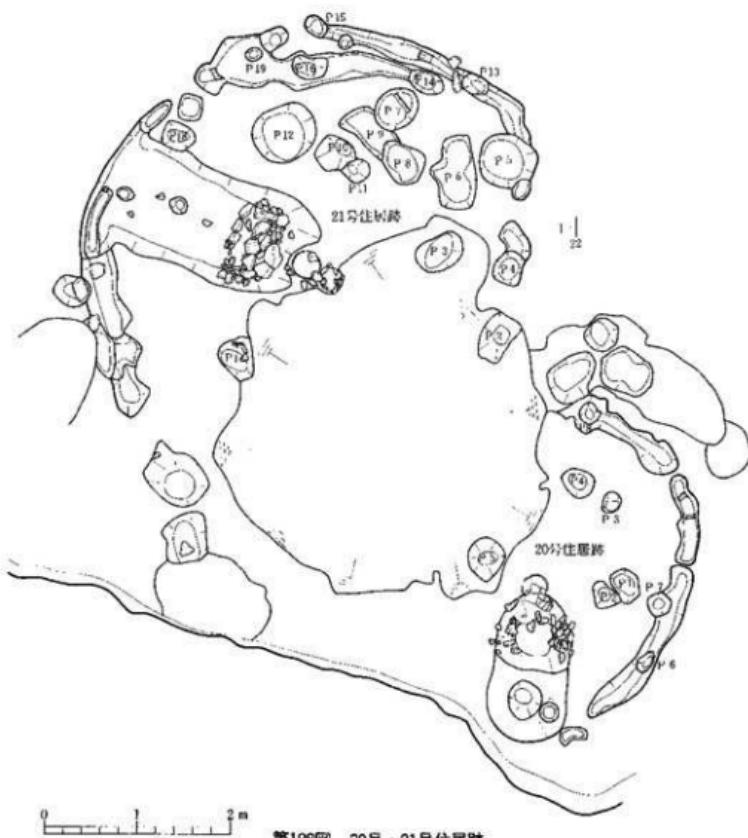
第197圖 19號住居跡出土石器 (10)

No.	規 则	規 格	長 × 寬 × 厚 (mm)	重 量 (g)	材 料	用 途	備 註
1	敲打器	2號	69×46×32	140.0		敲—肉塊	
2	敲打器	塊塊子	154×73×68	1072.0		敲—肉塊	
3	敲打器	塊塊頭上	112×54×31	334.0		敲—骨頭；敲—肉骨頭	
4	敲打器	塊塊頭上	96×91×57	599.5		敲—肉頭；敲—肉頭。	

第40章 19 号住居跡出土土器集計表

第41卷 19号 住居跡出土石器集計表

公算 合計	上位社員	第Ⅳ回 市政会議の開催と議題										議論	開設年月 1	合計		
		議題No.1	議題No.2	議題No.3	議題No.4	議題No.5	議題No.6	議題 1号議題	議題 2号議題	議題 3号議題	議題 4号議題	議題 5号議題	議題 6号議題			
瓦 類	A	1													2	
石 類	B	1													2	
石 類	C	1	2	1											4	
スケレィバー	D	2			3										5	
二枚切工あら削り	E	5	2	3	5										18	
無地切工あら削り	F	5	1	4	3			1	1	1	4				20	
ビス・エスキー	G	1							2						3	
石 類	H	5	3	3	3			1	1	1					12	
剝 片(リップ)	I	12	7	8				2							31	
鐵 片	J														3	
小 計	K	35	5	30	23	6	2	1	2	7	1	0	0	1	1	
石 墨	L														1	
小 計	M	3	3	1	6	C	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
透 石	N	1													1	
凹 石・取石	O	2	1												3	
透 石・削石	P	1													1	
透 石・磨石	Q	3													4	
透 石・磨石	R	1													2	
透 石・磨石	S	1													2	
透 石・磨石	T	1													2	
透 石・磨石	U	2													2	
透 石・磨石	V	1													1	
透 石・磨石	W	1													1	
透 石・磨石	X	1													1	
透 石・磨石	Y	1													1	
透 石・磨石	Z	1													1	
透 石・磨石	A1	1													1	
透 石・磨石	B1	1													1	
透 石・磨石	C1	1													1	
透 石・磨石	D1	1													1	
透 石・磨石	E1	1													1	
透 石・磨石	F1	1													1	
透 石・磨石	G1	1													1	
透 石・磨石	H1	1													1	
透 石・磨石	I1	1													1	
透 石・磨石	J1	1													1	
透 石・磨石	K1	1													1	
透 石・磨石	L1	1													1	
透 石・磨石	M1	1													1	
透 石・磨石	N1	1													1	
透 石・磨石	O1	1													1	
透 石・磨石	P1	1													1	
透 石・磨石	Q1	1													1	
透 石・磨石	R1	1													1	
透 石・磨石	S1	1													1	
透 石・磨石	T1	1													1	
透 石・磨石	U1	1													1	
透 石・磨石	V1	1													1	
透 石・磨石	W1	1													1	
透 石・磨石	X1	1													1	
透 石・磨石	Y1	1													1	
透 石・磨石	Z1	1													1	
透 石・磨石	A2	1													1	
透 石・磨石	B2	1													1	
透 石・磨石	C2	1													1	
透 石・磨石	D2	1													1	
透 石・磨石	E2	1													1	
透 石・磨石	F2	1													1	
透 石・磨石	G2	1													1	
透 石・磨石	H2	1													1	
透 石・磨石	I2	1													1	
透 石・磨石	J2	1													1	
透 石・磨石	K2	1													1	
透 石・磨石	L2	1													1	
透 石・磨石	M2	1													1	
透 石・磨石	N2	1													1	
透 石・磨石	O2	1													1	
透 石・磨石	P2	1													1	
透 石・磨石	Q2	1													1	
透 石・磨石	R2	1													1	
透 石・磨石	S2	1													1	
透 石・磨石	T2	1													1	
透 石・磨石	U2	1													1	
透 石・磨石	V2	1													1	
透 石・磨石	W2	1													1	
透 石・磨石	X2	1													1	
透 石・磨石	Y2	1													1	
透 石・磨石	Z2	1													1	
透 石・磨石	A3	1	0	0	0	0	0	2	1	3	0	0	0	0	16	
透 化 木	B3							1	1						2	
透 通	C3	2	3	30	12	1	2		9	3	3	1	6	3	4	
透 子 通	D3														1	
透 通	E3														5	
透 通	F3	11	2	13	6		1		1	3			1	1	39	
小 計	G3	47	4	47	19	1	4	0	1	0	10	3	6	1	6	5
合 計	H3	98	10	68	42	1	6	1	5	18	7	6	1	9	1	161



第196図 20号・21号住居跡

#### 20号住居跡（H-22住居跡）

**遺構の確認：**G・H-21・22に位置し、第4層、第5層上面で確認された。削平、擾乱を受けしており、住居跡、堆積土、壁、床面は不明である。住居跡西半分は検出されなかった。

**重複・増改築：**H-21風倒木痕及び溝状の落ち込みに切られており、本住居跡が最も古い。また、位置的に、21号住居跡との重複関係も考えられるが、擾乱のため不明である。増改築については確認されなかった。

**規模・平面形：**周溝残存部分より、径約3.8mの円形を基調とした平面形であると推定される。

**周溝：**削平のため住居跡東側にのみ残存している。幅15~35cm、深さ4~15cm、断面は「U」

字形である。底面には凸凹がみられる。底面レベルはほぼ一定である。周溝内より3個のピットが検出されている。

**柱穴**: 住居跡の範囲内と推定されている部分から8個のピットが検出されている。いずれも掘り方のみで柱痕跡は確認されていない。ピット1、2が重複関係にあり後者が古い。本住居跡に伴う柱穴は、ピット1または2、4または8、5が考えられるが、住居跡北西側の削平部分にも存在する可能性もある。

20号住居跡ピット

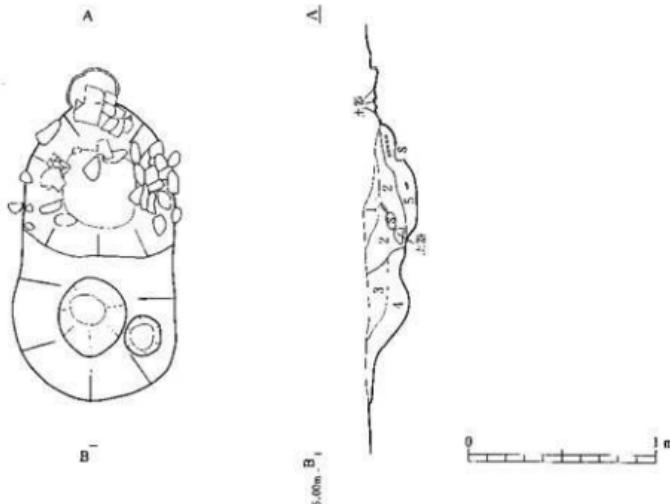
No	1	2	3	4	5	6	7	8
形状	横 円	六 角	四 角	横 口	円	横 口	四	口
深さ	13	21	9	27	23	21	13	24

### 炉

(位置・方向) 住居跡南側やや西寄りに位置している。掘り込み部の端部は、住居跡の壁の一部となっている。長軸方向はN-5°-Eである。

(規模・平面形) 最大長180cm、最大幅95cmである。平面形はダルマ形である。

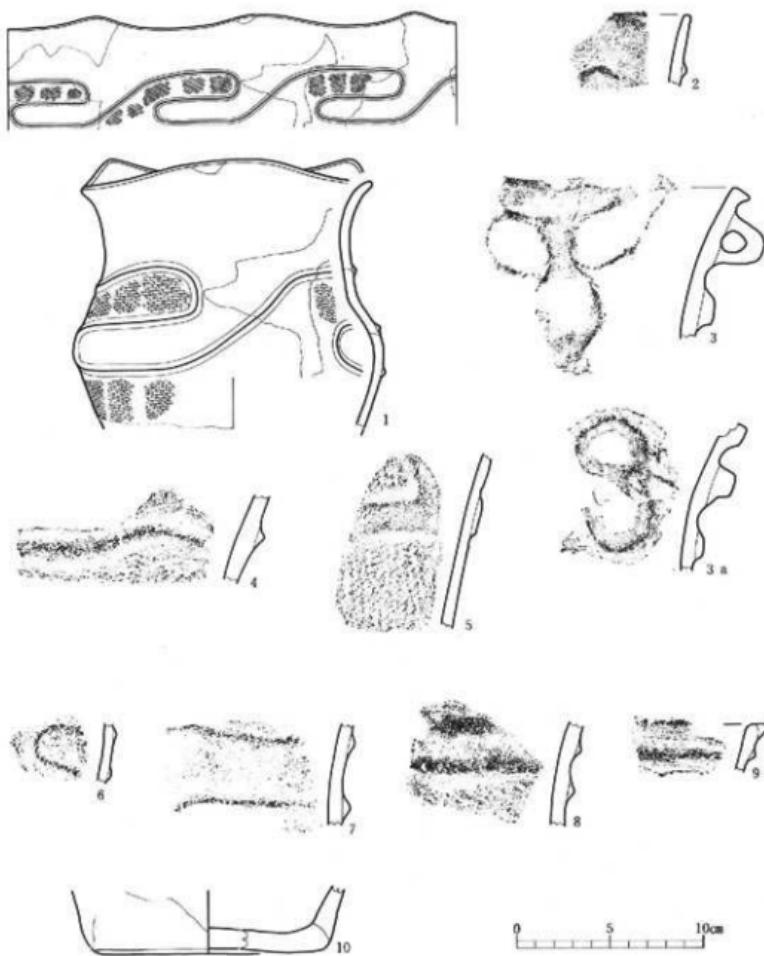
(構造) 土器埋設部、敷石石組部、掘り込み部からなる複式炉である。



20号住居(H-22住居)炉跡土層記表

層位	層名	上色	下性	地	地
1	1	暗	7.5YR4/4	シルト	
	2	暗 細	7.5YR3/4	シルト	炭化物、礫土を少量含む
	3	暗	7.5YR4/3	シルト	ローム較小の含む
2	4	暗	7.5YR4/3	シルト	
3	5	灰褐色	3 YR4/4	シルト	礫土、小礫を含む

第199図 20号住居炉跡



第200図 20号住居跡出土土器

No.	場所	形	外 部	内 部	底 部	分 類	備 考
1	壁	深鉢	弦紋文・L状彫文・凹凸	縦ナ (横)		X 1a	
2	壁	深鉢	弦紋文	縦ナ (横・凹)		X 1	
3	壇壝上	—	縦線文	縦ナ (横・縦・凹)		X	丹波O. 手手
4	壁	深鉢	弦紋文・L状彫文	ナフ (凹)・縦ナ (横)		X	
5	地盤土	深鉢	弦紋文	縦ナ (横・凹)		X	丹波O.
6	地盤土	深鉢	弦紋文	縦ナ (横)		X	
7	壁	深鉢	縦線文	縦ナ (横・縦・凹)		X	
8	壁	深鉢	縦線文・L状彫文	縦ナ (横・縦・凹)		X	
9	地盤土	深鉢	弦紋文	縦ナ (横)		B 1	
10	壁	深鉢	マメツ	ナメツ	ナフ		

土器埋設部・埋設土器は径約28cmの土器である。上面確認のみで掘り込み精査を行なっていなかったため、器形等の詳細は不明である。石圓部の存在は削平のため不明である。

敷石石組部・長さ80cm、幅95cmの台形である。破壊を受けており、東側側壁部及び底面から奥壁にかけての石しか残存しない。側壁部の石は3～4段に積まれている。西側側壁部は石が散乱しているという状況である。そのため、確認面から敷石底面までの深さは不明である。

掘り込み部・長さ70cm、幅85cmの半円形である。掘り込み部の中央部分は長さ45cm、幅35cmの規模で10cmの深さに凹んでいる。

(使用痕跡) 埋設土器及びその周辺と、敷石石組部奥壁が赤変しており、火熱を受けた痕跡が認められる。

(構築方法) 断ち割り等の精査を行なっていないため不明である。

遺物の出土状況：住居跡確認面及び堆積土中より、土器片、石器が出土している。

第42表 20号住居跡出土土器集計表

分類	出土位置		堆積上	石組部	合計
	A	X			
口縁部	A	2		1	3
	X	1			1
	B	1			1
	V	2			2
	C	1		2	3
小計		7	3		10
体 部	A	X	9	5	14
	B	18	19		37
	C	37	51		88
	小計	64	75		139
底 部	N		3	3	
	V	4	1		5
	小計	4	4		8
合計		75	82		157

第43表 20号住居跡出土石器集計表

分類	出土位置		堆積上	小計
微細剥離痕ある剝片			1	1
小計			1	1
磚			1	1
焼 磚			1	1
小計			2	2
合計			3	3

### 21号住居跡（1～21住居跡）

造構の確認：H・I-20・21に位置し、第4層、第5層上面で確認された。削平、攪乱を受けしており、住居跡堆積土、壁、床面は不明である。住居跡南東部は検出されなかった。

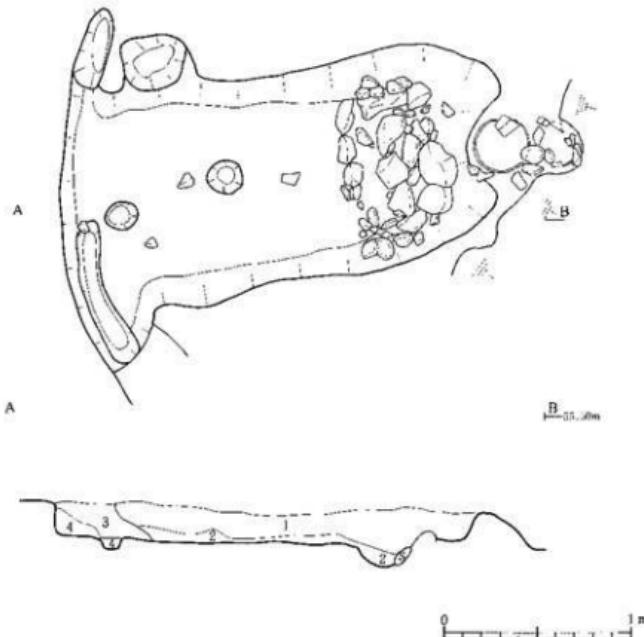
重複・増改築：H-21風倒木痕に切られており本住居跡の方が古い。また、位置的に228号土壤との重複関係も考えられるが削平のため不明である。住居跡北側に2条の周溝が検出されており、ピットにも重複関係が認められることから、建て替えが行なわれていると考えられる。

規模・平面形：周溝残存部より、径約4.5mの円形を基調とした平面形であると考えられる。

周溝：住居跡北東部から南西部にかけて、炉の部分を除いて検出されている。住居跡北側に長さ約2.5mの溝が検出されている。内側の周溝と考えられる。外側の周溝との新旧関係は不明で

ある。外形の周溝は、幅18~53cm、内側の溝が接する部分が広くなっている。深さ6~7cm、断面形は「U」字形である。底面は凸凹がある。底面レベルはやや東側に傾斜している。周溝内より5個のピットが検出されている。内側の周溝は、幅12~53cm、深さ3~17cm、断面形は「U」字形である。底面はほぼ平坦で、底面レベルは東側へ傾斜している。周溝より2個のピットが検出されている。

**柱穴**: 住居跡の範囲内と推定される部分から、18個のピットが検出されている。ピット7、8、9が重複関係にあり、ピット9が最も古く、7、8の新旧関係は不明である。また、ピット10、11も重複関係にあり、新旧関係は不明である。いずれも掘り方のみで、柱痕跡は検出されなかつた。本住居跡に伴う柱穴はピット1、3、10が考えられるが、ピット12もその可能性がある。住居跡南東部は擾乱のため不明である。



21号住居(1-21住居)炉跡土層記録表

層位	地名	土色	性状	備考
1	1 極 10YR4/4 2 極 紅 10YR3/3	—	シルト 粘土	第1の洗出物及びカーム層を含む 泥炭より脱水した
2	3 極 10YR4/6 4 極 7.5YR4/6	—	シルト 粘土	泥炭の洗出物を含む 熱影響レルト

第201図 21号住居炉跡

21号住居跡ピット

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
横内	横 内	横丸奥方	横 口	横 内	門	不 壁	横 内	横 内	横丸方	門	門
横 6	37	24	36	37	31	16	25	20	19	42	28
No.	12	13	11	15	16	17	18	—	—	—	—
形状	門	門 内	門 内	門	横 内	門	横 内	—	—	—	—
南北	31	19	25	13	50	35	28	—	—	—	—

## 炉

(位置・方向) 住居跡西側やや北寄りに位置し、炉の端部の壁は住居跡の壁の一部となっている。長軸方向は、S-65°-Eである。

(規模・平面形) 土器埋設石囲部の先端部は、H-21風倒木痕に切られているが、最大長280cm、最大幅70cmである。平面形はダルマ形である。

(構造) 土器埋設石囲部、敷石石組部、掘り込み部からなる複式炉である。

土器埋設石囲部・先端部は搅乱を受けているが、長さ60cm、幅45cmである。炉長軸方向に2個の土器が埋設されている。先端に近い方は、搅乱のため斜位につぶれた状態になっており、径は不明である。先端部に数個の石が残存している。敷石石組部に近い方の埋設土器は、径約30cmの土器である。掘り込み精査を行なっていないため詳細は不明である。南半部に石囲部の石が残存している。

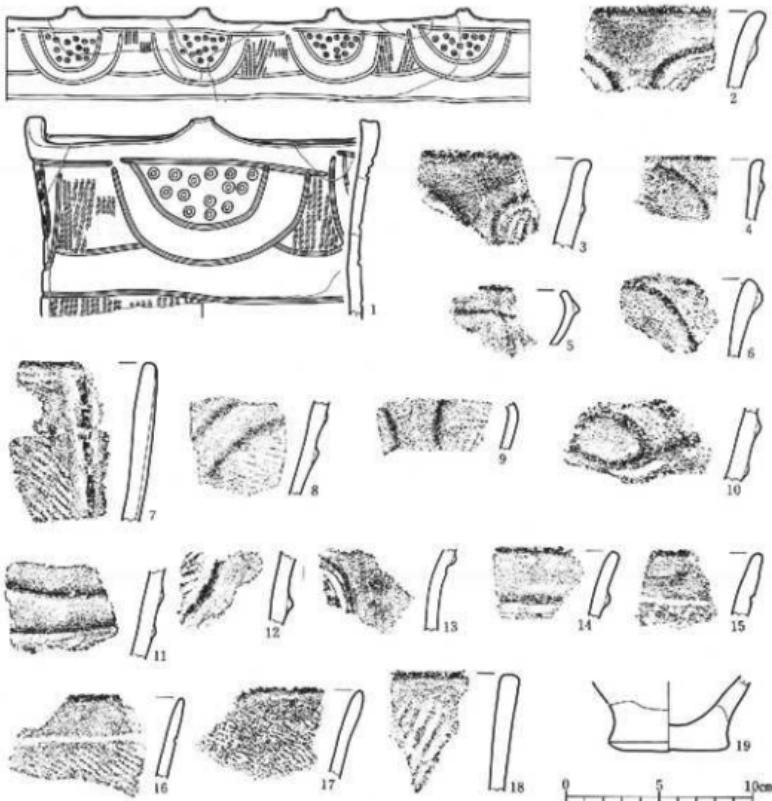
敷石石組部・長さ65cm、幅65cmの台形である。確認面から敷石底面までの深さは、32cmである。底面の石の上に奥壁部、側壁部の石がのっている。側壁部分、奥壁部分は1~2段しか残っておらず、上段の石は検出されなかった。

掘り込み部・長さ155cm、幅70cmである。確認面から掘り込み部底面までの深さは10cmである。底面は平坦であり、中央部に径18cm、深さ10cm、西側に径15cm、深さ15cmのピットが検出されている。また、端部に幅11cm、深さ7cm、長さ約70cmの溝が検出されている。

(使用痕跡) 土器埋設石囲部の周囲は、赤変しており、火熱を受けた痕跡が認められる。

(構築方法) 断ち割り等の精査を行なっていないため、不明である。

**建物の出土状況:** 本住居跡及びI-21風倒木痕の遺物が、取り上げの際にどちらもI-21住居跡としてとり上げてしまったものがあるため、堆積土出土とした遺物については、混在しているものがあり、明確に分離することはできなかった。確実に本住居跡に伴なう遺物は炉内より出土している遺物のみである。



No.	層位	器形	外 形	内 面	基 部	分 類	備 考
1	下 部, 磚石上	深 盤	弦紋, 倒尖足, 脊高直, 直口	磨光(燒)		X IIb	
2	地 面	深 盤	弦紋	磨光(燒)		X	
3	地 面	深 盤	弦紋, LR燒文	磨光(燒)		X	
4	地 面	深 盤	弦紋	磨光(燒)		X	
5	地 面	深 盤	弦紋	磨光(燒)		X	
6	地 面	深 盤	弦紋	磨光(燒)		X	
7	地 面	深 盤	弦紋, LR燒文, LRL燒文	磨光(燒)		X or VI	
8	即	深 盤	弦紋, LR燒文	磨光(燒)		X	
9	即	深 盤	弦紋, 不明燒文	磨光(燒)		X	
10	地 面	深 盤	弦紋	磨光(燒, 磨)		X	
11	地 面	深 盤	弦紋, RL燒文	磨光(燒, 磨)		X	
12	地 面	深 盤	弦紋, RLL燒文	磨光(燒, 磨)		X	
13	地 面	深 盤	弦紋, 小弦紋, LRL燒文	磨光(燒)		X	
14	地 面	深 盤	弦紋	磨光(燒)		B I	
15	地 面	深 盤	弦紋, RL燒文	磨光(燒)		B IV	
16	地 面	深 盤	弦紋, RL燒文	磨光(燒)		B IV	
17	地 面	深 盤	不明燒文	磨光(燒, 磨)		B	
18	地 面	深 盤	RL燒文	磨光(燒, 磨)		B VI	
19	地 面	深 盤	+	+	+	+	

第202圖 21號住居跡出土土器



第203図 21号住居跡出土石器

第44表 21号住居跡出土土器集計表

分類	出土位置	堆積土		炉	合計
		A	B		
口縁部	A X	7		7	
	A XI	2		2	
	B I	2		2	
	B IV	3		3	
	B VI	3		3	
	B VII	2		2	
	C	5		5	
	小計	24	0	24	
	A III IV	1		1	
	A V	5		5	
体部	A X	11	3	14	
	A XI	2		2	
	B II	1		1	
	B XV	6		6	
	B	89	3	92	
	C	52	5	57	
	小計	167	12	179	
	V	8	0	8	
	小計	8	0	8	
	合計	199	12	211	

#### 26号住居跡 (I - 24a 住居跡)

遺構の確認：H・I-20・21に位置し、第4層上面で確認された。削平及び切り合いのため、住居跡堆積土、床面、炉は不明である。

重複・増改築：19号住居跡に切られており、本住居跡の方が古い。北側に溝が延びる部分があり改築の可能性がある。

規模・平面形：周溝の残存部より、径約5mの円形を基調とした平面形であると推定される。

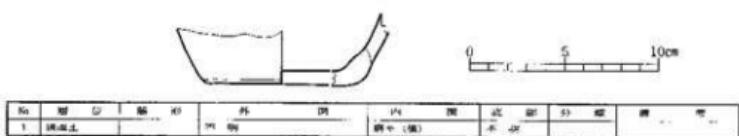
壁：住居跡残存部南西端で23cmの高さで残存する。床面から緩やかな角度で立ち上がる。

周溝：住居残存部分は全廻している。幅13~40cm、深さ8~32cm、断面形は「U」字形である。

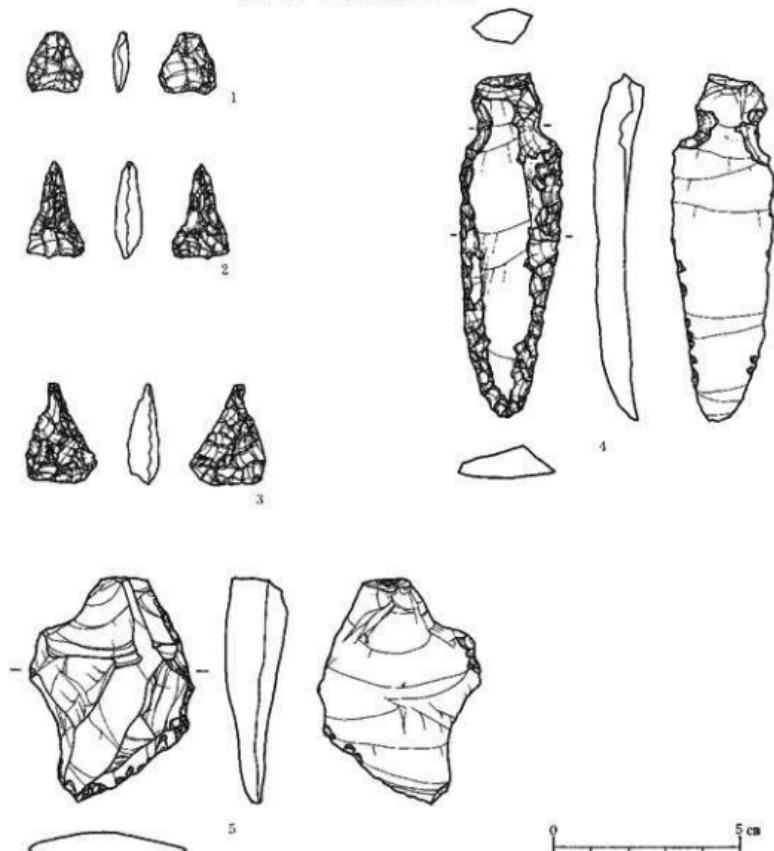
底面には大きな凹凸があり、10cm程度の段差を持つ部分もある。底面レベルは東側へ傾斜している。周溝内より5個のピットが検出されている。また北側に2ヶ所張り出す部分がある。東側は、幅35cm、深さ11cm、長さ約80cm、断面形は「皿」形である。西側は、幅43cm、深さ19~30

第45表 21号住居跡出土石器集計表

分類	出土位置	堆積土	確認面	合計
スクレイバー	I	1	1	2
剝片(チップ含)			1	1
小	II	1	2	3
凹石トセイ石	III	1	1	1
小	IV	1	0	1
義	V	5		5
縫	VI	1		1
小	計	6	0	6
合	計	8	2	10



第204図 26号住居跡出土土器



第205図 26号住居跡出土石器 (1)

No.	種別	層位	長×幅×厚(cm)	重量(g)	刃材	使用面	備考
1	石 鋸A	床	16.40×14.85×3.75	0.75	ノコ	—	—
2	石 鋸B	床	23.45×13.20×7.00	1.95	ノコ	—	アスマルト付鋸
3	石 鋸C	堆積土	26.40×29.00×7.05	2.40	鉄(?)	—	—
4	石 鋸	堆積土	32.00×39.45×10.00	22.60	木(?)	—	アスマルト付鋸
5	二次加工ある削片	床	60.35×43.22×15.85	27.40	木(?)	—	—



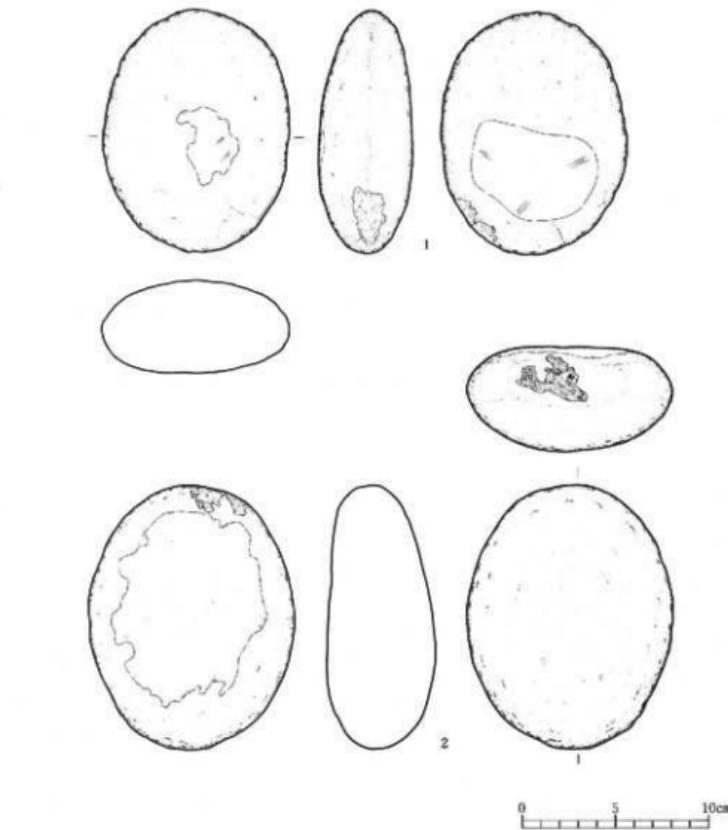
第206図 26号住居跡出土石器(2)

No.	類別	部位	長×幅×厚(mm)	重量(g)	石種	使用状況	備考
1	一次加工品小削片	堆積土	41.50×29.05×14.15	13.65	麻江石	—	
2	河 積	堆積土	36.35×42.70×18.30	90.15	麻江石	—	
3	心 鋸	堆積土	38.60×45.25×13.45	21.10	石 鋸	—	

cm、長さ130cm、断面形は「U」字形である。

柱穴：住居跡範囲内で柱穴と考えられるのは、ピット34のみであり、削平を受けている部分が大きいため不明である。

遺物の出土状況：明らかに本住居跡より出土した遺物と認められるもののみを示した。



No.	種別	地層	高×幅×厚(cm)	重量(g)	計数	使用状	備考
4	磨石器	堆積土	130×90×51	768.0		端片面	
5	磨削器	堆積土	141×111×59	1256.5		端片面・端一面	

第207図 26号住居跡出土石器(3)

## 2. 土壙

今回の調査で検出された土壙のうち、明らかに縄文時代以外のものであることが判明した土壙を除いた328基について取り上げる。遺物の出土がなく、所属時期が明らかでないものについて便宜上、本項の縄文時代の土壙として取り上げてある。

土壙の形態は、次の4タイプに分類できる。

**第1類：平面形**は円形あるいは梢円形を基調とし、上端より下端の方が広い、壁がオーバーハングした、いわゆる「フラスコ状」を呈する土壙である。この土壙には、壁面及び堆積土の状況等から、上端が下端より広いものの中でもこの類に含めたものがある。さらに底面中央付近のピットの有無により細分される。

1 a類：底面にピットをもたないもの。

1 b類：底面にピットをもつもの。

**第2類：平面形**は長方形で、壁が底面から急角度で立ち上がっているものである。この類は深さが、造構確認面から150cm以上のものである。

**第3類：平面形**は第2種と同様、長方形あるいは隅丸長方形を呈し、壁が底面から急角度で立ち上がっている土壙であるが、深さは確認面から100cm以下のものである。底面の中央付近のピットの有無によって細分される。

3 a類：底面にピットをもたないもの。

3 b類：底面にピットをもつもの。

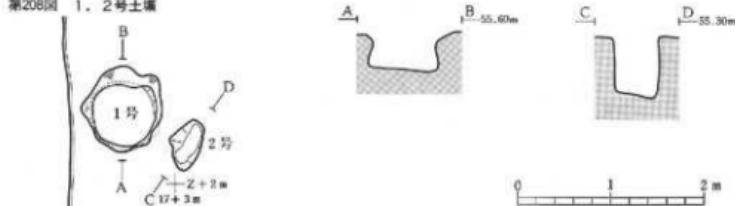
**第4類：上記分類以外の土壙**である。平面形には、円形、梢円形及びそれらを基調としたもの、長方形を基調としたもの、不整形のものがある。

**補** この土壙の形態分類における第1～第3類は、報紙時の2～4類に対応している。報紙における1類及び5類については、明確に分離することが困難であり、本文では第1～第3類以外のものを第4類としてとりまとめてこととした。

第43表 土壌 No 新旧対照表

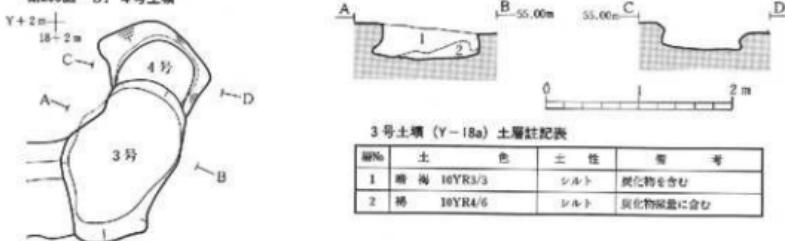
土名	分類	名	0-34C	-b	137	J-23d	t	F8	K-2CC	f	2a	L-20g	4
Z-17a	1a	67	O-21b	1b	152	J-25g	t	204	K-2-a	1a	265	I-20k	4
Z-17	4	68	O-2a		154	J-23b	t	204	J-21a	4	266	I-19C	4
Y-18a	1a	69	N-29	4	155	J-23a	t	204	J-21a	4	267	I-20e	4
Y-18b	1a	70	N-29b	3b	156	K-24		222	J-21b	4	268	I-20d	4
X-18a	4	71	N-29a	2b	157	K-23		204	J-21C	4	269	I-20f(1)	4
X-18b	4	72	N-25	1b	158	J-22d	4	204	J-21d	4	270	L-22a	4
W-19	4	73	M-26b	4	159	J-25	4	205	I-23a	4	271	I-22b	4
W-19	1a	74	M-26a	4	160	H-22C	1b	205	I-21b	4	272	L-20C	4
U-19	4	75	H-24f	1b	141	P-22a	4	207	I-21e	4	273	I-20f(2)	4
U-20	4	76	H-24d	3b	142	P-22b	4	208	H-21b	4	274	L-20f(3)	4
V-20	4	77	H-24e	c	143	P-22c	4	206	Q-20a	4	275	K-19c	4
S-19b	4	78	N-24e	3b	144	P-22d	4	210	Q-19a	4	276	K-19d	4
S-19a	2	79	N-24a	a	145	P-21d	4	211	P-19	4	277	K-19b	4
S-17	4	80	N-23	1a	146	P-21g	4	212	Q-18	4	278	K-19e	4
T-19b	1a	81	K-25	1b	147	O-22a	4	233	P-18	4	279	K-19a	4
S-19a	1a	82	K-25b	4	148	O-22b	4	214	O-17	4	280	K-20b	4
X-22a	2	83	J-25	1b	149	O-22c	4	215	O-17b	4	281	K-20c	4
X-22b	4	84	J-25a	4	150	O-22d	4	216	O-18a	4	282	K-20a	4
X-22c	3a	85	L-22b	4	151	O-21	4	217	O-18b	4	283	J-17a	4
X-22d	4	86	H-25	1b	152	N-21b	1a	218	K-17	3b	284	J-17d	4
X-22e	4	87	L-24	4	153	N-21c	1a	219	K-17e	4	285	I-17c	4
W-24a	4	88	L-25	4	154	N-21a	1a	220	K-17a	4	286	I-17b	4
S-24a	4	89	J-24a	4	155	K-21d	4	221	N-18	4	287	I-17a	4
S-24b	1a	90	K-24a	c	156	N-21c	4	222	M-17a	4	288	I-17e	4
S-25	4	91	K-24b	4	157	N-21d	laer4	223	M-17b	4	289	I-18e	4
T-24a	4	92	K-24c	c	158	M-22d	5b	224	M-17c	4	290	I-18b	4
T-24b	1a	93	K-24d	4	159	M-22e	4	225	N-19a	4	291	I-18a	1b
U-27	4	94	K-24e	1a	160	M-24e	1a	226	M-22g	4	292	I-17f	4
V-30	4	95	J-24b	4	161	M-22h	4	227	N-19a	4	293	I-17g	4
W-30	4	96	J-24e	4	162	M-22i	1a	228	K-19a	4	294	H-18a	4
W-31a	4	97	J-24f	4	163	M-22b	4	229	K-20g	4	295	J-19a	4
W-31b	4	98	J-24g	4	164	M-22c	4	230	K-20b	4	296	J-19e	4
V-31	4	99	J-24i	4	165	M-22d	4	231	N-20c	1a	297	J-19b	4
V-31b	4	100	J-24d	1b	166	M-22a	1a	232	N-20c	4	298	J-19a	4
V-32	4	101	J-24s	1b	167	M-21a	4	233	N-19d	4	299	J-19s	4
V-32	4	102	J-24b	4	168	M-21b	4	234	N-20c	4	300	J-20a	4
U-32	2a	103	J-24c	c	169	M-21c	4	235	N-20e	1a	301	J-25b	4
U-33	1b	104	J-24	1b	170	L-22a	4	236	N-19e	1a	302	J-23c	4
T-32	4	105	K-23a	1a	171	L-22b	4	237	K-20d	4	303	J-20d	4
U-33	4	106	M-23e	1	172	L-22e	4	238	N-20b	1a	304	J-20c	4
P-30	3a	107	M-23b	4	173	L-22d	4	239	N-20g	4	305	I-19a	1a
O-30b	3b	108	M-23a	4	174	L-22c	3b	240	N-20k	5b	306	I-19b	4
O-29c	3b	109	M-23d	4	175	L-22f	1a	231	N-19k	1a	307	I-19e	4
O-29b	3b	110	M-23e	1a	176	K-22e	4	242	M-19g	4	308	I-19d	4
O-29	3b	111	I-23a	1a	177	K-22a	4	243	M-19b	4	309	I-19e	4
R-27	4	112	L-23s	4	178	K-22d	4	244	N-19c	1a	310	I-19f	4
G-27	4	113	L-23b	4	179	K-22d	4	245	M-19e	4	311	I-19g	4
P-28	1a	114	L-23c	1a	180	K-22b	4	246	M-20a	4	312	I-21f	4
S-19e	1a	115	L-23F	4	181	I-22a	1a	247	M-20b	4	313	I-20e	4
O-28	1a	116	L-23D	4	182	H-22a	4	248	M-20c	4	314	I-20d	4
S-29a	3b	117	L-23E	4	183	H-22d	4	249	I-17a	4	315	I-20g	4
S-28	4	118	K-23b	4	184	H-22e	4	250	L-17b	4	316	I-20h	4
M-29	4	119	K-23a	4	185	L-21b	4	251	I-18a	4	317	I-20f	4
M-29b	4	120	K-23f	4	186	L-21a	1a	252	L-16b	4	318	I-20a	3a
M-28	4	121	K-23g	4	187	L-21d	4	253	K-7a	4	319	H-19a	3a
L-30	1b	122	K-23i	4	188	L-21r	1	254	K-17b	4	320	H-20a	4
L-29	4	123	K-23k	c	189	K-21r	1a	255	K-12c	4	321	H-20b	4
L-28	4	124	K-23c	1a	190	K-21g	4	256	K-12d	4	322	H-20e	4
K-29b	1b	125	K-23d	4	191	K-21h	1a	256	K-17d	4	323	K-21b	木被
K-29	1b	126	K-23e	4	192	K-21f	c	256	K-16a	1a	325	J-22b	4
L-27	4	127	K-23c	1a	193	K-21g	4	257	L-15b	4	325	K-21b	木被
K-28	1b	128	K-23b	4	194	K-21h	4	258	L-15a	4	326	L-19P-1	4
R-22	4	129	J-23e	4	195	K-21i	4	301	L-19e	1a	327	I-24b	木被
Q-22	4	130	J-23f	4	196	K-21j	4	302	L-19g	4	328	K-24f	3b
Q-24	4	131	J-23g	4	197	K-21d	4	303	K-19f	4	329	K-24f	3b

第208図 1. 2号土壤



No.	地 区	盛 退 面	平 面 形	規 模	堅 高	備 考
1	Z-17	第4層上面	不整円形	65×65	45	本層の上部の傾斜に崩落の跡跡有。単層 (厚さ 7.5 YR3/3 シルト)
2	Z-17	第4層上面	不整楕円形	57×35	65	単層 (厚さ 16YR4/4 粘土質シルト)

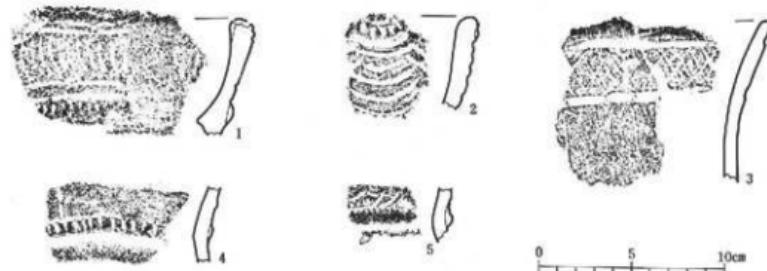
第209図 3. 4号土壤



3号土壤 (Y-18a) 土層記述表

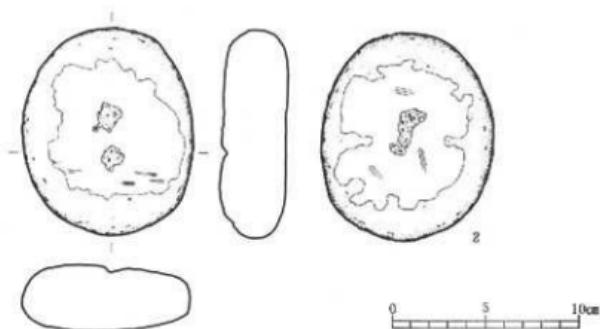
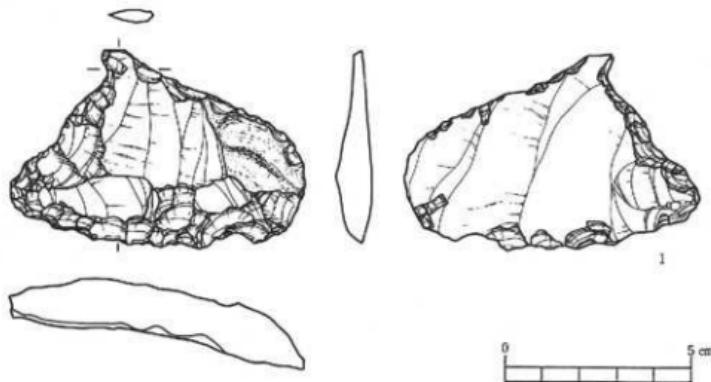
No.	土 色	土 性	備 考
1	暗褐色 10YR3/3	シルト	炭化物を含む
2	褐 10YR4/6	シルト	炭化物含量に含む

No.	地 区	盛 退 面	平 面 形	規 模	堅 高	備 考
3	X・Y-18	第4層上面	不整椭円形	167×110	36	4土塊を切り、溝状落込みに切られる。
4	Y-18	第4層上面	円形基調	80×(45)	28	3土塊に切られる。本層の上部に崩落の痕跡有。単層 (厚さ 16YR4/4 シルト)



No.	層 位	断 面	外 面	内 面	分 塊	備 考
1	堆積土	深 鮎	亂縞文・沈積文・刻目文	腐泥 (塊)	VII	
2	堆積土	深 鮎	亂縞文・沈積文・刻目文	腐泥 (塊・粘)	VII	
3	堆積土	深 鮎	沈積文	腐泥 (塊・粘)	VII	
4	堆積土	深 鮎	亂縞文・刻目文	腐泥 (塊)	VII	
5	堆積土	深 鮎	亂縞文・刻目文	腐泥 (塊)	VII	

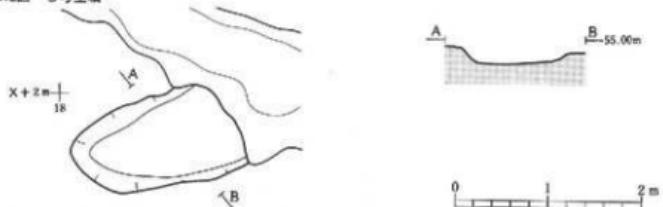
第210図 3号土壤出土土器



No.	種別	層位	長×幅×厚(㎜)	重量(㎏)	石材	使用痕	備考
1	石器	堆積土	53.79×28.79×13.80	43.15			
2	磨石器	堆積土	311×91×36	549.0		凹一圓面、凸一圓面	

第211図 3号土壤出土石器

第212図 5号土壤



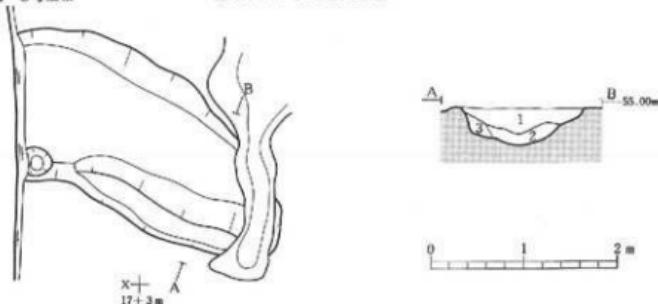
No.	地区	断面図	平面形	規 準	整 高	備 考
5	X-18	図4幅上面	橢円形基盤	(165)×95	23	8面に切られる。



No.	種類	層位	長×幅×厚(cm)	重量(Kg)	石材	使用痕	備考
1	石器A	培植土	(19.05) × (11.35) × 3.05	8.45	—	—	—

第214図 6号土壤

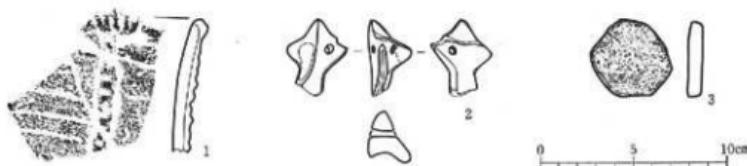
第213図 5号土壤出土石器



6号土壤(X-17a) 土層記表

層位	番号	土色	土性	備考
1	1	黒褐色 7.5YR2/2	シルト	鐵少々、ローム粒を含む
2	2	褐 7.5YR4/3	シルト	炭化物を含む
	3	褐 7.5YR4/4	シルト	ロームブロックを含む。炭化物微量を含む。

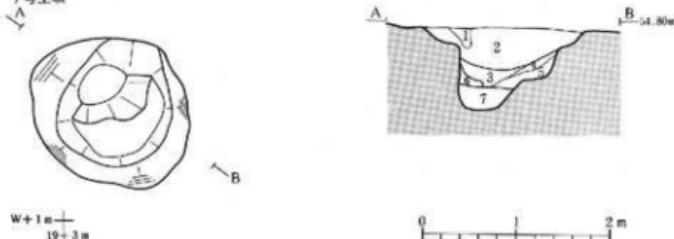
No.	地区	成層面	平面形	横模	鍵高	備考
6	X-17	第4層上面	央横円形基盤	(300) × 160	35	3溝、海状通込みに切られる。南壁に鉄、ビット有。



No.	層位	器形	外面	内面	分類	備考
1	培植土	葉形	沈縁文・LR縁文	磨光(擦)	VII	—
2	培植土	不明土器品	—	—	—	—
3	培植土	上輪河器	—	—	—	—

第215図 6号土壤出土土器。土製品

第216図 7号土壤

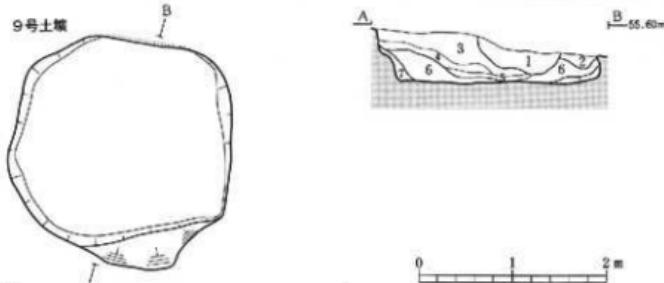


7号土壤 (W-19) 土層記表

層位	層%	土色	土性	備考
1	1	黒褐色 7.5YR2/2	砂質シルト	炭化物少量、無化鉄多量、ローム粒多量に含む
	2	黒褐色 7.5YR3/2	砂質シルト	ローム粒多量に含む
2	3	黒褐色 7.5YR2/2	シルト	ロームブロック混在中に含む
	4	黒褐色 7.5YR3/2	シルト	ローム粒少量含む
3	5	黒褐色 7.5YR3/2	シルト	炭化物微量、ロームブロック含む
	6	明褐色 7.5YR5/6	ローム	
4	7	褐色 7.5YR4/3	粘土	ローム粒

No	地 区	標 高	平 面 形	施 構	標 高	備 考
7	W-19	第4編上面	不整円形	137×115	95	本處の土壤の奥間に崩落の痕跡有。南壁面に泥有。

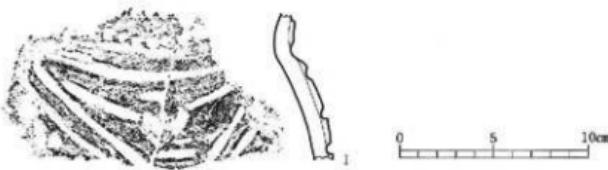
第217図 9号土壤



9号土壤 (U-19) 土層記表

層位	層%	土色	土性	備考
1	1	明黄色 10YR6/8	シルト	霜ふり状にローム粒を含む
2	2	暗褐色 10YR3/3	シルト	やや霜ふり状にローム粒を含む
3	3	黄褐色 10YR7/8	シルト	霜ふり状にローム粒を含む
	4	明黄色 10YR7/6	シルト	霜ふり状にローム粒を含む
4	5	明黄色 10YR6/8	シルト	霜ふり状にローム粒を含む。上層より下ローム粒や多量に含む
	6	黒褐色 10YR3/2	シルト	
5	7	黄褐色 10YR5/6	シルト	ロームと層%6が1:1で混じりあってある。

No	地 区	標 高	平 面 形	施 構	標 高	備 考
9	U-18・19	第4編上面	不整方形	237×225	61	1面に切られる。

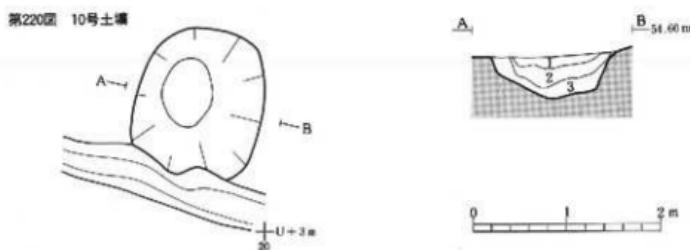


No.	層位	施形	外 面	内 面	分 壓	備 考
1	堆積土	洪 流	沈積文・網状文	滑り(横・縦・斜)	VII	

第218図 7号土壤出土器



No.	地 区	堆 積 層	平 面 形	規 模	盤 高	備 考
8	U・V-19・26	第4～5層上面	不整積円形	136×105	26	I. 7溝に切られる。

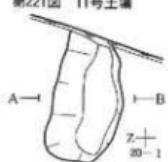


10号土壤 (U-20) 土層柱記表

No.	土 色	土 性	備 考
1	褐色系 7.5YR2/3	粗砂シルト	火山灰粒多量、炭化物微量に含む
2	褐 黄 7.5YR3/3	粗砂シルト	火山灰粒少量、炭化物微量、炭化物少量含む
3	褐 黄 7.5YR3/4	粗砂シルト	火山灰ブロック少々、炭化物少量に含む

No.	地 区	堆 積 層	平 面 形	規 模	盤 高	備 考
10	U・V-20	第4層上面	椭円形	(158)×135	42	7溝に切られる。

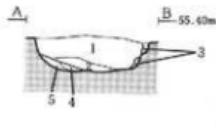
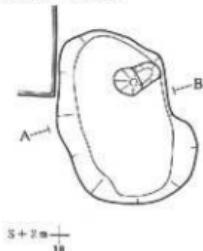
第221図 11号土壤



11号土壤(Y-20) 土層記載表

層位	土色	土性	備考
I	褐 7.5YR4/6	シルト	

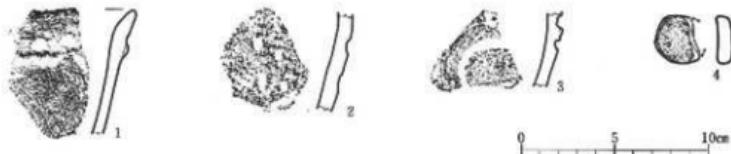
第222図 12号土壤



12号土壤(S-18b) 土層記載表

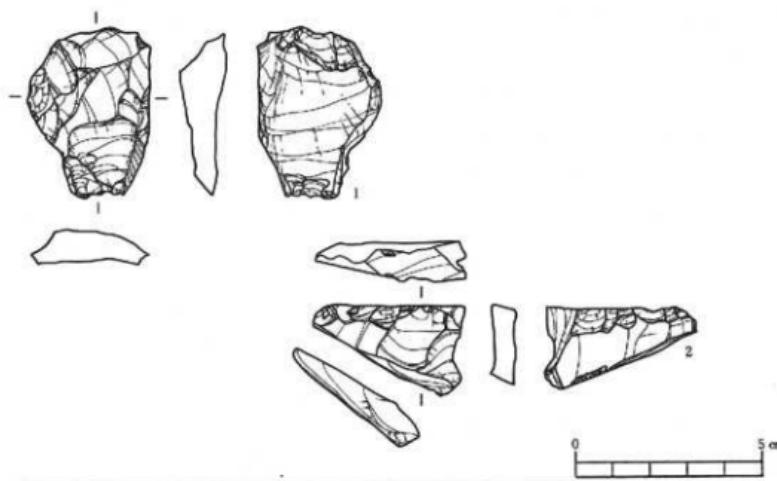
層位	層位	土色	土性	備考
1	1	黒褐色 7.5YR3/2	シルト	鐵炭粒を含む
2	2	褐褐色 7.5YR2/3	シルト	
3	3	褐 7.5YR4/6	ローム	
4	4	褐 7.5YR6/4	粘土質シルト	
5	5	褐褐色 7.5YR5/6	ローム	ロームブロック含む

No	地 区	調 研 図	平 面 形	黒 楊 健 庄	備 考
12	S-18	第4層上面	不整形円形	193×73	47 表面に30×25×15のピット有。



No	層 位	器 形	外 面	内 面	分 類	備 考
1	地盤土	深鉢	弦縫文・刻文	磨光(横・斜)	B III	
2	堆積土	深鉢	刻文	磨光(斜)	XI	
3	堆積土	深鉢	弦縫文・刻文・不明縫文	磨光(横・斜)	XI	
4	地盤土	土製円錐				

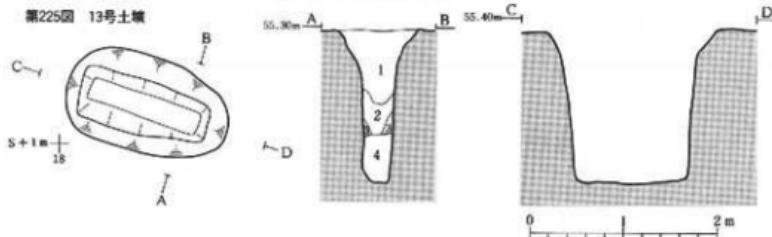
第223図 12号土壤出土器・土製円錐



No.	種別	層位	長×幅×厚(mm)	重量(g)	石材	使用痕	備考
1	ビエヌ・エスキュー	I層	45.50×32.40×12.15	16.75	頁岩	—	
2	石核	I層	24.05×40.05×10.90	5.50	頁岩	—	

第224図 12号土壤出土石器

第225図 13号土壤



13号土壤(S-18a) 土層註記表

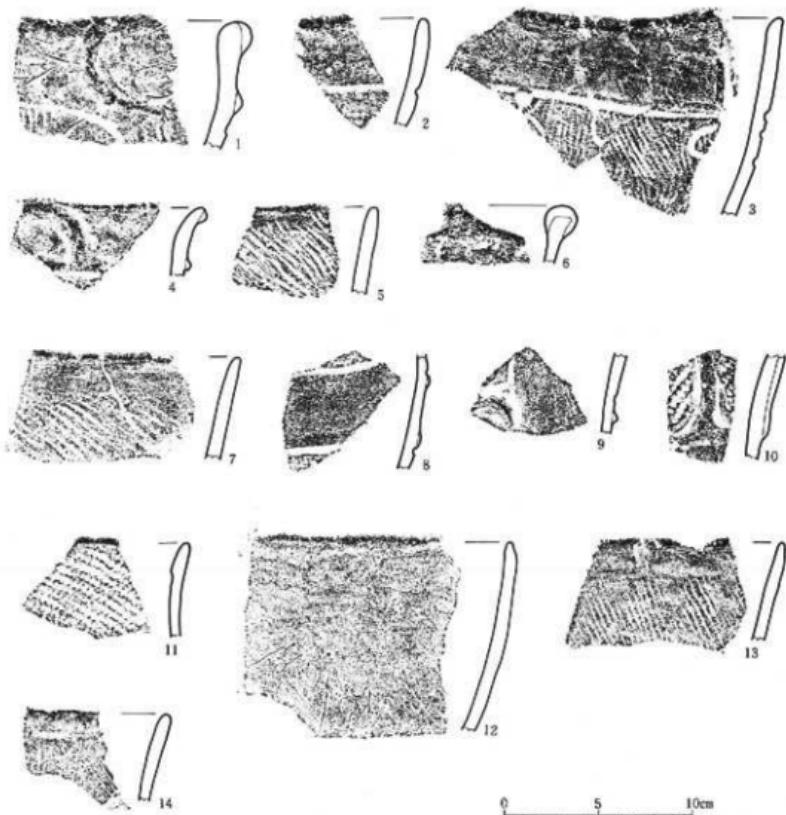
層位	調査No.	土色	土性	備考	
				1	2
1	1	黒褐色 10YR2/3	シルト	鉄粒が若干みられる	
	2	黒褐色 10YR2/2	シルト		
	3	暗褐色 10YR2/3	シルト	炭化物を含む	
2	4	黒褐色 10YR2/3	シルト		

No.	地区	成層面	平面形	基盤	整高	備考
13	S-18	第3層上面	長方形	139×56	166	本系の土壤の周囲に崩落の痕跡有。



号	层位	器形	外 面	内 面	分 带	编 号
1	1 层	深 筒	沈林文·刺画文·双栏条文	带+ (横·纵)	XI3b	

第226图 13号土壤出土土器(1)

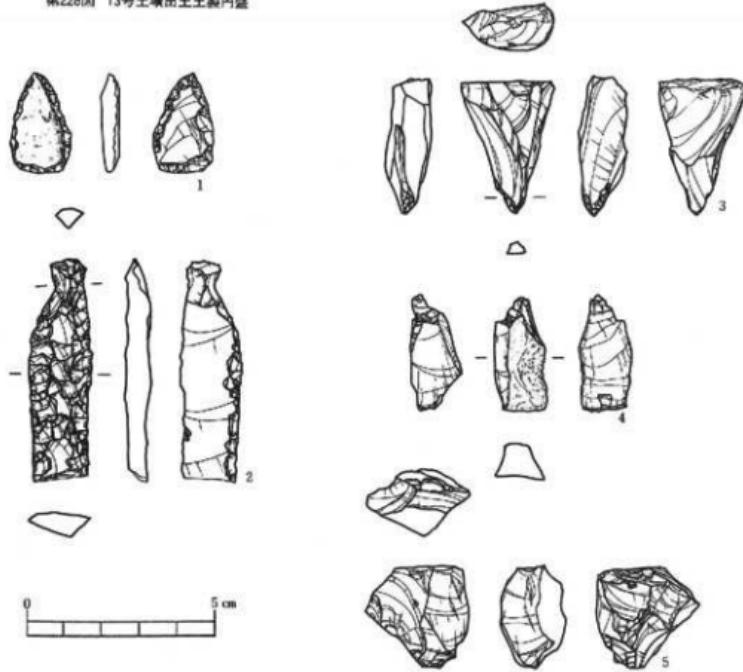


No.	層位	器形	外 観	内 観	分類	備 考
1	WNo.4	深 筋	縹緲文・沈縹文・R燃系文	縹々(横・斜)	X	
2	WNo.4	深 筋	沈縹文・不明調文	ナゲ・縹々(横)	B IV	
3	層No.4	深 筋	沈縹文・刺繡文・LR縹文	ナゲ(直)・縹々(横・斜)	XII 2	
4	層No.4	深 筋	縹緲文・沈縹文	縹々(直)	B II	
5	層No.4	深 筋	R燃系文	縹々(直)	B VI	
6	層No.4	——	筋 +	縹々(直・斜)	B VII	
7	層No.4	深 筋	LR縹文	ナゲ・縹々(横)	B VI	
8	層No.4	深 筋	縹緲文・沈縹文	縹々(直)	X	
9	層No.4	深 筋	縹緲文・沈縹文・RL縹文	縹々(直・斜)	X	
10	WNo.4	深 筋	縹緲文・沈縹文・RL縹文	縹々(直・斜)	XII 1	
11	WNo.4	深 筋	LR縹文	縹々(直・斜)	B VI	
12	堆積土	深 筋	L燃系文	縹々(直・横・斜)	B VII	
13	堆積土	深 筋	R燃系文	縹々(直)	B VI	
14	堆積土	深 筋	沈縹文	縹々(直)	B VI	

第227図 13号土塙出土土器 (2)

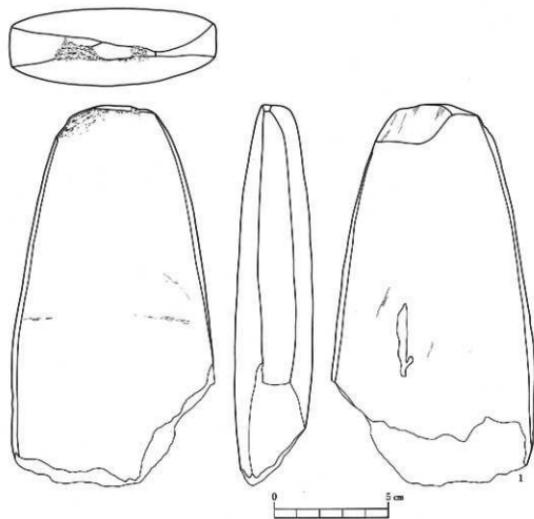


第228図 13号土壤出土土器内盤



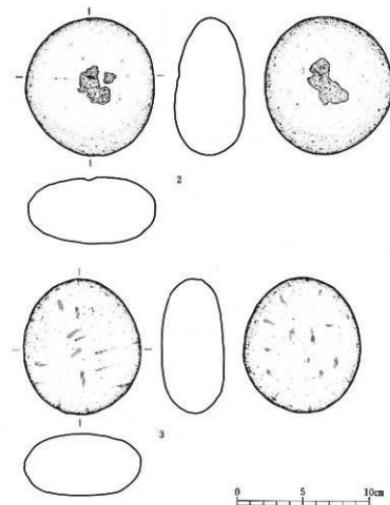
第229図 13号土壤出土石器(1)

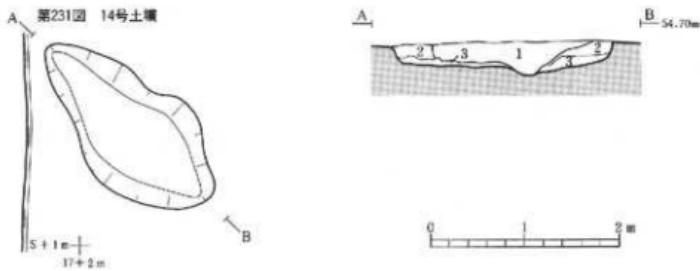
No.	種別	層位	長×幅×厚(cm)	重量(g)	石材	使用痕	備考
1	石鏡	1 層	26.65×15.30×4.50	1.95		—	
2	石匙	堆積土	(59.20)×16.50×6.50	6.60	頁岩	—	アスファルト付着
3	石錐	堆積土	35.30×24.25×12.50	7.75	頁岩	—	
4	ビニス・エスキーム	1 層	36.80×13.75×13.80	9.10	熱石英	—	
5	石核	1 層	27.50×27.70×18.10	9.65	玉髓	—	



編 別	質 地	長 × 闊 × 厚 (mm)	重 量 (g)	石 材	使 用 痕	備 考
1 切削石斧	帶鐵土	147.50 × 58.05 × 24.15	536.1	砂岩	—	
2 敲石器	帶鐵土	104 × 97 × 54	740.6		凹-圓面	
3 敲石器	帶鐵土	101 × 89 × 49	637.5		溝-全面	

圖230(四) 13號土壤出土石器 (2)

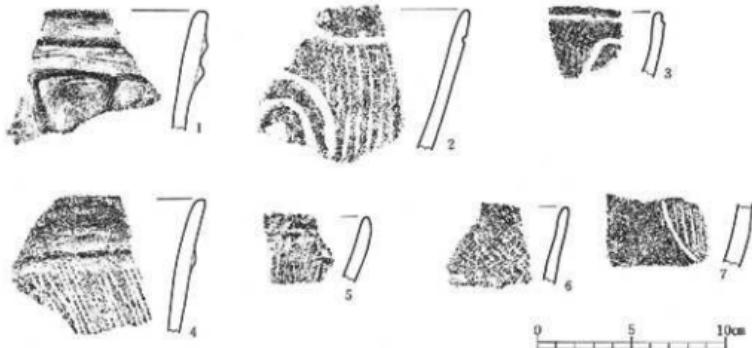




14号土壤 (S-17) 土層記表

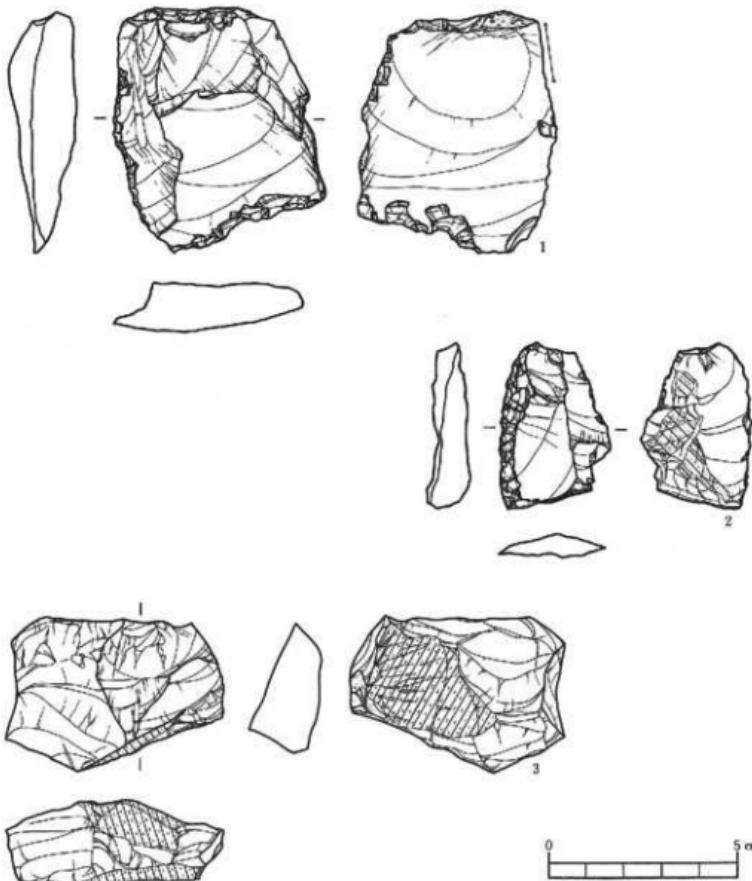
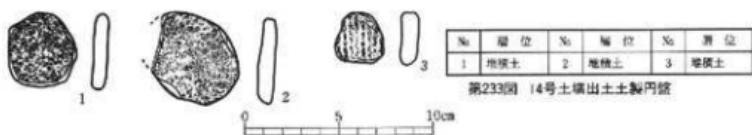
層位	層名	土色	土生	備考
1	1	黒褐色	7.5YR2/2	シルト 少量の炭化物及びロームをブロック状に含む
2	2	褐	7.5YR4/4	粘土質シルト
3	3	暗	7.5YR6/8	砂質シルト

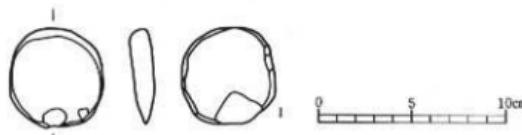
No	地 区	標 記 表	平 四 形	高 機	盤 高	備 考
14	S-17	第3層上面	不規則円形	235×124	23	



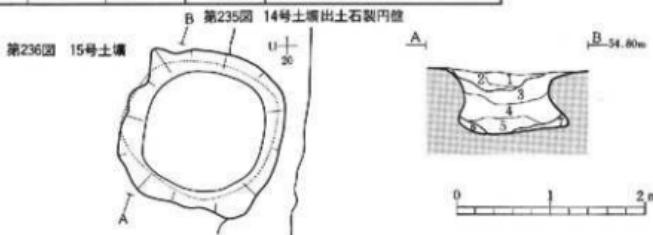
No	層 位	器 形	外 面	内 面	分 類	備 考
1	堆積土	深 跡	輪紋文・沈積文	窓キ(横)	XII	
2	堆積土	深 距	沈積文・L器系文	窓キ(横)	XII	
3	堆積土	深 距	沈積文・不明器文	窓キ(横)	XII	
4	堆積土	深 距	輪紋文・R器系文	窓キ(横)	B I	
5	堆積土	深 距	R器系文	窓キ(横)	B III	
6	堆積土	深 距	L器系文	窓キ(横)	B IV	
7	堆積土	深 距	沈積文・R器系文	窓キ(横)	X	

第232図 14号土壤出土土器





No.	種別	層位	重 量 (kg)	備 考
1	石製円盤	地盤土	36.75	

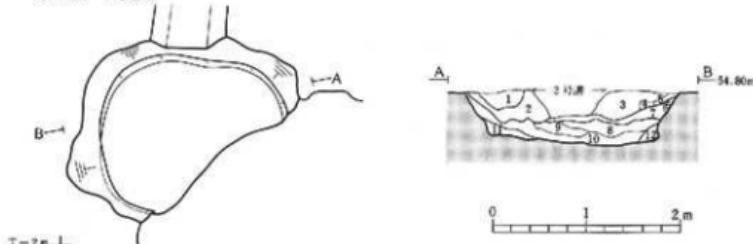


15号土壤 (T-19b) 土層記表

層位	層番	土 色		土 性	備 考	
		1	2		3	4
1	1	褐	7.5YR3/3	シルト	ローム粒、炭化物を若干含む	
	2	褐	7.5YR3/4	シルト		
2	3	褐	7.5YR4/4	シルト	ローム粒を含む	
	4	褐	7.5YR4/6	シルト	ローム粒、ロームブロック含む	
3	5	褐	7.5YR3/3	シルト	炭化物、ローム粒含む	
	6	にじい褐	7.5YR5/4	粘土質シルト		
	7	褐	7.5YR4/4	粘土質シルト		

No.	堆 区	調 測 面	平 面 形	規 模	標 高	備 考
15	T-19	第5層上面	不規則形	179×166	85	2面に切られる。

第237図 16号土壤



No.	堆 区	調 測 面	平 面 形	規 模	標 高	備 考
16	S-T-19-20	第5層上面	円形基調	260×135	61	2面に切られる。本來の土壠の周囲に遺物が散在する。

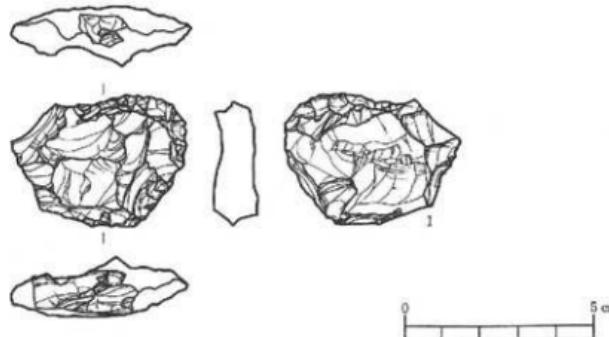
16号土壌 (S-19a) 土層記表

層位	層No.	土 色	土 性	備 考
1	1	黒褐色 7.5YR2/2	シルト	ローム粒をまだらに含む
	2	褐 7.5YR4/3	粘土質シルト	ローム粒を纏みり状に含む
	3	褐 7.5YR3/3	シルト	ローム粒。炭化物を含む
	4	黒褐色 7.5YR3/2	シルト	
	5	暗褐色 7.5YR3/4	シルト	ローム粒をブロックに含む
2	6	黒褐色 7.5YR4/4	粘土質シルト	
	7	褐色 7.5YR4/4	シルト	ローム粒をまだらに含む。炭化物を含む
3	8	暗褐色 7.5YR3/4	粘土質シルト	ローム粒を含み、ロームブロックがみられる
	9	黒褐色 7.5YR4/6	シルト	
	10	暗褐色 7.5YR3/4	シルト	ローム粒。炭化物を含む
4	11	褐色 7.5YR4/4	粘土質シルト	
	12	黒褐色 7.5YR4/6	シルト	



No.	層 位	圖 形	外 面	内 面	分 類	備 考
1	堆積上	深鉢	沈紺文・RL繩文	マメヅ	B VI	
2	堆積土	深鉢	RL繩文	開口(縦・横)	B VII	
3	堆積土	深鉢	陳紺文・沈紺文・LR繩文	縦口(5)		

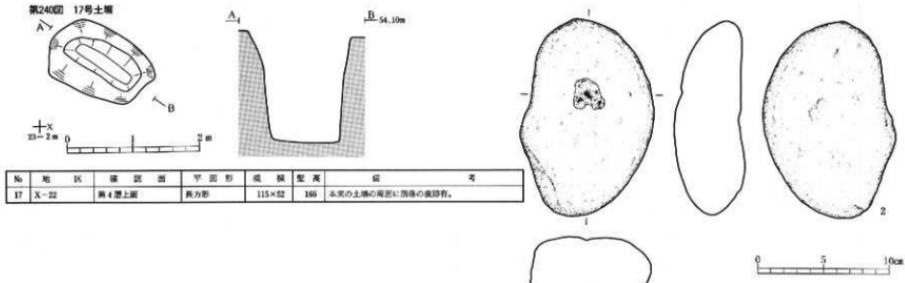
第238図 16号土壌出土土器



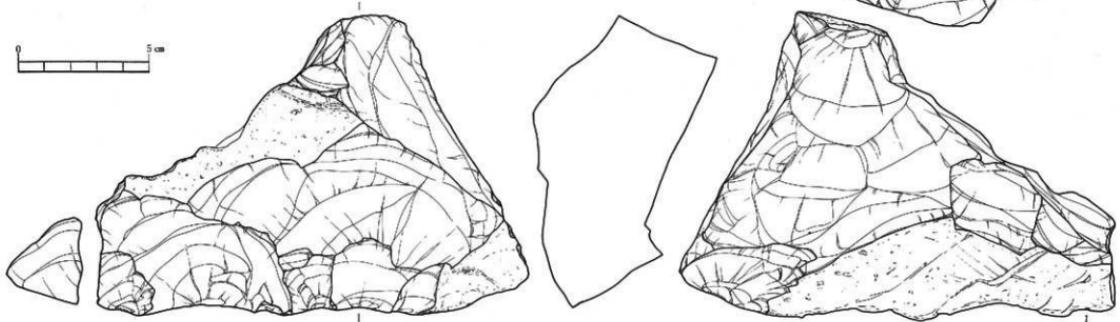
No.	種 别	層 位	長 × 幅 × 厚(mm)	重 量(g)	石 材	使 用 時	備 考
1	スクレイパー	堆積上	35.29×45.90×15.80	20.20	メノウ	—	

第239図 16号土壌出土石器

第240図 17号土壙

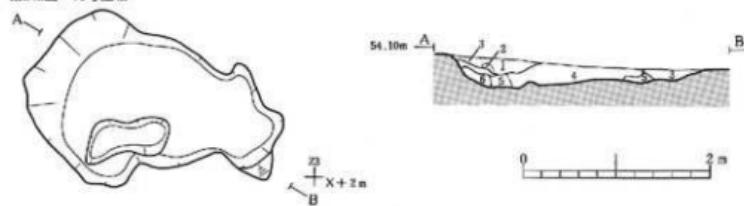


No.	種 别	位 置	長 × 幅 × 高(cm)	重 量(kg)	石 材	使 用 例	備 考
1	石核	粘土土	164.29×113.66×78.35	1119.5	—	—	—
2	破石器	粘土土	149×101×56	1035.5	四一片面	—	—



第241図 17号土壙出土石器

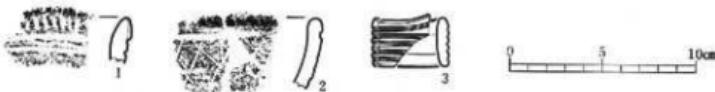
第242図 18号土壤



18号土壤(X-22b) 土層記註表

層位	層No	土 色	土 性	備 考
1	1	暗褐色 7.5YR3/4	シルト	鐵土粒少盛、炭化物粒少盛。砂多量に含む
2	2	褐 7.5YR4/4	シルト	鐵土粒微量に含む
3	3	褐 7.5YR4/4	粘土質シルト	ローム粒少量含む
4	4	暗褐色 7.5YR3/5	シルト	炭化物少盛。ローム粒少量含む
5	5	褐 7.5YR4/4	シルト	鐵土粒少盛、炭化物粒微量に含む
6	6	褐 7.5YR5/6	粘土質シルト	ローム粘土粒微量、炭化物少々含む

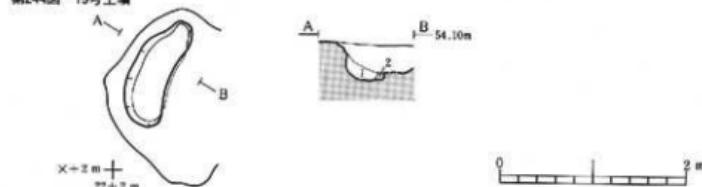
No	地 区	確 認 図	平 面 形	幅 横	延 長	備 考
18	X-22	第4層上面	不整形	270×170	47	底面開拓面に約43×7のビット有。



No	層 位	層 形	外 表	内 表	分 類	備 考
1	地耕土	深 耕	風紋文・刻印文	マダツ	VII	
2	堆積土	深 耕	沈積文	泥ヶ(穂)	VIII	
3	堆積土	不明土製品				

第243図 18号土壤出土土器・土製品

第244図 19号土壤

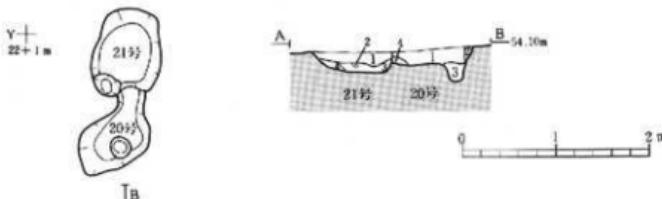


19号土壤(X-22c)

層No	土 色	土 性	備 考
1	褐 7.5YR5/6	ローム	暗褐色シルト斑点状に含む
2	褐 7.5YR5/6	ローム	

No	地 区	確 認 図	平 面 形	幅 横	延 長	備 考
19	X-22	第5層(18土壤底面)	橢円形	119×43	21	18土壤に切られている。

第245図 20. 21号土壠 A



20号土壠 (X-22d) 土層註記表

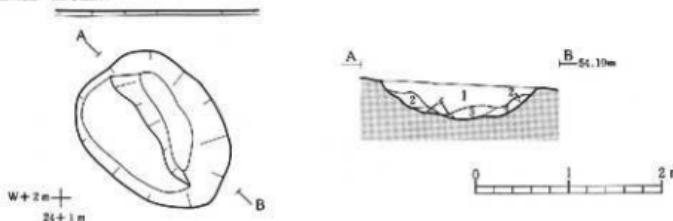
層位	層No.	土色	土性	備考
1	1	暗褐色 7.5YR3/4	シルト	風化礫微量、洪土粒と炭化物少々含む
	2	黒褐色 7.5YR2/2	シルト	ローム粒多量、炭化物微量、焼土粒微量に含む
	3	暗褐色 7.5YR4/4	シルト	炭化物微量に含む
	4	褐色 7.5YR4/6	シルト	ローム粒少々含む

21号土壠 (X-22a) 土層註記表

層位	層No.	土色	土性	備考
2	1	褐色 7.5YR4/4	シルト	風化礫少々、洪土粒少々、炭化物少々含む
	2	赤褐色 5YR4/6	シルト	純土多量に含む
	3	褐色 7.5YR4/4	シルト	炭化物少量、ローム粒を断続的に含む
	4	褐色 7.5YR4/3	シルト	ローム粒を少量含む

No.	地 区	標 高	平 面 形	規 模	堅 高	備 考
20	X-22	第4層上面	不整形	85×73	29	21土壠に切られる。底面が西側に24×21×15のピット有。
21	X・Y-22	第4層上面	規則形	99×74	26	20土壠を切る。両西端に32×22×16のピット有。

第246図 22号土壠

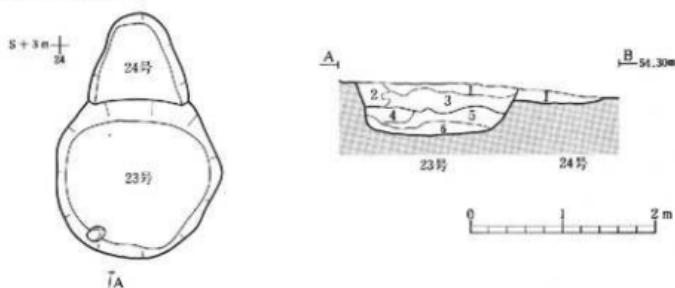


22号土壠 (W-24a) 土層註記表

層位	層No.	土色	土性	備考
1	1	褐色褐 7.5YR2/3	粘土質シルト	
	2	褐色 7.5YR3/4	粘土質シルト	ロームを斑状に含む
	3	褐色 7.5YR3/4	粘土質シルト	小礫を若干含む、Fire Sandを含む
	4	褐色 7.5YR4/6	シルト質粘土	小礫及び砂粒を含む

No.	地 区	標 高	平 面 形	規 模	堅 高	備 考
22	W-24	第4層上面	規則形	182×83	56	底面が西側が一段高くなっている (比高16cm)。

第247図 23, 24号土壤



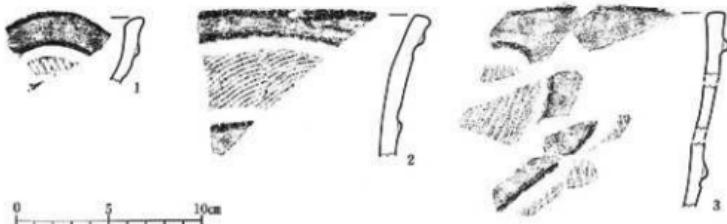
23号土壤 (S-24a) 土層註記表

層位	層%	土 色	土 性	備 考
1	1	黒褐色 7.5YR2/2	シルト	火山灰分少量、炭化物微量少量、鐵土微量含む
	2	暗褐色 7.5YR3/4	砂質シルト	火山灰ブロック多量、炭化物微量含む
	3	黒褐色 7.5YR2/2	砂質シルト	火山灰分少量、炭化物微量、洗土少量、風化鉄微量含む
2	4	褐褐色 7.5YR2/3	砂質シルト	火山灰分少量、炭化物微量、無土少量含む
	5	暗褐色 7.5YR3/3	砂質シルト	火山灰分少量、炭化物多量、風化鉄微量、洗土粒多量、巨大円礫含む
	6	褐褐色 7.5YR2/3	砂質シルト	火山灰分少量、風化物微量含む

24号土壤 (S-24b) 土層註記表

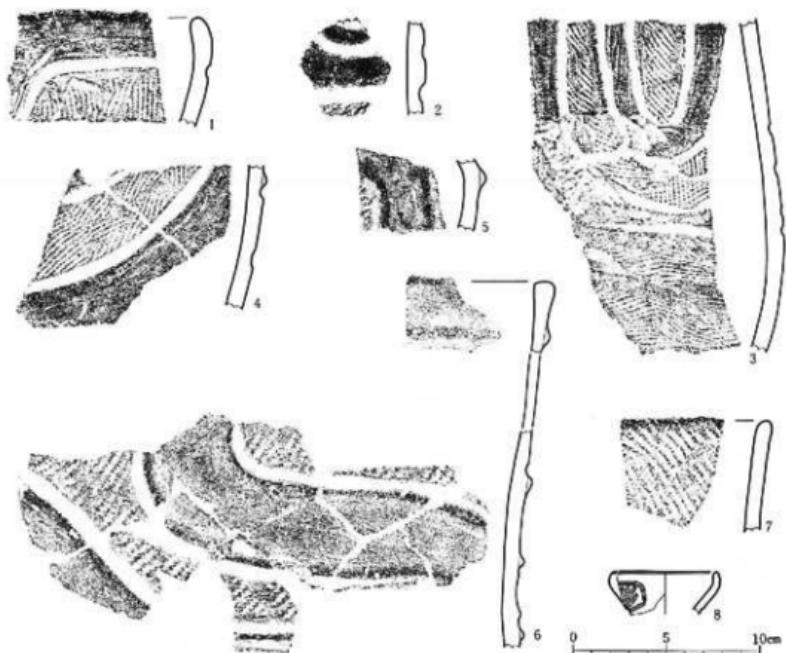
層%	土 色	土 性	備 考
1	黒褐色 7.5YR2/2	シルト	火山灰分少量、炭化物微量、風化鉄微量、鐵土微量含む

No.	地 区	確 認 田	平 面 形	座 標	標 高	標 号
23	S-24	第4層上面	円 形	178×177	37	24号土壤を切る。
24	S-24	第4層上面	楕円形基盤	94×107	12	23号土壤に切られる。



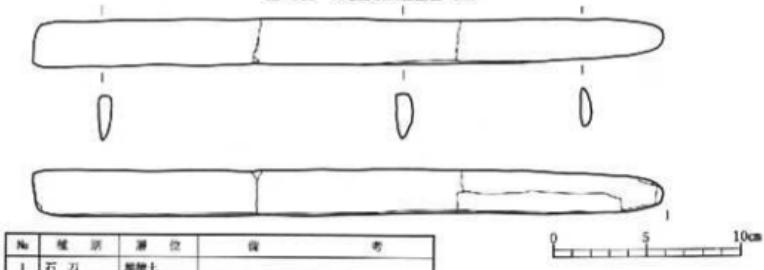
No.	層 位	層 形	外 面	内 面	分 類	備 考
1	堆積土	深 細	疏縫文・沈積文・LR縫文	磨光 (9)	X	
2	堆積土	深 細	疏縫文・沈積文・LR縫文	磨光 (9・10)	X	
3	堆積土	深 細	疏縫文・沈積文・LR縫文	磨光 (9)	X1	

第248図 23号土壤出土土器 (1)

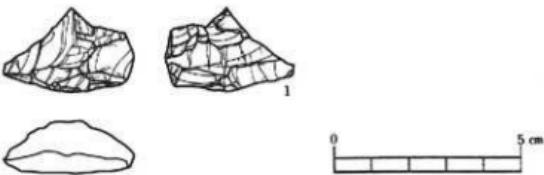


No.	層位	器形	外面	内面	分類	備考
1	堆積土	圓錐	沈綱文・KL縞文	崩リ・崩キ(横)	X	
2	堆積土	圓錐	沈綱文・不明縞文	崩キ(横・斜)	X	
3	堆積土	圓錐	沈綱文・L縞文	ナゾ(横・崩キ(横・斜))	X	
4	堆積土	圓錐	沈綱文・沈綱文	崩キ(横・崩・斜)	X	
5	堆積土	圓錐	縦綱文・RL縞文	崩キ(横・斜)	X	
6	堆積土	圓錐	沈綱文・沈綱文・RL縞文	崩リ・崩キ(横・斜)	X	
7	堆積土	圓錐	LH縞文	崩キ(横)	B VI	
8	堆積土	ミニチュア	沈綱文・LK縞文	崩キ		

第249図 23号土壤出土土器(2)

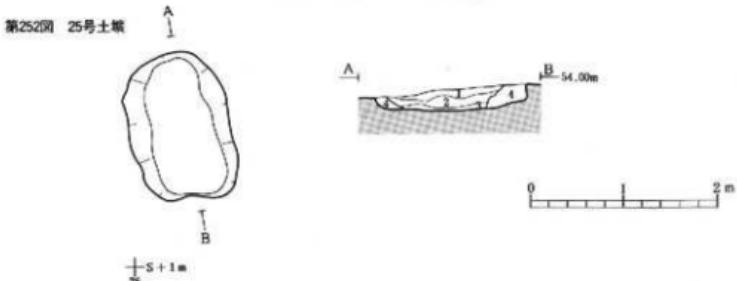


第250図 23号土壤出土石製品(1)



No.	種別	層位	長×幅×厚(mm)	重量(g)	石材	使用痕	備考
1	石核	堆積土	22.20×33.50×14.35	5.90	頁岩	—	

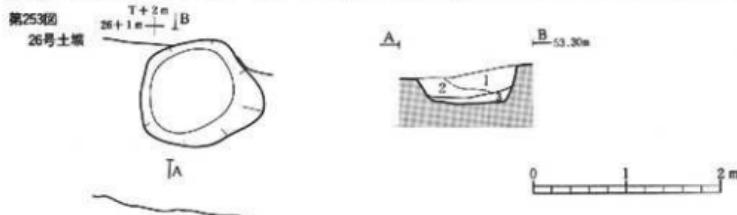
第251図 23号土壤出土石器(2)



25号土壤(S-26) 土層記表

層位	層No.	上色	土性	備考
1	1	赤褐色 10YR3/4	シルト	炭化物若干含む
	2	暗褐色 7.5YR3/4	シルト	ローム状、炭化物含む
	3	暗褐色 7.5YR3/3	シルト	ローム状、炭化物含む
2	4	黒 7.5YR4/6	シルト	ローム状、炭化物含む

No.	地区	標記面	平面形	層構	標高	備考
25	S-25・26	第4層上面	複円形	159×137	17	

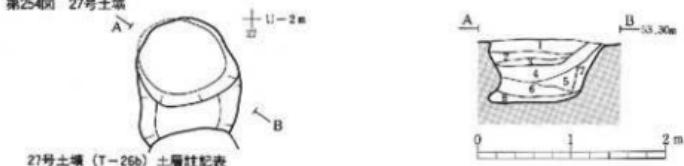


26号土壤(T-26a) 土層記表

層位	層No.	上色	土性	備考
1	1	暗褐色 7.5YR3/3	砂質シルト	火山灰粒多量、風化塵少量、炭化物微量に含む
	2	暗褐色 7.5YR3/3	砂質シルト	火山灰粒多量に含む
	3	暗褐色 7.5YR3/4	砂質シルト	火山灰粒少、風化塵少量、明黃褐色玉砂シルトアロック少量含む

No.	地区	標記面	平面形	層構	標高	備考
26	T-26・27	第5層(1構造面)	不整円形	133×113	37	1構に切られ、27土壤を切る。

第254図 27号土壤

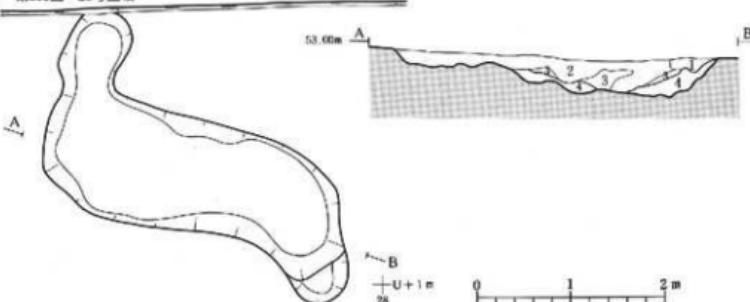


27号土壤 (T-26b) 土層記載表

層位	層No.	土色	土性	備考
1	1	明黄褐色 2.5YR8/6	シルト質粘土	炭化物・砂粒多く含む
	2	明黄褐色 10YR8/8	粘土	
	3	明黄褐色 2.5YR6/6	粘土	砂粒含む
2	4	明黄褐色 10YR6/6	粘土	
	5	黄褐色 10YR5/6	砂質粘土	砂粒多く含む
	6	暗 黄褐色 10YR3/3	粘土	スコリア含む
3	7	明灰褐色 2.5YR6/8	砂質粘土	砂粒多く含む
4	8	暗 黄褐色 10YR4/4	シルト質粘土	スコリア含む

No.	地 区	標 高	面	平 延	形	規 模	壁 高	備 考
27	T-26	第4層上面		不整形		122×110	73	26号堤に切られる。堆積上中に粘土が詰められている。

第255図 28号土壤

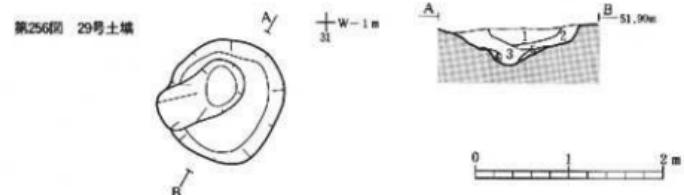


28号土壤 (U-27) 土層記載表

層位	層No.	土色	土性	備考
1	1	暗 黄褐色 7.5YR3/4	砂質シルト	火山灰粒多量に含む
	2	暗褐色 7.5YR2/3	砂質シルト	火山灰粒多量、炭化物微量、円錐微量に含む
	3	暗 黄褐色 7.5YR3/3	砂質シルト	火山灰粒多量、炭化物微量に含む
2	4	暗 黄褐色 7.5YR3/2	砂質シルト	火山灰粒少量、炭化物微量に含む

No.	地 区	標 高	面	平 延	形	規 模	壁 高	備 考
28	U-27	第4層上面		不整形		226×129	92	山麓・高瀬に張り出しがある。

第256図 29号土壤

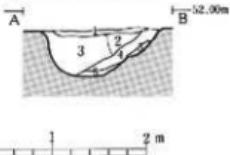
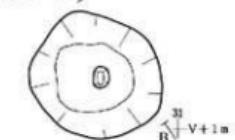


29号土壤 (V-30a) 土層註記表

層位	層No.	土 色	土 性	備 考
1	1	褐 16YR4/4	シルト	多量のスコリアを含む
	2	暗 紺 16YR3/4	シルト	スコリアを含む
2	3	黒 褐 16YR3/2	シルト	
	4	褐 16YR4/6	粘土質シルト	多量のスコリアを含む
3	5	黄 紺 16YR5/6	粘土質シルト	ロームブロックを含む

No.	地 区	露 現 面	平 面 形	規 模	量 高	備 考
29	V-30	第4層上面	円形	122×122	24	底面凸へ中央部に98×50×11の凹み有。

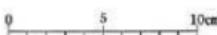
第257回 30号土壤 A



30号土壤 (V-30b) 土層註記表

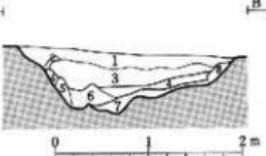
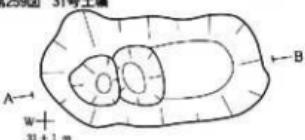
層位	層No.	土 色	土 性	備 考
1	1	褐 7.5YR4/6	シルト	スコリア少量含む
	2	明 褐 7.5YR5/8	粘土質シルト	スコリア少量含む
2	3	明 黄褐 10YR6/8	粘土質シルト	スコリア、小鉢含む
	4	褐 10YR4/4	シルト	スコリア少量含む
4	5	黄 褐 10YR5/6	粘土質シルト	

No.	地 区	露 現 面	平 面 形	規 模	量 高	備 考
30	V-30	第4層上面	円形	140×131	51	1整穴を切る。表面中央に23×18×18のビット有。



No.	層 位	層 形	外 面	内 面	分 類	備 考
1	堆積上	—	暗+	ナゲ(核)	XII4	

第259回 31号土壤

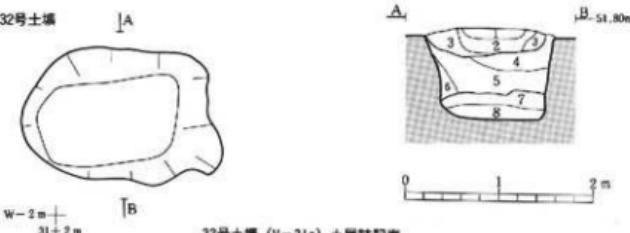


31号土壤 (W-31a) 土層註記表

層位	層No.	土 色	土 性	備 考
1	1	暗 紺 16YR3/4	シルト	スコリア含む
	2	黄 紺 16YR5/6	粘土質シルト	
2	3	暗 褐 16YR3/3	シルト	スコリア含む
	4	褐 16YR4/4	粘土質シルト	
3	5	黄 褐 10YR5/6	粘土質シルト	スコリア、炭化物を含む
	6	暗 褐 7.5YR5/4	シルト	スコリア含む
3	7	褐 10YR4/5	粘土質シルト	
	8	明 褐 7.5YR5/6	粘土質シルト	

No.	地 区	露 現 面	平 面 形	規 模	量 高	備 考
31	W-31	第4層上面	椭円形	237×125	64	底面西側に凸凹がある。

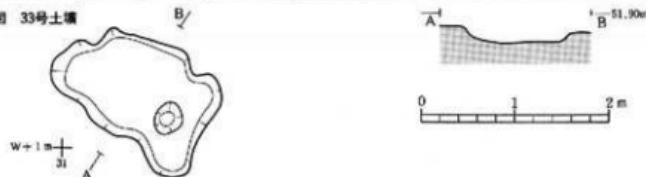
第260図 32号土壤



層位	番号	土色	土性	備考
1	1	黄 10YR6/4	粘土質シルト	細砂、小礫含む
	2	明黃褐色 10YR6/8	粘土質シルト	細砂、小礫含む
	3	にじみ黄褐色 10YR3/4	シルト質粘土	小礫多量に含む
2	4	黄 塵 10YR7/8	シルト質粘土	小礫、ローム粉多量に含む
	5	橙 7.5YR6/8	砂質粘土	小礫極めて多量に含む
	6	明黃褐色 10YR6/6	粘土	小礫含む
3	7	褐 2.5YR6/6	砂質粘土	單大的縫、砂粒多量に含む
	8	にじみ黄褐色 10YR6/4	粘土質粘土	砂粒極めて多量に含む、小礫含む

No	地 区	確 認 面	平 面 形	規 模	標 高	備 考
32	V-31	第4層上面	不整規則形	200×143	86	

第261図 33号土壤

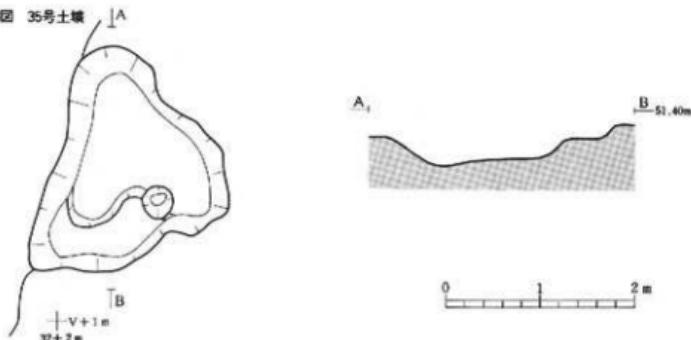


第262図 34号土壤



No	地 区	確 認 面	平 面 形	規 模	標 高	備 考
34	U-V-31	第4層上面	不整規則形	200×102	23	

第263図 35号土壤



No.	地 区	確 認 面	平 面 形	規 模	壁 高	備 考
35	V-32	第4層上面	不整形	240×(195)	31	底面南側に段、35×33×17のピット有

第264図 36号土壤



36号土壤(V-33) 土層記表

No.	土 色	土 性	備 考
1	暗 馬 7.5YR3/4	シルト	横生、炭化物多量に含む
2	馬 7.5YR4/4	シルト	ロームを含む
3	馬 10YR4/6	シルト	
4	暗 馬 7.5YR3/4	シルト	ロームを含む

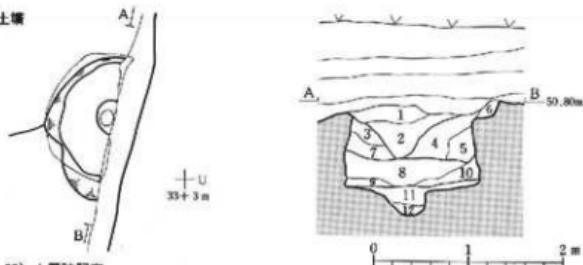
No.	地 区	確 認 面	平 面 形	規 模	壁 高	備 考
36	V-33	第4層上面	円形	84×82	36	底面中央に28×25×23のピット有。

第265図 37号土壤



No.	地 区	確 認 面	平 面 形	規 模	壁 高	備 考
37	U-32	第5層(130cm底面)	楕丸長方形	93×52	31	10箇所に切られている。

第266図 38号土壤



38号土壤(U-33) 土層註記表

層位	層No.	土 色	土 性	備 考
1	1	暗褐色 7.5YR3/4	シルト	腐泥巣片をまだらに含む
	2	褐 色 7.5YR3/3	シルト	腐泥巣片をまだらに含む
	3	暗 色 7.5YR3/4	シルト	腐泥巣片若干含む、炭化物物若干含む
2	4	暗褐色 7.5YR2/3	シルト質粘土	腐泥巣片若干含む
	5	黑 色 7.5YR3/2	シルト質粘土	ローム質土を含む
	6	暗 色 7.5YR3/4	シルト質粘土	
3	7	褐 色 7.5YR4/4	シルト	腐泥巣片若干含む
	8	褐 色 7.5YR4/6	シルト質粘土	ローム質土を含む
	9	暗 色 7.5YR3/3	シルト	腐泥巣片を少許含む
4	10	褐 色 7.5YR4/3	シルト質粘土	
	11	暗 色 7.5YR3/4	シルト	
	12	にじむ青黒 10YR5/4	砂	

No.	地 区	堆 積 面	平 面 形	規 模	深 高	備 考
38	U-33	第4～5層	円形基調	133×(66)	90	東側要塞区外へ延びる。10mに切られる。本来の土層の向側に崩落の根跡有。基面中央に52×(25)×26のピット有。

第267図 39号土壤



39号土壤(T-32) 土層註記表

層No.	上 色	土 性	備 考
1	暗褐色 7.5YR3/3	シルト	
2	褐 色 10YR4/6	粘土質シルト	

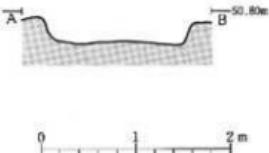
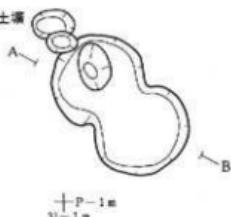
No.	地 区	堆 積 面	平 面 形	規 模	深 高	備 考
39	T-32	第4層上面	円形	162×151	43	東側に段有。



No.	層 位	器 形	外 部	内 面	分 類	備 考
1	1層	深鉢	縦縞文・不明文	底平(横)	B I	

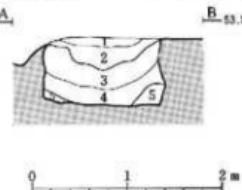
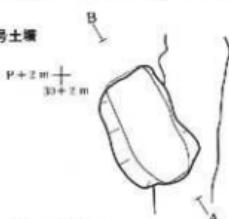
第268図 39号土壤出土土器

第269図 40号土壤



No.	地 区	概 観 面	平 面 形	幅 厚	標 高	備 考
40	O-P-30・31	第4幅上面	ダルマ形	162×105	26	北側をピットに切られる。底面広間に50×33×21のピット有。

第270図 41号土壤

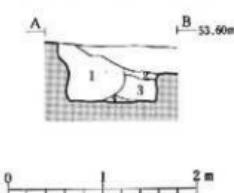
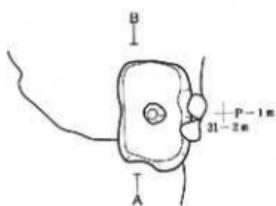


41号土壤(P-30) 土層記表

層位	層No.	土 色	土 性	備 考
1	1	暗 緑 10YR3/4	シルト	若干の炭化物を含む
	2	暗 緑 7.5YR3/4	シルト	若干の炭化物、スコリア含む
2	3	褐 10YR4/6	シルト	若干のスコリア含む
	4	褐 10YR4/4	シルト	
3	5	褐 7.5YR4/4	粘土質シルト	砂粒少量含む

No.	地 区	概 観 面	平 面 形	幅 厚	標 高	備 考
41	P-30	第4幅上面	網丸長方形	121×70	71	4幅に切られる。

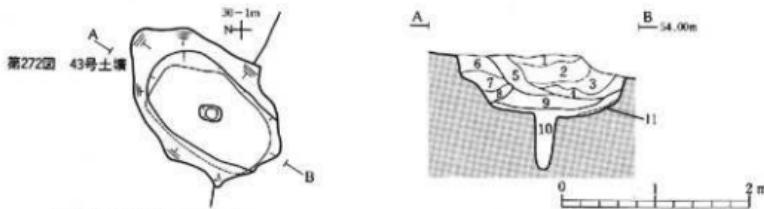
第271図 42号土壤



42号土壤(O-30b) 土層記表

層No.	土 色	土 性	備 考
1	暗 緑 10YR5/8	粘土質シルト	ロームブロック含む
2	暗 緑 7.5YR4/3	シルト	若干の炭化物含む
3	にごい黄緑 10YR5/4	粘土質シルト	
4	明 黄 7.5YR5/6	粘土質シルト	

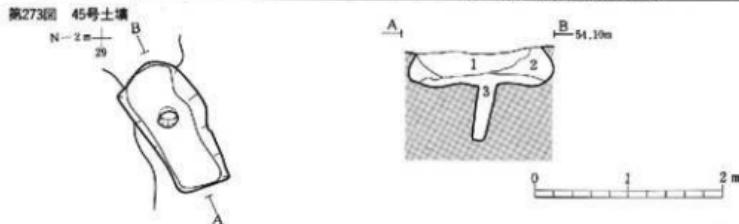
No.	地 区	概 観 面	平 面 形	幅 厚	標 高	備 考
42	O-30	第5幅(325土壤底面)	網丸長方形	118×77	65	325土壤、ピットに切られる。底面中央に32×22×40cmのピット有。



43号土壌(0-29c) 土層記表

層位	層No.	土色	土性	備考
1	1	暗褐色 10YR3/3	シルト	若干の炭化物含む
	2	褐色 10YR3/4	シルト	スコリア含む
	3	黒褐色 10YR3/2	シルト	スコリア含む
	4	褐色 10YR4/4	粘土質シルト	スコリア含む
	5	褐色 7.5YR3/4	シルト	炭化物、鉄を含む
2	6	褐色 10YR4/6	シルト	スコリア含む
	7	青褐色 10YR5/6	粘土質シルト	
3	8	褐色 10YR4/6	粘土質シルト	スコリア含む
	9	暗褐色 7.5YR3/3	粘土質シルト	スコリア少量含む
	10	褐色 10YR3/4	粘土質シルト	スコリア、炭化物 sand含む
	11	黄色 10YR5/6	粘土質シルト	ロームブロック含む

No.	地 区	標 駕 面	平 面 形	規 模	標 高	備 考
43	O-29-30	第4耕上部	溝丸長方形基盤	158×85	83	5箇に切られている。本家の土壌の周辺に崩落の痕跡有。底面中央に23×7×56のピット有。



45号土壌(0-29) 土層記表

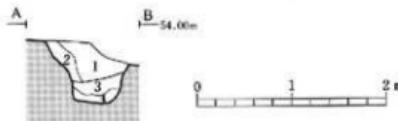
層No.	土色	土性	備考
1	暗褐色 7.5YR3/4	シルト	
2	褐色 10YR4/6	粘土質シルト	ローム粒を含む
3	褐色 10YR3/4	シルト	小礫及びFive sandを下部に含む

No.	地 区	標 駕 面	平 面 形	規 模	標 高	備 考
45	O-29	第5耕(12耕底面)	長方形	146×73	38	12箇に切られる。表面の壁はオーバーハングしている。 底面中央に23×17×51のピット有。



No.	層 位	器 形	外 面	内 面	分 類	備 考
1	堆積土	深鉢	縦縫文・RI縞文	麻キ(唐・鉢)	X	

第274回 45号土壌出土土器

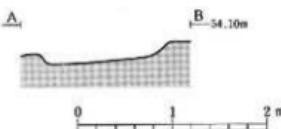
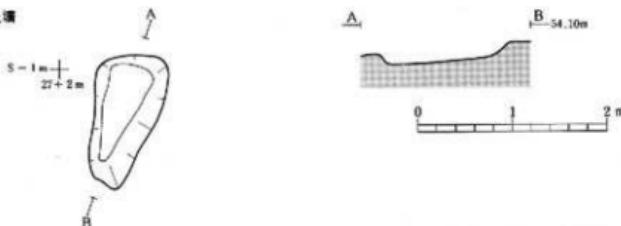


44号土壤(0-29b) 土層註記表

層位	層No.	土色	土性	備考
1	1	7.5YRA/4	シルト	スコリア炭化物含む
	2	10YRA/4	粘土質シルト	スコリア含む
2	3	10YRG/4	シルト	スコリア含む
	4	10YRA/6	粘土質シルト	

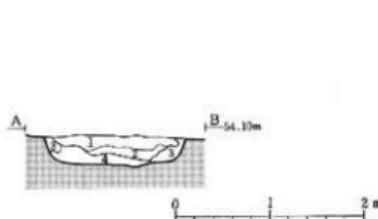
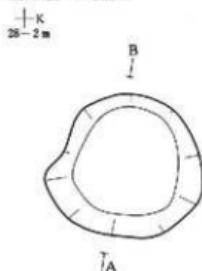
No	地 区	確 認 面	平 面 形	規 模 面 高	備 考
44	O-29-30	第4層上面	長方形	138×78 66	5箇所に分かれます。本層の土壤の裏面に既述の軌跡有。 底面中央に10×10×25のピット有。

第276図 46号土壤



No	地 区	確 認 面	平 面 形	規 模 面 高	備 考
46	R-27	第4層上面	不整形	149×74 13	

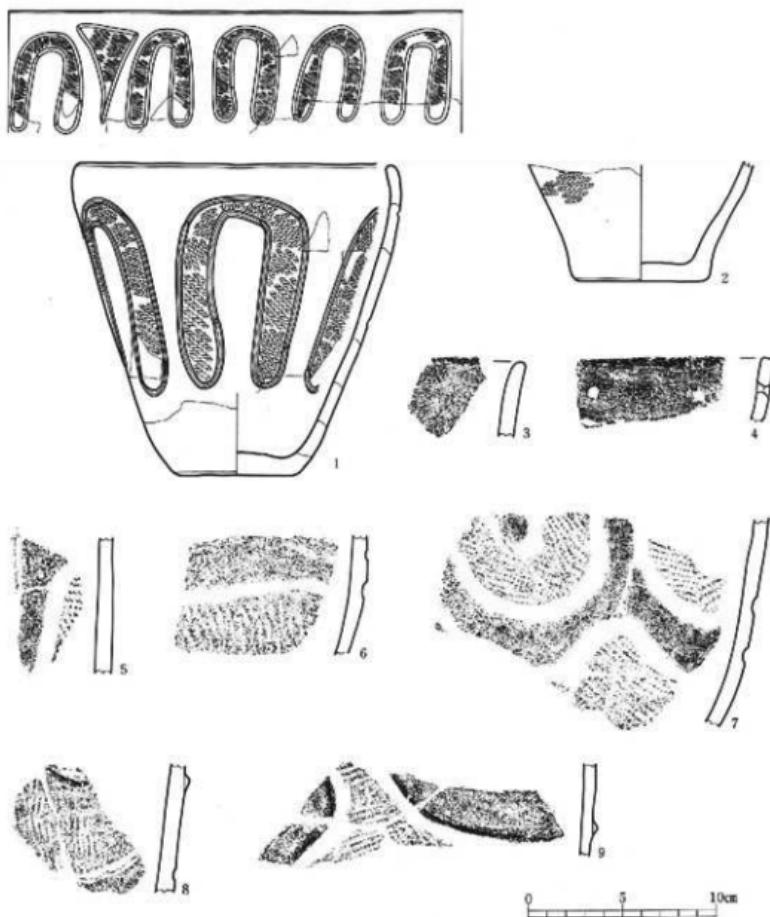
第277図 47号土壤



47号土壤 (Q-27) 土層註記表

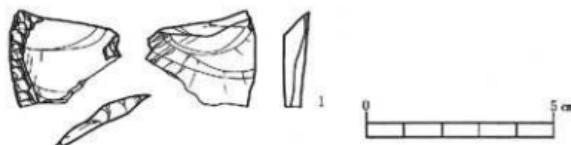
層位	層No.	土色	土性	備 考
1	1	暗褐色 7.5YR3/3	シルト	炭化物、コーム粒含む
	2	褐褐色 7.5YR2/3	シルト	炭化物、コーム粒含む
2	3	暗褐色 10YR3/3	粘土質シルト	
	4	暗褐色 10YR4/6	粘土質シルト	

No	地 区	確 認 面	平 面 形	規 模 面 高	備 考
47	Q-27	第4層上面	不整形	168×150 31	46号層の遺物と本土壤の遺物が混入してしまい分離することができなかった。



號	層位	器形	外 面	内 面	底部	分類	備 考
1	堆積土	深 蒜	沈綸文・LR圓文・磨光	磨光(橫)	磨光	IX	
2	堆積土	深 蒜	LR圓文・磨光	マメク	磨光		
3	堆積土	深 蒜	磨光	磨光(側)		BVII	
4	堆積土	深 蒜	沈綸文・穿孔	磨光(橫)		BIV	
5	堆積土	深 蒜	沈綸文	磨光(橫・斜)		X	
6	堆積土	深 蒜	沈綸文・RL圓文	磨光(橫・斜)		X	
7	堆積土	深 蒜	陽綱文・沈綸文・RL圓文	磨光(橫)		X.4	
8	堆積土	深 蒜	沈綸文・沈綸文・RL圓文	磨光(橫・斜)		X	
9	堆積土	深 蒜	陽綱文・沈綸文・RL圓文	磨光(橫)		X	

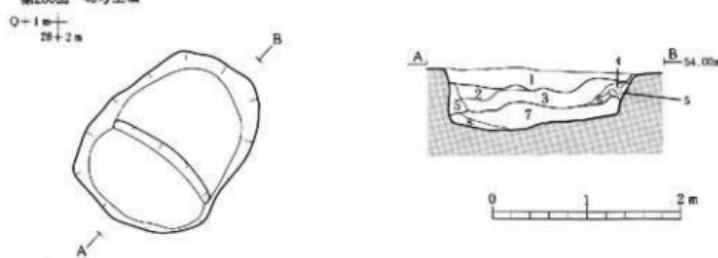
第270圖 47・48号土塚出土土器



No.	種別	層位	長×幅×厚(mm)	重量(g)	石材	使用法	備考
1	スクレイパー	堆積土	(25.98) × (29.25) × 6.30	3.70		——	傾けている

第279図 47・48号土壌

第280図 48号土壌



48号土壌(P-28) 土層記表

層位	層No.	土色	土性	備考
2	1	暗褐色 10YR3/4	粘土質シルト	
	2	褐 7.5YR4/4	粘土質シルト	
	3	褐 10YR4/4	粘土質シルト	
	4	暗褐色 7.5YR3/4	粘土質シルト	
3	5	褐 10YR4/5	粘土質シルト	
	6	褐 7.5YR4/5	粘土質シルト	
4	7	褐 7.5YR4/4	粘土質シルト	
	8	黄褐色 10YR4/6	粘土質シルト	

No.	地区	確認面	平面形	幅 横	型高	備考
48	P-28	第4層上面	橢円形	208×157	54	土壌中央に段がある。2つの土壌の重複である可能性ある。

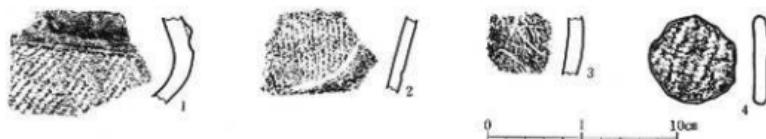
第281図 49号土壌



49号土壌(S-19c) 土層記表

層位	層No.	土色	土性	備考
2	1	黒褐色 10YR3/2	粘土質シルト	ローム含む
	2	暗褐色 10YR3/4	シルト	ローム粒、炭化物含む
	3	褐 10YR4/4	シルト	ローム粒含む
	4	褐 10YR4/5	シルト	ローム粒含む

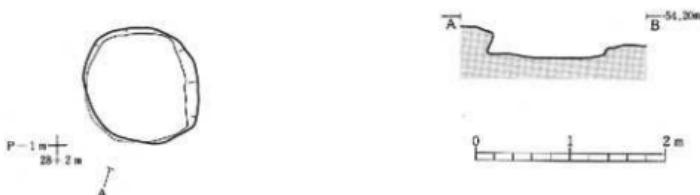
No.	地区	確認面	平面形	幅 横	型高	備考
49	S-19	第4層上面	不整円形	100×100	34	



No.	型 位	備 考	外 面	内 面	分 類	備 考
1	单脚土	—	縦線文・RL斜文	縦+ (横)		
2	地脚土	深 扇	沈線文・L捺糸文	縦+ (横)		
3	地脚土	深 扇	沈線文・R捺糸文	縦+ (横)		
4	单脚土	上脚円盤				

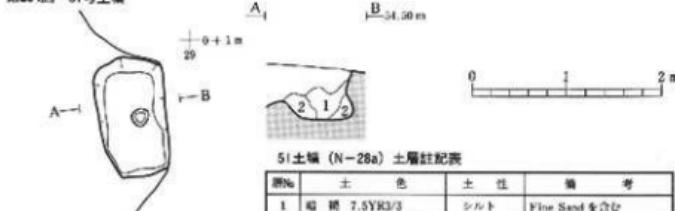
第282図 49号土壤出土土器・土製円盤

第283図 50号土壤



No.	地 区	礫 砂 面	平 面 形	規 模	整 高	備 考
50	O-P-28	第5層(12箇所出)	円 形	123×120	18	12箇に切られる。

第284図 51号土壤



51土壤(N-28a) 土層記表

層位	土 色	土 性	備 考
1	暗 細 7.5YR3/3	シルト	Fine Sandを含む
2	暗 細 10YR3/4	シルト	

No.	地 区	礫 砂 面	平 面 形	規 模	整 高	備 考
51	N-O-28	第5層(黒樹木底面)	不整長方形	127×92	29	楓樹木に切られる。底面中央に20×19×38のピット有。

第285図 52号土壤

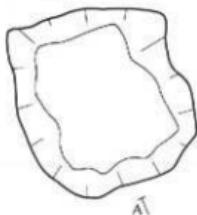


52土壤(N-28P) 土層記表

層位	層%	土 色	土 性	備 考
1	1	暗 細 10YK3/4	シルト	スコリア、若干の炭化物含む
2	2	暗 細 10YR3/3	シルト	スコリア含む
3	3	暗 細 10YR5/6	粘土質シルト	

No.	地 区	礫 砂 面	平 面 形	規 模	整 高	備 考
52	N-28	第4層上面	楕円形	95×71	24	12箇に切られる。

第286図 53号土壤 N+1m  
B



53号土壤(M-29) 土層記載表

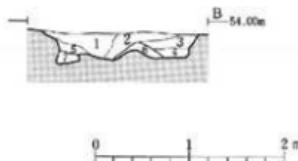
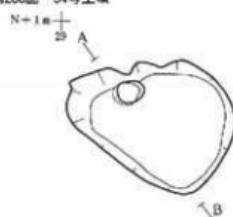
層位	層No.	土色	土性	備考
1	1	暗褐色 7.5YR3/3	シルト	
	2	褐 7.5YR4/6	シルト	鉄を含む
2	3	褐 10YR4/4	粘土質シルト	
	4	黄褐色 10YR5/6	粘土質シルト	

No.	地区	調査面	平面形	高 横	整 高	備 考
53	M-29-30	第4層上面	不整長方形	197×172	27	2往復跡を切る。



No.	層位	層形	外観	内観	分類	備考
1	堆積土	塊状	風紋・不明風文	不明	B I	
2	堆積土	塊状	伴紋・R.I.風文	砂粒(鐵)		

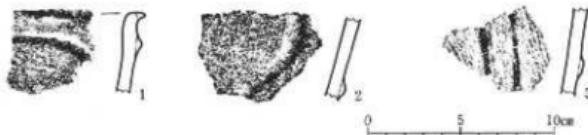
第288図 54号土壤



54号土壤(M-29b) 土層記載表

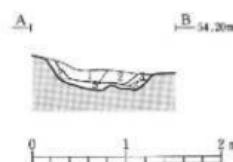
層位	層No.	土色	土性	備考
1	1	暗褐色 10YR3/3	シルト	スコリア少量含む
	2	褐 7.5YR4/6	シルト	砂粒、少鉄含む
2	3	褐 10YR4/4	粘土質シルト	砂粒、少鉄含む
	4	褐 7.5YR4/4	粘土質シルト	砂粒、スコリア含む
3	5	褐 10YR4/6	粘土質シルト	スコリア含む
	6	明褐色 10YR6/8	砂質シルト	砂粒、少鉄含む
	7	黄褐色 10YR5/6	シルト	ローム粒含む

No.	地区	調査面	平面形	高 横	整 高	備 考
54	M-29	第4層上面	規則形基盤	145×(90)	29	3往復を切る。底面北側に25×24×32のピット有。



No.	層位	層形	外 面	内 面	分 境	備 考
1	堆積土	深 鮎	縦縞文・L凹縞文	滑水(漬・結)	X	
2	堆積土	深 鮎	疊縞文・不明縞文	不明		
3	堆積土	深 鮎	疊縞文・R然縞文	不明		

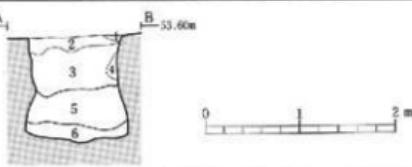
第289図 54号土壤出土土器



55号土壤 (M-28) 土層性記表

層位	層No.	土 色	土 性	備 考
1	1	褐 10YR4/3	シルト	スコリア少量含む
	2	黄 褐 10YR5/6	シルト	スコリア少量含む
	3	赤 10YR5/4	シルト	スコリア少量含む
2	4	褐 7.5YR4/6	シルト	
	5	明 褐 7.5YR5/6	砂質シルト	小塊含む

No.	地 区	標 評 図	平 面 形	規 模	壁 高	備 考
55	M-28	第5層(12m底部)	南北形	112×60	22	12mに切られる。



56土壤 (L-30) 土層性記表

層位	層No.	土 色	土 性	備 考
1	1	暗 褐 10YR3/4	シルト	風化物少量、火山灰粒少量含む
	2	暗 褐 7.5YR3/4	シルト	風化物少量、火山灰粒少量、風化物微量に含む
	3	暗 褐 7.5YR3/3	シルト	風化物少量、火山灰粒少量、火山灰粒少量含む
	4	赤 10YR4/3	シルト	風化物微量、火山灰粒少量、風化物微量に含む
2	5	明 褐 7.5YR5/6	シルト	風化物多量、火山灰粒微量に含む
3	6	褐 10YR4/4	シルト	風化物微量、風化物粒少量含む

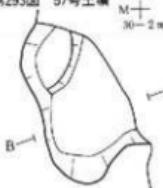
No.	地 区	標 評 図	平 面 形	規 模	壁 高	備 考
56	L-29+30	第4層上面	不規方形	105×98	106	2往路を切る。壁面中央に42×32×23cmのピット有。



No.	層位	層形	外 面	内 面	分 境	備 考
1	堆積土	深 鮎	沈縞文	滑水(漬)	X	

第292図 56号土壤出土土器

第293回 57号土壤  
M+  
30-2 m



57号土壤(L-29) 土壠註記表

層位	層No.	土 色	土 性	備 考
1	1	褐 10YR4/4	シルト	スコリア含む
	2	褐 紫 10YR3/3	シルト	スコリア、砂粒を少量含む
	3	褐 黄 10YR3/4	シルト	砂粒、小礫含む
	4	褐 10YR4/6	粘土質シルト	ローム粒含む

No.	地 区	標 記 圖	平 面 形	底 構	底 高	備 考
57	L-29	第4層上面	楕円形基溝	160×100	24	5溝に切られる。底面北側に段有。

第294回 58号土壤  
+ L+2 m  
28+2 m



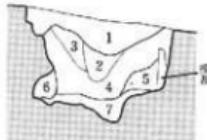
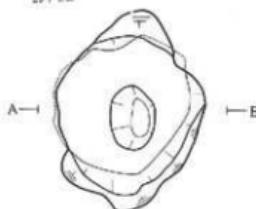
58号土壤(L-28) 土壠註記表

層No.	土 色	土 性	備 考
1	黒褐色 7.5YR3/2	シルト	ローム粒少量含む
2	暗褐色 7.5YR3/4	シルト	ローム粒多量に含む

No.	地 区	標 記 圖	平 面 形	底 構	底 高	備 考
58	L-28	第4層上面	不規則形	181×97	16	12溝に切られ、5往路跡を切る。底面東側に段有。

第295回 59号土壤

+  
29+2 m



59土壤(K-29) 土壠註記表

層位	層No.	土 色	土 性	備 考
1	1	黒 褐 7.5YR2/2	砂質シルト	砂質、小礫多量に含む
	2	暗 褐 7.5YR3/4	シルト	小礫多量に含む
2	3	褐 7.5YR4/3	シルト	小礫多量に含む
	4	褐 7.5YR4/3	シルト	細多量、細砂多量に含む
3	5	暗 褐 10YR3/4	砂質シルト	砂粒多量、小礫少量含む
	6	暗 褐 10YR3/4	シルト	小礫多量に含む
4	7	褐 褐 7.5YR3/2	砂質シルト	小礫多量含む

No.	地 区	標 記 圖	平 面 形	底 構	底 高	備 考
59	K-29	第5層上面	不規則形	166×157	108	5溝に切られる。本家の土壠の範囲に留まらず、前面中央に88×26×20のコット有。

第296図 60号土壤

+K+2m  
29+2m A



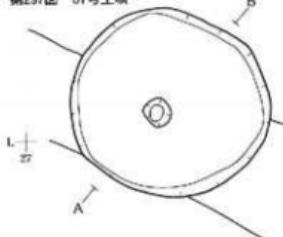
T B

60号土壤土層記表

層位	層No.	土色	土性	備考
1	1	黒褐色 7.5YR2/2	シルト	小輪、堆積多量、炭化物微量に含む
	2	暗褐色 10YR3/3	砂質シルト	小輪、堆積多量に含む
2	3	褐色 10YR4/4	砂質	小輪細胞多量に含む
	4	暗褐色 10YR3/3	砂質シルト	小輪少量、堆積多量に含む
3	5	黒褐色 10YR3/2	砂質シルト	細胞、砂粒多量に含む
	6	褐色 10YR4/4	砂質シルト	小輪、砂粒少量含む

No.	地区	導込面	平面形	規模	壁高	備考
60	J-K-29	第5層上面	円形	180×160	58	底面中央に48×48×20のピット有。直面裏面に90×55の溝状溝込み有。

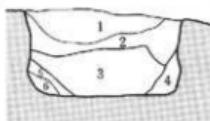
第297図 61号土壤



A'

B

53.00m

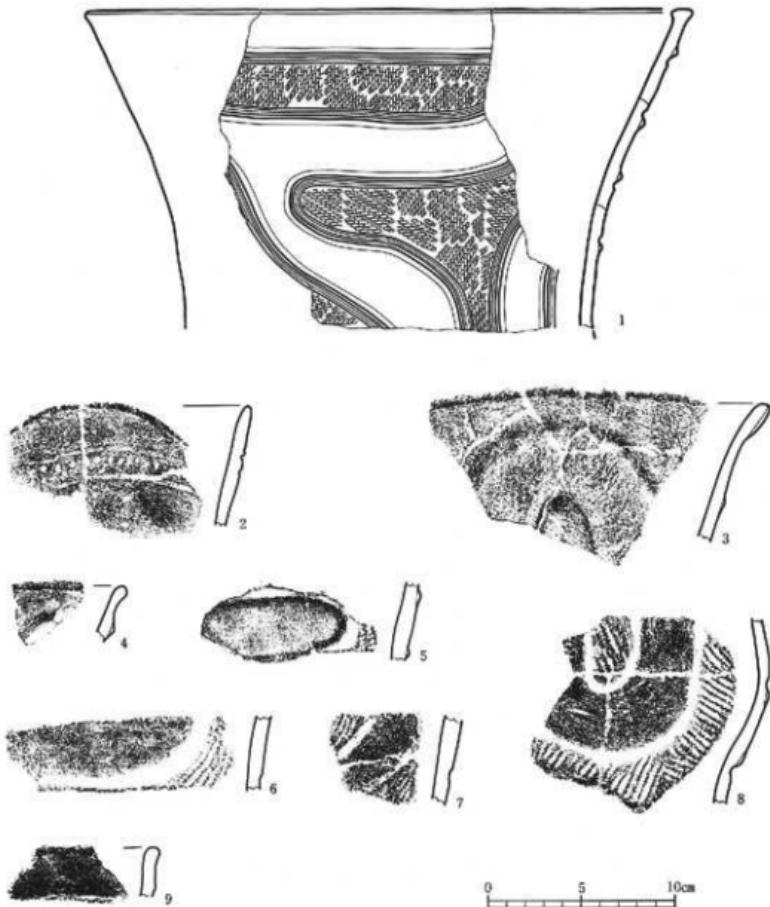


0 1 2 m

61号土壤(L-27) 土層記表

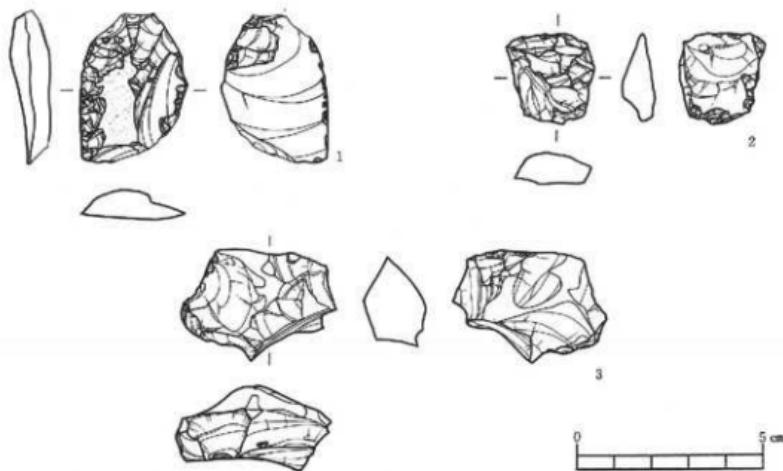
層位	層No.	土色	土性	備考
1	1	暗褐色 10YR3/4	シルト	小円輪少量含む
	2	黒褐色 10YR2/3	シルト	小円輪、炭化物多量、スコリア多量に含む
	3	暗褐色 7.5YR3/3	シルト	匏土、炭化物多量、円輪少量、スコリア多量に含む
2	4	暗褐色 10YR3/4	シルト	小円輪を多量に含む。炭化物微量に含む
	5	暗褐色 7.5YR3/4	シルト	細胞少量含む
ピット	6	褐色 10YR4/4	シルト	
	7	褐色 10YR4/6	シルト	

No.	地区	導込面	平面形	規模	壁高	備考
61	K-L-27	第4層上面	円形	207×197	47	13面にわかれ。底面中央に30×26×130のピット有。導込面上に砂から投入した粗い砂子がみられる。



No.	層位	形	外 面	内 面	分類	備 考
1	層No.3	深 鉢	縦縞文・比縞文・LPJ縞文・滑今	磨キ(横)	X	
2	層No.3	深 鉢	縦縞文・斜夷文	磨キ(横)	X	
3	層No.3	深 鉢	縦縞文・不明縞文	磨キ(横)	X	
4	層No.1	深 鉢	縦縞文	不明	X	
5	層No.1	深 鉢	比縞文・RL縞文	磨キ(横)	X	
6	層No.1	深 鉢	縦縞文・比縞文・RL縞文	磨キ(横)	X	
7	層No.3	深 鉢	比縞文・RL縞文	不明	X	
8	層No.3	深 鉢	縦縞文・比縞文・RL縞文	磨キ(横・肥)	X	
9	層No.2	深 鉢	比縞文	ナゾ・磨キ(横)	B VI	

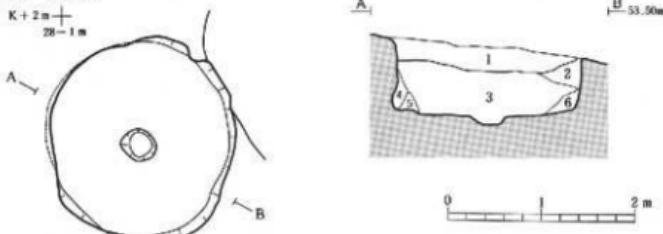
第298図 61号土壤出土土器



No.	種別	層位	長×幅×厚(mm)	重さ(g)	石材	使用痕	備考
1	スクレーパー	層No.3	(29.65) × 28.40 × 10.15	9.80	頁岩	—	
2	ビエス・エスキード	層No.1	24.25 × 23.50 × 9.05	6.30	頁岩	—	
3	石核	層No.3	29.65 × 41.25 × 19.85	18.40	流紋岩	—	

第299図 61号土壌出土石器

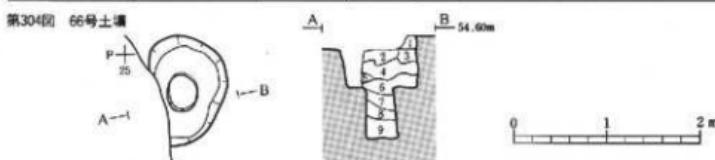
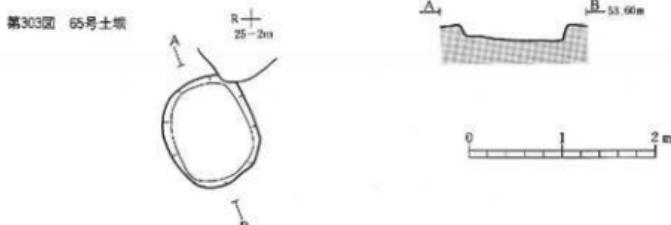
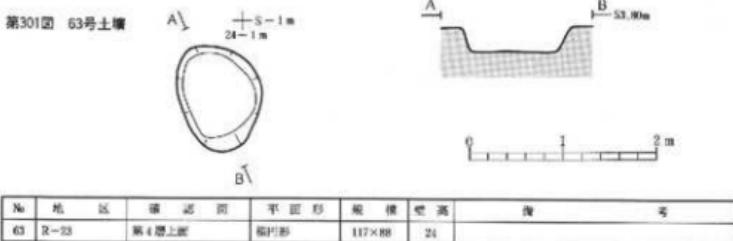
第300図 62号土壌



62号土壌(K-26) 土層記表

層位	層No.	土色	上位	備考
2	1	黒褐色 7.5YR2/2	シルト	褐色の小礫多量、炭化物の粒子微量に含む
	2	褐褐色 7.5YR3/4	砂質シルト	季大的礫、小礫少量、炭化物微量に含む
	3	褐褐色 7.5YR3/4	砂質シルト	小礫、粗礫多量に含む
	4	褐褐色 7.5YR3/4	シルト	粗礫少量含む
	5	褐褐色 7.5YR3/4	砂質シルト	小礫少量含む
	6	褐褐色 10YR4/3	砂質シルト	粗礫少量含む

No.	地区	露認面	平面形	横幅	壁高	備考
62	K-L 27-28	第4層上面	円形	228×196	73	6往復跡を切る。底面中央に40×33×134のピット有。



66号土壤 (0-24c) 土層記表

層位	層名	土 色	土 生	備 考
1	1	褐 7.5YR4/4	シルト	ローム粒を若干含む
	2	暗 褐 7.5YR3/4	シルト	ローム粒を若干含む
	3	褐 7.5YR4/3	シルト	ローム粒を若干含む
2	4	暗 褐 7.5YR3/3	シルト	ローム粒を若干含む
	5	褐 7.5YR4/3	シルト	ローム粒を若干含む
3	6	褐 7.5YR4/6	シルト	ローム粒を若干含む
	7	褐 7.5YR4/5	シルト	ローム粒を若干含む
	8	褐 7.5YR3/4	シルト	ローム粒を若干含む
4	9	褐 7.5YR4/4	シルト	ローム粒、炭化物を若干含む

No.	地 区	縦 計 図	平 面 形	規 構	標 高	備 考
66	O-P-25	第4層上面	扇円形基盤	117×(90)	55	9往路に切られる。直面中央に32×22×55のピット

第305図 67号土壠

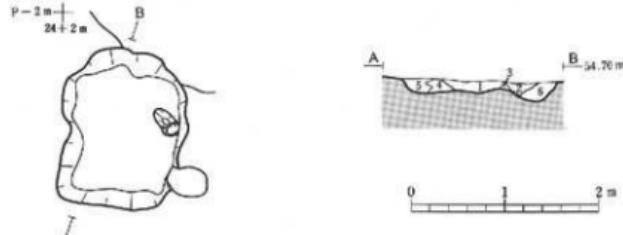


67号土壠 (O-24) 土層記表

層位	層No.	土 色	土 性	備 考
1	1	褐 7.5YR4/3	シルト	ローム粒を含む
	2	暗 褐 7.5YR3/4	シルト	ローム粒を含む
	3	暗 褐 7.5YR3/3	シルト	ローム粒を含む
	4	暗 褐 7.5YR3/4	シルト	ローム粒を含む
2	5	褐 7.5YR1/3	シルト	炭化物を含む
	6	灰 7.5YR1.7/1	シルト	炭化物の層となっている
3	7	暗 褐 7.5YR3/4	シルト	
	8	褐 7.5YR4/4	シルト	
	9	明 褐 7.5YR5/6	粘土質シルト	

No.	地 区	縦 計 図	平 面 形	規 構	標 高	備 考
67	O-24	第4層上面	楕丸長方形基盤	100×(95)	55	9往路に切られる。底面中央に20×17×27のピット

第306図 68号土壠



68号土壠 (O-24) 土層記表

層位	層No.	土 色	土 性	備 考
1	1	暗 褐 7.5YR3/3	シルト	ローム粒を若干含む
	2	暗 7.5YR3/4	シルト	
	3	暗 7.5YR4/3	シルト	よごれたローム土含む
2	4	褐 7.5YR4/4	シルト	黒色土をブロック状に含む
	5	黑 7.5YR3/2	シルト	
	6	暗 7.5YR3/4	シルト	ローム粒をまだらに含む

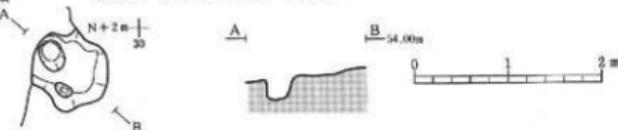
No.	地 区	縦 計 図	平 面 形	規 構	標 高	備 考
68	O-24	第4層上面	不整長方形	167×138	20	9往路を切り、ピットに切られる。底面東側に30×20×17のピット。



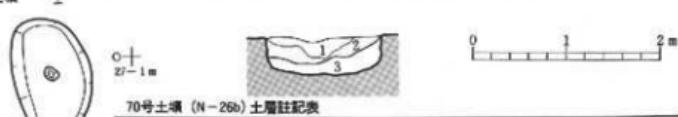
No.	層位	器形	外面	内面	分量	備考
1	準耕土	原鉢	R標示文	鉢内(便)	B VI	
2	堆積土	土製円盤				
3	堆積土	土製円盤				

第308図 69号土壤

第307図 68号土壤出土土器・土製円盤



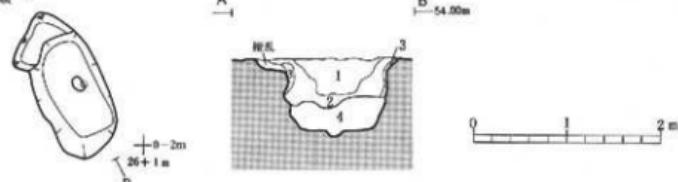
No.	地 区	露 見 面	平 面 形	層 様	厚 高	備 考
69	N-29	第4層上面	橢円形基盤	87×75	12	5箇に切られ。底面に35×24×27のピット有。

第309図  
70号土壤

70号土壤 (N-26b) 土層記表

層位	層%	上 色	土 備	備 考
1	1	暗 紫 7.5YR3/4	砂質シルト	スコリア少量含む
2	2	暗 紫 7.5YR3/4	砂質シルト	
3	3	明 紫 7.5YR3/6	砂質シルト	暗色土ブロック少量含む

No.	地 区	露 見 面	平 面 形	層 様	厚 高	備 考
70	N-O-26	第4層上面	橢円形	132×83	37	底面中央に16×13×24のピット有。

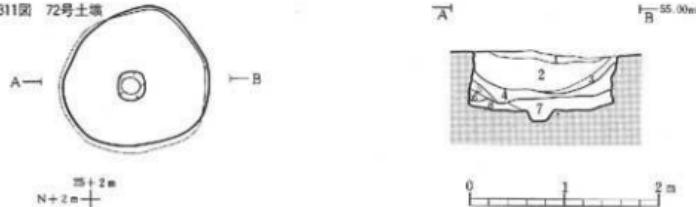
第310図  
71号土壤

No.	地 区	露 見 面	平 面 形	層 様	厚 高	備 考
71	N-25+26	第4層上面	楕円長方形基盤	126×74	74	土塊化帯に原落の痕跡有。底面中央に16×11×29のピット有。

71号土壤 (N-26a) 土層記表

層位	層%	上 色	土 備	備 考
1	1	暗 紫 7.5YR3/3	砂質シルト	スコリア多量、炭化物微少量、風化物微少量に含む
	2	地盤面 7.5YR2/3	砂質シルト	スコリア少量、炭化物微少量含む
	3	暗 紫 7.5YR3/4	砂質シルト	スコリアブロック少量含む
2	4	暗 紫 7.5YR3/4	砂質シルト	スコリア少量、炭化物微少量、赤褐色砂質シルトブロック少量に含む

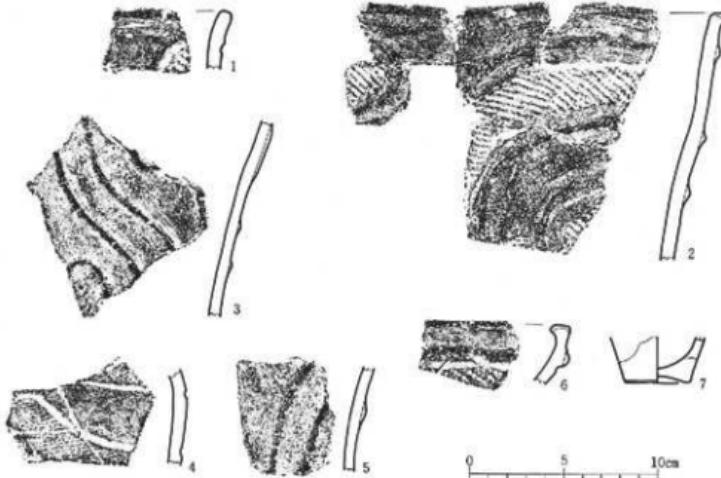
第311図 72号土壤



72号土壤 (N-25) 土層記表

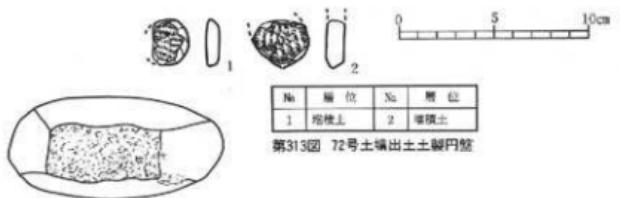
層位	層No.	土色	土性	備考
1	1	黒 7.5YR2/1	砂質シルト	スコリア少量、炭化物多量、内縫微量、食塩微量に含む
	2	黒 細 7.5YR2/2	砂質シルト	スコリア多量、炭化物少量、燒土少量、風化物少量含む
	3	暗 黑 7.5YR2/3	砂質シルト	スコリア少量、炭化物微量、燒土微量含む
2	4	黒 細 7.5YR2/2	砂質シルト	スコリア、炭化物微量に含む
	5	褐 7.5YR4/4	砂質シルト	スコリアブロック少量、炭化物少量含む
	6	褐 7.5YR4/4	砂質シルト	スコリアブロック多量、炭化物微量に含む
3	7	暗 褐 7.5YR3/4	砂質シルト	スコリア多量、炭化物少量含む
	8	黒 褐 7.5YR3/2	砂質シルト	スコリア少量、炭化物少量、燒土微量含む

No.	地区	種類	平面形	規模	壁高	備考
72	N-25	第4壁上面	円形	145×144	81	裏面中央に31×29×14のピット有

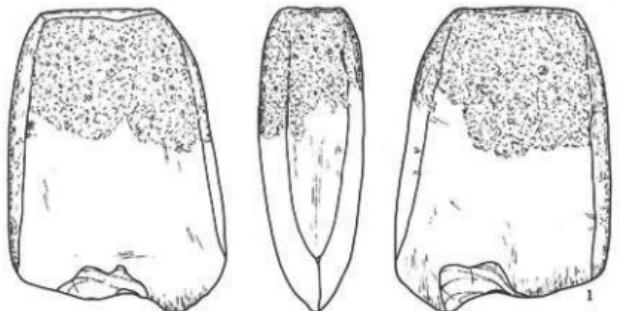


No.	層位	器形	外面	内面	分類	備考
1	堆積土	深鉢	弦紋・LR網文	縦キ(横・斜)	X	
2	堆積土	深鉢	施縫文・LR網文	縦キ(横・斜)	X	
3	堆積土	深鉢	弦紋文	縦キ(横)	X	
4	堆積土	深鉢	弦紋文・RL網文	縦キ(横)	X	
5	堆積土	深鉢	施縫文	不明	X	
6	堆積土	深鉢	施縫文・弦紋文・LR網文	縦キ(横)	B II	
7	堆積土	ミニチュア	ナゲ	ナゲ(腹)		

第312図 72号土壤出土土器

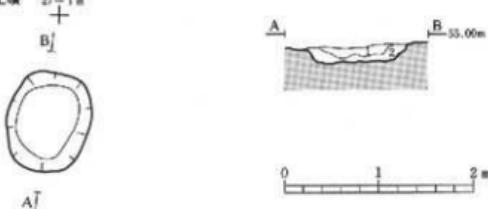


第313図 72号土壤出土土器円窓



第314図 72号土壤出土石器

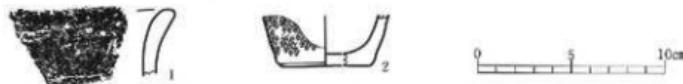
第315図 73号土壤



73号土壤 (M-26b) 土層記載表

層番	土色	土性	名	備考
1	暗褐色 7.5YR3/3	砂質シルト	スコリア少量含む	
2	褐 7.5YR4/4	砂質シルト	風化物少、暗褐色土ブロック少量含む	

地 区	施 計 面	平 面 形	幅 横	鍵 高	備 考
73 M-26	第4層上面	西円形	167×88	15	



No.	層位	形	外 面	内 面	直 部	分 類	備 考
1	粘土	圓錐	刺突文	ケズリ・透キ(強)		B.V	
2	堆積土	深鉢	LR齒文・透キ	透キ(強)	透キ(強)		

第317図 74号土壤 A

第316図 73号土壤出土土器

A B 55.00m



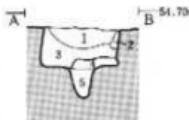
0 1 2 m

74号土壤 (M-26a) 土層註記表

層No.	土 色	土 性	備 考
1	暗 褐 7.5YR3/3	砂質シルト	火山灰少量、炭化粧少量、円錐微量に含む
2	暗 褐 7.5YR3/4	砂質シルト	火山灰ブロック多量に含む

No.	地 区	標 誌 面	平 面 形	横 幅	延 長	面 積	編 号
74	M-25-26	第4層上面	橢円形	70×58	24		

第318図 75号土壤



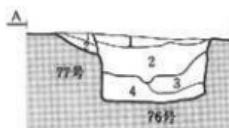
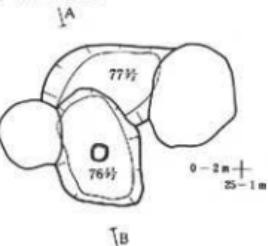
0 1 2 m

75号土壤 (N-24b) 土層註記表

層位	層No.	土 色	土 性	備 考
1	1	海 10YR4/4	シルト	ローム粒含む
	2	黄 褐 10YR5/6	地上質レルト	ロームブロック
	3	褐 10YR4/6	シルト	ローム粒含む
2	4	暗 褐 10YR3/4	シルト	ローム粒少量含む
ピット	5	褐 10YR4/4	地土質シルト	

No.	地 区	標 誌 面	平 面 形	横 幅	延 長	面 積	備 考
75	N-25	第4層上面	不整橢円形	111×90	45		2箇立柱建物跡に切られる。高面中央に36×36×35のピット有。

第319図 76, 77号土壤



0 1 2 m

76号土壌 (N-24d) 土層性記表

層位	層No.	土色	土性	備考
1	1	褐色 10YR4/4	シルト	炭化物、ロームを含む
	2	褐色 10YR4/6	シルト	炭化物、ロームを含む
2	3	黄褐色 10YR5/6	シルト	
	4	褐色 7.5YR3/4	粘土質シルト	

76号土壌 (N-24e) 土層註記表

層No.	土色	土性	備考
1	褐色 10YR3/4	シルト	ロームを含む
2	褐色 10YR4/6	粘土質シルト	ロームブロック含む

No.	地区	成認面	平面形	横構	壁高	備考
76	N-24	第4層上面	楕円形	126×93	67	2個立柱建物跡に切られる。77土壤を切る。底部中央に19×18×53cmのビット有。
77	N-24	第4層上面	楕円形基盤	(150)×97	26	2個立柱建物跡、76土壤に切られる。

第320図 78号土壌

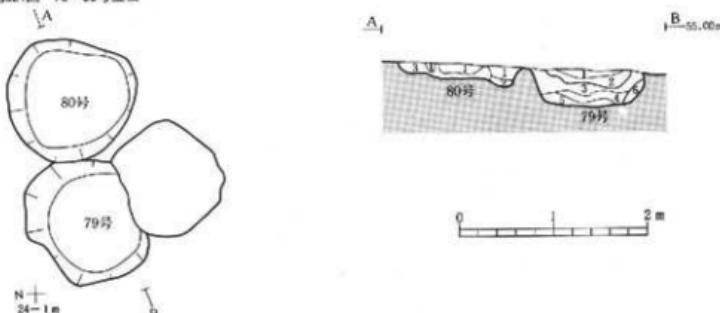


78号土壌 (N-24c) 土層性記表

層位	層No.	土色	土性	備考
1	1	褐色 7.5YR4/4	シルト	ローム多く含まれる
	2	褐色 7.5YR3/4	シルト	
2	3	褐色 7.5YR4/3	シルト	
	4	褐色 7.5YR4/3	シルト	ローム粒を含む

No.	地区	成認面	平面形	横構	壁高	備考
78	N-24-25	第4層上面	不整橢円形	135×78	53	小溝に切れられる。底部中央に19×16×25のビット有。

第321図 79・80号土壌



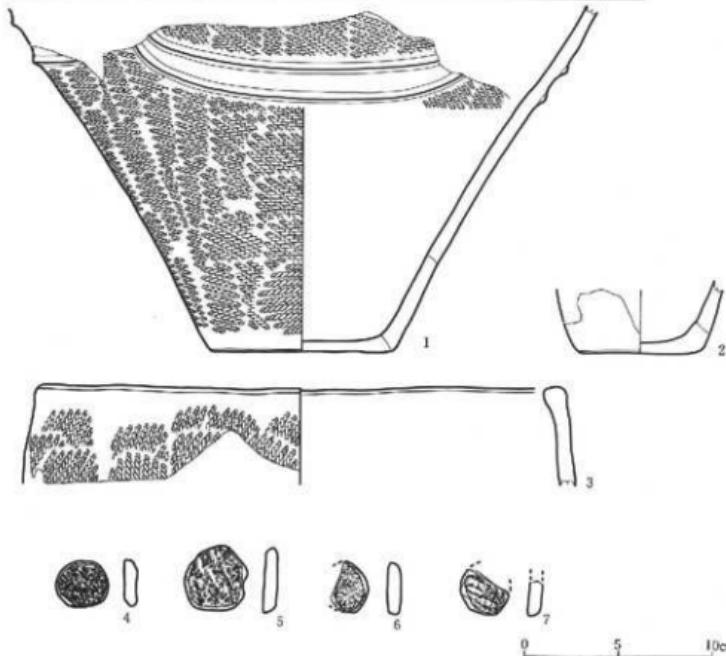
No.	地区	成認面	平面形	横構	型面	備考
79	N-23-24	第4層上面	不整長方形	156×(126)	43	2個立柱建物跡に切られ。80号上面を切る。
80	N-23-24	第4層上面	不整円形	(149)×(123)	27	79号土壤に切られる。

79号土壤(N-24a) 土層性記表

層位	層No	土色	土性	備考
1	1	暗褐色 7.5YR3/3	シルト	少量の炭化物を含む
	2	暗褐色 7.5YR3/4	シルト	少量の炭化物を含む
2	3	褐色 7.5YR4/6	シルト	褐色ロームを露ふり状及びブロック状に含む。少量の炭化物を含む
	4	褐色 7.5YR4/4	シルト	少量の炭化物を含む
	5	暗褐色 7.5YR3/4	シルト	少量の炭化物を含む
3	6	褐色 10YR4/6	粘土質シルト	

80号土壤(N-23) 土層性記表

層No	土色	土性	備考
1	暗褐色 10YR3/4	シルト	少量の炭化物を含む
2	褐色 7.5YR4/4	シルト	少量の褐色ロームを露ふり状に含む
3	暗褐色 7.5YR3/3	シルト	



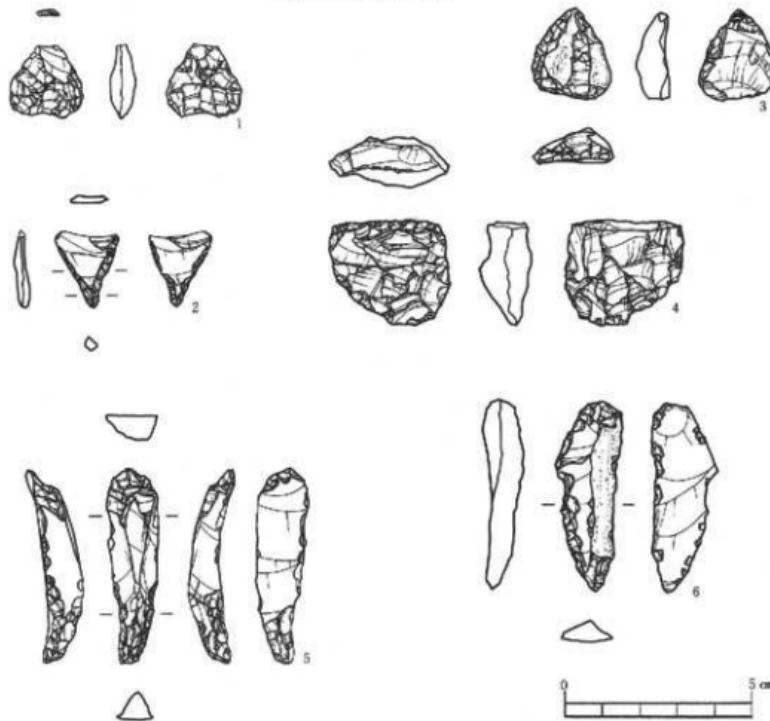
No	層位	器形	外 因	内 因	出 収	分類	備 考
1	2層上面	洞 筋	弦縫文・LR縫文・擦キ	擦キ(擦)	擦キ	X	
2	堆積土	洞 筋	擦キ	擦キ(擦)	擦キ		
3	堆積土	洞 筋	LR縫文・擦キ	擦キ(擦)		B VI	
4	堆積土	土製円盤					
5	堆積土	土製円盤					
6	堆積土	土製円盤					
7	堆積土	土製円盤					

第322図 79号土壤出土土器・土製円盤



No	層位	器形	外面	内面	底面	分類	備考
1	堆積土	深鉢	沈透文・LR鉈文	磨光(鏡)		IX	
2	堆積土	深鉢	強透文	磨光(底・鉈)		X	

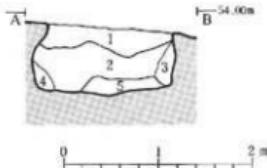
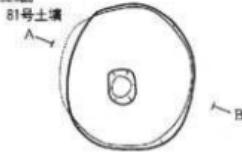
第323図 80号土塚出土土器



No	種別	層位	長×幅×厚(mm)	重量(g)	石材	使用痕	備考
1	石鏟身	堆積土	(18.00)×19.45×6.75	2.05		—	
2	石劍	堆積土	26.05×15.50×3.25	0.85	頁岩	—	
3	スクレイバー	堆積土	24.29×29.50×9.20	3.40	黑曜石	—	
4	スクレイバー	堆積土	28.29×31.85×13.35	10.45	頁岩	—	
5	スクレイバー	堆積土	52.65×13.75×9.80	6.15	頁岩	—	
6	スクレイバー	堆積土	59.45×17.35×9.65	6.30	頁岩	—	

第324図 80号土塚出土石器

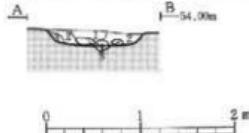
第325図

K-1 m  
27-1 m

81号土壤 (K-26) 土層記表

層位	層No	土 色	土 性	備 考
1	1	暗 暗 10YR3/4	シルト	細緻均質小凹凸。細縫多量、炭化物粒子少量含む
	2	暗 暗 10YR4/4	シルト	小凹凸多量。炭化物粒子微量に含む
2	3	暗 暗 10YR3/4	シルト	細緻均質少量含む
	4	暗 暗 10YR4/4	シルト	細緻均質微量に含む
3	5	暗 10YR4/6	シルト	細縫少量、小凹凸多量に含む

No	地 区	標 記 面	平 面 形	規 模	型 高	備 考
81	K-26・27	第4層上面	不規則形	155×134	70	底面中央に38×29×10のビット有。

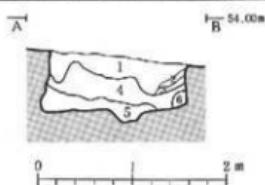


82号土壤 (J-26b) 土層記表

層No	土 色	土 性	備 考
1	明 暗 10YR3/4	シルト	炭化物、スコリア及び岩石の混入含む
2	暗 暗 10YR4/4	シルト	スコリア。炭化物含む
3	暗 暗 10YR4/6	黒土質シルト	ローム粒含む

No	地 区	標 記 面	平 面 形	規 模	型 高	備 考
82	J-26	第4層上面	規則形	105×80	16	底面に最大へ手の平大的石64個乱れる。

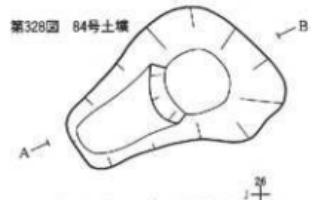
第327図



83号土壤 (J-26) 土層記表

層位	層No	土 色	土 性	備 考
1	1	暗 暗 10YR3/2	シルト	褐色多量(ローム、スコリア)、細縫少量、炭化物少量含む
	2	暗 暗 10YR3/4	シルト	ローム粒少量含む
	3	暗 暗 10YR3/2	シルト	小礫微量に含む
2	4	暗 暗 10YR4/4	砂質シルト	小礫、細縫(褐色)多量に含む
	5	暗 暗 10YR3/4	シルト	小礫微量、細縫少量含む
3	6	暗 暗 7.5YR3/3	シルト	褐色(ローム)少量含む

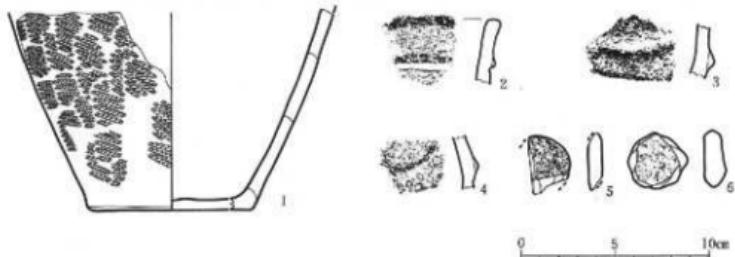
No	地 区	標 記 面	平 面 形	規 模	型 高	備 考
83	J-26・27	第4層上面	不規則形	166×153	64	底面中央に29×28×14のビット有



84号土壤 (J-25a) 土層記表

層位	層番	土色	土性	備考
1	1	暗褐色 10YR3/3	シルト	若干スコリア含む
2	2	褐 7.5YR4/4	シルト	少量の炭化物含む
3	3	褐 10YR4/6	シルト	
4	4	褐 7.5YR4/6	粘土質シルト	
5	5	黄褐色 10YR5/6	シルト	若干炭化物含む

No	地区	緯度	平面形	規模	壁高	備考
84	J-25-26		第4層上面	不整椎円形	215×160	30 底面中央部に段有。



No	層位	基岩	外	内	底	分類	備考
1	堆積土	深 跡	RL調文・暗色	暗色(灰)	暗色		
2	堆積土	深 跡	透鏡文・沈積文・LR調文	暗色(灰)		B II	
3	堆積土	深 跡	透鏡文・不明調文	不明		X	
4	堆積土	深 跡	透鏡文・斜交文	暗色(灰)		X	
5	堆積土	上脚内盤					
6	堆積土	土質凹盤					

第329図 84号土壤出土土器・土製円盤

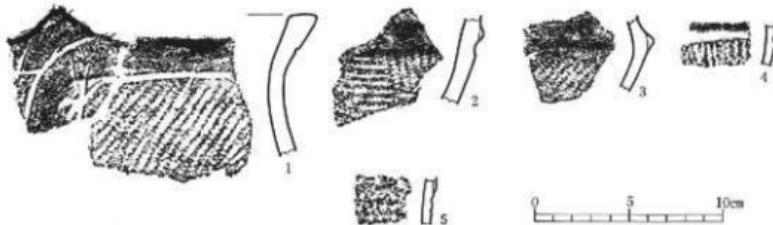
第330図 85号土壤



85号土壤 (L-25b) 土層記表

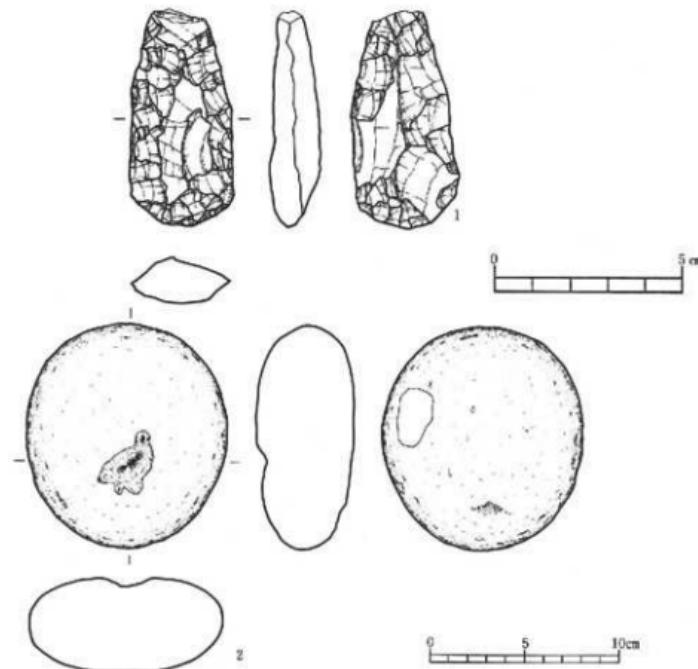
層位	土色	土性	備考
1	暗褐色 10YR3/4	粘土質シルト	スコリア少量含む
2	褐 10YR4/6	シルト	スコリア多量に含む
3	黄褐色 10YR5/6	粘土質シルト	ロームブロック含む

No	地区	緯度	平面形	規模	壁高	備考
85	L-25		第4層上面	不整椎円形基盤	165×80	20 325号土器に切られ。19号罐部を切る



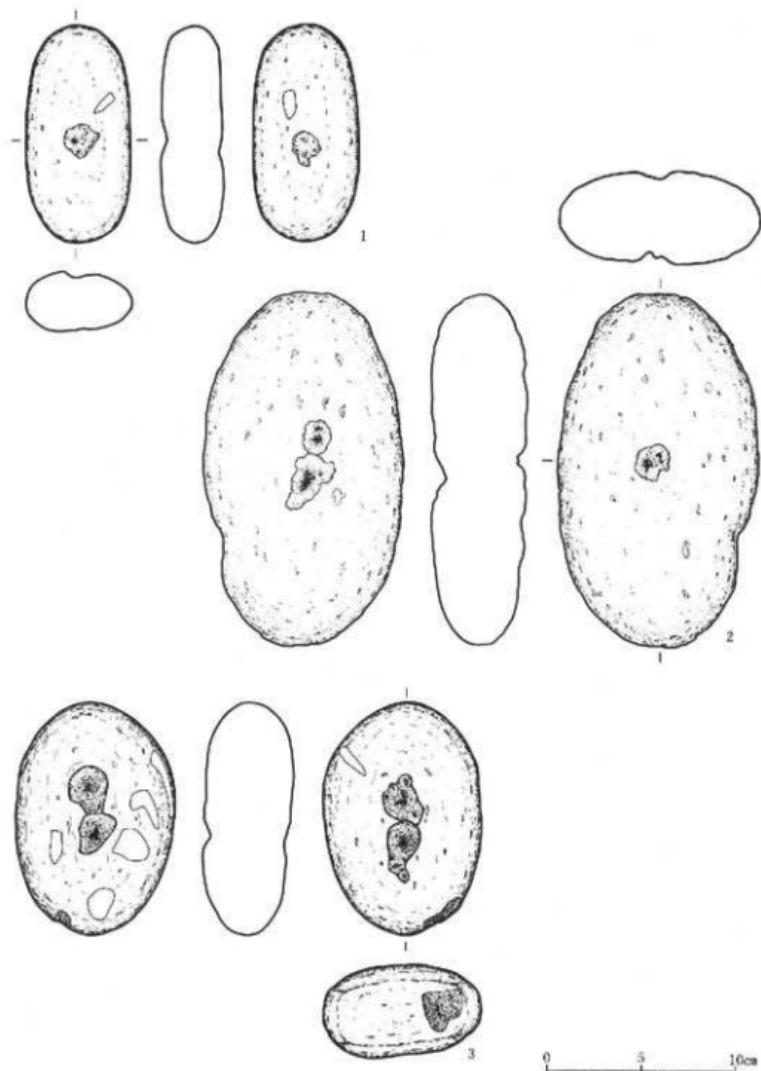
No.	層位	器形	外面	内面	分類	備考
1	堆積土	深鉢	沈綻文・RL繩文	ナデ(唐・鉢)・ 波文(鉢)	X6or7	
2	堆積土	深鉢	路綻文・RL繩文	波文(鉢)		
3	堆積土	深鉢	路綻文・RL繩文	ナデ・唐(鉢)		
4	堆積土	深鉢	路綻文・沈綻文・L繩文	波文(鉢)		
5	堆積土	深鉢	継綻文・対向文	マメツ		

第331図 85号土壤出土土器



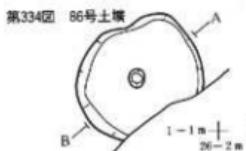
No.	種別	層位	長×高×厚(cm)	重量(g)	石種	使用痕	備考
1	塊状石器	堆積土	58.20×27.80×12.70	19.85	泥灰岩	—	
2	錐石器	堆積土	119×104×52	886.0	凹一片面		

第332図 85号土壤出土石器(1)



第333圖 65號土壤出土石器(2)

No.	類別	層位	長×寬×厚(mm)	重量(g)	石材	使用面	編號
1	石器	地表土	115×108×33	280.5		凹一背面	
2	石器	堆積土	109×107×50	1270.9		凹一背面	
3	石器	地表土	123×84×49	619.9		凹一側面, 凹一側面	

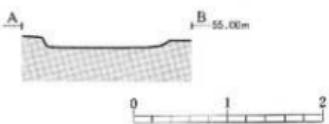


第334図 86号土壤

層位	層番	土色	土性	備考
I	1	褐 7.5YR4/6	シルト	
	2	明 褐 7.5YR5/6	シルト	
	3	明 褐 7.5YR5/8	粘土質シルト	
	4	褐 7.5YR4/3	シルト	
	5	黄 褐 10YR5/6	シルト	

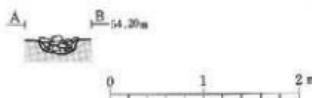
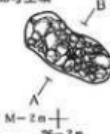
No	地 区	被 記 面	平 面 形	成 熟	茎 高	備 考
86	H-1-25	第4層上面	円形基面	138×132	20	14時に切られる。底面中央部に18×17×13のピット有。

第335図 87号土壤



No	地 区	被 記 面	平 面 形	成 熟	茎 高	備 考
87	L-24	第4層上面	不規則形	(150)×138	10	北東部斜面により埋没。周囲に30×25×35、底面南北約1.25×20×25のピット有。

第336図 88号土壤

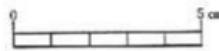
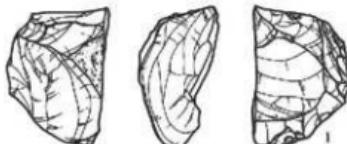


No	地 区	被 記 面	平 面 形	成 熟	茎 高	備 考
88	L-25	第4層上面	橢円形	104×47	10	土壌中に最大～人頭大の石が残っている



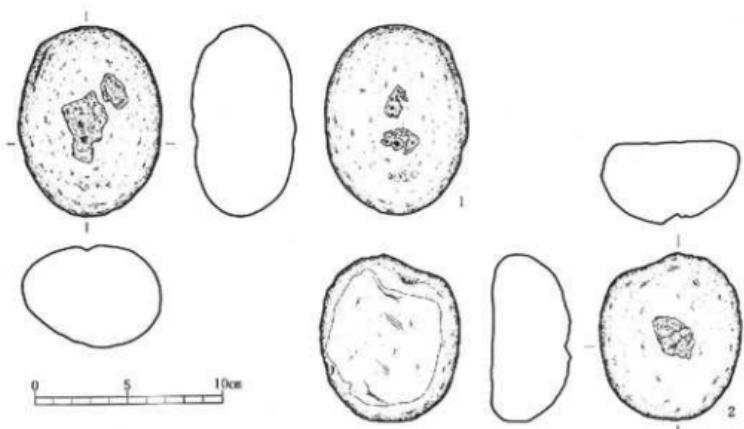
No. 明 位  
1 地盤上

第337図 88号土壤出土土製円盤



No.	種 别	層 位	長 × 幅 × 厚(cm)	重 量(K)	石 材	使 用 表	備 考
1	石 核	暗褐色	28.10×25.95×19.15	16.16	泥紋岩	—	

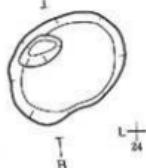
第338図 88号土壤出土石器(1)



No.	層別	層位	長×幅×厚(cm)	重量(g)	石材	使用痕	圖考
1	鐵石層	地盤土	161×76×55	588.0		凹・両面	
2	鐵石器	培植土	89×75×44			凹一片面、崩一片面	

第339図 88号土壤出土石器②

第340図 89号土壤 A



A

B - 55.30m



89号土壤(L-24a) 土層記表

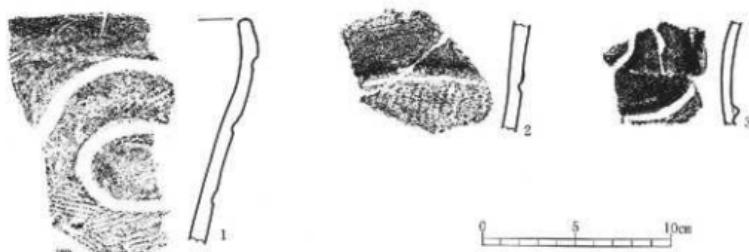
層位	層番	土色	土性	圖考
1	1	暗褐 16YR3/4	シルト	若干の炭化物含む
	2	暗褐 16YR3/3	シルト	鐵土・炭化物含む
2	3	黄褐 16YR5/6	粘土質シルト	
	4	黑褐 16YR3/2	シルト	炭化物・鉄土含む
3	5	暗褐 7.5YR3/4	シルト	若干の炭化物含む
	6	褐 16YR4/4	シルト	

No.	地区	標記面	平面形	幅	厚	圖考
89	L-23・24	第4層上面	橢円形	134×163	37	底面化粧陶に51×29×14のピット有。



No.	層位
1	堆積土

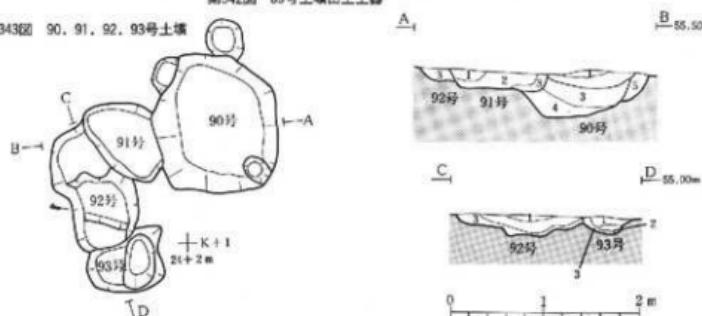
第341図 89号土壤出土土製円盤



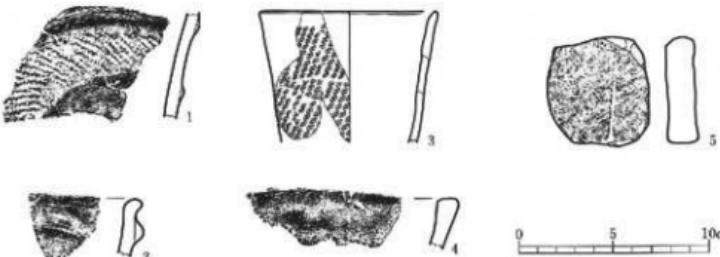
No.	層位	剖面	外 面	内 面	分類	備 考
1	堆積土	深 級	泥炭文・LR縦文	チャコ(原・鉛)・ 蘭キ(原・鉛)	X	
2	堆積土	深 級	泥炭文・沈積文・RL縦文	蘭キ(原)	X	
3	堆積土	深 級	泥炭文・沈積文・其文字・ RL縦文	蘭キ(原)	X	

第342図 89号土壤出土土器

第343図 90, 91, 92, 93号土壤



No.	地 区	標 評 面	平 面 形	横 働	高 度	備 考
90	K-24	第4層上面	不規則瓦砾方形 基盤	145×131	45	91. 土壌、ピットに切られる。南北幅に30×23×16の ピット有
91	K-24	第4層上面	不整衛円形基盤	95×(73)	17	92. 土壌を切る
92	K-24	第4層上面	不整長方形基盤	(126)×74	26	93. 92土壌を切られる。土壌中央部が一段低くなっ ている
93	K-24	第4層上面	不整方形	83×65	44	92土壌を切る。底面は両側が一段低くなっている



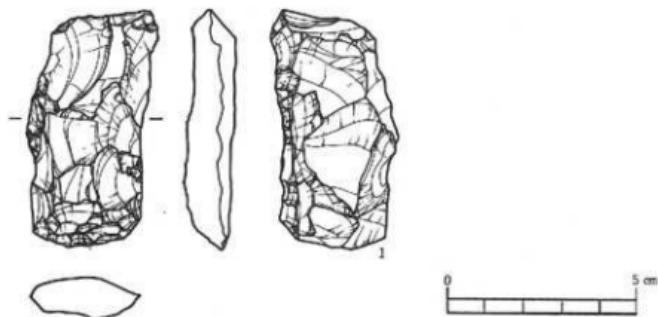
No.	層 位	器 形	外 面	内 面	分 類	備 考
1	地耕土	單 純	捺縹文・LR縹文	ナゲ・擦キ(網)	X	
2	地耕土	單 純	捺縹文・LR縹文	ナゲ・擦キ(網)	B I	
3	堆積土	單 純	RLR縹文・擦キ	擦キ(網)	B VI	
4	堆積土	單 純	擦キ	ナゲ・擦キ(網)	B VIII	
5	堆積土	土製円盤				

第344図 90号土壤出土土器。土製円盤



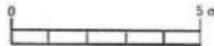
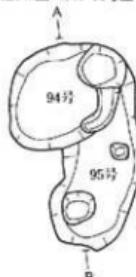
No.	層 位	器 形	外 面	内 面	分 類	備 考
1	地耕土	單 純	捺縹文・LR縹文	擦キ(網・網)	X	
2	堆積土	單 純	捺縹文・LR縹文	擦キ(網)	X	
3	堆積土	單 純	捺縹文・LR縹文	擦キ(網・網)	X	
4	堆積土	單 純	捺縹文・LR縹文	擦キ(網)	X	
5	堆積土	土製円盤				

第345図 91号土壤出土土器。土製円盤



No.	種別	層位	長×幅×厚(mm)	重量(K)	石材	使用痕	備考
1	荒状石器	堆積上	64.50×35.30×12.80	17.35	碧玉	—	

第347図 94、95号土壤



第346図 91号土壤出土石器

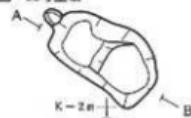
層位	編號	土色	土性	備考
1	暗褐色	10YR3/4	シルト	スコリア含む
2	褐	10YR4/4	シルト	スコリア、炭化物微量に含む
3	褐	10YR4/6	粘土質シルト	スコリア、若干の堆土粒含む
2	4 深褐色	10YR5/6	シルト	ローム粒含む

95号土壤(J-24H) 土層註記表

層位	編號	土色	土性	備考
1	暗褐色	10YR3/3	シルト	スコリア含む
2	暗褐色	10YR3/4	シルト	スコリア含む
3	暗褐色	7.5YR3/4	シルト	スコリア、Fine Sand含む
2	4 深褐色	10YR4/6	粘土質シルト	粘土粒含む

%	地区	縦断面	平面形	規模	標高	備考
94	J-K-23・24	第4層上面	方形基盤	120×110	15	95号 sondageを切る。北東部に50×50×14の凹み部と35×16の凹み部が見られる。東側に30×30の凹み部が見られる。
95	J-K-23・24	第4層上面	不整規四角形基盤	120×90	21	34×15のピット部。

第348図 96号土壤

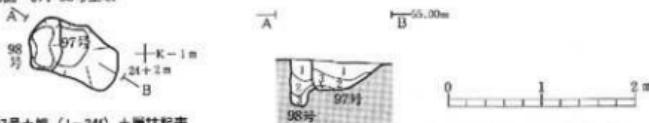


96号土壤(J-24e) 土層註記表

層位	編號	土色	土性	備考
1	褐	7.5YR4/4	シルト	褐土、炭化物、スコリアを若干含む
2	暗褐色	10YR3/4	シルト	炭化物を少量含む
2	3 褐	10YR4/6	粘土質シルト	

%	地区	縦断面	平面形	規模	標高	備考
96	J-24・25	第4層上面	不整規円形	138×69	29	西側をピットに切られる。底面形状が一段高くなっている。

第349図 97, 98号土壌



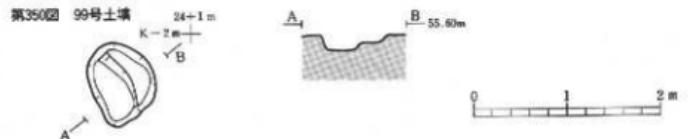
97号土壌 (J-24f) 土層註記表

編No	土色	土性	備考
1	褐 7.5YR4/6	シルト	小礫、スコリア含む
2	褐 7.5YR4/4	シルト	スコリア少量含む
3	褐 10YR4/6	粘土質シルト	

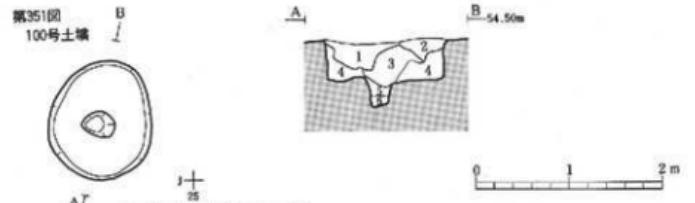
98号土壌 (J-24g) 土層註記表

編No	土色	土性	備考
1	褐 10YR4/6	粘土質シルト	ローム粒が風化の純土含む
2	黄褐 10YR5/6	シルト	ローム粒、スコリア含む
3	褐 10YR4/6	シルト	

No	地 区	確 認 面	平 面 形	規 模	堅 高	備 考
97	J-24	第4層上面	楕円長方形	75×58	25	98上層を切る
98	J-24	第4層上面	楕円長方形基準	55×(33)	49	97土壌に切られる



No	地 区	確 認 面	平 面 形	規 模	堅 高	備 考
99	J-23-24	第4層上面	不整円形	80×70	15	底面削がれ高くなっている。



100号土壌 (J-24d) 土層註記表

層位	層No	土 色	土 性	備 考
1	1	褐 10YR4/4	シルト	スコリア及び極大の礫を含む
	2	褐 10YR4/6	シルト	スコリアを含む
2	3	明 褐 7.5YR5/6	シルト	スコリア及びFine sandを含む
	4	黄 褐 10YR5/6	粘土質シルト	スコリアを多量に含む
	5	黄 褐 10YR5/8	砂質シルト	Fine sandを多量に含む
	6	赤い黄褐色 10YR4/3	砂質シルト	

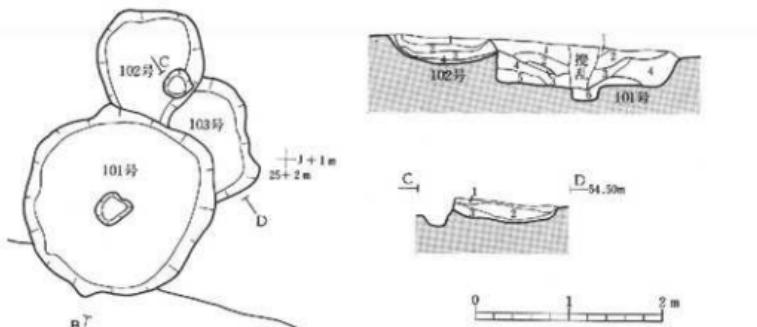
No	地 区	確 認 面	平 面 形	規 模	堅 高	備 考
100	J-24	第4層上面	橢円形	129×110	44	底面中央に36×27×39cmのピット有。



No.	層位	剖面	外觀	內觀	分類	備考
1	非鐵土	深綠	降謹文・LR謹文	廢土(鐵)	X	
2	鐵積土	土黃色				

第352圖 100号土壤出土土器・土製巴篋

第353圖 101. 102. A  
103號土壤 /



No.	地 区	施 設 面	平 面 形	規 準	標 高	備 考
101	I-J-24	第4層上面	円 形	206×203	56	15mに切られ、102、103工場を切る。直面半径に斜め
102	J-24	第4層上面	不整円形基盤	(125)×114	25	15mに切られ、102、103工場を切る。直面に31×27×17 32×27×17
103	J-24	第4層上面	楕円形基盤	(304)×900	17	101、102工場に切られる

101量大類 (I-2(a)) 土質註記表

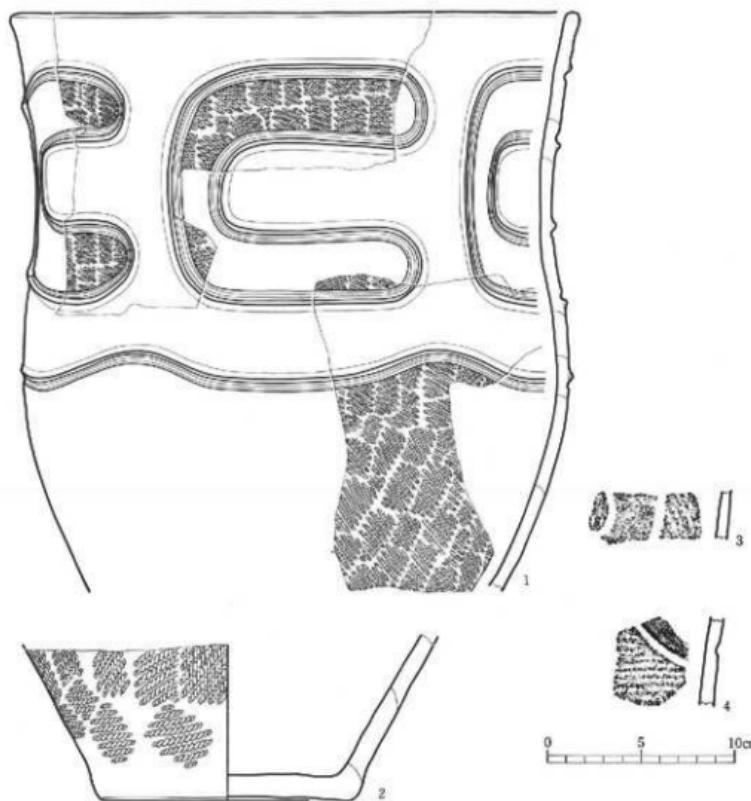
層級		層番	土 色	土 性	備 考
1	1	暗褐色	7.5YR3/3	シルト	スコリアを少量含む
2	2	褐褐色	10YR4/6	粘土質シルト	スコリアを多く含む
	3	黒褐色	10YR3/2	シルト	炭化物、スコリアを含む
3	4	暗褐色	10YR3/4	シルト	炭化物、スコリア及びFine Sandを含む
	5	暗褐色	7.5YR3/4	シルト	スコリアを少量含む
4	6	褐褐色	7.5YR4/6	粘土質シルト	

### 102号土壤 (J-24b) 土层柱记录

属性	番号	土 壤	土 性	備 考
1	1 砂 土 7.5YR3/4	シルト	スコリアを少量含む	
	2 砂 土 7.5YR3/3	シルト	スコリア、炭化物質の植土配合	
	3 砂 土 7.5YR4/3	シルト	スコリア、炭化物質の植土配合	
2	4 黒 土 19YR4/6	粘土質シルト	スコリア、ロームブロックを粒状	

103号土壤 (J-24c) 土颗粒记录

編號	土 色	土 性	備 考
1 暗 閑	16YR3/4	シルト	スコリアを少量含む
2 暗 閑	10YR4/4	シルト	スコリア、炭化物少量含む
3 河 領	16YR3/8	粘土質シルト	ローム粒含む



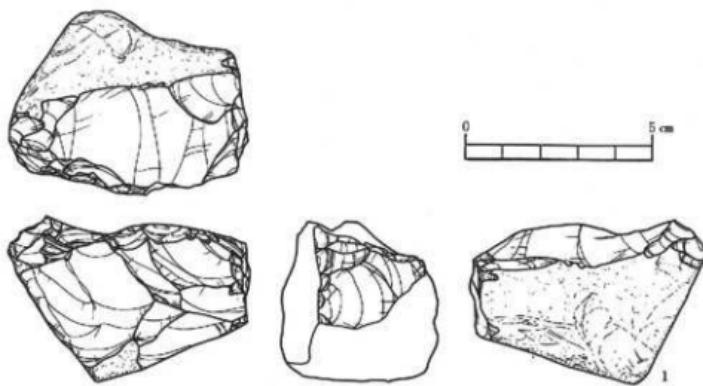
No.	層位	器形	外　面	内　面	分類	備考
1	非耕土	深鉢	波線文・浅縞文・平行多邊文・ 網子	波キ(鉢)	X3	
2	堆積土	深鉢	LR縞文・網キ	マメツ	X	
3	堆積土	深鉢	沈縞文・LR縞文	網キ(底・鉢)	X	
4	非耕土	深鉢	縞縞文・LR縞文	波キ(鉢)		

第354図 101号土壤出土土器



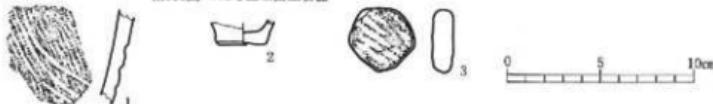
No.	層位	器形	外　面	内　面	分類	備考
1	堆積土	深鉢	縞縞文	波キ(鉢)		

第355図 102号土壤出土土器



No.	層別	層位	長×幅×厚(mm)	重量(kg)	石材	使用範	備考
1	石板	堆積土	43.95×65.20×47.75	122.30	頁岩	—	

第356図 102号土壤出土石器



No.	層別	層形	外 面	内 面	底 面	分類	備 考
1	堆積土	済 細	比縫文・LR縫文	櫛手(横・縦)			
2	堆積土	ヒニチュア	ナゲ	櫛手	ナゲ		
3	堆積土	土製円盤					

第357図 103号土壤出土土器・土製品



104号土壤 (1-24) 土層柱記表

層位	層No.	土 色	上 性	備 考
1	1	赤 艶 7.5YR3/4	シルト	炭化物を少量含む
	2	褐 艶 7.5YR3/4	シルト	炭化物を含む
	3	褐 7.5YR4/4	シルト	礫を若干含む
	4	褐 艶 7.5YR5/6	粘土質シルト	
	5	褐 7.5YR6/6	砂質シルト	
	6	褐 7.5YR4/3	シルト	

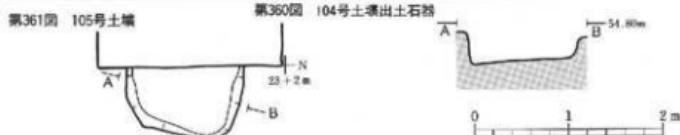
No.	地 区	地 質 面	平 面 形	規 模	壁 高	備 考
104	H-1-24	第4層上面	円 形	174×165	44	底面中央に28×22×8のピット有。



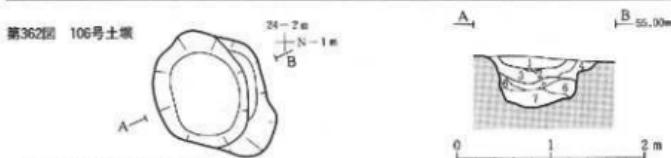
No.	層位	器形	外 面	内 面	底 壁	分 類	備 考
1	堆積土	深鉢	沈縫文・RL縫文	底内(縫・鋸)			
2	堆積土	深鉢	縫縫文・LR縫文	底内(縫)			
3	堆積土	深鉢	RL縫文	底内(縫・鋸)		B VI	
4	堆積土	深鉢	RL縫文・縫内	底内(縫)	縫内		



No.	種 別	層 位	長 × 幅 × 厚 (mm)	重 量 (K)	石 材	使 用 模	備 考
1	石器A	堆積土	(35.86) × (13.46) × 4.70	1.20	—	—	



No.	地 区	測 定 面	平 面 形	規 模	整 高	備 考
105	M+N-23	第4層上面	円形基盤	124×94	34	13往復路を切る。刃石器トレンチのため全体は不明。



106号土壤 (M-23c) 土層記表

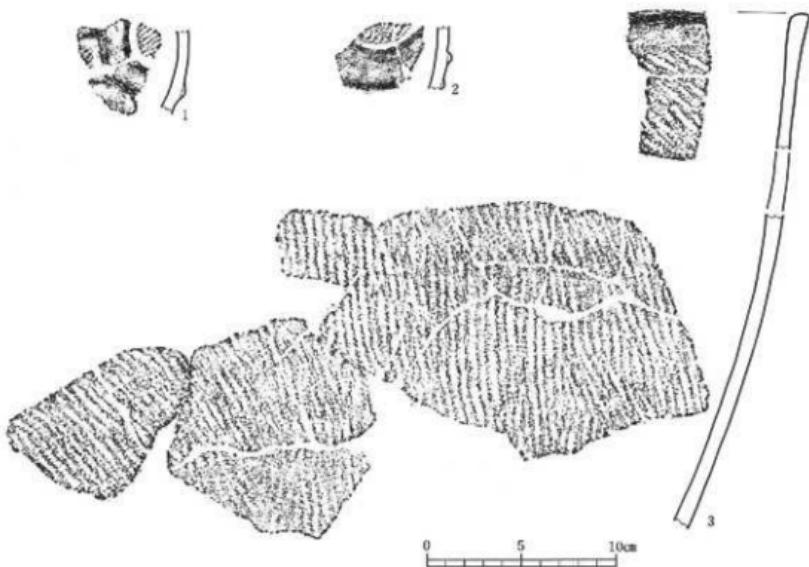
層位	層No.	土 色	土 物	備 考
1	1	海 10YR4/4	シルト	スコリア含む
	2	明黄褐 10YR6/8	粘土質シルト	
2	3	褐 10YR4/6	シルト	スコリア。炭化物含む
	4	黄 褐 10YR3/6	粘土質シルト	スコリア多く含む
3	5	褐 10YR3/4	シルト	流土。炭化物を含む
	6	褐 7.5YR4/4	シルト	炭化物を若干含む、スコリア含む
	7	褐 7.5YR4/3	シルト	スコリア若干含む

No.	地 区	測 定 面	平 面 形	規 模	整 高	備 考
106	M-23	第4層上面	不整形	150×123	50	13往復路と東廻の可逆性有。工具痕跡が複数になってい る。



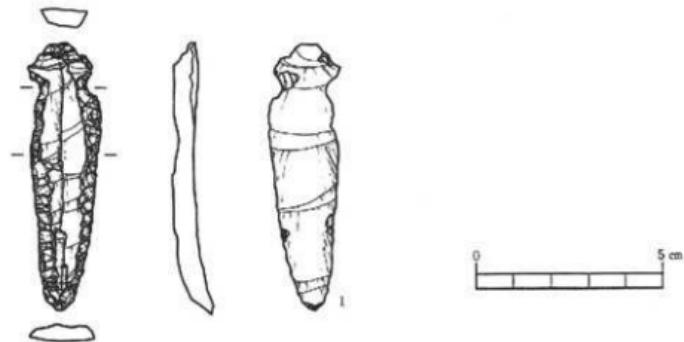
No.	層 位	器 形	外 面	内 面	底 部	分 類	備 考
1	堆積土	深鉢	縫内	底内(縫)	縫内		
2	堆積土	ミニチュア	ナデ	ナデ	ナデ		

第363図 106号土壤出土土器 (1)



No.	層位	形狀	外　面	内　面	分類	備　考
1	底層上	圓錐	陰線文・浅縫文・RL周文	磨平(橫)	X	
2	埋積土	圓錐	陰線文・浅縫文・RL周文	磨平(橫)	X	
3	地表土	圓錐	LR周文	磨平・ナギ(横)	B VI	

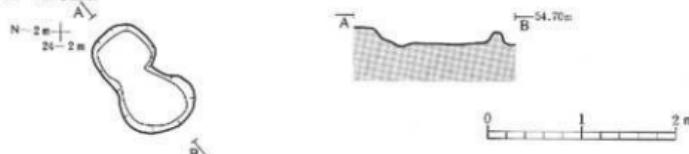
第364圖 106号土壤出土土器 [2]



No.	種別	層位	長×幅×厚(cm)	重量(g)	石材	使用痕	備考
1	石器	堆積土	71.55×18.80×6.25	8.15	頁岩	—	

第365圖 106号土壤出土石器

第366図 107号土壌



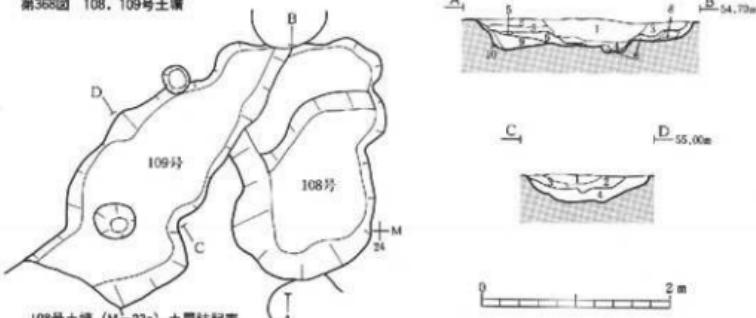
No	地 区	確 認 面	平 面 形	規 格	標 高	備 考
107	M-23	第4層上面	不整面円形	125×25	19	106土壌を切る。13生苔跡と重複の可能性有。



No	層 位	體 形	外 表 面	内 面	分 類	備 考
1	堆積土	盤 体	隆起文・不明塊文	磨光(頸・鉢)		
2	堆積土	土製円錐				
3	堆積土	土製円錐				

第367図 107号土壌出土土器・土製円錐

第368図 108, 109号土壌



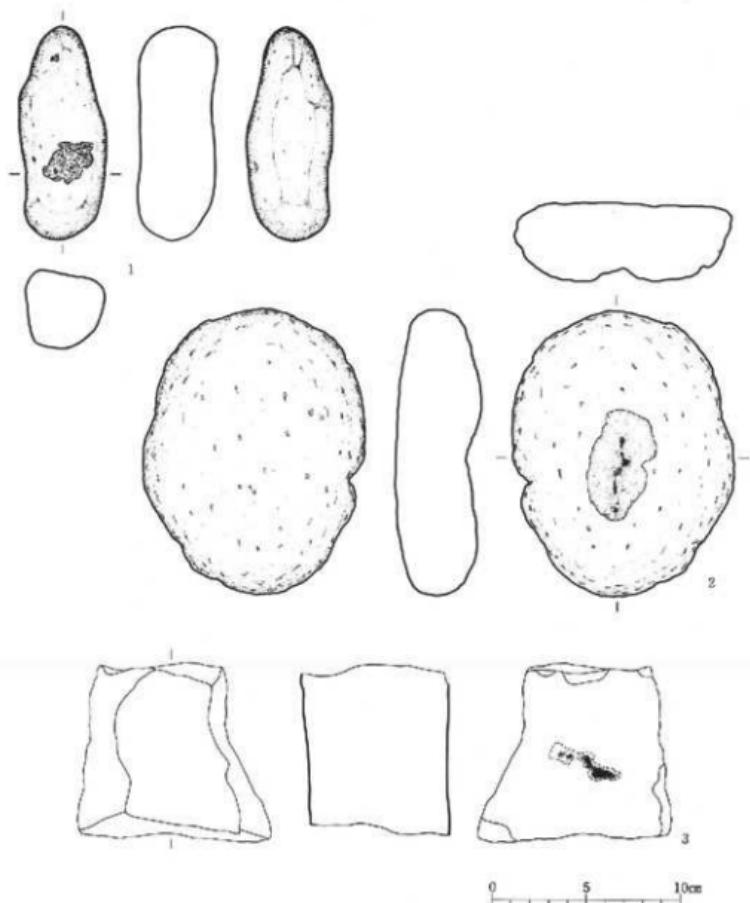
108号土壌 (M-23a) 土層記表

層位	層%	土 色	土 性	備 考
1	1	褐 黄 7.5YR3/3	シルト	炭化物、スコリア含む
	2	暗 黄 10YR3/4	シルト	スコリア含む
	3	褐 10YR4/6	シルト	若干の炭化物、スコリア含む
	4	褐 10YR4/4	シルト	ローム層、炭化物含む
	5	褐 7.5YR4/4	シルト	若干の炭化物含む
2	6	黄 褐 10YR5/6	粘土質シルト	ローム粒若干含む
	7	棕 黄 10YR4/3	シルト	ローム粒含む
	8	褐 7.5YR4/6	粘土質シルト	
3	9	褐 7.5YR4/3	シルト	炭化物、スコリア含む
	10	明 褐 7.5YR5/6	粘土質シルト	

109号土壌 (M-23d) 土層記表

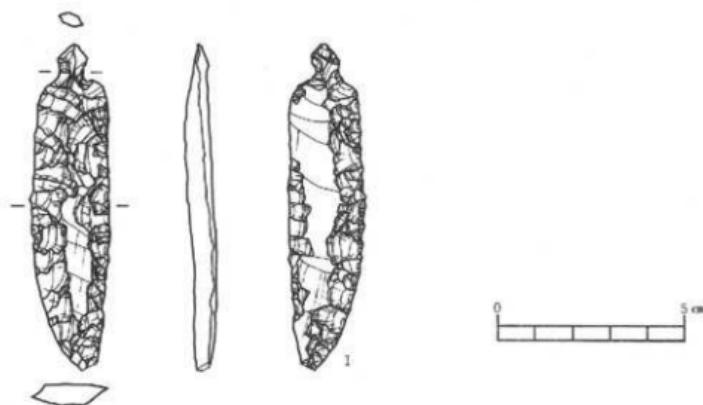
層位	層%	土 色	土 性	備 考
1	1	暗 黄 10YR3/3	シルト	微量の炭化物、スコリア含む
	2	暗 黄 10YR3/4	シルト	スコリア含む
	3	褐 10YR4/6	シルト	ロームブロック含む
2	4	暗 黄 10YR5/6	粘土質シルト	

No	地 区	確 認 面	平 面 形	規 格	標 高	備 考
108	L・M-23	第4層上面	不整面円形	250×180	32	107土壌に切られ、109, 115土壌を切る。北側に陥れ
109	L・M-23	第4層上面	不整形	(285)×155	49	108, 111土壌に切られる。底面半径に45×37×20のピラミッド。



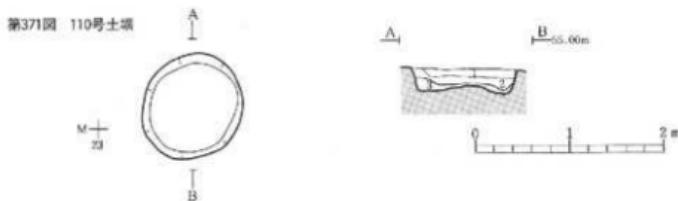
No.	種別	層位	長×幅×厚(mm)	重量(g)	石材	使用面	備考
1	打石器	埴地上	114×96×43	304.5		凹一側面	
2	打石器	埴底土	153×117×48	529.0		凹一面面	
3	石皿	地盤土	(59)×(192)×(84)	1173.0		凸一面面	焼けている

第369図 108号土壤出土石器



No.	種別	層位	長×幅×厚(cm)	重量(g)	石材	使用面	備考
1	石器	地盤土	(87.30) × 21.10 × 6.10	11.20	頁岩	—	アスファルト付着

第370図 109号土壤出土石器



110号土堆 (M-23e) 土層記載表

層位	Wd%	土色	土性	備考
1	1	褐 10YR4/4	シルト	スコリア含む
	2	褐 10YR4/6	シルト	スコリア層No.1より多く含む
2	3	明黄褐 10YR6/6	シルト	ロームブロック含む

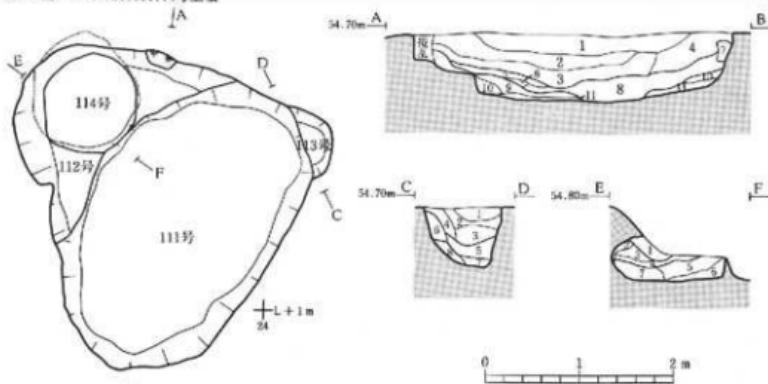
No.	地 区	盛 認 部	平 面 形	範 围	高 度	備 考
110	L-M-23	第4層上面	円形	117×105	36	13世沼跡との重複の可能性有。

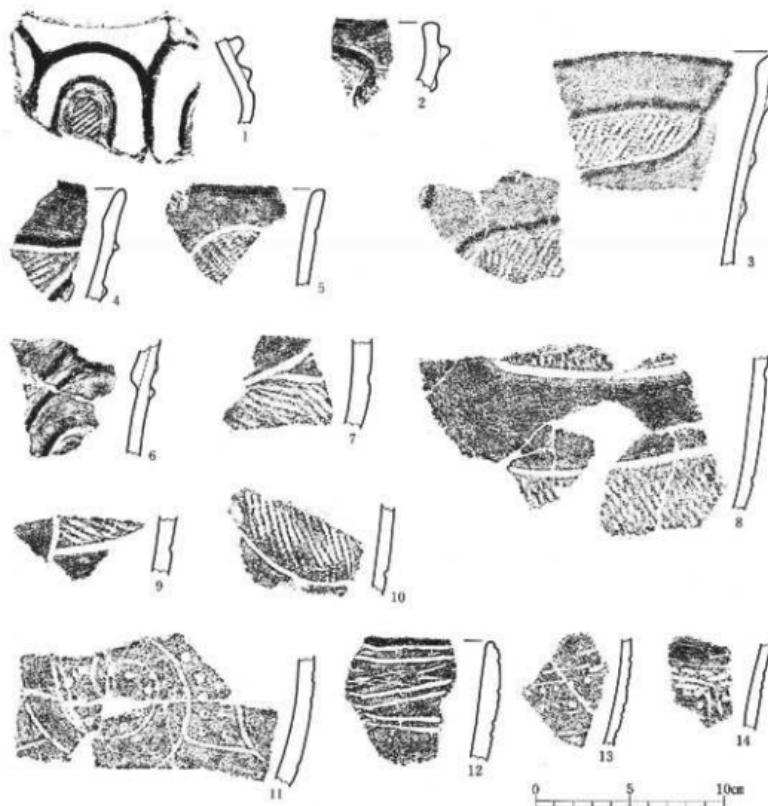


No.	層 位	形 性	外 表 面	内 表 面	分類	備 考
1	地盤土	深 鮎	比較文・LR縞文	凹凸(鈍・鋭)	—	—

第372図 110号土壙出土石器

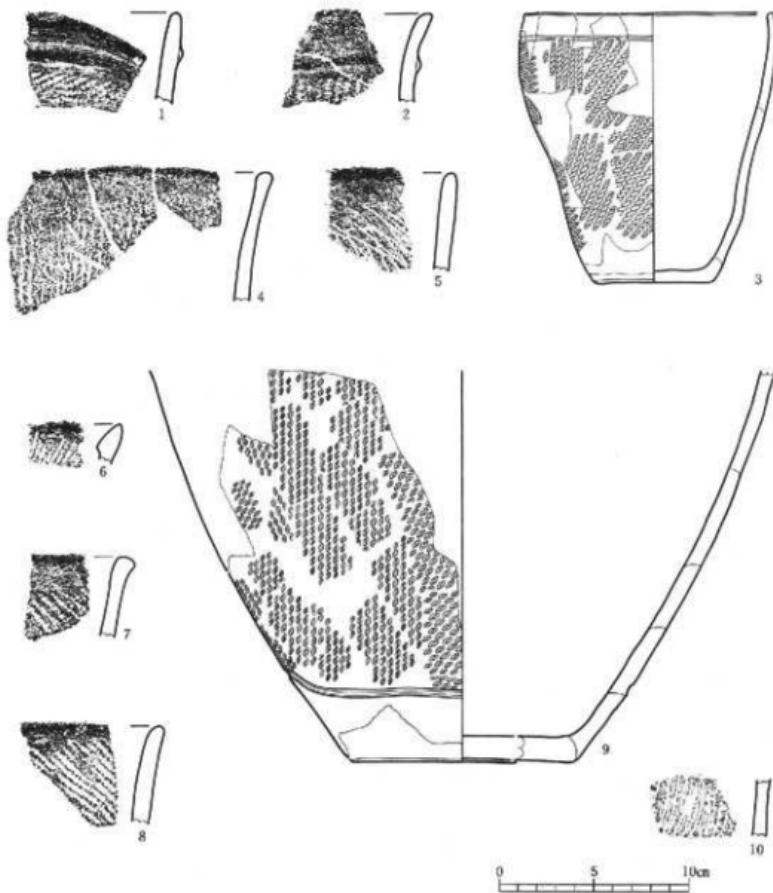
第373図 111, 112, 113, 114号土壤





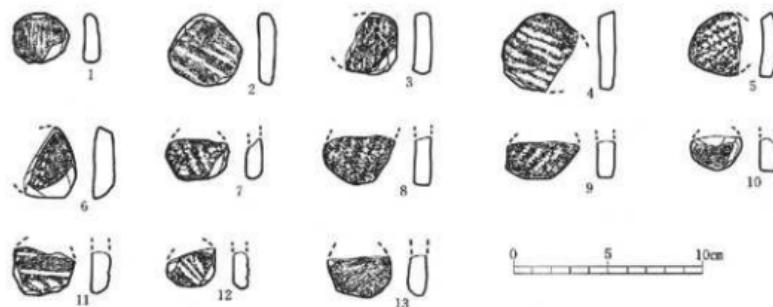
No.	層位	器 形	外 表	内 面	分 類	備 考
1	堆積土	深鉢	波線文・沈線文・RL螺旋文	ナデ・網目(横)	IX	丹塗り
2	堆積土	深鉢	波線文・L狀螺旋文	ナデ・網目(横)	X	
3	堆積土	深鉢	波線文・RL螺旋文	網目(横・斜)	X6or7	
4	堆積土	深鉢	波線文・沈線文・RL螺旋文	網目(横・斜)	X	
5	堆積土	深鉢	波線文・RL螺旋文	網目(横)	X	
6	堆積土	深鉢	波線文・沈線文	網目(横・斜)	X	
7	堆積土	深鉢	沈線文・L狀螺旋文	ナデ・網目(横)	X	
8	堆積土	深鉢	沈線文・L狀螺旋文	網目(横)	X	
9	堆積土	深鉢	波線文・L狀螺旋文	網目(横)	X	
10	堆積土	深鉢	波線文・RL螺旋文	網目(横)	X	
11	堆積土	深鉢	沈線文・W狀突文	網目(横・斜)	X	
12	堆積土	深鉢	沈線文	網目(横)	XI	
13	堆積土	深鉢	沈線文・W狀突文	マメツ	XI	
14	堆積土	深鉢	沈線文・W狀突文	網目(横)	XI	

第374図 111号土壤出土土器(1)



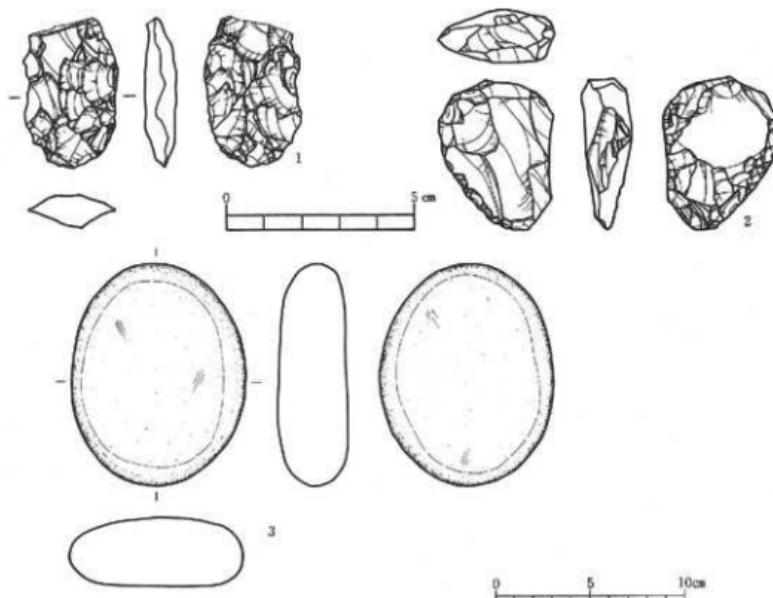
No.	層位	器形	外面	内面	底部	分類	備考
1	堆積土	深鉢	弦紋・RL縞文	磨キ(横・直)		B I	
2	堆積土	深鉢	RL縞文	磨キ(横)		B I	
3	堆積土	深鉢	弦紋・LR縞文・磨キ	磨キ(横)	木炭灰	B VI	
4	堆積土	深鉢	RL縞文	磨キ(直)		B VI	
5	堆積土	深鉢	RL縞文	磨キ(横)		B VI	
6	堆積土	深鉢	RL縞文	磨キ(横)		B VI	
7	堆積土	深鉢	RL縞文	チザ・磨キ(直)		B IV	
8	堆積土	深鉢	LR縞文	磨キ(横)		B VI	
9	堆積土	深鉢	弦紋・RLR縞文・磨キ	マメツ	磨キ		
10	堆積土	深鉢	弦紋	磨キ(直)			

第375図 111号土塹出土土器(2)



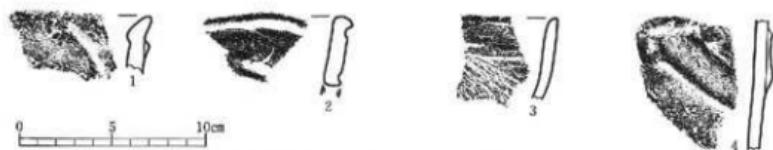
No.	層位										
1	埴模土	2	埴模土	3	埴模土	4	埴模土	5	埴模土	6	埴模土
8	埴模土	9	埴模土	10	埴模土	11	埴模土	12	埴模土	13	埴模土

第376図 111号土坑出土土製円盤



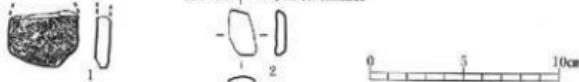
No.	種別	層位	長×幅×厚(cm)	重量(kg)	石材	使用痕	備考
1	鋪伏石器	埴模土	39.50×20.35×7.49	9.19	頁岩	—	
2	スクレイバー	埴模土	39.55×31.15×12.35	16.50	頁岩	—	
3	擦石器	埴模土	117×92×37	665.0		磨一削面	

第377図 111号土坑出土石器



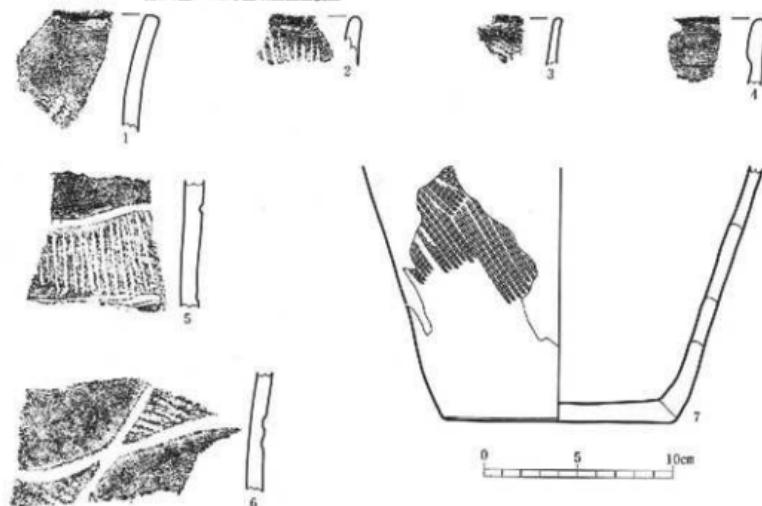
No	層位	器形	外面	内面	分類	備考
1	堆積土	深鉢	捲線文	磨キ (横)	B I	
2	堆積土	深鉢	沈線文	磨キ (横)		円底
3	堆積土	深鉢	捲線文	磨キ (横)	B VI	
4	堆積土	深鉢	捲線文・R捺赤文	磨キ (横・底)		

第378図 112号土壤出土土器



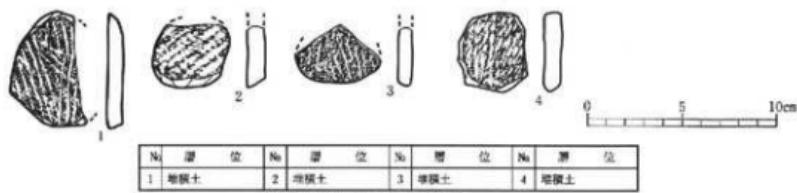
No	層位	器形	No	層位	種別
1	堆積土	土割円盤	2	堆積土	不明土製品

第379図 113号土壤出土土器品

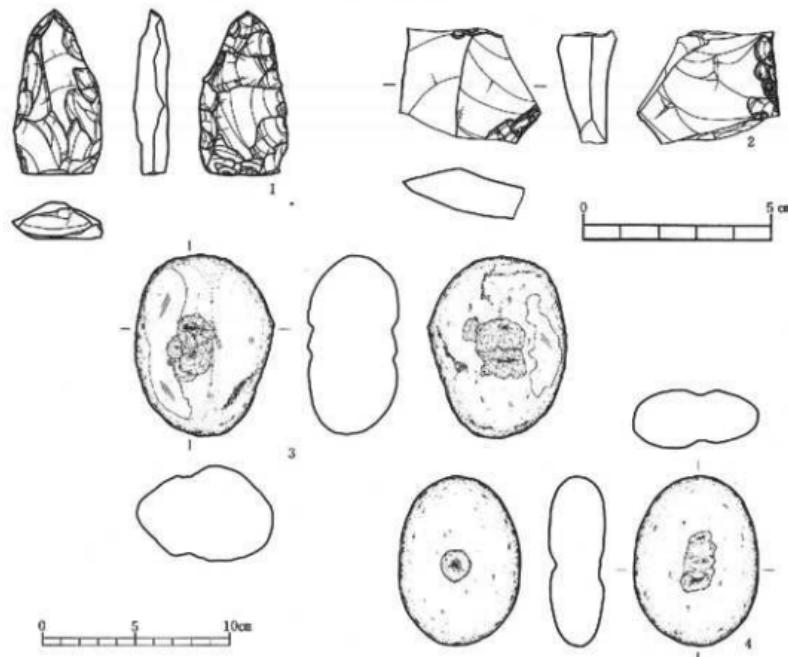


No	層位	器形	外面	内面	底部	分類	備考
1	堆積土	深鉢	RL捲文	ナゲ・磨キ (横)		B VI	
2	堆積土	深鉢	LR捲文	磨キ (横)		B VI	
3	堆積土	深鉢	LR捲文	磨キ (横)		B VI	
4	堆積土	深鉢	磨キ	磨キ (横)		B I	
5	堆積土	深鉢	沈線文・R捺赤文	磨キ (横)		X	
6	堆積土	深鉢	捲線文・RL捲文	磨キ (横)		X	
7	堆積土	深鉢	R捲赤文・磨キ	磨キ (横)	磨キ		

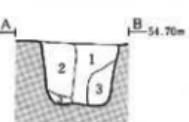
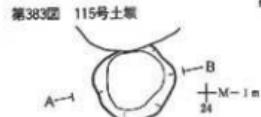
第380図 114号土壤出土土器



第381図 114号土壤出土土製内盤



第382図 114号土壤出土石器

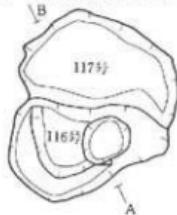


第383図 115号土器

115号土壠 (L-23f) 土層記記表

No.	土 色	土 性	備 考
1	暗 細 7.5YR3/4	シルト	炭化物、ローム混在む
2	褐 T.5YR4/4	シルト	ロームブロック多量に含む
3	褐 10YR4/6	シルト	ロームブロック多量に含む

No.	地 区	地 面 形	平 面 形	横 横	深 底	備 考
115	L-23	第4層上面	円形基調	84×75	66	108上層に切られる。

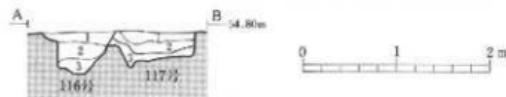
M+  
第384回 116, 117号土壠 23-2m

116号土壠 (L-23d) 土層記記表

No.	土 色	土 性	備 考
1	暗 細 10YR3/3	シルト	スコリア、炭化物含む
2	褐 10YR4/4	シルト	スコリア、炭化物、小礫含む
3	褐 10YR4/6	粘土質シルト	ロームブロック含む

117号土壠 (L-23e) 土層記記表

部位	No.	土 色	土 性	備 考
1	1	褐 10YR4/4	シルト	スコリア含む
2	2	褐 10YR3/3	シルト	スコリア含む
3	3	黄 褐 10YR5/6	シルト	ローム粒多く含む

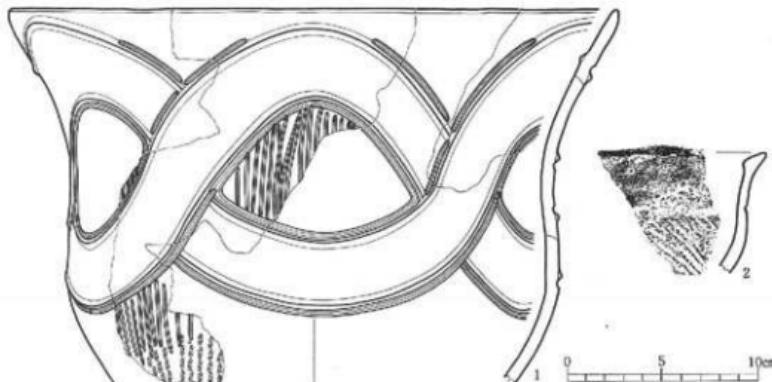


No.	地 区	露 見 面	平 面 形	横 横	深 底	備 考
116	L-23	第4層上面	楕円形基調	170×113	27	117土壠を切る。裏側に35×45×36のピット有
117	L-23	第4層上面	楕円形基調	170×(100)	27	109, 116上層に切られる



No.	層 位	器 形	外 面	内 面	分 類	備 考
1	堆積土	圓 鋼	波線文・RL波文	磨キ (微)	B VI	
2	堆積土	圓 鋼	波線文	磨キ (微)	X	
3	堆積土	圓 鋼	蓮瓣文・波線文	磨キ (微)	X	
4	堆積土	圓 鋼	蓮瓣文・波線文	磨キ (微)	X	
5	堆積土	圓 鋼	波線文	磨キ (微)	X	

第385回 117号土壠出土器(1)



No.	層位	器形	外 面	内 面	分 類	備 考
1	堆積土	深鉢	斜直文・沈痕文・LR捺糸文 底	面キ(側)	X5a	
2	堆積土	深鉢	沈痕文	面キ(底)	B VI	



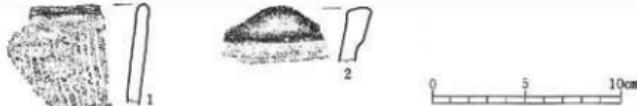
第386図 117号土壌出土土器(2)



118号土壌(K-23b) 土層註記表

層No.	土 色	土 性	備 考
1	赤 褐色 7.5YR3/4	シルト	
2	褐 褐色 7.5YR3/4	シルト	
3	褐 褐色 7.5YR4/4	シルト	

No.	地 区	標 記 面	平 面 形	規 模	型 高	備 考
118	L-23	第4層上面	不整円形	58×86	35	120土壌を切る。



No.	層 位	器 形	外 面	内 面	分 類	備 考
1	堆積土	深鉢	LR捺糸文	ナデ・面キ(側)	B VI	
2	堆積土	深鉢	捺痕文	面キ(底)	B III	



第388図 118号土壌出土土器

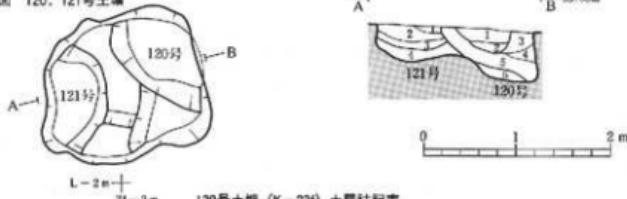


119号土壌(K-23a) 土層註記表

層位	層No.	土 色	土 性	備 考
1	1	褐 褐色 7.5YR4/4	砂質シルト	野牛の炭化物含む
2	2	褐 褐色 10YR4/6	シルト	
3	3	褐 褐色 10YR3/4	シルト	

No.	地 区	地 質 面	平 面 形	規 模	標 高	備 考
119	K-23	第4層上面	不整形	95×85	40	

第390図 120、121号土壠

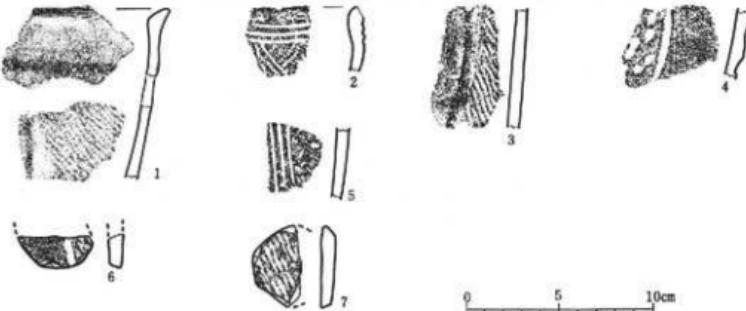


層位	層No.	土 色	土 性	備 考
1	1	暗 黄 10YR3/3	シルト	炭化物、スコリア、佛土粒含む
	2	暗 黄 10YR4/6	シルト	炭化物、スコリア、佛土粒含む
2	3	褐 7.5YR4/4	シルト	炭化物、スコリア、佛土粒微量に含む
	4	暗 黄 7.5YR3/4	シルト	炭化物、スコリア、佛土粒微量に含む
	5	褐 7.5YR4/4	シルト	炭化物、スコリア少許含む
3	6	明 黄 7.5YR5/6	粘土質シルト	ロームブロック含む

121号土壠 (K-23g) 土層註記表

層位	層No.	土 色	土 性	備 考
1	1	暗 黄 7.5YR3/4	シルト	スコリア、佛土粒、炭化物含む
	2	暗 黄 7.5YR4/4	シルト	スコリア、佛土粒、炭化物微量に含む
2	3	褐 7.5YR4/3	シルト	スコリア、佛土粒微量に含む
2	4	暗 黄 7.5YR3/3	粘土質シルト	スコリア、ローム粒含む

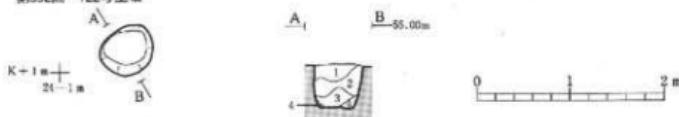
No.	地 区	地 質 面	平 面 形	規 模	標 高	備 考
120	K-23	第4層上面	楕丸形基調	150×(190)	54	118土壠に切られ、121土壠を切る。底面に窓がある。
121	K-23	第4層上面	楕丸形基調	150×(95)	32	120土壠に切られる。



No.	層 位	器 形	外 面	内 面	分 類	備 考
1	堆積土	深 裂	縦線文・LR纏文	縦キ (東)	X	
2	堆積土	深 裂	沈縦文・LR纏文	縦キ (東)	XI 6	
3	堆積土	深 裂	縦縞文・RL纏文	縦キ (東)	X	
4	堆積土	深 裂	沈縦文・斜文文	縦キ (東)	X	
5	堆積土	深 裂	沈縦文・不明纏文	縦キ (東)	XI 6	
6	堆積土	上腕円盤				
7	堆積土	土製円盤				

第391図 120号・121号土壠出土土器・土製円盤

第392回 122号土壠

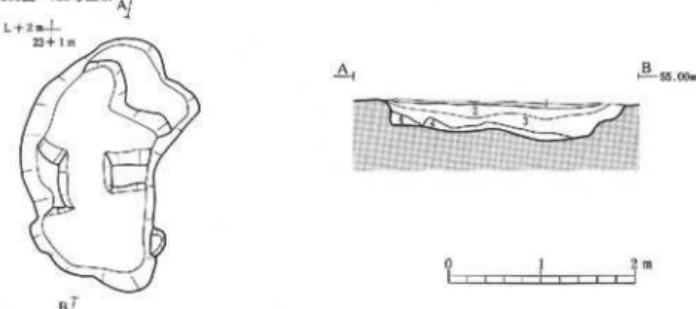


122号土壠(K-23) 土層註記表

層位	土色	土性	備考
1	褐色 10YR4/6	シルト	小粒、スコリア含む
2	褐色 10YR4/4	熱土質シルト	スコリア多量に含む
3	褐色 10YR3/4	シルト	スコリア、炭化物含む、小粒含む
4	黃褐色 10YR5/6	粘土質シルト	ローム粒、炭化物含む

No.	地 区	標 記 面	平 面 形	規 模	深 高	備 考
122	K-23	第4幅上面	不整円形	60×60	48	

第393回 123号土壠



123号土壠(K-23h) 土層註記表

層位	層%	土色	土性	備考
1	1	褐色 7.5YR4/4	シルト	
2	2	暗褐色 10YR3/3	粘土質シルト	スコリア、炭化物、熱土質含む
3	3	褐色 10YR3/4	シルト	スコリア、炭化物、砂粒含む
3	4	明黄色 10YR6/8	粘土質シルト	ロームブロック含む

No.	地 区	標 記 面	平 面 形	規 模	深 高	備 考
123	K+L-23	第4幅上面	不整規則形	267×170	44	底面に大きな凹凸がある。

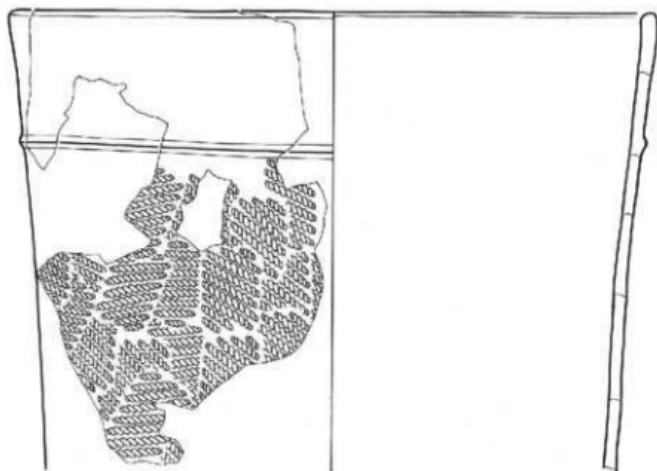
第394回 124号土壠



124号土壠(K-23c) 土層註記表

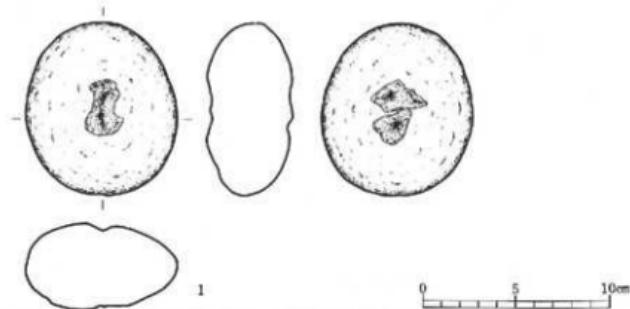
層位	層%	土色	土性	備考
1	1	褐色 7.5YR5/3	シルト	無土塊、スコリア、炭化物含む
1	2	褐色 7.5YR4/4	シルト	スコリア含む
1	3	褐色 10YR3/3	シルト	スコリア含む
1	4	褐色 10YR3/4	粘土質シルト	

No.	地 区	標 記 面	平 面 形	規 模	深 高	備 考
124	K-22+23	第4幅上面	不整円形	135×125	15	北東部をピットに切られる。



No.	層位	器形	外 面	内 面	分 類	備 考
1	堆積土	厚 筋	隆起文・RL線文・凹	マメツ	B.I	
2	堆積土	厚 筋	隆起文	凹 (奥)	X	
3	堆積土上	厚 筋	隆起文	凹 (奥・斜)	X	

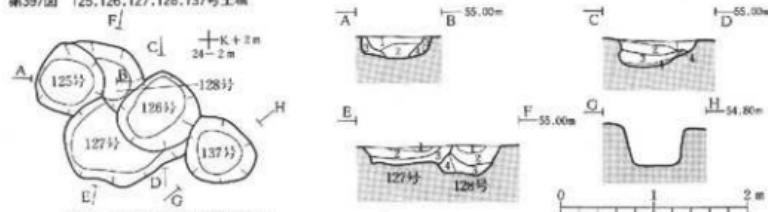
第395図 124号土壤出土土器



No.	種 别	層 位	長 × 幅 × 厚(cm)	重 量(kg)	石 材	使 用 法	備 考
1	磨石器	堆積土	91×60×47	421.0		凹一側面	

第396図 124号土壤出土土器

第397図 125, 126, 127, 128, 137号土壤



125号土壤 (K-23d) 土層註記表

層位	編No	土 色	土 性	備 考
1	1	暗 馬 7.5YR3/4	シルト	スコリア、炭化物含む
	2	暗 馬 7.5YR4/4	粘土質シルト	スコリア少量含む
2	3	明 馬 7.5YR3/6	粘土質シルト	スコリア、炭化物含む
	4	黄 馬 10YR5/8	粘土質シルト	ロームブロック含む

126号土壤 (K-23e) 土層註記表

層位	編No	土 色	土 性	備 考
1	1	暗 馬 7.5YR3/3	シルト	炭化物、洗土粒、スコリア含む
	2	にじみ青褐色 10YR4/3	シルト	炭化物、スコリア含む
2	3	暗 馬 10YR3/2	粘土質シルト	炭化物を多量に含む
	4	黄 馬 10YR5/6	粘土質シルト	

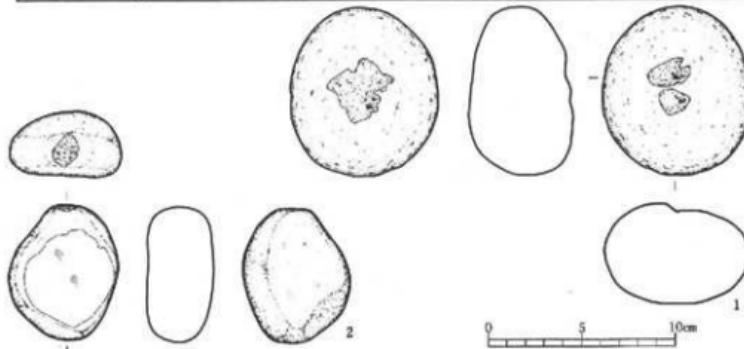
127号土壤 (K-23e') 土層註記表

層位	編No	土 色	土 性	備 考
1	1	暗 馬 7.5YR3/4	シルト	スコリア、炭化物少量含む
	2	暗 馬 10YR4/4	シルト	スコリア含む
2	3	黄 馬 10YR5/8	粘土質シルト	ロームブロック含む

128号土壤 (K-23h) 土層註記表

層位	編No	土 色	土 性	備 考
1	1	暗 馬 10YR3/3	シルト	炭化物、洗土粒、スコリア含む
	2	暗 馬 10YR4/4	シルト	炭化物、洗土粒、ロームブロック含む
2	3	黄 馬 10YR5/6	粘土質シルト	スコリア、ロームブロック含む
	4	黄 馬 10YR5/8	シルト	ロームブロック含む

No	地 区	確 認 断 面	平 地 形	規 模	深 度	備 考
125	K-23	第4剥上面	不整円形	80×(72)	22	127, 128土壤を切る。
126	K-23	第4剥上面	椭円形	45×70	37	137土壤に切れ、128, 129土壤を切る。
127	K-23	第4剥上面	楕円形基盤	(160)×100	17	125, 126, 137土壤に切れ、128土壤を切る。
128	K-23	第4剥上面	椭円形基盤	165×65	26	125, 126, 127土壤に切れている。
137	K-23	第4剥上面	不整円形	78×68	30	126, 127土壤を切る。



No	種別	層位	長×幅×厚(mm)	重量(g)	石材	使用痕	備考
1	磨石器	堆積土	89×79×56	549.5		凹-圓面	
2	磨石器	堆積土	79×56×35	295.5		凹-葉、肩一片刃	

第398図 127号土塙出土石器



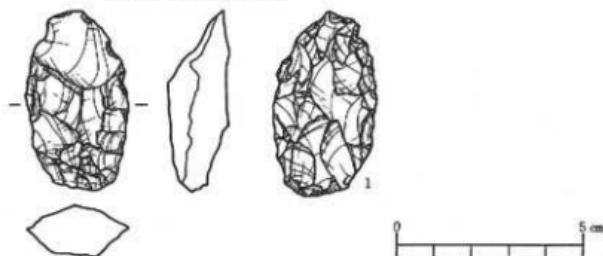
No	層位	形	外 面	内 面	分類	備 考
1	堆積土	深鉢	浅縞文	凹(横)	B VI	
2	堆積土	深鉢	浅縞文・LR縞文	凹(横)	Xer XI	
3	堆積土	深鉢	浅縞文	不明	II	

第399図 126号土塙出土土器



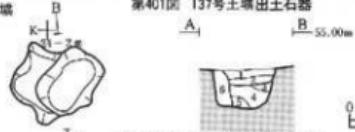
No	層位	形	外 面	内 面	底 部	分類	備 考
1	堆積土	深鉢	凹	凹(横)	網代模・縮小		

第400図 137号土塙出土土器



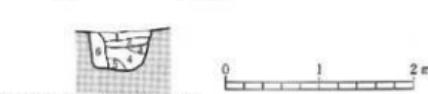
No	種別	層位	長×幅×厚(mm)	重量(g)	石材	使 用 痕	備 考
1	磨火石器	堆積土	48.10×27.30×15.85	19.40	頁岩	—	

第402図 129号土塙



第401図 137号土塙出土石器

A-B 55.00m



129号土塙(J-23c) 土層記表

層位	層名	土 色	土 性	備 考
I	1 深	10YR4/6	シルト	スコリア含む
	2 深	10YR3/3	シルト	スコリア、砂粒含む
II	3 深	7.5YR4/4	砂質シルト	スコリア、砂粒含む
	4 深	7.5YR4/3	砂質シルト	スコリア、コーム紋、砂粒含む
	5 貝 拾	10YR5/6	砂質シルト	スコリア含む
3 拾	6 拾	7.5YR5/8	粘土質シルト	

No	地 区	標 記 面	平 面 形	現 横 幅 高	備 考
129	J-23	第4層上面	不規形	90×96	底面に凸凹がある。



130号土壤 (J-23e) 土層註記表

層位	層No.	土色	土性	備考
1	1	黄褐色 10YR5/8	シルト	スコリア。ローム粒含む
	2	褐 10YR4/6	シルト	スコリア。ローム粒多量に含む
2	3	にぶい黄褐色 10YR6/3	粘土質シルト	ロームブロック含む
	4	褐 10YR4/4	粘土質シルト	ローム粒多量に含む
	5	にぶい黄褐色 10YR5/4	粘土質シルト	ローム粒多量に含む

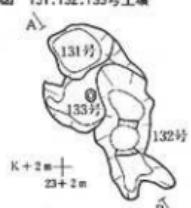
No	地 区	律 法 面	平 面 形	横 構	標 高	備 考
130	J-23	第4層上面	不整規形	97×44	47	底面に段があり、北側に21×13×16のピット有。



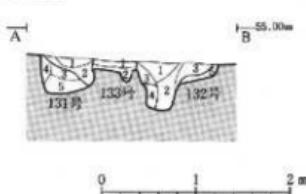
0 5 10cm

No	層 位	形 态	外 面	内 面	分 類	備 考
1	堆積土	碎 粒	接着面	砂 (礫)		

第405回 131.132.133号土壤



第404回 130号土壤出土土器



0 1 2 m

131号土壤 (J-23d) 土層註記表

層位	層No.	土 色	土 性	備 考
1	1	暗褐色 10YR3/3	シルト	スコリア含む
	2	暗褐色 10YR3/4	シルト	スコリア多量に含む
2	3	にぶい黄褐色 10YR4/3	シルト	スコリア、炭化物、粘土粒含む
	4	褐 10YR4/6	粘土質シルト	スコリア、ローム粒多量に含む
	5	褐 10YR4/4	シルト	スコリア、炭化物少量含む

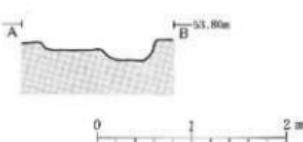
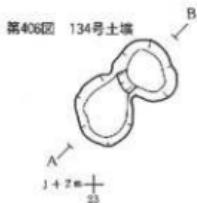
132号土壤 (J-23f) 土層註記表

層位	層No.	土 色	土 性	備 考
1	1	褐 10YR4/4	シルト	スコリア及び微葉の炭化物含む
	2	褐 10YR4/6	粘土質シルト	スコリア多量に含む
2	3	暗褐色 10YR3/4	シルト	スコリア、ローム粒含む
	4	黄褐色 10YR5/8	粘土質シルト	スコリア、ローム粒多量に含む
	5	黄褐色 10YR5/6	粘土質シルト	ローム粒含む

133号土壤 (J-23g) 土層註記表

層No.	土 色	土 性	備 考
1	褐 10YR4/6	シルト	スコリア、炭化物少量含む
2	褐 10YR4/4	シルト	ローム粒含む

No	地 区	律 法 面	平 面 形	横 構	標 高	備 考
131	J-23	第4層上面	不整規形	64×55	39	133土壤を切る
132	J-23	第4層上面	不整規形	105×60	46	133土壤を切る。表面中央部が一段下がっている
133	J-23	第4層上面	不整規形断続	99×60	13	131.132土壤に切られていいる。底面に12×10×12cmピット有。



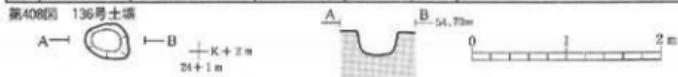
No.	地 区	標 誌 面	平 面 形	規 模	深 度	備 考
134	J - 22 - 23	第4幅上面	不整形 (ヒョウタン形)	124×76	22	底面は東側が一段低くなっている



135号土壤 (J-23a) 土層柱記表

No.	土 色	土 性	備 考
1	褐 10YR4/4	シルト	スコリア含む
2	褐 褐 7.5YR3/4	シルト	スコリア多量に含む
3	褐 10YR3/4	シルト	スコリア少量含む

No.	地 区	標 誌 面	平 面 形	規 模	深 度	備 考
135	J-23	第4幅上面	不整形長方形	107×68	40	底面西側が一段高くなっている



No.	地 区	標 誌 面	平 面 形	規 模	深 度	備 考
136	K - 23 - 24	第4幅上面	不整形円形	46×38	25	



139号土壤 (J-23) 土層柱記表

剖位	層No.	土 色	土 性	備 考
1	1	黒 褐 10YR3/2	シルト	ローム粒含む
	2	褐 10YR4/4	粘土質シルト	ローム粒含む
	3	褐 褐 10YR3/4	シルト	スコリア、炭化物を若干含む
2	4	褐 10YR6/6	粘土質シルト	スコリアを含む
	5	灰褐色 10YR4/2	粘土質シルト	スコリアを含む

No.	地 区	標 誌 面	平 面 形	規 模	深 度	備 考
139	J-22 - 23	第4幅上面	椭円形	83×55	35	底面南側が一段高くなっている



第410図 139号土壤出土土質円錐

第411図 138号土壤



138号土壤 (J-23d) 土層記表

層番	土色	土性	備考
1	緑 7.5YR4/4	シルト	スコリア含む
2	暗緑 10YR3/4	シルト	スコリア含む
3	暗緑 10YR4/4	シルト	ローム粒少含む

No	地 区	調 測 面	平 面 形	規 模	標 高	備 考
138	I・J-22・23	第4層上面	不整形	103×92	18	表面に25×23×7、24×13×6のピット有。

第412図 140号土壤



140号土壤 (H-22c) 土層記表

層位	層番	土色	土性	備考
	1	暗緑 10YR3/4	シルト	スコリア少含む
	2	緑 10YR4/4	粘土質シルト	ローム粒含む
	3	黒 10YR4/6	粘土質シルト	ロームブロック含む

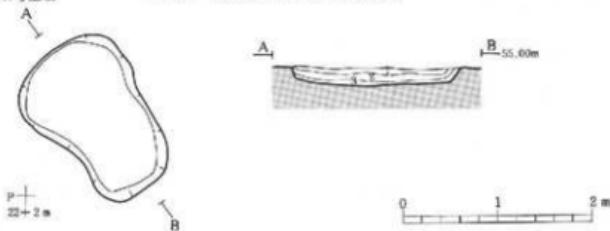
No	地 区	調 測 面	平 面 形	規 模	標 高	備 考
140	H-1-22	第4層上面	不整形	130×111	15	底面中央49×30×15のピット有。



No	層 位	輪 形	外 表	内 表	分 塊	備 考
1	堆積土	深 級	縦縞文・不明顯文	(マメツ)		
2	堆積土	深 級	縦縞文・既E.風文	(野芋)		
3	堆積土	土製円盤				

第414図 141号土壤

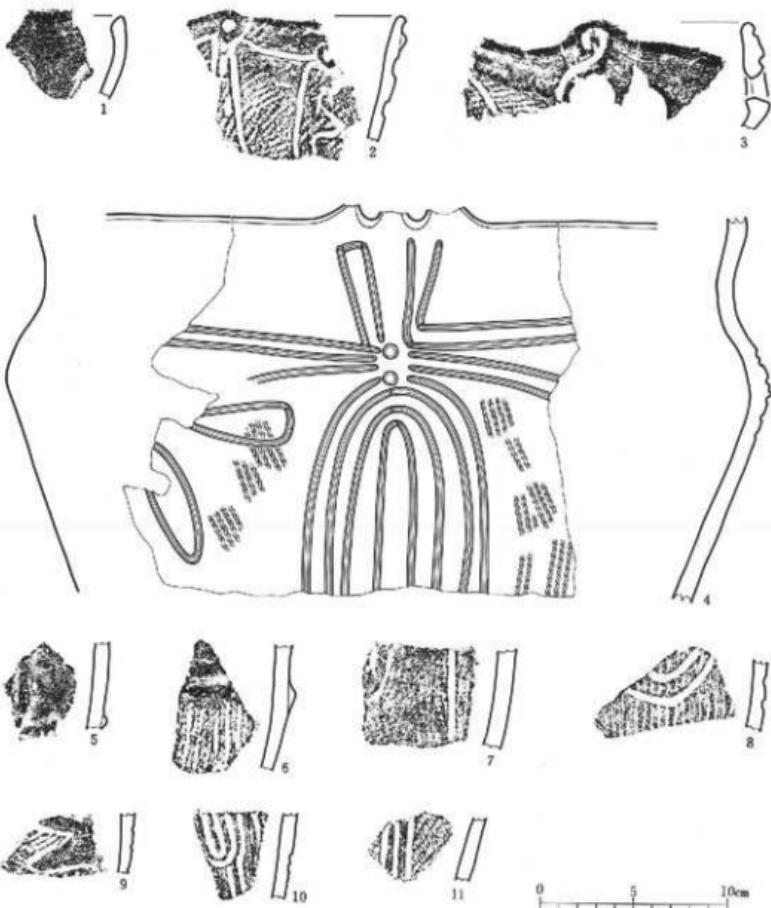
第413図 140号土壌出土土器・土製円盤



141号土壤 (P-22a) 土層記表

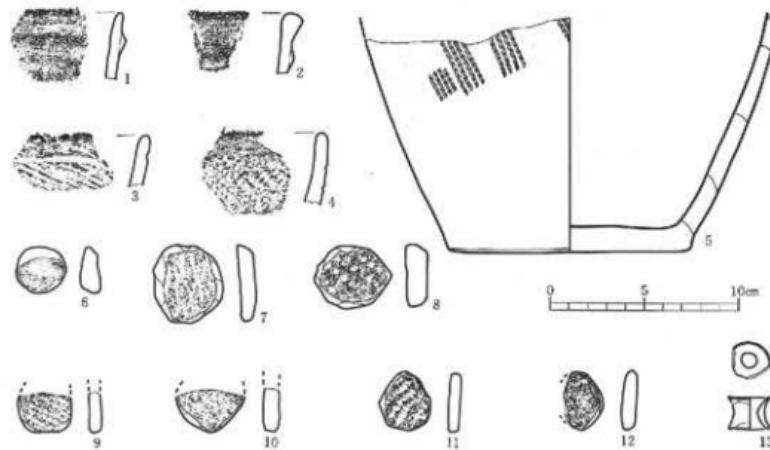
層番	土色	土性	備考
1	黒 緑 10YR2/2	シルト	炭化物、施土粒含む
2	黒 緑 10YR2/3	シルト	炭化物、蛭子灰、スコリア微量含む
3	黒 緑 10YR2/2	シルト	スコリア微量に含む

No	地 区	調 測 面	平 面 形	規 模	標 高	備 考
141	P-22	第3層上面	不整形	177×124	24	



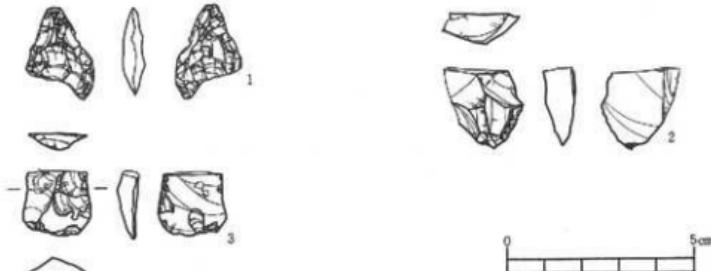
No.	層位	器形	外 面	内 面	分類	備 考
1	堆積上	深 跖	沈綵文	磨子(側)	X	
2	堆積土	深 跖	沈綵文・其突文・LR綱文	磨子(底・鉢)	XI2	
3	堆積土	深 跖	強綵文・沈綵文・LR綱文	磨子(側)	XI	
4	堆積土	深 跖	沈綵文・其突文・LR強文・磨子	磨子(側)	XI2	
5	堆積土	深 跖	強綵文	磨子(側)	XI	
6	堆積土	深 跖	強綵文・R強系文	ナデ・磨子(側)	XI	
7	堆積土	深 跖	沈綵文・LR綱文	磨子(側)	XI	
8	堆積土	深 跖	沈綵文・R強系文	磨子(側)	XI	
9	堆積土	深 跖	沈綾文・LR綱文	磨子(側・鉢)	XI	
10	堆積土	深 跖	沈綾文・LR綱文	磨子(側・鉢)	XI	
11	堆積土	深 跖	沈綫文	磨子(底)	XI5	
				0 5 10cm		

第415図 141号土壤出土土器(1)



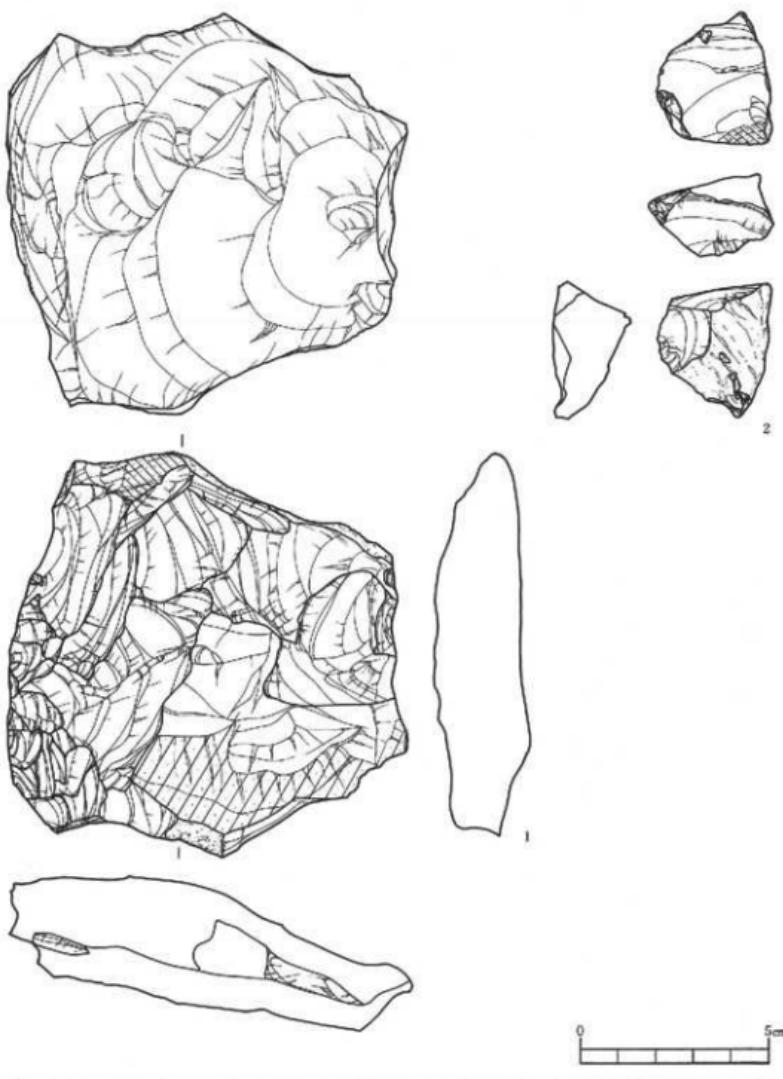
No.	層位	器 形	外 面	内 面	底 面	分類	備 考
1	堆積土	深 筒	滑擦文	磨耗(側)		B I	
2	堆積土	深 筒	滑擦文	磨耗(側)		B I	
3	堆積土	深 筒	沈擦文・R點捺文	マメツ		B IV	
4	堆積土	深 筒	沈擦文・RL擦捺文	ナゲ・磨耗(側)		B VI	
5	堆積土	深 筒	上擦点文・磨耗	マメツ	マメツ		
6	堆積土	土製円盤					
7	堆積土	土製円盤					
8	堆積土	土製円盤					
9	堆積土	土製円盤					
10	堆積土	土製円盤					
11	堆積土	土製円盤					
12	堆積土	土製円盤					
13	堆積土	耳 筒					

第416図 141号土壤出土土器(2)・土製品



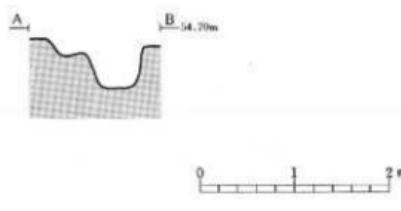
No.	種 别	層 位	長 × 幅 × 厚(cm)	重 量(g)	石 材	使 用 痕	備 考
1	石器A	堆積土	(24.20) × (17.56) × 7.65	0.95	珪化木灰岩	—	
2	スクレイバー	堆積土	(21.85) × (20.38) × 8.00	3.00	頁岩	—	
3	二次加工ある刮片	堆積土	(37.55) × (18.85) × 5.40	1.55		—	

第417図 141号土壤出土石器(1)



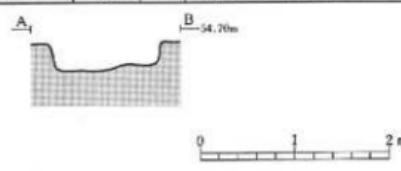
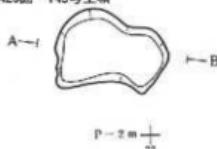
第418圖 141号土壤出土石器(2)

No.	種別	層位	長×幅×厚(mm)	重量(g)	石材	使用痕	備考
1	石核	地表土	197.16×107.85×32.40	328.35	火燒	——	
2	石核	地表土	32.85×35.15×29.30	18.35	玉髓	——	



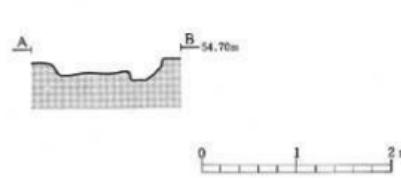
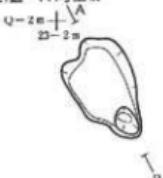
No	地 区	標 記 面	平 面 形	横 横	堅 高	備 考
142	P-22	第4層上面	不整形	105×63	43	底面比側面一段高くなっている。

第420図 143号土壤



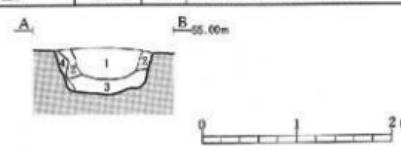
No	地 区	標 記 面	平 面 形	横 横	堅 高	備 考
143	P-22+23	第4層上面	不整長方形	121×86	32	

第421図 144号土壤



No	地 区	標 記 面	平 面 形	横 横	堅 高	備 考
144	P-22	第4層上面	不整形	118×70	20	南側部に32×22×10のピッヂ有。

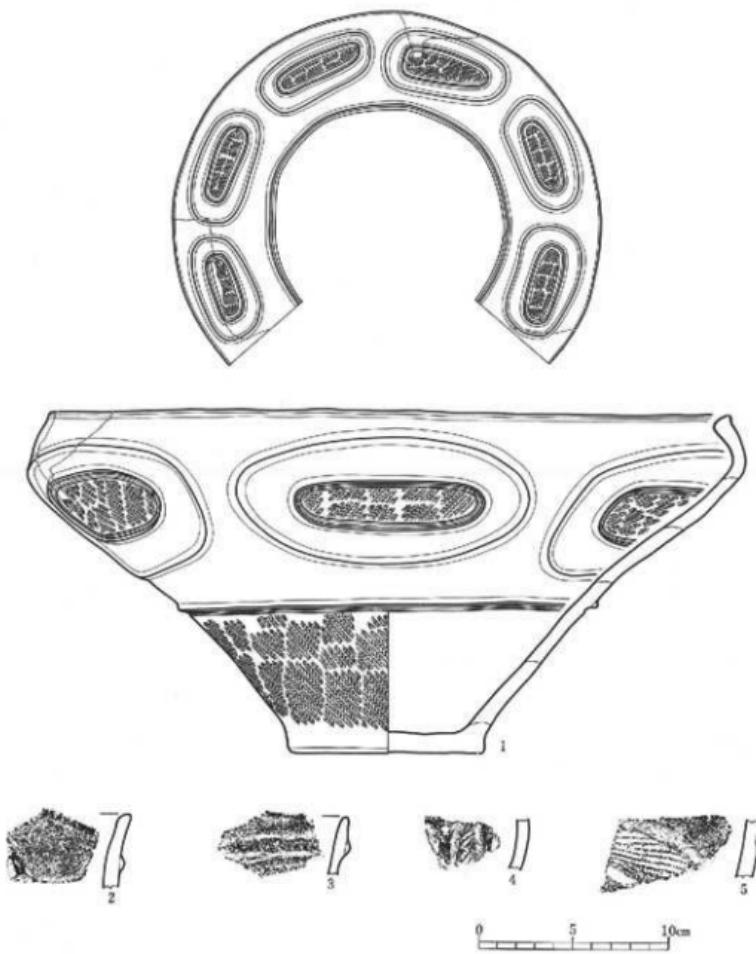
第422図 145号土壤



145号土壤 (P-21d) 土層記表

層位	層番	土 色	土 性	備 考
1	1	黒 鳥 10YR2/3	シルト	スコリア、炭化物、小礫を含む
	2	暗 鳥 10YR3/4	シルト	ロームブロック含む
2	3	黄 鳥 10YR5/8	粘土質シルト	
	4	暗 鳥 10YR3/3	粘土質シルト	スコリア、炭化物を含む

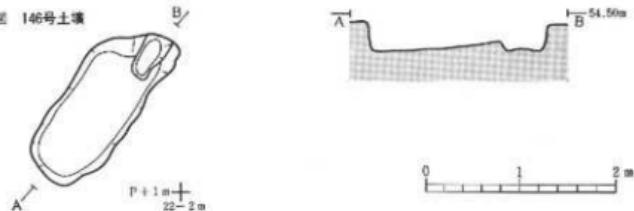
No	地 区	標 記 面	平 面 形	横 横	堅 高	備 考
145	P-21	第4層上面	不整形	120×107	42	南側壁面に粘土質出土。



第423図 145号土壙出土土器

No.	所 在	器 形	外 表	内 表	分 類	備 考
1	堆積土	深 鍋	縹緲文・沈縹文・RL縹文・沿牛	瘤牛(横)	X	
2	1層	深 鍋	縹緲文	瘤牛(横)	X	
3	1層	深 鍋	縹緲文	瘤牛(横)	B I	
4	堆積土	深 鍋	縹緲文・RL縹文	瘤牛(横)	IX or X	
5	堆積土	深 鍋	沈縹文・LR縹文	瘤牛(横)	IX or X	

第424図 146号土壤



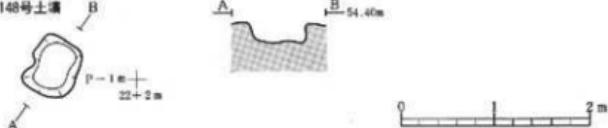
No	地 区	底 距 離	平 面 形	幅 横	厚 度	備 考
146	P-21	第4層上面	不整長方形	195×82	23	土地の北端に53×27×12のヒット有。

第425図 147号土壤



No	地 区	底 距 離	平 面 形	幅 横	厚 度	備 考
147	O-22	第4層上面	不整格円形	87×60	20	ピットに妨られる。底面東側が一段高くなっている。

第426図 148号土壤



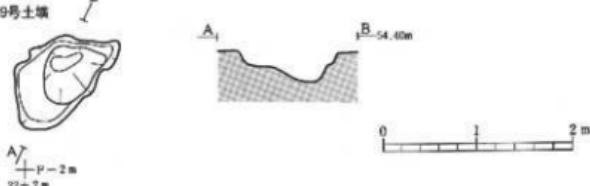
No	地 区	底 距 離	平 面 形	幅 横	厚 度	備 考
148	O-22	第4層上面	不整長方形	63×54	22	



No	種 類	種 類
1	培塿土	不明土器品

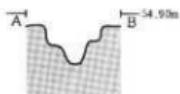
第427図 148号土壤出土土器品

第428図 149号土壤



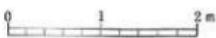
No	地 区	底 距 離	平 面 形	幅 横	厚 度	備 考
149	O-22	第4層上面	不整形	135×72	20	中央部に76×53×20の凹み有。

第429図 150号土壤



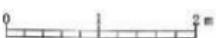
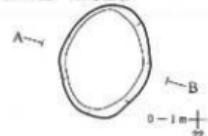
No.	地 区	確 定 面	平 面 形	横 横	壁 高	備 考
150	O-22	第4層上面	不整円形	66×65	20	底面に35×33×25のピット有。

第430図 151号土壤



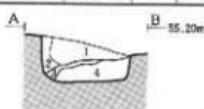
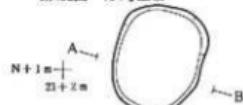
No.	地 区	確 定 面	平 面 形	横 横	壁 高	備 考
151	O-21	第4層上面	不整形	110×88	18	頂面に35×25×16のピット有。

第431図 152号土壤



No.	地 区	確 定 面	平 面 形	横 横	壁 高	備 考
152	N-O-21	第4層上面	楕円形	122×97	26	
153	M-N-21	第4層上面	橢円形	103×62	—	上面確認のみで掘り込み検査は行っていない。

第432図 154号土壤

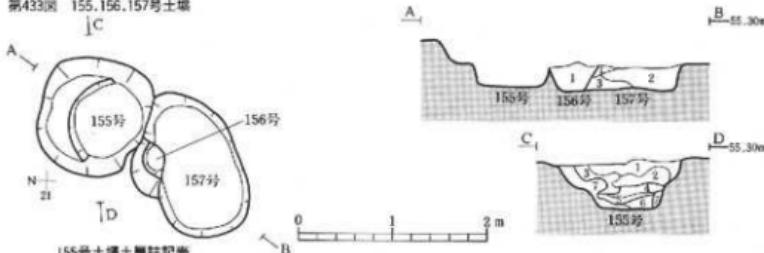


154号土壤 (N-21a) 土層記表

層位	標高	土 色	土 性	備 考
1	1	暗褐 10YR3/4	シルト	スコリア含む
2	2	褐 10YR4/4	シルト	スコリア多量に含む
2	3	深褐 10YR3/2	シルト	スコリア及び石子の炭化物を含む
3	4	暗褐 7.5YR3/4	シルト	スコリア含む

No.	地 区	確 定 面	平 面 形	横 横	壁 高	備 考
154	N-21	第4層上面	楕円形	118×93	40	

第433図 155, 156, 157号土壤



155号土壤土層註記表

層位	層No.	土色	土性	備考
1	1	褐 10YR3/4	シルト	炭化物、ローム粒、焼土粒少含む
	2	褐 10YR4/4	シルト	炭化物、ローム粒、焼土粒少含む
	3	褐 7.5YR4/4	シルト	炭化物若干含む
2	4	褐 7.5YR4/3	粘土質シルト	炭化物含む
	5	褐 海 10YR3/2	シルト	炭化物多量に含む
3	6	褐 7.5YR4/6	シルト	炭化物少量、スコリア若干含む
	7	黄 褐 10YR5/6	粘土質シルト	ローム粒含む

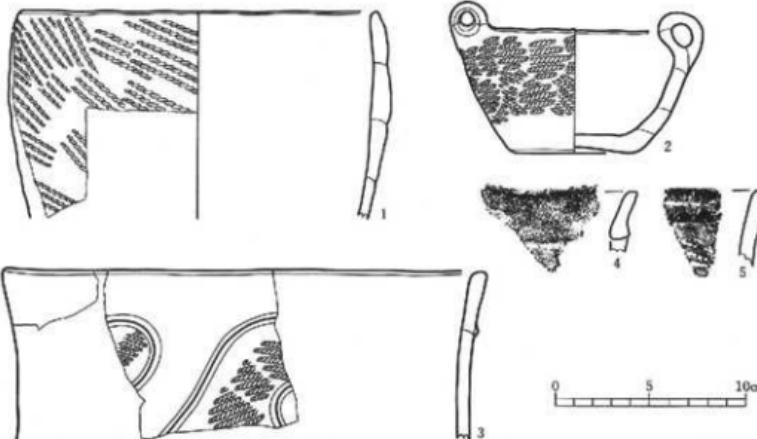
156号土壤土層註記表

層No.	土色	土性	備考
1	褐 褐 10YR3/4	粘土質シルト	炭化物粒少含む。ローム粒少量

157号土壤土層註記表

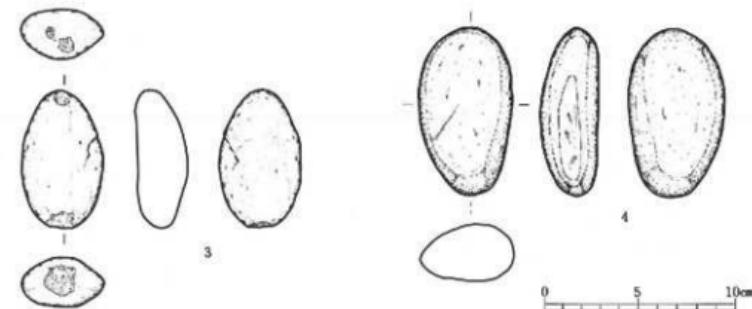
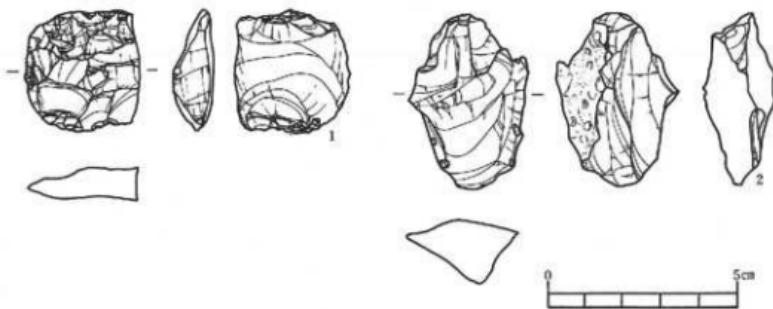
層No.	土色	土性	備考
1	褐 褐 10YR3/4	粘土質シルト	ローム粒多量に含む。炭化物粒、スコリア微量に含む
2	褐 褐 10YR3/3	シルト	炭化物粒少量含む。ロームブロック少量含む
3	褐 褐 10YR3/3	粘土質シルト	炭化物粒少量含む。ロームブロック少量、ローム粒多量に含む

No.	地 区	準 級 図	平 面 形	幅 横	厚 高	備 考
155	N - 20 - 21	第4層上面	圓丸形	125×115	50	155土壌を分ける。157土壌との切合不明。断面西側が一段高く見える。
156	M - N - 21	156堆積上面	円形基盤	66×(37)	27	156堆積、157土壌を切る。
157	M - N - 21	新4層上面	橢円形基盤	163×94	42	156堆積を切り、156土壌に切られる。155土壌との切合不明。



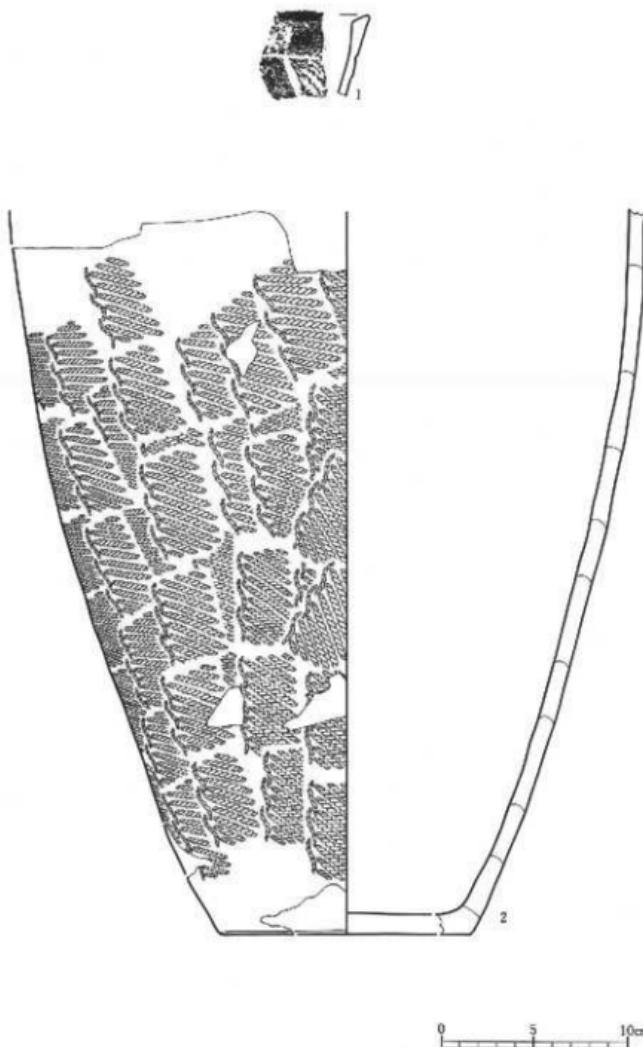
No	層位	種 形	外 面	内 面	底 部	分類	備 考
1	1層	深 部	R鉛文・墨々	磨キ (鏡)		B VI	
2	層No.2	浅 部	LR鉛文・磨キ	墨々 (鏡)	ヘラナデ	B VI	
3	堆積土	深 部	織錐文・LR鉛文・磨キ	磨キ (鏡)		B a	
4	層No.4	深 部	沈錐文	磨キ (鏡)		B I	
5	堆積土	深 部	織錐文・LR鉛文	墨々 (鏡)		B I	

第434図 155号土塁出土土器



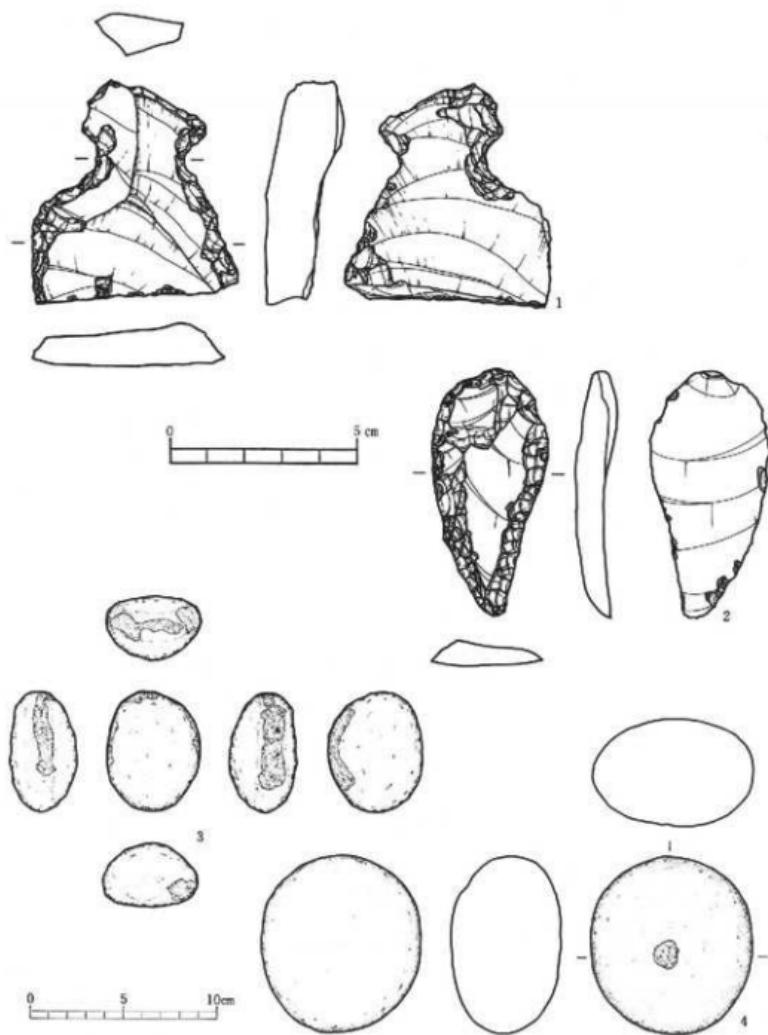
No	種 别	層 位	長 × 幅 × 厚(mm)	重量(g)	石 材	実 用 例	備 考
1	ビニス・エスクエード	層No.4	31.95×30.75×11.39	10.45	頁岩	—	
2	石板	層No.4	47.00×31.26×18.45	18.15	頁岩	—	
3	磨石器	層No.1	74×43×27	167.5		粒一頭研	
4	磨石器	層No.2	89×50×33	179.0		片側面	

第435図 155号土塁出土石器



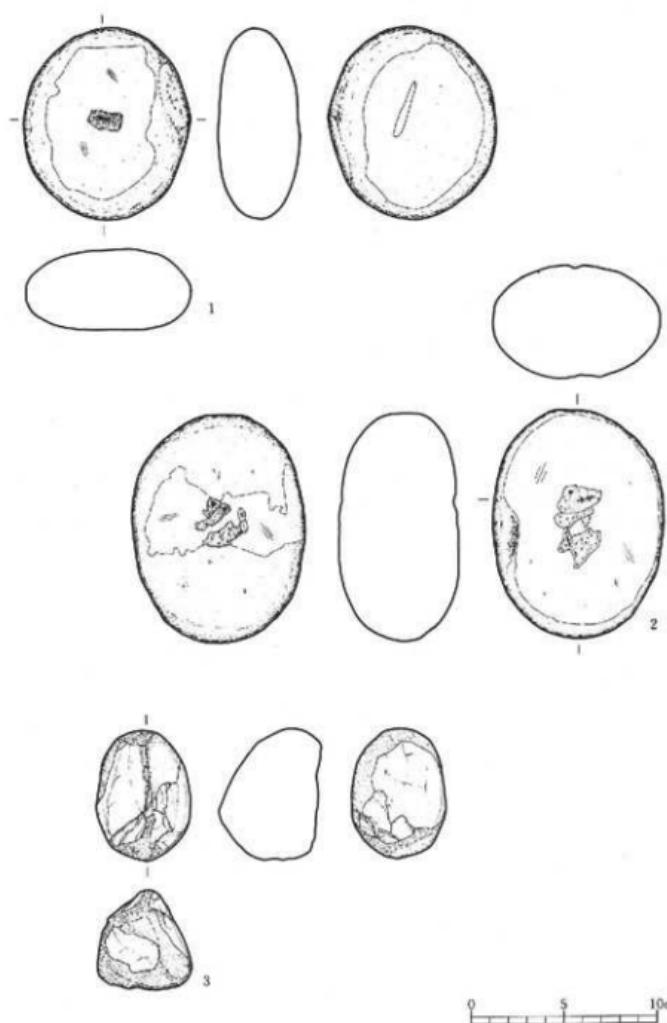
No.	層位	形狀	外面	内面	脈軸	分類	備考
1	I層	深裂	波紋文・LR波文	網孔(網)		X	
2	I層	深裂	LR波文・網孔	網孔(網・横)	網代直		

第436図 156号土壤出土土器



第437図 156号土壤出土石器

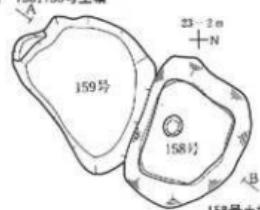
No	種別	層位	長×幅×厚(cm)	重量(g)	石材	使用痕	備考
1	石器	1層	(69.20)×(54.80)×16.30	37.45	頁岩	—	
2	スクレイバー	1層	65.80×36.80×9.75	16.00		—	
3	磨石器	1層	64×50×34	139.5		製一端、鉋面	
4	磨石器	1層	95×85×61	586.5		凹一片面	



No.	種類	層位	長×幅×厚(mm)	重量(g)	石材	使用痕	備考
1	砸石器	地積土	100×88×46	575.0		凹-圓面、磨-全面	
2	砸石器	地積土	122×92×53	1023.5		凹-圓面、磨-圓面	
3	砸石器	地積土	70×51×53	367.5		磨-圓面	

第438圖 157号土壤出土石器

第439図 158,159号土壤



158号土壤 (M-22d) 土層性記表

層位	測点	土色	土性	備考
1	1 暗 開	10YR3/4	シルト	スコリア含む
	2 灰 開	10YR4/4	シルト	スコリア(測点1より多く含む)
2	3 黄 開	10YR4/6	粘土質シルト	スコリア(測点2より多い)、ローム含む
	4 暗 開	7.5YR3/4	粘土質シルト	少量のスコリア、炭化物含む
3	5 黄 開	10YR5/6	粘土質シルト	スコリア含む
	6 白 開	10YR5/8	粘土質シルト	スコリア(測点5より多く含む)

159号土壤 (M-22e) 土層性記表

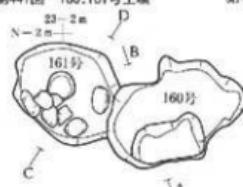
層位	測点	土色	土性	備考
1	1 黒 開	10YR3/2	シルト	スコリア、炭化物含む
	2 暗 開	10YR3/3	シルト	スコリア、炭化物含む
	3 暗 開	10YR3/4	シルト	スコリア、炭化物(土色)
2	4 黄 開	10YR5/8	粘土質シルト	ロームブロック含む
	5 にじみ黄褐	10YR6/3	シルト	スコリア多量に含む

No.	地 区	縦断面	平面形	規 模	高	備 考
158	M-22	第4層上面	不整方形	105×85	88	158土壤を切る。基面中西側に23×20×20のピット有。
159	M-N-22	第4層上面	不整方形基盤	170×120	28	158土壤に切られる。

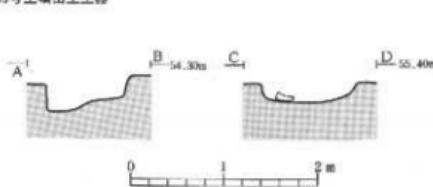


No.	層 位	基 源	外 面	内 面	分 塊	備 考
1	堆積土	深鉢文・沈鉢文	深鉢文・沈鉢文	砂 (塊)		158, 159どちらに属すか不明

第441図 160,161号土壤

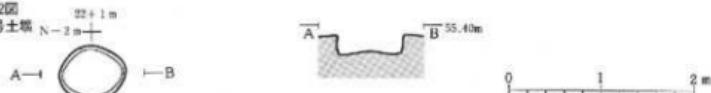


第440図 158,159号土壤出土土器



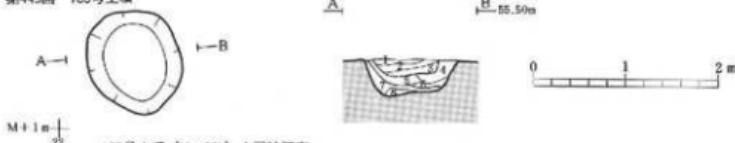
No.	地 区	縦断面	平 面 形	規 模	高	備 考
160	M-22	第4層上面	不整円形	153×112	25	161土壤を切る。底面南側に81×45×23の凹み有。
161	M-22	第4層上面	椭円形基盤	(110)×102	29	160土壤に切られる。底面中央に30×30×15のピット有。

第442図  
162号土壤 N-2 m



No.	地 区	断 面 図	平 面 形	規 模	盤 高	考
162	M-22	第4層上面	楕円形	72×58	20	

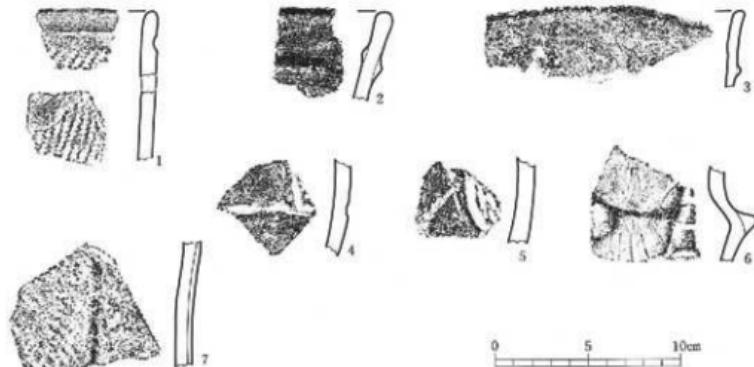
第443図 163号土壤



M+1 m  
22 163号土壤 (M-22) 土層記表

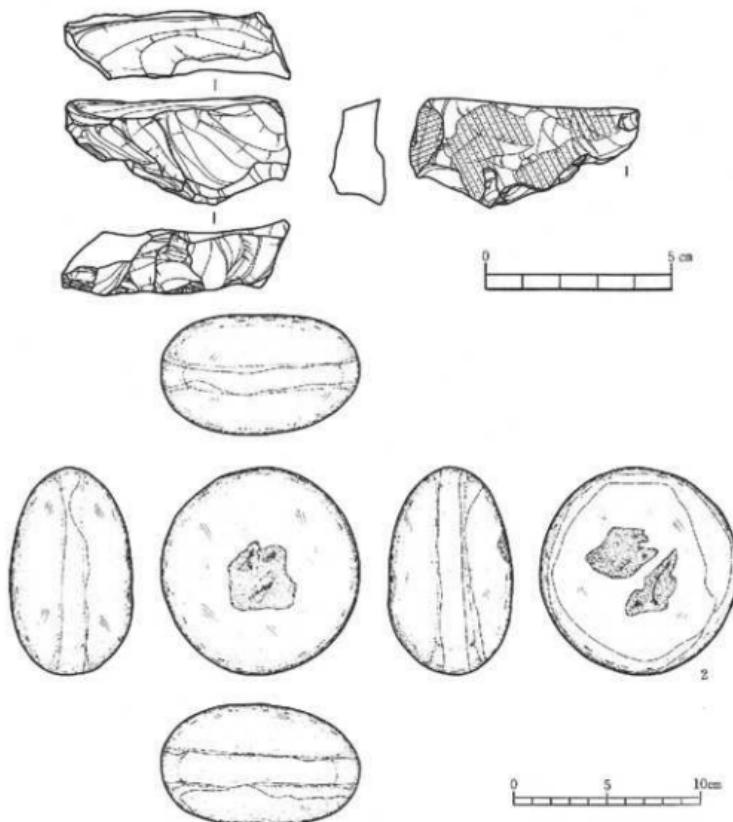
層位	層No.	土 色	土 性	考
1	1	暗 緑 10YR3/3	シルト	スコリアを少量含む
	2	暗赤緑 5YR3/3	シルト	スコリアを少量含む。鐵子を少量含む
	3	暗 緑 7.5YR3/4	シルト	スコリアを少量及び多量の炭化物含む
2	4	暗 緑 7.5YR4/4	シルト	スコリア少量及び地上少量の炭化物含む
	5	暗 緑 7.5YR4/3	シルト	スコリア少量及び鐵子少量の炭化物含む
	6	暗 緑 10YR3/4	シルト	スコリア・炭化物を少量含む
3	7	暗 緑 5YR3/2	シルト	炭化物を若干含む
	8	黄 緑 10YR5/6	粘土質シルト	

No.	地 区	断 面 図	平 面 形	規 模	盤 高	考
163	M-22	第4層上面	楕円形	115×98	36	



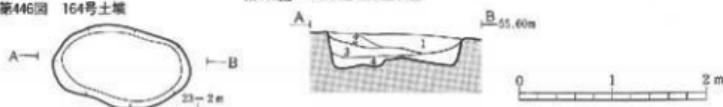
No.	層 位	基 本	外 部	内 部	分 類	備 考
1	堆積土	深 脊	沈縞文・KL縞文	縫合 (縫)	X	
2	堆積土	深 脊	縫縞文	ナゲ・縫合 (縫)	B I	
3	堆積土	深 脊	縫縞文・沈縞文	縫合 (縫)	B II	
4	堆積土	深 脊	沈縞文	ナゲ・縫合 (縫)	X	
5	堆積土	——	縫縞文・沈縞文・L然糸文	ナゲ・縫合 (縫)	X	
6	堆積土	——	縫縞文	縫合 (縫)	X	
7	堆積土	深 脊	縫縞文・KL縞文	縫合 (縫)	X	

第444図 163号土壤出土土器



No.	種別	層位	長×幅×厚(㎜)	重量(g)	石材	使用痕	備考
1	石核	堆積土	29.05×59.00×17.55	39.80	メノワ	—	
2	微石器	堆積土	111×105×66	1050.0	—	刃一面面、裏一面面	

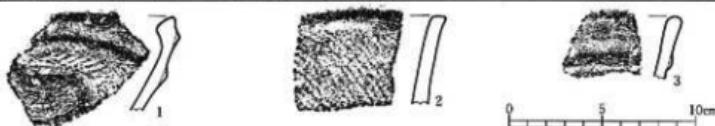
第445図 164号土城



164号土城 (M-22c) 土層記表

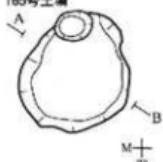
層位	測定	土色	土性	場所
I	1	黒褐色 7.5YR2/2	シルト	炭化物岩子含む
	2	褐色 7.5YR4/6	シルト	炭化物焼上含む
II	3	明褐色 7.5YR5/6	粘土質シルト	炭化物含む
	4	明褐色 7.5YR5/8	粘土質シルト	—

No	地 区	縦 橫 面	平 面 形	規 格	厚 高	備 考
164	M-22	第4層上面	長方形	147×88	35	

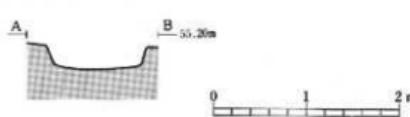


No	層 位	縦 形	外 表	内 表	分 始	備 考
1	地積土	深 細	挫歯文・LR彌文	磨キ(底)	X	
2	地積土	深 細	LR彌文	ナゲ(側)	B VI	
3	地積土	深 細	挫歯文・注織文	磨キ(底)	B I	

第446図 165号土壙

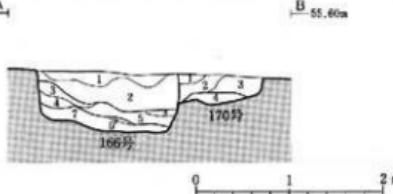
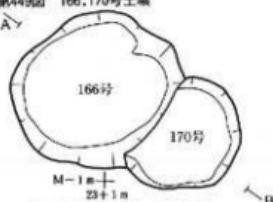


第447図 164号土壙出土土器



No	地 区	縦 橫 面	平 面 形	規 格	厚 高	備 考
165	M-22	第4層上面	橢円形	135×112	35	北壁をピットに切られる。13住居跡伊を切る。

第449図 166,170号土壙



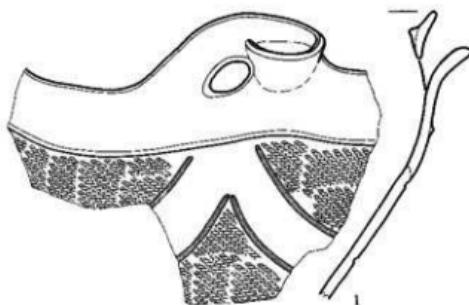
166号土壙 (M-22a) 土層註記表

層位	層No	土 色	土 性	備 考
1	1	暗 細 7.5YR3/4	シルト	スコリア含む
	2	褐 細 7.5YR4/3	シルト	スコリア、炭化物、融合有、Fire sand含む
	3	暗 細 10YR3/3	シルト	スコリア、若干の炭化物含む
2	4	暗 細 10YR3/4	シルト	ロームブロック含む、若干の桃土、炭化物含む
	5	黒 褐 10YR2/3	シルト	多量の炭化物含む、スコリア少量含む
3	6	暗赤褐色 5YR3/3	砂質シルト	桃土多量に含む
	7	黒 褐 7.5YR3/2	シルト	炭化物、Fire sand含む

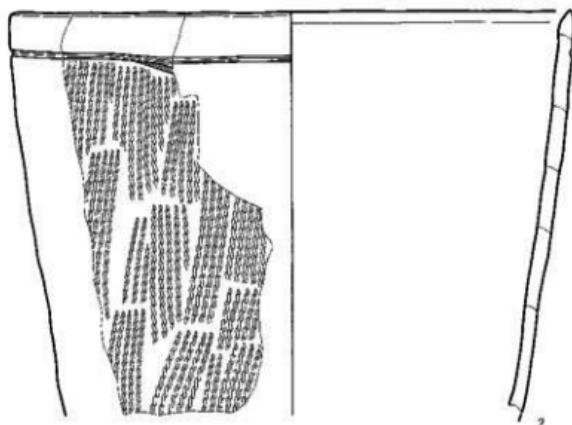
170号土壙 (L-22a) 土層註記表

層位	層No	土 色	土 性	備 考
1	1	暗 細 7.5YR3/3	シルト	若干の炭化物含む
	2	黒 褐 7.5YR3/2	シルト	若干のスコリア炭化物桃土を含む
	3	褐 細 7.5YR4/3	シルト	スコリア炭化物を少量含む
2	4	褐 褐 10YR4/6	粘土質シルト	スコリア炭化物を少量含む

No	地 区	縦 橫 面	平 面 形	規 格	厚 高	備 考
L-M-23	第4層上面	円 形		183×156	59	170土壙を切る。
L-M-22	第4層上面	円形基盤		120×80	22	166土壙を切られる。



1



2



3

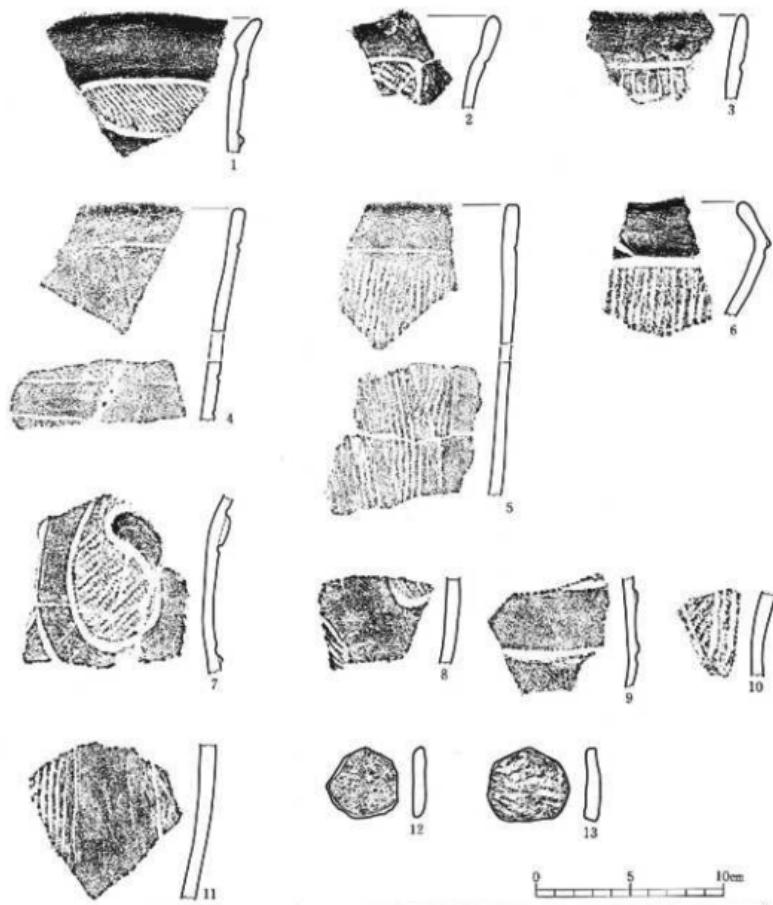


4

0 5 10cm

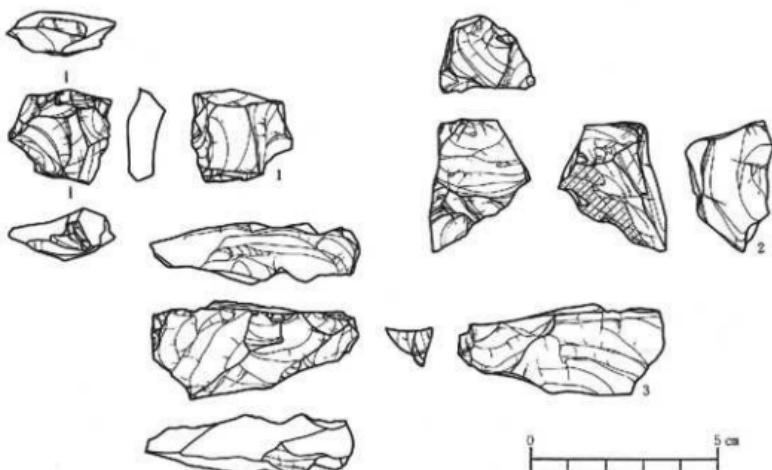
No.	层位	器形	外 形	内 面	底 部	分 带	備 考
1	堆积土	—	施绿文·沈绿文·LR绿文·带卡	施绿文·带卡(筋)		X	
2	堆积土	深 筒	沈绿文·R擦底文·带卡	带卡(筋·带)		B IV	
3	堆积土	深 筒	带 卡	带卡(筋)	带 卡		
4	堆积土	深 筒	带 卡	带卡(筋)	带 卡		

第450图 166号土壤出土器(1)



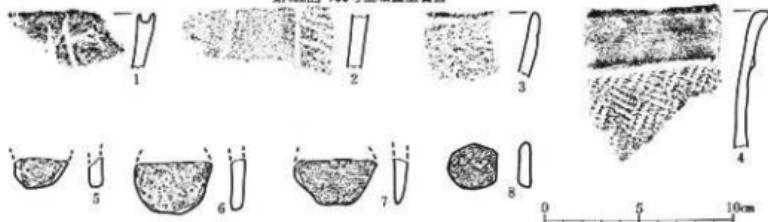
No.	層位	種形	外面	内面	分類	著考
1	地盤土	深鉢	縹緲文・沈綱文・LR綱文	磨キ(横)	X	
2	堆積土	深鉢	沈綱文・LR綱文	磨キ(横)	X	
3	堆積土	深鉢	沈綱文	磨キ(横・斜)	X	
4	堆積土	深鉢	沈綱文・不明綱文	磨キ(奥)	X	
5	堆積土	深鉢	沈綱文・R鶴余文	ナデ・磨キ(奥)	B IV	
6	堆積土	深鉢	縹緲文・沈綱文・R鶴余文	磨キ(奥)	B II	
7	堆積土	深鉢	縹緲文・沈綱文・RL綱文	ナド・磨キ(横・斜)	X	
8	堆積土	深鉢	縹緲文・L鶴余文	磨キ(横)	X	
9	堆積土	深鉢	縹緲文・沈綱文・L鶴余文	磨キ(横)	X 16	
10	堆積土	深鉢	沈綱文・LR鶴文	磨キ(横)		
11	地盤土	深鉢	沈綱文・R鶴余文	磨キ(横)		
12	堆積土	土製円盤				
13	堆積土	土製円盤				

第451図 166号土壤出土土器(2)・土製円盤



No.	種別	層位	長×幅×厚(mm)	重量(g)	石材	使用痕	備考
1	石核	堆積土	25.50×27.20×12.85	6.35	頁岩	—	
2	石核	堆積土	35.75×26.55×23.79	14.36	メノワ	—	
3	石核	堆積土	26.30×54.80×17.13	18.95	メノワ	—	

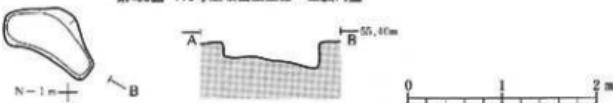
第452図 166号土壤出土石器



No.	層位	器形	外面	内面	分類	備考
1	堆積土	深鉢	DC彫文・斜向文・LR彫文	磨+ (擦)	X	
2	堆積土	深鉢	DC彫文・RL彫文	磨+ (擦)	X	
3	堆積土	深鉢	沈線文・LR彫文	磨+ (擦)	B IV	
4	堆積土	深鉢	施線文・LR彫文	磨+ (擦)	B I	
5	堆積土	土製円盤				
6	堆積土	土製円盤				
7	堆積土	土製円盤				
8	堆積土	土製円盤				

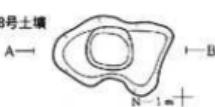
第453図 170号土壤出土器・土製円盤

第454図 167号土壤



No.	地区	構造	平面形	規模	壁高	備考
167	M-21・22	第4層上面	不規形	107×53	26	

第455図 168号土壤

A<sub>1</sub> B 55.50m

0 1 2 m

No	地 区	確 認 面	平 面 形	幅 横	壁 高	備 考
168	M-21	第4層上面	不整形	128×80	22	底面中央に50×45×29のピット有。

第456図 169号土壤

A<sub>1</sub> B 55.40m

0 1 2 m

No	地 区	確 認 面	平 面 形	幅 横	壁 高	備 考
169	M-21	第4層上面	橢円形	81×61	15	底面東側に22×22×24のピット有。

第457図  
171号土壤A<sub>1</sub> B 55.00m

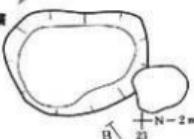
0 1 2 m

171号土壤(L-22b) 土層記表

層位	層番	土 色	土 性	備 考
1	1	褐 10YR4/4	シルト	スコリア、炭化物、礫を含む
	2	暗 褐 10YR3/3	シルト	スコリア、炭化物含む
2	3	褐 10YR4/6	粘土質シルト	スコリア、ロームを含む

No	地 区	確 認 面	平 面 形	幅 横	壁 高	備 考
171	L-22	第4層上面	不整形円形	142×120	24	西側に張り出しが有る。底面東側に33×27×36のピット有。

第458図

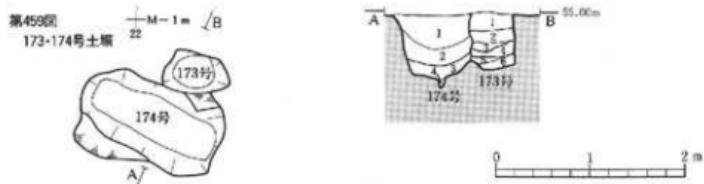
A<sub>1</sub> B 55.00m

0 1 2 m

172号土壤(L-22e) 土層記表

層位	層番	土 色	土 性	備 考
1	1	暗 褐 10YR3/4	シルト	スコリア少量含む
	2	暗 褐 10YR3/3	シルト	スコリア少量含む、炭化物少量含む
2	3	黑 褐 10YR2/2	粘土質シルト	炭化物及び焼土含む
	4	褐 10YR4/4	シルト	炭化物若干含む

No	地 区	確 認 面	平 面 形	幅 横	壁 高	備 考
172	L-22-23	第4層上面	不整形円形	153×116	54	東側をピットに切られる。



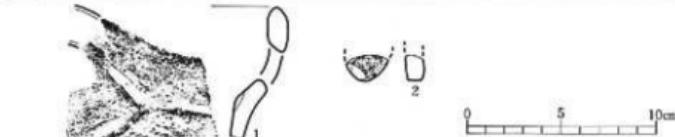
173号土壠 (L-22d) 土層註記表

層位	層No	土 色	土 性	備 考
1	1	暗 紅 10YR3/4	シルト	スコリア、炭化物、砂粒含む
	2	暗 紅 10YR3/4	シルト	スコリア、炭化物含む
	3	褐 7.5YR4/4	シルト	スコリア、砂粒含む
2	4	褐 7.5YR4/3	粘土質シルト	ローム粒、小礫含む
	5	10YR4/6	シルト	ロームブロック含む
3	6	褐 10YR4/4	シルト	砂粒含む

174号土壠 (L-22c) 土層註記表

層位	層No	土 色	土 性	備 考
1	1	暗 褐 7.5YR3/4	シルト	ローム粒、若干の炭化物含む
	2	褐 10YR4/6	シルト	スコリア、炭化物含む
2	3	黄 褐 10YR5/6	粘土質シルト	ロームブロック含む
ビット	4	黄 褐 10YR5/6	粘土質シルト	

No	地 区	確 定 面	平 面 形	規 模	空 高	備 考
173	L-22	第4層上面	楕円形基盤	67×(45)	59	174土壠に切られる。
174	L-21+22	第4層上面	橢円長方形	157×85	64	173土壠を切る。北側・南側間に細長い横路有。



No	層 位	器 形	外 面	内 面	分 類	備 考
1	堆積土	深 体	縦縞文・RL縞文	磨キ (灰・緑)	X	
2	堆積土	土製円盤				

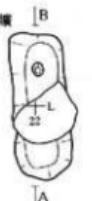
第460図 173号土壤出土土器・土製円盤



No	層 位	器 形	外 面	内 面	分 類	備 考
1	堆積土	深 体	縦縞文・RL縞文	磨キ (灰・緑)	VII	
2	堆積土	深 体	縦縞文・RL縞文	ナゲ・磨キ (緑)	VII	
3	堆積土	深 体	沈縞文・RL縞文	磨キ (灰)	BIV	
4	堆積土	深 体	沈縞文	磨キ (灰)		
5	堆積土	土製円盤	縦縞文・不明縞文	磨キ (緑)		
6	堆積土	土製円盤				

第461図 174号土壤出土土器・土製円盤

第462図 175号土壤



0 1 2 m

No.	地 区	確 認 面	平 面 形	規 模	壁 高	備 考
175	K + L-21 + 22	第4層上部	不整長方形	155×57	15	176土壌に切られる。岩面化削に14×12×11のピット有。

第463図 176号土壤



A - B 55.10m



0 1 2 m

176号土壤 (K-22c) 土層註記表

層位	層No.	土 色	土 性	備 考
I	1	黒 級 7.5YR3/1	シルト	淡土色、スコリア含む
	2	黒褐色 7.5YR2/3	砂質シルト	淡土色、炭化物小粒〔バミス〕含む
	3	暗 級 7.5YR3/4	シルト	ローム粒含む
II	4	暗 級 10YR3/3	シルト	炭化物含む
	5	暗 級 10YR3/4	シルト	ローム粒、炭化物含む

No.	地 区	確 認 面	平 面 形	規 模	壁 高	備 考
176	K + L-21 + 22	第4層上部	不整円形	28×48	49	175土壌を切る。



0 5 10cm

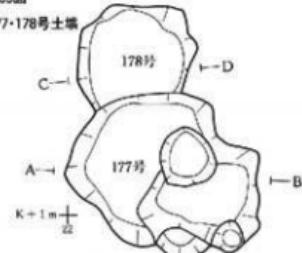
No.	地区・層位	器 形	外 面	内 面	底 部	分 類	備 考
1	K-22c	ミニチュア	ナ デ	ナ デ	ナ デ		

第464図 176号土壤出土器



0 1 2 m

第465図



177号土壤 (K-22a) 土層註記表

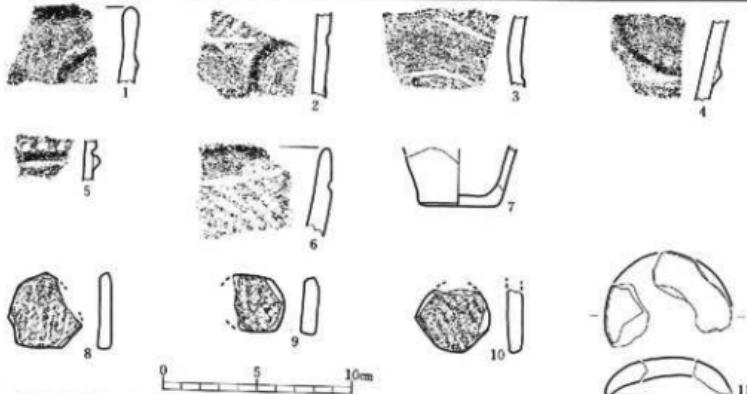
層位	層No.	土 色	土 性	備 考
I	1	黒 級 10YR2/2	シルト	炭化物少量含む
	2	黒 級 10YR2/3	シルト	スコリア及び多量の炭化物含む
II	3	暗 級 10YR4/4	シルト	スコリア及び焼土を含む
	4	暗 級 10YR3/2	シルト	少量の炭化物、スコリア少量含む
III	5	暗 級 7.5YR3/4	シルト	スコリア少量含む
	6	黄 級 10YR5/8	粘土質シルト	

## 178号土塗 (K-22b) 土層記録表

層位	層番	土色	土性	備考
1	1	青 細 10YR8/6	シルト	ローム粒、焼土含む
	2	赤 褐 10YR3/3	粘土質シルト	スコリア含む
2	3	褐 7.5YR4/4	粘土質シルト	泥炭多量に含む
	4	褐 7.5YR3/3	シルト	スコリア、焼化物少量含む

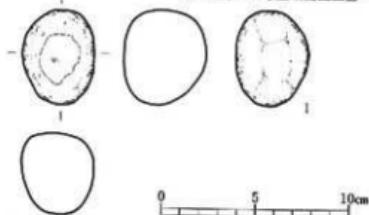
  

No	地 区	種 別	形	寸 法	高 度	備 考
177	K-22	第4層上面	不整形	200×177	25	178号土塗を切る。高瀬中央部に位置。底面比高約6262×59×2602ピット有。
178	K-22	第4層上面	不整円形基盤	127×(95)	15	177号土塗に切られる。



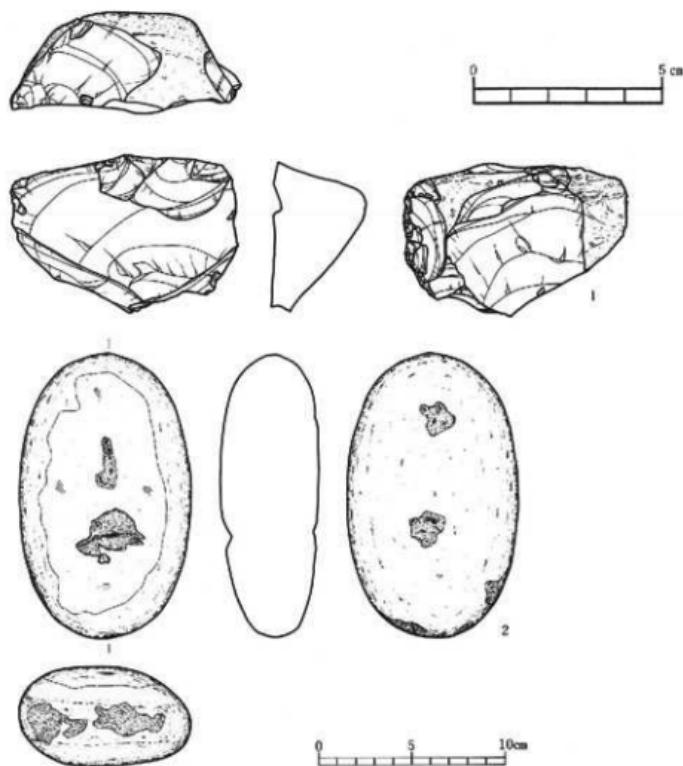
No	層 位	種 形	外 面	内 面	高 度	分 類	備 考
1	堆積上	縁 細	縦線文・不規則文	磨キ (横)		X	
2	堆積土	縁 細	縦線文・RL縦文	磨キ (横)		X	
3	堆積土	縁 細	沈線文・R側系文	磨キ (横)		X	
4	堆積上	縁 細	縦線文	磨キ (横)		X	
5	堆積土	縁 細	縦線文・斜文	磨キ (横)		X5	
6	堆積土	縁 細	沈線文・LR縦文	磨キ (横)		B IV	
7	堆積上	ミニチュア	縁 小	磨キ (横)	磨キ		
8	堆積土	土製円盤					
9	堆積土	土製円盤					
10	堆積土	土製円盤					
11	堆積土	縁					

第465図 177号土塗出土土器・土製品



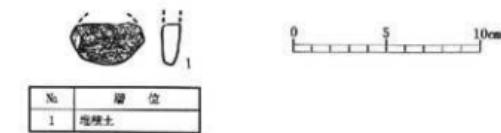
No	種 別	層 位	長 × 幅 × 厚(mm)	重 量(kg)	石 材	使 用 状	備 考
1	擦石器	堆積土	51×43×40	102.5		磨-片面	

第466図 177号土塗出土石器(1)

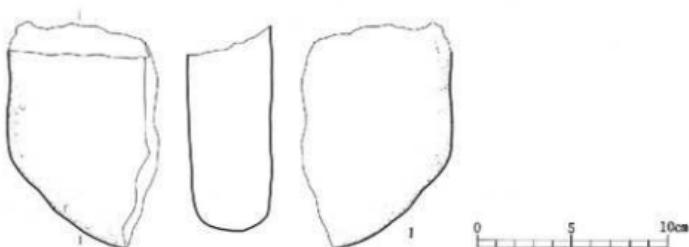


No.	種別	層位	長×幅×厚(mm)	重量(g)	石材	使用痕	備考
1	石核	堆積土	42.15×68.40×27.05	60.55	頁岩	—	
2	縫石器	堆積土	152×89×95	1621.5		一面削、敲一端、磨一片面	

第468図 177号土塗出土石器(2)

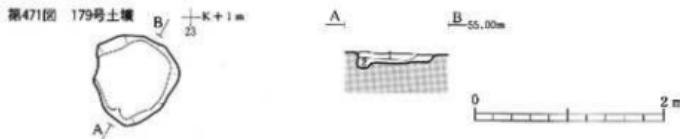


第469図 178号土塗出土土製円盤



No.	地 点	層 位	長 × 幅 × 厚 (mm)	重 量 (kg)	石 材	使 用 槟	備 考
1	石 玉	埋蔵土	(118 × 84) × 45	675.0	碧玉	器一片面	

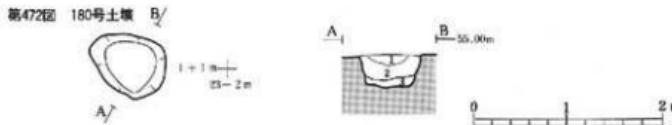
第470図 178号土坑出土石器



179号土塗 (K-22) 土層性記表

層位	地 区	地 面	土 性	備 考
1	第	10YR4/4	シルト	スコリア少量含む
2	第	10YR5/5	粘土質シルト	ロームブロック含む

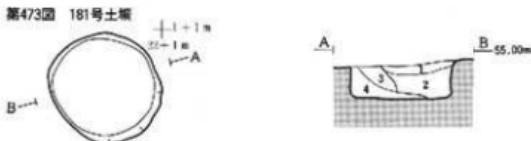
No.	地 区	地 面	平 面 形	規 模	鍾 高	備 考
179	I-K-22	第4層上面	不整円形基盤	94×92	15	



180号土塗 (I-22b) 土層性記表

層位	地 区	地 面	土 性	備 考
1	にぶい黄土	10YR4/3	シルト	ローム松若子含む
2	第	10YR4/6	シルト	ローム粒、炭化物若干含む
3	第	10YR5/6	シルト	ロームブロック含む

No.	地 区	地 面	平 面 形	規 模	鍾 高	備 考
180	I-22	第4層上面	不整梢円形	87×75	38	

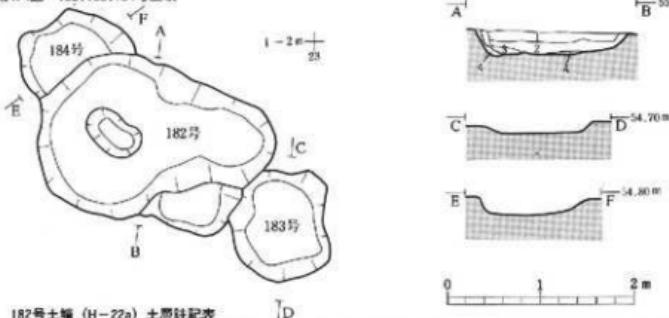


181号土壌 (I-22a) 土層記記表

層位	層No	土色	土性	備考
1	1	緑 黄 10YR3/4	シルト	
	2	緑 10YR4/5	粘土質シルト	ロームをブロック状。Fine sandを多量に含む
2	3	緑 黄 10YR3/3	シルト	Find sandを含む
	4	緑 黄 7.5YR4/3	シルト	Find sandを含む

No	地 区	標 誌 面	平 面 形	規 模	深 高	備 考
181	H-22, -21・22	第4層上面	不整円形	122×113	39	

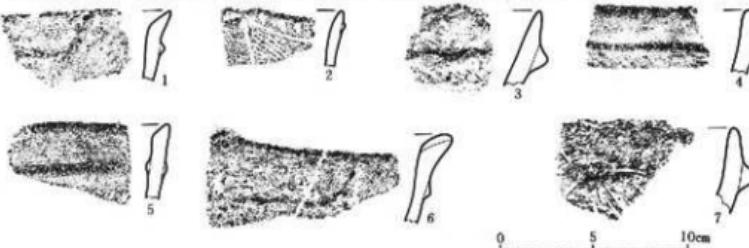
第474図 182, 183, 184号土壤



182号土壌 (H-22a) 土層記記表

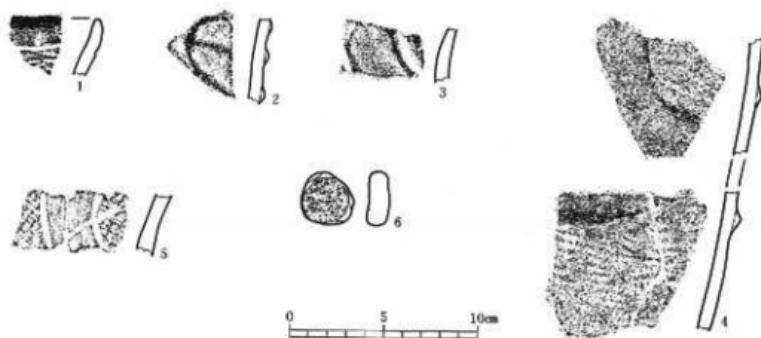
層位	層No	土 色	土 性	備 考
1	1	緑 10YR4/4	シルト	少量の炭化物、礫土粒、ロームを含む
2	2	緑 10YR4/6	シルト	ローム粒、炭化物多く含む
3	3	にほい黄褐 10YR4/3	シルト	炭化物、ロームを含む
2	4	黄 緑 10YR5/6	粘土質シルト	ロームブロックを含む

No	地 区	標 誌 面	平 面 形	規 模	備 考
182	H-22	第4層上面	不整円形	355×175	25 182, 184土壤を切る。南東面に張り出しある。岩西寄りに33×38×140ビット有。
183	H-22+23	第4層上面	不整円形基調	177×100	16 182土壤に切られる。
184	H-22	第4層上面	不整円形基調	115×85	15 182土壤に切られる。



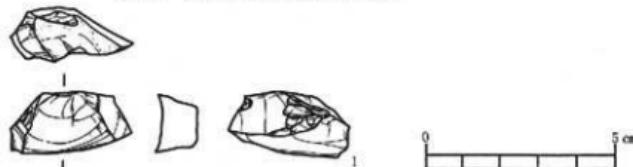
No	層 位	器 形	外 面	内 面	分 類	備 考
1	堆積土	深 裂	透綠文	磨キ(鏡)	X	
2	堆積土	深 裂	沈積文・剥離文・LR透文	ナゲ(鏡・磨キ(鏡))	X	
3	堆積土	深 裂	透綠文・LR透文	磨キ(鏡・磨・鏡)	B I	
4	堆積土	深 裂	透綠文・LR透文	磨キ(鏡)	B I	
5	堆積土	深 裂	透綠文	磨キ(鏡)	B I	
6	堆積土	深 裂	強透文・不明透文	磨キ(鏡)		
7	堆積土	深 裂	透綠文・不明透文	マメツ		

第475図 182号土壤出土土器(1)



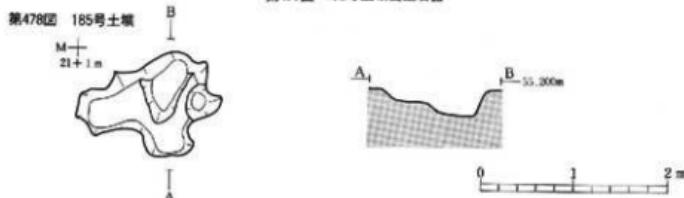
No.	層位	器形	外 面	内 面	分類	備 考
1	堆積土	深 筋	沈縫文・LR施文	窓キ(裏)	HIV	
2	堆積土	深 筋	施縫文	マメリ	X	
3	堆積土	深 筋	施縫文・沈縫文	窓キ(裏)	X	
4	堆積土	深 筋	施縫文・LR施文	窓キ(裏・底・斜)	X	
5	堆積土	深 筋	沈縫文・RL施文	窓キ(裏・斜)	X	
6	堆積土	土製円盤				

第476図 182号土壤出土土器(2)・土製円盤

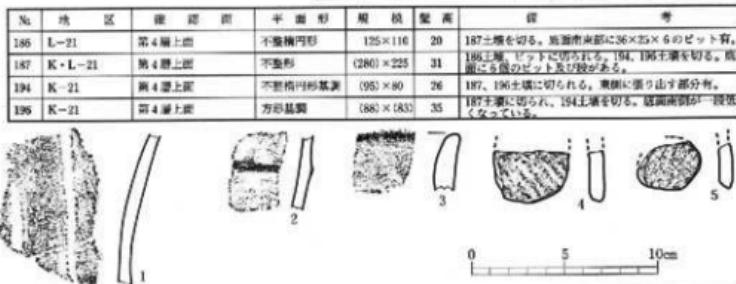
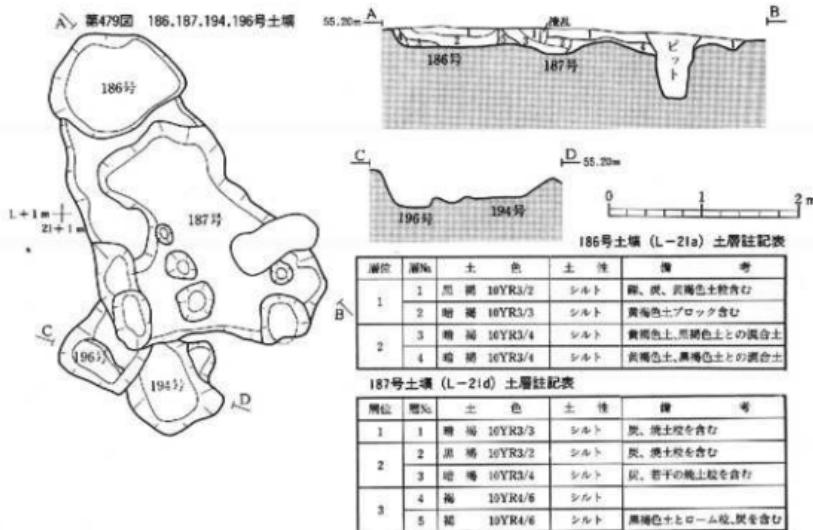


No.	種 別	層位	長 × 幅 × 厚(mm)	重 量(kg)	石 特	使 用 度	備 考
1	石 棱	堆積土	16.75×32.30×14.45	6.30	チャート	—	

第477図 182号土壤出土石器

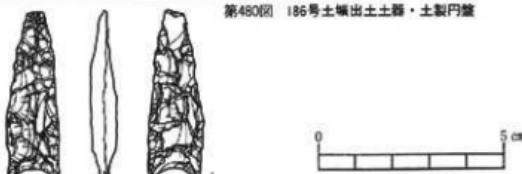


No.	地 区	地 調 施	平 面 形	横 構	數 量	備 考
185	L-21	第4層上面	不整形	154×110	26	



No.	層 位	器 形	外 面	内 面	分 売	備 考
1	堆積土	深鉢	比較文	磨キ(底)		
2	堆積土	深鉢	旋螺旋文・RL螺旋文	磨キ(側・底)		
3	堆積土	深鉢	磨キ	磨キ(側)	B VIII	
4	堆積土	土製円盤				
5	堆積土	土製円盤				

第480図 186号土壤出土土器・土製円盤

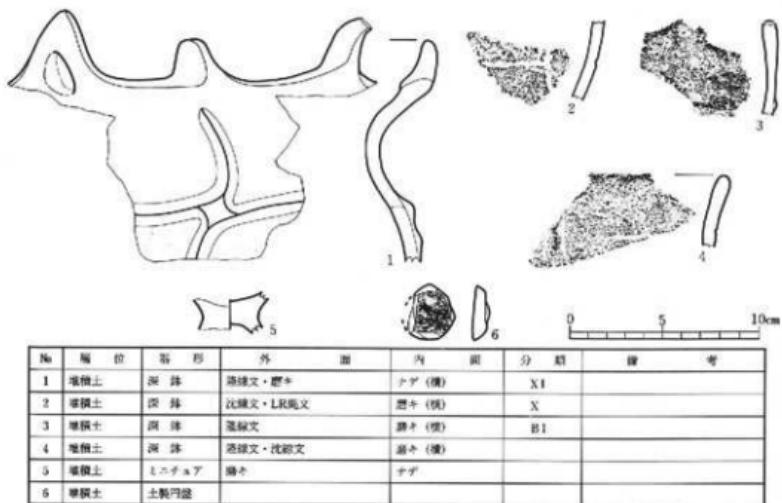


No.	種 别	層 位	長 × 幅 × 厚(cm)	重 量(g)	石 材	使 用 直	備 考
1	石 瓶A	1層	45.85×14.65×10.05	3.95	—	—	

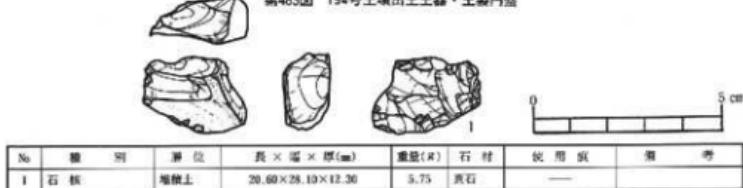
第481図 186号土壤出土石器



第482図 187号土壤出土土器



第483図 194号土壤出土土器・土飼円盤



第485図 188号土壤

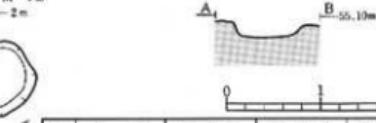
+M-1m

22-2m

A\

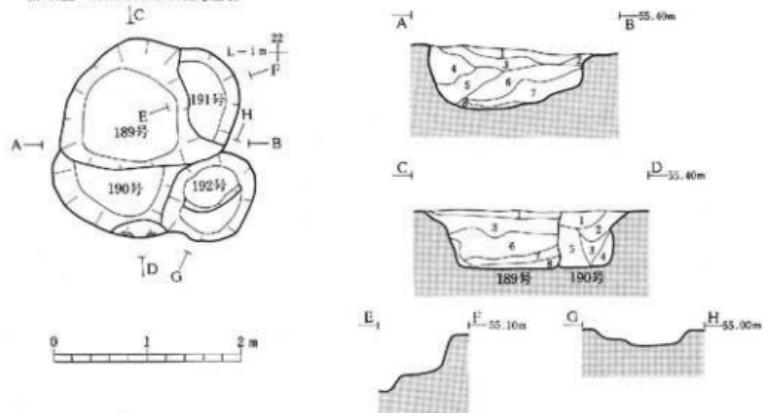
B\

第484図 194号土壤出土石器



No	地区	構造	平面形	規模	高さ	備考
188	L-21	第4層上面	不整面円形	86×79	13	

第486図 189, 190, 191, 192号土壤



No	地 区	成 蜻 面	平 面 形 型	層 高	備 考	
189	K-21	第4層上面	不整様円形面図	(172) × 138	67	189, 191, 192号を切る。堆積土に関する記述は無地の部分に纏わらなかった。
190	K-21	第4層上面	円形面図	(128) × (65)	56	189号に引かれ、192号を切る。堆積土に関する記述は無地の部分に纏わらなかった。
191	K-21	第4層上面	円形面図	(115) × (54)	34	189号土壌に引られる。
192	K-21	第4層上面	橢円形面図	98 × (85)	15	189, 190号層に引られる。表面面図が一段高くなっている。

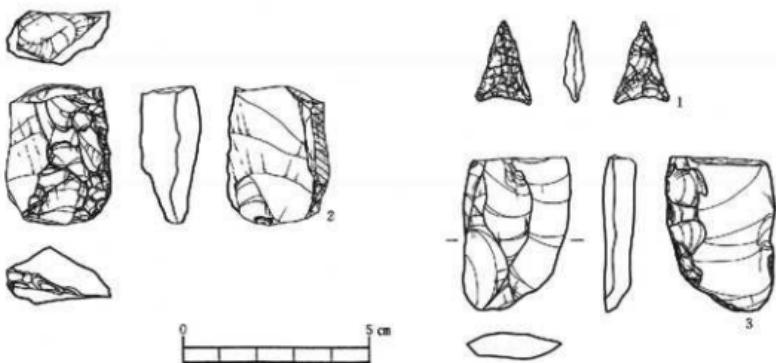


No	層 位	形 态	外 面	内 面	分 類	備 考
1	堆積土	深 鮎	横縞文・RL纏文	縦キ (横・鉛)	X	
2	堆積土	深 鮎	横縞文・沈縞文・LR纏文	縦キ (横)	X	
3	堆積土	深 鮎	沈縞文・R横糸文	縦キ (横)	X	
4	堆積土	深 鮎	R縞文・LR纏文	縦キ (横)		
5	堆積土	深 鮎	横縞文・LR纏文	縦キ (横・鉛)		
6	堆積土	深 鮎	R横糸文	縦キ (横)	B VI	
7	堆積土	深 鮎		ナゲ・縦キ (横)	B VII	



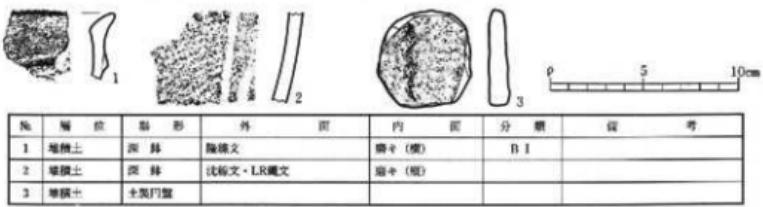
No	層 位	形 态	外 面	内 面	分 類	備 考
1	堆積土	深 鮎	沈縞文	縦キ (横)		
2	堆積土	深 鮎	横縞文・沈縞文・LR纏文	縦キ (横)	B IV	

第488図 190号土壤出土土器

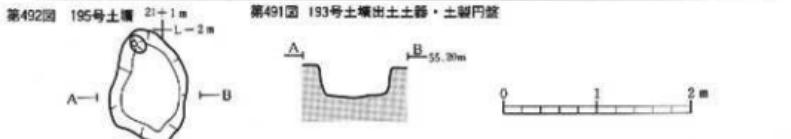


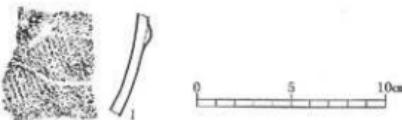
No.	種別	層位	長×幅×厚(cm)	重量(kg)	石材	使用法	備考
1	石 砕A	堆積土	21.70×14.70×5.00	0.85	頁岩		
2	磨滅石片	堆積土	(37.65)×27.50×15.80	28.50	頁岩		焼けている
3	スクレイバー	堆積土	(41.35)×29.05×9.35	12.00	頁岩		

第490図 189号、190号土壤出土石器



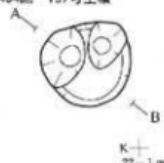
第492図 195号土壤



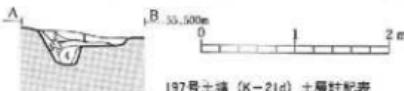


No.	層位	形態	外観	内面	分類	備考
1	堆積土	深鉢	沈穀文・沈頭文・LR構文	暗赤(漬)		

第493図 195号土壤



第493図 195号土壤出土土器



197号土坑(K-21d) 土層柱記表

層位	層No.	土色	土性	備考
1	1	褐 7.5YR4/4	シルト	スコリア若干含む
	2	暗褐 10VR3/4	シルト	スコリア若干含む
	3	褐 10YR3/3	粘土質シルト	スコリア、ローム混含む
	4	褐 10YR4/4	粘土質シルト	スコリア、炭化物若干含む
	5	暗褐 10YR5/6	粘土質シルト	

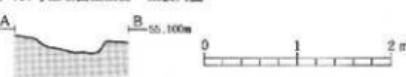
No.	地区	成葉面	平面形	規模	葉高	備考
197	K-21	第4層上面	円形	92×95	13	底面西側に67×45×26、北側に53×37×100ピット有。



No.	層位	形態	外観	内面	分類	備考
1	堆積土	深鉢	沈穀文・RL構文	暗赤(漬)		
2	改良土	土製円盤				

第496図 198号土壤

第495図 197号土壤出土土器・土器円盤



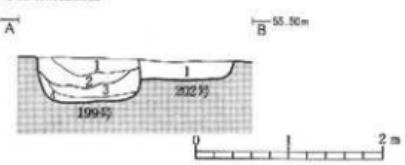
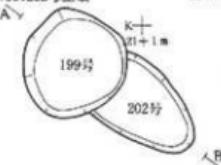
No.	地区	成葉面	平面形	規模	葉高	備考
198	J-K-21	第4層上面	不整錐円形	65×75	14	



No.	層位	形態	外観	内面	分類	備考
1	堆積土	深鉢	沈穀文・自然条文	暗赤(漬)		
2	堆積土	圓鉢	沈穀文・LR構文	暗赤(漬・鉢)		

第498図 199.202号土壤

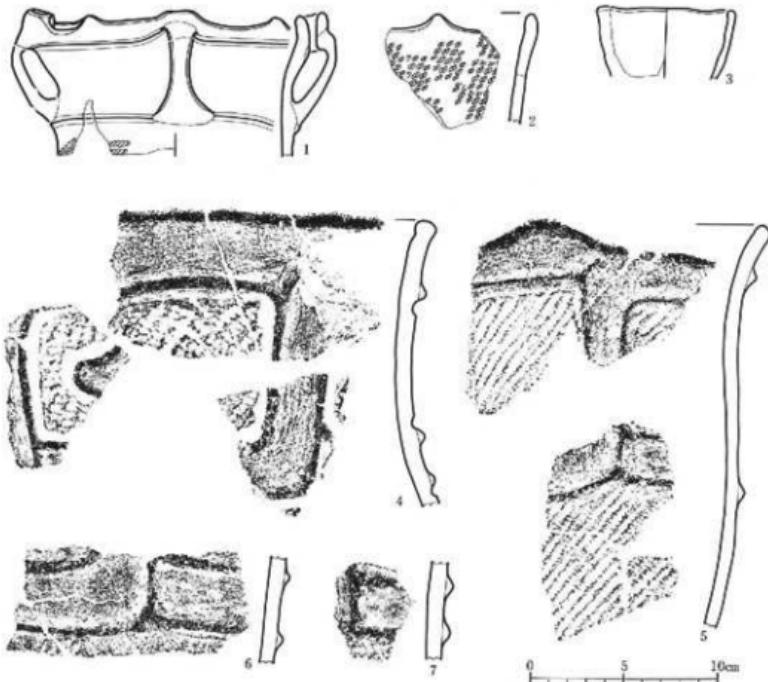
第497図 198号土壤出土土器



199号土壌 (K-21a) 土層註記表

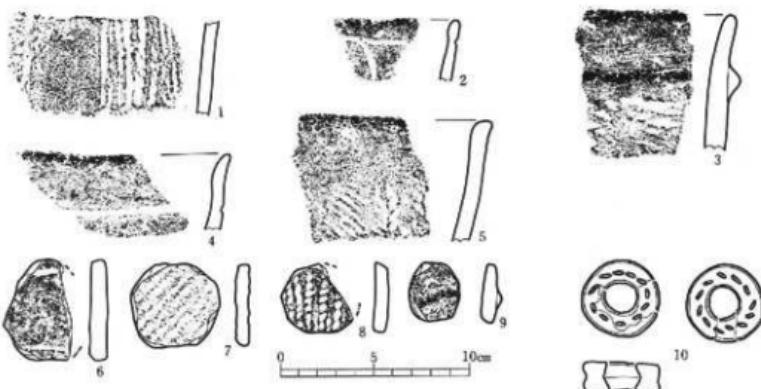
層位	層No.	土 色	土 性	備 考
1	1	暗 細 10YR3/4	シルト	若干の炭化物、スコリアを含む
	2	暗 10YR4/4	シルト	若干の炭化物、スコリア。燃土塊を含む
2	3	暗 細 10YR3/3	シルト	炭化物、小礫含む
	4	褐 7.5YR4/4	シルト	スコリア含む

No.	地 区	標 記 面	平 面 形	規 模	健 底	備 考
199	J-K-29・21	第4層上面	不整円形	113×116	47	202土塊を切る。
202	J-21	第4層上面	複円形基盤	(100)×84	18	199土塊に切られる。単純(10YR4/4層)有り。



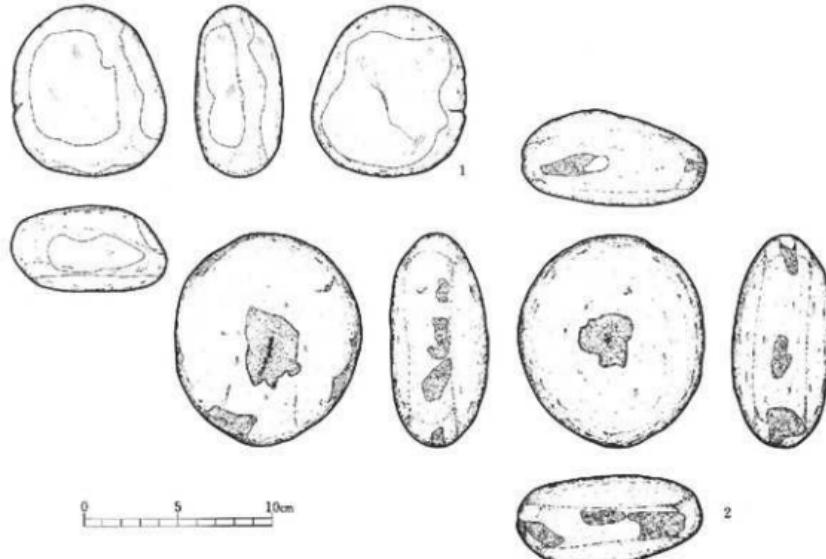
No.	層 位	器 形	外 面	内 面	分 類	備 考
1	堆積土	深 級	縦條文・LR範文・櫻型	櫻型(裏)	X14	
2	堆積土	深 級	RLR範文	ナゲ(裏)	X	
3	堆積土	ミニチュア	ケズ?	ナゲ	X	
4	堆積土	深 級	戎線文	櫻型(裏)	X6or7	
5	堆積土	深 級	隣接文・沈没文・LR範文	櫻+(裏)	X6or7	
6	堆積土	深 級	隣接文・RL範文	ナゲ・櫻型(裏・鈎)		
7	堆積土	深 級	戎線文	櫻型(裏)		

第499図 199号土壌出土土器(1)



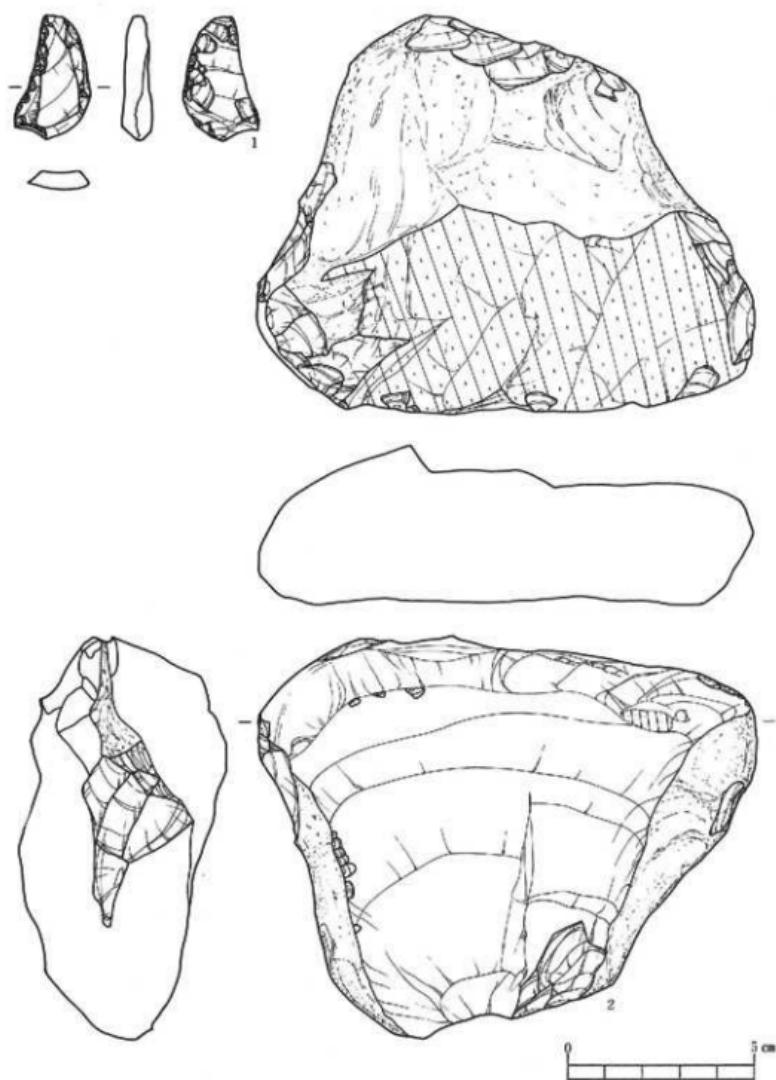
No	層位	器 形	外 脈	内 面	分 類	備 考		
1	堆積土	圓 脊	弦紋・及捺目文	ナギ・筒子(廣)	X			
2	堆積土	圓 脊	弦紋	筒子(廣・斜)	X			
3	堆積土	圓 脊	弦紋文・L凸条文	ナギ・筒子(廣)	B I			
4	堆積土	圓 脊	弦紋	筒子(廣)	B IV			
5	堆積土	圓 脊	捺目文・及塊文	筒子(廣)	B VI			
No	層位	種 別	No	層位	種 別	No	層位	種 別
6	堆積土	土製円盤	7	堆積土	土製円盤	8	堆積土	土製円盤
10	堆積土	瓦 形				9	堆積土	土製円盤

第500図 199号土器出土土器 (2)・土製品



No	種 別	層位	長 × 寬 × 厚(mm)	重量(g)	石 斧	民 用 刀	備 考
1	磨石斧	堆積土	90×81×48	507.0		磨一面面、一端片側面	
2	磨石斧	堆積土	112×98×51	619.5		磨一面面、前一側面	

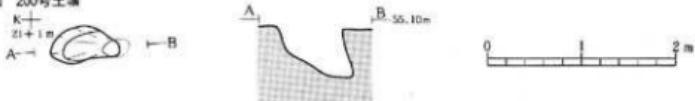
第501図 199号土器出土石器 (1)



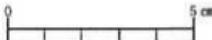
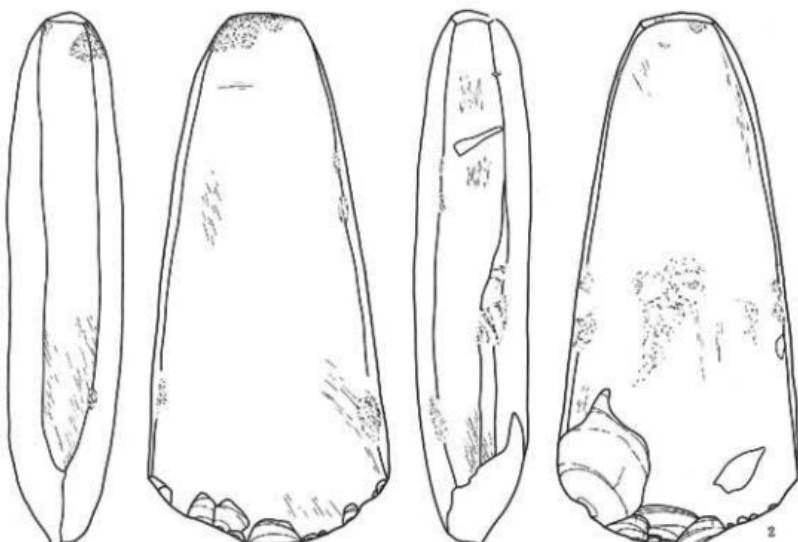
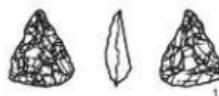
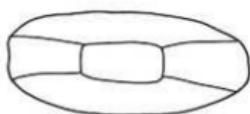
名	種別	場所	長×幅×厚(mm)	重量(kg)	石材	使用痕	備考
1	ストレインバー	埴輪上	32.90×29.05×8.35	4.95		—	
2	石核	埴輪上	132.40×108.90×53.20	669.95		—	

第502図 199号土壙出土石器(2)

第503圖 200號土塲

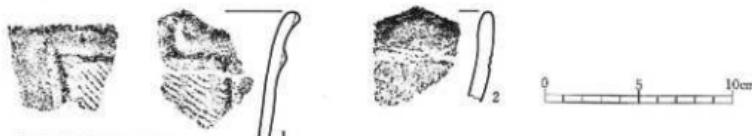


No.	地 区	露 見 面	平 面 形	規 格	壁 高	備 考
200	J-21	第4層上面	不整形	73×40	51	



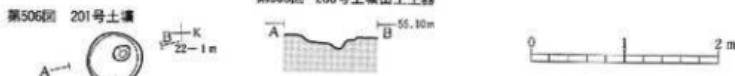
No.	類 别	層 位	長 × 幅 × 厚 (mm)	重 量 (kg)	石 材	使 用 途	備 考
1	石 瓢	堆積土	20.35×17.00×6.20	1.45	—	—	
2	磨製石斧	堆積土	412.65×64.20×28.55	498.5	—	—	

第504圖 200號土塲出土石器

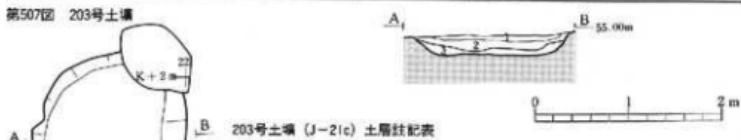


No.	層位	器形	外面	内面	分類	備考
1	堆土上	圓鉢	縫織文・L型支文	磨キ(輪・縫)	X	
2	堆土上	圓鉢	沈織文・条縫文・RL織文	磨キ(輪・縫)	B.V.	

第505図 200号土壤出土土器



No.	地 区	標 誌 面	平 面 形	規 様	壁 高	備 考
201	J-21	第4層上面	不整円形	170×165	18	底面部にピットに切られる。



203号土壤 (J-21c) 土層記表

層位	地名	土色	土性	備考
1	便所間	7.5YR2/3	シルト	炭化物、スコリア微量に含む
2	便 所	7.5YR3/3	シルト	炭化物、スコリア、礫石粒含む
3	便	10YR4/4	粘土質シルト	スコリア、ローム粒含む

No.	地 区	標 誌 面	平 面 形	規 様	壁 高	備 考
201	J-21	第4層上面	円形	59×57	8	底面東寄りに20×16×9のピット有。



204号土壤 (J-21d) 土層記表

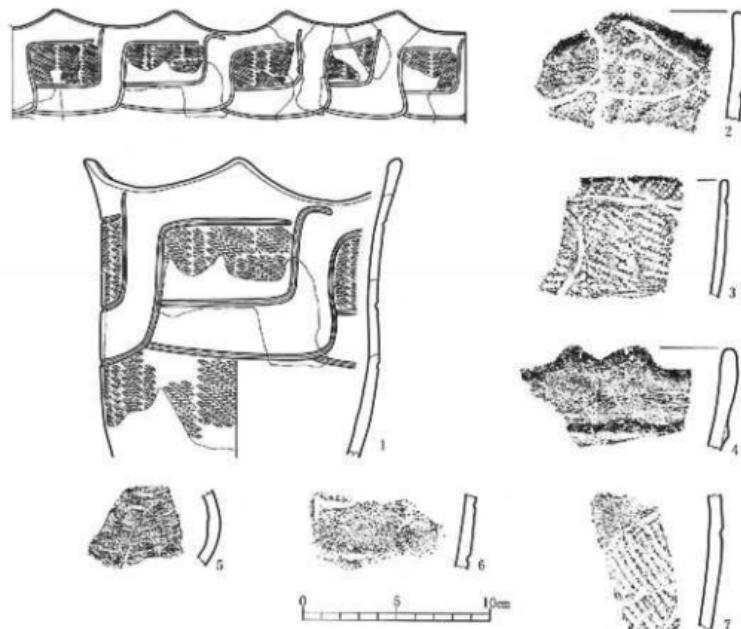
層位	地名	土色	土性	備考
1	便 所	10YR3/4	シルト	スコリア、炭化物含む
2	便	10YR4/6	シルト	スコリア、炭化物、成土粒含む
3	便	10YR4/4	粘土質シルト	スコリア、ローム粒多量に含む

No.	地 区	標 誌 面	平 面 形	規 様	壁 高	備 考
204	J-21	第4層上面	不整長方形窪溝	190×130	34	北側をピット、切られる。底面に75×45×11, 33×33×26のピット有。



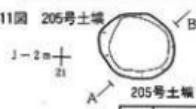
No.	層 位	器 形	外 面	内 面	分 類	備 考
1	3層上面	圓鉢	縫織文・L型支文	磨キ(輪・縫)	X	
2	3層上面	圓鉢	沈織文・糸交文・穿孔	磨キ(輪・縫)	X	
3	3層上面	圓鉢	沈織文	ナゲ(輪)		

第509図 204号土壤出土土器(1)



No.	層位	形態	外 面	内 面	分類	備 考
1	2層上面	深 鉢	沈積土・LR埋文・衝+	ナデ(横)	X6	
2	堆積土	深 鉢	沈積土・軽灰文・柔軟文・LR埋文	衝キ(横)	X	
3	2層	深 鉢	沈積土・漂移圧痕・LR埋文	ナデ・衝キ(横)	X	
4	2層上面	深 鉢	漂移文	ナデ・衝キ(横)	B 1	
5	2層上面	深 鉢	衝キ	ナデ(横・斜)		
6	2層上面	深 鉢	沈積文	ナデ(横)		
7	2層	深 鉢	沈積土・LR埋文	衝キ(横)		

第511図 205号土壤



第510図 204号土壤出土土器(2)



205号土壤(I-21a) 土層記表

No.	土 色	土 性	備 考
1	暗 場 10YR3/4	シルト	スコリア、液化物を含む
2	暗 場 10YR4/4	シルト	スコリア、液化物を含む
3	黄 場 10YR5/6	粘土質シルト	ロームブロック含む

No.	地 区	地 質	半 形	寬 幅	厚 度	備 考
205	I-21	第4層上面	円 形	82×70	12	



No.	層位	形態	外 面	内 面	寬 幅	厚 度	分類	備 考
1	堆積土	深 鉢	不明	マメツ	マメツ			
2	堆積土	深 鉢	沈積文	衝キ(横)				

第512図 205号土壤出土土器



206号土壠 (I-21b) 土層柱記表

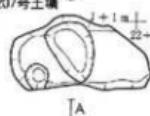
層位	層%	土 色	土 性	備 考
1	1	褐 10YR4/4	シルト	ローム粒有合む
	2	に赤い黄緑 10YR4/3	シルト	ローム粒若干含む
	3	黄 緑 10YR5/6	粘土質シルト	

No	地 区	施 設	平 面 形	規 模	堅 高	備 考
206	I-21	第4層上面	円形	70×56	32	207土壠を切る。
207	I-21	第4層上面	横円形基調	(50)×56	48	206土壠に切られる。表面は削剥が一様透くなっている。



No	層 位	層 形	外 面	内 面	分 帯	備 考
	堆積土	深 36	比較的 L 地文	静々(慢)	B IV	

第515図 207号土壠



第514図 206号土壠出土土器



第516図 208号土壠



208号土壠 (M-21b) 土層柱記表

層位	層%	土 色	土 性	備 考
1	1	に赤い黄緑 10YR4/3	シルト	
	2	に赤い黄緑 10YR4/3	シルト	粘性強い
	3	褐 10YR4/4	シルト	腐泥化?
	4	褐 10YR5/4	シルト	鐵・炭化物含む

No	地 区	施 設	平 面 形	規 模	堅 高	備 考
208	H-21	第4層上面	横円形基調	130×(85)	25	東側は貯糞区外へ延びている。

第517図 209号土壠



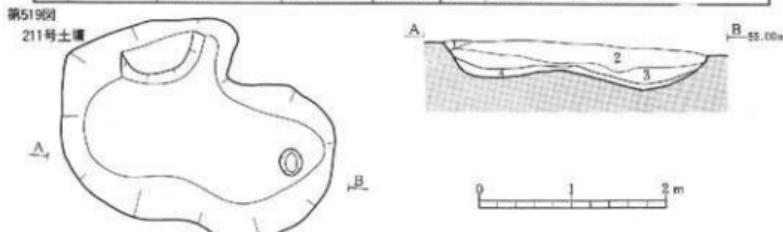
209号土壠 (Q-20a) 土層柱記表

層位	層%	土 色	土 性	備 考
1	1	黒 黄 10YR2/3	シルト	スコリア岩子含む
	2	に赤い黄緑 10YR5/3	粘土質シルト	ロームブロック含む
	3	褐 黄 10YR3/3	シルト	スコリア岩子含む
	4	褐 黄 10YR4/4	粘土質シルト	ローム粒含む
	5	黄 黄 10YR5/6	粘土質シルト	ロームブロック含む

No	地 区	施 設	平 面 形	規 模	堅 高	備 考
209	Q-20	第4層上面	円 形	115×111	33	



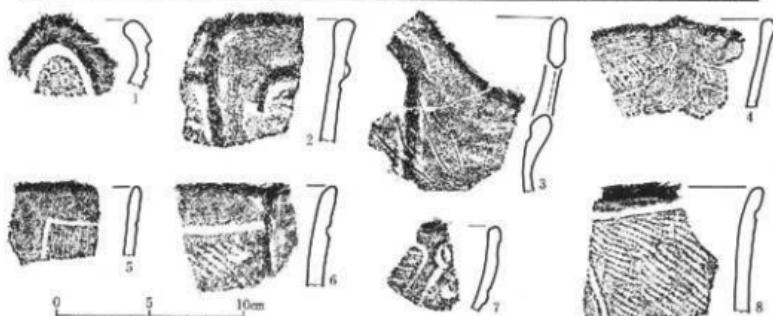
No	地 区	縦断面	平面形	規模	深 底	備 考
210	Q-19	第4幅上面	不整椭円形	162×108	22	底面西側に22×18×140のピット有。



211号土壤 (P-19) 土壌柱記表

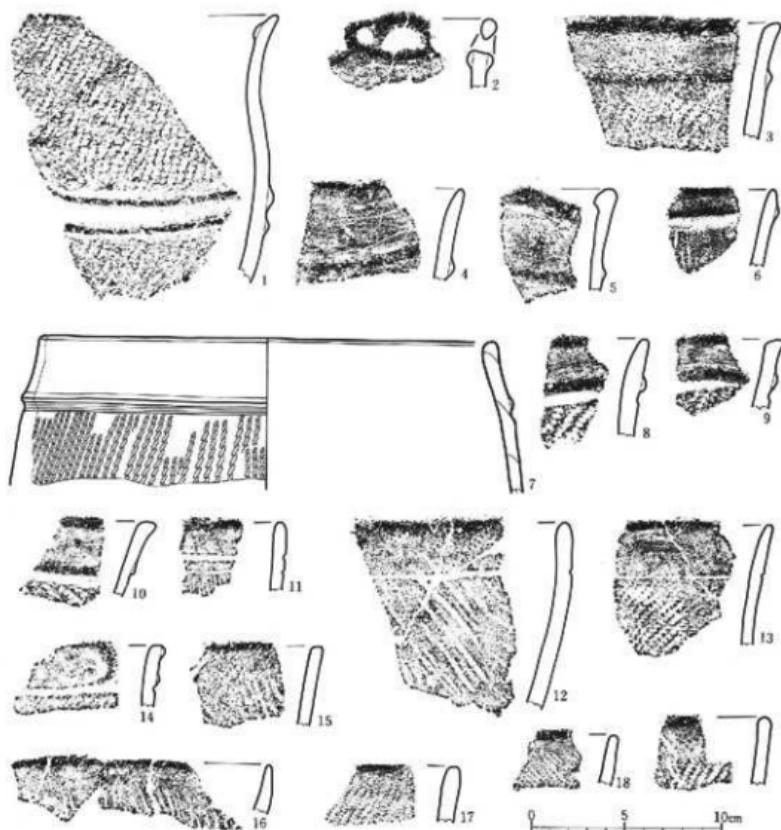
層位	層No.	土色	土性	備考
1	1	褐暗褐 7.5YR2/3	シルト	スコリア微量含む
	2	黒 暗 7.5YR3/1	シルト	スコリア炭化物微量含む
	3	黒 黑 10YR2/3	粘土質シルト	スコリア、炭化物微量含む
2	4	褐 10YR4/4	シルト	スコリア、ローム結合む

No	地 区	縦断面	平面形	規模	深 底	備 考
211	P-19	第4幅上面	不整形	310×220	45	底面北側に段が有り、東側に30×24×31のピット有。



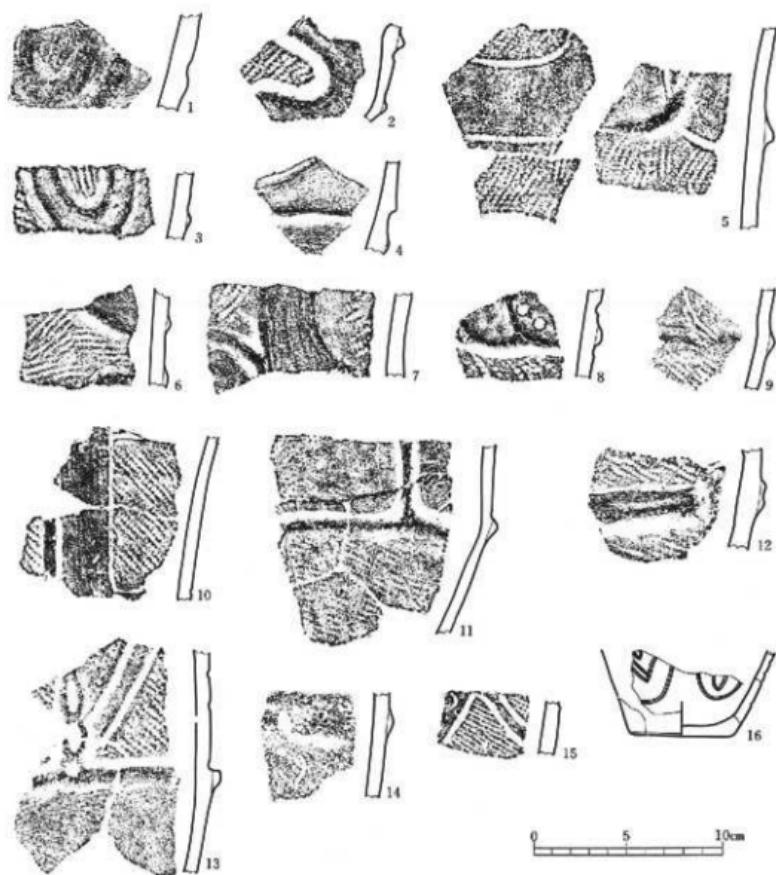
No	層 位	形 性	外 表	内 表	分 類	緒 考
1	堆積土	層 鮎	沈積文・樹皮文	ナゲ・窓キ(楕)	X	
2	堆積土	層 鮎	楢原文・沈積文・LR樹皮文	窓キ(楕・卵)	Xbor?	
3	堆積土	層 鮎	沈積文	ナゲ・窓キ(楕・卵)	X	
4	堆積土	層 鮎	沈積文・樹皮文	ナゲ・窓キ(楕)	X	
5	堆積土	層 鮎	楢原文・楢皮文	窓キ(楕)	X	
6	堆積土	層 鮎	楢原文・沈積文・LR樹皮文	窓キ(楕)	X	
7	堆積土	層 鮎	沈積文・L樹皮文	窓キ(楕)	XI	
8	堆積土	層 鮎	沈積文・LR樹皮文	窓キ(楕)	XI	

第520回 211号土壤出土土器 (1)



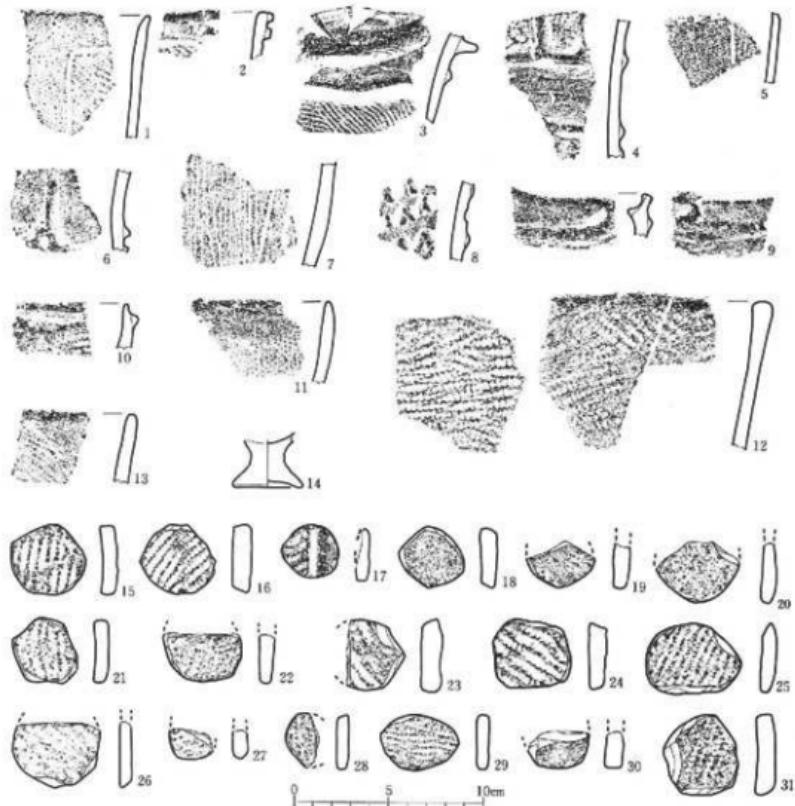
No.	層位	形	外 面	内 面	分類	備 考
1	堆積土	深 鉢	隆起文・RL繩文	縦中(横・斜)		
2	堆積土	深 鉢	隆起文・斜向文・穿孔	縦中(横)	X I	
3	堆積土	深 鉢	隆起文・RL繩文	縦中(横)	B I	
4	堆積土	深 鉢	隆起文	縦中(横・斜)	B I	
5	堆積土	深 鉢	隆起文	縦中(横)	B I	
6	堆積土	深 鉢	隆起文・R點文	縦中(横)	B I	
7	1 潛	深 鉢	隆起文・沈線文・L點系文・縦中	縦中(横)	B II	
8	堆積土	深 鉢	隆起文	縦中(横)	B II	
9	堆積土	深 鉢	隆起文・沈線文・RL繩文	縦中(横)	B III	
10	堆積土	深 鉢	隆起文・沈線文・LR繩文	縦中(横)	B II	
11	堆積土	深 鉢	沈線文・R點系文	ナデ・縦中(横)	B IV	
12	堆積土	深 鉢	沈線文・L點系文	縦中(横)	B IV	
13	堆積土	深 鉢	沈線文・RL繩文	ナデ(横)	B IV	
14	堆積土	深 鉢	隆起文・沈線文・RL繩文	縦中(横)	B IV	
15	堆積土	深 鉢	R點系文	縦中(横)	B VI	
16	堆積土	深 鉢	L點系文	ナデ(横)	B VI	
17	堆積土	深 鉢	RL繩文	縦中(横)	B VI	
18	堆積土	深 鉢	LR繩文	縦中(横)	B VI	
19	堆積土	深 鉢	継筋文・LR繩文	ナデ・縦中(横・斜)	B VI	

第521図 211号土壤出土土器(2)



No.	層位	器形	外 表	内 面	底 部	分類	備 考
1	堆積土	深 鍋	施繪文・沈繪文	磨子(底)	X		
2	堆積土	深 鍋	施繪文・沈繪文, RL施文	磨子(底・鋸)	X		
3	堆積土	深 鍋	施繪文・沈繪文, LR施文	磨子(底)	X		
4	堆積土	深 鍋	施繪文・沈繪文	磨子(底)	X		
5	堆積土	深 鍋	施繪文・沈繪文, RL施文	ナゲ・磨キ(底・鋸)	X		
6	堆積土	深 鍋	施繪文・RL施文	磨子(鋸)	X		
7	堆積土	深 鍋	施繪文・沈繪文	ナゲ・磨キ(底)	X		
8	堆積土	深 鍋	施繪文・沈繪文・莉光文・LR施文	磨子(底・鋸)	X		
9	堆積土	深 鍋	施繪文・沈繪文, LR施文	磨子(鋸・鋸)	X		
10	堆積土	深 鍋	施繪文・沈繪文, RL施文	磨子(底・鋸)	X or XII		
11	堆積土	深 鍋	施繪文・沈繪文, LR施文	磨子(鋸)	XI		
12	堆積土	深 鍋	施繪文・LR施文	磨子(底・鋸)			
13	堆積土	深 鍋	施繪文・沈繪文・莉光文・LR施文	磨子(底・鋸)	XIIa		
14	堆積土	深 鍋	施繪文・沈繪文・赫繪文・LR施文	ナゲ・磨子(鋸)			
15	堆積土	深 鍋	沈繪文・R施文	磨子(底)	XIIa		
16	1 層	深 鍋	沈繪文・磨子	磨子(鋸)	不明	XI	

第522図 211号土壤出土土器(3)

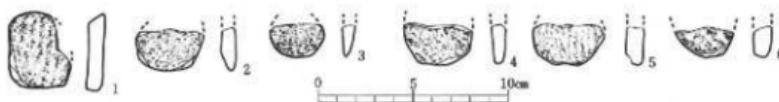


No.	層位	器形	外 面	内 面	施 加	分 類	備 考
1	1 層	深鉢	沈線文・LR繩文	磨キ (施)		X	
2	1 層	深鉢	亂線文・沈線文・LR繩文	磨キ (施)		Xor XI	
3	1 層	深鉢	乱線文・LR繩文	磨キ (施)		X	
4	1 層	深鉢	乱線文・沈線文・LR繩文	磨キ (横・縦)		X	
5	1 層	深鉢	沈線文・網突文	磨キ (横・斜)		X	
6	1 層	深鉢	健線文・刺突文	磨キ (横・斜)		XI	
7	1 層	深鉢	沈線文・柔線文	磨キ (施)		XI	
8	1 層	深鉢	刺突文	磨キ (施・斜)		XI	
9	1 层	深鉢	亂線文・沈線文	磨キ (施)		XI	
10	1 层	深鉢	沈線文・LR繩文	磨キ (横)		BII	
11	1 层	深鉢	乱點文	磨キ (施)		BVI	
12	1 层	深鉢	LR繩文	ナゲ・磨キ (施)		BVI	
13	1 层	深鉢	R繩文文	磨キ (施)		BVI	
14	1 层	ミニチュア 磨 キ		マメツ		ナゲ	

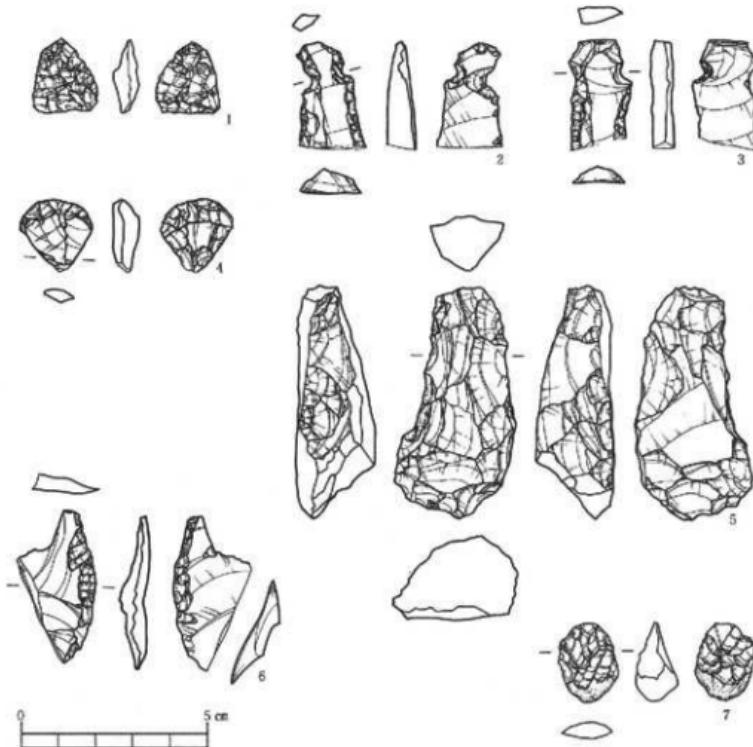
No.	層位								
15	1 層	16	堆積土	17	堆積土	18	堆積土	19	堆積土
21	堆積土	22	堆積土	23	堆積土	24	堆積土	25	堆積土
27	堆積土	28	堆積土	29	堆積土	30	堆積土	31	堆積土

第523図 211号土壤出土土器(4)・土製内盤(1)



No.	層位								
1	堆積土	2	堆積土	3	堆積土	4	堆積土	5	堆積土

第524図 211号土壤出土土円盤(2)



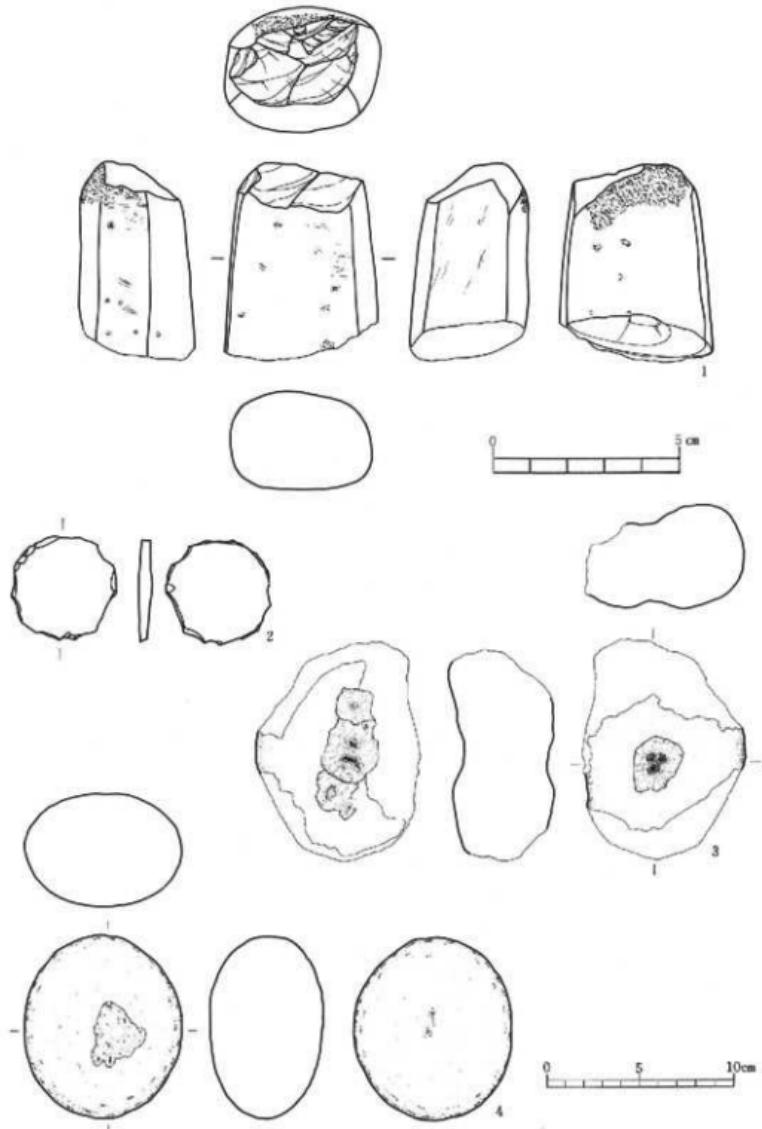
No.	種別	層位	長×幅×厚(cm)	重量(g)	石材	使用様	備考
1	石器A	堆積土	26.20×17.20×6.85	1.80	チャート	——	
2	石器	1 層	(28.75)×(17.75)×(7.65)	2.75	真 石	——	
3	石器	1 層	(29.65)×(16.10)×(5.85)	2.60	真 石	——	
4	石器	1 層	(18.90)×(19.05)×(6.85)	1.80	玉 石	——	
5	圓状石器	堆積土	62.35×31.45×20.95	38.50	武石英	——	
6	スクレイバー	堆積土	(40.75)×(21.10)×(6.45)	3.25	真 石	——	
7	スクレイバー	堆積土	26.25×15.15×11.15	2.80	黑曜石	——	

第525図 211号土壤出土石器(1)



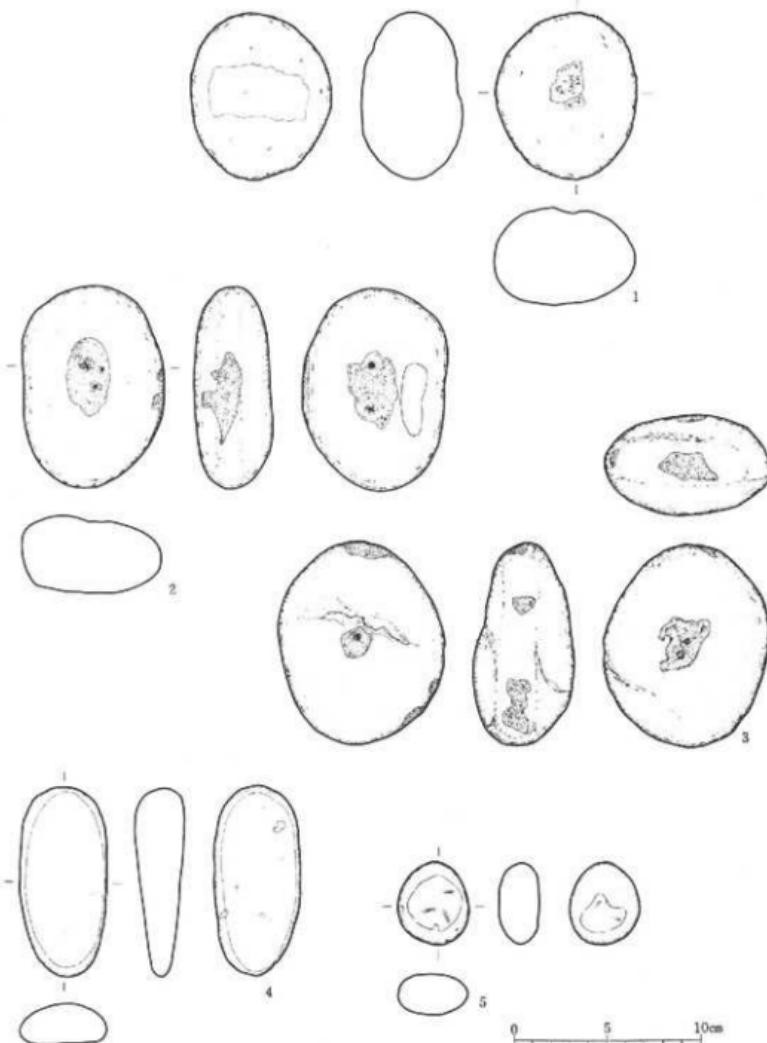
No.	類別	層位	長×高×厚(cm)	重量(g)	石材	使用痕	備考
1	スレーバー	堆積土	51.55×30.70×15.10	27.85	メノウ	---	
2	スレーバー	堆積土	48.85×43.55×12.70	14.35	青石	---	
3	二次加工ある剝片	堆積土	26.25×39.20×12.20	9.25	青石	---	
4	二次加工ある剝片	堆積土	32.30×28.25×8.40	6.85		---	
5	ビニス・エスキーゴ	1層	24.45×27.70×9.95	5.30	メノウ	---	
6	石核	1層	26.85×34.55×23.30	14.80	黑曜石	---	
7	石核	堆積土	21.70×33.80×24.60	16.50	玉髓	---	
8	石核	堆積土	16.25×31.15×12.05	3.05	青石	---	

第526図 211号土坑出土石器(2)



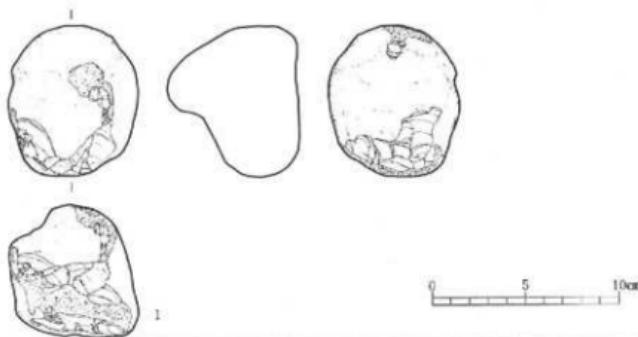
No.	類別	層位	長×寬×厚(cm)	重量(g)	石種	使用痕	備考
1	磨製石斧	堆積土	(53.16)×(40.50)×(31.20)	100.0	—	—	
2	石磬內盤	堆積土	—	26.65	—	—	扁平敲擊使用
3	磨石器	堆積土	120×89×63	758.5	閃—黑雲母	—	
4	磨石器	堆積土	97×83×59	660.5	凹—平面	—	

第527圖 211號土壤出土石器(3)



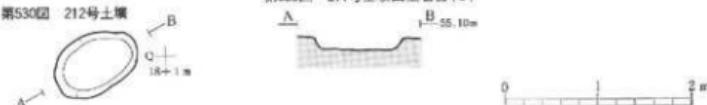
No.	種別	層位	長×幅×厚(cm)	重量(g)	石材	使用面	備考
1	磨石器	堆積土	89×75×55	421.0	閃—片岩，碧—片岩		
2	磨石器	堆積土	137×77×41	483.0	閃—片岩，敏—片岩		
3	磨石器	堆積土	106×87×54	608.0	閃—片岩，敏—片岩		
4	磨石器	堆積土	43×38×23	48.5	碧—片岩		
5	磨石器	堆積土	131×46×24	134.5	碧—片岩		

第528図 211号土壤出土石器(4)



No.	种类	层位	长×宽×厚(mm)	重量(g)	石种	使用痕	備考
211	石器	单粒土	81×69×71	453.9		敲打痕迹	

第529圖 211号土壤出土石器(5)



No.	地 区	地 肢 面	平 面 形	现 槽	厚 高	保 号
212	P-Q-18	第4層上面	椭圆形	52×61	12	

第531圖 213号土壤



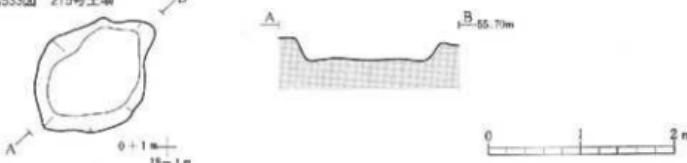
No.	地 区	地 肢 面	平 面 形	现 槽	厚 高	保 号
213	P-18	第4層上面	不规则形	133×114	14	此面以46×25×18, 直径以27×30×8, 23×21×25等

第532圖 214号土壤



No.	地 区	地 肢 面	平 面 形	现 槽	厚 高	保 号
214	O-P-17-18	第4層上面	不规则形	132×85	18	

第533圖 215号土壤

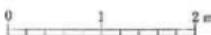


No.	地 区	地 肢 面	平 面 形	现 槽	厚 高	保 号
215	O-17	第4層上面	不规则形	158×116	22	

第534図 216号土壤

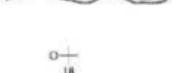


A'—B' 55.50m



No.	地 区	確 認 面	平 面 形	規 模	深 高	備 考
216	O-P-18	第4層上面	長方形	117×92	16	

第535図 217号土壤



A'—B' 55.70m



No.	地 区	確 認 面	平 面 形	規 模	深 高	備 考
217	O-18	第4層上面	不整形	123×110	18	表面中央に50×32×16の凹み有。

第536図

218号土壤



A'—B' 55.70m

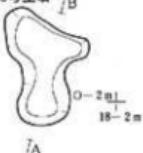


218号土壤 (N-17) 土層記表

層位	層No.	土 色	土 性	備 考
1	1	褐 10YR4/4	シルト	スコリア少量含む
	2	暗褐 7.5YR3/3	シルト	スコリア、炭化物少量含む
2	3	褐 10YR4/6	粘土質シルト	
	4	褐 7.5YR4/4	シルト	スコリア含む
3	5	暗褐 10YR3/4	シルト	スコリア含む
	6	暗褐 10YR5/6	粘土質シルト	

No.	地 区	確 認 面	平 面 形	規 模	深 高	備 考
218	N-17	第4層上面	長方形	115×68	64	本來の土壠の間、裏側に新設の土壠有。裏面中央に13×13×12のピット有。

第537図 219号土壤

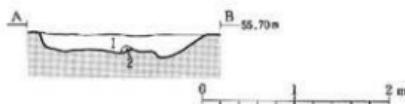


A'—B' 55.70m



No.	地 区	確 認 面	平 面 形	規 模	深 高	備 考
219	N-17	第4層上面	不整形	128×95	21	

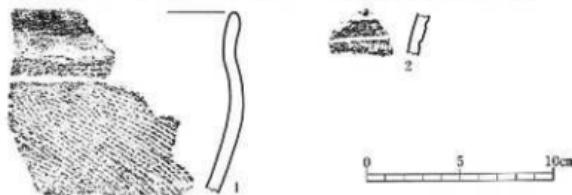
第538図



220号土壤 (N-17a) 土層記録表

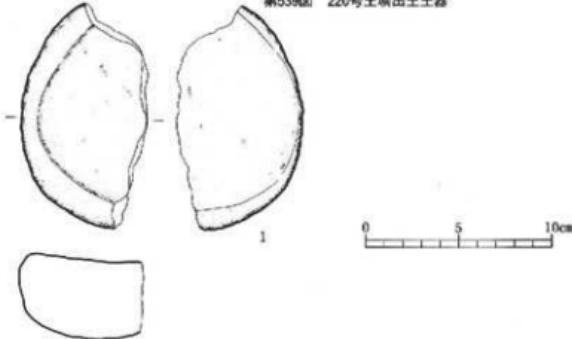
No.	土色	土性	備考
1	暗緑 7.5YR3/3	シルト	ロームを多く含む
2	明緑 7.5YR5/6	シルト	黒色土を若干含む

No.	地 区	底 面	平 面 形	横 構	堅 高	備 考
220	M・N-17	第4層上面	不整円形	187×163	20	底面直角に28×25×23のピット有。



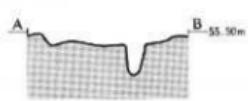
No.	層 位	形 索	外 面	内 面	分 壊	備 考
1	地耕土	深 錐	R些余文	凹(横・斜)	B VI	
2	堆積土	深 錐	沈絶文・系縫文	溝(縦)		

第539図 220号土壤出土土器

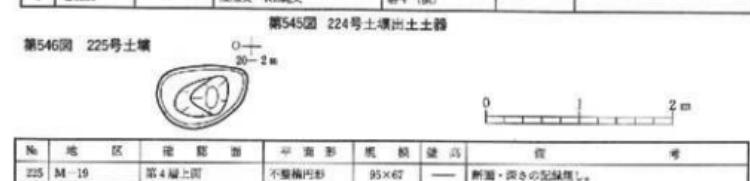
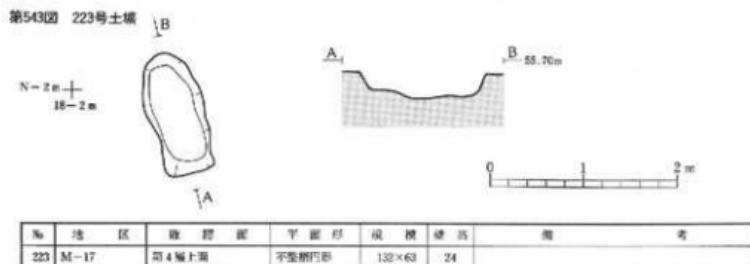
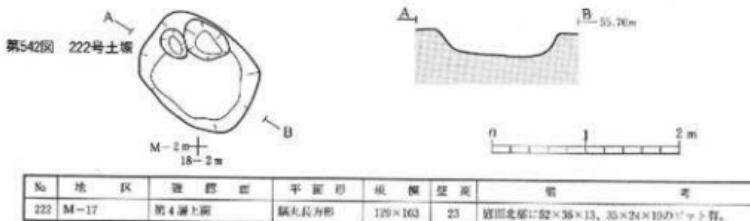


No.	類 别	層 位	長 × 幅 × 厚(mm)	重 量(K)	石 材	使 用 道	備 考
1	石 漆	堆積土	(126×167)×(44)	453.0		漆一片面	

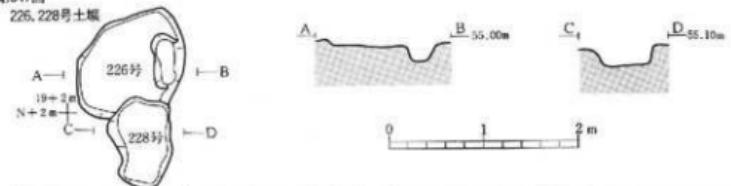
第540図 220号土壤出土石器



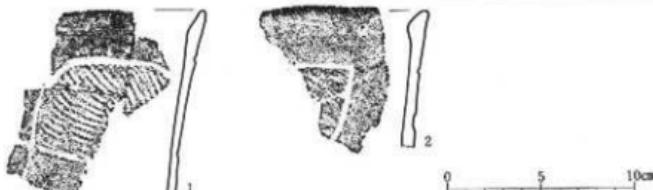
No.	地 区	底 面	平 面 形	横 構	堅 高	備 考
221	N-18	第4層上面	不整楕円形	143×92	16	底面直角に25×22×32のピット有。



第547図

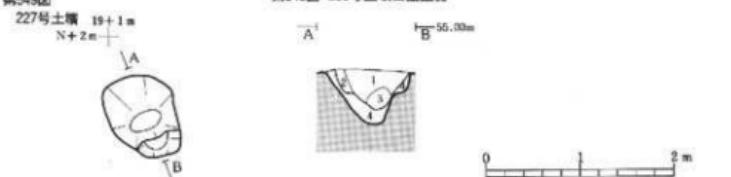


No.	地 区	縦 距 離	平 面 形	規 模	破 壊	備 考
226	N-19	第4層上面	不整格内形基盤	135×(103)	10	228土壌に切られる。底面尖削に60×25×16のピット有。
228	N-19	第4層上面	不整格内形	95×66	15	226土壌を切る。半層(地高10Y R3シート)。



No.	層 位	層 形	外 表	内 表	分 類	備 考
1	堆積土	層 鋸	沈積文・LR端文	層小(横)	X2or8	
2	堆積土	層 鋸	沈積文・RL端文	層小(横)	X2or8	

第549図



227号土壤 (N-19g) 土層柱記表

層位	測No.	土 色	土 性	備 考
1	1	黒 色 10YR2/3	シルト	炭化物、焼土をやや含んでいる
2	2	暗 黒 色 10YR2/4	シルト	ローム粒を少量含む
3	3	暗 黒 色 2.5YR3/3	シルト	炭化物少叢合む
4	4	褐 色 10YR4/6	粘 土	

No.	地 区	縦 距 離	平 面 形	規 模	破 壊	備 考
227	N-19	第4層上面	不整格内形	94×76	49	16往路筋を切る。



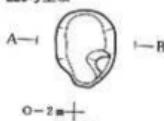
No.	層 位	層 形	外 表	内 表	分 類	備 考
1	1層	層 鋸	RL端文	層小(横・斜)	B VI	
2	1層	層 鋸	利突文	層小(横)		
3	1層	層 鋸	沈積文・LR端文	層小(横)		
4	1層	層 鋸	集積文	層小(横)		
5	堆積土	土製円錐				

第550図 227号土壤出土土器・土製円錐

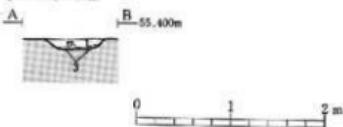


No.	種 别	層 位	長 × 寬 × 厚(mm)	重量(kg)	石 材	使 用 框	備 考
1	石 桁A	I層	(24.90)×13.80×3.26	9.65		—	

第5521頁 229号土地



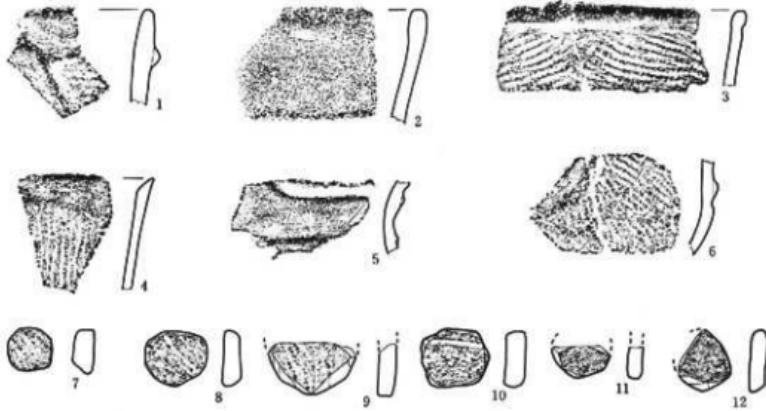
第551圖 227号土壤出土石器



229号土壤 ( $N=20a$ ) 主要特征表

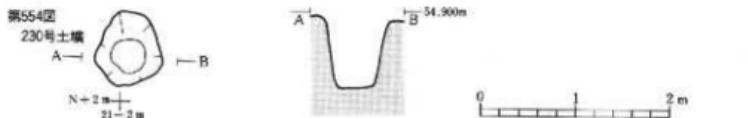
測定番号	土色	土性	備考
1 横明渠 7.5YR2/3	シルト	燒土を少量。黃褐色土を少量含む	
2 緑地 7.5YR3/3	シルト	粘土粒少量。炭化物微含む	
3 明渠 7.5YR5/6	シルト		

No	地 区	標 號	面	平 面 形	規 模	要 求	備 考
229	N-20		第4圖上面	不規則四邊形	85×67	10	14往兩側各切去。

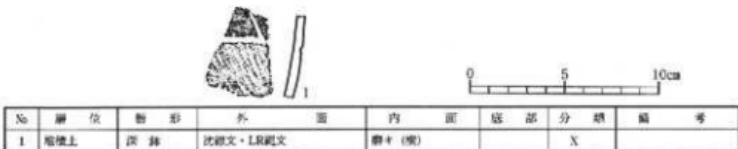


No	層位	器形	外 面	内 面	分類	備 考
1	1層		龍蟠文・RL龍文	龍文(模)	X	
2	1層	廟 灰		龍文(模)	B III	
3	1層		比隸文・RL龍文	龍文(模)	B IV	
4	1層		R龍文	龍文(模)	B VI	
5	1層		迺文・沈隸文	龍文(模・模)	X	
6	堆積土		偏撲文・沈隸文・LR龍文	龍文(模)	X	

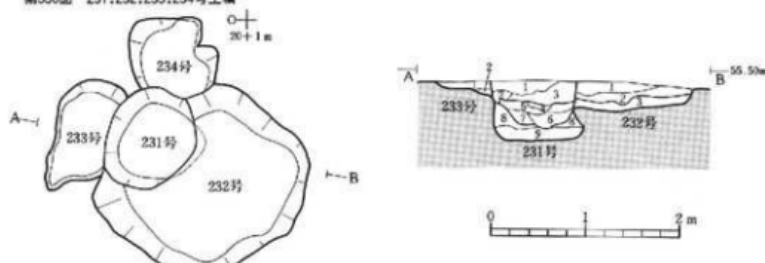
第553圖 229号土壙出土土器・土製円錐



No.	地 区	成 分 面	平 地 形	幅 深	高 度	備 考
230	N-29	第4層上面	不整形円形	80×70	74	



第555図 231.232.233.234号土壤  
第556図 230号土壤出土土器



231号土壤 (N-20c<sub>1</sub>) 土層註記表

層位	層No	土 色	土 性	備 考
1	1	黒褐色 10YR2/3	シルト	
	2	黒褐色 10YR2/3	シルト	
	3	暗褐色 10YR3/4	粘土質シルト	炭化物を多量に含む
2	4	にごい黄褐色 10YR4/3	粘土質シルト	炭化物。焼土を多く含む
	5	暗褐色 10YR3/3	粘土質シルト	炭化物をやや多く焼土を含む
	6	暗褐色 10YR3/2	粘土質シルト	炭化物。燒土。黄色土粒を多く含む
	7	黒褐色 10YR3/2	粘土質シルト	炭化物。焼土。黄色土粒を若干含む
3	8	褐色 10YR4/4	粘土質シルト	
	9	暗褐色 10YR3/4	粘土質シルト	炭化物を多量に含む

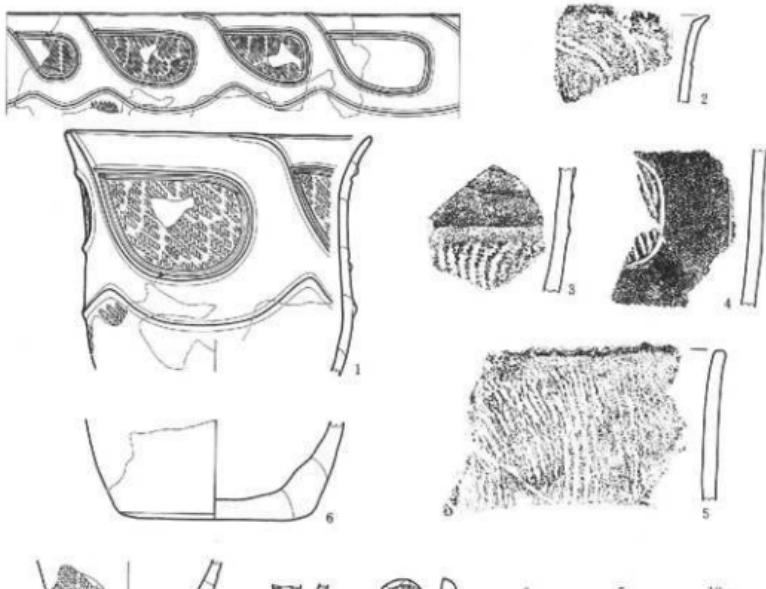
232号土壤 (N-20c<sub>2</sub>) 土層註記表

層位	層No	土 色	土 性	備 考
1	1	黒褐色 10YR3/2	シルト	炭化物。燒土粒を含む
2	2	暗褐色 10YR3/2	粘土質シルト	
3	3	褐色 10YR4/4	粘土質シルト	

233号土壤 (N-20d<sub>1</sub>) 土層註記表

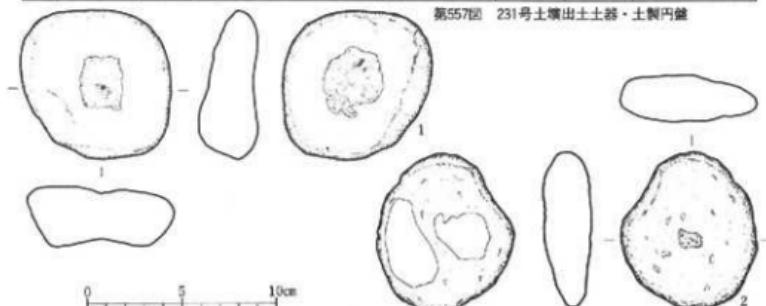
層No	土 色	土 性	備 考
1	黒褐色 10YR3/2	シルト	
2	褐色 10YR4/4	シルト	

No.	地 区	成 分 面	平 地 形	幅 深	高 度	備 考
231	N-19+26	第4層上面	不整形円形	116×90	62	231.233.234土壤を切る。
232	N-19+26	第4層上面	不整形円形基調	192×(165)	21	231土壤に切れ、233.234土壤を切る。
233	N-19	第4層上面	不整形円形基調	133×(59)	17	231.232土壤に切れられる。232土壤の成物が遺在する。
234	N-19+26	第4層上面	不整方形基調	98×(87)	14	231.232土壤に切られる。



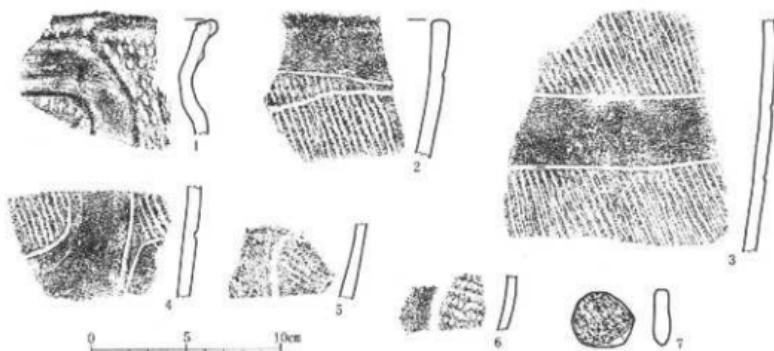
No.	地区・部位	器 形	外 表	内 表	底 形	分 類	備 考
1	1層	深 釜	縦縞文・横縞文・櫛目	櫛目(横・縦)		X	
2	同No.9	深 釜	沈縞文	ナゲ(横)		X	
3	1層	深 釜	沈縞文・RL縞文	櫛目(横)		X	
4	同No.5	深 釜	沈縞文・R横糸文	櫛目(横)		X	
5	同No.6	深 釜	R横糸文	ナゲ・櫛目(横)		B VI	
6	1層	深 釜	トヅ	不明	櫛目		
7	1層	深 釜	RL網文・櫛目	櫛目(横)	不明		
8	1層	ミニチュア	RL網文・櫛目	ナゲ(横)	櫛目		
9	同No.6	土製円盤					

第557図 231号土壙出土土器・土製円盤



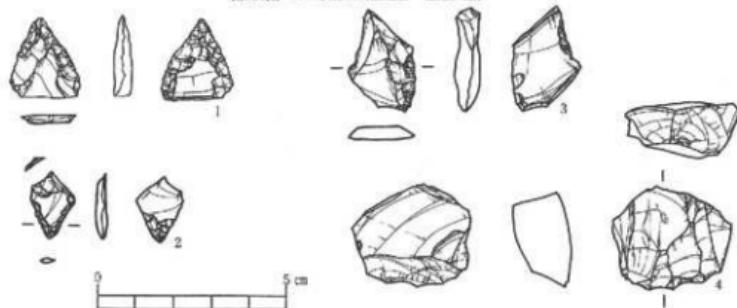
No.	種 别	體 体	長 × 幅 × 厚(mm)	重量(kg)	石 材	使 用 部	備 考
1	磨石器	1号	92×78×27	306.0	閃-閃面、晶-晶面		
2	磨石器	同No.3	85×72×31	158.0	閃-閃面		

第558図 231号土壙出土石器



No.	層位	形	外面	内面	分類	備考
1	1層	深鉢	沈縫文・刺突文	沈縫文・ナギ(横)・瘤+(横)	X	
2	2層	深鉢	沈縫文・L型条文	瘤キ(横・斜)	X	
3	2層	深鉢	沈縫文・瓦棱条文	瘤セ(横・斜)	X	
4	2層	深鉢	沈縫文・L型条文	ナギ(斜)・瘤キ(横)	X	
5	1層	深鉢	沈縫文・LR縫文	瘤キ(斜)	X	
6	1層	深鉢	沈縫文・LR縫文	瘤セ(横)	X	
7	地盤上	上輪円盤				

第559図 232号土壤出土土器・土製円盤



No.	性別	層位	長×幅×厚(cm)	重量(g)	石種	使用痕	備考
1	石器A	1層	43.15×18.55×4.70	1.35	—	—	アスファルト付着
2	石器	1層	17.70×11.60×2.90	0.45	玉髓	—	
3	スクレイパー	1層	27.25×12.90×6.75	2.65	頁岩	—	
4	石核	1層	28.39×31.85×15.20	14.45	鐵石英	—	磨耗している

第560図 232号土壤出土石器



No.	層位	形	外面	内面	分類	備考
1	堆積土	深鉢	沈縫文・LR縫文	瘤キ(横・斜)	X	
2	層N.I	深鉢	L型条文	ナギ・瘤セ(横)	B VI	

第561図 233号土壤出土土器



No	層位	器形	外面	内面	分類	備考
1	1層	深鉢	降徳文・沈徳文 RL面文	縁キ(裏)	X	
2	1層	深鉢	比徳文・RL面文	縁キ(裏)	X	
3	單積土	深鉢	粗徳文	縁キ(裏)	B I	
4	堆積土	土師円盤				
5	堆積土	土質円盤				

第563図 237号土壌



第562図 232、233号土壤出土土器・土製円盤

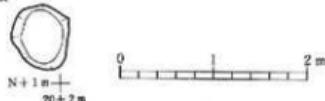


No	地 区	施 設	平 面 形	規 構	壁 高	備 考
237	N-29	第4層上部	平整形	66×55	49	



No	層位
1	堆積土

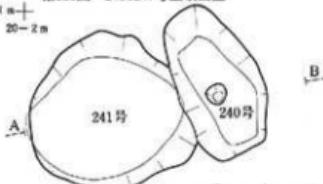
第565図 239号土壤



第564図 237号土壤出土土製円盤

No	地 区	施 設	平 面 形	規 構	壁 高	備 考
239	N-20	第4層上部	不整形円形	70×60	—	新面・固さの記録なし。

第566図 240.241号土壤出土



240号土壤(N-20K) 土層記表

層位	層No	土 色	土 性	備 考
1	1	暗褐色 10YR5/3	シルト	
	2	暗褐色 10YR5/3	粘土質シルト	
2	3	暗褐色 10YR5/4	粘土質シルト	
	4	暗褐色 10YR5/4	粘土質シルト	
3	5	暗褐色 10YR5/3	粘土質シルト	
	6	暗褐色 10YR5/3	粘土質シルト	
4	7	褐色 10YR4/6	粘土質シルト	
	8	褐色 10YR4/6	粘土質シルト	

241号土壠 (N-19K) 土層註記表

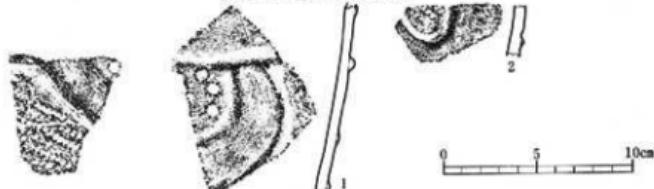
層位	No.	土色	土性	備考
1	1	褐 10YR4/4	シルト	炭化物多量、植物土粒子を含む
	2	褐 10YR4/4	シルト	
	3	褐 10YR4/6	シルト	
2	4	暗 褐 10YR3/3	粘土質シルト	炭化物若干、褐色ローム上粒を多く含む
	5	暗 褐 10YR2/4	シルト	炭化物若干、黄色ローム土粒を若干含む
3	6	暗 褐 10YR3/4	シルト	褐色ロームをブロック状に含む
	7	暗 褐 10YR3/3	粘土質シルト	褐色ロームをブロック状に含む
	8	黒 褐 10YR2/2	粘土質シルト	
	9	黒 褐 10YR2/2	シルト	炭化物若干含む

No.	地 区	種 類	平 面 形	横 構	標 高	備 考
240	M+N-20+21	第4層上面	不整丸長方形基調	154×(90)	88	241土壤に切られる。底面中央部に22×22×15のビット有。
241	M+N-19	第4層上面	不整円形	170×160	50	240土壤を切る。



No.	層 位	器 形	外 表	内 表	分 類	備 考
1	堆積土	深 筋	隆起文・刻突文	磨キ (硬)	X	
2	堆積土	深 筋	隆起文・LR縦文	磨キ (硬)	X	
3	堆積土	深 筋	RL縦文	磨キ (硬)	B VI	
4	堆積土	深 筋	隆起文・刻突文	磨キ (硬・軟)	X	

第567図 240号土壠出土土器

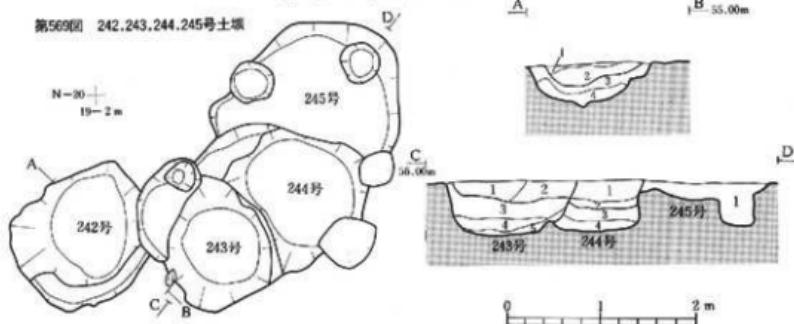


No.	層 位	器 形	外 表	内 表	分 類	備 考
1	堆積土	深 筋	隆起文・比縦文・刻突文・LR縦文	磨キ (硬・軟)	X	
2	堆積土	深 筋	隆起文・沈縦文・LR縦文	磨キ (硬)	X	

第568図 241号土壠出土土器

A 1  
B 35.00m

第569図 242, 243, 244, 245号土壠



242号土壤 (M-19a) 土層記載表

層位	層No.	土 色	土 性	備 考
1	1	褐 7.5YR4/4	シルト	
	2	暗 褐 10YR3/3	シルト	炭化物、燒土粒多く含む。
2	3	褐 10YR4/4	粘土質シルト	3よりも炭化物、燒土粒少い。
	4	暗 褐 10YR3/4	粘土質シルト	

243号土壤 (M-19b) 土層記載表

層位	層No.	土 色	土 性	備 考
1	1	暗 褐 10YR3/3	シルト	
	2	暗 褐 10YR3/4	シルト	炭化物、燒土粒多く含む。
2	3	暗 褐 10YR3/3	粘土質シルト	炭化物、燒土粒多く含む。
	4	黑 褐 10YR2/2	粘土質シルト	炭化物が多く焼土粒含む
	5	褐 10YR4/4	粘土質シルト	

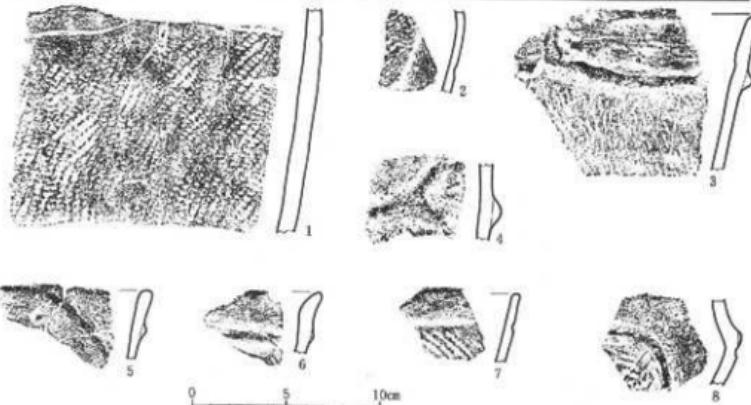
244号土壤 (M-19c)

層位	層No.	土 色	土 性	備 考
1	1	暗 褐 10YR4/4	シルト	白色土粒を多く含む
	2	暗 褐 10YR3/4	シルト	
2	3	暗 褐 10YR3/3	粘土質シルト	炭化物を含む
	4	黑 褐 10YR2/2	粘土質シルト	炭化物を多く含む

245号土壤 (M-19e)

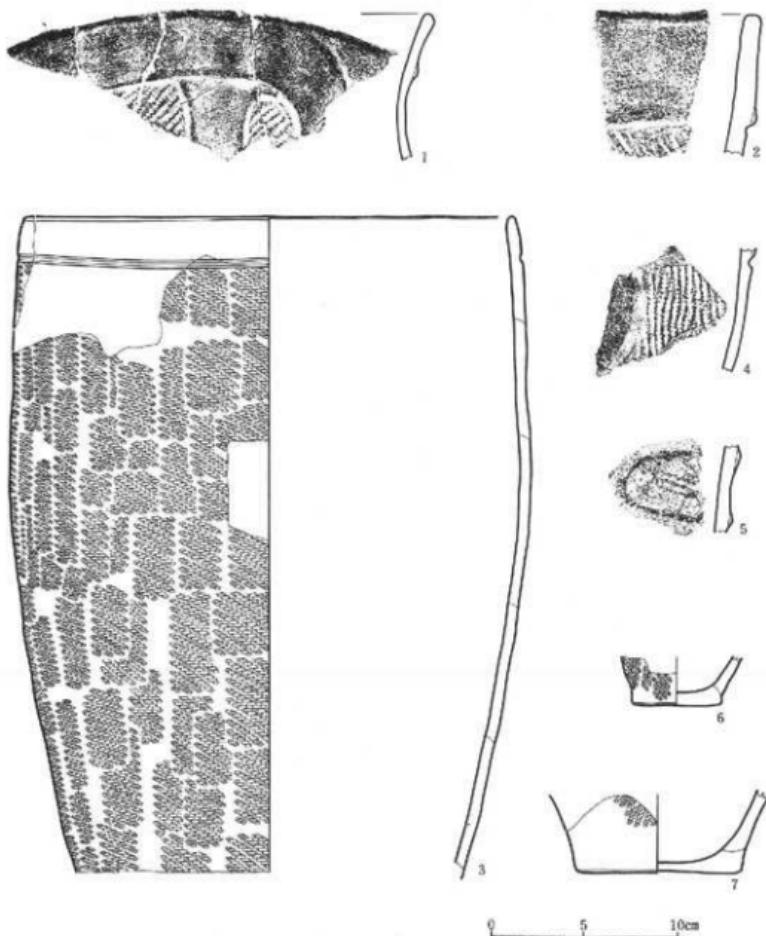
層位	層No.	土 色	土 性	備 考
1	褐 10YR4/4		シルト	

No.	地 区	縦 断 面	平 面 形	規 模	堅 高	備 考
242	M-19	第4層上面	不整形基盤調	152×138	40	243土壠に切られる。
243	M-19	第4層下面	不整形基盤調	165×149	55	242, 244と重なる。北側底面が一段高くなっている。 北側に33×20×20cmの土壠がある。
244	M-19	第4層上面	不整形基盤調	182×(125)	49	243土壠に切られ、2段上層を切る。西側を2箇所のビットで切られる。
245	M-19	第4層下面	不整形基盤調	175×(155)	14	244土壠に切られる。南、北東部、西北部をピットで切られる。北東部中央部は115×62×34(?)cmの土壠。



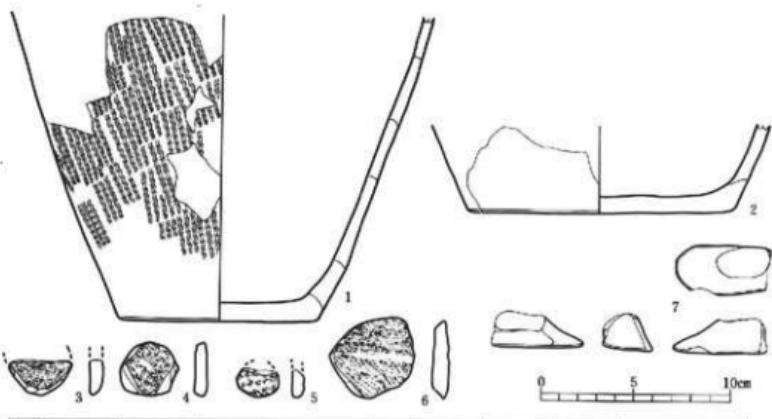
No.	層 位	基 形	外 表	内 面	分 級	備 考
1	3層	深 体	沈積文・RL混文	ナデ・磨キ(旗)		
2	2層	深 体	沈積文・RL混文	磨キ(旗)		
3	2層	深 体	薄積文・R然混文	ナデ・磨キ(横)	B I	
4	2層	深 体	殘積文	磨キ(横)	X	
5	1層	深 体	殘積文	磨キ(横・顯)	B I	
6	1層	深 体	沈積文	磨キ(横)	B VI	
7	1層	深 体	沈積文・LR混文	磨キ(横)	B VI	
8	1層	深 体	沈積文・比緑文・LR混文	磨キ(横)	X	

第570回 242号土壤出土土器(1)

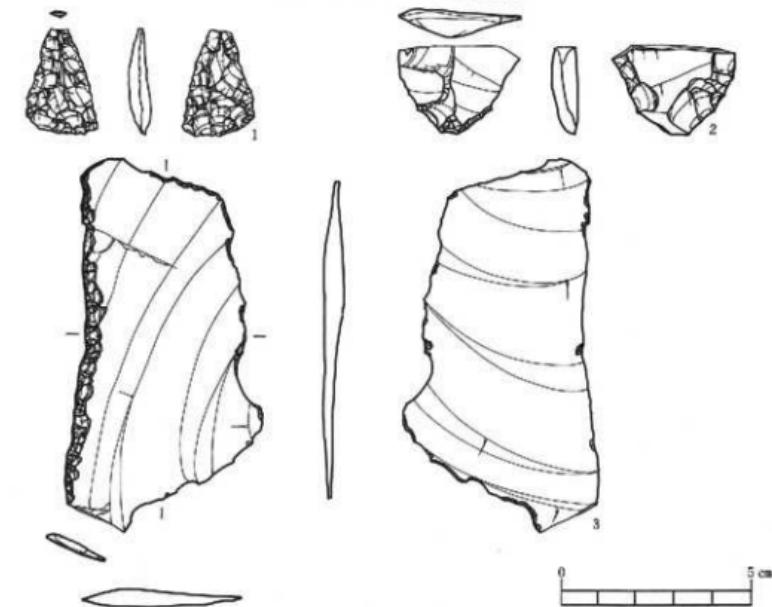


No.	地区・層位	器種	外　面	内　面	底　部	分類	備　考
1	堆積土	深　鉢	底緑文・沈緑文・RL緑文	麻子(縹)		X	
2	堆積土	深　鉢	底緑文・沈緑文・駿野赤文	ナデ・型子(縹)		B II	
3	堆積土	深　鉢	沈緑文・LR緑文・薄子	麻子(縹・枯)		B III	
4	堆積土	深　鉢	底緑文・沈緑文・RL緑文	麻子(縹)		X	
5	堆積土	深　鉢	底緑文	稻子(縹)		X	
6	堆積土	深　鉢	RL緑文・薄子	稻子(縹)	稻子		
7	1層	深　鉢	RL緑文・薄子	稻子(縹)	稻子	薄子	

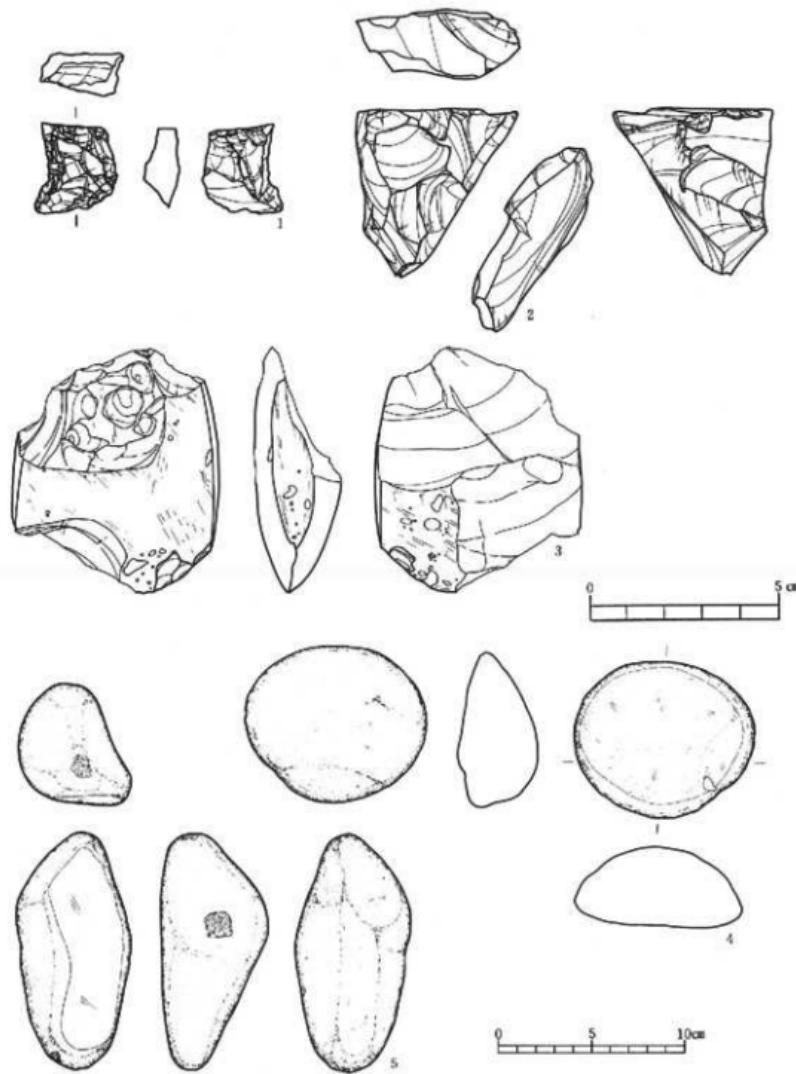
第571図 242号土墳出土土器(2)



第572図 242号土塗出土土器(3)土製品

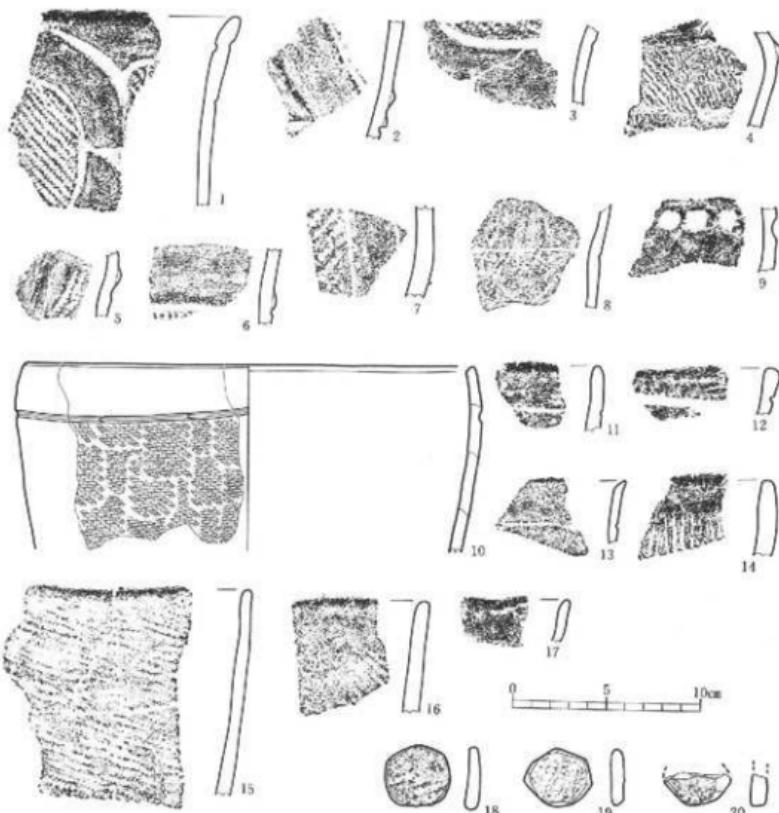


第573図 242号土塗出土石器(1)



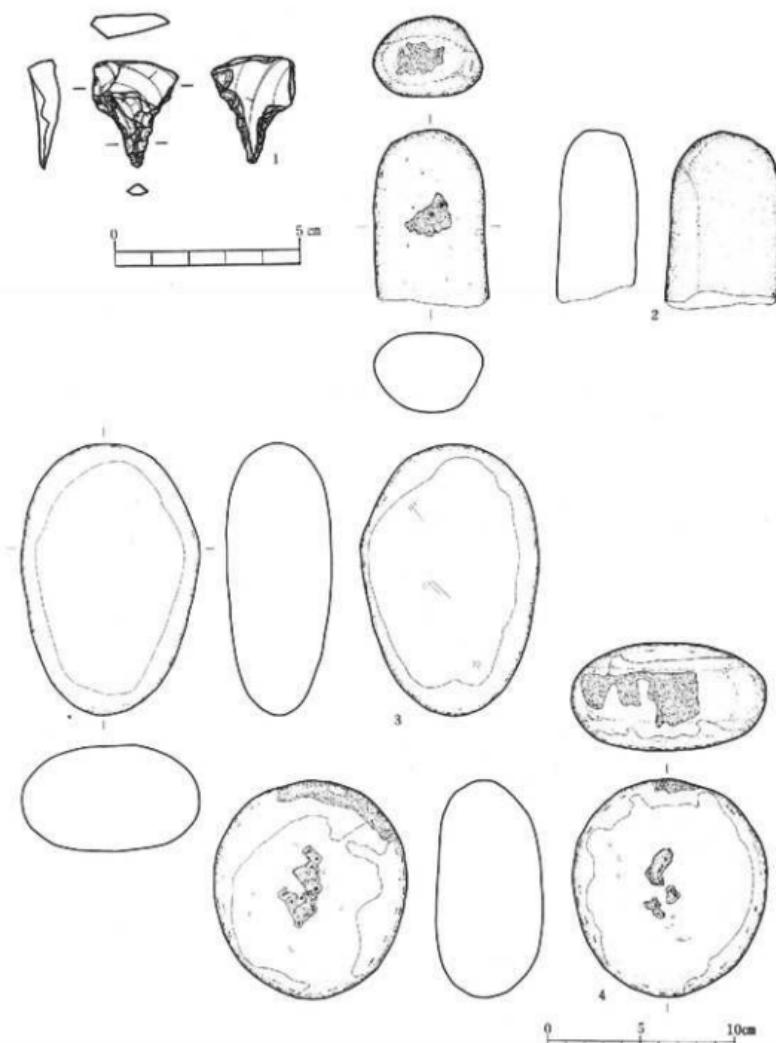
No.	種別	層位	長×幅×厚(mm)	重量(g)	石材	使用痕	備考
1	ビストンスキュー	堆積土	23.80×22.25×11.90	5.35	メノウor翡翠	—	
2	石核	1層	45.25×42.25×19.45	18.60	凝灰岩	—	
3	剥離石片	3層	(65.85)×(53.20)×(22.70)	76.6		—	
4	擦石器	1層	95×83×44	419.5		磨一片面	
5	擦石器	堆積土	125×65×52	415.6		磨一面 磨一片斜面	

第574図 242号土塁出土石器(2)



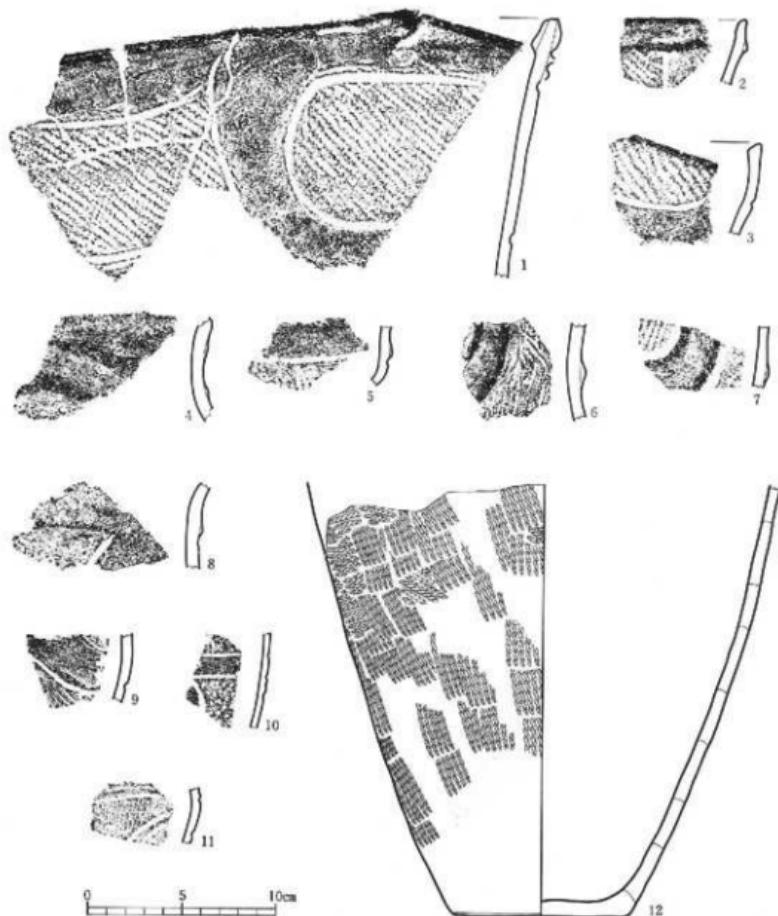
No.	層位	器物	外面	内面	分類	備考
1	堆積土	深 鈎	沈縫文・L形縫文	沈縫文・ナデ・周牛(横)	X	
2	2層	深 鈎	縫縫文・沈縫文	周牛(縫)	X	
3	2層	深 鈎	沈縫文・L形縫文	周牛(縫)	X	
4	堆積土	深 鈎	縫縫文・上縫文	周牛(横)	X	
5	2層	深 鈎	縫縫文・RL縫文	ナデ・周牛(横)		
6	堆積土	深 鈎	縫縫文・沈縫文	周牛(縫)		
7	堆積土	深 鈎	沈縫文・RL縫文	周牛(横・縫)		
8	堆積土	深 鈎	沈縫文・RL縫文	周牛(横・縫)		
9	堆積土	深 鈎	周縫文	周牛(横)		
10	堆積土	深 鈎	沈縫文・LR縫文・周牛	周牛(縫・横)	B.IV	
11	堆積土	深 鈎	沈縫文	周牛(横)	B.IV	
12	堆積土	深 鈎	沈縫文	ナデ・周牛(縫)	B.IV	
13	2層	深 鈎	沈縫文	周牛(縫)	B.IV	
14	2層	深 鈎	R形縫文	周牛(横)	B.VI	
15	堆積土	深 鈎	LR縫文	周牛(縫・横)	B.VI	
16	2層	深 鈎	不明縫文	周牛(縫・横)	B.VI	
17	堆積土	深 鈎	周牛	周牛(横)	B.VI	
18	堆積土	土鉢内盤				
19	堆積土	土鉢内盤				
20	堆積土	土鉢内盤				

第575図 243号土壤出土土器・土製内盤



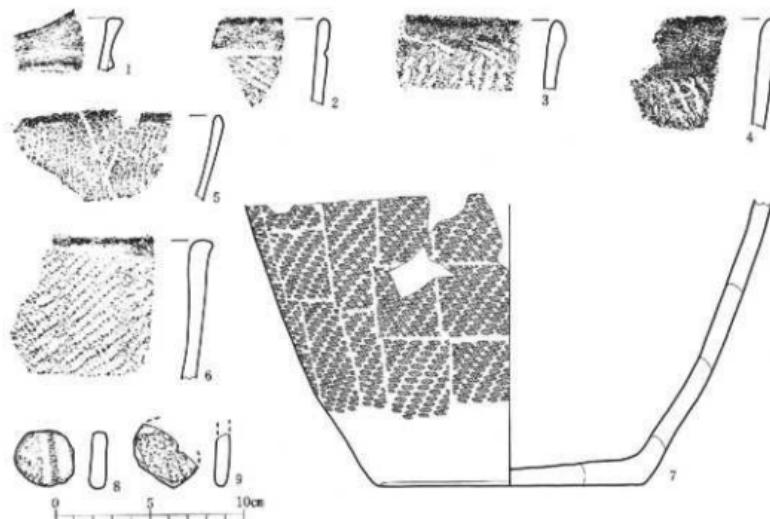
第576图 243号土壤出土石器

No.	類別	層位	長×寬×厚(mm)	重量(g)	石材	使用式	備考
1	石錐	堆積土	28.40×22.60×7.25	3.25	頁岩	—	
2	破石器	堆積土	(96)×(92)×45	299.5		三一片面。版一端	
3	破石器	堆積土	143×94×55	5640.6		一面刃面	
4	破石器	堆積土	115×101×57	3661.5		三一片面。版一端 一面刃面	



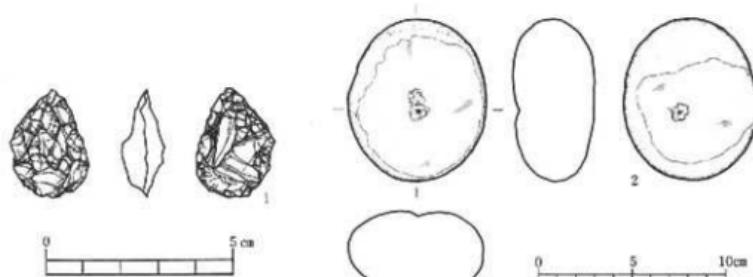
No.	地区・層位	器 形	外 面	内 面	底 部	分 類	備 考
1	堆積土	深 筋	沈鍵文・RL繩文	縦キ (横・斜)		X8	
2	堆積土	深 筋	施鍵文・沈鍵文・LR繩文	縦鍵文・縦キ (横)		X8or9	
3	2層	深 筋	沈鍵文・LR繩文	縦キ (横)		X	
4	堆積土	深 筋	施鍵文・不明鍵文	ナゾ (横)		X	
5	2層	深 筋	施鍵文・沈鍵文・自然条文	縦キ (横・斜)		X	
6	堆積土	深 筋	施鍵文・LR繩文	縦キ (横)		X	
7	堆積土	深 筋	施鍵文・沈鍵文・RL繩文	縦キ (横・斜)		X	
8	堆積土	深 筋	施鍵文・不明鍵文	縦キ (横)		X	
9	堆積土	深 筋	沈鍵文・R然条文	縦キ (横・斜)		X	
10	堆積土	深 筋	沈鍵文・斜向	縦キ (横)		X	
11	堆積土	深 筋	沈鍵文・L然条文	縦キ (横・斜)		X1	
12	1層	深 筋	LR繩文・自然条文	ヘラギ (横)	マメツ		

第577図 244号土壙出土土器 (1)



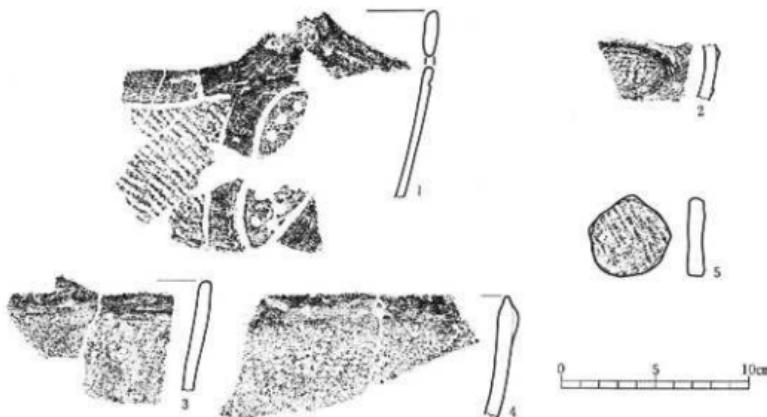
No.	地区・層位	器形	外　面	内　面	底　部	分　類	備　考
1	堆積土	圓　鉢	縦縞文・沈縞文	磨キ(奥)		B I	
2	2層	圓　鉢	沈縞文・上R縞文	磨キ(奥)		B IV	
3	堆積土	圓　鉢	L縞文	磨キ(奥)		B VI	
4	堆積土	圓　鉢	L縞文	磨キ(奥)		B VI	
5	2層	圓　鉢	縞文	ナメ(奥)		B VI	
6	堆積土	圓　鉢	RL縞文	ナメ・磨キ(奥)		B VI	
7	堆積土	圓　鉢	不明縞文	磨キ(奥)	マメフ		
8	1層	土製円錐					
9	堆積土	土製円錐					

第578図 244号土塹出土土器(2)、土製円錐



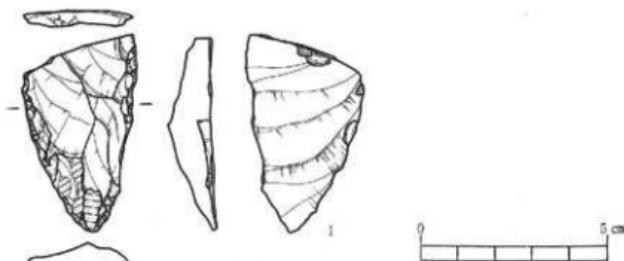
No.	種　別	層　位	長×幅×厚(cm)	重　量(g)	石　材	使　用　痕	備　考
1	石　錐B	2層	28.35×21.15×11.30	4.58	メノウ	—	
2	鉛石錐	堆積土	87×74×44	415.5	—	円・円錐、磨・凹面	

第579図 244号土塹出土石器



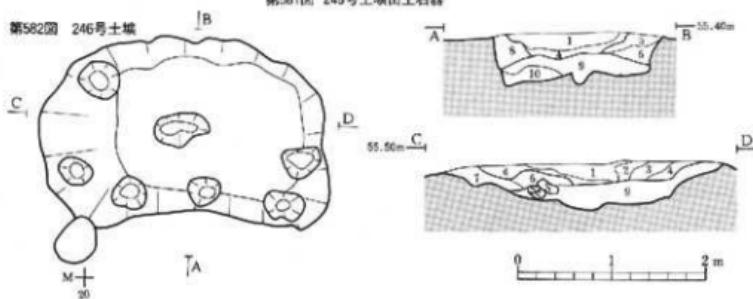
No.	層位	器形	外面	内面	分類	備考
1	堆積土	深鉢	沈線文・劍突文・LR隕文	テテ・麻卓(模)	X5	
2	堆積土	深鉢	薄線文・LR隕文	唐十(模)	X	
3・4	堆積土	深鉢	薄線文・LR隕文	唐十(模)	H VI	同一個体
5	堆積土	土制円盤				

第580図 245号土壤出土土器・土製円盤



No.	種別	層位	長×幅×厚(cm)	重量(g)	石材	使用痕	備考
1	スクレーバー	堆積土	32.40×39.70×11.20	14.10	メノウ	—	

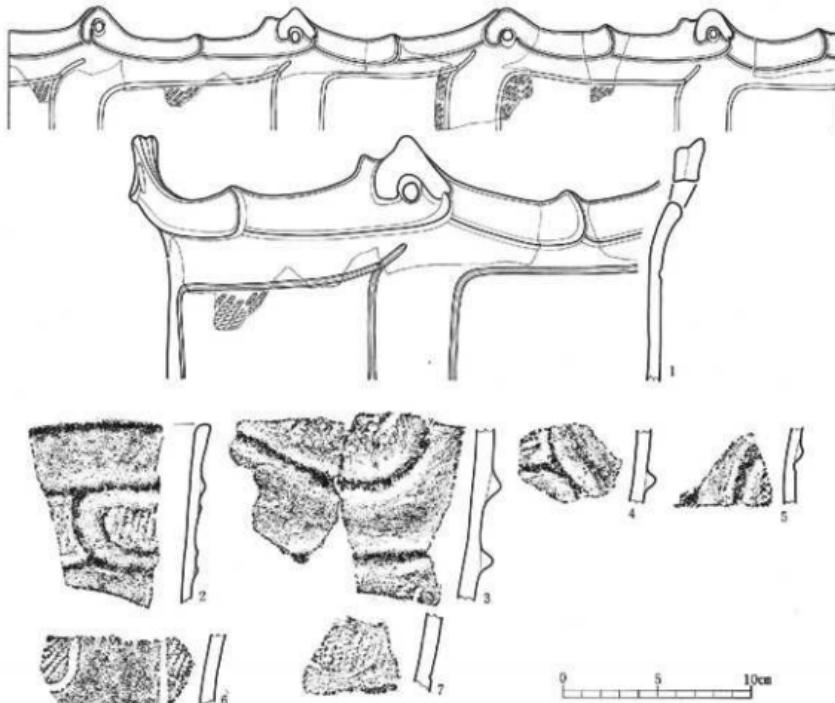
第581図 245号土壤出土石器



## 246号土壤 (M-20a) 土層註記表

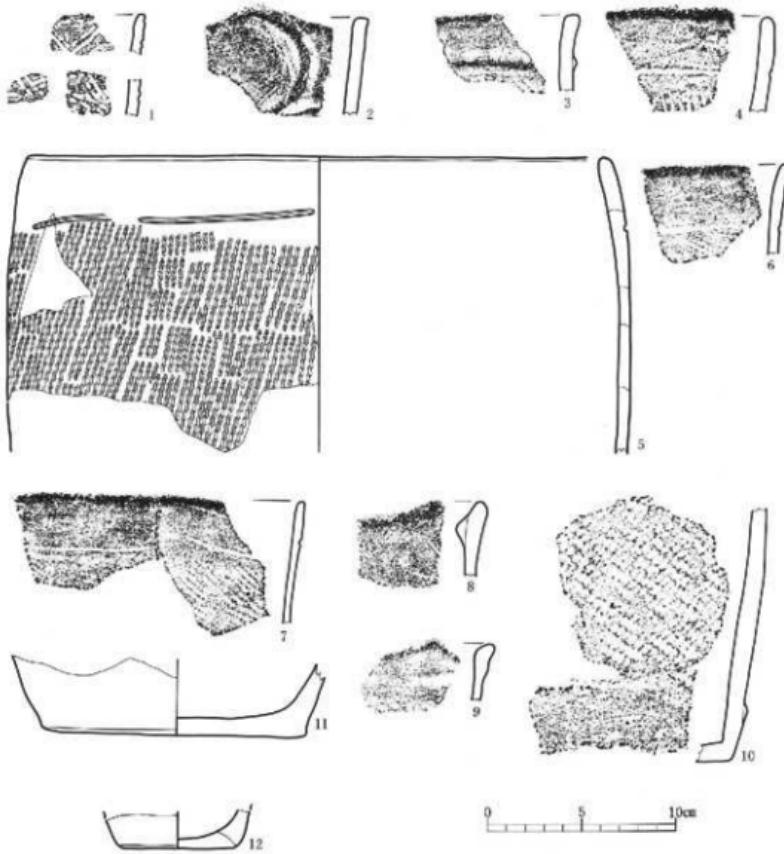
層位	編號	土 壯	土 性	備 考
1	1	暗 海	10YR3/3	シルト 淡土、炭化物、バミスを含む
	2	褐	10YR4/4	シルト 褐色10YR3/3シルトをブロック状に混入
	3	暗 海	10YR3/3	シルト 淡土、炭化物、バミスを含む
2	4	暗 海	10YR3/4	シルト 褐色の炭化物を含む
	5	褐	10YR3/4	シルト 炭化物、黄褐色土を含む
	6	褐	10YR4/4	粘土質シルト 鐵、炭化物、黃褐色土を含む
	7	褐	10YR4/4	シルト
3	8	褐	10YR4/6	粘土質シルト 黃褐色コーム土を多く含む
	9	暗 褐	10YR3/4	シルト 黃褐色土を若干含む、炭化物を含む
	10	暗 海	10YR3/4	粘土質シルト 8層に類似し、8層より黃褐色土を多く含む

No	地 区	確 定 面	平 面 形	規 模	量 高	備 考
246	M-20	第4層上面	不規則凹形	300×180	33	底面に7個のビット有。



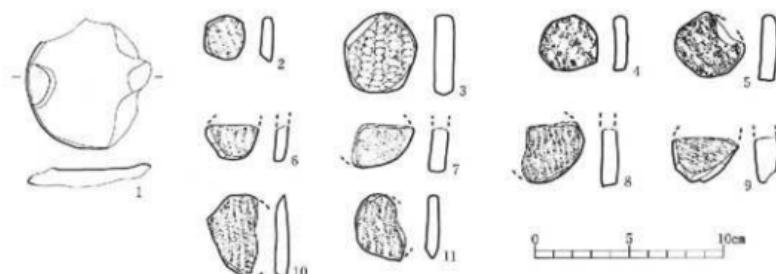
No	層 位	標 形	外 表	内 表	分 類	備 考
1	層位①	深 芥	隆起文・沈堆文・RL纏文・翫キ	翫キ(横)	X10	
2	堆積土	深 芥	隆起文・LR纏文	翫キ(横)	X	
3	堆積土	深 芥	隆起文・RL纏文	翫キ(横)	X	
4	堆積土	深 芥	隆起文・LR纏文	翫キ(横)	X	
5	堆積土	深 芥	隆起文・沈堆文・RL纏文	ナデ・巻キ(横・斜)	X	
6	堆積土	深 芥	沈堆文・LR纏文	翫キ(横)	X	
7	堆積土	深 芥	沈堆文・LR纏文	翫キ(横)	X	

第583図 246号土壤出土土器(1)



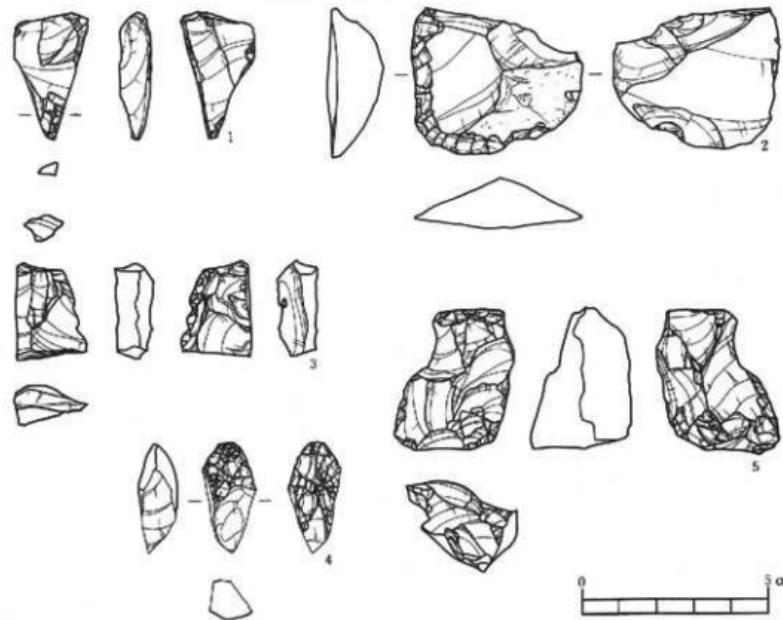
No.	地区・層位	器 形	外 囲	内 围	底 滅	分 類	備 考
1	南壁土	深 脚	沈縫文・契次文	唇キ(横)		X IV	丹青り
2	堆 壤 土	深 脚	陳縫文	唇キ(横)		B I	
3	堆 壤 土	深 脚	施縫文・LR契文	ナギ、脚キ(横)		B I	
4	堆 壤 土	深 脚	沈縫文・L契文	ナギ、脚キ(横)		B IV	
5	堆 壤 土	深 脚	沈縫文・R契文・唇キ	唇キ(横)		B IV	
6	堆 壤 土	深 脚	沈縫文・LR契文	唇キ(横)		B IV	
7	堆 壤 土	深 脚	沈縫文・LR契文	唇キ(横)		B IV	
8	堆 壤 土	深 脚	唇 キ	施縫文・唇キ(横)		B III	
9	堆 壁 土	深 脚	唇 キ	唇キ(横・斜)		B VII	
10	堆 壤 土	深 脚	LR契文	唇キ(横・斜)			
11	堆 壤 土	深 脚	ナ ギ	唇キ(横)	ナ ギ		
12	堆 壤 土	深 脚	唇 キ	唇キ(横)	唇 キ		

第584図 246号土塼出土土器(2)



No.	層位	種類	No.	層位	種類	No.	層位	種類	No.	層位	種類
1	層No.8層	蓋	2	非模土	土製円錐	3	単模土	土製円錐	4	1層	土製円錐
2	1~4層	土製円錐	6	堆積土	土製円錐	7	堆積土	土製円錐	8	堆積土	土製円錐
9	堆積土	土製円錐	10	堆積土	土製円錐	11	堆積土	土製円錐			

第585図 246号土塙出土土器



No.	種類	層位	長×幅×厚(mm)	重量(g)	石材	使用痕	備考
1	石 繖	堆積土	33.90×29.10×8.30	4.45	頁岩	—	
2	スクレイバ...	層No.8層	39.20×44.75×14.50	22.25		—	
3	二次加工ある鉗片	堆積土	25.80×18.80×10.60	4.69	頁岩	—	
4	ポイント	堆積土	(29.60)×(14.25)×(10.60)	3.35		—	
5	石 銛	層No.8層	37.35×31.75×26.20	21.05	頁岩	—	

第586図 246号土塙出土石器(1)